第R6-8号

新産業廃棄物最終処分場建設工事
図面集（建築工事）

令和6年10月

公益財団法人　宮城県環境事業公社

図　面　リ　ス　ト

縮尺：A1(A3)

※:建築確認申請時に申請図として使用。

意匠図

番号	名 称	縮尺	番号	名 称	縮尺	番号	名 称	縮尺	番号	名 称	縮尺
01_共通											
A-01	意匠 図面 リスト	N.S	D-001	工事概要 ※	N.S	D-015	配置図 ※	1/300(1/600)			
A-02	構造 図面 リスト	N.S	D-002	工事区分表	N.S	D-016	材料表	N.S			
A-03	設備 図面 リスト	N.S	D-003	建築工事範囲図	1/100(1/200)	D-017	法考察図 ※	N.S			
			D-004~012	建築特記仕様書(1)～(9)	N.S	D-018	地盤面算定図 ※	N.S			
			D-013	敷地現況図 ※	1/300(1/600)						
			D-014	敷地面積求積図 ※	1/300(1/600)						
02_管理棟						03_計量棟・目視監視施設			04_その他		
D-101	管理棟 建築面積・延床面積求積図 ※	1/100(1/200)	D-123	管理棟 内部・外部建具キープラン	1/100(1/200)	D-201	計量棟・目視監視施設 建築面積/延床面積/各室面積求積図 ※	1/100(1/200)	D-301	雨水排水計画図	1/200(1/400)
D-102	管理棟 外部仕上表 ※	N.S	D-124	管理棟 建具表(1)	1/50(1/100)	D-202	計量棟・目視監視施設 外部仕上表/計量棟内部仕上表 ※	N.S	D-302	資材保管庫兼車庫 平面図・立面図 ※	1/50(1/100)
D-103	管理棟 内部仕上表 ※	N.S	D-125	管理棟 建具表(2)	1/50(1/100)	D-203	計量棟・目視監視施設 1階平面図 ※	1/100(1/200)	D-303	資材保管庫兼車庫 基礎図 ※	図示
D-104	管理棟 ピット・1階平面図 ※	1/100(1/200)	D-126	管理棟 建具表(3)	1/100(1/200)	D-204	計量棟・目視監視施設 ピット平面図/屋根伏図 ※	1/100(1/200)	D-304	搬入業者用トイレ 平面図・断面図・屋根伏図	1/20(1/40)
D-105	管理棟 2階平面図・屋根伏図 ※	1/100(1/200)	D-127	管理棟 建具表(4)	1/50(1/100)	D-205	計量棟・目視監視施設 断面図 ※	1/100(1/200)			
D-106	管理棟 断面図 ※	1/100(1/200)	D-128	管理棟 断熱範囲図(1)	1/100(1/200)	D-206	計量棟・目視監視施設 立面図 ※	1/100(1/200)			
D-107	管理棟 立面図 ※	1/100(1/200)	D-129	管理棟 断熱範囲図(2)	1/100(1/200)	D-207	計量棟 矩計図(1)	1/30(1/60)			
D-108	管理棟 矩計図(1)	1/30(1/60)	D-130	管理棟 防水範囲図	1/100(1/200)	D-208	計量棟 矩計図(2)	1/30(1/60)			
D-109	管理棟 矩計図(2)	1/30(1/60)	D-131	管理棟 床下げ範囲図	1/100(1/200)	D-209	計量棟 平面詳細図/天井伏図	1/50(1/100)			
D-110	管理棟 矩計図(3)	1/30(1/60)	D-132	管理棟 部分詳細図(1)	図示	D-210	計量棟 展開図	1/50(1/100)			
D-111	管理棟 外部階段詳細図(1)	1/30(1/60)	D-133	管理棟 部分詳細図(2)	図示	D-211	計量棟 建具表	1/50(1/100)			
D-112	管理棟 外部階段詳細図(2)	1/30(1/60)	D-134	管理棟 部分詳細図(3)	図示	D-212	計量棟 部分詳細図(1)	図示			
D-113	管理棟 屋内階段詳細図	1/30(1/60)	D-135	管理棟 部分詳細図(4)	図示	D-213	計量棟 部分詳細図(2)	図示			
D-114	管理棟 1階平面詳細図	1/50(1/100)	D-136	管理棟 部分詳細図(5)	図示	D-214	目視監視施設 矩計図	1/30(1/60)			
D-115	管理棟 2階平面詳細図	1/50(1/100)	D-137	管理棟 部分詳細図(6)	図示	D-215	目視監視施設 階段詳細図	1/10(1/20) 1/20(1/40)			
D-116	管理棟 1階展開図(1)	1/50(1/100)	D-138	管理棟 部分詳細図(7)	図示	D-216	目視監視施設 平面詳細図	1/50(1/100)			
D-117	管理棟 1階展開図(2)	1/50(1/100)	D-139	管理棟 サインキープラン図	1/75(1/150)	D-217	目視監視施設 部分詳細図(1)	図示			
D-118	管理棟 1階展開図(3)	1/50(1/100)	D-140	管理棟 サイン詳細図	図示	D-218	目視監視施設 部分詳細図(2)	図示			
D-119	管理棟 1階展開図(4)	1/50(1/100)	D-141	管理棟 1階法チェック図 ※	1/100(1/200)						
D-120	管理棟 2階展開図(1)	1/50(1/100)	D-142	管理棟 2階法チェック図 ※	1/100(1/200)						
D-121	管理棟 2階展開図(2)	1/50(1/100)	D-143	管理棟 各室面積求積図 ※	1/100(1/200)						
D-122	管理棟 天井伏図	1/100(1/200)									

特記

物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事
図面名	意匠 図面リスト
縮尺	A1:- N.S / A3:- N.S
図番	A-001

図　面　リ　ス　ト

縮尺：A1(A3)

構造図

番号	名 称	縮尺	番号	名 称	縮尺	番号	名 称	縮尺	番号	名 称	縮尺
01_共通											
S-001	構造関係共通事項	N.S									
S-002	特記仕様書　構造関係（その1）	N.S									
S-003	特記仕様書　構造関係（その2）	N.S									
S-004~007	構造関係共通事項（配筋標準図）その1～その4	N.S									
S-008~009	構造関係共通事項（鉄骨標準図）その1～その2	N.S									
02_管理棟			03_計量棟			04_目視監視施設					
S-101	管理棟 合成スラブデッキ設計・施工標準 ※	N.S	S-201	計量棟 伏図・柱状図	1/100(1/200) 1/150(1/300)	S-301	目視監視施設 伏図・柱状図	1/100(1/200) 1/150(1/300)			
S-102	管理棟 フラットデッキ設計施工要領 ※	N.S	S-202	計量棟 軸組図	1/100(1/200)	S-302	目視監視施設 軸組図	1/100(1/200)			
S-103	管理棟 伏図(1)・柱状図 ※	1/100(1/200) 1/150(1/300)	S-203	計量棟 基礎断面表(1)	1/30(1/60)	S-303	目視監視施設 基礎断面表	1/30(1/60)			
S-104	管理棟 伏図(2) ※	1/100(1/200)	S-204	計量棟 基礎断面表(2)	1/30(1/60)	S-304	目視監視施設 鉄骨部材断面表	1/20(1/40)			
S-105	管理棟 軸組図(1) ※	1/100(1/200)	S-205	計量棟 鉄骨部材断面表	1/20(1/40)	S-305	目視監視施設 鉄骨継手断面表	1/10(1/20)			
S-106	管理棟 軸組図(2) ※	1/100(1/200)	S-206	計量棟 鉄骨継手断面表	1/10(1/20)	S-306	目視監視施設 鉄骨詳細図	1/20(1/40)			
S-107	管理棟 基礎断面表(1) ※	1/30(1/60)	S-207	計量棟 鉄骨詳細図	1/20(1/40)	S-307	目視監視施設 鉄骨階段詳細図	1/20(1/40)			
S-108	管理棟 基礎断面表(2)	1/30(1/60)									
S-109	管理棟 鉄骨部材断面表	1/20(1/40)									
S-110	管理棟 鉄骨継手断面表	1/10(1/20)									
S-111	管理棟 鉄骨詳細図	1/20(1/40)									
S-112	管理棟 屋内鉄骨階段詳細図	1/30(1/60)									
S-113	管理棟 屋外鉄骨階段詳細図	1/30(1/60)									
S-114	管理棟 外部鉄骨階段詳細図	1/30(1/60)									
S-115	管理棟 雑詳細図	1/30(1/60)									
S-116	管理棟 間柱・胴縁図	1/100(1/200)									

特記

物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事
図面名	構造 図面リスト
縮尺	A1:- N.S / A3:- N.S
図番	A-002

図　面　リ　ス　ト

縮尺：A1(A3)

設備図

番号	名 称	縮尺	番号	名 称	縮尺	番号	名 称	縮尺	番号	名 称	縮尺
電気設備			機械設備			機械設備					
E-01	電気設備 特記仕様書	N.S	M-01	機械設備 特記仕様書	N.S	OE-01	配線系統図	N.S			
E-02	管理棟 分電盤結線図	N.S	M-02	管理棟 衛生設備 機器表･桝一覧表	N.S	OE-02	配線配管図（全体図）	N.S			
E-03	管理棟 幹線･動力設備 1・2階平面図	1/100(1/200)	M-03	管理棟 衛生設備 器具表	N.S	OE-03	配線配管図 詳細1	N.S			
E-04	管理棟 照明器具姿図	N.S	M-04	管理棟 衛生設備 1･2階平面図	1/100(1/200)	OE-04	配線配管図 詳細2	N.S			
E-05	管理棟 電灯設備 1・2階平面図	1/100(1/200)	M-05	管理棟 衛生設備 詳細図	1/50(1/100)	OE-05	配線配管図 詳細3	N.S			
E-06	管理棟 コンセント設備 1・2階平面図	1/100(1/200)	M-06	管理棟 空調設備 機器表	N.S						
E-07	管理棟 弱電機器姿図	N.S	M-07	管理棟 空調設備 1･2階平面図	1/100(1/200)						
E-08	管理棟 弱電設備 1・2階平面図	1/100(1/200)	M-08	管理棟 換気設備 機器表･計算書	N.S						
E-09	管理棟 誘導標識設備 1・2階平面図	1/100(1/200)	M-09	管理棟 換気設備 1･2階平面図	1/100(1/200)						
E-10	計量棟･目視監視施設 動力･コンセント設備 平面図	1/100(1/200)	M-10	管理棟 計装設備 1･2階平面図	1/100(1/200)						
E-11	計量棟･目視監視施設 電灯設備 平面図	1/100(1/200)	M-11	計量棟･目視監視施設 衛生･空調･換気設備 機器表	N.S						
E-12	計量棟･目視監視施設 弱電設備 平面図	1/100(1/200)	M-12	計量棟･目視監視施設･資材保管庫兼車庫 衛生･空調･換気設備 平面図	1/100(1/200)						
E-13	浸出水調整槽･資材保管庫兼車庫 動力･電灯設備 平面図	1/100(1/200)	M-13	浸出水調整槽 換気設備 機器表･平面図	1/100(1/200)						

特記

物件名	第R6-8号 新産業廃棄物最終処分場建設工事		
図面名	設備 図面リスト	縮尺 A1:- N.S / A3:- N.S	図番 A-003

・工事名称	第R6-8号 新産業廃棄物最終処分場建設工事
・用途	管理棟：事務所　計量棟:その他 目視監視施設：その他　資材保管庫兼車庫：倉庫、自動車車庫
・建築主	公益財団法人 宮城県環境事業公社
・設計者	
・建設地	宮城県黒川群大和町鶴巣大平・幕柳（地内）
・工事範囲	本設計図及び国土交通省公共建築工事標準仕様書令和4年版に記載の範囲
・工期	未定
・都市計画区域	都市計画区域及び準都市計画区域外
・防火指定	指定無し
・用途地域	指定無し
・法第22条指定区域	指定区域（大和町全域）
・その他の法規	消防法上の扱い：各棟すべて普通階判定
・敷地の状況	※建築基準法第3章（（8節を除く）（法第41条の2～法第68条の8））の適応は都市計画区域内のみ。
・道路幅員	接道規定無し
・敷地と接している長さ（法第43条）	適応対象外
・計画敷地面積	5,513.96㎡
・(開発敷地面積)	-
・許容建ぺい率（法第53条）	適応対象外
・許容容積率（法第52条）	適応対象外
・建物概要（敷地全体）	
・工事種別	新築
・構造	鉄骨造、軽量鉄骨造
・建築物の数	管理棟、計量棟、目視監視施設、資材保管庫兼車庫 浸出水処理施設(予定)、浸出水調整槽（機械室）、訪問者用常設トイレ（規制品）(予定)
・最高の高さ	8.650m
・最高の軒の高さ	7.870m
・階数	2階

・建物別概要（管理棟）		
・用途	事務所（08470）	
・工事種別	新築	
・構造	鉄骨造	
・耐火建築物	-	
・階数	2階	
・高さ	8.650m	
・建築面積/延床面積	389.42㎡ / 624.68㎡	
・基礎、地業	べた基礎	
・各部の高さ　設計地盤	65.00m	
基準階階高	3.75m	
居室の床の高さ	300mm	
基準階天井高	CH2400mm	
・建物別概要（計量棟）		
・用途	その他（08990）	
・工事種別	新築	
・構造	鉄骨造	
・耐火建築物	-	
・階数	1階	
・高さ	5.080m	
・建築面積/延床面積	239.82㎡ / 239.82㎡	
・基礎、地業	独立基礎	
・各部の高さ　設計地盤	65.00m	
基準階階高	-	
居室の床の高さ	350mm	
基準階天井高	CH2500mm	
・建物別概要（目視監視施設）		
・用途	その他（08990）	
・工事種別	新築	
・構造	鉄骨造	
・耐火建築物	-	
・階数	1階	
・高さ	5.400m	
・建築面積/延床面積	234.00㎡ / 234.00㎡	
・基礎、地業	独立基礎	
・各部の高さ　設計地盤	65.00m	
基準階階高	-	
居室の床の高さ	-	
基準階天井高	-	
・建物別概要（資材保管庫兼車庫）		
・用途	自動車車庫（08490）、倉庫(08520)	
・工事種別	新築	
・構造	軽量鉄骨造	
・耐火建築物	準耐火建築物（ロ-2）	
・階数	1階	
・高さ	3.665m	
・建築面積/延床面積	186.66㎡ / 186.66 ㎡(容積対象として面積参入)	
・基礎、地業	べた基礎	
・各部の高さ　設計地盤	65.00m	
基準階階高	-	
居室の床の高さ	-	
基準階天井高	-	

・面積表

	申請部分	申請以外の部分	合計	敷地面積との比
・建築面積	1049.90 ㎡	㎡	1049.90 ㎡	19.04 %
・容積対象床面積	1285.16 ㎡	㎡	1285.16 ㎡	23.30 %
・延べ床面積	1285.16 ㎡	㎡	1285.16 ㎡	
・地階の住宅等	㎡	㎡	㎡	
・共同住宅の共用廊下等	㎡	㎡	㎡	
・備蓄倉庫等	㎡	㎡	㎡	
・ELVの昇降路等	㎡	㎡	㎡	
・宅配ボックス等	㎡	㎡	㎡	
・自動車車庫等	㎡	㎡	㎡	

・昇降機概要	・エレベーター	無し
・駐車場等	・法定駐車台数	無し
	・計画駐車台数	駐車台数：62台　バス専用：2台
	・法定駐輪台数	無し
	・計画駐輪台数	無し

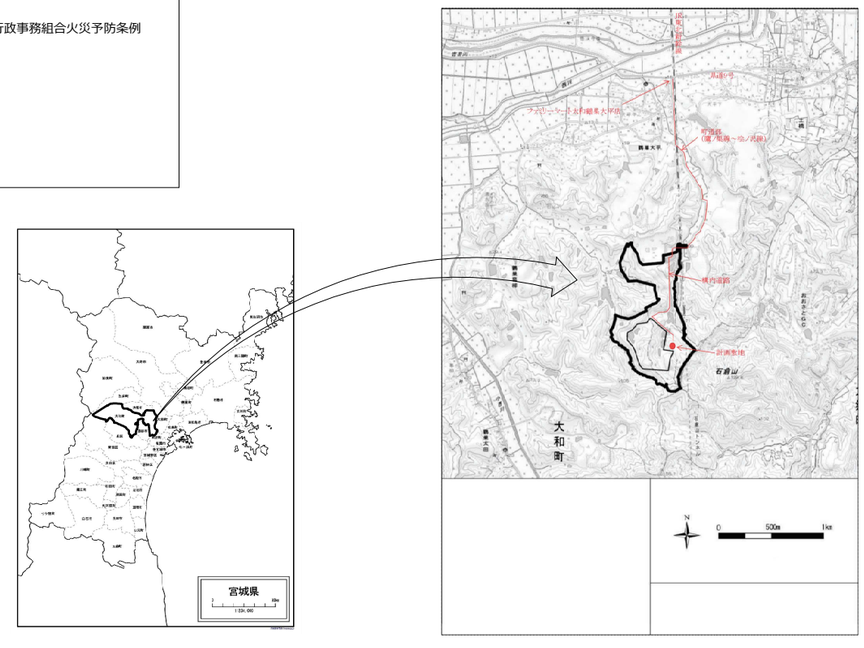
・手続関係

・関連項目	名称、部署名	電話番号
・特定行政庁	宮城県仙台土木事務所建築班	022-297-4347
・行政協議（建設地）	宮城県都市計画課行政班	022-211-3132
	大和町都市建設課	022-345-7502
・消防	消防本部・黒川消防署予防課	022-345-3944
・建築確認	一般財団法人宮城県建築住宅センター 建築確認部建築確認課	022-262-0401

・法文、条例

建築基準法
宮城県建築基準条例
宮城県建築基準
消防法
黒川地域行政事務組合火災予防条例

・案内図



特記

物件名	第R6-8号 新産業廃棄物最終処分場建設工事
図面名	工事概要
縮尺	A1:– N.S A3:– N.S
図番	D-001

工事区分表（この工事区分表には、本工事の設計図書に記載されていない項目（工事範囲外）が含まれている。）

項目		A	E	M	EV	別途	備考
共通							
	工事用電力・下水工事・ガス引込工事	○					
	工事用電力・上下水道・ガス料金（引込負担金・基本料金含む）	○	○	○	○		
	各種（電力・上下水・ガス）引込み工事	○	○	○			
	本設・受電後引渡しまでの光熱費　基本料金（電気・水道・ガス）						
	本設・受電後引渡しまでの光熱費　使用料金（電気・水道・ガス）	○	○	○	○		
	電話本設引込工事		○				
	工事上の各種申請届出費用	○	○	○	○		
躯体関係							
1．ＲＣ造（梁・壁・床）の貫通孔・開口部	貫通孔のスリーブ材及び取付け	○	○	○	○		
	補強を要する型枠材及び取付け	○					
	補強を要しない型枠材及び取付け	○	○	○	○		
	貫通孔・開口部の墨出し	○	○	○	○		
	貫通孔・開口部の補強	○					
	スリーブ・型枠の穴埋め	○	○	○	○		防火区画、防煙区画
2．Ｓ、ＳＲＣ造の梁貫通孔	Ｓ・ＳＲＣ造貫通鋼管スリーブ・補強	○					
	使用されたスリーブの穴埋め	○	○	○	○		防火区画、防煙区画
	予備スリーブの穴埋め	○	○	○	○		防火区画、防煙区画
3．設備機器の基礎	屋内の基礎（建築設計図に記入あるもの）	○					
	屋内の基礎（建築設計図に記入のないもの）		○	○			
	屋外・屋上の基礎	○					
	屋上基礎で押えコンクリートにアンカーしない軽微なもの		○	○			
	機器取付け用アンカー・架台		○	○			
	屋内受水タンク用の基礎	○					
	太陽光電池アレイ用架台・架台取付け用アンカー	○	○				ＡとＥの区分は図示
4．昇降機関連	昇降路の躯体・機械室の躯体及び床開口	○					
	機械室の床配管ピット・ふた	○					
	機械室の上げ床コンクリート打込み・仕上げ	○					
	巻上げ機周囲のチェッカープレート敷き				○		
	昇降路内ピット防水・集水桝	○					
	各階出入口穴開け・同補強	○					
	三方枠取付け・枠回り埋戻し・同補修				○		
	出入口扉、三方枠及び幕板				○		
	出入口扉、三方枠及び幕板の各補強鉄骨	○					
	昇降路がＳ造の時の出入口扉、三方枠及び幕板の受け	○					
	昇降路の中間ビーム・ブラケット他昇降路内の鋼製部材一式				○		
	昇降路がＳ造の時の中間ビーム及びブラケット受けピース	○					
	機械室天井及び昇降路内のフック取付け（フックを含む）	○					
	ホール押しボタン・インジケーター・鍵索等の壁開口	○					区画処理を含む
	機械室換気設備			○			
	昇降路内ピット点検用タラップ				○		
	点検用コンセント		○				
	EV制御盤への動力・照明用電源、アース、火災時管制運転用信号、非常用発電時管制運転用信号、拡声設備（館内放送用）の配管・配線工事		○				
	EV制御盤から、EV内監視カメラまでの配管・配線工事				○		監視カメラ含む
	EV制御盤から、監視カメラ用の監視装置までの配管・配線工事		○				電気設備のモニタ装置に映像を表示する場合
	EVの保守遠隔監視用（電話回路）の配管工事		○				
	EV制御盤からEV監視盤又は警報盤までの制御及びインターホンの配管・配線工事				○		
	動力計測用電力計から自動制御盤までの配管・配線工事			○			

項目		A	E	M		別途	備考
仕上げ関係							
5．その他	トラフ・ピット類（ふたを含む）	○					
	湧水・汚水ピット・ＲＣ造各種水槽	○					
	同上用防水・マンホール・タラップ等	○					
	避雷設備・同接地工事		○				
	ＡＬＣパネルの壁開口・補強	○					
	厨房排水溝	○					
	厨房グリース阻集器			○			
	オイルサービスタンクの防油堤	○					
	フリーアクセスフロア内の防水堤	○					
1．軽鉄天井・壁下地	補強を要するボードの切込み及び下地の補強	○					墨出しは各工事別
	補強を要しないボードの切込み		○	○			
	開口部の墨出し		○	○			
	ALCパネル・押出成型セメント板・穴あきPCパネルの壁開口・補強	○					墨出しは各工事別
2．可動間仕切	切込み及び補強	○					
	位置ボックス	○					
	設備機器・器具・配管・配線・ダクト用		○	○			
4．外壁まわり	外壁がらり及びダクト接続用フランジ	○					接続用アングル・防鳥ネット・ホッパー
	チャンバーボックス（保温工事含む、接続アングルとも）			○			
	ウエザーカバー、ベントキャップ			○			
	換気扇（取付け枠共）			○			
3．吊りボルト及びインサート	サッシパネル開口	○					
	設備用外壁貫通部のダブルシール工事	○	○	○			各工事別
5．湯沸室まわり	流し台・吊戸棚・水切棚・コンロ台	○					
	フード（標準詳細図のもの）	○					その他はM
	ミニキッチン（照明・水栓含む）	○					ミニキッチン（照明・水栓含む）
6．浴室まわり	浴室ユニット、複合浴室ユニット、シャワーユニット、洗濯機パン	○					
	同上ダクト工事			○			
	同上一次側電気配管配線工事		○				
	同上排水配管接続工事			○			
	既製浴槽（ふたを含む）	○					
	浴室及び便所の床排水金物			○			
7．便所まわり	洗面カウンター	○					洗面器はM
	鏡（規格寸法のみ）	○					規格外はA
	衛生器具ユニット			○			
	便所手すり、背もたれ	○					衛生器具ユニットの場合はM
	多機能便所の大型ベッド、着替え台等	○					
	HCWC:鏡（オストメイト、車いす洗面）			○			
	HCWC:手摺（はね上げるタイプ、車いす洗面）			○			
	HCWC:ベビーチェアー			○			
8．事務室まわり	ファンコイルカバー	○					
	家具組込みの洗面器			○			切込みはA

項目		A	E	M		別途	備考
9．フリーアクセスフロア	コンセント		○				
	床パネルの切込み加工	○					
10．自動扉・電動シャッターまわり	防火戸の自動閉閉装置		○				
	上部電動シャッター本体・制御盤・手動閉閉装置・ヒューズ装置	○					
	排煙窓本体・自動開閉装置	○					
	防煙垂れ壁本体・駆動装置	○					
	上部電動シャッター・排煙窓・防煙垂れ壁連動制御装置の感知器		○				
	自動扉の本体・駆動装置・検出装置（センサー）	○					
	自動扉の手元電源スイッチ		○				
	電気錠の本体、扉内配線	○					
	電気錠の扉までの配管及び配線		○				
	自動閉鎖装置を取り付ける防火戸の切込み補強及びドアクローザー、フロアヒンジ	○					
	自動扉・電動シャッターからセンサー（付属スイッチ）への配管・配線工事	○					
	自動扉及び電動シャッターなど制御装置に至る一次側電源配管配線工事		○				
	フラッパーゲートへの配管・配線工事		○				
	フラッパーゲート	○					
11．その他	二重ピット及びトレンチのマンホールふた	○					
	機器搬入用フック・ビーム	○					
	チェーンブロック		○	○			
	化粧マンホール上ぶたの表面仕上げ	○					
	液面電極棒取付座			○			
	各種満減水警報・液面電極棒取付け			○			
	同上電気配管配線工事		○				
	同上オーバーフロー・通気管取付け	○		○		設計図による	
	点検口（天井・床下）	○					
	点検口（壁）	○					
	排煙口等の天井仕上材の取付け	○				排煙口はM	
	消火器			○			
	消火器ＢＯＸ設置工事	○					
	煙突底部排水目皿・排水管	○					
	くつふきマット・玄関マット・自動扉マット部床排水金物（目皿共）・排水管	○					
	くつ洗い流し部排水金物・排水管			○			
	ルーフドレン	○					
	雨水流入用配管	○					
	雨水利用設備集水管			○			
	ブラインド				○		
	気象観測設備（取付金物以外全て）				○		
	気象観測設備取付金物	○				基礎:建築工事	
	気象観測設備収納箱内開閉器への電源供給配管配線		○			1次側	
	気象観測設備機器収納箱内開閉器以降の配管配線				○	2次側	
	エスコートレール	○				目視監視施設屋根面梁設置のプレート含む	
屋外排水設備・外構							
1．雨水	屋外雨水排水設備	○				屋内は設備工事	
	桝及び桝ぶた	○					
	マンホールの化粧上ふたの表面仕上げ	○					
	雨水公設桝	○				公共下水道が分流式の場合	

項目		A	E	M		別途	備考
2．雑排水・汚水	屋外雑排水及び屋外汚水排水設備			○			
	桝及び桝ぶた			○			
	化粧マンホール上ぶたの表面仕上げ	○					
	排水公設桝			○			公共下水道が合流式の場合
3．植栽	植栽及び客土	○					
4．ユニット形浄化槽	ピット形の躯体	○					浄化槽本体はM
	タンク室の砂充てん			○			
	上記以外のユニット形浄化槽本体・配管及び据付け等			○			
5．屋外オイルタンク	タンク室の躯体	○					タンク本体はE又はM
	タンク室の砂充てん		○	○			自家発用はE・熱源用はM
	上記以外のオイルタンク本体・配管及び据付け等		○	○			自家発用はE・熱源用はM
	配管トレンチ及びぴふた	○					トレンチ内の架台等はE及びM
6．その他	駐車場ガソリントラップ（コンクリート造）	○					
設備工事等							
	機器付属の制御盤以降の配管配線（接地線共）			○			二次側
	機器付属の制御盤への電源供給配管配線		○				一次側
	自動制御と動力盤との電源供給の渡り配管配線		○				
	機器と付属操作スイッチの渡り配管配線			○			
	煙感知器から連動制御盤を経て防煙ダンパーに至る配管配線		○				
	小便器用節水装置の制御盤以降の配管配線			○			
	給油ボックス内アース端子よりのアース用配管配線		○	○			自家発用はE
	ＡＣＰ屋外機と屋内機の渡り電源・信号・アース用配管配線			○			
	ＡＣＰマルチ形屋内機の電源・アース用配管配線		○				
	機器・電極棒用の電源配管配線		○				電極棒はM
	屋内消火栓ポンプ制御盤から消火栓ポンプ始動装置の電源、信号線の配管・配線		○				
	電話LAN用配管・端子盤		○				
	同上配線・端子盤					○	
	PBX・電話機					○	
	電動機・同据付			○			
	一般制御盤・電動機端子までの電気配管配線工事		○				
	機器付属制御盤・二次側電気配管・配線工事			○			
	各種機器の接地工事（冷凍機・ボイラー・パッケージ・ポンプユニット含む）		○				
	冷凍機・冷温水発生機ボイラー・パッケージ等の遠隔操作用・故障警報用リレー端子の取付け			○			
	同より監視盤までの電気配管配線工事		○	○			
	空調用自動制御機器・自動制御盤・同取付け調整			○			
	同上間の電気配管配線工事			○			
	空調用自動制御盤への電源配管配線工事		○				
	同上間より中央監視盤までの通信配管配線工事			○			
	ガス漏れ警報機・受信盤・同電気配管配線工事		○				
	ガス緊急遮断弁			○			
	同上用受信盤・電気配線配管工事						
	機械警備用センサー・同配線工事						
	同上用配管工事		○				
	機械警備監視盤						
	センサー取付用裏箱（扉・枠とも）	○					
	床置型ファンコイルユニット・コンベクター本体			○			
	同上用化粧カバー・吸出口・スイッチ蓋	○		○			

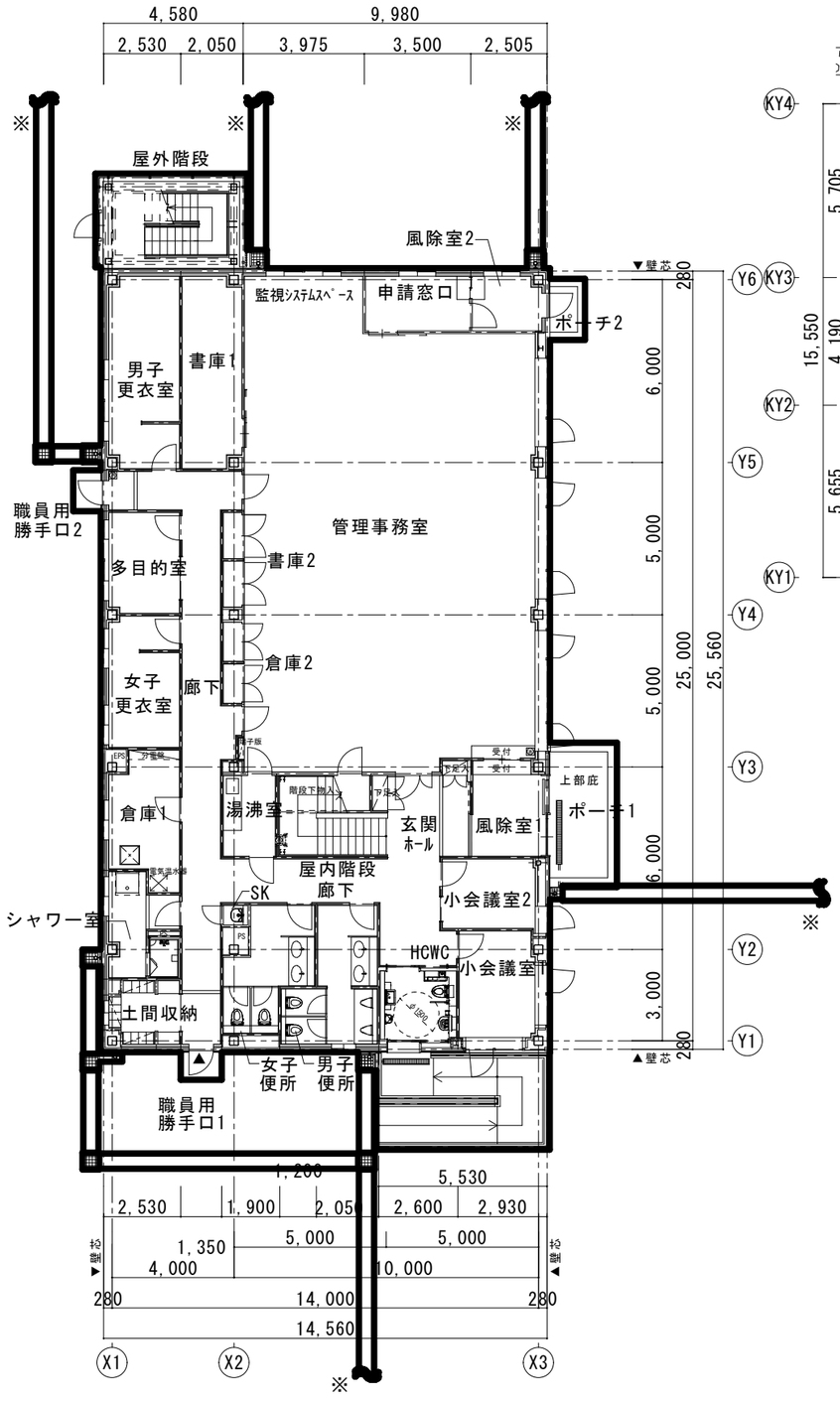
特記

物件名　第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事

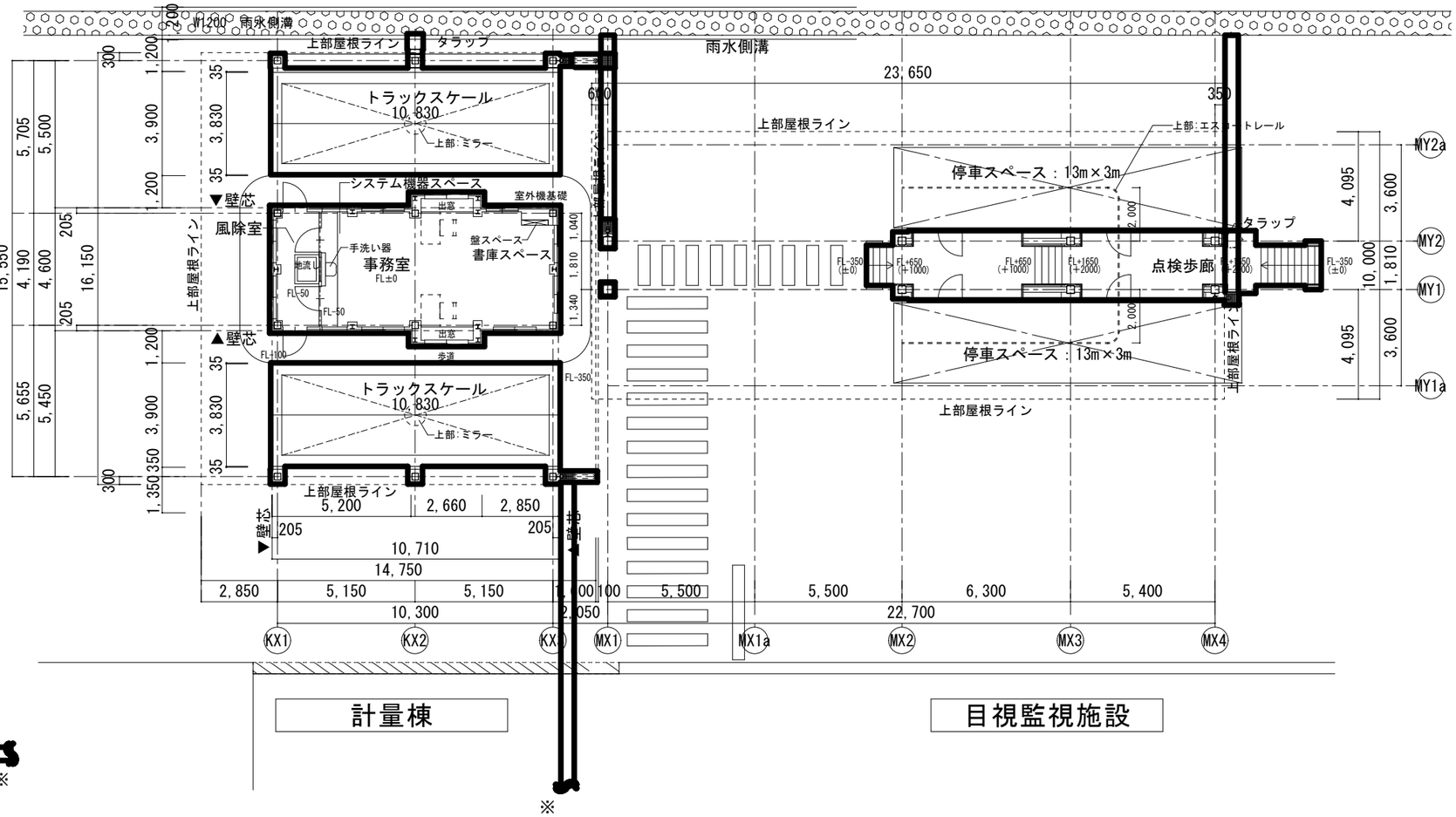
図面名　工事区分表

縮尺　A1:－　N.S　A3:－　N.S

図番　D-002

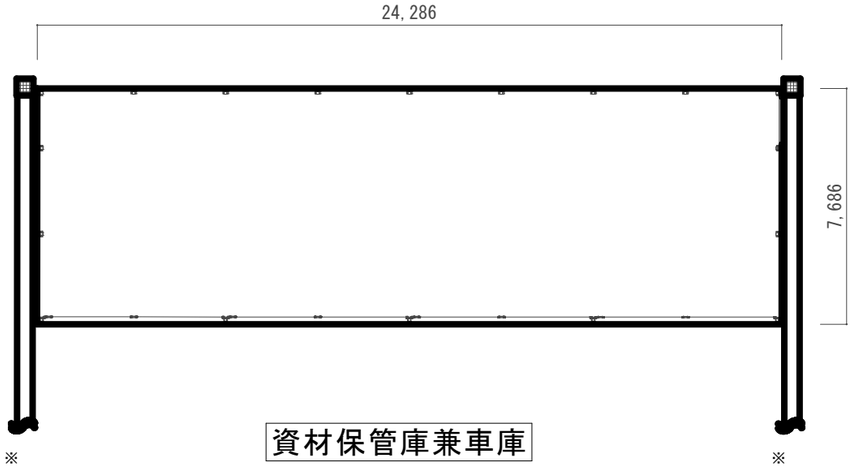


管理棟

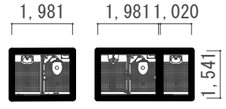


計量棟

目視監視施設



資材保管庫兼車庫



搬入業者用トイレ

N

工事対象範囲

※（外構工事範囲の桝まで繋ぎ込み）D-301雨水排水計画図（参照）

特記			1級建築士　登録番号　334246号　關　佑也	物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事
				図面名	建築工事範囲図
				縮尺	A1:1/100 A3:1/200
				図番	D-003

第R6-8号 新産業廃棄物最終処分場建設工事

設計図　　令和　6年　月(全　　枚)

特記仕様書

Ⅰ 工事概要

1. 工事場所　宮城県黒川郡大和町鶴巣大平・幕柳（地内）

2. 敷地面積　5,513.96㎡

3. 工事種目

(1)（管理棟 ）鉄骨造　2階建て　延床面積 624.68㎡	新築1棟
(2)（計量棟 ）鉄骨造　1階建て　延床面積 239.82㎡	新築1棟
(3)（目視監視施設）鉄骨造　1階建て　延床面積 234.00㎡	新築1棟
(4)（資材保管庫兼車庫）軽量鉄骨造　1階建て　延床面積 186.66㎡	新築1棟
(5)（搬入用案内用トイレ）	
（当初は建築確認申請対象外物件とし、その後、軽微変更届を提出し加えること。）	

4. 工事範囲

※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。

⊙「3. 工事種目」のうち 下記の表に該当工事なしと記載以外 の全てを工事範囲とする。

・「3. 工事種目」のうち ＿＿＿＿＿＿ の工事範囲は下記表のとおりとする。ただし、その他の工事種目は全て今回工事範囲とする。

工事種目	工事範囲
2 仮設工事	
3 土工事	構造図による
4 地業工事	構造図による
5 鉄筋工事	構造図による
6 コンクリート工事	構造図による
7 鉄骨工事	構造図による
8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	該当工事なし
9 防水工事	
10 石工事	該当工事なし
11 タイル工事	
12 木工事	
13 屋根及びとい工事	
14 金属工事	
15 左官工事	
16 建具工事	
17 カーテンウォール工事	該当工事なし
18 塗装工事	
19 内装工事	
20 ユニット及びその他の工事	
21 排水工事	
22 舗装工事	該当工事なし
23 植栽及び屋上緑化工事	該当工事なし

Ⅱ 建築工事仕様

1. 標準仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は，国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）」（以下「標準仕様書」という。）による。

2. 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は，電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。なお，電気設備工事の特記仕様書は（　／　）図，機械設備工事の特記仕様書は（　／　）図による。

3. 特記仕様書の表記

（1）項目は，番号に ○ 印の付いたものを適用する。

（2）特記事項は，⊙ 印の付いたものを適用する。

○ 印の付かない場合は，※印の付いたものを適用する。

⊙ 印と ◎ 印の付いた場合は，共に適用する。

（3）特記事項に記載の（　，　）内表示番号は，標準仕様書の当該項目，当該図又は当該表を示す。

章	項目	特記事項
1 一般共通事項	①適用基準等	図面，本特記仕様書，標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ⊙建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）　国土交通省大臣官房官庁営繕部 ⊙営繕工事写真撮影要領（平成28年版）　国土交通省大臣官房官庁営繕部 ⊙建築工事標準詳細図（令和4年版）（以下「標準詳細図」という） 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課 その他 ・ ・
	②工事実績情報システム（CORINS）への登録	(1.1.4) ※適用する
	③法令等の適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ⊙風圧力 風速（Vo= 30 m/s） 地表面粗度区分（・Ⅰ　・Ⅱ　⊙Ⅲ　・Ⅳ） ⊙積雪荷重 平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域　別表（二十）
	④工事の記録等	(1.2.4) 報告に用いる書式等 ⊙現場説明書による　・ ⊙標準仕様書1.2.4（4）により整備する工事写真については次による。 『営繕工事写真撮影要領（平成28年版）による工事写真撮影ガイドブック　建築工事編及び解体工事編　平成30年版』国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
	⑤電気保安技術者	(1.3.3) ※適用する
	⑥施工条件	(1.3.5) ※ 標準仕様書1.3.5（1）以外の施工条件については，現場説明書による。
	⑦発生材の処理等	(1.3.11) ⊙発注者に引渡しを要するもの ⊙現場説明書による　・ ⊙特別管理産業廃棄物の種類及び処理方法 ⊙現場説明書による　・ ⊙工事現場において再利用を図るもの及び再資源化を図るもの ⊙現場説明書による　・
	⑧材料の品質等	(1.4.2) （1）本工事に使用する材料は，設計図書に定める品質及び性能の他，通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 （2）備考欄に商品名が記載された材料は，当該商品又は同等品を使用するものとし，同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。 （3）標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については，材料製造所の指定する工法とする。 （4）本工事に使用する材料のうち，（5）に指定する材料の製造業者等は，次の①から⑥の事項を満たすものとし，その証明となる資料（外部機関[（一社）公共建築協会が発行する「建築材料・設備機材等品質評価事業」]の評価書の写し等）を監督職員に提出して承諾を受ける。ただし，あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。 ①品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③安定的な供給が可能であること。 ④法令等で定める許可，認可，認定又は免許を取得していること。 ⑤製造又は施工の実績があり，その信頼性があること。 ⑥販売，保守等の営業体制を整えていること。 （5）製造業者等に関する資料の提出を求める材料 ⊙（一社）公共建築協会の「建築材料・設備機材等品質評価事業」において評価書が発行されている材料 床型枠用鋼製デッキプレート，鉄骨柱下無収縮モルタル，無収縮グラウト材，押出成形セメント板，成形伸縮目地材，乾式保護材，セラミックタイル，既調合モルタル，既調合目地材，ルーフドレン，吸水調整材，防水剤，アルミニウム製建具（コンクリート系下地及び鉄骨下地），樹脂製建具（コンクリート系下地及び鉄骨下地），鋼製建具，鋼製軽量建具，ステンレス製建具，錠前類，クローザ類，自動ドア機構，自閉式上吊り引戸機構，重量シャッター，軽量シャッター，オーバーヘッドドア，ガラス，現場発泡断熱材，フリーアクセスフロア，可動間仕切、移動間仕切、トイレブース、煙突用成形ライニング材、天井点検口，床点検口、グレーチング、屋上緑化システム、トップライト、ポリマーセメントモルタル，錆鉄製ふた ・ ・
	⑨技能士	(1.5.2) 適用工事種類 ／ 職種 ／ 技能検定の作業の種別 仮設工事 ／ とび ／ ・とび作業 鉄筋工事 ／ 鉄筋施工 ／ ⊙鉄筋組立て作業 コンクリート工事 ／ 型枠施工 ／ ⊙型枠工事作業 コンクリート圧送施工 ／ ・コンクリート圧送工事作業 鉄骨工事 ／ 鉄工 ／ ・構造物鉄工作業 コンクリートブロック・ALCパネル及び押出成形セメント板工事 ／ ブロック建築 ／ ・コンクリートブロック工事作業 エーエルシーパネル施工 ／ ・エーエルシーパネル工事作業 防水工事 ／ 防水施工 ／ ⊙アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・改質アスファルトシート常温粘着工法防水工事作業 ・FRP防水工事作業 石工事 ／ 石材施工 ／ ・石張り作業 タイル工事 ／ タイル張り ／ ・タイル張り作業 木工事 ／ 建築大工 ／ ・大工工事作業 屋根及びとい工事 ／ 建築板金 ／ ⊙内外装板金作業 金属工事 ／ 内装仕上げ施工 ／ ・鋼製下地工事作業 建築板金 ／ ・内外装板金作業 左官工事 ／ 左官 ／ ・左官作業 建具工事 ／ サッシ施工 ／ ⊙ビル用サッシ施工作業 ガラス施工 ／ ・ガラス工事作業 自動ドア施工 ／ ・自動ドア施工作業 カーテンウォール工事 ／ カーテンウォール施工 ／ ・金属製カーテンウォール工事作業 サッシ施工 ／ ・ビル用サッシ施工作業 ガラス施工 ／ ・ガラス工事作業 塗装工事 ／ 塗装 ／ ⊙建築塗装作業 内装工事 ／ 内装仕上げ施工 ／ ・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ作業 ・ボード仕上げ工事作業 表装 ／ ・壁装作業 排水工事 ／ 配管 ／ ・建築配管作業 舗装工事 ／ 路面標示施工 ／ ・溶融ペイントハンドマーカー工事作業 ・加熱ペイントマシンマーカー工事作業 植栽工事 ／ 造園 ／ ・造園工事作業
	⑩化学物質の濃度測定	(1.5.9) ※適用する 測定時期　⊙現場説明書による　・ 測定対象化学物質 ⊙ ホルムアルデヒド，トルエン，キシレン，エチルベンゼン，スチレン ・ 測定方法　⊙パッシブ型採取機器による　・ 測定対象室及び測定箇所　・仕上げ表による　⊙管理事務室・理事長室・専務理事室
	⑪技術検査	(1.6.2) ・中間技術検査　実施回数（　）回 実施する段階（　）
	⑫完成時の提出図書	(1.7.1～1.7.3)（表1.7.1） 工事完成時の提出図書 ※標準仕様書1.7.2及び1.7.3による ⊙設計図書一式 完成図の提出　（　2　）部 提出仕様（○紙ベース　⊙電子データ　・　） 保全に関する資料の提出（　2　）部 提出仕様（○紙ベース　⊙電子データ　・　）
	⑬完成写真	工事完成時に次の写真を撮影し，監督職員に提出する。 撮影箇所（外部10ヵ所、内部20ヵ所） 撮影仕様（カラー　キャビネ　） 提出仕様（アルバム2部・データ　）
	⑭設計ＧＬ	⊙図示による　・
2 仮設工事	1 監督職員事務所	(2.3.1) ・設ける 規模，仕上げの程度，設備，並びに備品等の種類及び数量は現場説明書による。
	②工事用水	構内既存の施設　※利用できない　・利用できる（※有償　・無償）
	③工事用電力	構内既存の施設　※利用できない　・利用できる（※有償　・無償）
3 土工事（構造図による）	1 埋戻し及び盛土	(3.2.3)（表3.2.1）
		埋戻し及び盛土の材料及び工法 ※標準仕様書 表3.2.1による　・ ・Ａ種　施工箇所（　） ・Ｂ種　施工箇所（　） ・Ｃ種　施工箇所（　）土質（　）　受渡場所（　） ・Ｄ種　施工箇所（　）
	2 建設発生土の処理	(3.2.5) ※構外搬出適切処理 ・構内指定場所に堆積　・構内指定場所に敷均し
4 地業工事（構造図に依る）	1 試験及び報告書	・杭基礎　(4.2.1)(4.2.2)(4.3.4)(4.3.5)(4.5.5)(4.5.6) 支持地盤の位置及び土質（基礎ぐいの先端位置含む） ・図示による　・ 試験杭の位置 ・図示による　・ ・直接基礎　(4.2.1) 支持地盤の位置及び土質（基礎底部の位置含む） ・図示による　・ 試験掘り（根切り底の状態の確認等）　(3.2.1) ・行わない ・行う 位置等　・図示による　・ ・杭の載荷試験　(4.2.3) 載荷試験の方法 ・鉛直載荷試験 ・地盤工学会基準JGS（　）による　・ ・水平載荷試験 ・地盤工学会基準JGS 1831 による　・ ・ 試験の位置，本数，載荷荷重 ・図示による　・ 報告書の記載事項 ・ ・地盤の載荷試験　(4.2.4) 載荷試験の方法 平板載荷試験　・地盤工学会基準JGS 1521 による　・ 試験の位置，載荷荷重 ・図示による　・ 報告書の記載事項 ・
	2 既製コンクリート杭	種類　(4.3.3) ・遠心力高強度プレストレストコンクリート杭（PHC杭） ・プレストレスト鉄筋コンクリート杭（PRC杭） ・外殻鋼管付きコンクリート杭（SC杭） SC杭の鋼管材料　・SKK400　・SKK490 ・ 杭の種類，性能及び曲げ強度区分（種別），寸法，継手の箇所数等　(4.2.2)(4.3.3) 種類 ／ コンクリート強度(N/mm²) ／ 杭径(mm) ／ 厚さ(mm) ／ 杭長(mm) ／ 継手数 ／ セット数 ／ 長期設計支持力(kN/本) ／ 備考 試験杭 ／ 上杭 ／ 中杭 ／ 下杭 本杭 ／ 上杭 ／ 中杭 ／ 下杭 杭先端部形状　(4.3.3) ・開放形　・半開放形　・閉そく形　・ ・セメントミルク工法　(4.3.1)(4.3.4) 掘削深さ ・図示による　・ 杭の支持層への根入れ深さ ・図示による　・ 杭の水平方向の位置ずれ精度 ・杭径の1/4かつ100mm以下　・ 根固め液及び杭周固定液の管理試験 ※標準仕様書4.3.4(6)(ｺ)による　・ ・特定埋込杭工法　(4.3.1)(4.3.5) ・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式でα=250を採用できる工法 ・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式のうちα，β，γが以下の値を採用できる工法 α=（　），β=（　），γ=（　） 工法 ・プレボーリング拡大根固め工法 ・中掘り拡大根固め工法 ・ 杭継手工法　(4.3.3)(4.3.6)(7.2.5) ・アーク溶接継手 溶接材料 ・標準仕様書7.2.5(1)(2)による ・ ・機械式継手（継手部に接続金具を用いた方式のもの） 杭頭の処理　(4.3.8) ・処理しない ・処理する 処理方法（切断に伴う補強方法含む） ・図示による　・

特記

物件名	第R6-8号 新産業廃棄物最終処分場建設工事		
図面名	建築工事特記仕様書(1)	縮尺 A1:－ N.S A3:－ N.S	図番 D-004

4 地業工事〈続き〉

3 鋼杭地業

杭の種類（材料），寸法，継手等 (4.2.2)(4.4.3)(4.4.5)

		種類	杭径(mm)	厚さ(mm)	杭長(mm)	継手数	セット数	長期設計支持力(kN/本)	備考
試験杭	上杭								
	中杭								
	下杭								
本　杭	上杭								
	中杭								
	下杭								

・特定埋込杭工法 (4.3.5)(4.4.4)
・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式でα=250を採用できる工法
・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式のうちα，β，γが以下の値を採用できる工法
α=（　　），β=（　　），γ=（　　）
工法
・中掘り拡大根固め工法
・

杭の継手の工法 (4.4.3)(4.4.5)(7.2.5)
・アーク溶接継手
溶接材料
・標準仕様書 7.2.5(1)(2)による
・
・機械式継手

杭頭の処理 (4.4.6)
・処理しない
・処理する
処理方法（切断を伴う補強方法含む）
・図示による　・

4 場所打ち コンクリート杭地業

工法 (4.5.1)(4.5.4～4.5.6)
・アースドリル工法
・リバース工法
・オールケーシング工法
・場所打ち鋼管コンクリート杭工法
鋼管の種類　・SKK400　・SKK490　・
・拡底杭工法

寸法等 (4.2.2)(4.5.4)

	鋼管厚(mm)	鋼管径(mm)	軸径(mm)	拡底径(mm)	杭長(mm)	ｾｯﾄ数	長期設計支持力(kN/本)	備　考
試験杭								
本　杭								

・孔壁の確認（超音波測定器による） (4.5.5)
測定箇所
・試験杭（　）箇所，本杭（　）箇所　・
杭の支持層への根入れ深さ
・図示による　・
杭の水平方向の位置ずれ精度
・杭径の1/4かつ100mm以下　・

鉄筋の種類 (4.5.4)(5.2.1)

種類の記号	呼び径（mm）	備　考
・SD295		
・SD345		
・		

帯筋の加工及び組立 (4.5.4)
・図示による　・

鉄筋の最小かぶり厚さ (4.5.4)
・100mm　・

鉄筋かごの補強 (4.5.4)
・図示による　・

組み立てた鉄筋の筋ごとの継手 (4.5.4)(5.3.4)
※重ね継手　重ね継手の長さ　※標準仕様書 表5.3.2による　・
・

主筋の基礎底盤への定着長さ (4.5.4)(5.3.4)
・図示による　・

セメントの種類 (4.5.4)
※高炉セメントB種　・

コンクリートの設計基準強度 (4.5.4)
・図示による　・

コンクリートの種別 (4.5.4)(表4.5.1)
・A種　・B種
・評定等の内容による

スランプ (4.5.4)
・18cm　・21cm　・（　　）cm

構造体強度補正値（S） (4.5.4)
※3N/mm²
・図示による（　　）
・評定等の内容による

5 砂利地業

材料 (4.6.2)
・再生クラッシャラン　・切込砂利　・切込砕石
砂利の厚さ (4.6.3)
※60mm　・
範囲
・基礎下，基礎梁下，土に接するスラブ下，土間コンクリート下
・図示による　・

6 砂地業

材料 (4.6.2)
・シルト　・山砂　・川砂　・砕砂
砂の厚さ (4.6.3)
※60mm　・
範囲
・図示による　・

7 捨コンクリート地業

捨コンクリートの厚さ (4.6.4)
※50mm　・
範囲 (4.6.4)
・基礎下，基礎梁下，土に接するスラブ下
・図示による　・
コンクリートの種類 (4.6.4)(6.14.1)
※普通コンクリート　・
設計基準強度 (4.6.4)(6.14.1)
※18N/mm²　・
スランプ (4.6.4)(6.14.1)
※15cm又は18cm　・

8 床下防湿層

材料 (4.6.2)
※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上　・
範囲 (4.6.5)
・建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ピット下を除く）
・図示による　・

5 鉄筋工事（構造図に依る）

1 鉄筋

鉄筋の種類 (5.2.1)

種類の記号	呼び径(mm)	備　考
・SD295	・D16以下	
・SD345	・D19以上	
・		
・		

加工 (5.3.2)
・鉄筋の折曲げ角度が90°未満の折曲げ内法直径(D)（　　）以上

2 溶接金網

鉄線の形状等 (5.2.2)

種　類	種類の記号	網目の形状，寸法，鉄線の径(mm)	使用部位
・溶接金網			
・鉄筋格子			

3 鉄筋の継手及び定着

鉄筋の継手の方法等 (5.3.4)

部　位	継手の方法		呼び径(mm)
柱及び梁主筋	・ガス圧接 ・溶接継手	・機械式継手 ・重ね継手	・
耐力壁の鉄筋	・重ね継手	・	・
基礎，耐圧スラブ，土圧壁	・重ね継手	・ガス圧接	・
上記以外（　　）	・重ね継手	・	・

継手位置 (5.3.4)
・図示による　・
柱及び梁主筋の重ね継手の長さ (5.3.4)
※標準仕様書 表5.3.2による
・図示による　・
耐力壁の重ね継手の長さ (5.3.4)
※標準仕様書 5.3.4(3)(ｱ)による
・図示による　・
・先組み工法等で、柱及び梁の主筋のうち、隣り合う継手を同箇所に設ける場合
・図示による　・
鉄筋の定着長さ (5.3.4)
※標準仕様書表5.3.4による
・図示による　・
標準仕様書5.3.4(5)(ｲ)の場合の折り曲げ定着の方法
※標準仕様書 図5.3.3により5.3.4(5)(ｲ)を全て満足する
・
機械式定着工法 (5.3.4)
・適用する
適用箇所　・図示による　・
種類　・図示による　・

4 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔（溶接金網含む）

最小かぶり厚さ（目地底から算出を行う） (5.3.5)
※標準仕様書 表5.3.6による
柱及び梁の主筋にD29以上の使用の有無
・あり　使用箇所（　　）
主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する
軽量コンクリートの適用の有無
・あり　適用箇所（　　）
・最小かぶり厚さに加える厚さ　（　　）mm
・
耐久性上不利な個所の有無（塩害等を受けるおそれのある部分等）
・あり　適用箇所（　　）
・最小かぶり厚さに加える厚さ　（　　）mm
・
・図示による

5 各部配筋

各部配筋 (5.3.7)
・図示による　・

6 ガス圧接完了後の試験

抜取試験 (5.4.10)(5.4.11)
※超音波探傷試験　標準仕様書5.4.10(ｲ)(a)による
・引張試験
試験方法等　※標準仕様書5.4.10(ｲ)(b)による

6 コンクリート工事（構造図に依る）

1 コンクリートの類別等

コンクリートの種別 (6.2.1)(表6.2.1)
※Ⅰ類（JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート）
・Ⅱ類（JIS A 5308に適合したコンクリート）

・普通コンクリート (6.2.1～6.2.4)(表6.2.2)

設計基準強度(N/mm²)	スランプ(cm)	適用箇所
・24	※15又は18　・	基礎，基礎梁，土間スラブ
・24	※18　・	柱，梁，スラブ，壁
・	・	
・	・	
・	・	

・軽量コンクリート (6.2.1)(6.2.10)
（特記事項は，「9. 軽量コンクリート」に示す）

・建築基準法第37 条第二号の規定に基づき認定を受けたコンクリート (6.2.1)
適用箇所（・　　）

構造体強度補正値 (6.3.2)
※標準仕様書表6.3.2による
・

2 セメント

種類 (6.3.1)
※普通ポルトランドセメント，高炉セメントA種，シリカセメントA種又は
フライアッシュセメントA種
適用箇所（※下記以外全て　・　　）
・高炉セメントB種
適用箇所（・　　）
・フライアッシュセメントB種
適用箇所（・　　）
・普通エコセメント
適用箇所（・　　）
・再生骨材Hを使用する　適用箇所（　　） (6.3.1)
湿潤養生の期間（　　）日以上 (6.7.2)
型枠の最小存置期間（　　） (6.8.4)

3 骨材

フェロニッケルスラグ骨材、銅スラグ細骨材及び電気炉酸化スラグ骨材 (6.3.1)
・使用する　適用箇所（・　　）
アルカリシリカ反応性による区分 (6.3.1)
※A　・B

4 混和材料

・混和剤 (6.3.1)
混和剤の種類
※標準仕様書 6.3.1(4)(a)による　・

・混和材 (6.3.1)
混和材の種類
※標準仕様書 6.3.1(4)(b)による　・

標準仕様書6.3.2(ｲ)(f)の①～③以外の混和材料 (6.3.2)
・混和剤（　　）　・混和材（　　）
使用方法　・
使用量　・

5 打継ぎの位置，ひび割れ誘発目地，打継目地

打継ぎの位置 (6.6.4)
梁及びスラブ
※スパンの中央又は端から1/4の付近
・図示による　・
柱及び壁
※スラブ，壁梁又は基礎の上端
・図示による　・

目地の寸法（ひび割れ誘発目地を含む） (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3)
※標準仕様書 9.7.3(1)(ｱ)による
・図示による　・
ひび割れ誘発目地の位置，形状 (6.8.1)
・図示による　・

6 コンクリートの仕上り

合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6.2.5)(表6.2.4)

種　別	適　用　箇　所
・A種	・図示
・B種	・図示
・C種	・図示

コンクリートの仕上げの平たんさ (6.2.5)(表6.2.5)

種　別	適　用　箇　所
・a種	・図示
・b種	・図示
・c種	・図示

7 打増し厚さ（打放し仕上げ部）

打増し厚さ
・打放し仕上げの打増し厚さ（外部に面する部分に限る） (6.8.1)
・20mm　・
・打放し仕上げの打増し厚さ（内部に面する部分に限る）
・10mm　・20mm　・
打増し範囲
・図示による　・

8 型枠

せき板の材料 (6.8.2)
※標準仕様書6.8.2(1)(ｱ)，(ｲ)による
・合板（ 厚さ　※12mm　・　　）
・
・断熱材を兼用した型枠 (6.8.2)
使用箇所
・図示による　・
・MCR工法用シート (6.8.2)
適用箇所
・図示による　・
スリーブの材種・規格等 (6.8.2)
・図示による　・

9 軽量コンクリート

適用箇所 (6.10.1)
・図示による　・
種類 (6.10.1)(表6.10.1)
・1種　・2種
気乾単位容積重量
・（　　）t/m³
スランプ
※21cm　・

10 寒中コンクリート

適用期間 (6.11.1)
・図示による　・
構造体強度補正値(S) (6.11.2)
・標準仕様書6.11.2(3)(ｱ)による
・積算温度を基に定める　（　　）

11 暑中コンクリート

構造体強度補正値(S) (6.12.2)
※6N/mm²　・

12 マスコンクリート

適用箇所 (6.13.1)
・図示による　・

セメントの種類 (6.13.2)
・普通ポルトランドセメント
・中庸熱ポルトランドセメント
・低熱ポルトランドセメント
・高炉セメントB種
・フライアッシュセメントB種
・シリカセメント

混和材料
・混和剤 (6.13.2)
混和剤の種類
※標準仕様書6.13.2(2)(ｱ)による　・
混和剤の種類
※標準仕様書6.13.2(2)(ｲ)による　・
スランプ (6.13.2)
※15cm　・

構造体強度補正値（s） (6.13.2)
※標準仕様書 表6.13.1による　・

特記

物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事		
図面名	建築工事特記仕様書(2)	縮尺 A1:- N.S A3:- N.S	図番 D-005

6 コンクリート工事〈続き〉

13 無筋コンクリート

コンクリートの種類 (6.14.1)
※普通コンクリート ・

設計基準強度 (6.14.1)
※18(N/mm²) ・

スランプ (6.14.1)
※15cm又は18cm ・

適用箇所 (6.14.1)
・標準仕様書 6.14.1(4)による
・図示による ・

・標準仕様書 表6.2.1以外のコンクリートを用いる場合 (6.14.1)
( )

14 流動化コンクリート

適用箇所 (6.15.1)
・図示による ・

15 コンクリートの単位水量測定

(6.5.1)
・行う ・行わない
実施要領
(1)単位水量の測定は，150m³に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。
(2)単位水量の上限値は，標準仕様書6.3.2(4)(c)による。
(3)単位水量の管理目標値は次の通りとして，施工する。
1)測定した単位水量が，計画調合書の設計値（以下，「設計値」という。）±15kg/m³の範囲にある場合はそのまま施工する。
2)測定した単位水量が，設計値±15を超え±20kg/m³の範囲にある場合は，水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し，その運搬車の生コンは打設する。その後設計値±15kg/m³以内で安定するまで，運搬車の3台毎に1回，単位水量の測定を行う。
3)設計値±20kg/m³を超える場合は，生コンを打込まずに持ち帰らせ，水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m³以内であることを確認する。さらに，設計値±15kg/m³以内で安定するまで，運搬車の3台毎に1回，単位水量の測定を行う。
4)3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。
(4)単位水量管理についての記録を書面（計画調合書，製造管理記録，打込み時の外気温，コンクリート温度等）と写真により提出する。
(5)単位水量の測定方法は，高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)，エアメータ法又は静電容量測定法による。また，試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。

7 鉄骨工事（構造図に依る）

1 鉄骨製作工場

鉄骨製作工場の加工能力 (7.1.3)
・国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場
( )グレード以上
・監督職員の承諾する工場

2 施工管理技術者

※適用する (7.1.3)(7.1.4)

3 鋼材

材質等 (7.2.1)

種類の記号	適用箇所（主要な部分）	規格
		・JIS規格による ・
		・JIS規格による ・
		・JIS規格による ・
		・JIS規格による ・
		・JIS規格による ・
		・JIS規格による ・

形状及び寸法 (7.2.1)
・図示による ・
板厚方向に引張力を受ける鋼材の試験 (7.2.10)
・行う（適用箇所： ） ・行わない

4 高力ボルト

高力ボルトの種類 (7.2.2)
・トルシア形高力ボルト
・JIS形高力ボルト
・溶融亜鉛めっき高力ボルト
・建築基準法に基づき認定を受けた高力ボルト

ボルトの寸法 (7.2.2)
ねじの呼び ・図示による ・
ボルトの縁端距離，ボルト間隔，ゲージ等 (7.3.2)
・図示による ・

摩擦面の性能及び処理
・すべり試験 (7.4.2)
試験の方法等
・図示による ・
・溶融亜鉛めっき面の摩擦面の処理方法 (7.12.5)
※標準仕様書7.12.5(1)(ｱ)，(ｲ) による
・

JIS 形高力ボルトの締付け（本締め） (7.4.7)
ナット回転法の場合で、ボルトの長さがねじの呼びの5倍を超える場合の回転量
・図示による ・

5 普通ボルト

ボルト及びナットの材料 (7.2.3)
※標準仕様書 表7.2.3による ・
ボルトの形状及び寸法 (7.2.3)
ねじの呼び ・図示による ・

ボルトの縁端距離，ボルト間隔，ゲージ等 (7.3.2)
・図示による ・

母屋又は胴縁の取付けに使用するボルトの孔径 (7.3.8)
※ねじの呼び径＋1.0mm ・

6 アンカーボルト

種類 (7.2.4)
・構造用アンカーボルト
・ABR400 ・ABR490 ・
・建方用アンカーボルト
・SS400 ・ ・
アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度
※標準仕様書表7.2.3による ・

ボルトの縁端距離，ボルト間隔，ゲージ等 (7.3.2)
・図示による ・

7 溶接材料

溶接材料 (7.2.5)
・標準仕様書 7.2.5(1)(2)による
・図示による ・

8 ターンバックル

種類 (7.2.6)
建築用ターンバックルボルト
※羽子板ボルト ・
建築用ターンバックル胴
※割枠式 ・
ねじの呼び等 (7.2.6)
・図示による ・

9 床構造用デッキプレート

材質，形状及び寸法 (7.2.7)

	適用箇所	材質・形状・寸法	備 考
・デッキプレート単独の構法			
・デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構法			
・			

鉄骨部材への溶接方法 (7.7.8)
・図示による ・

10 スタッド

種類等 (7.2.8)

呼び名	呼び長さ（mm）	適 用 箇 所
・16		
・19		
・22		

11 柱底均しモルタル

・無収縮モルタル (7.2.9)(表7.2.5)
無収縮モルタルの材料，調合等
※標準仕様書7.2.9(2)による ・
・標準仕様書7.2.9(1)によるモルタル

12 鉄骨の仮組

※行う (7.3.10)
仮組を行う範囲
・図示による ・

13 溶接技能者の技量付加試験

試験の要領 (7.6.3)
・図示による ・

14 溶接接合

開先の形状 (7.6.4)
・図示による ・

鋼製エンドタブを切断する箇所及び切断範囲 (7.6.7)
・図示による ・
切断面の仕上げ
※標準仕様書7.6.7(1)(ｶ)(b)②による ・
スカラップの形状
・図示による ・

低応力高サイクル疲労を受ける部位 (7.6.7)
・図示による ・

15 溶接部の試験

溶接部の外観試験 (7.6.12)
平成12年建設省告示第1464号第二号に関する試験
試験の方法
・「 突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル（鉄骨製作管理技術者登録機構）」3.5.2 受入検査による。
・抜き取り検査① ※抜き取り検査②
・
JASS6付則6の付表3「溶接」に関する試験
試験の方法
・JASS 6 10.4【受入検査】e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし，完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は，超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。
・

・完全溶込み部の超音波探傷試験 (7.6.12)
・工場溶接の場合
AQQL(%) ※4.0 ・2.5

節	・全て			
検査水準	※第6水準			

16 錆止め塗装

塗料の範囲 (7.8.2)
耐火被覆材の接着する面の塗装範囲
・図示による ・
耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲
・標準仕様書7.8.2(1)による
・図示による
下記以外の塗料の種別は，18 章による
・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止めの塗料の種別 (表18.3.1)
※A種 ・B種
・耐火被覆が接着する面の塗料の種別
・

17 耐火被覆

種類，材料，工法等 (7.9.2～7.9.8)

種 類	材料・工法	耐火性能（時間）	適用箇所（部位・部分）
・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール		
	・半乾式吹付けロックウール		
	・湿式ロックウール		
	・		
	・		
・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板		
	・		
・耐火材巻付け	・高断熱ロックウール		
	・		
・ラス張りモルタル塗り	―		
・耐火塗料			

18 アンカーボルトの設置等

構造用アンカーボルトの形状及び寸法 (7.10.3)
・図示による ・

構造用アンカーフレームの形状及び寸法 (7.10.3)
・図示による ・

建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 (7.10.3)(表7.10.1)
種別 ・A種 ・B種

柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種別 (7.10.3)(表7.10.2)
厚さ ・ mm
種別 ※A種 ・

19 軽量形鋼構造

ボルト接合方法 (7.11.2)
・普通ボルト接合 ・

8 コンクリートブロック・ＡＬＣパネル及び押出成形セメント板工事

1 補強コンクリートブロック造

材料 (8.2.2)

断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ（mm）	モデュール呼び寸法（mm） 長さ	モデュール呼び寸法（mm） 高さ	化粧の有無	適用箇所	備考
※空洞ブロックC(16)				・無 ・有		
・				・無 ・有		
・				・無 ・有		

モルタルの調合（容積比） (8.2.3)
ブロックの区分がA(08)，B(12)，C(16)の場合で、目地巾が10mm程度の場合
※標準仕様書 表8.2.1による
上記以外の場合 ・

各部の配筋 ・図示による ・ (8.2.5)

目地仕上げ ・押し目地仕上げ ・化粧目地仕上げ (8.2.7)

まぐさを受ける開口部両側のブロックにおいて，モルタル又はコンクリートで充填する (8.2.8)
ブロックの範囲
・図示による ・

2 コンクリートブロック帳壁及び塀

材料 (8.3.2)(表8.3.1)

断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ（mm）	モデュール呼び寸法（mm） 長さ	モデュール呼び寸法（mm） 高さ	化粧の有無	適用箇所	備考
※空洞ブロックC(16)				・無 ・有	※表8.3.1	
・	・120 ・150			・無 ・有	※塀	
・				・無 ・有		

モルタルの調合（容積比） (8.3.3)
ブロックの区分がA(08)，B(12)，C(16)の場合で，目地巾が10mm程度の場合
※標準仕様書 表8.2.1による
上記以外 ・

鉄筋の継手，定着及び末端部の折り曲げ形状 (8.3.4)
・図示による ・

各部の配筋 ・図示による ・ (8.3.4)

3 ＡＬＣパネル

材料，構法 (8.4.2～8.4.5)(表8.4.2～表8.4.4)

パネルの区分 用途	形状	表面加工	単位荷重（N/m²）	厚さ（mm）	幅及び長さ（mm）	耐火性能（時間）	構法の種別
・外壁用	・一般 ・コーナー	・平 ・意匠		・100 ・	・図示	・有(1)	・A種 ・B種
・間仕切壁用	・一般 ・コーナー	・平 ・意匠		・100 ・	・図示	・有(1) ・無	・C種 ・D種 ・E種
・屋根版用	―	―		・100 ・	・図示	・有(0.5)	・F種
・床版用	―	―		・100 ・	・図示	・有( ) ・無	

パネル相互の接合部に挿入する耐火目地材 (8.4.2)
・図示による ・
・外壁パネル構法、屋根及び床パネル構法 (8.4.3)(8.4.5)
耐風圧性能 ( )
耐震性能 ( )
・間仕切壁パネル構法 (8.4.4)
耐震性能 ( )

パネル幅の最小限度（mm） (8.4.3)(8.4.4)(8.4.5)
・300 未満（・図示 ・ ）
パネルの短辺小口相互の接合部、出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取り合い部の伸縮目地の目地幅（mm） (8.4.3)(8.4.4)
※10～20mm ・図示による
伸縮目地への耐火目地材の充填 ・適用する ・適用しない (8.4.3)(8.4.4)

4 押出成形セメント板（ECP）

材料，工法 (8.5.2～8.5.4)(表8.5.1)(表8.5.2)

パネルの種類	形状	厚さ（mm）	幅（mm）	工法の種別	備考
・外壁パネル	・F（フラットパネル）	・50 ・60 ・	600	・A種 ・B種	
	・D（デザインパネル）	・50 ・60			
	・T（タイルベースパネル）	60			
・間仕切壁パネル	・F（フラットパネル）	・50 ・60 ・	600	・B種 ・C種	
	・D（デザインパネル）	・50 ・60			
	・T（タイルベースパネル）	60			

・外壁パネル工法 (8.5.3)
耐風圧性能 ( )
耐震性能 ( )
・間仕切壁パネル工法 (8.5.4)
耐震性能 ( )

耐火構造以外の目地及び隙間の処理 (8.5.3)(8.5.4)
※パネルの製造所の仕様による ・
パネル幅の最小限度（mm） (8.5.3)(8.5.4)
・300未満（・図示 ・ ）
パネルの相互の目地幅（mm） (8.5.3)(8.5.4)
長辺の目地幅 ・10以上 ・図示による
短辺の目地幅 ・15以上 ・図示による
出隅及び入隅のパネル接合部の伸縮目地の目地幅（mm） (8.5.3)(8.5.4)
※15 程度（シーリング材を充填） ・図示による
溝堀及び開口部の措置 (8.5.5)
やむを得ず設備開口等を設ける場合のパネルの開口寸法等の限度
・図示による ・

特記

物件名	第R6-8号 新産業廃棄物最終処分場建設工事		
図面名	建築工事特記仕様書(3)	縮尺 A1:― N.S A3:― N.S	図番 D-006

9 防水工事

①アスファルト防水

(9.2.2)(9.2.3)(表9.2.3～表9.2.6)

屋根保護防水
防水層の種別

種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート
・A-1			※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上又は
・A-2			フラットヤーンクロス70g/㎡程度
・A-3			・
・B-1			
・B-2			
⊙AI-1	ルーフバルコニー・室外機置場	（厚さ）	※フラットヤーンクロス　70g/㎡程度
・AI-2		・ 40 mm	・
・AI-3			
・BI-1			
・BI-2			

※加熱型改質アス塗膜防水工法　田島ルーフィング:HPXM-035R　同等品

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ　(9.2.2)
※標準仕様書　表9.2.3及び表9.2.4による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料構成による区分　・R種　・N種
厚さ　・　mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ　(9.2.2)
※標準仕様書　表9.2.5及び表9.2.6による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料構成による区分　・R種　・N種
厚さ　・　mm以上
押え金物の材質及び形状寸法　(9.2.2)
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度
・
立上り部への断熱材及び絶縁用シートの設置　(表9.2.4)(表9.2.6)
・適用する　・適用しない

屋根露出防水　(9.2.2)(9.2.3)(表9.2.7)(表9.2.8)
防水層の種別

種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量
・D-1			・	※製造所の仕様による
・D-2				・
・D-3				
・D-4		（種類） ・		
・DI-1		（厚さ）		
・DI-2		・25mm		

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ　(9.2.2)
※標準仕様書　表9.2.8による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料構成による区分　・R種　・N種
厚さ　・　mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ　(9.2.2)
※標準仕様書　表9.2.7及び表9.2.8による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料構成による区分　・R種　・N種
厚さ　・　mm以上
押え金物の材質及び形状寸法　(9.2.2)
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度
・
絶縁工法及び断熱絶縁工法の脱気装置の種類及び装置数量　(9.2.3)
種類　※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・
設置数量　※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・　個

屋内防水　(9.2.2)(9.2.3)(表9.2.9)
防水層の種別

種別	施工箇所	種別	施工箇所
・E-1		・E-2	

保護層　・設ける（ ※図示　・　　）　(9.2.3)
・設けない
E-1の工程3を行う場合の部位　(表9.2.9)
※貯水槽、浴槽等の常時水に接する部位
・

施工　(9.2.4)
防水層の下地のモルタル塗り　(9.2.4)
・適用する（施工範囲　・図示　・　　）
・適用しない
防水層の下地、立上りコンクリート打放し仕上げ　(9.2.4)
※標準仕様書　表6.2.4のB種　・
絶縁断熱工法のルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置　(9.2.4)
・図示による　・

保護層等の施工　(9.2.5)
平場の保護コンクリートの厚さ　(9.2.5)
こて仕上げ　※水下　80mm以上　・
床タイル張り　※水下　60mm以上　・
立上り部の保護工法　(9.2.5)
・乾式保護材
乾式保護材の材料　・　(9.2.2)
・コンクリート押え
・モルタル押え（屋内等）
・れんが押え（・図示　・　　）
れんがの材料
・JIS R 1250（普通れんが及び化粧れんが）　(9.2.2)
⊙保護板張り:t6アスファルト系砂付成型板張り(田島ルーフィング:パリキャップ同等品)
屋上排水溝の設置　(9.2.5)
⊙図示による　・

2 改質アスファルトシート防水

防水層の種別　(9.3.2)(9.3.3)(表9.3.1)(表9.3.3)

種別	施工箇所	断熱材	防湿層	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量
・AS－T1				・	※製造所の仕様
・AS－T2					による
・AS－T3					・
・AS－T4					
・AS－J1					
・ASI－T1		（種類） ・	・設ける		
・ASI－J1		（厚さ） ・ mm	・設けない		

改質アスファルトシートの種類及び厚さ　(9.3.2)
※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による　・
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ　(9.3.2)
※標準仕様書表9.3.2及び表9.3.3による　・
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ　(9.3.2)
※標準仕様書表9.3.2及び表9.3.3による　・
押え金物の材質及び形状寸法　(9.3.2)
※アルミニウム製　L-30×15×2.0mm程度　・

屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量　(9.3.3)
種類　※改質アスファルトシートの製造所の指定
・
設置数量　※改質アスファルトシートの製造所の指定
・　個

3 合成高分子系ルーフィングシート防水

防水層の種別　(9.4.2～9.4.4)(表9.4.1～表9.4.2)

種別	施工箇所	可塑剤移行防止シートの材質	断熱材	歩行の仕様	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量
・S-F1				※非歩行用	・	※製造所の
・S-F2				・軽歩行用		仕様による
・S-M1					・	※製造所の
・S-M2						仕様による
・SI-F1			（種類） ・		・	※製造所の
・SI-F2			（厚さ）			仕様による
・SI-M1			・ mm		・	※製造所の
・SI-M2		※発泡ポリエチレンシート ・				仕様による ・

屋内防水層の種別　(9.4.2～9.4.4)(表9.4.1～表9.4.2)

種別	施工箇所	保護層 平場のモルタル塗り 塗厚（mm）	保護層 平場のモルタル塗り 工法	保護層 立上り部の保護モルタル塗り厚さ
・S-C1	・	・	・床塗り ・下地モルタル塗り	※7mm以下 ・

ルーフィングシートの種類及び厚さ　(9.4.2)
※標準仕様書表9.4.1から表9.4.3による　・
固定金具の材質及び形状　(9.4.2)
材質　※防錆処理した鋼板，ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面及び両面に樹脂を積層加工したもの
・
厚さ(mm)　※0.4以上
・
接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量　(9.4.3)
種類　※ルーフィングシートの製造所の仕様
・
設置数量　※ルーフィングシートの製造所の仕様
・　個
断熱工法（SI-M1，SI-M2の場合）の防湿用フィルム　(表9.4.2)
・設置する　・設置しない

接着工法の場合のＰＣコンクリート部材防水下地の目地処理　(9.4.4)
・行う（・図示　・　　）　・行わない
ＰＣコンクリート下地の入隅部の増張り　(9.4.4)
(S-F1，SI-F1の場合)
・行う（・図示　・　　）　・行わない
機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け　(9.4.4)
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
・図示による　・

④塗膜防水

防水層の種別　(9.5.3)(表9.5.1)(表9.5.2)

種別	施工箇所	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	保護層
・X-1		・	※製造所の仕様による ・	
⊙X-2	・図示による	・2液形ウレタン樹脂上塗材	※製造所の仕様による ・	
・Y-1	・地下外壁防水 ・			
・Y-2	・屋内防水 ・			・ ・

ウレタンゴム系塗膜防水 X-1（絶縁工法）の脱気装置の種類及び設置数量　(9.5.3)
種類　※主材料の製造所の仕様　・
設置数量　※主材料の製造所の仕様　・　個

5 ケイ酸質系塗布膜防水

防水層の下地（壁及び天井）　(9.6.4)
※コンクリート打放し仕上げ（標準仕様書 表6.2.4のB種）
・
下地処理　(9.6.4)
コンクリートの打継箇所の処理
※標準仕様書9.6.4(2)(ｱ)による　・
標準仕様書9.6.4(2)(ｲ)及び(ｳ)以外の下地処理
・図示による　・

⑥シーリング

材料　(9.7.2)
種類及び施工箇所
※下表以外は，標準仕様書 表9.7.1による
ただし，外壁タイル接着剤張りの場合のシーリングは11章に，カーテンウォールの場合のシーリングは17章による。

施工箇所	シーリング材の種類（記号）

仕上げを行わない施工箇所（　　）

シーリング材の目地寸法　(9.7.3)
※標準仕様書9.7.3(1)による　・
接着性試験　(9.7.5)
※簡易接着性試験　・引張接着性試験　・

10 石工事

1 施工

石材の割付け　・図示による　・　(10.1.3)

2 石材等

天然石　(10.2.1)(表10.2.1)(表10.2.2)

施工箇所	岩石の種類	形状及び寸法	表面仕上げの種類	バフ仕上げの有無	備考
	・	・図示による			

テラゾブロック　(10.2.1)(表10.2.1)(表10.2.2)

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	形状による区分	仕上げ面による区分	寸法(mm)	表面仕上げの種類	備考
	※大理石 ・花こう岩	※1.5～12 ・	・平もの ・役もの	・片面 ・両面			

テラゾタイル

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	寸法による区分（mm）	表面仕上げの種類	備考
	※大理石 ・花こう岩	※1.5～12 ・	・300×300 ・400×400		

取り付用モルタル，既調合の目地用モルタル，浸透性吸水防止剤，石裏面処理材，裏打ち処理材，金物の固定に使用する充填材料
※専門工事業者の指定する製品　・　(10.2.3)

3 外壁湿式工法

受金物　材質　※ステンレス（SUS304）製　・　(10.2.2)
形状及び寸法
※ L-75×75×6（mm）
（・長さ＝100mm　・長さ＝150mm）
・
アンカーの材質及び寸法　(10.2.2)
材質：※SS400　・　寸法：
あと施工アンカーの種類，材質及び寸法
種類：　材質：　寸法：
上記以外の金物の材質，形状及び寸法
・図示による　・

ドレンパイプの材質　(10.2.3)
・樹脂ネット製パイプ　クロスメッシュ巻き　25～35φ
・

石材の厚さ（mm）　・　(10.3.2)
石裏面処理　・適用する　・適用しない
裏打ち処理　・適用する　・適用しない
下地ごしらえ　※あと施工アンカー・横筋流し工法　(10.3.3)
・流し筋工法
・あと施工アンカー工法
目地　一般目地　目地幅（mm）　※6以上　・　(10.3.3)
シーリング材　・適用する　・適用しない
伸縮調整目地
位置　※標準仕様書 表11.1.1による
・図示による
シーリング材の目地寸法
※幅・深さとも10mm以上
・図示による

4 内壁空積工法

受金物　材質　※ステンレス（SUS304）製　・　(10.2.2)
形状及び寸法
※ L-75×75×6（mm）
（・長さ＝100mm　・長さ＝150mm）
・
アンカーの材質及び寸法　(10.2.2)
材質：※SS400　・　寸法：
あと施工アンカーの種類，材質及び寸法
種類：　材質：　寸法：
上記以外の金物の材質，形状及び寸法
・図示による　・

石材の厚さ（mm）　・　(10.4.2)
石裏面処理　・適用する　・適用しない
裏打ち処理　・適用する　・適用しない
下地ごしらえ　※あと施工アンカー・横筋流し工法　(10.4.3)
・あと施工アンカー工法
目地　一般目地　目地幅（mm）　※6以上　・　(10.4.3)
シーリング材　・適用する　・適用しない
伸縮調整目地
位置　※6m程度ごと
・図示による
シーリング材の目地寸法
※幅・深さとも10mm以上
・図示による

5 外壁乾式工法

外壁乾式工法の方式による金物の種類，形状，寸法等　(10.2.2)
※標準仕様書 表10.2.4による
方式　・スライド方式　・ロッキング方式
・図示による

アンカーの材質及び寸法　(10.2.2)
材質：※ステンレス（SUS304）製　・　寸法：
あと施工アンカーの種類，材質及び寸法
種類：　材質：　寸法：
上記以外の金物の材質，形状及び寸法
・図示による　・

石材の厚さ（mm）　・　(10.5.2)
だぼ用の穴の位置
※標準仕様書10.5.2(2)(ｱ)による　・図示による
裏打ち処理　・適用する　・適用しない
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法　(10.5.3)
・図示による　・
目地　目地幅（mm）　※8以上　・　(10.5.3)
シーリング材　・適用する
（※標準仕様書9.7による　・図示 ）
・適用しない

6 床及び階段の石張り

石材の厚さ（mm）　床（　），階段（　）　(10.6.2)(10.6.3)
床石張り　(10.6.2)
浸透性吸水防止剤　・適用する　・適用しない
石裏面処理　・適用する　・適用しない
裏打ち処理　・適用する　・適用しない
階段張り　(10.6.3)
石裏面処理　・適用する　・適用しない
目地　一般目地　目地幅（mm）　(10.6.2)(10.6.3)
・図示による　・
シーリング材　・適用する　・適用しない
伸縮調整目地
位置　※床面積30㎡程度ごと，細長い通路の場合6m程度ごと及び他部材との取り合い部
・図示による
シーリング材の目地寸法
※幅・深さとも10mm以上
・図示による

7 笠木，甲板等の石張り

取付け工法　(10.7.2)(10.2.2)
・湿式工法　・乾式工法
湿式工法の取付け金物　・標準仕様書10.2.2(1)による
・図示による
乾式工法の取付け金物　・標準仕様書10.2.2(2)による
・図示による
方式・スライド方式　・ロッキング方式
特殊部位用金物　・標準仕様書10.2.2(3)による
・図示による
ファスナー　・図示による
アンカーの材質及び寸法　(10.2.2)
湿式工法の材質：※ステンレス（SUS304）製　・
寸法：
乾式工法の材質：※SS400　・
寸法：
あと施工アンカーの種類，材質及び寸法
種類：　材質：　寸法：
上記以外の金物の材質，形状及び寸法
・図示による　・

石材の厚さ（mm）　・　(10.7.2)
石裏面処理　・適用する　・適用しない
乾式工法の場合の取付け代　※標準仕様書10.5.3(2)による
・
石裏の補強用モルタル　・適用する　・適用しない
目地　(10.7.2)
湿式工法の場合
一般目地　目地幅（mm）　※6以上　・　(10.3.3)
シーリング材　・適用する　・適用しない
伸縮調整目地
位置　※標準仕様書 表11.1.1による
・図示による
シーリング材の目地寸法
※幅・深さとも10mm以上
・図示による
乾式工法の場合
目地幅（mm）　※8以上　・　(10.5.3)
シーリング材　・適用する（※標準仕様書9.7による　・図示）
・適用しない

8 隔て板

石材の厚さ（mm）　※40　・　(10.7.3)

特記

物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事		
図面名	建築工事特記仕様書(4)	縮尺 A1:- N.S A3:- N.S	図番 D-007

11 タイル工事

① 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地

位置　※標準仕様書 表11.1.1による　(11.1.3)
・図示による

② 見本焼、試験施工

見本焼き　・行う　⊙行わない　(11.1.4)
試験張り　・行う　⊙行わない

③ セメントモルタルによるタイル張り

タイルの形状，寸法等　(11.2.2) (11.2.3) (11.2.6)

施工箇所	種類	形状寸法 (mm)	吸水率による区分 I類	II類	III類	うわぐすり 加ゆう	無ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	耐滑り性	備考
・図示による	磁器質	300角	⊙	・	・	⊙	・	⊙	・	⊙	・	⊙	・	⊙	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

既調合モルタル　(11.2.3)
⊙既調合モルタルの製造所の仕様による
・

下地モルタル塗りのコンクリート素地面の下地処理方法　(11.2.6)
⊙目荒し工法（標準仕様書15.3.4(4)による）
・MCR工法（標準仕様書6.8による）
・

壁タイル張りの工法　(表11.2.3)
内装タイル　・密着張り　・改良圧着張り
内装タイル以外のユニットタイル　・マスク張り　・モザイクタイル張り

4 有機系接着剤によるタイル張り

タイルの形状，寸法等　(11.3.2～11.3.4) (11.3.7)

施工箇所	種類	形状寸法 (mm)	吸水率による区分 I類	II類	III類	うわぐすり 加ゆう	無ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	耐滑り性	備考
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

接着剤のホルムアルデヒド放散量　(11.3.3)
※ Ｆ☆☆☆☆ ・
外装タイルにおける目地詰め　(11.3.5)
・行う　・行わない
目地のシーリング材　(11.3.4)
打継ぎ目地　※ポリウレタン系シーリング材　・
ひび割れ誘発目地　※ポリウレタン系シーリング材　・
伸縮調整目地　※変成シリコーン系シーリング材　・
その他の目地　※変成シリコーン系シーリング材　・

下地調整塗材塗りを行うコンクリート素地面の下地処理方法　(11.3.5)
・目荒し工法（標準仕様書15.3.4(4)による）
・MCR工法（標準仕様書6.8による）
・

12 木工事

1 施工一般

ホルムアルデヒド放散量　(12.2.1)
※標準仕様書12.12.1(9)のいずれかによる ・

2 製材

・「製材の日本農林規格」による下地用製材　(12.2.1)(表12.2.1)

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理
		※2級 ・	※A種　・B種 ・	
		※2級 ・	※A種　・B種 ・	

・「製材の日本農林規格」による造作用製材　(12.2.1)(表12.2.1)

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理
見え掛り面		※上小節 ・	※A種　・B種 ・	
見え掛り面以外		※小節以上 ・	※A種　・B種 ・	
			※A種	

・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材　(12.2.1)(表12.2.1)

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理
		※1等 ・	※10%以下 ・A種　・B種	
		※1等	※10%以下	

・「製材の日本農林規格」以外の製材　(12.2.1)(表12.2.1)(表12.2.2)(12.2.3)

施工箇所	寸法 (mm)	材面の品質	含水率	防虫処理
		（　　）造作材の場合（※A種　・B種）	※A種　・B種 ・	・行う ・行わない
		（　　）造作材の場合（※A種　・B種）	※A種　・B種 ・	・行う ・行わない

3 造作用集成材

・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材　(12.2.1)

施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面	見付け材面の品質
					※1等　・2等
					※1等　・2等

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材　(12.2.1)

施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面	見付け材面の品質
		化粧薄板：芯材：				※1等　・2等
		化粧薄板：芯材：				※1等　・2等

④ 造作用単板積層材

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材　(12.2.1)

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率 (%)
				※15以下 ・
				※15以下 ・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材　(12.2.1)

施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率
	化粧薄板：芯材：				※15以下 ・
	化粧薄板：芯材：				※15以下 ・

・「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材　(12.2.1)(12.3.1)

施工箇所	品名	寸法 (mm)	表面の品質（表面の化粧加工）	防虫処理
			・有り（加工：・天然木化粧加工 ・塗装加工） ・無し（等級：・1等　・2等　・3等）	・行う ・行わない

⊙「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材　(12.2.1)(12.3.2)

施工箇所	寸法 (mm)	表面の品質（表面の化粧加工）	含水率	防虫処理
造作家具	図示	⊙有り（加工：・天然木化粧加工 ・塗装加工） ・無し（　　）	※14%以下 ・	・行う ⊙行わない

・ＣＬＴ（直交集成板）　(12.2.1)

施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能（使用環境）	樹種名	寸法 (mm)

5 合板等

・「合板の日本農林規格」による普通合板　(12.2.1)(12.3.2)

施工箇所	品名	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理
		※5.5 ・		※1類 ・2類	広葉樹　・1等　※2等以上 針葉樹　※C-D以上　・	・行う ・行わない
		・			・	

・「合板の日本農林規格」による構造用合板　(12.2.1)(12.3.2)

施工箇所	品名	厚さ (mm)	等級	単板の樹種名	板面の品質	保存処理	防虫処理	強度等級
		※12 ・	・1級 ※2級以上		・ ※C-D以上		・行う ・行わない	
		※12 ・	・1級 ※2級以上		・適用する		・行う ・行わない	

接着の程度　常温湿潤状態となる場所での使用
※特類　・
その他の場合
※1類以上　・

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板　(12.2.1)(12.3.2)

施工箇所	品名	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理
				・1類 ・特類	・行う ・行わない

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板　(12.2.1)(12.3.2)

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ (mm)	接着の程度	防虫処理
			・1類　・2類	・行う ・行わない

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板　(12.2.1)(12.3.2)

施工箇所	品目	厚さ (mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理
			・1類 ・2類		・オーバーレイ ・プリント ・塗装	・行う ・行わない

・パーティクルボード　(12.2.1)

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ (mm)
		※13タイプ ・	※MR1(M)又はMR2(P)タイプ ・		※15 ・

・構造用パネル　(12.2.1)

施工箇所	品　名	寸法(mm)

・ＭＤＦ　(12.2.1)

施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分

6 接合具等

造作材の化粧面の釘打ち　(12.2.2)
・適用する（※隠し釘打ち　・　）　・適用しない
請金物の形状，寸法及び材質　(12.2.2)(表12.2.3～表12.2.5)
※標準仕様書12.2.2(2)(ｱ)による ・
接着剤（木れんが用接着を含む）のホルムアルデヒド放散量　(12.2.2)(12.2.3)
※Ｆ☆☆☆☆ ・

7 防腐・防蟻処理

・薬剤による防腐・防蟻処理を省略できる樹種による製材　(12.3.1)
適用部材：（　　）

・工場における薬剤の加圧注入処理による防腐・防蟻処理　(12.3.1)

適用部材	保存処理性能区分
	・Ｋ２　・Ｋ３　・Ｋ４
	・Ｋ２　・Ｋ３　・Ｋ４

・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理　(12.3.1)

適用部材	処理の方法	薬剤の種類
	※薬剤の製造所の仕様による ・	・
	・	・

・薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理　(12.3.1)
適用部材：（　　）

・合板等の加圧注入処理等による防腐・防蟻処理　(12.3.1)
適用部材：（　　）

8 間仕切軸組に用いる木材

※（製材を用いる場合）杉又は松　・　(12.4.1)

9 床組に用いる木材

※（製材を用いる場合）杉又は松　・　(12.4.1)

10 窓，出入口，その他に用いる木材

※（製材を用いる場合）吊元枠、水掛りの下枠及び敷居は、ひのき、その他は、松又は杉 (12.5.1)
・

11 絶甲板及び上がまちに用いる木材

※（製材を用いる場合）ひのき　・　(12.6.1)

12 壁及び天井に用いる木材

※（製材を用いる場合）杉又は松　・　(12.7.1)

13 屋根及びとい工事

① 長尺金属板葺

材料　(13.2.2)(13.2.3)(表13.2.1)

施工箇所	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性の種類、めっき付着量等	厚さ (mm)	屋根葺形式	葺板の寸法・厚さ	下地	留め付け方法
エントランス庇	※JIS G 3322の屋根用ｶﾗｰ ・		図示	・立て平葺 ・心木なし瓦棒葺 ・横葺 ・縦葺フラット	0.9	硬質木毛セメント板	

下葺材料　・アスファルトルーフィング940
⊙改質アスファルトルーフィング下葺材
・一般タイプ
・複層基材タイプ
⊙粘着層付タイプ　田島ルーフィング(株)：タディスセルフアーマー（同等品）

工法　(13.2.3)
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
⊙図示による　・
横葺の場合のけらば納め
・つかみ込み納め　・けらば包み納め
雪止め　⊙設置する（・図示　・　）

② 折板葺

材料　(13.3.2)(表13.2.1)

施工箇所	形式	山高，山ﾋﾟｯﾁによる区分 山高	山ﾋﾟｯﾁ	耐力による区分	材料による区分	厚さ (mm)	軒先面戸板
図示	・はぜ締め形	120	550	（　）種	※鋼板製 ・	上弦t0.8 下弦t0.8	⊙有り ・無し

材質の種類（　カラーガルバリウム鋼板　）
塗膜の耐久性の種類，つき付着量等（　　）
断熱材　⊙有り（種別：グラスウール24K/㎥ 厚さ(mm)：100　防火性能：　時間）
・無し
工法　(13.3.3)
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
・図示による　・
耐雪性能に応じた工法
⊙適用する（⊙図示　・　）　・適用しない
折板のけらば納め　※けらば包みによる方法　・

3 粘土瓦葺

材料　(13.4.2)

施工箇所	種類 製法による区分	形状による区分	寸法による区分	大きさ	産地	役物瓦の種類	雪止め瓦

JIS A 5208 に基づく凍害試験　・行う　・行わない
瓦桟木　材質　※杉　・
寸法　※幅21×高さ15(mm)以上　・
棟補強用心材　材質　※杉　・
寸法　※幅40×高さ30(mm)以上　・
瓦緊結用釘又はねじ　種類　・
径　・
長さ　・
棟補強等に使用する金物等
材質　・ステンレス製
・溶融亜鉛めっき処理を行った鋼製
形状　・
寸法　・
留め付け方法　・

工法　(13.4.3)
建築基準法に基づき定まる風圧力又は地震力に対応した瓦の緊結方法などの工法
風圧力　・図示による　・
地震力　・図示による　・
・適用しない
瓦緊結用釘又はねじの有効長さの最小値（　　）mm
瓦桟木の留付け工法　・図示による　・
棟の工法　・7寸丸伏せ棟又はF型用冠瓦伏せ棟
・のし積み棟　・
面戸，雀口，葺土の露出する瓦接合部に仕上げを施す場合
・モルタルによる　・瓦葺き用しっくいによる

④ とい

材料　(13.5.2)(表13.5.1)
といの材種　・配管用鋼管　⊙硬質ポリ塩化ビニル管
・
⊙表面処理鋼板
・表面及び裏面の塗膜の種類（　　）
⊙耐酸被覆鋼板　・
とい受金物
とい受金物の材種，形状，取付け間隔
※標準仕様書 表13.5.2による　・
足金物の材種，形状，取付け間隔
※標準仕様書 表13.5.2による　・
⊙多雪地域の場合の軒どいの取付間隔0.5m以下
・図示による
防露材のホルムアルデヒド放散量
※Ｆ☆☆☆☆　・

工法　(13.5.3)
・鋼管製といの場合の防露巻きの工法
※標準仕様書 表13.5.4による　・

⑤ ルーフドレイン

JCW 301によるルーフドレインの種類及び呼び　(13.5.2)

種　類		呼　び	施工箇所
・ろく屋根用たて形Ⅰ型	ねじ込み式	・	
⊙ろく屋根用横形Ⅰ型	ねじ込み式	・100	ルーフバルコニー・室外機置場
・バルコニー中継用	・ねじ込み式 ・差し込み式	・	
・バルコニー用	・ねじ込み式 ・差し込み式	・	
・		・	

特記

物件名　第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事
図面名　建築工事特記仕様書(5)
縮尺　A1:－　N.S　A3:－　N.S
図番　D-008

14 金属工事

① アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

表面処理 (14.2.1)(表14.2.1)

種　別	施工箇所（成型板，笠木，建具以外）	色合い等
・AB-1種		
・AB-2種		
・AC-1種		
・AC-2種		
・BA-1種		
・BA-2種		
・BB-1種		
・BB-2種		
・BC-1種		
・BC-2種		
⊙C種	エントランス庇	

・常温乾燥形の塗装の場合（　　）

陽極酸化皮膜の着色方法 (14.2.1)
※二次電解着色　・三次電解着色

② 鉄鋼の亜鉛めっき

鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.2)(表14.2.2)

表面処理方法	種　別	施工箇所（手すり，タラップ以外）
溶融亜鉛めっき	・A種	
	・B種	
	⊙C種	屋外階段、庇フレーム、計量槽の外部の柱・梁、目視監視棟全ての鉄部など
電気亜鉛めっき	・D種	
	・E種	
	・F種	

③ 軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類 (14.4.2)(表14.4.1)
屋外　※25型　・19型
屋内　※19型　・25型
・屋外の場合の形式及び寸法
野縁受，つりボルト，インサートの間隔及び周辺部端からの距離
・図示による　・
野縁の間隔
・図示による　・
工法
・つりボルトの間隔が900㎜を超える場合
補強方法　・図示による　・
・天井のふところが3.0mを超える場合
補強方法　・図示による　・
・天井下地材における耐震性を考慮した補強
補強箇所，補強方法　・図示による　・
⊙屋外の軒，ピロティ等の天井における耐風圧性を考慮した補強
補強箇所，補強方法　・図示による　⊙平成12年建設省告示第1458号による耐風圧での補強

④ 軽量鉄骨壁下地

スタッド，ランナーの種類 (14.5.3)
※標準仕様書表14.5.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類
・図示による
スタッドの高さが5.0mを超える場合
・図示による　・
出入口及びこれに準ずる開口部の補強 (14.5.4)
※標準仕様書14.5.4(5)による　・図示による

5 金属成形板張り

種別　・図示による　・ (14.6.2)
表面処理　・図示による　・

取付け用下地 (14.6.3)
※標準仕様書14.4による　・図示による
伸縮調整継手　・設ける（施工箇所　・図示　・　） (14.6.3)
・設けない

⑥ アルミニウム製笠木

部材の種類 (14.7.2)(表14.7.1)
種類　⊙250形　・300形　・350形　・400形　・450形　⊙500形
表面処理　種別（　BB-2　）種 (14.7.2)(表14.2.1)
色合等　⊙標準色（ ブラック　）
・特注色（　）
笠木の固定金具の工法等
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
⊙図示による　⊙施工時に強度計算を行うこと

15 左官工事

1 ラス系下地

下地の種類 (15.2.4)
・通気工法　（・二層下地　・単層下地 ）
・直張り工法（・ラスモルタル下地　・ラスシートモルタル下地 ）
・図示による（外張断熱工法で断熱材の外側に野縁を施工する形式の通気工法を行う場合）
材料 (15.2.4)
ラス材及び補強用平ラス
材料記号（※K　・　）
種類及び単位面積当たりの質量
・二層下地通気構法
・波形ラス（W700）　・こぶラス（K800）　・力骨付きラス（BP700）
・単層下地通気構法
・リブラスC（RC800）にターボン紙などの裏打ち材と一体化したラス
・
ラスシートの山高、山ピッチ、質量及び溶接ピッチによる区分
※LS4（耐力壁の場合）　・
ステープルの形状及び寸法
リブラス
※L925TS以上（リブラスC（RC800）の場合）　・
波形ラス
※L1019JS以上（波形ラス（W700）の場合）　・
施工 (15.2.4)
二層下地通気構法
換気口部の措置　※講ずる　・
直張り工法（ラスシートモルタル下地の場合）
建築基準法に基づく耐力壁として使用する場合のラスシートの施工
・図示による　・

2 せっこうボード，その他のボード下地

材料 (15.2.5)
せっこうボード，せっこうラスボード及び木質系セメント板の種類及び厚さ
せっこうボード　種類（　）　厚さ（　㎜）
せっこうラスボード　種類（　）　厚さ（　㎜）
木質系セメント板　種類（　）　厚さ（　㎜）

3 こまい下地

建築基準法に基づく耐力壁の指定　・なし　・あり (15.2.6)

4 木ずり下地

材料 (15.2.7)
木ずり用小幅板の材種　※杉（心去り材）　・

5 モルタル塗り

モルタル　・現場調合材料　・既調合材料 (15.3.2)
既製目地材　・設ける　施工箇所（　）　形状（・図示　・　） (15.3.2)
・設けない
床の目地 (15.3.5)
・設ける　目地割　※2㎡程度（最大目地間隔3m程度）　・
種類　※押し目地　・
・設けない
外装タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験
・行う　・行わない

⑥ 仕上塗材仕上げ

建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 (15.6.2)
※F☆☆☆☆　・

材料 (15.6.2)
・薄付け仕上塗材 (表15.6.1)(その1)

呼び名	仕上げの形状	工　法	吸放湿性	防火材料
・外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・吹付け ・ローラー塗り		・適用する ・適用しない
・可とう形外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・吹付け ・ローラー塗り		・適用する ・適用しない
・外装薄塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・さざ波状 ・着色骨材砂壁状	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り		・適用する ・適用しない
・可とう形外装薄塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・さざ波状	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り		・適用する ・適用しない
・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状 ・さざ波状 ・凹凸状	・吹付け ・ローラー塗り		・適用する ・適用しない
・外装薄塗材S	・砂壁状	・吹付け		・適用する ・適用しない
・内装薄塗材C ・内装薄塗材L	・凹凸状 ・平たん状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない
・内装薄塗材Si ・内装薄塗材E	・砂壁状じゅらく ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・さざ波状	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない
・内装薄塗材Ⅲ	・京壁状じゅらく ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状	・吹付け ・こて塗り	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない

・厚付け仕上塗材 (表15.6.1)(その2)

呼び名	仕上げの形状	工　法	吸放湿性	防火材料
・外装厚塗材C	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・吹付け ・こて塗り		・適用する ・適用しない
・外装厚塗材Si ・外装厚塗材E	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り		・適用する ・適用しない
・内装厚塗材C	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・吹付け ・こて塗り	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない
・内装厚塗材L	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・こて塗り	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない
・内装厚塗材G	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・こて塗り	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない
・内装厚塗材Si ・内装厚塗材E	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない

外装厚塗材C における上塗材がセメントスタッコ以外の場合（　　）
外装厚塗材Si，外装厚塗材E における上塗材の適用
・適用する　・適用しない

・複層仕上塗材 (表15.6.1)(その3)
・軽量骨材仕上塗材

呼び名	仕上げの形状	工　法	耐候性	防火材料
・複層塗材CE ・複層塗材RE ・複層塗材Si ⊙複層塗材E	・凸部処理 ・凹凸状 ⊙ゆず肌状	・吹付け ⊙ローラー塗り	⊙耐候形3種 ・	・適用する ⊙適用しない
・可とう形複層塗材CE	・凸部処理 ・凹凸状 ・ゆず肌状	・吹付け ・ローラー塗り	・耐候形3種 ・	・適用する ・適用しない
・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材RE ・防水形複層塗材E	・凸部処理 ・凹凸状 ・ゆず肌状	・吹付け ・ローラー塗り	・耐候形3種 ・	・適用する ・適用しない
・吹付用軽量塗材	・砂壁状	・吹付け		・適用する ・適用しない
・こて塗用軽量塗材	・平たん状	・こて塗り		・適用する ・適用しない

複合仕上げ塗材の上塗材 (15.6.2)(表15.6.2)
樹脂　⊙アクリル系　・シリカ系　・ポリウレタン系　・アクリルシリコン系　・ふっ素系
外観　⊙つやあり　・つやなし　・メタリック
溶媒　・溶剤系　・弱溶剤系　⊙水系

7 マスチック塗材塗り

種別　・A種　・B種 (15.7.2)(表15.7.1)

8 しっくい塗り

下地の種類（　） (15.10.1)
・標準仕様書15.10.1による場合以外の下地への適用　（　）
材料 (15.10.2)
・標準仕様書15.10.2(1)(ｱ)，(ｲ)による色しっくい　・適用する　・適用しない
・
調合及び塗厚 (15.10.3)(表15.10.1～表15.10.4)
既調合しっくい　※標準仕様書15.10.3(1)による　・
現場調合しっくい　※標準仕様書15.10.3(2)による　・
既調合しっくいの上塗り仕上げ工法 (15.10.4)(表15.10.5)
・なで切り仕上げ　・パターン仕上げ

9 こまい壁塗り

材料 (15.11.2)
土壁用ののりの種類　※つのまた　・ふのり　・ぎんなんそう　・粉末海藻
砂壁用ののりの種類　※ふのり　・つのまた　・こんにゃくのり　・にかわ
・合成高分子系混和剤
色土の種類　・土物仕上げ（　）
・大津仕上げ（　）
色砂の種類　・天然砂と岩石の砕砂
・人工的に着色・製造したもの
調合　下塗りの調合　※標準仕様書 表15.11.2による　・ (15.11.3)
塗厚　※標準仕様書表15.11.8による　・ (15.11.4)
・建築基準法に基づく耐力壁の指定がある場合
・図示による　・
工程　こまい壁　※A種　・B種 (15.11.5)(表15.11.9)

土物仕上げの工法 (15.11.7)
・土物仕上げ工法
・水こね土物1工法　・水ごね土物2工法　・のりさし土物工法　・のりごね土物工法
・砂壁仕上げ工法
・切返し仕上げ工法
大津仕上げの工法 (15.11.8)
・普通大津仕上げ工法　・大津みがき工法
ちりじゃくり　・図示による　・ (15.11.7)(15.11.8)

10 ロックウール吹付け

ロックウールのホルムアルデヒド放散量 (15.12.2)
※F☆☆☆☆　・
接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・
吹付け厚さ（㎜）　・図示による　・ (15.12.3)

16 建具工事

1 防火戸

※建具表による　・ (16.1.3)
・防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸について、連動させる装置等
・建具表による　・

② 見本の製作等

建具見本の製作　・行う（建具符号：　） (16.1.4)
⊙行わない
特殊な建具の仮組　・行う（建具符号：　） (16.1.4)
⊙行わない

③ 防犯建物部品

⊙適用する（ 適用箇所　⊙建具表による　・　） (16.1.6)
・適用しない

④ アルミニウム製建具

性能値等（建具符号，枠の見込み寸法は建具表による） (16.2.2)
耐風圧性等級，気密性等級，水密性等級
・建具表による　⊙図示による
外部に面する建具の種別
※標準仕様書 表16.2.1，表16.2.2による
・A種　・B種　・C種　・D種　・E種
⊙　耐風圧:S-3、気密性:A-4、水密性:W-5
⊙防音ドア，防音サッシとする場合　遮音性の等級（ ・T-2　）
⊙断熱ドア，断熱サッシとする場合　断熱性の等級（ ・H-2　）
表面処理 (16.2.4)
外部に面する建具
種別　・BB-1種　⊙BB-2種 (表14.2.1)
着色　⊙標準色(ブラック)　・特注色
屋内の建具 (表14.2.1)
種別　・BB-1種　⊙BB-2種
着色　⊙標準色　・特注色
ステンレス鋼板の種類 (16.2.3)(16.6.3)
※SUS304，SUS430JIL又はSUS443J1　・
ステンレス製くつづりの仕上げ (16.2.4)(16.6.4)
※ＨＬ　・
結露水の処理方法　⊙図示による　・ (16.2.4)
水切り板，ぜん板　⊙図示による　・ (16.2.5)
木下地の内付け建具　・適用する（建具の製造所の仕様）　・適用しない (16.2.5)

⑤ 網戸等

防虫網の材料 (16.2.3)

種　類	材　種	線　径	網　目
⊙防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製	※0.25㎜以上 ・	※16～18メッシュ ・

6 樹脂製建具

性能値等（建具符号，枠の見込み寸法は建具表による） (16.3.2)
耐風圧性等級，気密性等級，水密性等級
・建具表による　・
外部に面する建具の種別
※標準仕様書 表16.3.1，表16.3.2による
・A種　・B種　・C種　・D種　・E種
・
・防音ドア，防音サッシとする場合の遮音性の等級
・T-1種　・T-2種
・断熱ドア，断熱サッシとする場合の断熱性の等級
※外部に面する建具は標準仕様書 表16.3.3による
（等級・　）
・
外部に面する建具の日射熱取得性の等級　・
ガラス　※複層ガラス　・　・ (16.3.3)
ステンレス製くつづりの仕上げ (16.3.4)(16.4.4)
※ＨＬ　・
表面色　・標準色　・特注色 (16.3.4)
水切り板，ぜん板　・図示による　・ (16.3.5)(16.2.5)
木下地の内付け建具　・適用する（建具の製造所の仕様）　・適用しない (16.3.5)(16.2.5)

⑦ 鋼製建具

性能値等（建具符号は建具表による） (16.4.2)
簡易気密型ドアセットの気密性等級，水密性等級
・標準仕様書 表16.4.1による　・建具表による　⊙気密性:A-4、水密性:W-1
外部に面する建具の耐風圧性（表16.2.1による）
・S-4　・S-5　⊙S-6
・耐震ドアとする場合　面内変形追随性の等級（ ・　）
⊙防音ドア，防音サッシとする場合
遮音性の等級（ ・T-2　）
⊙断熱ドア，断熱サッシとする場合
断熱性の等級（ ・H-2　）
ステンレス鋼板の種類 (16.4.3)(16.6.3)
※SUS304，SUS430JIL又はSUS443J1　・
点検口の類のくつづりの材料　・ (16.4.3)
鋼板類の厚さ（㎜） (16.4.4)
※標準仕様書 表16.4.2による　・
ステンレス製くつづりの仕上げ　※ＨＬ　・ (16.4.4)
標準型鋼製建具の有効内法寸法（表16.4.5による） (16.4.6)
・適用する（建具符号、形式及び寸法は建具表による）

⑧ 鋼製軽量建具

性能値等（建具符号は建具表による） (16.5.2)
簡易気密型ドアセットの気密性等級
⊙A-3　・建具表による
・耐震ドアとする場合　面内変形追随性の等級（ ・　）
⊙防音ドア、防音サッシとする場合　遮音性の等級（ ・T-2　）
・断熱ドア、断熱サッシとする場合　断熱性の等級（ ・　）
鋼板の種類 (16.5.3)
⊙亜鉛めっき鋼板　・ビニル被覆鋼板　・カラー鋼板　・ステンレス鋼板
召合せ，縦小口包み板の材質　※鋼板　・ (16.5.3)
鋼板の厚さ（㎜）　※標準仕様書 表16.5.1による　・図示による (16.5.4)
ステンレス製くつづりの仕上げ　※ＨＬ　・ (16.5.4)(16.4.4)
標準型鋼製軽量建具の有効内法寸法（表16.4.5による） (16.5.6)
⊙適用する（建具符号，形式及び寸法は建具表による）

特記

物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事		
図面名	建築工事特記仕様書(6)	縮尺 A1:－ N.S A3:－ N.S	図番 D-009

16 建具工事〈続き〉

⑨ ステンレス製建具

性能値等（建具符号は建具表による） (16.6.2)
耐風圧性等級，気密性等級，水密性等級
・建具表による ・
外部に面する建具の耐風圧性（表16.2.1による）
・S-4 ・S-5 ⊙S-6
・耐震ドアとする場合 面内変形追随性の等級（ ・ ）
・防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級（ ・ ）
・断熱ドア、断熱サッシとする場合 断熱性の等級（ ・ ）

ステンレス鋼板の種類 ※SUS304，SUS430J1L又はSUS443J1 ・ (16.6.3)
表面仕上げ ※ＨＬ ・鏡面仕上げ ・ (16.6.4)
ステンレス鋼板のくつずりの仕上げ ※ＨＬ ・ (16.6.4)(16.4.4)
ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ (16.6.5)

10 木製建具

建具材の加工，組立時の含水率 ※Ａ種 ・Ｂ種 (16.7.2)(表16.7.1)
接着材のホルムアルデヒド放散量 ※Ｆ☆☆☆☆ ・ (16.7.2)
枠，くつずりの材料 ・建具表による ・ (16.7.2)

・フラッシュ戸 (16.7.2)(表16.7.2)
表面材の合板の種類

合板の種類	表面材の品質等	備 考
・普通合板	接着の程度 ※水掛り箇所1類，その他2類以上 ・ 板面の品質 ※広葉樹1等 ・ ・（ ）	
・天然木化粧合板	接着の程度 ※水掛り箇所1類，その他2類以上 ・ ・（ ）	
・特殊加工化粧合板	接着の程度 ※水掛り箇所1類，その他2類以上 ・ ・（ ）	
・ミディアムデンシティファイバーボード（ＭＤＦ）	表面の状態による区分（ ） 曲げ強さによる区分（ ） 接着剤による区分（ ） 難燃性による区分（ ） ・（ ）	

表面材の材料のホルムアルデヒド放散量
※標準仕様書16.7.2(4)(a)による ・

表面板の厚さ ※表16.7.6による ・ (16.7.3)
引戸の定規縁 ・召し合せかまちをいんろう付きとする (16.7.4)

・かまち戸 (16.7.2)(16.7.3)(表16.7.7)
かまち樹種（ ） 鏡板樹種（ ）
見込み寸法 ※36㎜ ・建具表による ・

・ふすま (16.7.2)(表16.7.3)(16.7.3)(表16.7.7)(16.7.4)(表16.7.10)
種別、工法 ・Ⅰ型 ・Ⅱ型
上張り ・鳥の子 ・新鳥の子又はビニル紙程度
縁仕上 ・塗り縁 ・生地縁（素地） ・生地縁（ウレタンクリヤー塗装）
見込み寸法 ※19.5㎜ ・建具表による ・

・戸ぶすま (16.7.2)(16.7.3)(表16.7.7)(16.7.4)
表面材の種類、品質等（ ）
見込み寸法 ※30㎜ ・建具表による ・

・紙張り障子 (16.7.3)(表16.7.7)
見込み寸法 ※30㎜ ・建具表による ・

⑪ 建具用金物

金物の種類・見え掛り部の材質等 (16.8.2)
※標準仕様書表16.8.1及び適用（備考欄の特記事項も含め）は建具表による
・
金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※標準仕様書表16.8.2による ・
樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※標準仕様書表16.8.3による ・
木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※標準仕様書表16.8.4による ・
木製建具に使用する戸車及びレール
※標準仕様書表16.8.5による ・
握り玉，レバーハンドル，押板類，クレセントの取付位置 (16.8.3)
⊙建具表による ・

⑫ 鍵

マスターキー ⊙製作する ・製作しない (16.8.4)
鍵の製作本数 ※各室3本1組 ・

⑬ 自動ドア開閉装置

戸の開閉方式 ⊙図示による ・ (16.9.2)
自動ドア開閉装置の性能値 (16.9.2)
駆動装置の性能
※引き戸用駆動装置の場合，標準仕様書 表16.9.1による
防錆の適用 ⊙適用する ・適用しない
・
車椅子使用者用便房出入口の引き戸用駆動装置の性能
※標準仕様書 表16.9.2による
防錆の適用 ・適用する ・適用しない
・
検出装置の性能
※引き戸用検出装置の性能は標準仕様書 表16.9.3による
防錆の適用 ⊙適用する ・適用しない
・
引き戸用検出装置の種類は標準仕様書 表16.9.4による (16.9.2)
種類 ⊙光線（反射）センサー ・熱線センサー ・音波センサー
・光電センサー ・電波センサー
・タッチスイッチ
（・無線式タッチスイッチ ・光電式タッチスイッチ）
・押しボタンスイッチ
・車椅子使用者便房スイッチ
（ ・大形（開・閉）押しボタンスイッチ ・非接触スイッチ）
凍結防止措置 (16.9.2)
⊙適用する ・適用しない

14 自閉式上吊り引戸装置

性能 (16.10.3)
※標準仕様書表16.10.1による ・図示による

15 重量シャッター

シャッターの種類 ・管理用シャッター (16.11.2)
・外壁用防火シャッター
・屋内用防火シャッター
・防煙シャッター
外壁開口部に設ける重量シャッター 耐風圧強度（ ）pa
開閉方式の種類（標準仕様書 表16.11.1） (16.11.2)
※電動式（手動併用） ・手動式
安全装置の設置箇所 (16.11.2)
急降下制御装置又は急降下停止装置の設置個所
・図示による ・
障害物感知装置の設置個所 ・図示による ・
危害防止機構の設置個所 ・図示による ・
管理用シャッターのシャッターケース (16.11.2)
・設ける ・設けない

スラット及びシャッターケース用鋼板 (16.11.3)
鋼板の種類 ・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量 ※Z12又はF12 ・
ステンレス鋼板の種類 (16.11.3)(16.6.3)
※SUS304，SUS430J1L又はSUS443J1 ・

16 軽量シャッター

開閉形式 ※手動式 ・電動式（手動併用） (16.12.2)(表16.12.1)
耐風圧強度（ ）pa
電動式の場合の安全装置
障害物感知装置の設置個所 ・図示による ・
スラットの材質の種類 (16.12.3)
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっき付着量 ※Z06又はF06 ・
・JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯）
めっき付着量 ※AZ90 ・
スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 (16.12.4)

17 オーバーヘッドドア

区分，材料 (16.13.2)(16.13.3)

セクション材料による区分	耐風圧区分(Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・125 ・100 ・75 ・50	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板

電動式の場合の障害物感知装置の設置箇所 ・図示（ ）

⑱ ガラス

適用は以下によるほか，ガラスの種類，厚さの組合せは建具表及び図示による。 (16.14.2)
⊙フロート板ガラスの品質及び厚さの呼びによる種類
⊙図示（※建具表 ・ ）による ・
・型板ガラスの厚さによる種類
・図示（※建具表 ・ ）による ・
・網入板ガラス及び線入板ガラス
網又は線の形状、板の表面の状態、厚さの呼びによる種類
・図示（※建具表 ・ ）による ・
⊙合わせガラス
材料板ガラスの種類，厚さの組合せ，合わせガラスの合計厚さ，特性による種類
⊙図示（※建具表 ・ ）による ・
・強化ガラス
形状による種類，材料板ガラスの種類による名称（呼び厚を含む），特性による種類
・図示（※建具表 ・ ）による ・
・熱線吸収板ガラス
板ガラスによる種類，厚さによる種類，性能による種類
・図示（※建具表 ・ ）による ・
⊙複層ガラス
材料板ガラスの種類，厚さの組合せ，複層ガラスの厚さ，断熱性による区分，日射取得性及び日射遮蔽性による区分，乾燥気体の種類
⊙図示（※建具表 ・ ）による ・
・熱線反射ガラス
材料板ガラスの種類，厚さによる種類，日射熱遮へい性及び耐久性による区分
・図示（※建具表 ・ ）による ・
・倍強度ガラス
材料板ガラスの種類，厚さによる種類
・図示（※建具表 ・ ）による ・

ガラスの留め材及び溝の大きさ (16.14.2)(16.14.3)(図16.14.1)

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(㎜)
アルミニウム製	⊙シーリング材 ・建築用ガスケット ※グレイジングチャンネル ・	※建具の製造所の仕様による ・
樹脂製	・建築用ガスケット ・グレイジングビード	※建具の製造所の仕様による ・
鋼製及び鋼製軽量	⊙シーリング材 ・	※建具の製造所の仕様による ・
ステンレス製	⊙シーリング材 ・	※建具の製造所の仕様による ・

19 ガラスブロック積み

材料等 (16.14.5)

表面形状	呼び寸法（㎜）	厚さ（㎜）	色調 クリア	色調 乳白	目地幅(㎜) 平積み	目地幅(㎜) 曲面積み	伸縮調整目地位置(㎜)
・正方形	・160×160	95	・	・	※8～15	外側	※6m以下ごとに10～25
	・200×200	95	・	・	・15～25	※15以下	・図示
	・		・	・		内側	・
・長方形	・		・	・		※6以上	
	・		・	・		・	

壁用金属枠及び補強材 ・設ける（形状 ※図示 ・ ）
・設けない
力骨 材質 ※ステンレス鋼(SUS 304) ・
寸法 ※径5.5㎜ ・
形状 ※はしご形状複筋及び単筋 ・
化粧目地モルタルの色（ ）
シーリング材の種類 （ ）
金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製
寸法 ・図示による ・
形状 ・図示による ・

工法 (16.14.5)
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
・図示による ・
木下地の場合の壁用金属枠の取付け間隔（ ）
目地部の横力骨の納まり
※ガラスブロック製造所の仕様による ・図示による

17 カーテンウォール工事

1 取付方法，性能等

性能 (17.1.3)

耐風圧性	耐震性 水平方向(kH)	耐震性 垂直方向(kV)	水密性	気密性	耐火性	耐温度差性(℃)	遮音性	断熱性
	・1.0 ・	・0.5 ・			・30分 ・1時間	・80 ・70 ・60		

性能の確認方法及び判定方法 (17.1.3)
※性能の確認及び判定方法が確認できる適切な資料
・

2 メタルカーテンウォール

適用は以下によるほか，カーテンウォール図による (17.2.2)
金属系材料の種類
・アルミニウム材 ・鋼材 ・ステンレス鋼材
（アルミニウム材の場合）
規格等 標準仕様書16.2.3による
種別 ・ (表14.2.1)
着色 ・標準色 ・特注色
シーリング材（ガラスの取付け は除く） (17.2.2)
下表以外は標準仕様書 表9.7.1による

被着体の組合せ	シーリング材の種類 記号	シーリング材の種類 主成分による区分

ガラスの取付け材料 (17.2.2)
・シーリング （種類： ）
・構造ガスケット（材質，形状等 ・図示 ・ ）
断熱材
種類（ ）
厚さ（㎜）（ ）
施工箇所 ・図示による ・

形状及び仕上げ (17.2.3)
製品の寸法許容差 ※標準仕様書表17.2.1による ・
見え掛り部の仕上げ ・
ガラス溝の寸法，形状等 ※カーテンウォールの製造所の仕様 ・
取付け (17.2.5)
躯体付け金物の取付け位置のすき許容差
※標準仕様書 表17.2.2による ・図示による
カーテンウォール部材の取付け位置のすき許容差
※標準仕様書 表17.2.3による ・図示による
ガラスの取付け方法 (17.2.6)
・

3 PCカーテンウォール

適用は以下によるほか，カーテンウォール図による (17.3.2)
材料
コンクリート 種類（ ）
品質 設計基準強度（Fc） ※30N/㎟ ・
スランプ ※12cm ・
気乾単位容積質量
・普通コンクリートの場合 2.1t/㎥を超え2.5t/㎥以下
・
単位水量の最大値 ※185kg/m ・
鉄筋 種類記号 ※SD295 ・
補強鉄線 径（㎜） ・3.2 ・4.0 ・5.0 ・6.0
網目寸法 ・

シーリング材 (17.3.2)
下表以外は標準仕様書 表9.7.1による

被着体の組合せ	シーリング材の種類 記号	シーリング材の種類 主成分による区分

ガラスの取付け材料 (17.3.2)
・構造ガスケット（材質，形状等 ・図示 ・ ）
耐火目地材 ・ (17.3.2)
断熱材 (17.3.2)
種類（ ）
厚さ（㎜）（ ）
施工箇所 ・図示による ・
先付けの材料 (17.3.2)
・先付け材料の仕上材
・石材（ ・花こう岩 ・大理石 ・ ）
・セラミックタイル
・
・建具枠
・ゴンドラ用ガイドレール

形状及び仕上げ (17.3.3)(表17.3.1)
製品の見え掛り部の寸法許容差
※標準仕様書 表17.3.1による
・上記以外
辺長（ ㎜），対角線長の差（ ㎜），版厚（ ㎜）
開口部内法寸法（ ㎜），ねじれ、そり（ ㎜），
曲がり（ ㎜），面の凹凸（ ㎜），先付け金物の位置（ ㎜）
カーテンウォールの仕上げ ・
構造ガスケットを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差（㎜）
・図示による ・
製作 (17.3.4)
配筋 ・図示による ・
取付け (17.3.4)
躯体付け金物の取付け位置のすき許容差
※標準仕様書 表17.2.2による ・図示による
カーテンウォール部材の取付け位置のすき許容差
※標準仕様書 表17.3.2による ・図示による
ガラスの取付け方法 (17.3.6)
・

18 塗装工事

① 材料

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 (18.1.3)
※ Ｆ☆☆☆☆ ・
・防火材料 ※屋内の壁，天井仕上げは防火材料とする
・次の箇所を除き防火材料とする（箇所： ）

② 素地ごしらえ

種別 (18.2.2～18.2.7)(表18.2.1～表18.2.7)

下地面等		種別
木部	不透明塗料塗りの場合	※A種 ・B種
	透明塗りの場合	※B種 ・A種
鉄鋼面	耐候性塗料塗り（DP）の場合	※B種 ・A種 ・C種
	上記以外の場合	※C種 ・A種 ・B種
亜鉛めっき鋼面		・A種 ⊙B種
モルタル面及びせっこうプラスター面		※B種 ・A種
コンクリート面（DP以外）及びＡＬＣパネル面		※B種 ・A種
コンクリート面（DP）の場合		※A種 ・B種
押出成形セメント板面		※B種 ・A種
せっこうボード面及び	目地：継目処理工法	※A種 ・B種
その他ボード面	目地：継目処理工法以外	※B種 ・A種

③ 錆止め塗料塗り

種別 (18.3.2)(18.3.3)(表18.3.1～表18.3.4)

下地面等			錆止め塗料の種別	工程の種別
鉄鋼面	見え掛り部分	SOP	A種	※A種 ・B種
		DP	1回目 C種 2，3回目 D種	標準仕様書 表18.3.4
		EP-G	※B種 ・A種	※A種 ・B種
	見え隠れ部分	SOP	A種	※B種 ・A種
		DP	1回目 C種 2，3回目 D種	標準仕様書 表18.3.4
		EP-G	※B種 ・A種	※B種 ・A種
亜鉛めっき鋼面	鋼製建具等	SOP	※A種 ・B種	※A種 ・B種
		DP	B種	標準仕様書 表18.3.6
		EP-G	C種	※A種 ・B種
	鋼製建具以外	SOP	※B種 ・A種	※B種 ・A種
		DP	B種	標準仕様書 表18.3.6
		EP-G	C種	※B種 ・A種

④ 塗装

種別 (18.4.1～18.12.2)(表18.4.1～表18.12.1)

塗装		種別
⊙合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	木部屋外	※A種 ・B種
	木部屋内	※B種 ・A種
	鉄鋼面	※B種 ・A種
	亜鉛めっき鋼面	標準仕様書 表18.4.3
・クリヤラッカー塗り(CL)		※B種 ・A種
・アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り(NAD)		※B種 ・A種
・耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面	標準仕様書 表18.7.1
	亜鉛めっき鋼面	標準仕様書 表18.7.2
・つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)	ｺﾝｸﾘｰﾄ面及び押出成形ｾﾒﾝﾄ板面	・A種 ・B種 ・C種
	コンクリート面，モルタル面等	※B種 ・A種
	木部	標準仕様書 表18.8.2
	屋内の鉄鋼面	※B種 ・A種
	亜鉛めっき鋼面	標準仕様書 表18.8.4
・合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)		※B種 ・A種
・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		※B種 ・A種
・ステイン塗り	・ピグメントステイン塗り	－
	・オイルステイン塗り（OS）	－
・木材保護塗料塗り(WP)	屋外	※B種 ・A種

塗料の種類等 (表18.5.1)
クリヤラッカー塗り（CL）
種別がA種の場合における，標準仕様書 表18.5.1の工程2
・塗料の種類（ ）
耐候性塗料塗り（DP） (表18.7.2)
上塗り塗料の等級 鉄鋼面 （ ）級
亜鉛めっき鋼面 （ ）級
ウレタン樹脂ワニス塗り（UC） (表18.10.1)
標準仕様書 表8.10.1の工程1の着色 ・適用する
オイルステイン塗り（OS）の仕様 (表18.11.2)
・図示による ・

特記

			物件名	第R6-8号 新産業廃棄物最終処分場建設工事		
			図面名	建築工事特記仕様書(7)	縮尺 A1:－ N.S A3:－ N.S	図番 D-010

19 内装工事

① 接着剤

接着剤のホルムアルデヒド放散量 (19.2.2)(19.3.2)(19.5.4)(19.5.5)(19.7.2)(19.9.3)
※Ｆ☆☆☆☆ ・

施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の (19.2.2)(表19.2.2)
ゴム床タイル用接着剤の主成分による区分
・図示による ・

下地の施工 (19.2.3)
標準仕様書19.2.3(1)(ｱ)から(ｳ)以外の下地の工法
・図示による ・

② ビニル床シート

材料 (19.2.2)

種類の記号	色柄	厚さ（mm）	備考
※FS（複層ビニル床シート）	・	※2.0	※材料表による
・	・		

接合部の処理 ※熱溶接工法 ・ (19.2.3)

3 ビニル床タイル

材料 (19.2.2)

種類の記号	色柄	寸法（mm）	厚さ（mm）	備考
※KT（コンポジションビニル床タイル） ・TT（単層ビニル床タイル） ・FT（複層ビニル床タイル） ・FOA（置敷きビニル床タイル） ・FOB（薄型置敷きビニル床タイル）	・無地 ・	・300×300 ・450×450 ・500×500	※2.0 ・	

4 特殊機能床

材料 (19.2.2)

シート・タイル種別	種 類	性能	厚さ，寸法，形状（mm）
・帯電防止床シート			厚さ：
・帯電防止床タイル			寸法： 厚さ：
・視覚障害者用床タイル		—	形状：
・耐動荷重性床シート		—	厚さ：
・防滑性床シート		—	厚さ：
・防滑性床タイル		—	寸法： 厚さ：

⑤ ビニル幅木

材質 ・軟質 ・硬質 (19.2.2)
高さ（mm） ※60 ・70 ・100
厚さ（mm） ※1.5以上 ・

6 ゴム床タイル

種類 ・単層品 ・複層品 (19.2.2)
色柄 （ ）
厚さ（mm） ・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0
寸法（mm） （ ）

⑦ カーペット敷き

・織じゅうたん (19.3.2)(表19.3.1)

織り方	パイル形状	帯電性	備 考
・ウィルトンカーペット ・ダブルフェースカーペット ・アキスミンスターカーペット	・カットパイル ・ループパイル ・カット・ループ併用	・適用する ・適用しない	

色柄，パイル糸の種類等
※色柄は模様のない無地のもの 種別 ・A種 ・B種 ・C種 (表19.3.1)
・
下敷き材 ※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種1号 呼び厚さ8mm ・
見切り，押え金物
・適用する（材質，形状等 ・図示 ・ ）
・適用しない
織じゅうたんの接合方法 ※ヒートボンド工法 ・ (19.3.3)

・タフテッドカーペット (19.3.2)(19.3.3)(表19.3.2)

パイル形状	パイル長（mm）	工法	帯電性	備考
・カットパイル	・	・グリッパー工法 ・全面接着工法	・適用する ・適用しない	
・ループパイル	・			
・カット，ループ併用	・			
・	・			

下敷き材(グリッパー工法の場合)
※JIS L 3204（反毛フェルト）の第2種1号 呼び厚さ8mm ・
見切り，押え金物
・適用する（材質，形状等 ・図示 ・ ）
・適用しない

⊙タイルカーペット (19.3.2)(19.3.3)

種類	パイル形状	寸法（mm）	総厚さ（mm）	施工箇所	備考
※第一種 ・第二種	※ループパイル	※500×500 ・	※6.5 ・	図示	※材料表による
・第一種 ・第二種	・カットパイル	※500×500 ・	※6.5 ・		
・第一種 ・第二種	・カット，ループ併用	※500×500 ・	※6.5 ・		

見切り，押え金物 ・適用する（材質，形状等 ・図示 ・ ）
・適用しない
タイルカーペットの敷き方 平場 ※市松敷き ・模様流し ・
階段部分 ※模様流し ・市松敷き ・

7 合成樹脂塗床

合成樹脂塗床材のホルムアルデヒド放散量 (19.4.2)
※Ｆ☆☆☆☆ ・

種類 (19.4.2)(19.4.3)(表19.4.1～8)

種 類	工 法	仕上げの種類	施工箇所
・厚膜型塗床材（弾性ｳﾚﾀﾝ樹脂系塗床材）		※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ	
・厚膜型塗床材（エポキシ樹脂塗床材）	・薄膜流しのべ工法 ・厚膜流しのべ工法 ・樹脂ﾓﾙﾀﾙ工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ	
・薄膜型塗床材（エポキシ樹脂塗床材）		※平滑仕上げ	
・			

8 フローリング張り

フローリングのホルムアルデヒド放散量 (19.5.2)
※標準仕様書19.5.2(2)による ・

単層フローリング (19.5.2～19.5.5)

種 類	工 法	樹種	厚さ及び大きさ
・フローリングボードI等	・釘留め工法（根太張り）	・	※標準仕様書19.5.1による ・
	・釘留め工法（直張り）	・	※標準仕様書19.5.3による ・
	・接着工法	・	※標準仕様書19.5.5による ・
・フローリングブロックI等	・接着工法	・	・

複合フローリング (19.5.2～19.5.5)

種 類	工 法	樹種	厚さ及び大きさ
・ 複合フローリング（天然木化粧）	・釘留め工法（根太張り）	・	※標準仕様書19.5.2による ・A種 ・B種 ・C種
	・釘留め工法（直張り）	・	※標準仕様書19.5.4による ・A種 ・B種 ・C種
	・接着工法	・	※標準仕様書19.5.6による ・A種 ・B種 ・C種

接着工法の場合の不陸緩衝材 ※合成樹脂発泡シート ・ (19.5.5)

9 畳敷き

種別 (19.6.2)(表19.6.1)
・A種 ・B種 ・C種 ・D種（畳床：・KT-Ⅰ ・KT-Ⅱ ・KT-Ⅲ ・KT-K ・KT-N）

・衝撃緩和型畳
畳表（JIS A 5902） ・C1 ・C2

⑩ せっこうボード，その他ボード及び合板張り

材料 (19.7.2)(表19.7.1)

規格名称	種 類	厚さ（mm）
木質系セメント板	⊙硬質木毛セメント板	⊙15 ・20 ・25 ・
	・中質木毛セメント板	・15 ・20 ・25 ・
	・普通木毛セメント板	・15 ・20 ・25 ・
	・硬質木片セメント板	・12 ・15 ・18 ・21 ・
	・普通木片セメント板	・30 ・
繊維強化セメント板	⊙けい酸カルシウム板	ﾀｲﾌﾟ2（無石綿） ⊙6 ・8
火山性ガラス質複層板（VSボード）	・火山性ガラス質複層板	・ ・
繊維板	・ミディアムデンシティファイバーボード（MDF）	・3 ・7 ・9 ・12 ・
	・ハードボード（素地）	・無研磨板（・スタンダード ・テンパード） ・研磨板（・スタンダード ・テンパード） ・2.5 ・3.5 ・5 ・7
	・ハードボード（化粧）	・内装用 ・外装用 ・2.5 ・3.5 ・5 ・7
	・インシュレーションボード	A級 （・天井仕上 ・内装仕上 ・ ） ・9 ・12 ・15 ・18
パーティクルボード	・単板張りパーティクルボード	・無研磨板 ・研磨板 ・10 ・12 ・15 ・18 ・
	・化粧パーティクルボード	・単板オーバーレイ ・プラスチックオーバーレイ ・塗装 ・10 ・12
吸音材料	⊙ロックウール化粧吸音板	⊙フラットタイプ （◯9（不燃）・12（不燃） ・） ・凹凸タイプ （・9（不燃）・12（不燃） ・）
	・ロックウール吸音ボードI号	・25 ・
	・グラスウール吸音ボード32K	・25（ガラスクロス包） ・
せっこうボード製品	⊙せっこうボード	⊙12.5（不燃）・15（不燃）⊙9.5
	・不燃積層せっこうボード	・化粧無（下地張り用） ・化粧有（トラバーチン模様） ・9.5（不燃） ・
	・シージングせっこうボード	・12.5（不燃） ・
	・強化せっこうボード	・12.5（不燃） ・15（不燃）
	・せっこうラスボード	・9.5 ・
	・化粧せっこうボード（木目）	模様（・柾目 ・板目） 専用下地材有り ・12.5（不燃）幅440mm程度
	・化粧せっこうボード（トラバーチン模様）	・9.5（準不燃）

ＭＤＦ及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量
※Ｆ☆☆☆☆ ・
ボード表面への化粧張仕上げの有無
・有り（種類： ） ・
天井のボードの重ね張りの張り付け方法（ロックウール吸音板を除く） (19.7.3)
（ ）
せっこうボードの目地工法 (19.7.3)
種類
・図示（仕上げ表）による ⊙継目処理工法 ⊙目透し工法
せっこうボードのエッジの種類（突付け工法，目透し工法の場合）
・図示による ⊙ベベルエッジ ⊙スクエアエッジ

⑪ 壁紙張り

材料 (19.7.2)

種 類	規 格	防虫処理
・普通合板	表板の樹種名（ ） 板面の品質（ ） 厚さ（mm）（ ）	・行う ・行わない
・天然木化粧合板	化粧板の樹種名（ ） 厚さ（mm）（ ）	・行う ・行わない
・特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 ・オーバーレイ ・プリント ・塗装 ・ 表面性能（ ） 厚さ（mm）（ ）	・行う ・行わない

合板のホルムアルデヒド放散量
※標準仕様書19.7.2(2)(ｲ)のいずれかによる
・
合板の張付け ・A種 ・B種 (19.7.3)(表19.7.3)

⑫ 断熱材

ホルムアルデヒド放散量 (19.8.2)
※Ｆ☆☆☆☆ ・

種類

施工箇所	壁紙の種類						防火性能	備考
	紙	繊維	プラスチック	無機質	塩化ビニル	その他		
図示	・	・	・	・	⊙	・	・不燃 ⊙準不燃 ・難燃	
	・	・	・	・	・	・		

施工 (19.8.3)
モルタル面及びプラスター面の吸込止めの塗布等の素地ごしらえ ※B種 ・A種 (表18.2.4)
コンクリート面の吸込止めの塗布等の素地ごしらえ ※B種 ・A種 (表18.2.5)
せっこうボード面の素地ごしらえ及び
けい酸カルシウム板面の吸込止めの塗布等の素地ごしらえ ※B種 ・A種 (表18.2.7)

・断熱材打込み工法 (19.9.3)

断熱材名	種類（記号）	厚さ（mm）	施工箇所
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材		・	
⊙押出法ポリスチレンフォーム断熱材（スキン層なし）	3種bA	・ 70	図示
・硬質ウレタンフォーム断熱材		・	
・フェノールフォーム断熱材		・	

フェノールフォームを使用した断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
※Ｆ☆☆☆☆ ・

⊙断熱材現場発泡工法 (19.9.4)
断熱材の種類 ※A種1 ⊙A種1H ・
吹付け厚さ（mm） ⊙25 ・30 ⊙40
施工箇所 ⊙図示による ・

20 ユニット及びその他の工事

① フリーアクセスフロア

材料等 (20.2.2)

施工箇所	構 造	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上げ材	備 考
図示	・支柱調整式 ⊙置敷式	・500×500 ・	・100	⊙1.0G ・0.6G	⊙3,000N ・5,000N	・帯電防止床タイル ⊙タイルカーペット ・	

帯電防止性能 ・U値（クラス1） ・U値（クラス2）
漏えい抵抗 ・R≧1×10^{6}Ω ・
耐荷重性能，耐衝撃性能，ローリングロード性能，耐燃焼性能の試験方法
※標準仕様書20.2.2(2)(ｲ)による ・
寸法精度
※標準仕様書20.2.2(2)(ｵ)による ・

2 可動間仕切

材料等 (20.2.3)

構造形式による種類	構成基材の種類		パネル表面仕上げ	遮音性能（dB/500Hz）
	スタッド	パネル		
・スタッド式（内蔵） ・スタッド式（露出） ・スタッドパネル式 ・パネル式			・メラミン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付け ・壁紙張り	・0 ・12 ・20 ・28 ・36

パネル内に取付ける建具 ・あり（寸法及び形状 ・図示 ・ ）
・なし
パネルの材料のホルムアルデヒド放散量
※Ｆ☆☆☆☆ ・

③ 移動間仕切

材料等 (20.2.4)

操作方法による種類	圧縮装置の操作方法	パネル表面材		遮音性（dB/500Hz）
		材質	仕上げ	
⊙手動式 ・電動式 ・部分電動式	・プッシュ式 ⊙ハンドル式 ・	⊙鋼板 ・	⊙焼付塗装 ・壁紙張り ・	・36未満 ⊙36以上

ハンガーレールの取付け下地の補強
⊙標準仕様書20.2.4(3)(ｳ)による ・図示による
パネルをランナーに取り付ける部品
⊙標準仕様書20.2.4(3)(ｴ)による ・図示による
ハンガーレール
⊙標準仕様書20.2.4(3)(ｵ)による ・図示による
ランナー
⊙標準仕様書20.2.4(3)(ｶ)による ・図示による
あと施工アンカー
・使用する 種類： 材質： 寸法：
⊙使用しない

④ トイレブース

材料等 (20.2.5)

パネル表面材の材質	脚部の種類	ドアエッジの材質
・メラミン樹脂系化粧板 ⊙ポリエステル樹脂系化粧板 ・	※幅木タイプ ・	※製造所の仕様による ・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材

パネル材料のホルムアルデヒド放散量
※Ｆ☆☆☆☆ ・

⑤ 手すり

材料の種類 ・ビニールハンドレール (20.2.7)
仕上げ ・

⑥ 階段滑り止め

材料等 (20.2.7)

材 種	形 状	寸法（mm）	取付け工法
⊙ステンレス製（SUS 304） ・黄銅製押出型材 ・アルミニウム製押出型材	・ひも型 ⊙タイヤ型	・40 ・	※接着工法 ・埋込み工法

7 黒板及びホワイトボード

・黒板 (20.2.9)
区分 ※焼付け ・
種類 ・鋼製黒板 ・ほうろう黒板
・ホワイトボード （ ） (20.2.9)

⑧ 鏡

取付箇所 （ 便所 ） (20.2.10)

寸法（mm） ⊙図示による ・
厚さ（mm） ※5 ・

⑨ 表示

⊙衝突防止表示 (20.2.11)
形状，寸法（ ⊙30φ ・ ）
材質 （ ⊙ステンレス製 ・ ）
・非常用進入口等の表示等
※消防法に適合する市販品 ・

室名札，ピクトグラフ，案内板等の形状寸法材質色，書体，印刷等の種別，取付け形式 (20.2.11)
⊙図示による ・

⑩ タラップ

材料の種類 ※ステンレス製 ・ (20.2.12)
仕上げ ※研磨等の仕上げを行わない ・

11 煙突ライニング

煙突用成形ライニング材 (20.2.13)
適用安全使用温度 ・ ℃
工法 （ ）

12 ブラインド

材料等 (20.2.12)
・横形ブラインド
種類 ※ギア式 ・コード式 ・操作棒式
幅，高さ ・図示による ・
スラットの幅 ※ 25mm ・
材質
スラット ※アルミニウム合金製 ・
ヘッドボックス ※鋼製 ・
ボトムレール ※鋼製 ・
・縦形ブラインド
幅，高さ ・図示による ・
開閉方式 ・片開き ・両開き
操作方法 ※2本操作コード方式 ・1本操作コード方式
スラットの材質 ・焼付け塗装仕上げのアルミスラット
・消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工クロススラット
スラットの幅 （ ）mm

13 ロールスクリーン

材料等 (20.2.15)

材 種	品 質	操作方式	幅，高さ	取付箇所
・ポリエステル ・	・	・電動式 ・スプリング式 ・チェーン式	・図示 ・	・図示 ・

巻取りパイプ，ウェイトバー，操作コード又は操作チェーンその他の材料
※製造所の仕様による ・

14 カーテン

材料等 (20.2.16)(表20.2.1)

形 式		開閉操作	ひだの種類	生地の種別，品質，特殊加工等	取付箇所	備 考
・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・手引き ・ひも引き ・電動	・つまみひだ （三つ山ひだ，二つ山ひだ） ・箱ひだ，片ひだ ・プレーンひだ	・ ・ ・	・図示 ・	
						(暗幕)

暗幕用カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※300mm以上 ・

15 カーテンレール

材料等 (20.2.16)
レール及びブランケットの強さによる区分 ※10-90 ・
レールの材料による区分 ※アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材
・ステンレス製
レールの仕上げ ※アルマイト ・
レールの形状 ※角形 ・
カーテン付属物 フック（ひるかん） ※鋼製 ・樹脂製

16 プレキャストコンクリート

補強鉄線の径及び網目寸法 ・図示による ・ (20.3.2)

製作 (20.3.3)
コンクリートの設計基準強度
※水セメント比55%以下，単位セメント量の最小値300kg/㎥を満足する調合強度
・図示による
配筋
・図示による
取付け方法 (20.3.4)
・図示による ・

⑰ 資材保管庫兼車庫

既製品(基礎:RC)
24286×7686×H3665 程度 シャッター:水圧解錠装置(2箇所) 付

⑱ 搬入業者用トイレ

既製品(基礎:RC)
女子用 大便器1個、水栓1個
男子用 大便器1個、小便器1個、水栓1個

特記

物件名	第R6-8号 新産業廃棄物最終処分場建設工事		
図面名	建築工事特記仕様書(8)	縮尺 A1:- N.S A3:- N.S	図番 D-011

20 ユニット及びその他の工事〈続き〉

19 間知石及びコンクリート間知ブロック積み積み

材料等 (20.4.2)

材料	材種	種類	質量区分	備考
・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩	—	—	
・コンクリート間知ブロック	—		・A ・B	

工法 (20.4.3)
積み方 ※谷積み ・布積み
目塗り ・図示による ・
伸縮調整目地 材種 ・図示による ・
厚さ ・図示による ・

㉖ ブラインドボックス及びカーテンボックス

溝幅×深さ（mm）
・90×150 ⊙120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示による
材質 ・集成材（仕上げ： ）
・アルミニウム製 押出し型材（市販品）
種別（標準仕様書14.2.1） ・BC-1種 ・BC-2種
色合い ・標準色（ ） ・特注色（ ）
⊙鋼製（仕上げ：SOP ）

㉗ 天井点検口

材種	寸法	形式	外枠	内枠
・アルミニウム製 ・	⊙450×450 ⊙600×600 ・	⊙一般形 ・	・屋内外用 ⊙屋内用	・額縁タイプ ⊙目地タイプ

㉘ 床点検口

材種	寸法	形式	備考
・アルミニウム製 ⊙ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ⊙600×600 ・	・一般形 ⊙密閉形 ・	⊙鍵付き

23 耐震スリット

方向	タイプ	耐火性能	防水性能	備考
・垂直方法 ・水平方向	・完全（全貫通型） ・	・耐火型 ・非耐火型	・有り ・無し	

目地

目地	内壁	外壁
目地材	・シーリング材（見え掛り部のみ） ・	・シーリング材（内外とも） ・
目地寸法（mm）	・幅20×深さ10 ・	・幅20×深さ10 ・

目地材の材質は標準仕様書9.7.2による

24 止水板

形式 ・差込式 ・据置式 ・壁張り式
施工箇所 ・図示による ・

25 エキスパンションジョイント金物

材種	クリアランス	耐火性能	備考
・アルミニウム製 ・ステンレス製	・50 ・100 ・150 ・	・有り（ ） ・無し	

外部は防水型とする

26 くつふきマット

材種	受け枠	備考
・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼（SUS 304）製 ・	・ステンレス鋼（SUS 304） ・硬質アルミニウム合金 ・	

㉙ 流し台ユニット

材種	寸法（mm） W	D	H	備考
・流し台	⊙1,200 ・1,500 ・1,800	・550 ⊙600 ・650	・800 ⊙850	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製
⊙コンロ台	・600	・550 ⊙600 ・650	⊙620 ・670	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製
・つり戸棚	・1,200 ⊙900	・450 ⊙400	・500 ⊙700	市販品
・水切り	・1,200 ・900 ⊙600	—	—	市販品 ステンレス製 ・1段式 ・

品質・性能 JIS A 4420による
形状 ※図示による ・

28 旗竿

材質	形式	高さ（m）	操作方法	固定方法	備考
・アルミニウム合金製 ・	・テーパー型 ・同一断面型		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込み式 ・ベース式 ・バンド式	

29 旗竿受金物 材種 ・ステンレス製（SUS 304） ・

30 車止め支柱

形式	材種	柱径・肉厚（mm）	高さ（mm）
・上下式鎖内蔵型 ・	・標準品 ・スプリング式	・ステンレス製 ・	・ ・
・			

㉛ フェンス

フェンスの種類 ・ビニル被覆エキスパンドフェンス
・樹脂塗装メッシュフェンス
・鋼管フェンス
⊙アルミフェンス
高さ ⊙図示による ・

32 鋼製書架及び物品棚

種類	規格等	耐荷量による種類
・鋼製書架	JIS S 1039による	・1種 ・2種 ・3種
・鋼製物品棚		・4種 ・5種 ・6種 ・

33 屋内掲示板 枠の材質 ※アルミニウム製
表面の材質 ※塩ビ発泡シート張り ・

㉞ 洗面カウンター 材種 ・メラミン樹脂化粧板張り（心材：集成材） ⊙人工大理石
奥行き（mm） ・約450 ・約600 ⊙図示

35 防煙垂れ壁

・固定式

材質	厚さ（mm）	高さ（mm）	備考
※網入り磨き板ガラス ・線入り磨き板ガラス	※6.8 ・	※500 ・	アルミ製枠付き

・可動式

種類	材質	高さ（mm）	備考
・垂直降下式（巻取り型）	※不燃布（不燃認定品）	※500 ・800	ガイドレール ※固定式（壁埋込み型）
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800 ・	表面仕上げ ※天井材張り ・

降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置（埋込み型）

㊱ 収納家具 材質形状・寸法 ※図示による ・
合板，集成材，MDF，パーティクルボード等のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆ ・

37 屋外掲示板 照明器具 ※有り ・無し
施錠 ※有り ・無し

38 敷地境界石標 種類 ※コンクリートブロック製（市販品）
・花こう石類（文字記号等入り）

21 排水工事

1 屋外雨水排水

排水管用材料 (21.2.1)(表21.2.1)

材種	種類・記号	形状	呼び径	備考
・遠心力鉄筋コンクリート管	外圧管（1種）	・B形管 ・	・図示 ・	
・硬質ポリ塩化ビニル管	・VP		・図示 ・	
	・VU		・図示 ・	
	・RS−VU		・図示 ・	
・硬質ポリ塩化ビニル管継手	・DV		・図示 ・	
	・VU継手		・図示 ・	

基床の厚さ及び種類 ・図示による ・ (21.2.2)
硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料 ※接着剤 ・ゴム輪 (21.2.2)
側塊の形状及び寸法 ・図示による ・ (21.2.1)
排水桝の種類 ・図示による ・ (21.2.1)
砂地業に用いる材料 (21.2.1)
・シルト ・山砂 ・川砂 ・砕砂
砂利地業に用いる材料 (21.2.1)
・再生クラッシャラン ・切込砂利 ・切込砕石
・現場打ちの場合のコンクリート材料 (21.2.1)
※普通コンクリート ・
設計基準強度 ※18N/mm² ・
スランプ ※15cm又は18cm ・
・現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 ※SD295 ・ (21.2.1)
凍上抑制層に用いる材料 ・ (21.2.1)
砂を用いる場合の粒度試験 ・行う ・行わない

・標準仕様書21.2.2(6)(ｲ)の排水桝を現場打ちとする場合の足掛け金物 (21.2.2)
・幅400mm，径22mmのステンレス製
・径22mmの防錆処理を行った鋼製
・径19mmの成樹脂被覆加工を行ったもの

2 鋳鉄製ふた 種類 (21.2.1)

名称	種類	適用荷重	鍵	備考
鋳鉄製マンホールふた	・水封形 ・簡易密閉形（パッキン式） ・密閉形（テーパ・パッキン式） ・中ふた付き密閉形（テーパ・パッキン式） ・	・T−2用 ・T−6用 ・T−20用 ・	・有り ・無し	左記以外の品質等は（公社）空気調和衛生工学会SHASE-S209による

㊲ グレーチング 材料等 (21.2.1)

材質	形式	用途	適用荷重	メインバーピッチ	亜鉛めっき（付着量）	上面形状
⊙鋼製	⊙受枠付き，ボルト固定 ・	⊙溝ふた（横断用） ⊙溝ふた（側溝用） ・桝ふた用 ・U字溝用	・歩行用	・細目	・（ ）	・凹凸形 ・
				※普通目 ・細目	・（ ）	⊙平形 ・
・ステンレス製	・受枠付き，ボルト固定 ・	・溝ふた（横断用） ・溝ふた（側溝用） ・桝ふた用 ・U字溝用	・歩行用	・	—	・凹凸形 ・
			・T−2用 ・T−6用 ・T−14用 ・T−20用	・	—	・平形 ・

㊴ 街きょ，縁石，側溝 材料 (21.3.1)(表21.3.1)

種類	形状，寸法
・縁石	・図示 ・
・L形側溝	・図示 ・
⊙U形側溝	⊙図示 ・
・U形側溝ふた	・図示 ・
・	・図示 ・

砂地業の材料 (21.3.1)
・シルト ・山砂 ・川砂 ・砕砂
砂利地業に用いる材料 (21.3.1)
・再生クラッシャラン ・切込砂利 ・切込砕石
砂利地業の厚さ ※100（mm） ・図示による (21.3.2)
・現場打ちの場合のコンクリート材料 (21.3.1)
※普通コンクリート ・
設計基準強度 ※18N/mm² ・
スランプ ※ 15cm又は18cm ・
・現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 ※SD295 ・ (21.3.1)
凍上抑制層に用いる材料 ・ (21.3.1)
砂を用いる場合の粒度試験 ・行う ・行わない

5 埋戻し土 ※B種（標準仕様書表3.2.1） ・ (21.2.1)

22 舗装工事

1 路床

路床の材料 (22.1.3)(22.2.2)(22.2.3)

種別	材料	厚さ（mm）
・盛土	標準仕様書 表3.2.1により ・A種 ・B種 ・C種 ・D種	・図示 ・
・凍上抑制層	※再生クラッシャラン ・クラッシャラン ・切込み砂利 ・砂	・図示 ・

透水性舗装に用いるフィルター層の厚さ ・図示による ・

路床安定処理 ・適用する ・適用しない (22.2.2)(22.2.3)
安定処理の方法 ・置き換え工法 ・安定処理工法
添加材料 (表22.2.1)
種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種
・フライアッシュセメントB種
・生石灰（・特号 ・1号） ・消石灰（・特号 ・1号）
添加量を定めるために用いるCBR（ ） (22.2.4)

試験 (22.2.5)
路床土の支持力比（CBR）試験 ・行う ・行わない
路床締固め度の試験（現場密度） ・行う ・行わない
現場CBR 試験 ・行う ・行わない

2 路盤

路盤の厚さ ・図示による ・ (22.3.2)
路盤材料 ※再生クラッシャラン ・クラッシャラン ・粒度調整砕石 (表22.3.1)
※再生粒度調整砕石 ・クラッシャラン鉄鋼スラグ
・粒度調整鉄鋼スラグ ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ

3 アスファルト舗装

アスファルト舗装の構成及び厚さ ※図示による ・ (22.4.2)
材料
アスファルト ・再生アスファルト（・60～80 ・80～100）
・ストレートアスファルト

加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4)(表22.4.4)

区分	地域	種類
表層	・一般地域	・密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13)
	・寒冷地域	・密粒度アスファルト混合物(13F)

試験
アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない
舗装の平たん性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・

4 コンクリート舗装

コンクリート舗装の厚さ (22.5.2)

舗装の種類	部位	構成	厚さ（mm）
コンクリート舗装	歩行者用通路	・図示 ・	※70 ・図示
	車路及び駐車場	・図示 ・	・図示 ・

材料 (22.5.3)
コンクリート ※標準仕様書表22.5.1による ・図示による
早強ポルトランドセメント ・使用する ・使用しない
注入目地材料 ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ
施工：目地 (22.5.4)
種類，間隔，構造 ※標準仕様書表22.5.3及び図22.5.1による ・図示による
舗装の平たん性 (22.5.2)
舗装の平たん性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・

5 カラー舗装

・加熱系カラー舗装 (22.6.2)(22.6.3)(22.6.4)(表22.6.1)
構成・厚さ ・図示による ・
表層に用いる加熱系混合物の結合材
・アスファルト混合物
・石油樹脂系混合物 顔料の添加量（ %）
加熱系混合物に添加する材料
・着色骨材（ ） ・自然石（ ）
アスファルト混合物の抽出試験 ・行う ・行わない (22.6.6)

・常温系カラー舗装 (22.6.2)(22.6.3)(22.6.4)(表22.6.1)
工法 ・ニート工法 ・塗布工法
着色部の下部 ・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装
ニート工法及び塗布工法の配合等 ・

舗装の平たん性 (22.6.6)
※通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・

6 透水性アスファルト舗装

舗装の構成 ※図示による ・ (22.7.2)
材料 (22.1.3)(22.7.3)
アスファルト ※再生アスファルト（・60～80 ・80～100）
・ストレートアスファルト
試験 (22.7.6)
開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない
舗装の平たん性 ※著しい不陸がないもの ・ (22.7.2)

7 ブロック系舗装

・コンクリート平板舗装 (22.8.2)(22.8.3)

種類	寸法（mm）	厚さ（mm）	目地材
※普通平板（N） ・透水性平板（P） ・保水性平板（M）	・300角 ・	※60 ・	・砂 ・モルタル

クッション材 ・砂 ・空練モルタル (22.8.2)
仕上がり面の平たん性 ※コンクリート平板間の段差3mm以内 ・ (22.8.2)

・インターロッキングブロック舗装 (22.8.2)(22.8.3)

種類	部位	形状，寸法	厚さ（mm）	曲げ強度（N/mm²）	色彩，表面加工等
※普通ブロック（N） ・透水性ブロック（P） ・保水性ブロック（M）	車路 歩行者用通路	・図示 ・図示	※80 ・ ※60 ・	※5.0 ・ ※3.0 ・	・標準品 ・

インターロッキングブロックの割付け ・図示による ・ (22.8.4)
仕上がり面の平たん性 ※コンクリート平板間の段差3mm以内 ・ (22.8.2)

・舗石舗装 (22.8.2)(22.8.3)

種類	形状，寸法	厚さ（mm）	割付け	基層（mm）
・小舗石（花崗岩） ・	・図示 ・	・80 ・	・図示 ・	・コンクリート舗装 （※70 ・ ） ・アスファルト混合物 （※50 ・ ）

クッション材 ・砂 ・空練モルタル (22.8.2)
舗石の割付け ・図示による ・ (22.8.4)
仕上がり面の平たん性 ※コンクリート平板間の段差3mm以内 ・ (22.8.2)

8 砂利敷き 種別 (22.9.2)(表22.9.1)
通路 ※A種 ・図示による
建築物周囲その他 ※B種 ・図示による（ ） ・

23 植栽及び屋上緑化工事

1 植栽地の確認等 土壌の水素イオン濃度指数（pH）試験 ・行う ・行わない (23.1.3)
電気伝導度（EC）の試験 ・行う ・行わない

2 植栽基盤の整備 整備内容 (23.2.2)(表23.2.1)(表23.2.2)

植栽	工法	有効土層の厚さ（cm）	整備範囲（面積）	土壌改良材
・樹木	※A種 ・B種 ・C種 ・D種	樹高12m以上 （※100 ・120 ・150） 樹高7m以上～12m未満 （※80 ・100） 樹高3m以上～7m未満 （※60 ・80） 樹高3m未満 （※50 ・60）	・葉張り部分 ・植栽部分 ・図示 ・	・適用する ・適用しない
・芝，地被類	※B種 ・	※20 ・	・植栽部分 ・図示 ・	・適用する ・適用しない

植栽基盤の排水設備（暗きょ，開きょ，排水層縦穴排水等） (23.2.2)
・設ける（ ※図示 ・ ） ・設けない

3 植込み用土 ・現場発生土の良質土 ・客土 (23.2.3)

4 土壌改良材 種類，指定量 (23.2.3)(23.2.4)
・バーク堆肥
施工箇所 ・植栽範囲 ・図示による
指定量 植栽基盤面積1㎡あたり（ ・ L ・ ）
・汚泥発酵肥料（下水汚泥コンポスト）
施工箇所 ・植栽範囲 ・図示による
指定量 植栽基盤面積1㎡あたり（ ・ L ・ ）

5 樹木 樹種，寸法，株立数 ・図示による ・ (23.3.2)
刈込みものの適用 ・適用する（数量： ） ・適用しない

6 支柱 支柱材の種類 ※丸太（間伐材） ・真竹 ・ (23.3.2)
防腐処理方法 ※加圧式防腐処理丸太材 ・

形式 (23.3.3)
・添え柱形 ・鳥居形 ・ハツ掛け形
・布掛け形 ・ワイヤ掛け形 ・地下埋設形

7 幹巻き用材料 材料 ※幹巻き用テープ ・わら ・こも (23.3.2)

8 芝 種類 ※コウライシバ ・ノシバ (23.4.2)
芝張りの工法 (23.4.3)
平地 ※目地張り ・べた張り
法面 ・目地張り ※べた張り

9 吹付けは種 種類等 (23.4.2)

種子の種類	種子の量（g/㎡）	備考
※洋芝類		
・		

10 地被類 種類等 (23.4.2)

植物の種類	芽立数	径	単位面積当たりの株数
・	・	・	・
・	・	・	

11 新植，移植樹木，芝等の枯保証 新植樹木の枯補償の期間（芝張り，吹付けは種及び地被類を含む） (23.3.4)(23.4.7)
※引渡しの日から1年 ・ ・無し
移植樹木の枯損処置を行う期間 (23.3.6)
・引渡しの日から1年 ・ ・無し

12 屋上緑化 植栽基盤及び材料 (23.5.2)(23.5.3)
・屋上緑化システム
土壌層の厚さ ・図示による ・
排水層 ・軽量骨材（層の厚さ： ） ・板状成形品
植込み用土 ※改良土 ・人口軽量土
・屋上緑化軽量システム

樹木，芝及び地被類 (23.5.3)
樹種，寸法，株立数 ・図示による ・
刈込みものの適用 ・適用する（数量： ） ・適用しない
見切り材，舗装材，水抜き管，マルチング材等 (23.5.3)
・図示による ・

工法 (23.5.4)
平成12年建設省告示第1458号に基づく風圧力に対応した工法
・図示による ・
支柱 ・設置する（形式 ・図示 ・ ） (23.5.4)
かん水装置 ・設置する（種類 ・図示 ・ ） (23.5.4)

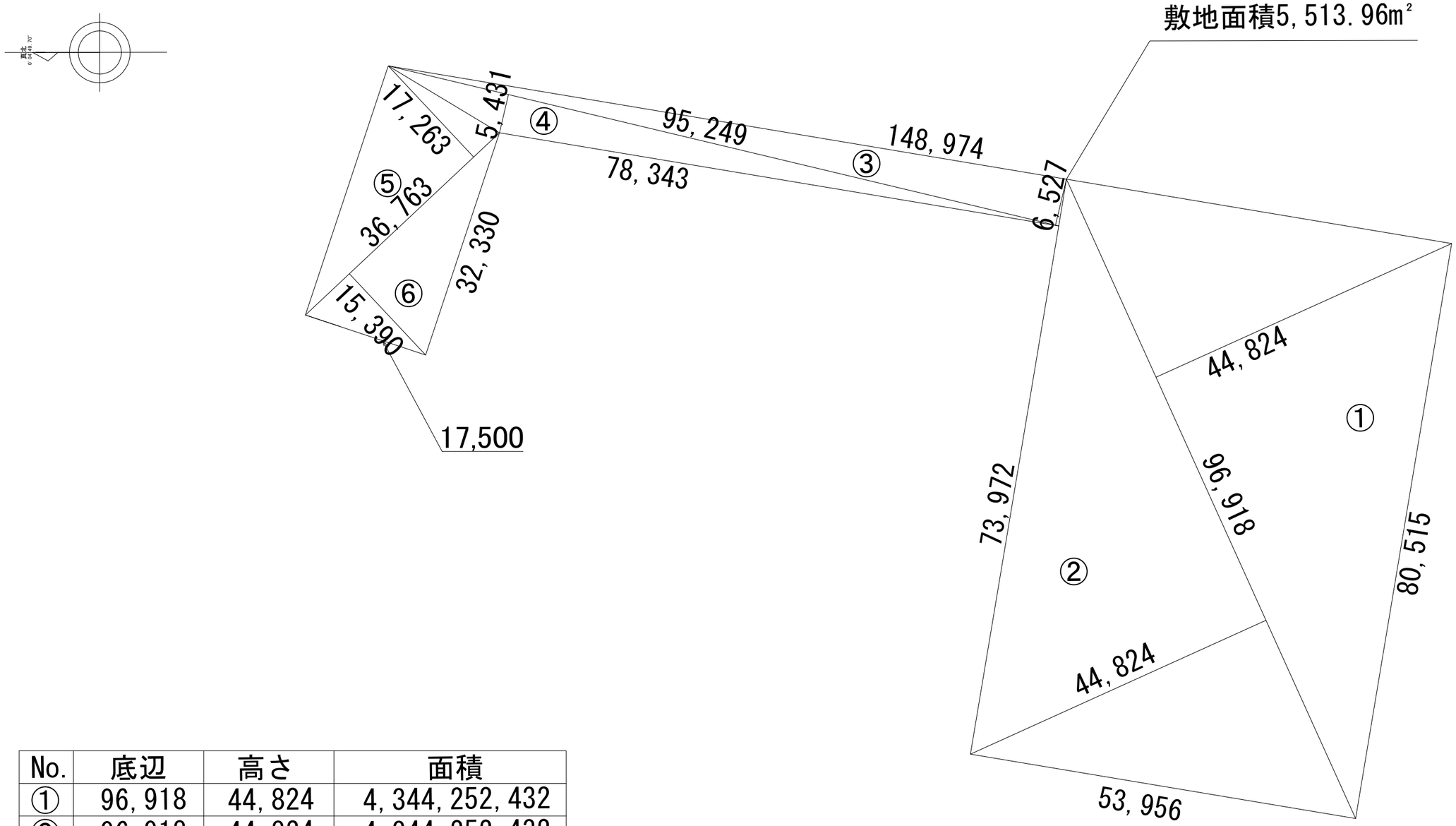
特記

物件名	第R6-8号 新産業廃棄物最終処分場建設工事		
図面名	建築工事特記仕様書(9)	縮尺 A1:− N.S A3:− N.S	図番 D-012



特記

				物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事
				図面名	敷地現況図
				縮尺	A1:-1:300 A3:-1:600
				図番	D-013



No.	底辺	高さ	面積
①	96,918	44,824	4,344,252,432
②	96,918	44,824	4,344,252,432
③	95,249	6,527	621,690,223
④	95,249	5,431	517,297,319
⑤	36,763	17,263	634,639,669
⑥	36,763	15,390	565,782,570
		合計	11,027,914,645
		1/2	5,513,957,323
		面積(㎡)	5,513.96

特記

株式会社エックス都市研究所一級建築士事務所

物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事
図面名	敷地面積求積図
縮尺	A1:-1:300 A3:-1:600
図番	D-014

ストックヤード予定地
搬入業者用トイレ予定地
申請建物②計量棟
最高高さ　5.080m
最高軒の高さ4.780m
申請建物③目視監視施設
最高高さ　5.400m
最高軒の高さ5.100m
申請建物①管理棟
最高高さ　8.650m
最高軒の高さ7.870m
申請建物④資材保管庫兼車庫
最高高さ　3.665m
最高軒の高さ3.539m
浸出水処理施設
予定敷地
延焼のおそれのある部分(1階)
延焼のおそれのある部分(2階)
井戸
揚水槽
雨水排水側溝
電気
上水
下水
防災調整池へ至る
敷地外へ至る
・電気
・上水
・下水
▽隣地境界線(148.974)
△隣地境界線(78.343)
▽隣地境界線(73.972)
△隣地境界線(53.956)
▽隣地境界線(60.515)
△隣地境界線(17.500)
▽隣地境界線(26.265)
▽隣地境界線(32.330)
100.648
35.050
13.276
4.575
2.333
15.500
29.155
25.000
26.360
7.686
3.304
7.645
24.286
3.450
14.000
3000
5000

凡例
(00.0)：地盤高さを示す(TP基準)
：延焼のおそれのある部分(1階)
：延焼のおそれのある部分(2階)
：延焼のおそれのある部分(棟間中心線)

真北
0°04'30.70"
真北方向
航空測量の座標を用いて国土地理院HPの計算システムより算出

特記

物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事		
図面名	配置図	縮尺	A1:-1:300 A3:-1:600
		図番	D-015

◇材料表

	名称	材質・規格・寸法	認定番号 告知番号	建築材料の種別	製造者	商品名・銘柄・型番	備考
□床							
下地	コンクリート直均し	–	–	–	–	–	–
	OAフロア	H=100	–	–	–	–	–
	乾式二重床	–	–	–	–	–	–
	モルタル	–	–	–	–	–	–
仕上	磁器質タイル(A)	300角	–	–	株式会社LIXIL	GLF-300/1	–
	ビニル床シート(A)	t2.0	–	–	株式会社サンゲツ	KU-22036	–
	ビニル床シート(B)	t2.0	–	–	株式会社サンゲツ	KU-22038	–
	タイルカーペット(A)	t6.5	–	–	株式会社サンゲツ	NTH-88006	–
	クッションフロア(A)	t1.8	–	–	株式会社サンゲツ	HM-11166	–
	汚垂石	ハイドロセラ・フロアPU	–	–	TOTO株式会社	クオリグレー ＃HBB	–
□壁							
下地	GB-R	t12.5	NM-8619	–	吉野石膏株式会社	–	–
仕上	ビニルクロス(A)	準不燃		–	株式会社サンゲツ	FE76393	–
	ビニルクロス(B)	準不燃		–	株式会社サンゲツ	FE76402	–
	化粧ケイカル板(A)	t6.0 不燃	NM-3073	–	株式会社 エーアンドエーマテリアル	ステンド＃400 フレッシュミルク	–
	キッチンパネル	t3.0 不燃	NM-2187	–	アイカ工業株式会社	6000N	–

	名称	材質・規格・寸法	認定番号 告知番号	建築材料の種別	製造者	商品名・銘柄・型番	備考
□巾木・腰壁・廻縁							
巾木	ビニル巾木(A)	H60	–	–	株式会社サンゲツ	W-99	–
	ステンレス巾木	H100	–	–	–	–	–
	ササラ	鉄骨階段SOP塗装	–	–	–	–	–
腰壁	–	–	–	–	–	–	–
廻縁	塩ビ	–	–	–	–	–	–
□天井							
下地	GB-R	t9.5	QM-9828	–	吉野石膏株式会社	–	–
	鉄骨階段下	鉄骨階段SOP塗装	–	–	–	–	–
	断熱材	t100グラスウール(24kg/m³)	–	–	旭ファイバーグラス 株式会社	アクリアGPACマット	ポリエチレンフィルム包込 (6面パック)
仕上	ビニルクロス(C)	準不燃		–	株式会社サンゲツ	FE76393	–
	ロックウール吸音板	t9.0 不燃	NM-8599	–	吉野石膏株式会社	–	–
	鉄骨階段下	鉄骨階段SOP塗装	–	–	–	–	–
□その他							
	手洗いカウンター天板	人工大理石	–	–	TOTO株式会社	＃NW1 ホワイト	陶器品番:L501、2ボール
	受付カウンター天板(A)	メラミンポストフォーム	–	–	アイカ工業株式会社	6000N	風除室1、管理事務室 土間収納
	受付カウンター天板(B)	ステンレス	–	–	–	–	風除室2
	下足入扉・台輪	メラミン化粧合板	–	–	アイカ工業株式会社	6000N	
	ライニング	スチールSOP塗装	–	–	アイカ工業株式会社	日塗工 19-90A	
	キッチン扉・吊戸棚	メラミン化粧合板	–	–	アイカ工業株式会社	6000N	
	ブラインドボックス	スチールSOP塗装	–	–	–	日塗工 19-90A	
	階段手摺	ビニルハンドレールφ34	–	–	ナカ工業株式会社	NO.02 グレー	
	階段ノンスリップ	ステンレス(ビニルタイヤ付)	–	–	–	–	
	階段ノンスリップ	ステンレス					目視監視施設
	鋼製建具(屋内)	スチールSOP塗装	–	–	–	日塗工 19-90A	外部側は外壁近似色に 塗分け

※1 製造者・品番は同等品以上とする。
※2 使用する建築材料については、ホルムアルデヒドの発散についてF☆☆☆☆認定品又は規制対象外のものとする。
※3 使用する建築材料については、クロルピリホスを一切添加していないものとする。

特記

物件名	第R6-8号 新産業廃棄物最終処分場建設工事		
図面名	材料表	縮尺 A1:– N.S A3:– N.S	図番 D-016

【建築基準法、建築基準法施行令】

申請建物①　事務所　（防火対象物①（15)項、有窓階）　　申請建物③　その他　（防火対象物②（15)項、有窓階）
申請建物②　その他　（防火対象物②（15)項、有窓階）　　申請建物④　倉庫、自動車車庫　（（16)項ロ、有窓階）
※施行令第1条一号　用途上不可分な関係にある2以上の建築物　とする。

[建築基準法]
第1章　総則

法第6条　建築物の建築等に関する申請及び確認（建築確認申請）
→6条1項三号　木造以外の建築物で2以上の階数を有し、又は延べ面積が200㎡を超えるもの　として建築確認申請が必要。
※6条2項　1項の規定は防火地域・準防火地域外において建築物を増築し、改築し、又は移転しようとする場合で、その建築、改築又は移転に関わる部分の床面積の合計が10㎡以内であるときについては、適用しない。
→申請建物①～③　耐火建築物、準耐火建築物、法第22条指定区域内の木造、法第23条対象の外壁、特殊建築物、防火地域・準防火地域から外れる為、延焼のおそれのある部分に開口部があっても防火設備とする必要なし。
→申請建物④　特殊建築物となる為、延焼のおそれがある部分の対象となる場合は、外壁を防火構造とする。
法第2条1項二号　特殊建築物　→事務所、その他は特殊建築物ではない。自動車車庫は特殊建築物となる。
法第2条1項六号　延焼のおそれのある部分　→隣地境界線、2以上の建築物（500㎡を超える場合）相互の外壁間の中心線から1階においては3m以下、2階以上にあっては5m以下距離にある建築物の部分

法第21条　大規模の建築物の主要構造部等
1項　一　地階を除く階数が4以上である建築物　→対象外
二　高さが16mを超える建築物　→対象外
三　別表第1(い)欄(5)項又は(6)項に掲げる用途に供する特殊建築物で高さが13mを超えるもの　→対象外
2項　延べ面積が3000㎡を超える建築物　→対象外
法第22条　屋根
→令第109条の8
一　屋根が、通常の火災による火の粉により、防火上有害な発炎をしないもの
二　屋根が、通常の火災による火の粉により、屋内に達する防火上有害な溶融、亀裂その他の損傷を生じないものであること。
→平12建告1361号　上記に掲げる技術的基準に適合する屋根の構造方法は、建築基準法第62条に規定する屋根の構造とする。
→法第62条　防火地域又は準防火地域内の建築物の屋根の構造
→平12建告1365号
第1　一　不燃材料で造るか、又はふくこと。
二　屋根を準耐火構造（屋外に面する部分を準不燃材料で造ったものに限る）とすること。
三　屋根を耐火構造（屋外に面する部分を準不燃材料で造ったもので、かつ、その勾配が水平面から30°以内のものに限る。）の屋外面に断熱材（ポリエチレンフォーム、ポリスチレンフォーム、硬質ポリウレタンフォームその他これらに類する材料を用いたもので、その厚さの合計が50mm以下のものに限る。）及び防水材（アスファルト防水工法、改質アスファルトシート防水工法、塩化ビニル樹脂系シート防水工法、ゴム系シート防水工法又は塗膜防水工法を用いたものに限る。）を張ったもの　とすること。
第2　令第136条の2の2第一号に掲げる技術的基準に適合する屋根の構造方法は、第1に定めるもののほか、難燃材料で造るか、又はふくこととする。
法第23条　外壁　（延焼のおそれのある部分）
→主要構造部が木材/プラスチックその他の可燃材料の場合　→申請建物①～③　主要構造部は鉄骨の為適応外。　申請建物④　延焼のおそれのある部分無し。
法第26条　防火壁等
→延べ面積1000㎡越えの場合、防火上有効な構造の防火壁又は防火床によって1000㎡以内毎に区画
→各棟延べ面積1000㎡を超えないので適応外。
法第27条　耐火建築物等としなければならない特殊建築物
3項一号(耐火建築物、準耐火建築物)　別表第1(い)欄(5)項または(6)項に掲げる用途に供するもので、その用途に供する部分の床面積の合計が同表(に)欄の当該各項に該当するもの
→延べ面積150㎡以上の自動車車庫の為、準耐火建築物としなければならない。
→申請建物④は準耐火建築物ロ-2（不燃構造）として計画。
※H12建告1400号　不燃材料を定める件　より、鉄鋼、アルミニウムは不燃材料。

第3章　都市計画区域等における建築物の敷地、構造、建築設備及び用途
法第41条の2　適応区域　この章（第8節を除く）の規定は、都市計画区域及び準都市計画区域内に限り、適用する。
→法第41条の2～法第68条の8　は適用外となる。
→接道要件（法第43条）、容積率（法第52条）、建蔽率（法第53条）、建築物の各部分の高さ（法第56条）（隣地斜線、道路斜線）　適用外。

[建築基準法施行令]
第4章　耐火構造、準耐火構造、防火構造、防火区画等
令112条　防火区画
4項　法第21条1項の規定により令109条の5第一号に掲げる基準に適合する建築物
法第27条1項(耐火建築物としなければならない建築物)の規定により令110条第一号に掲げる基準に適合する建築物
法第27条3項の規定により準耐火建築物とした建築物
法第61条(防火地域及び準防火地域内の建築物)の規定により第136条の2第二号に定める基準に適合する建築物
法第67条（特定防災街区整備地区）第1項の規定により準耐火建築物等とした建築物
→申請建物①～③　当てはまらないので、500㎡区画不要。
→申請建物④　床面積500㎡未満の為、対象外。
第5章　避難施設　第2節　廊下、避難階及び出入口
令117条　適用の範囲
法別表第1い欄(1)項から(4)項までに掲げる用途に供する特殊建築物
階数が3以上である建築物、
居室の面積1/20以上の開口部を有しない居室を有する階又は延べ面積が1000㎡を超える建築物
→全居室は開口部（FIX窓含む）1/20を確保する為、適応外。
→計算式は法チェック図参照

【宮城県建築基準】

宮城県建築基準27 それぞれ別の2棟の建築物のひさしが重なるものの、接続の程度が軽微である場合は、別棟の取扱いとする。
→計量棟と目視監視施設は建築基準法上別棟とする。（接続の程度が軽微）

【消防法、黒川地域行政事務組合火災予防条例】

・用途　管理棟：(15)項、計量棟・目視監視施設（消防法上1棟）：(15)項、資材保管庫兼車庫：(16)項ロ　（14項、13項）
・棟扱い　計量棟と目視監視施設は水平投影面積上重なっている為、1棟として扱う。
・消火器は歩行距離20m以内に1台ABC10型を設置し、IHコンロ設置する場合はコンロ1台につき消火器1台設置とする。

◇開口部について(建築基準法)
法第28条　居室の採光及び換気
1項　用途上対象外の為省略。
2項　居室には換気ための窓その他の開口部を設け、その換気に有効な部分の面積は、その居室の床面積に対して1/20以上とする。→自然換気または機械換気

令111条
一　面積の合計が、当該居室の床面積1/20以上（FIX窓も含めて計画）
二　直接外気に接する避難上有効な構造のもので、かつ、その大きさが直径1m以上の円が内接することができるもの又はその幅及び高さが75cm及び1.2m以上のもの
→一号を計画する為、法第35条の3(主要構造部を耐火構造とする若しくは不燃材料で造る）は適応外。
令116条の2
一　面積の合計が、当該居室の床面積1/20以上（FIX窓も含めて計画）
二　開放できる部分（天井又は天井から下方80cm以内の距離にある部分に限る。）の床面積が当該居室の床面積1/50以上
令128条の3の2
一　開放できる部分（天井又は天井から下方80cm以内の距離にある部分に限る。）の床面積が当該居室の床面積1/50以上
二　対象となる室がない為省略。　→適応対象外。
令126条の2　排煙設備(第5章2節の為、適応対象外)
別表(1)～(4)の用途に供する特殊建築物で500㎡を超えるもの　→対象外。
階数が3以上で延べ面積が500㎡を超える建築物　→対象外。
令116条の2第1項二号に該当する窓その他の開口部を有しない居室　→有窓居室として計画する為、対象外。
延べ面積が1000㎡を超える建築物の居室でその床面積が200㎡を超えるもの　→対象外。
令120条　歩行距離（第5章2節の為、適応対象外）
令116条の2第1項一号(床面積1/20)に該当する窓その他の開口部を有しない居室：歩行距離30m

◇開口部について(消防法)
令第10条第1項五号、施行規則第5条の5　避難上又は消火活動上有効な開口部を有しない階(10階以下)
直径1m以上の円が内接することができる開口部又はその幅及び高さがそれぞれ75cm以上及び1.2m以上の開口部を2以上有する普通階以外の階とし、
開口部の面積の合計が当該階の床面積の1/30を超える階
床面からの開口部の下端までの高さは、1.2m以内
開口部は、道又は道に通ずる幅員1m以上の通路その他の空地に面したもの
※開口部前に室外機等（固定されているもの）がある場合は、開口部から1m以上離すこと。
※消防進入に伴い、経路上の扉が施錠されている場合は、破壊鍵等とする。
※開口部前に足場がない場合は、FIX窓を有効な開口部とみなすことはできない。
開口部は、格子その他の内部から容易に避難することを妨げる構造を有しないものであり、かつ、外部から開放し、又は容易に破壊することにより侵入できるもの

◇階段について(建築基準法)
令第23条　階段及びその踊場並びに階段の蹴上げ及び踏面の寸法
(1)(2)　用途上対象外
(3)　直上階の居室の床面積が200㎡を超えず、地階の居室を設けない為、対象外。
(4)　(1)～(3)までに掲げる階段以外のもの。
→階段及びその踊場幅750mm以上、蹴上220mm以下、踏面210mm以上とする。

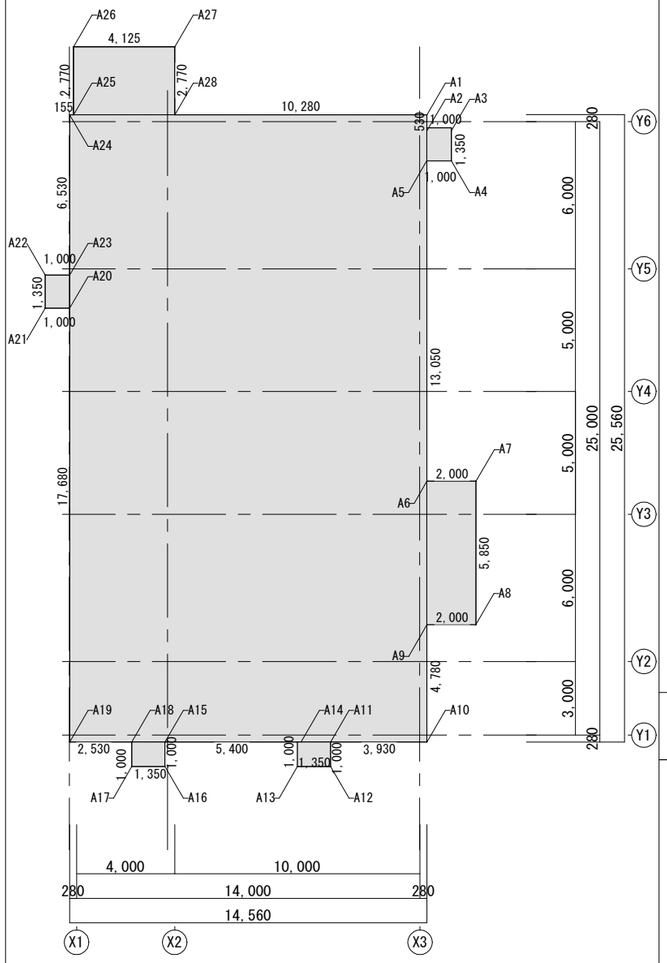
◇認定番号、他
屋根（共通）：H12建告1365号
屋根（駐車場）：NM-4617(1)
柱、壁、床、梁（駐車場）：NM-4113-3、NM-5380-1

ロックウール吸音板（共通）：NM-8599
GB-R t9.5：QM-9828
GB-R t12.5：NM-3073
化粧ケイカル板（共通）：NM-3073

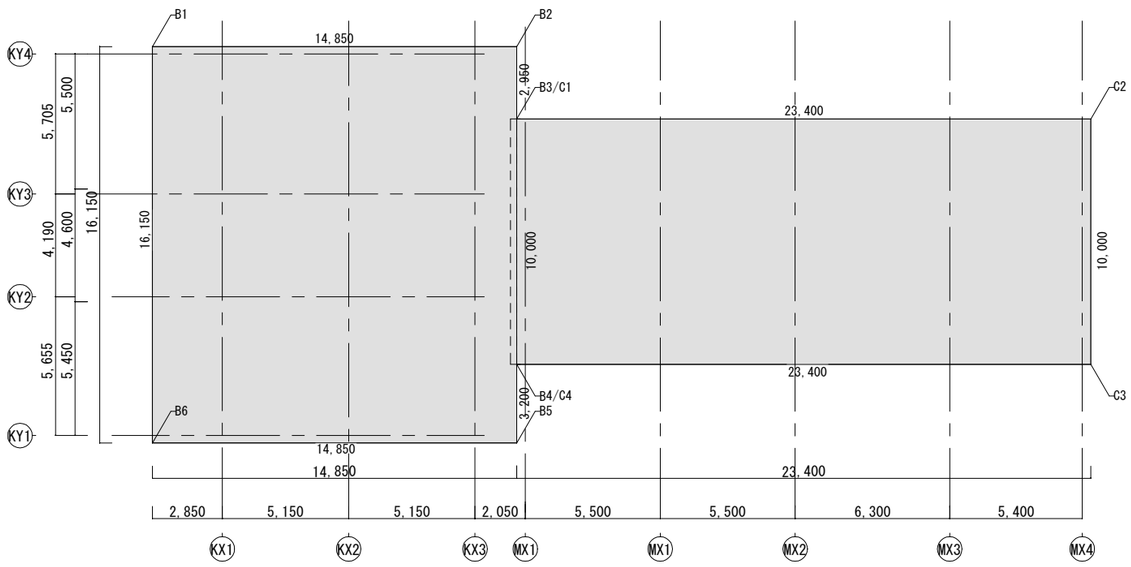
特記

			物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事
			図面名	法考察図
			縮尺	A1:－　N.S A3:－　N.S
			図番	D-017

申請建物① 管理棟
地盤面算定



申請建物② 計量棟
地盤面算定



申請建物④ 資材保管庫兼車庫
地盤面算定



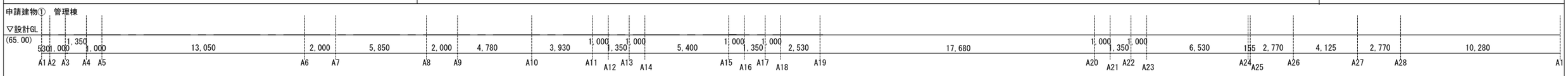
ポイント	レベル	レベル		長さ	見付面積
A1-A2	(65.000 +	65.000) /2	×	0.530	= 34.450000
A2-A3	(65.000 +	65.000) /2	×	1.000	= 65.000000
A3-A4	(65.000 +	65.000) /2	×	1.350	= 87.750000
A4-A5	(65.000 +	65.000) /2	×	1.000	= 65.000000
A5-A6	(65.000 +	65.000) /2	×	13.050	= 848.250000
A5-A7	(65.000 +	65.000) /2	×	2.000	= 130.000000
A7-A8	(65.000 +	65.000) /2	×	5.850	= 380.250000
A8-A9	(65.000 +	65.000) /2	×	2.000	= 130.000000
A9-A10	(65.000 +	65.000) /2	×	4.780	= 310.700000
A10-A11	(65.000 +	65.000) /2	×	3.930	= 255.450000
A11-A12	(65.000 +	65.000) /2	×	1.000	= 65.000000
A12-A13	(65.000 +	65.000) /2	×	1.350	= 87.750000
A13-A14	(65.000 +	65.000) /2	×	1.000	= 65.000000
A14-A15	(65.000 +	65.000) /2	×	5.400	= 351.000000
A15-A16	(65.000 +	65.000) /2	×	1.000	= 65.000000
A16-A17	(65.000 +	65.000) /2	×	1.350	= 87.750000
A17-A18	(65.000 +	65.000) /2	×	1.000	= 65.000000
A18-A19	(65.000 +	65.000) /2	×	2.530	= 164.450000
A19-A20	(65.000 +	65.000) /2	×	17.680	= 1149.200000
A20-A21	(65.000 +	65.000) /2	×	1.000	= 65.000000
A21-A22	(65.000 +	65.000) /2	×	1.350	= 87.750000
A22-A23	(65.000 +	65.000) /2	×	1.000	= 65.000000
A23-A24	(65.000 +	65.000) /2	×	6.530	= 424.450000
A24-A25	(65.000 +	65.000) /2	×	0.155	= 10.075000
25-26	(65.000 +	65.000) /2	×	2.770	= 180.050000
A26-A27	(65.000 +	65.000) /2	×	4.125	= 268.125000
A27-A28	(65.000 +	65.000) /2	×	2.770	= 180.050000
A28-A1	(65.000 +	65.000) /2	×	10.280	= 668.200000
合計				L= 97.780	A= 6355.700000
地盤面(m)				A(㎡)/L(m)= 65.000000	→ 65.00m

ポイント	レベル	レベル		長さ	見付面積
B1-B2	(55.000 +	65.000) /2	×	14.850	= 965.250000
B2-B3	(55.000 +	65.000) /2	×	2.950	= 191.750000
B3-B4	(55.000 +	65.000) /2	×	10.000	= 650.000000
B4-B5	(55.000 +	65.000) /2	×	3.200	= 208.000000
B5-B6	(55.000 +	65.000) /2	×	14.850	= 965.250000
B6-B1	(55.000 +	65.000) /2	×	16.150	= 1049.750000
合計				L= 62.000	A= 4030.000000
地盤面(m)				A(㎡)/L(m)= 65.000000	→ 65.00m

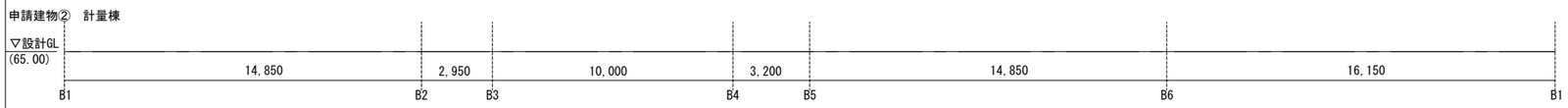
ポイント	レベル	レベル		長さ	見付面積
C1-C2	(65.000 +	65.000) /2	×	23.400	= 152.000000
C2-C3	(65.000 +	65.000) /2	×	10.000	= 650.000000
C3-C4	(65.000 +	65.000) /2	×	23.400	= 152.000000
C4-C1	(65.000 +	65.000) /2	×	10.000	= 650.000000
合計				L= 65.800	A= 4342.000000
地盤面(m)				A(㎡)/L(m)= 65.000000	→ 65.00m

ポイント	レベル	レベル		長さ	見付面積
D1-D2	(65.000 +	65.000) /2	×	24.446	= 1588.990000
D2-D3	(65.000 +	65.000) /2	×	7.686	= 499.590000
D3-D4	(65.000 +	65.000) /2	×	24.446	= 1588.990000
D4-D1	(65.000 +	65.000) /2	×	7.686	= 499.590000
合計				L= 64.264	A= 4177.160000
地盤面(m)				A(㎡)/L(m)= 65.000000	→ 65.00m

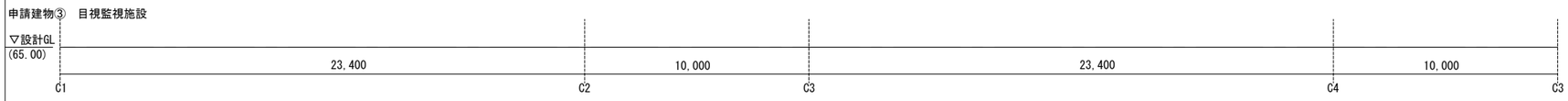
申請建物① 管理棟



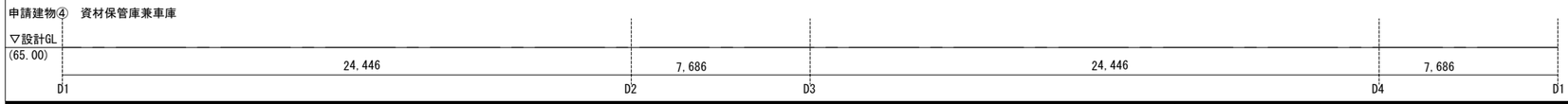
申請建物② 計量棟



申請建物③ 目視監視施設



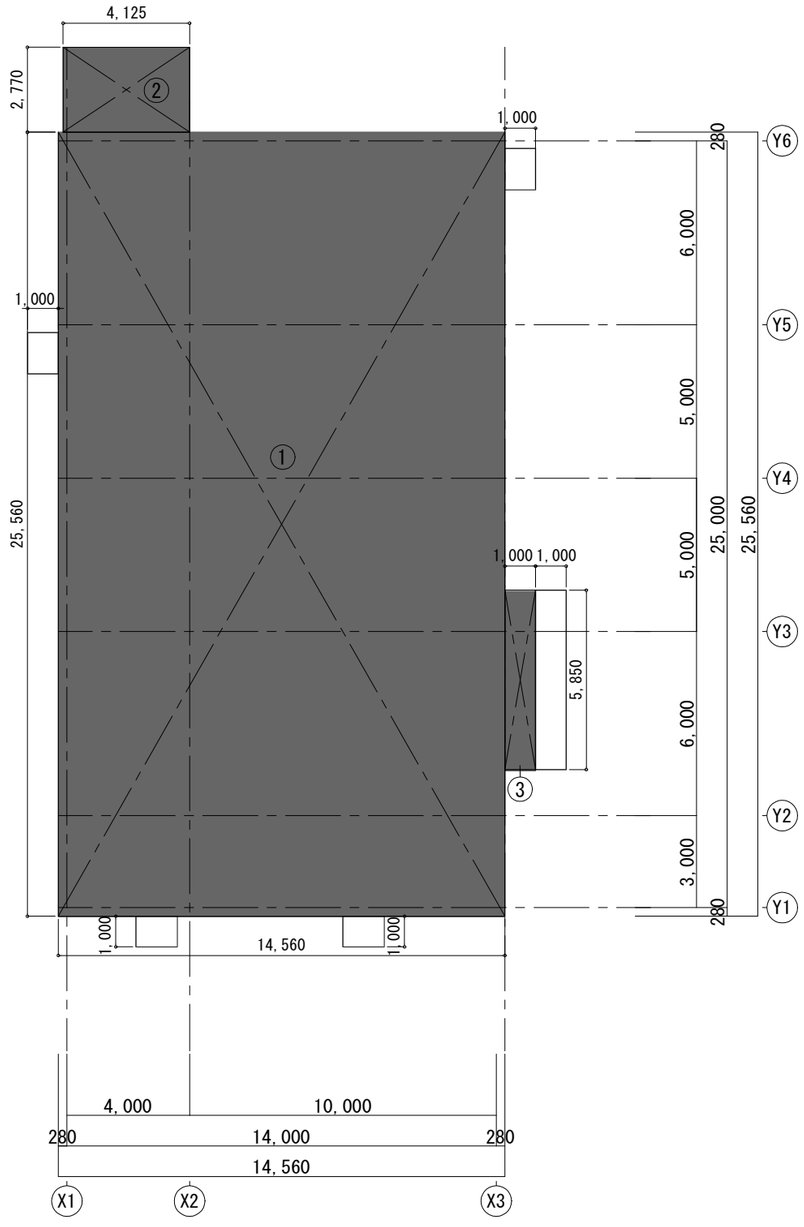
申請建物④ 資材保管庫兼車庫



特記

物件名	第R6-8号 新産業廃棄物最終処分場建設工事
図面名	地盤面算定図
縮尺	A1:- N.S A3:- N.S
図番	D-018

申請建物① 管理棟
建築面積（㎡）

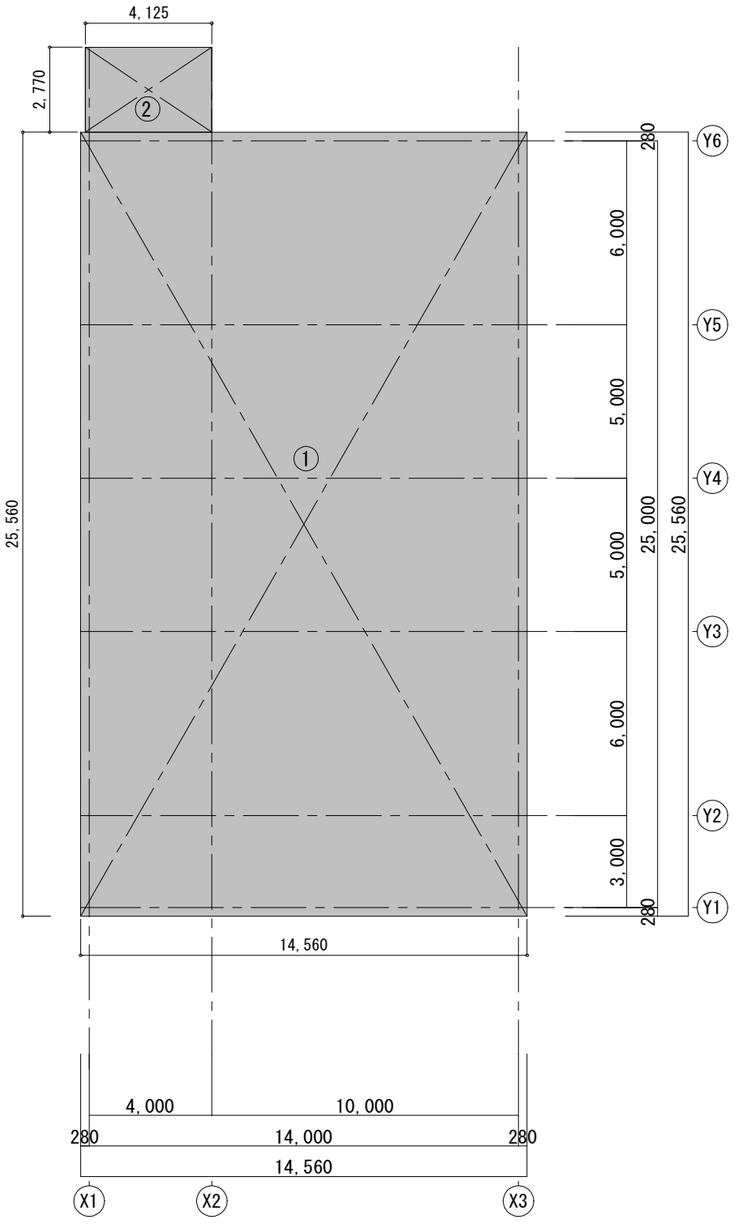


◇建築面積(㎡)

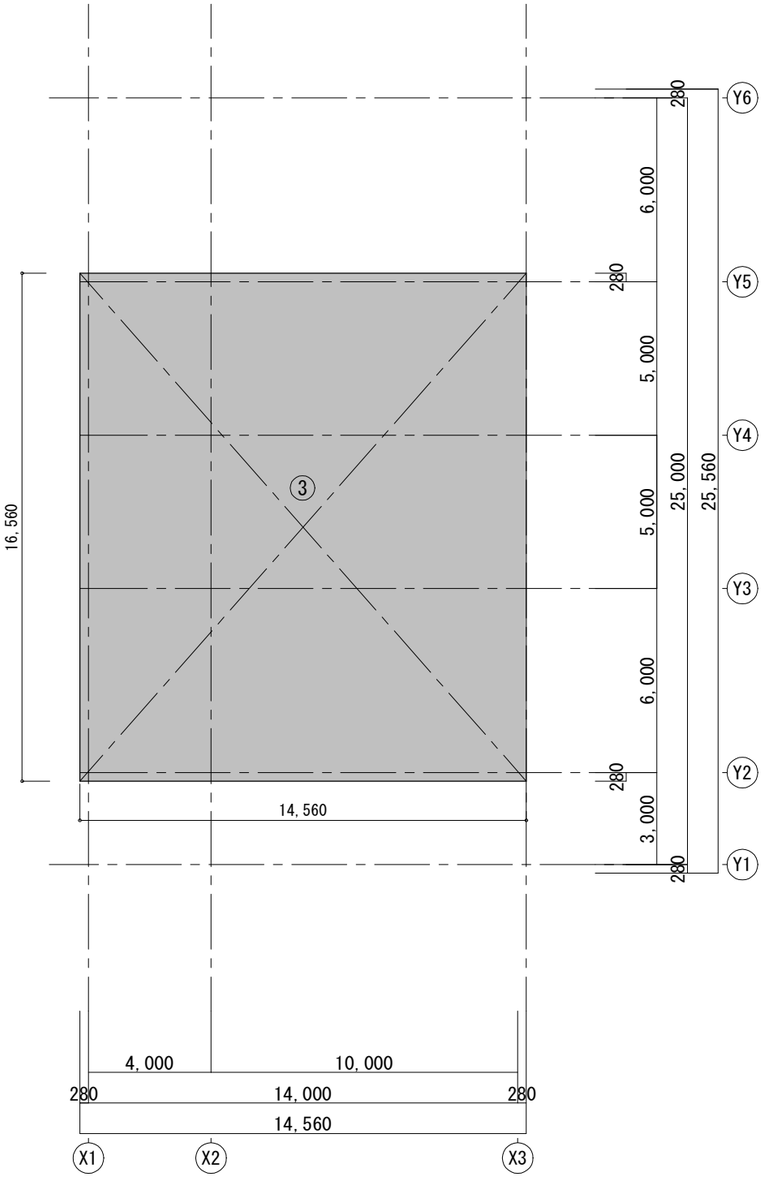
①	25.560	× 14.560	＝	372.153600
②	4.125	× 2.770	＝	11.426250
③	5.850	× 1.000	＝	5.850000
合計				389.42㎡

申請建物① 管理棟
延床面積（㎡）

1階



2階



◇延床面積(㎡)

1階

①	25.560	× 14.560	＝	372.153600
②	4.125	× 2.770	＝	11.426250
合計				383.57㎡

2階

③	16.560	× 14.560	＝	241.113600
合計				241.11㎡

特記

物件名	第R6-8号 新産業廃棄物最終処分場建設工事		
図面名	管理棟 建築面積・延床面積求積図	縮尺	A1:-1:100 A3:-1:200
図番	D-101		

部位	仕上
【屋根・屋上付属物】	
屋根	ダブル折板 上弦材：t0.8カラーガルバリウム鋼板 下弦材：t0.8ガルバリウム鋼板 (三晃金属：丸馳折版Ⅲ型同等品) グラスウール(24Kg/㎥)：50+50、中間材ポリ入 付属品：ケラバ・面戸・軒先包・水切 t0.8カラーガルバリウム鋼板 パラペット笠木：アルミ笠木(捨て笠木)(既製品)、L型通気材 パラペット立上りの内壁：角波サイディング　ｔ0.5カラーカルバリウム鋼板 t15木毛セメント板クリップ留、防水シート、水切り、出隅コーナーカバー （三晃金属：角波サイディングＳ同等品） 雪止めアングル： L-65×65×6 溶融亜鉛めっき、2列 軒樋： ｔ0.5耐酸被覆鋼板 竪樋：φ100硬質塩ビパイプ(カラー)
1階屋根（室外機置場）	コンクリート直均し　勾配1/75 ｱｽﾌｧﾙﾄ保護断熱防水 外断熱： ｔ40押出法ポリスチレンフォーム保温板3種ｂA 絶縁用シート ｔ80押えコンクリート金ゴテ押え　φ6-100×100ﾒｯｼｭ 伸縮目地：塩ビ既製品@3000内外 側溝：モルタル金ゴテ押え、鋳鉄製ルーフドレイン：φ100 パラペット笠木：アルミ笠木(捨て笠木)+Ｌ型通気材(既製品) ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ立上り：ｱｽﾌｧﾙﾄ露出防水(保護板貼:t6ｱｽﾌｧﾙﾄ系砂付成型板貼) RCパラペット誘発目地シーリング@1500 出入口ステップ 歩廊床板：チェッカーPL-4.5、鋼製架台：溶融亜鉛めっき アルミ縦格子手摺H=1150、手摺基礎：コンクリート後打ち直押え 室外機基礎立上:ｱｽﾌｧﾙﾄ露出防水(保護板貼:t6ｱｽﾌｧﾙﾄ系砂付成型板貼) 室外機基礎天端：ウレタン塗膜防水
1階屋根（ルーフバルコニー）	コンクリート直均し　勾配1/75 アスファルト保護断熱防水 外断熱： ｔ40押出法ポリスチレンフォーム保温板3種ｂA 絶縁用シート ｔ80押えコンクリート金ゴテ押え　φ6-100×100ﾒｯｼｭ 伸縮目地：塩ビ既製品@3000内外 側溝：モルタル金ゴテ押え、鋳鉄製ルーフドレイン：φ100 パラペット笠木：アルミ笠木(捨て笠木)+Ｌ型通気材(既製品) ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ立上り：ｱｽﾌｧﾙﾄ露出防水(保護板貼:t6ｱｽﾌｧﾙﾄ系砂付成型板貼) RCパラペット誘発目地シーリング@1500 出入口ステップ 歩廊床板：チェッカーPL-4.5、鋼製架台：溶融亜鉛めっき アルミ縦格子手摺H=1150、手摺基礎：コンクリート後打ち直押え
エントランス庇	屋根：t0.5カラーガルバリウム鋼板 嵌合フラットタイプ （裏貼：t4発砲ポリエチレンフォーム） バックアップ材：t25押出法ポリスチレンフォーム 防湿材：t1.0ゴムアスファルトルーフィング 下地材：t25硬質木毛セメント板　　水切り：t0.5カラーガルバリウム鋼板 （三晃金属：サンコーフラットI型同等品） 軒樋： ｔ0.6耐酸被覆鋼板 曲げ加工 幕板： ｔ2.5アルミ曲げ加工フッ素樹脂エナメル焼付塗装 軒天井： ｔ2.5アルミ曲げ加工フッ素樹脂エナメル焼付塗装
小庇	アルミ既製品(W1200×D900)(アルフィン：AD35同等品)

部位	仕上
【外壁・外壁付属物】	
外壁	窯業系サイディング （外壁通気構法)、工場塗装品 （ニチハ_窯業系サイディング：COOL16 メモリア 同等品） t15木毛セメント板クリップ留、防水シート 出隅部：専用付属部材(ニチハ：ＣＯＯＬ16同等品) パラペット部：換気部材～Ｌ型通気材(既製品) 折板屋根軒先包部:通気見切縁16(既製品)～ オーバーハング水切(鋼板製) 土台部：通気土台水切 W=1000以上のサッシについては、外壁材とアルミ枠、水切りの取合い シーリング部分 （サッシ上下）に樹脂製水抜き部材を@900内外で設置 する事。（三晃金属:FC200同等）
	横張通気金具工法用スターター 縦胴縁:C-100×50×2.3　@600 断熱材: ｔ100グラスウール(24kg/㎥)
腰壁(土台部)	基礎立上り：コンクリート打ち放し補修　防水形複層塗装材E（ゆず肌状） 誘発目地@1500内外
開口部	アルミサッシAC(一部柱型:t6けい酸カルシウム積層板付+t25ウレタン吹付) ガラス：Low-E複層ガラス（断熱タイプ） スチール扉：SOP塗装、ベンドキャップ：焼付塗装 指定色（設備工事）
竪樋	竪樋：φ100硬質塩ビパイプ(VPカラー)
メンテナンスタラップ	背かご付メンテナンス用タラップ：ステンレス製
外壁サイン	館銘板：SUSプレートの上、SUS切文字（足付）

部位	仕上
【その他（建物外周部・外構）】	
屋外階段	スチール製　溶融亜鉛めっき、手摺H＝1100(踊り場、階段) 床：St.CH.PL-4.5(曲げ加工)、ノンスリップ塗装
進入防止柵	アルミ押出形材（既製品）H=1800 四国化成：ハイパーテーションA1型(同等品) 基礎：コンクリート直均し 刷毛引き
ポーチ1（風除室1）	床：磁器質タイル（ノンスリップ）,SUSグレーチング SUS排水用パイプφ30
ポーチ2（風除室2） 職員勝手口1、勝手口2	床：コンクリート直均し 刷毛引き 床：コンクリート直均し 刷毛引き
スロープ	床：コンクリート直均し 刷毛引き,SUSグレーチング SUS排水用パイプφ30 手摺：ステンレスHL Ｈ＝850
雨水桝	桝（450角 有効高さ450）コンクリート（既製品）、 グレーチング蓋：溶融亜鉛めっき 自由勾配側溝（外構工事範囲の接続桝まで）
自由勾配側溝 (横断用・縦断用)	コンクリート（既製品）、グレーチング蓋：溶融亜鉛めっき

◇特記事項　1.使用する建築材料は、ホルムアルデヒドの発散についてF☆☆☆☆認定品又は規制対象外のものとする。 2.使用する建築材料は、クロロピリホスを一切添加していないものとする。 3.断熱を行う部屋・部位にグラスウールがある場合は断熱+グラスウール（SUS金物固定併用）とすること。

	下地略号				仕上略号				塗装略号	
	ALC	ALC板	※	内装制限に準ずる	MW	メラミン化粧鋼板	RC	鉄筋コンクリート	SOP	合成樹脂調合ペイント塗り
	SUS	ステンレス	GB-R	せっこうボード						
			GB-S	シージングせっこうボード						
			FK	けい酸カルシウム板						
			FK-D	化粧けい酸カルシウム板						

特記

物件名	第R6-8号 新産業廃棄物最終処分場建設工事	
図面名	管理棟 外部仕上表	縮尺 A1:– N.S A3:– N.S
図番	D-102	

室名	居室	排煙設備	内装制限	FL	SL	CH	床		幅木		腰壁	壁		回縁	天井		備考
							下地	仕上	H	材料		下地	仕上		下地	仕上	
【管理棟1階】																	
風除室１	非居室			-100	-150	2700	コンクリート直均し	磁器質タイル	100	**ステンレス**		t12.5GB-R	ビニルクロス		t9.5GB-R	ビニルクロス	受付カウンター：メラミンポストフォーム 上框：ステンレスHL
玄関ホール	非居室			-100 ±0	-150 ±0	2700 2600	コンクリート直均し	磁器質タイル ビニル床シート	100 60	ステンレス ビニル幅木		t12.5GB-R	ビニルクロス		t9.5GB-R	ビニルクロス	下足入：メラミン化粧合板
管理事務室	居室			±0	-100	2400	OAフロアー H=100	タイルカーペット	60	ビニル幅木		t12.5GB-R	ビニルクロス		t9.5GB-R	ビニルクロス	ブラインドボックス：スチール SOP塗装
風除室２	非居室			-50	-100	2450	コンクリート直均し	磁器質タイル	100	ステンレス		t12.5GB-R	ビニルクロス		t9.5GB-R	ビニルクロス	受付カウンター：ステンレス
申請窓口	居室			±0	-100	2400	OAフロアー H=100	タイルカーペット	60	ビニル幅木		t12.5GB-R	ビニルクロス		t9.5GB-R	ビニルクロス	ブラインドボックス：スチール SOP塗装
小会議室１	居室			±0	-100	2400	OAフロアー H=100	タイルカーペット	60	ビニル幅木		t12.5GB-R 遮音壁スラブまで	ビニルクロス		t9.5GB-R	ビニルクロス	ブラインドボックス：スチール SOP塗装
小会議室２	居室			±0	-100	2400	OAフロアー H=100	タイルカーペット	60	ビニル幅木		t12.5GB-R 遮音壁スラブまで	ビニルクロス		t9.5GB-R	ビニルクロス	ブラインドボックス：スチール SOP塗装
男子更衣室	非居室			±0	±0	2400	コンクリート直均し	タイルカーペット	60	ビニル幅木		t12.5GB-R	ビニルクロス		t9.5GB-R	ビニルクロス	ロッカー（別途工事）
女子更衣室	非居室			±0	±0	2400	コンクリート直均し	タイルカーペット	60	ビニル幅木		t12.5GB-R	ビニルクロス		t9.5GB-R	ビニルクロス	ロッカー（別途工事）
シャワー室（踏込み）	非居室			+100 ±0	-100	2300 2400	乾式二重床	ビニル床シート クッションフロア	60	ビニル幅木		t12.5GB-R	ビニルクロス		t9.5GB-R	ビニルクロス	シャワーユニット：900×1300 防水パン：640×640
男子便所	非居室			±0	±0	2400	コンクリート直均し	ビニル床シート	60	ステンレス		t12.5GB-R	t6化粧ケイカル板	塩ビ	t9.5GB-R	ロックウール吸音板	洗面化粧台：人工大理石（2ボール L=1600）、化粧鏡、 トイレブース:ポリ合板、ライニング：人工大理石、 汚垂石2：ｔ7セラミックパネル、小便器2・大便器2（設備工事）
女子便所	非居室			±0	±0	2400	コンクリート直均し	ビニル床シート	60	ステンレス		t12.5GB-R	t6化粧ケイカル板	塩ビ	t9.5GB-R	ロックウール吸音板	洗面化粧台：人工大理石（2ボール L=1600）、化粧鏡、 トイレブース:ポリ合板、ライニング：人工大理石、 大便器2（設備工事）
多目的室	居室			±0	±0	2400	コンクリート直均し	ビニル床シート	60	ビニル幅木		t12.5GB-R	ビニルクロス		t9.5GB-R	ビニルクロス	ブラインドボックス：スチール SOP塗装
SK	非居室			±0	±0	2400	コンクリート直均し	ビニル床シート	60	ステンレス		t12.5GB-R	t6化粧ケイカル板	塩ビ	t9.5GB-R	ビニルクロス	ライニング：スチールSOP、フック、スロップシンク(設備工事) 棚:メラミン化粧合板
HCWC	非居室			±0	-50	2400	コンクリート直均し	磁器質タイル	60	ステンレス		t12.5GB-R	t6化粧ケイカル板	塩ビ	t9.5GB-R	ロックウール吸音板	化粧鏡、ベビーチェアー、手摺、ライニング、 大便器・洗面器・オストメイト（設備工事）
倉庫１	非居室			±0	±0	2400	コンクリート直均し	ビニル床シート	60	ビニル幅木		t12.5GB-R	ビニルクロス		t9.5GB-R	ビニルクロス	
倉庫２	非居室			±0	±0	2400	コンクリート直均し	ビニル床シート	60	ビニル幅木		t12.5GB-R	ビニルクロス		t9.5GB-R	ビニルクロス	
書庫１	非居室			±0	±0	2400	コンクリート直均し	ビニル床シート	60	ビニル幅木		t12.5GB-R	ビニルクロス		t9.5GB-R	ビニルクロス	
書庫２	非居室			±0	±0	2400	コンクリート直均し	ビニル床シート	60	ビニル幅木		t12.5GB-R	ビニルクロス		t9.5GB-R	ビニルクロス	
湯沸室	非居室			±0	±0	2400	コンクリート直均し	ビニル床シート	60	ビニル幅木		t12.5GB-R	ビニルクロス ｷｯﾁﾝ廻り：ｷｯﾁﾝﾊﾟﾈﾙ、ｱﾙﾐ見切り材		t9.5GB-R	ビニルクロス	キッチン：天板ステンレス L=1600 IHIコンロ、メラミン化粧合板
職員用勝手口1、2	非居室			-100	-150	2500	コンクリート直均し	磁器質タイル	160	ステンレス		t12.5GB-R	ビニルクロス		t9.5GB-R	ビニルクロス	上框：ステンレスHL
土間収納	非居室			-100	-150	2500	コンクリート直均し	磁器質タイル	100	ステンレス		t12.5GB-R	ビニルクロス		t9.5GB-R	ビニルクロス	ヘルメット用フック：ステンレス製 長靴ロッカー（別途工事）
廊下	非居室			±0	±0	2400	コンクリート直均し	ビニル床シート	60	ビニル幅木		t12.5GB-R	ビニルクロス		t9.5GB-R	ビニルクロス	
屋内階段	非居室						モルタル	ビニル床シート		ササラ SOP		t12.5GB-R	ビニルクロス		t9.5GB-R	ビニルクロス	鉄骨階段:スチール部分 SOP塗装 手摺：ビニルハンドレール、ノンスリップ
階段下物入	非居室			±0	±0	階段下 直天	コンクリート直均し	ビニル床シート	60	ビニル幅木		t12.5GB-R	ビニルクロス		鉄骨階段下 SOP塗装	鉄骨階段SOP塗装	
【管理棟2階】																	
理事長室	居室			±0	-100	2400	OAフロアー H=100	タイルカーペット	60	ビニル幅木		t12.5GB-R 遮音壁スラブまで	ビニルクロス		t9.5GB-R	ビニルクロス	ブラインドボックス：スチール SOP塗装
小会議室	居室			±0	-100	2400	OAフロアー H=100	タイルカーペット	60	ビニル幅木		t12.5GB-R 遮音壁スラブまで	ビニルクロス		t9.5GB-R	ビニルクロス	ブラインドボックス：スチール SOP塗装
専務理事室	居室			±0	-100	2400	OAフロアー H=100	タイルカーペット	60	ビニル幅木		t12.5GB-R 遮音壁スラブまで	ビニルクロス		t9.5GB-R	ビニルクロス	ブラインドボックス：スチール SOP塗装
大会議室	居室			±0	-100	2400	OAフロアー H=100	タイルカーペット	60	ビニル幅木		t12.5GB-R 遮音壁スラブまで	ビニルクロス		t9.5GB-R	ビニルクロス	スライディングウォール ブラインドボックス：スチール SOP塗装
倉庫	非居室			±0	±0	2400	コンクリート直均し	ビニル床シート	60	ビニル幅木		t12.5GB-R	ビニルクロス		t9.5GB-R	ビニルクロス	ブラインドボックス：スチール SOP塗装
多目的室	居室			±0	-100	2400	OAフロアー H=100	タイルカーペット	60	ビニル幅木		t12.5GB-R	ビニルクロス		t9.5GB-R	ビニルクロス	ブラインドボックス：スチール SOP塗装
便所１	非居室			±0	±0	2400	コンクリート直均し	ビニル床シート	60	ビニル幅木		t12.5GB-R	ビニルクロス		t9.5GB-R	ビニルクロス	手洗いカウンター：メラミンポストフォーム L=1500、 ライニング：スチールSOP、大便器・手洗器（設備工事）
便所2	非居室			±0	±0	2400	コンクリート直均し	ビニル床シート	60	ビニル幅木		t12.5GB-R	ビニルクロス		t9.5GB-R	ビニルクロス	手洗いカウンター：メラミンポストフォーム L=1500、 ライニング：スチールSOP、大便器・手洗器（設備工事）
湯沸室	非居室			±0	±0	2400	コンクリート直均し	ビニル床シート	60	ビニル幅木		t12.5GB-R	ビニルクロス		t9.5GB-R	ビニルクロス	流し：天板ステンレス L=1200 (扉：メラミン化粧合板)
廊下	非居室			±0	±0	2400 一部2800	コンクリート直均し	ビニル床シート	60	ビニル幅木		t12.5GB-R	ビニルクロス		t9.5GB-R	ビニルクロス	小階段(3段):木軸組(ビニル床シート)2カ所

◇特記事項　1.使用する建築材料は、ホルムアルデヒドの発散についてF☆☆☆☆認定品又は規制対象外のものとする。 2.使用する建築材料は、クロロピリホスを一切添加していないものとする。 3.断熱を行う部屋・部位にグラスウールがある場合は断熱+グラスウール（SUS金物固定併用）とすること。

内装制限凡例	排煙設備
㊎：仕上げ下地共不燃 不　：不燃 準　：準不燃	機　　：機械排煙　　自：自然排煙 告○：H12建告1436号四号二(1)~(4) 条文：令126条の2　条文による ※消防法上排煙設備が必要な場合は 別図を参照。

下地略号			
ALC	ALC板	※	内装制限に準ずる
SUS	ステンレス	GB-R	せっこうボード
		GB-S	シージングせっこうボード
		FK	けい酸カルシウム板
		FK-D	化粧けい酸カルシウム板

仕上略号			
MW	メラミン化粧鋼板	RC	鉄筋コンクリート

塗装略号	
SOP	合成樹脂調合ペイント塗り

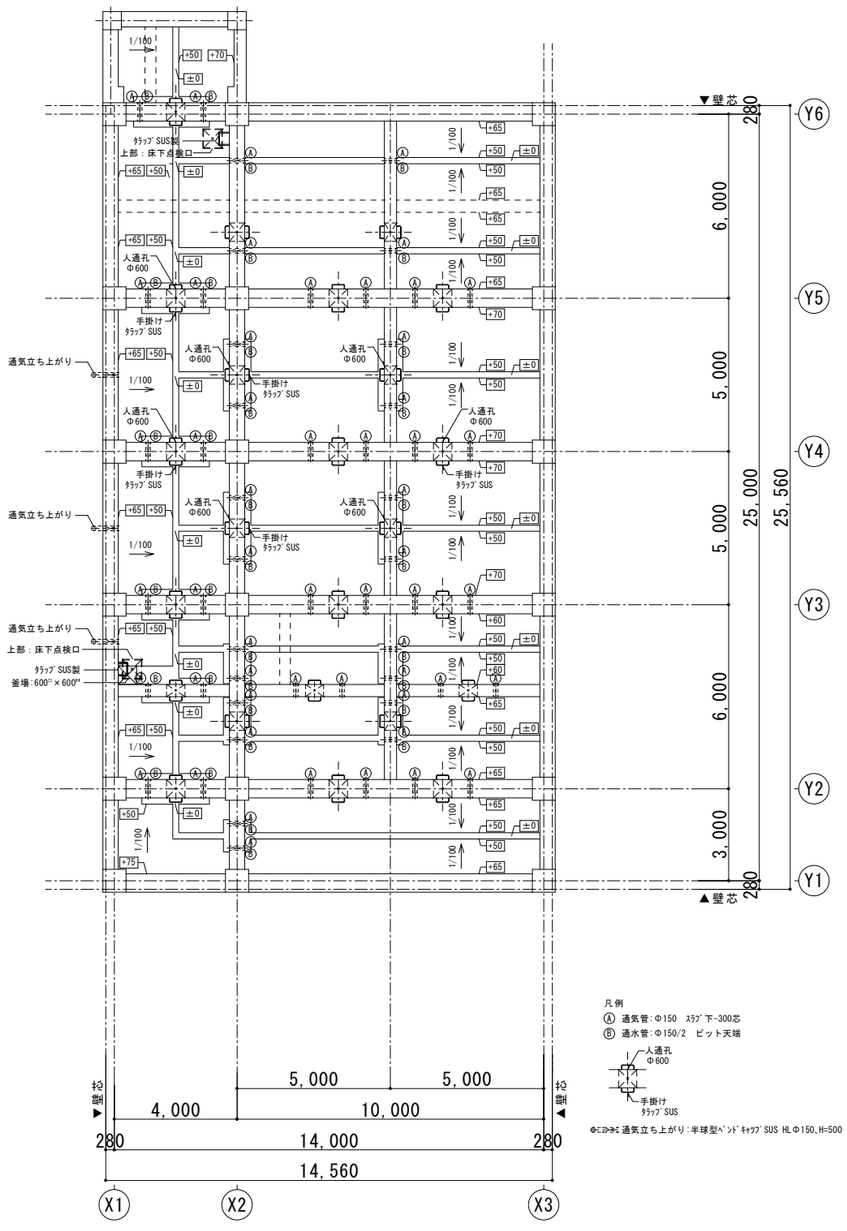
特記

物件名　第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事

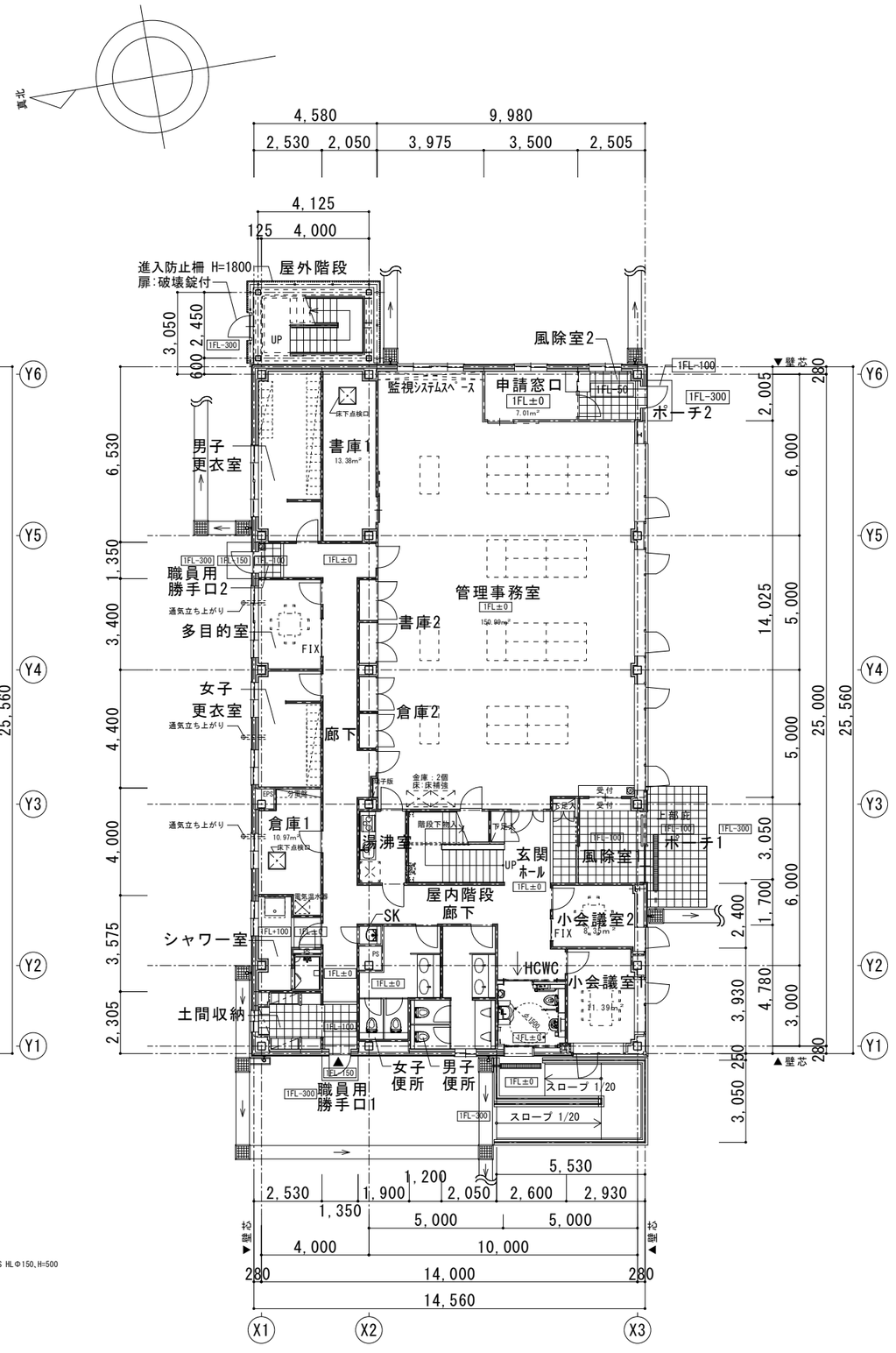
図面名　管理棟内部仕上表

縮尺　A1:- N.S　A3:- N.S

図番　D-103

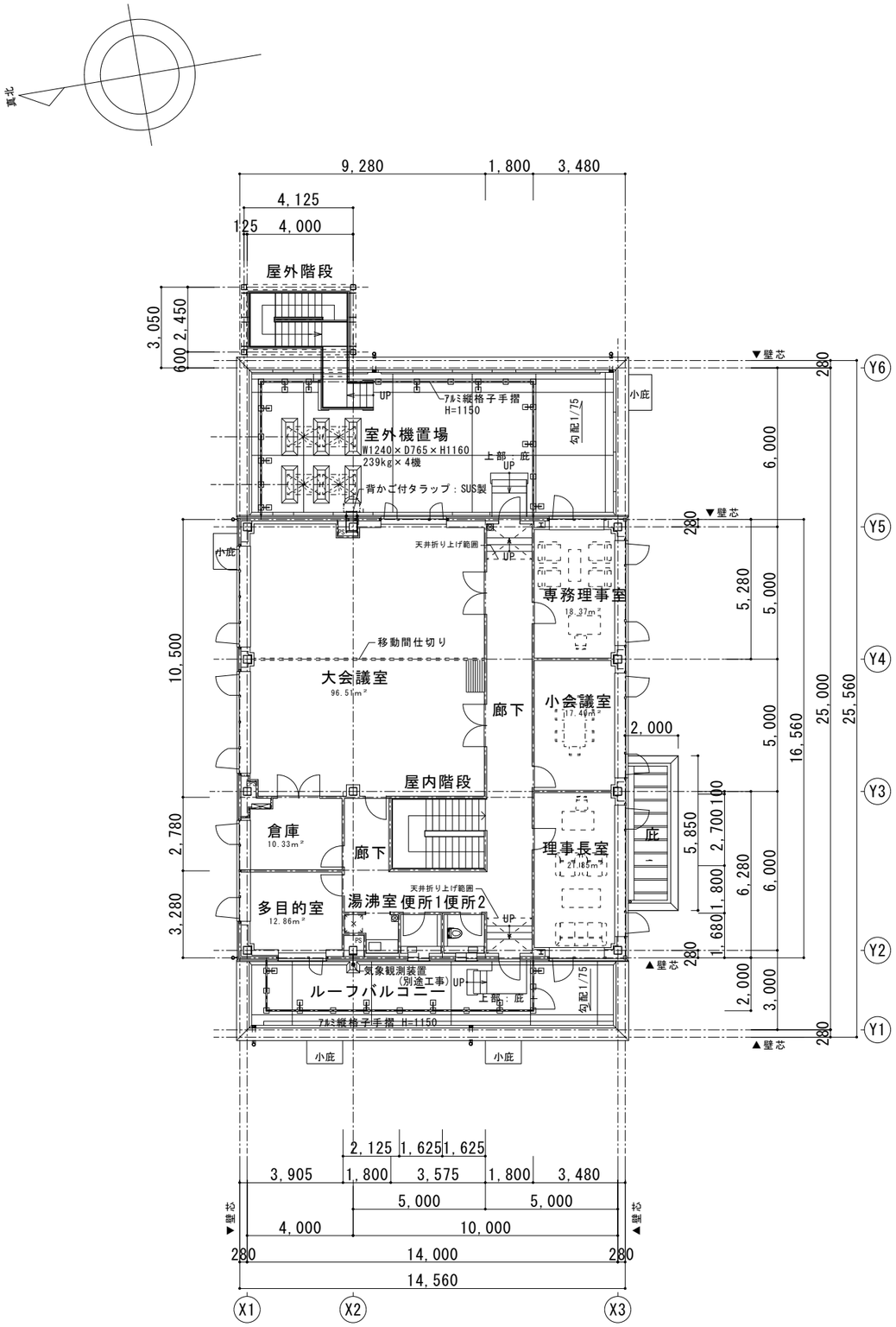


ピット平面

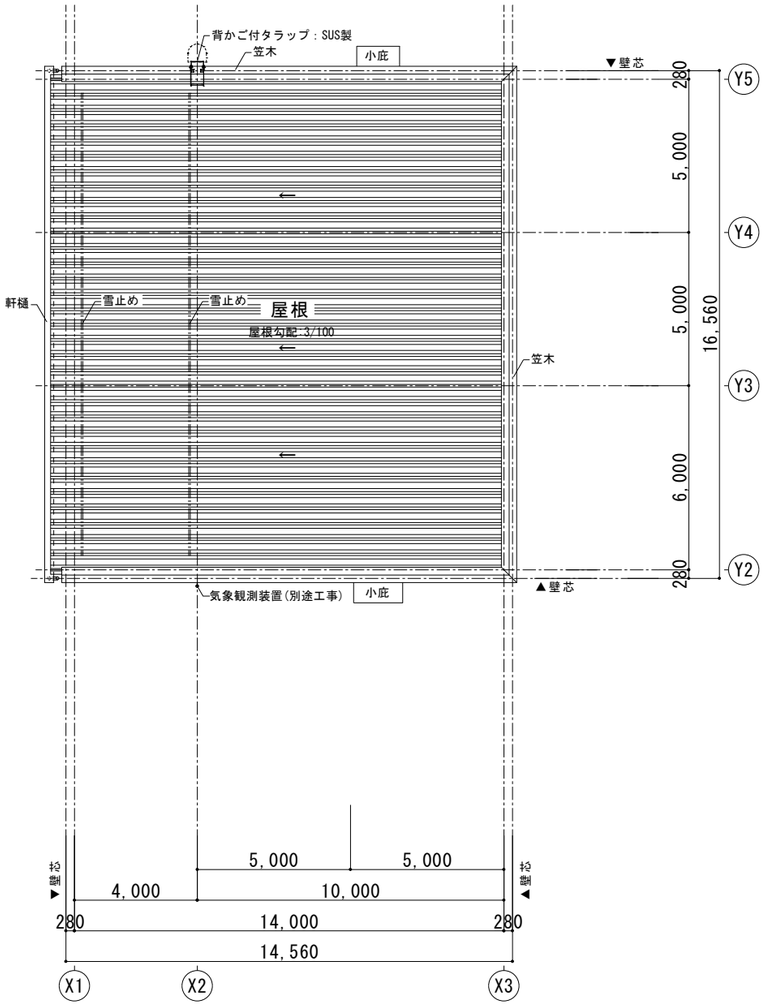


1階平面図

特記				物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事
				図面名	管理棟 ﾋﾟｯﾄ・1階平面図
				縮尺	A1:1/100 A3:1/200
				図番	D-104

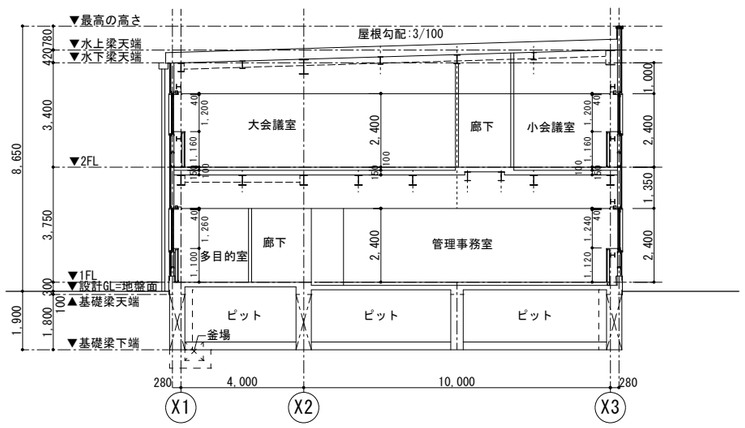


2階平面図

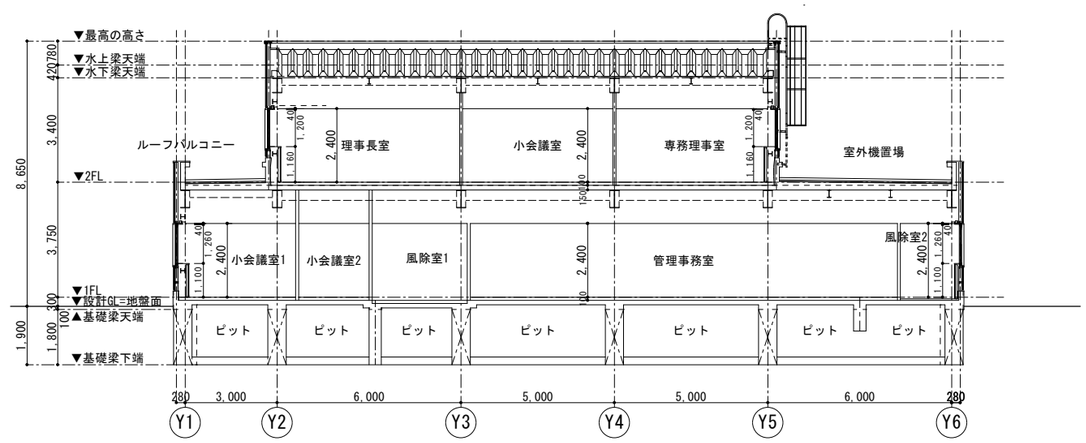


屋根伏せ図

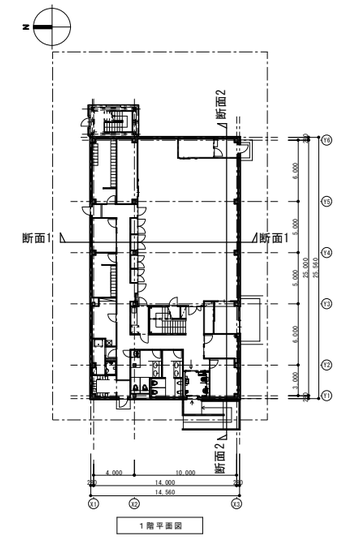
特記				物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事
				図面名	管理棟 2階平面図・屋根伏図
				縮尺	A1:1/100 A3:1/200
				図番	D-105



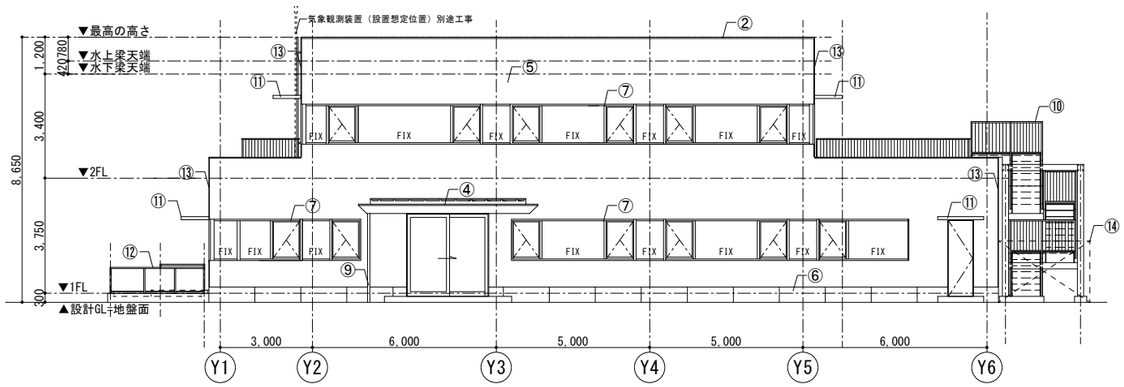
断面図 1



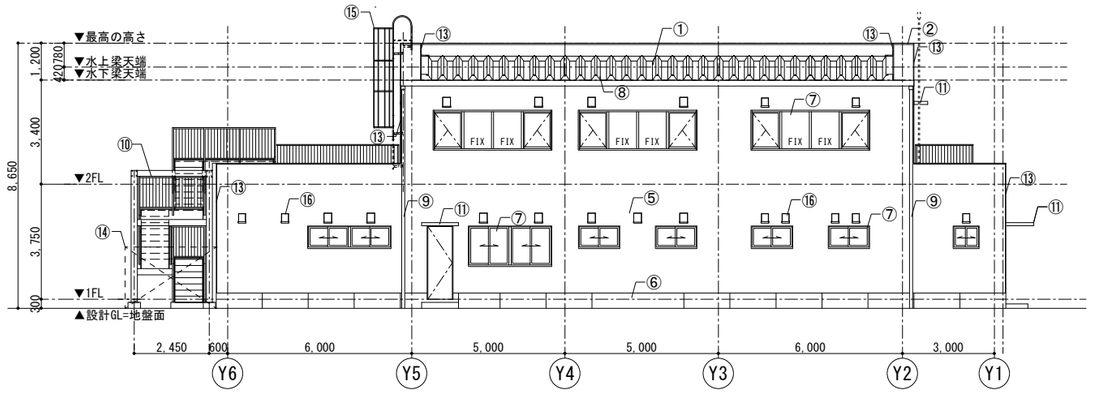
断面図 2



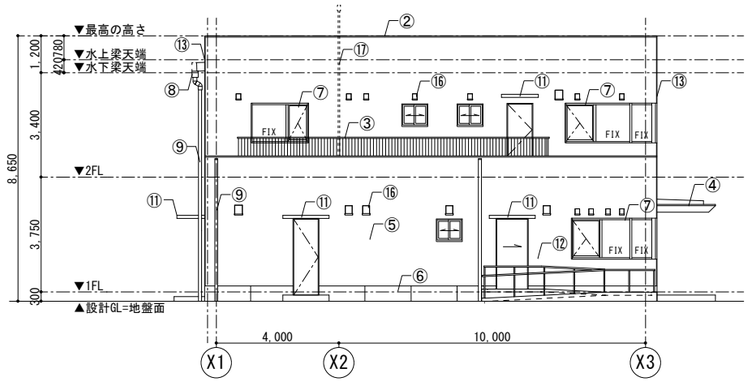
特記				物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事
				図面名	管理棟 断面図
				縮尺	A1:1/100 A3:1/200
				図番	D-106



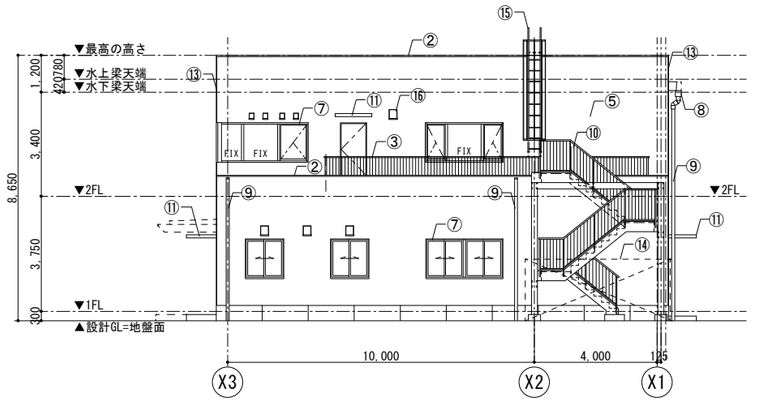
南立面図



北立面図



西立面図



東立面図

凡例

記号	仕上
①	屋根：ダブル折版_t0.8カラーガルバリウム鋼板
②	笠木：アルミ既製品
③	アルミ縦格子手摺H=1150
④	エントランス庇：屋根～t0.5カラーガルバリウム鋼板 軒天～アルミ製 フッ素樹脂焼付塗装
⑤	外壁：t16 窯業系サイディング
⑥	RC基礎立上り：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修 防水形複層塗材E
⑦	サッシ：アルミ電解着色
⑧	軒樋：t0.5耐酸被膜鋼板
⑨	縦樋：硬質塩ビ管（ＶＰカラー）
⑩	屋外階段：スチール製 溶融亜鉛めっき
⑪	小庇：アルミ既製品
⑫	ステンレス縦格子手摺H=850
⑬	出隅部：見切り金物
⑭	アルミ進入防止柵 H=1800
⑮	背かご付メンテナンス用タラップ：ステンレス製
⑯	ベントキャップ（設備工事）：焼付塗装　特注色
⑰	気象観測装置（別途工事）用アングル+アングルピース：亜鉛メッキ

特記

物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事
図面名	管理棟 立面図
縮尺	A1:1/100 A3:1/200
図番	D-107

屋根:ダブル折板
上弦材：t0.8カラーガルバリウム鋼板板
下弦材：t0.8ガルバリウム鋼板　透湿防水シート
グラスウール(24Kg/㎥)：50+50、中間材ポリ入
雪止め金具:溶融亜鉛めっき処理 2列設置
雪止めアングル L-65×65×6
溶融亜鉛めっき処理
軒樋：t0.5 耐酸被膜鋼板
▼最高の高さ
▼水上梁天端
▼水下梁天端
面戸・水切:t0.8 カラーガルバリウム鋼板
外壁頂部:L型通気材
水切:t0.8 カラーガルバリウム鋼板
三方付枠:アルミ製
外壁:t16 窯業系サイディング
横張通気金物工法
頂部L型通気材
防水シート
t15木毛セメント板
▼2FL
断熱材:t100 グラスウール(24kg/㎥)充填
室内側防湿シート張
φ100硬質塩ビパイプ(VPカラー)
三方付枠:アルミ製
▼1FL
▼設計GL
雨水枡:450角
コンクリート既製品
グレーチング蓋:
溶融亜鉛メッキ
天井:t9.5 GB-R
ビニルクロス
大会議室
壁:ビニルクロス張
CH=2,400
巾木:ビニル幅木 H=60
床:タイルカーペット
OAフロア
天井:t9.5GB-R
ビニルクロス
多目的室
壁:ビニル
クロス張
廊下
壁:ビニル
クロス張
巾木:ビニル幅木 H=60
床:t2.0ビニル床シート
手掛けタラップ SUS
通気孔 φ150
スパン間2ヵ所
断熱材:t70 押出法ポリスチレンフォーム
保温板3種bA
人通口 φ600
断熱材:t25吹付硬質ウレタンフォーム
A種1H
床排水溝 W200
連通管 φ150半割
スパン間2ヵ所
X3通りまで
10,000
4,000
X1
X2

①断面図

屋根:ダブル折板
上弦材：t0.8カラーガルバリウム鋼板板
下弦材：t0.8ガルバリウム鋼板　透湿防水シート
グラスウール(24Kg/㎥)：50+50、中間材ポリ入
笠木:アルミ製(既製品) W=225
捨笠木:t0.8アルミ亜鉛メッキ鋼板
角波サイディング
t0.5カラーカルバリウム鋼板
防水シート
t15 木毛セメント板
屋根勾配:3/100
遮音壁:
t12.5 GB-R
(スラブtoスラブ)
グラスウール充填
天井:t9.5 GB-R
ビニルクロス
大会議室
壁:ビニルクロス張
CH=2,400
廊下
壁:ビニルクロス張
巾木:
ビニル幅木 H=60
床:t2.0
ビニル床シート
床:タイルカーペット
OAフロア
専務理事室
壁:ビニルクロス張
膳板:スチールSOP塗装
管理事務室
壁:ビニルクロス張
巾木:ビニル幅木 H=60
ピット
断熱材:t70 押出法ポリスチレンフォーム
保温板3種bA
5,000
X2通りまで10,000
X3
外壁:t16 窯業系サイディング
横張通気金物工法　頂部L型通気材
透湿防水シート
t15木毛セメント板
▼最高の高さ
▼水上梁天端
▼水下梁天端
耐風梁:H-150×150
三方付枠:アルミ製
サッシ額縁:スチールSOP塗装
アルミサッシュ
水切:アルミ製
▼2FL
断熱材:t100 グラスウール(24kg/㎥)充填
室内側防湿シート張
三方付枠:アルミ製
サッシ額縁:スチールSOP塗装
アルミサッシュ
水切:アルミ製
▼1FL
▼設計GL
通気土台水切
断熱材:t25吹付硬質ウレタンフォームA種1H
△パネル上端
▽パネル下端

②断面図

断面キープラン

特記				物件名	第R6-8号 新産業廃棄物最終処分場建設工事
				図面名	管理棟 矩計図(1)
				縮尺	A1:- 1/30 A3:- 1/60
				図番	D-108

屋根:ダブル折板
上弦材：t0.8カラーガルバリウム鋼板板
下弦材：t0.8ガルバリウム鋼板　透湿防水シート
グラスウール(24Kg/㎥)：50+50、中間材ポリ入

笠木:アルミ製(既製品) W=225　捨笠木:t0.8アルミ亜鉛メッキ鋼板

外壁:t16 窯業系サイディング
横張通気金物工法
頂部Ｌ型通気材
防水シート
t15木毛セメント板

▼最高の高さ
▼水上梁天端
▼水下梁天端
▼2FL
▼1FL
▼設計GL

断熱材:t100 グラスウール(24kg/㎥)充填
室内側防湿シート張

小庇:アルミ製 (W1200×D1000)

床:ｔ80押えコンクリート金ゴテ押え 勾配1/75
φ6-100×100メッシュ
絶縁用シート
ｔ40 押出法ポリスチレンフォーム保温板3種bA
アスファルト保護断熱防水
伸縮目地：塩ビ既製品 @3000内外

三方付枠:スチール製

ルーフバルコニー

アルミ縦格子手摺H=1150、基礎支柱間隔@1,500以内
控柱基礎_300×500×H100以上、独立基礎_300×300×H100以上

天井:t9.5 GB-R
ビニルクロス

廊下
壁:ビニル
クロス張
床:t2.0
ビニル床シート

竪樋:φ100
硬質塩ビパイプ(VPカラー)

断熱材:t25 吹付硬質
ウレタンフォーム A種IH

天井:t9.5 GB-R
ロックウール吸音板

スロープ
別図参照
床:コンクリート直押え
刷毛引き

HCWC
壁:t6化粧ケイカル板張
巾木:ステンレス H=60
床:磁器質タイル

玄関ホール
壁:ビニルクロス張
巾木:ビニル幅木 H=60
床:t2.0ビニル床シート

断熱材:t70 押出法ポリスチレンフォーム
保温板3種bA

ピット

排水溝:W100 防水モルタル金コテ押え
水勾配 1/200
SUS グレーチング(細目)蓋
ノンスリップタイプ W150

③断面図

天井:t9.5 GB-R
ビニルクロス

膳板:スチールSOP塗装
壁:ビニルクロス張
巾木:ビニル幅木 H=60
床:タイルカーペット
OAフロア

大会議室

断熱材:t25 吹付硬質ウレタンフォーム
A種IH

天井:t9.5 GB-R
ビニルクロス

管理事務室
壁:ビニルクロス張
巾木:ビニル幅木 H=60
床:タイルカーペット
OAフロア

断熱材:t70 押出法ポリスチレンフォーム
保温板3種bA

④断面図

笠木:アルミ製(既製品) W=225
捨笠木:t0.8アルミ亜鉛メッキ鋼板

外壁:t16 窯業系サイディング
横張通気金物工法　頂部Ｌ型通気材
防水シート
t15木毛セメント板

断熱材:t100 グラスウール充填
(24kg/㎥)
室内側防湿シート張

三方付枠:アルミ製

屋外階段を示す

サッシ額縁:スチールSOP塗装
アルミサッシュ

室外機置場

床:ｔ80押えコンクリート金ゴテ押え 勾配1/75
φ6-100×100メッシュ
絶縁用シート
ｔ40 押出法ポリスチレンフォーム保温板3種bA
アスファルト保護断熱防水
伸縮目地：塩ビ既製品 @3000

アルミ縦格子手摺H=1150
基礎支柱間隔@1,500以内
控柱基礎_300×500×H100以上
独立基礎_300×300×H100以上

笠木:アルミ製(既製品) W=475
捨笠木:t0.8アルミ亜鉛メッキ鋼板

外壁:t16 窯業系サイディング
横張通気金物工法
頂部Ｌ型通気材
透湿防水シート
t15木毛セメント板

断熱材:t100 グラスウール充填
(24kg/㎥)
室内側防湿シート張

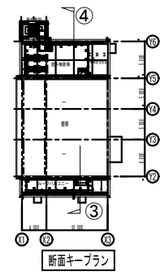
竪樋:φ100
硬質塩ビパイプ(VPカラー)

通気土台水切
t0.8 ガルバリウム鋼板曲げ加工

雨水桝:450角
コンクリート既製品
グレーチング蓋:
溶融亜鉛メッキ

△パネル上端
▽パネル下端

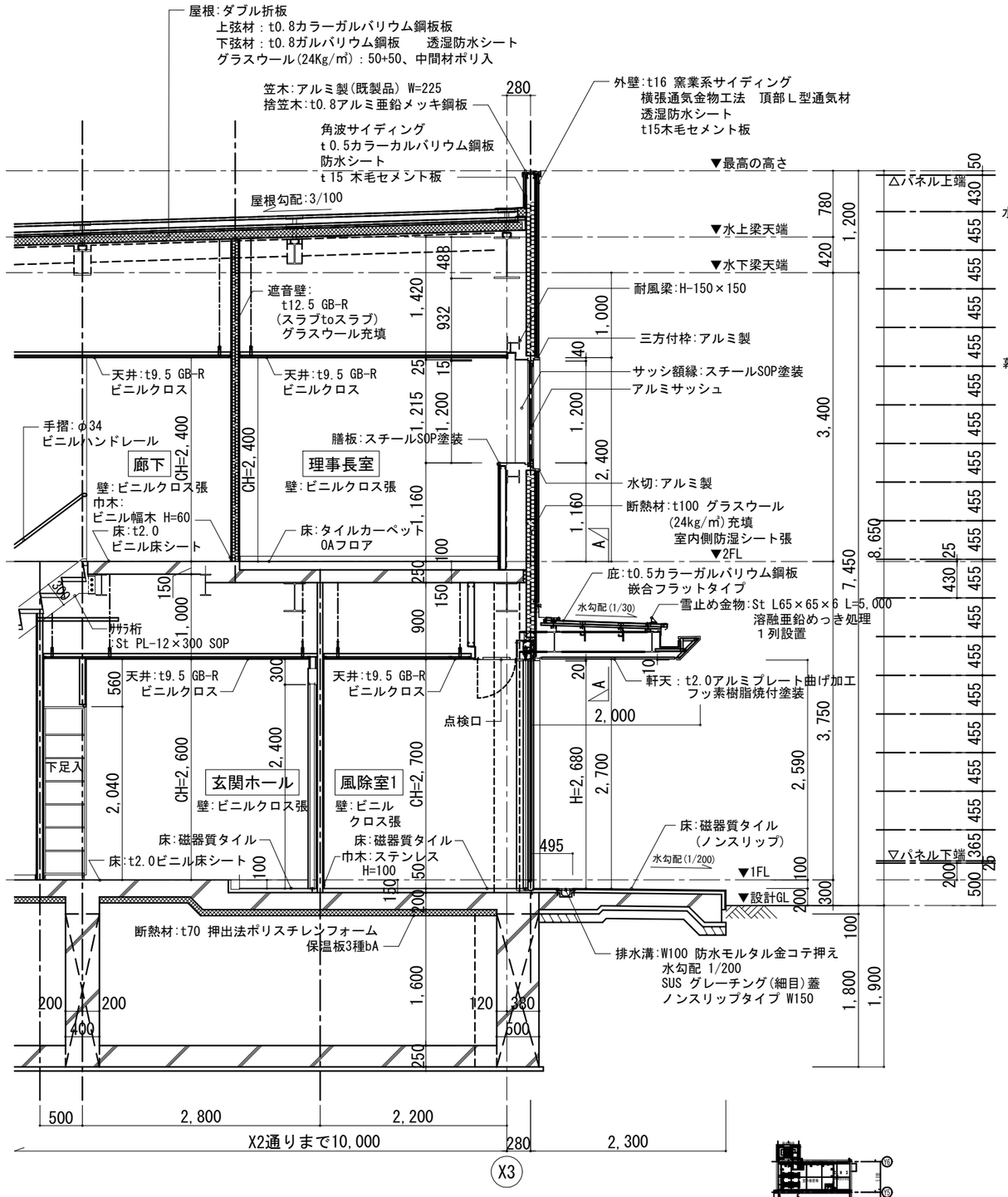
3,200 / 280 / 2,425 / 3,000 / 575 / 3,200 / Y3通りまで6,000
Y1 / Y2
Y4通りまで5,000 / 3,000 / 4,275 / 3,000 / 1,725 / 6,000 / 280
Y5 / Y6



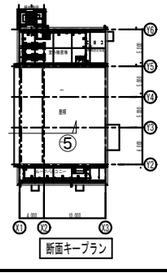
断面キープラン

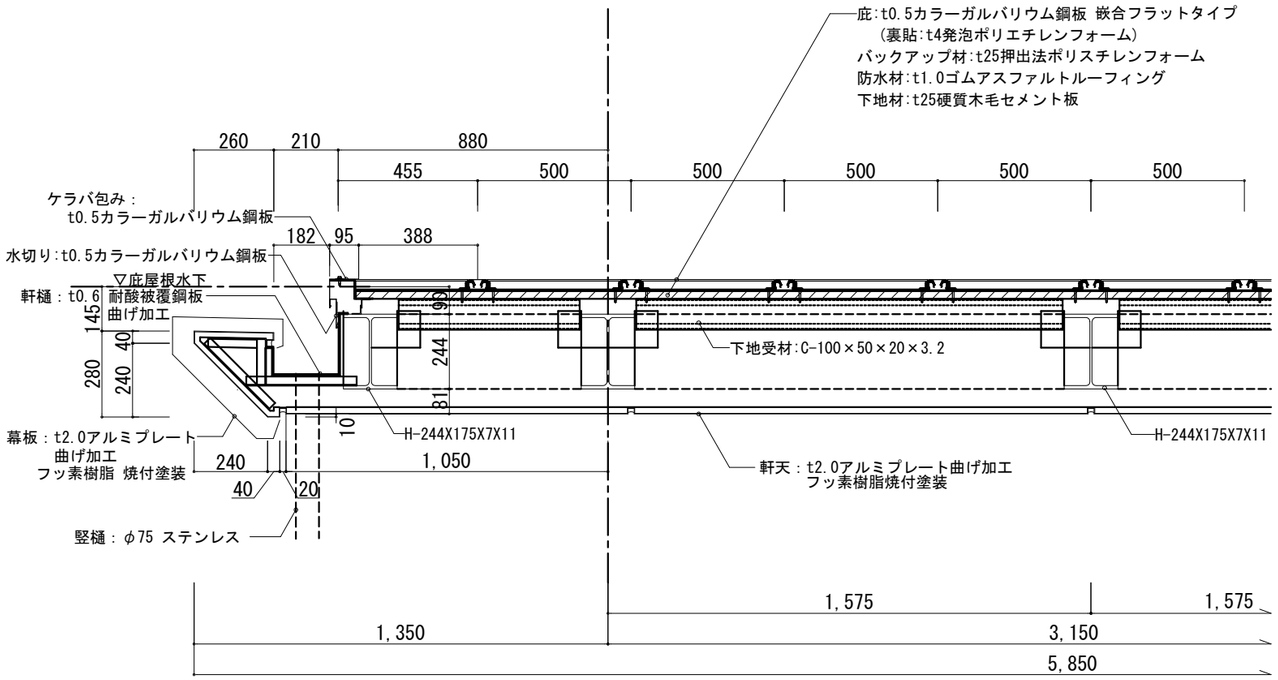
特記

物件名	第R6-8号 新産業廃棄物最終処分場建設工事
図面名	管理棟 矩計図(2)
縮尺	A1:- 1/30　A3:- 1/60
図番	D-109



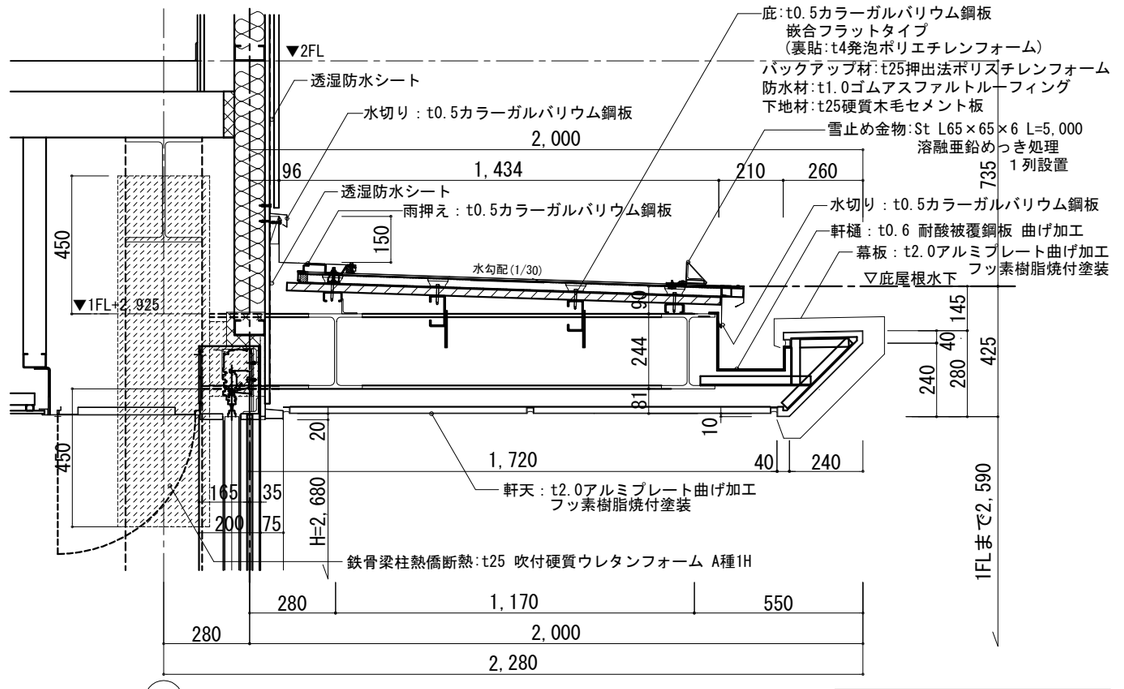
⑤断面図





※ 庇屋根：三晃金属 サンコーフラットI型同等品)

エントランス庇AA詳細図　A1 1:10 A3 1:20

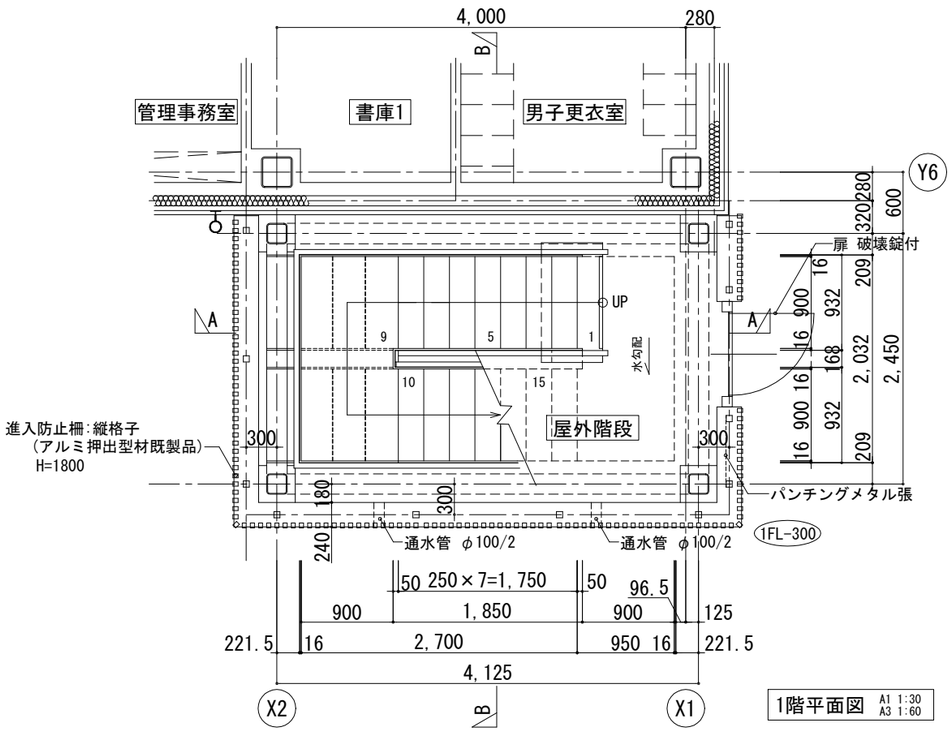


※ 庇屋根：三晃金属 サンコーフラットI型同等品)

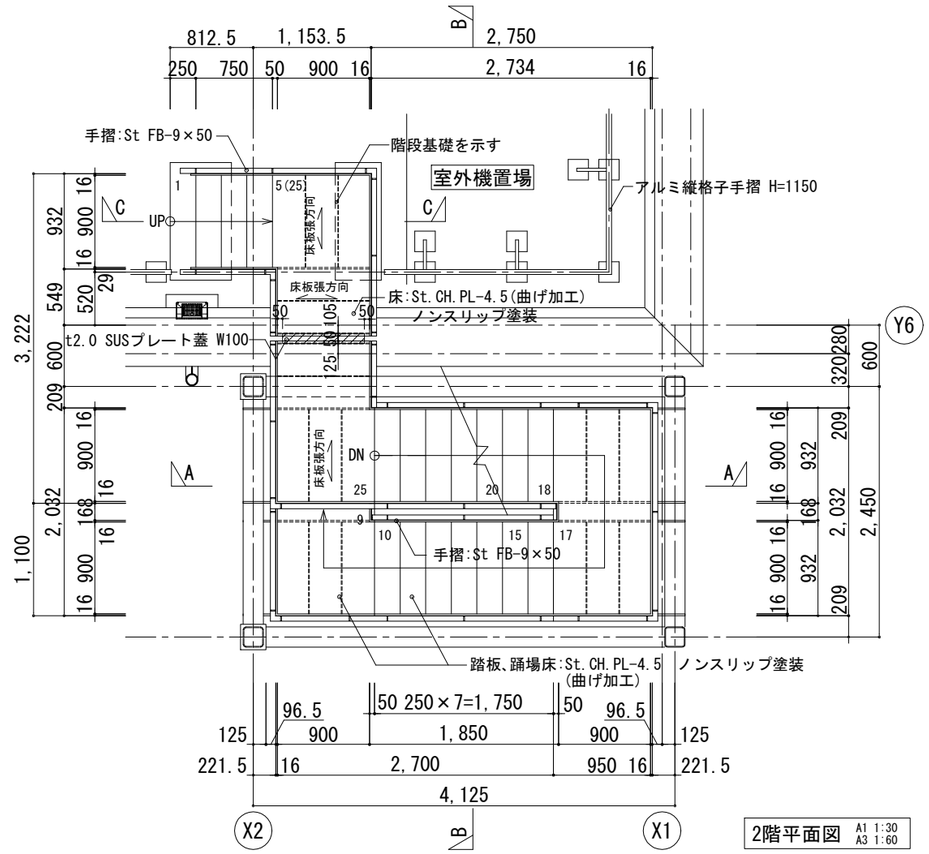
エントランス庇詳細図　A1 1:10 A3 1:20

特記

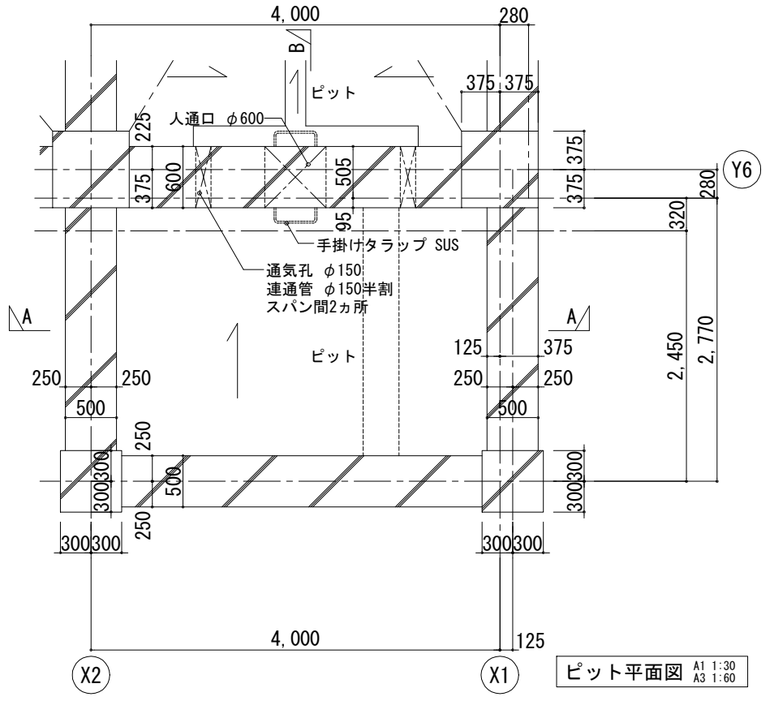
物件名	第R6-8号 新産業廃棄物最終処分場建設工事		
図面名	管理棟 矩計図(3)	縮尺	A1:-1/30・10 A3:-1/60・20
図番	D-110		



1階平面図 A1 1:30 A3 1:60



2階平面図 A1 1:30 A3 1:60

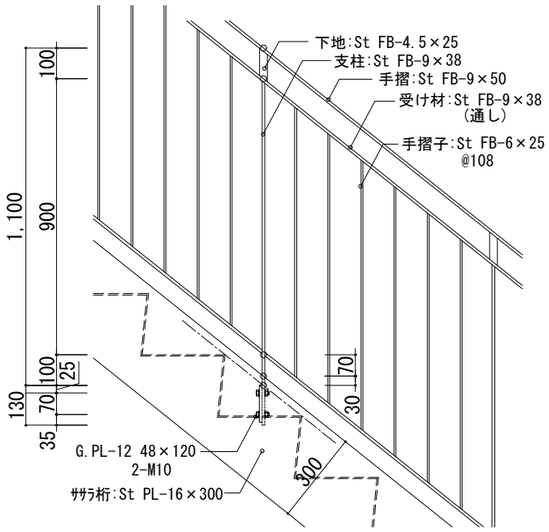


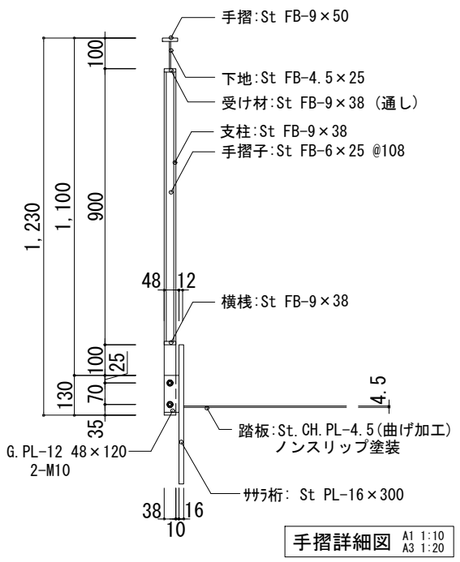
ピット平面図 A1 1:30 A3 1:60

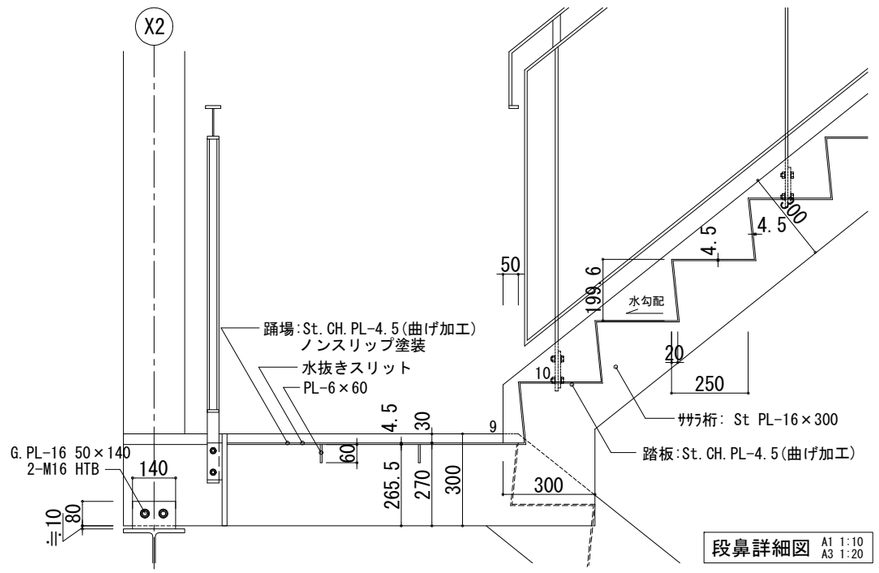
※特記なき鉄部は溶融亜鉛メッキとする。
※侵入防止柵：四国化成
ハイパーテーションA1型（同等品）

特記

			物件名	第R6-8号 新産業廃棄物最終処分場建設工事
			図面名	管理棟 外部階段詳細図(1)
			縮尺	A1:- 1/30 A3:- 1/60
			図番	D-111



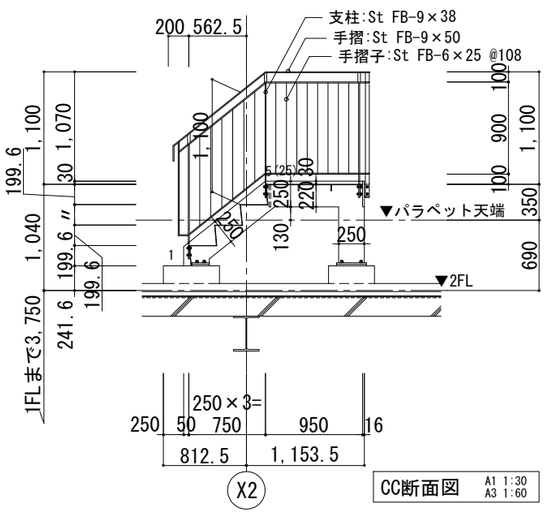




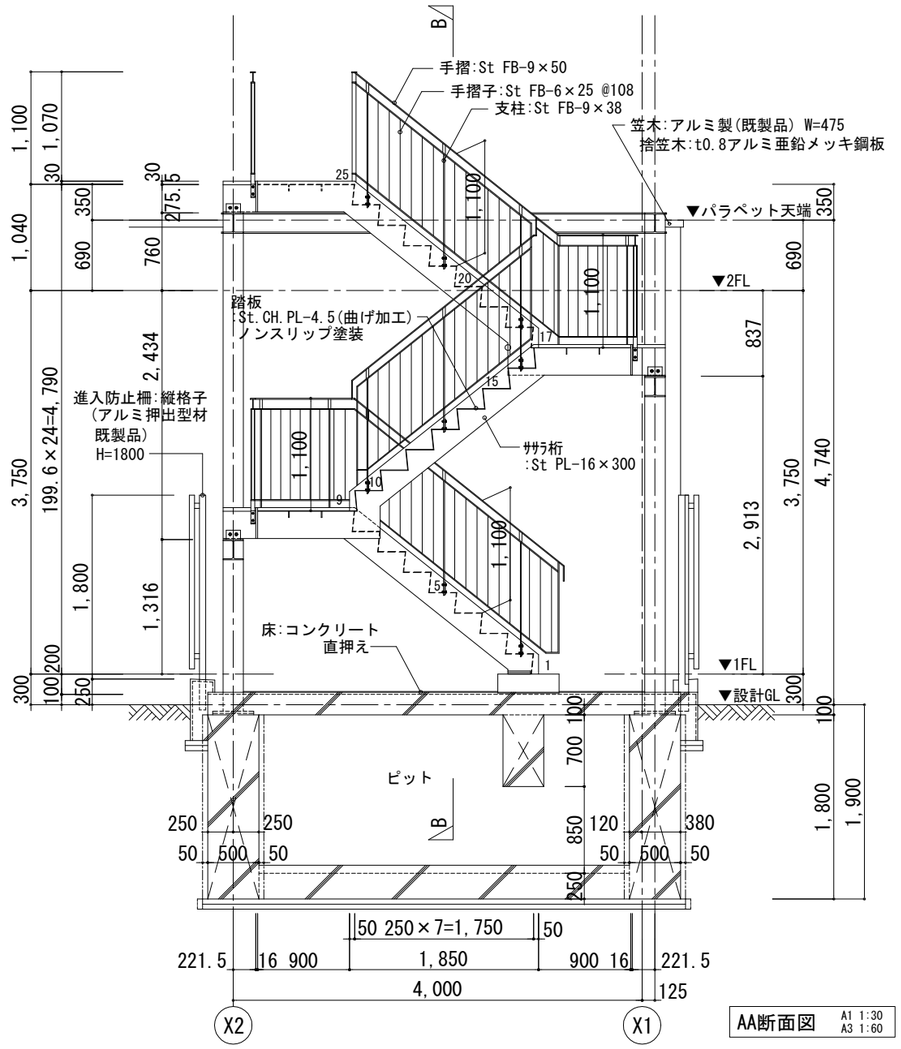
※特記なき鉄部は溶融亜鉛メッキとする。

手摺詳細図 A1 1:10 A3 1:20

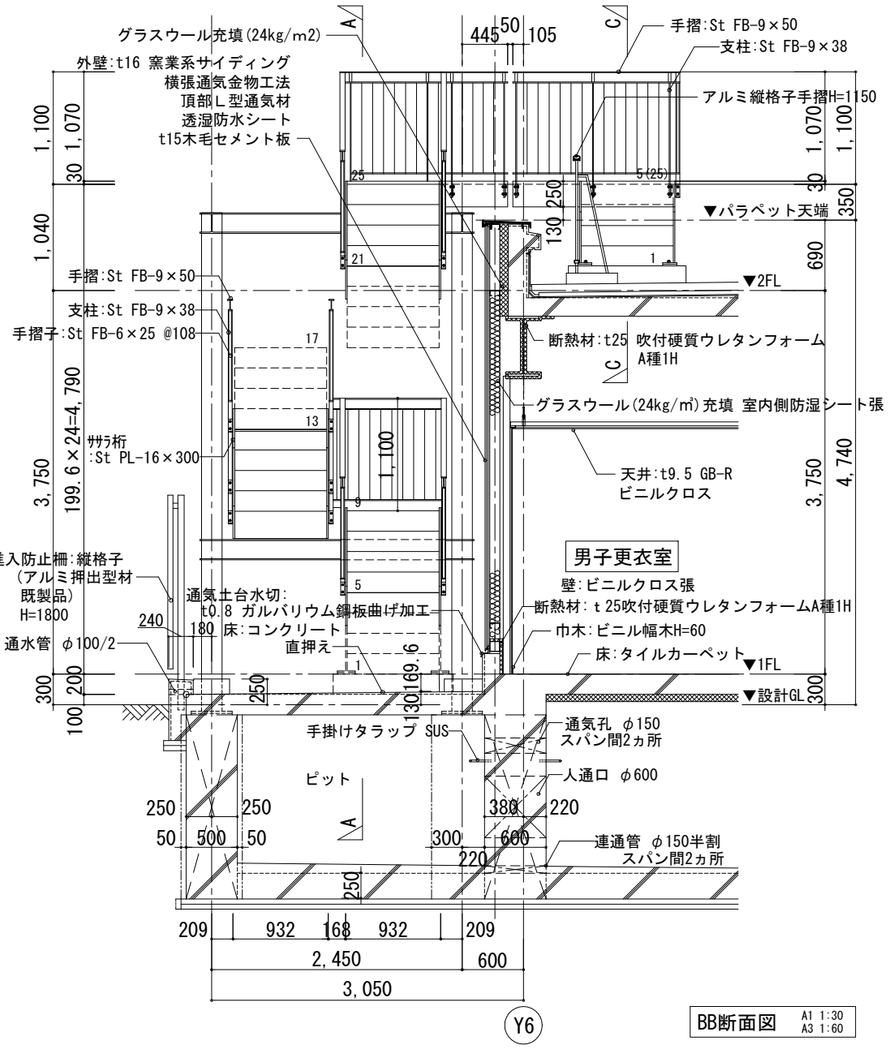
段鼻詳細図 A1 1:10 A3 1:20



CC断面図 A1 1:30 A3 1:60



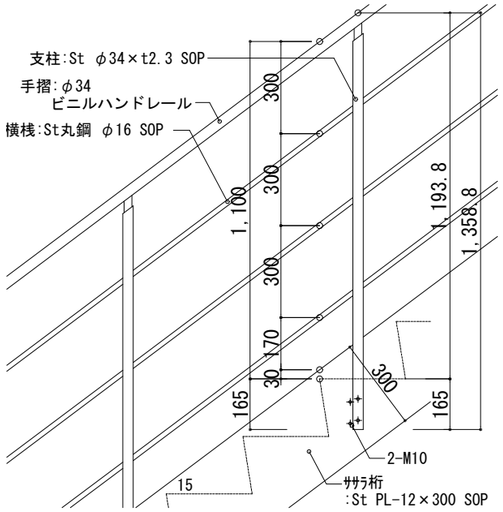
AA断面図 A1 1:30 A3 1:60

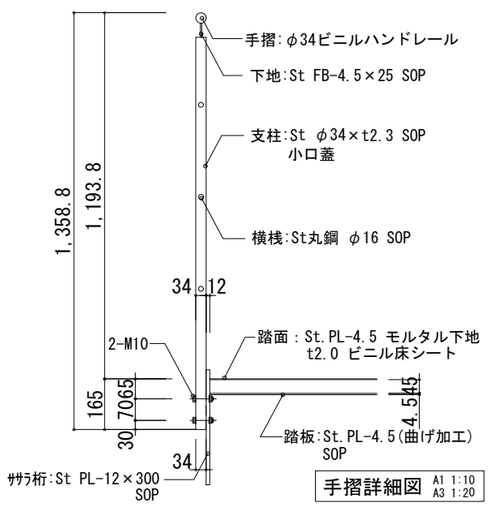


BB断面図 A1 1:30 A3 1:60

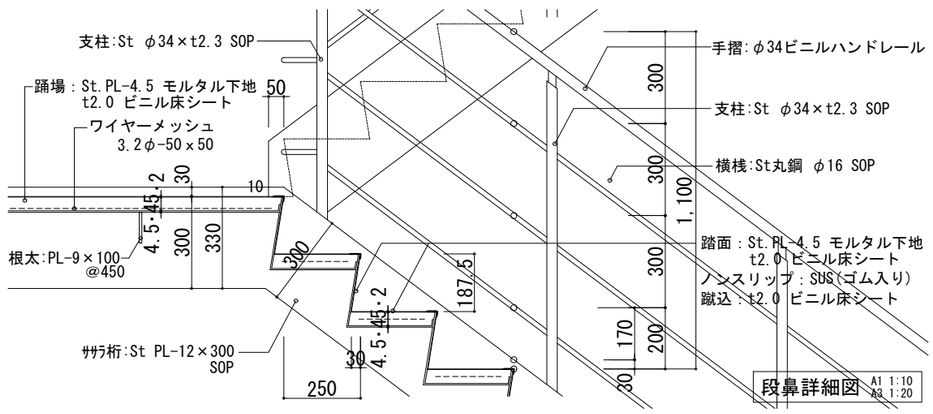
※特記なき鉄部は溶融亜鉛メッキとする。
※侵入防止柵：四国化成
ハイパーテーションA1型（同等品）

特記		物件名	第R6-8号 新産業廃棄物最終処分場建設工事
		図面名	管理棟 外部階段詳細図(2)
		縮尺	A1:- 1/30 A3:- 1/60
		図番	D-112

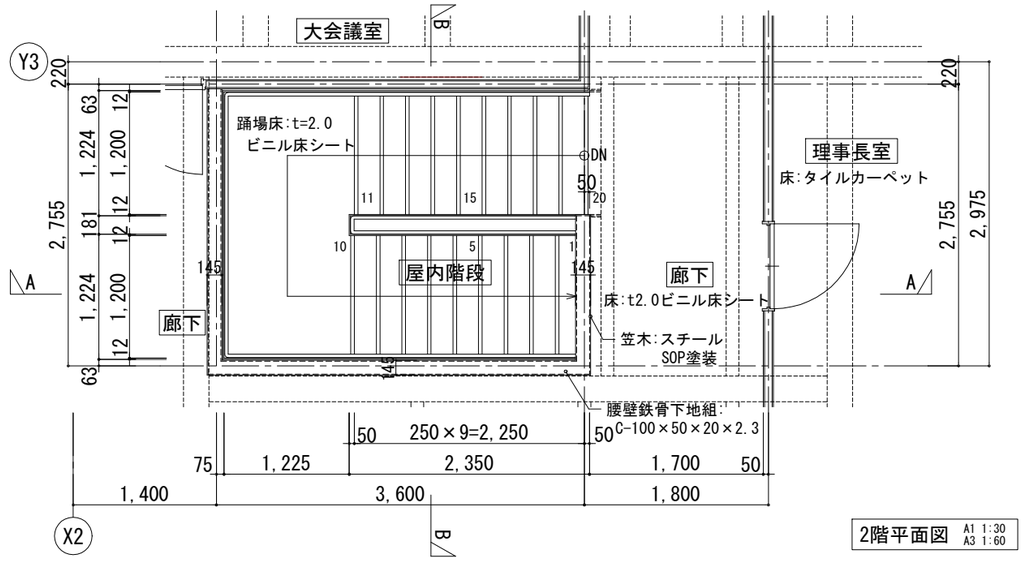




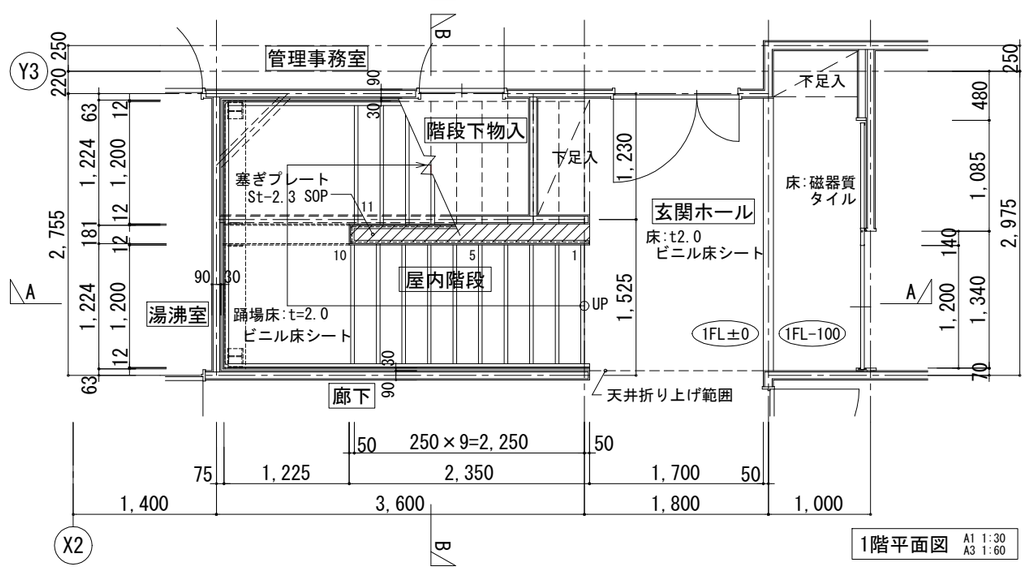
手摺詳細図 A1 1:10 A3 1:20



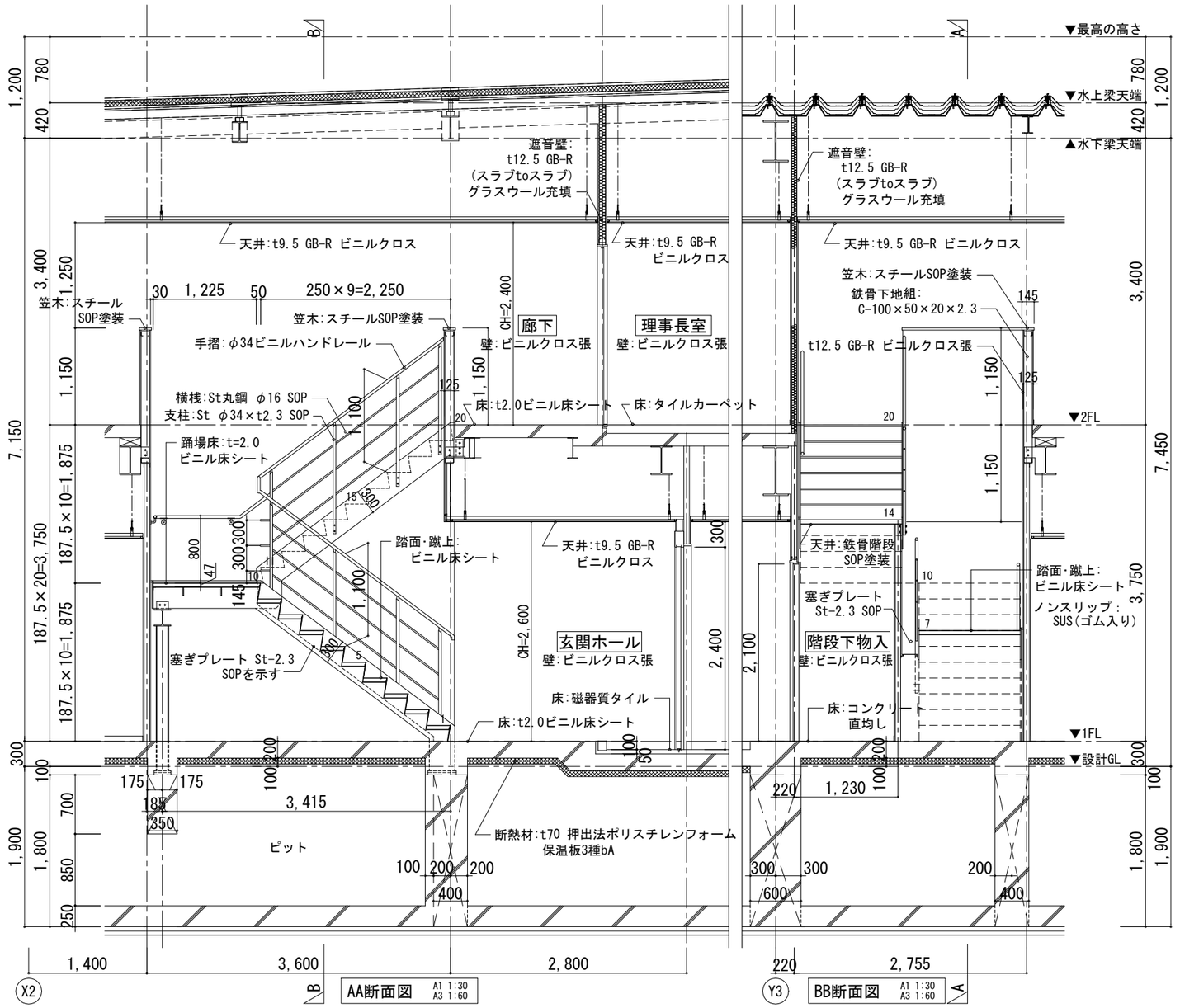
段鼻詳細図 A1 1:10 A3 1:20



2階平面図 A1 1:30 A3 1:60



1階平面図 A1 1:30 A3 1:60



特記

			物件名	第R6-8号 新産業廃棄物最終処分場建設工事
			図面名	管理棟 屋内階段詳細図
			縮尺	A1:- 1/30 A3:- 1/60
			図番	D-113

真北

土間収納
-100 | -150
2500
床：磁器質タイル

シャワー室
+100 | -100
2300
床：乾式二重床、クッションフロア

踏み込み
±0 | -100
2400
床：乾式二重床、t2ビニル床シート

倉庫1
±0 | ±0
2400
床：t2ビニル床シート
10.97m2

女子更衣室
±0 | ±0
2400
床：t6.5タイルカーペット

多目的室
±0 | ±0
2400
床：t2ビニル床シート

職員用勝手口2
-100 | -150
2500
床：磁器質タイル

男子更衣室
±0 | ±0
2400
床：t6.5タイルカーペット
ロッカー（22個）（別途）

書庫1
±0 | ±0
2400
床：t2ビニル床シート
13.38m2

屋外階段
詳細図による

職員用勝手口1
-100 | -150
2500
床：磁器質タイル

女子便所
±0 | ±0
2400
床：t2ビニル床シート

男子便所
±0 | ±0
2400
床：t2ビニル床シート

HCWC
±0 | -50
2400
床：磁器質タイル

廊下
±0 | ±0
2400
床：t2ビニル床シート

屋内階段
床：t2ビニル床シート

湯沸室
±0 | ±0
2400

倉庫2
±0 | ±0
2400
床：t2ビニル床シート

書庫2
±0 | ±0
2400
床：t2ビニル床シート

階段下物入
±0 | ±0
直天
床：t2ビニル床シート

玄関ホール
±0 | ±0
2600
床：t2ビニル床シート

管理事務室
±0 | -100
2400
床：OAフロア
t6.5タイルカーペット
150.99m2

申請窓口
±0 | -100
2400
床：OAフロア
t6.5タイルカーペット
7.01m2

風除室2
-50 | -100
2450
床：磁器質タイル

風除室1
-100 | -150
2700
床：磁器質タイル

小会議室1
±0 | -100
2400
床：OAフロア
t6.5タイルカーペット
11.39m2

小会議室2
±0 | -100
2400
床：OAフロア
t6.5タイルカーペット
8.35m2

ポーチ1
-100 | -150
2700
床：磁器質タイル
上部庇

ポーチ2
-100 | -150
2500
床：コンクリート直均し 刷毛引き
上部庇

長靴ロッカー（別途）
4列×3段×3セット＝36

ロッカー（10個）（別途）

ロッカー（22個）（別途）

雨水桝：コンクリート（既製品）

VS側溝300（グレーチング蓋）

1FL-300

床：コンクリート直均し 刷毛引き

1FL-150

扉：破壊錠付
進入防止桟 H=1800

EPS

床下点検口

防水パン

ユニットバス 0618

分電盤（設備工事）

電気温水器（設備工事）

ブラインドボックス

膳板：スチールSOP塗装（各部共通）

一方枠：スチールSOP

上框：ステンレス W100

FIX

PS

SK

端子盤

金庫：2個

消火器：壁埋込型BOX

洗面化粧台：L=1600

鏡

汚垂石

排管

グレーチング SUS

側溝：カルデン塗膜防水 スロープ 1/20

手摺：ステンレス H=850

倒伏防止ネット

衝突防護棚：SUS

受付カウンター：メラミンポストフォーム

受付

引違ロール網戸

神棚用壁補強

受付カウンター：ステンレス

監視カメラ用ベース

UP

8段 蹴上げ 150

屋外階段詳細図による

屋内階段詳細図による

Ⓐ 1/10

ビニルクロス
t12.5 GB-R
45
65
12.5

Ⓑ 遮音壁 1/10

ビニルクロス
t12.5 GB-R
グラスウール充填（スラブtoスラブ）
45
65
12.5

Ⓒ 1/10

t6 化粧ケイカル板
t12.5 GB-R
51
65
12.5

凡例

消 置き型消火器ケース
UFB-3F-2500-PWH（ユニオン）同等品
スチールボーラルホワイトペイント
1階：2ヵ所、2階：2ヵ所

壁埋込型消火器BOX
1階：1ヵ所（湯沸室）

戸当り

アームストッパー

室名
仕上レベル | スラブレベル
天井高さ

展開方向 A B C D

特記			物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事
			図面名	管理棟 1階平面詳細図
			縮尺	A1:1/50 A3:1/100
			図番	D-114

多目的室
±0 -100
2400
床：OAフロア
t6.5タイルカーペット
12.86m2

倉庫1
±0 ±0
2400
床：t2ビニル床シート
10.33m2

廊下
±0 ±0
2400
床：t2ビニル床シート

湯沸室
±0 ±0
2400
床：t2ビニル床シート

便所1
±0 ±0
2400
床：t2ビニル床シート

便所2
±0 ±0
2400
床：t2ビニル床シート

屋内階段
床：t2ビニル床シート
屋内階段詳細図による

大会議室
±0 -100
2400
床：OAフロア
t6.5タイルカーペット
96.51m2

廊下
±0 ±0
2400
床：t2ビニル床シート

屋外階段

屋外階段詳細図による

室外機
W1240×D765×H1160
239kg×4機
室外機置場

理事長室
±0 -100
2400
床：OAフロア
t6.5タイルカーペット
21.65m2

小会議室
±0 -100
2400
床：OAフロア
t6.5タイルカーペット
17.40m2

専務理事室
±0 -100
2400
床：OAフロア
t6.5タイルカーペット
18.37m2

エントランス庇

小庇

ルーフバルコニー

移動間仕切り

遮音壁

笠木ｱﾙﾐ製（既製品）W=475

RCﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ天端：ｳﾚﾀﾝ塗膜防水

通気土台水切：t0.8ガルバリウム鋼板曲げ加工
RCﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ天端：ｳﾚﾀﾝ塗膜防水

ｱﾙﾐ縦格子手摺 H=1150

気象観測装置(別途工事)用基礎

壁塩ビ点検口300角

ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞﾎﾞｯｸｽ

櫛引ロール網戸

膳板：ｽﾁｰﾙSOP塗装(各部共通)

手摺笠木ｽﾁｰﾙSOP H=1150(鉄骨下地)

腰壁：鉄骨下地

方枠：ｽﾁｰﾙSOP

ﾗｲﾆﾝｸﾞ：ｽﾁｰﾙSOP塗装

手洗ｶｳﾝﾀｰ L=1500

天井折り上げ範囲
CH=2800

2FL=730

勾配1/75

水勾配(1/30)

水下：2FL-SL-50

水下：2FL-SL-10

水下：2FL+30

水下：2FL-SL-50

排水溝内：ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃﾞV目地@1000

出入口ｽﾃｯﾌﾟ
歩廊床板：ﾁｪｯｶｰPL4.5
鋼製架台：溶融亜鉛めっき

背かご付タラップ：SUS製

PS

UP

上部：庇

真北

Ⓐ 1/10
ビニルクロス
t12.5 GB-R
2階腰壁：鉄骨下地

Ⓑ 遮音壁 1/10
ビニルクロス
t12.5 GB-R
t50 グラスウール充填
(スラブtoスラブ)
t12.5

Ⓒ 1/10
t6 化粧ケイカル板
t12.5 GB-R

凡例
消 置き型消火器ケース
UFB-3F-2500-PWH（ユニオン） 同等品
ｽﾁｰﾙﾎﾞｰﾗﾙﾎﾜｲﾄﾍﾟｲﾝﾄ
1階：2ヵ所、2階：2ヵ所
壁埋込型消火器BOX
1階：1ヵ所（湯沸室）
戸当り
ｱｰﾑｽﾄｯﾊﾟｰ

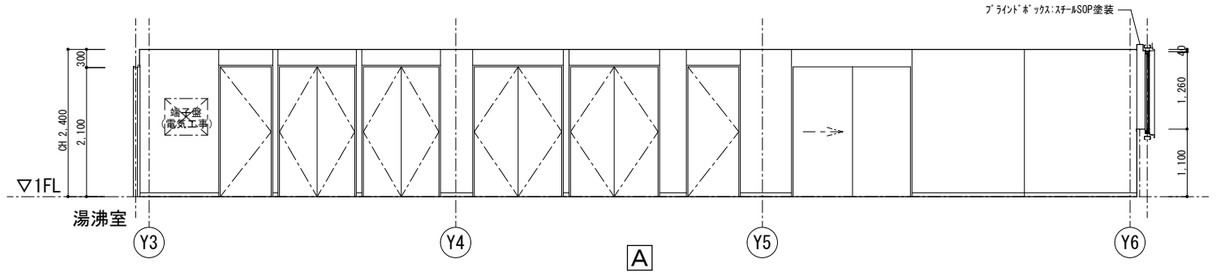
室名
仕上レベル|スラブレベル
天井高さ

展開方向 A B C D

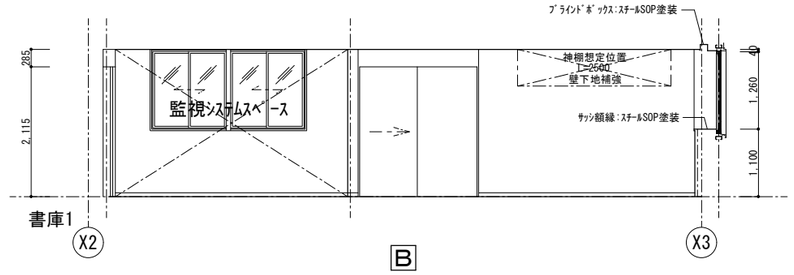
特記

物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事		
図面名	管理棟 2階平面詳細図	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図番 D-115

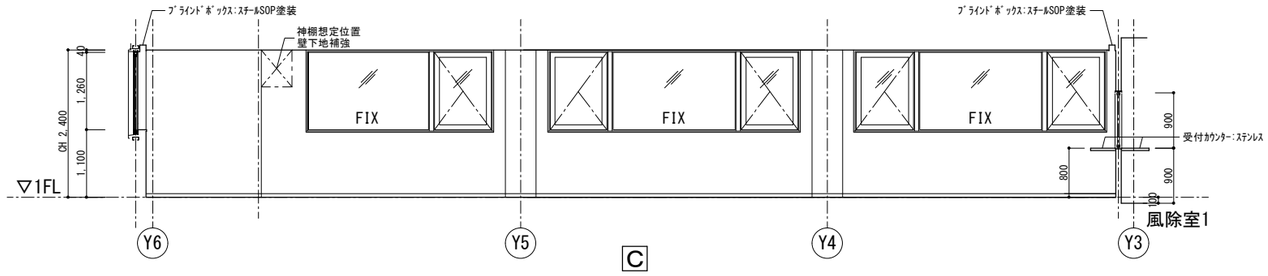
管理事務室	
天井仕上	ビニルクロス
廻縁	—
壁仕上	ビニルクロス
幅木	ビニル幅木
床仕上	t6.5ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ ＯＡフロア



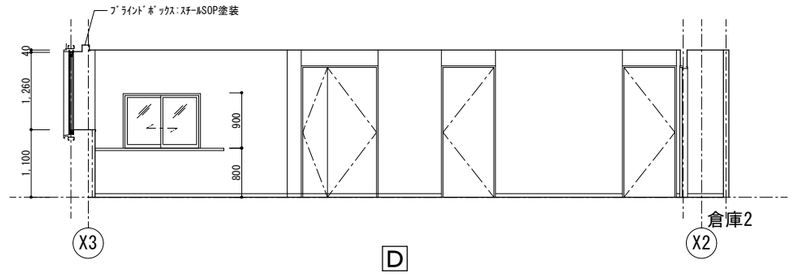
A



B

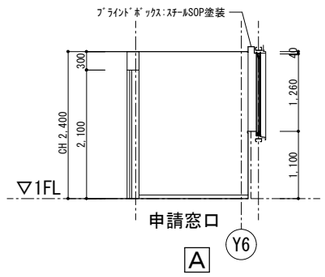


C

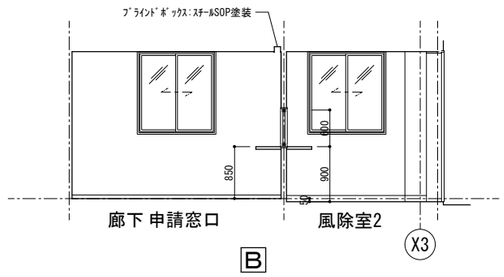


D

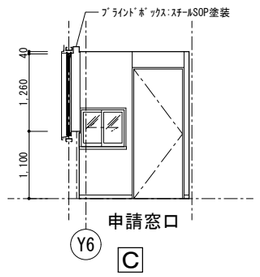
申請窓口	
天井仕上	ビニルクロス
廻縁	—
壁仕上	ビニルクロス
幅木	ビニル幅木
床仕上	t6.5ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ ＯＡフロア



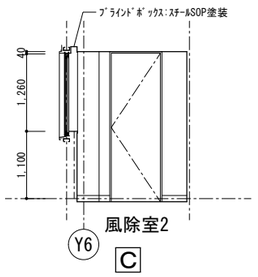
A



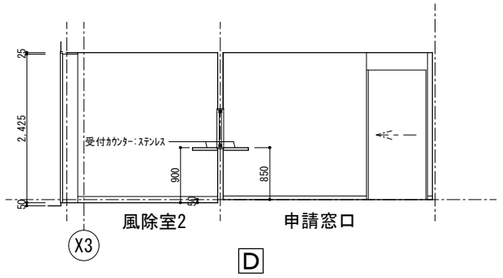
B



C



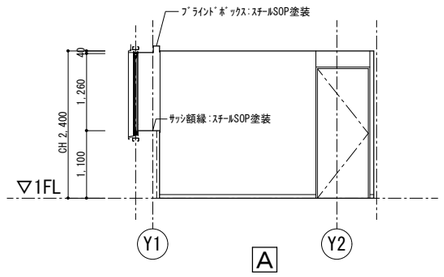
C



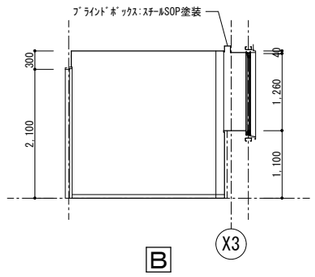
D

風除室2	
天井仕上	ビニルクロス
廻縁	—
壁仕上	ビニルクロス
幅木	ステンレス
床仕上	磁器質タイル

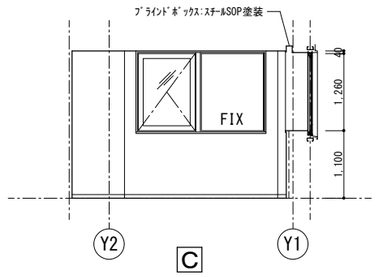
小会議室1	
天井仕上	ビニルクロス
廻縁	—
壁仕上	ビニルクロス
幅木	ビニル幅木
床仕上	t6.5ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ ＯＡフロア



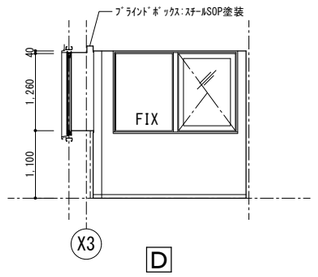
A



B

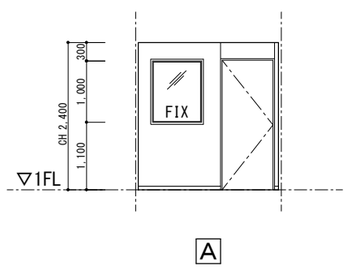


C

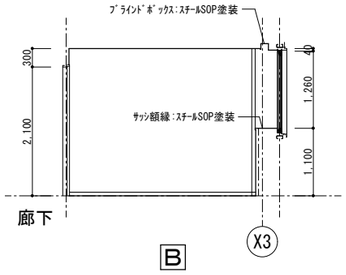


D

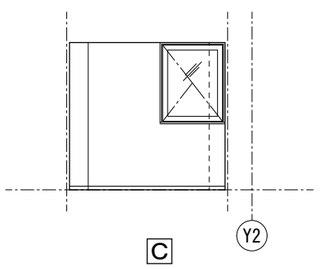
小会議室2	
天井仕上	ビニルクロス
廻縁	—
壁仕上	ビニルクロス
幅木	ビニル幅木
床仕上	t6.5ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ ＯＡフロア



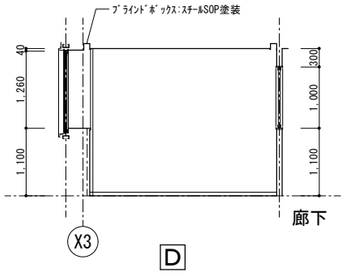
A



B



C

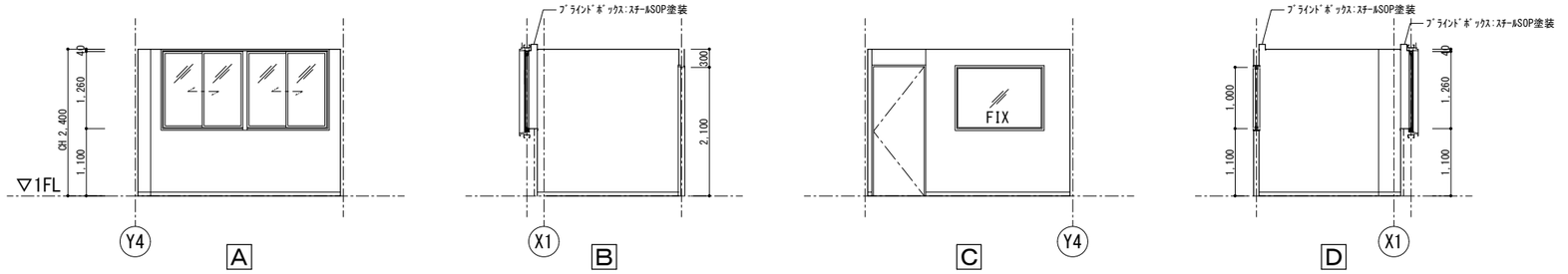


D

特記

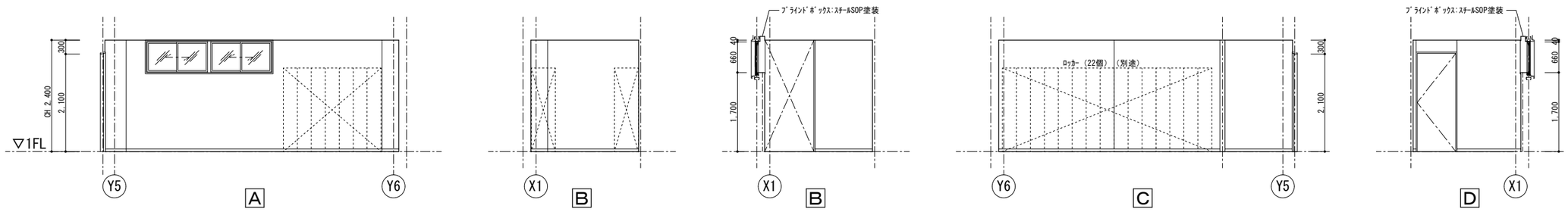
物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事
図面名	管理棟 1階展開図(1)
縮尺	A1:1/50 A3:1/100
図番	D-116

多目的室	
天井仕上	ビニルクロス
廻縁	—
壁仕上	ビニルクロス
幅木	ビニル幅木
床仕上	ビニル床シート



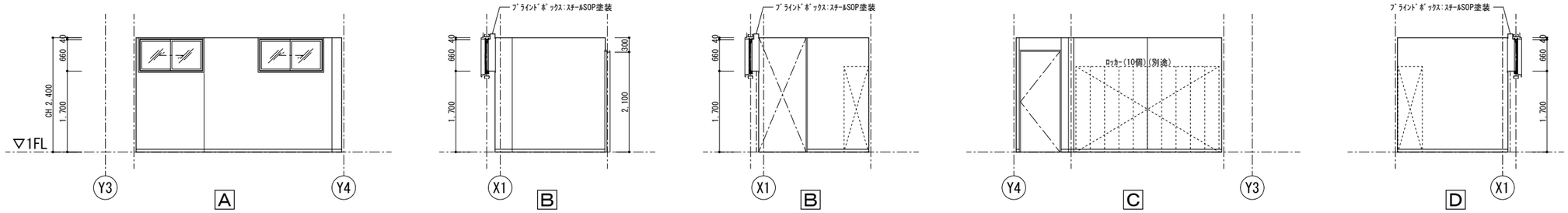
男子更衣室	
天井仕上	ビニルクロス
廻縁	—
壁仕上	ビニルクロス
幅木	ビニル幅木
床仕上	t6.5タイルカーペット

ロッカー（22個）（別途）

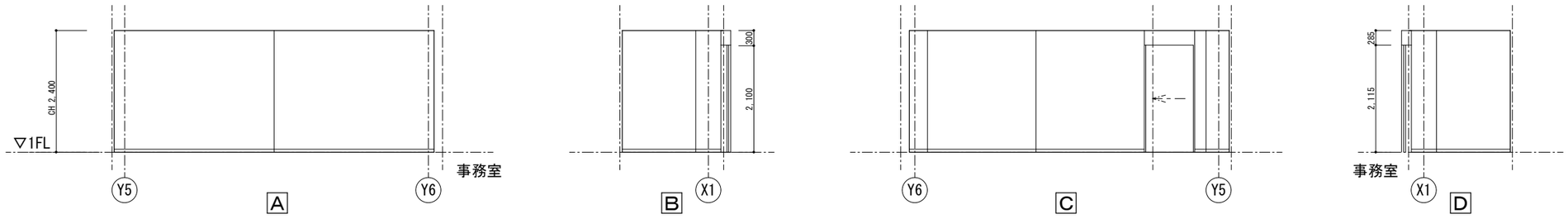


女子更衣室	
天井仕上	ビニルクロス
廻縁	—
壁仕上	ビニルクロス
幅木	ビニル幅木
床仕上	t6.5タイルカーペット

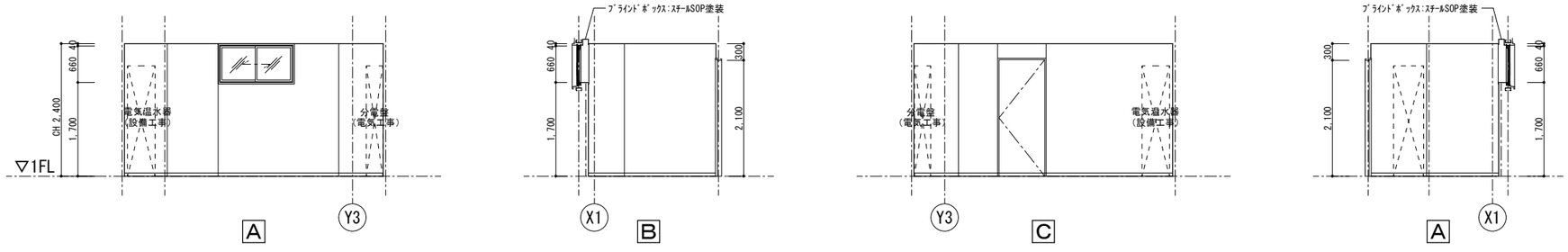
ロッカー(10個)(別途)



書庫1	
天井仕上	ビニルクロス
廻縁	—
壁仕上	ビニルクロス
幅木	ビニル幅木
床仕上	ビニル床シート



倉庫1	
天井仕上	ビニルクロス
廻縁	—
壁仕上	ビニルクロス
幅木	ビニル幅木
床仕上	ビニル床シート

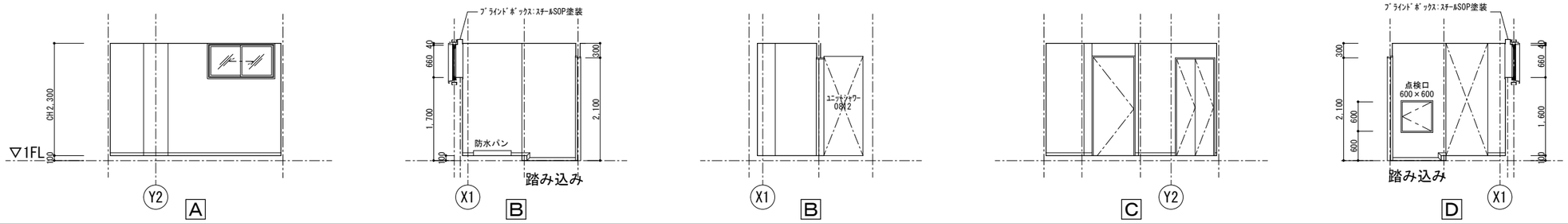


特記

物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事
図面名	管理棟 1階展開図(2)
縮尺	A1:1/50 A3:1/100
図番	D-117

シャワー室

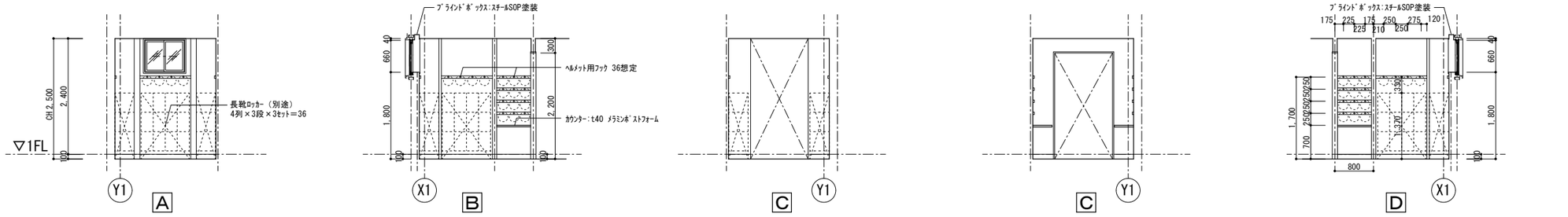
天井仕上	ビニルクロス
廻縁	—
壁仕上	ビニルクロス
幅木	ビニル幅木
床仕上	クッションフロア
踏込	ビニル床シート



土間収納

天井仕上	ビニルクロス
廻縁	—
壁仕上	ビニルクロス
幅木	ステンレスH=100
床仕上	磁器質タイル

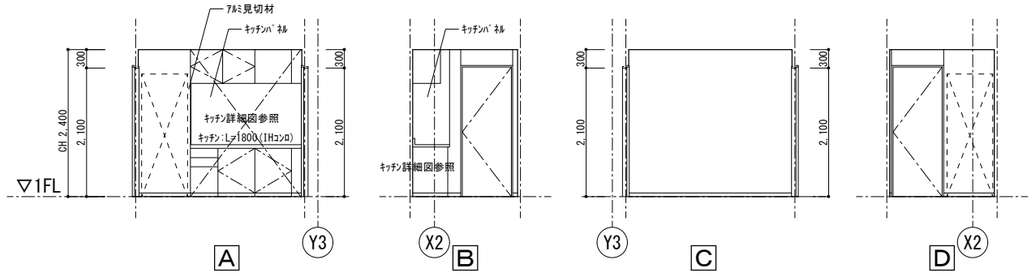
長靴ﾛｯｶｰ（別途）
4列×3段×3ｾｯﾄ＝36
ﾍﾙﾒｯﾄ用ﾌｯｸ 36想定



湯沸室

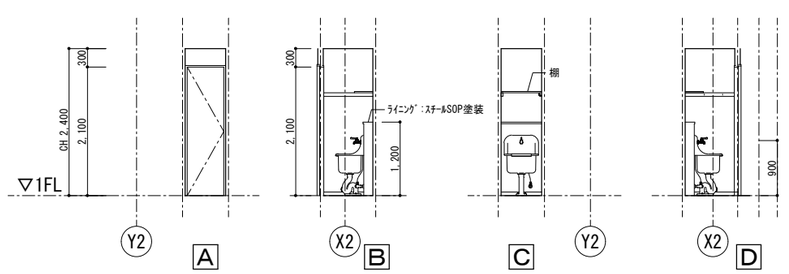
天井仕上	ビニルクロス
廻縁	—
壁仕上	ビニルクロス
幅木	ビニル幅木
床仕上	ビニル床シート

ｷｯﾁﾝ:L=1800(1Hｺﾝﾛ)



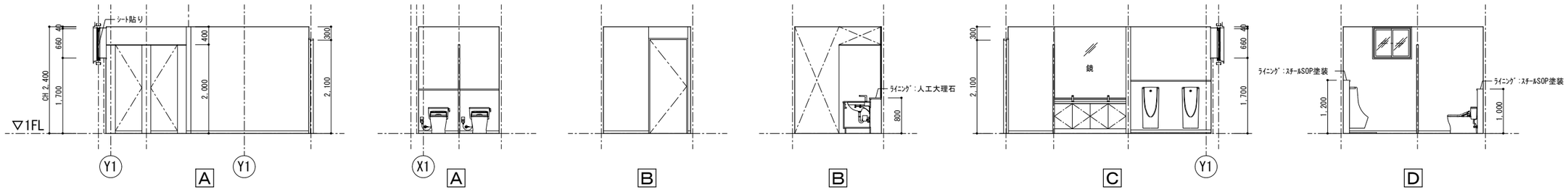
ＳＫ

天井仕上	ビニルクロス
廻縁	—
壁仕上	ビニルクロス
幅木	ステンレスH=60
床仕上	ビニル床シート



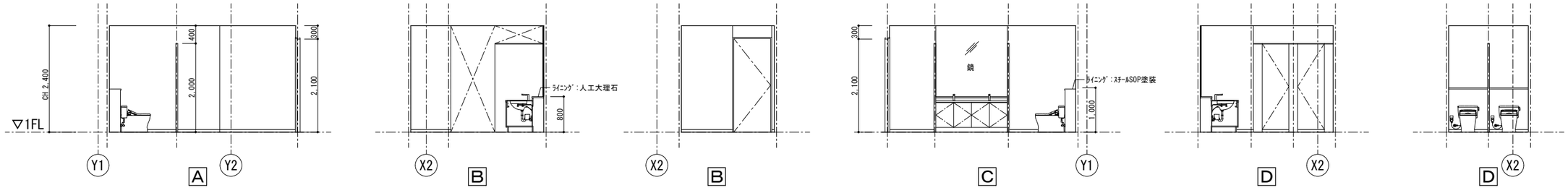
男子便所

天井仕上	ロックウール吸音板
廻縁	塩ビ
壁仕上	t6化粧ケイカル板
幅木	ステンレスH=60
床仕上	ビニル床シート



女子便所

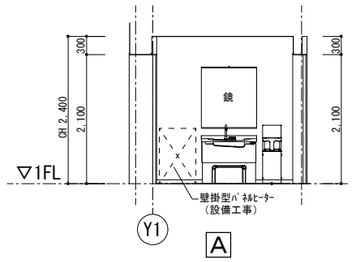
天井仕上	ロックウール吸音板
廻縁	塩ビ
壁仕上	t6化粧ケイカル板
幅木	ステンレスH=60
床仕上	ビニル床シート



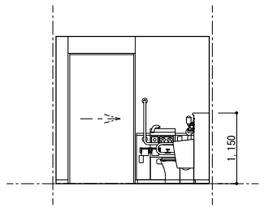
特記

物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事
図面名	管理棟 1階展開図(3)
縮尺	A1:1/50 A3:1/100
図番	D-118

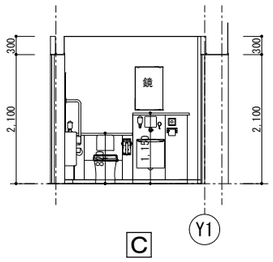
HCWC	
天井仕上	ロックウール吸音板
廻縁	塩ビ
壁仕上	t6化粧ケイカル板
幅木	ステンレスH=60
床仕上	ビニル床シート



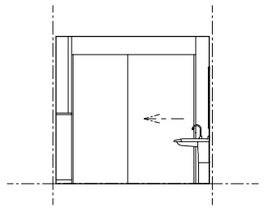
A



B

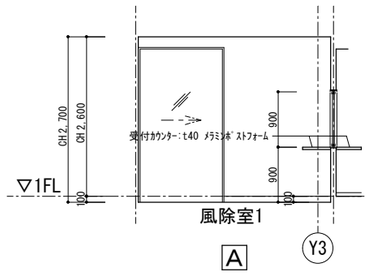


C

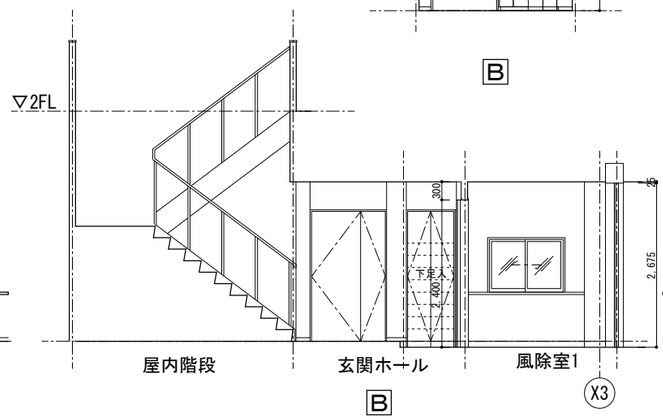


D

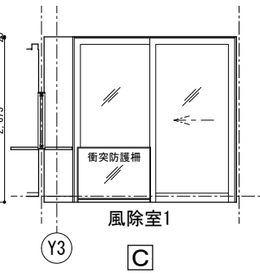
風除室1	
天井仕上	ビニルクロス
廻縁	—
壁仕上	ビニルクロス
幅木	ステンレスH=100
床仕上	磁器質タイル



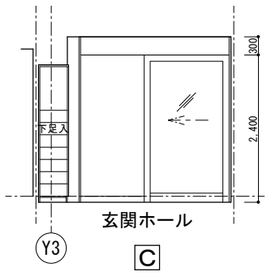
A



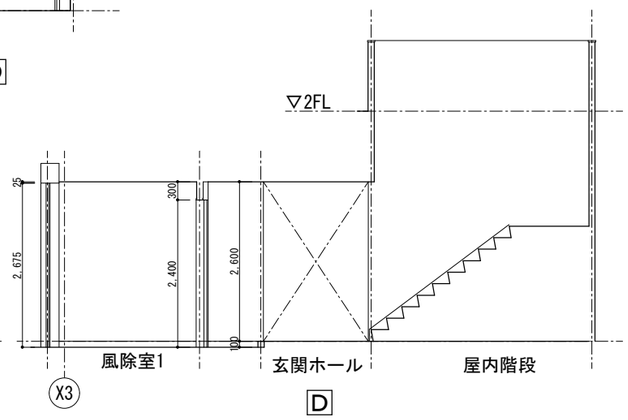
B



C

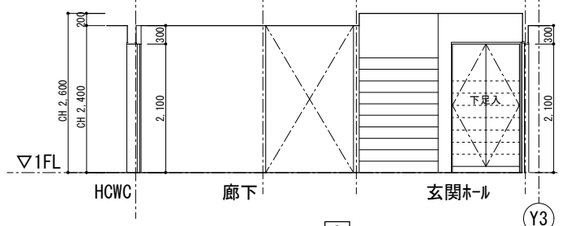


C

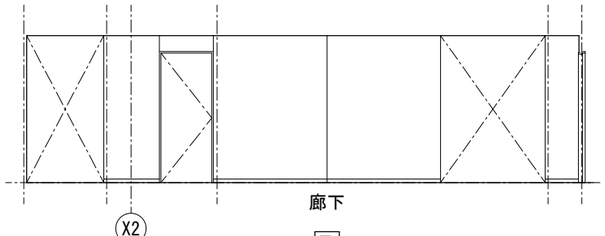


D

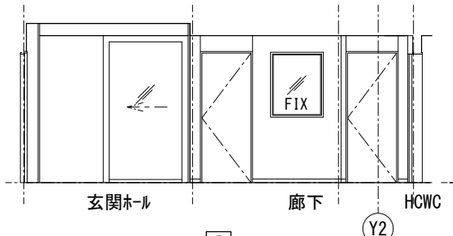
玄関ホール	
天井仕上	ビニルクロス
廻縁	—
壁仕上	ビニルクロス
幅木	ステンレスH=100 ビニル幅木
床仕上	磁器質タイル ビニル床シート



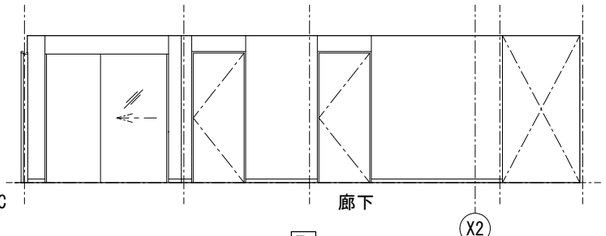
A



B

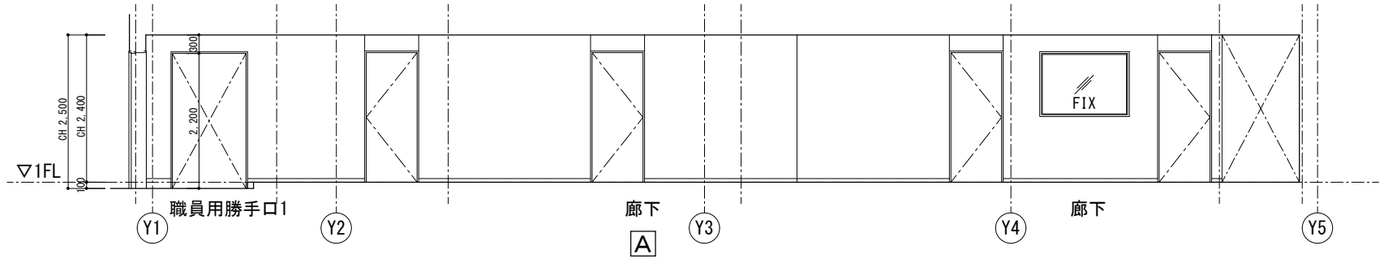


C

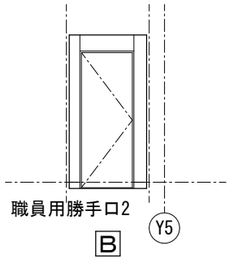


D

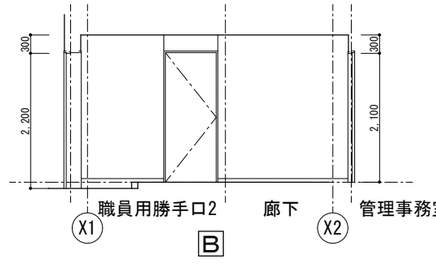
職員用勝手口1、2	
天井仕上	ビニルクロス
廻縁	—
壁仕上	ビニルクロス
幅木	ステンレスH=160
床仕上	磁器質タイル



A

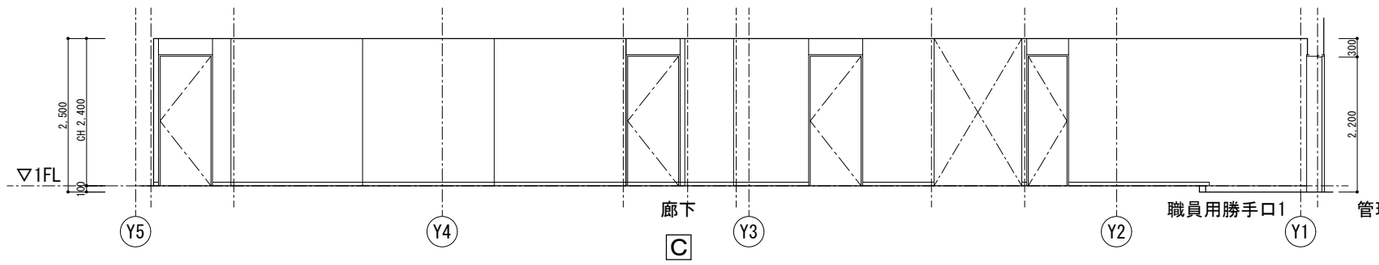


B

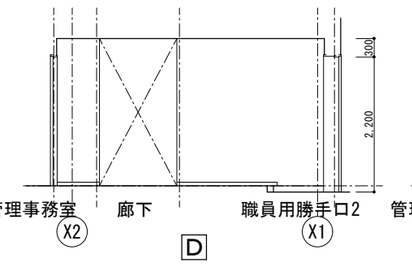


B

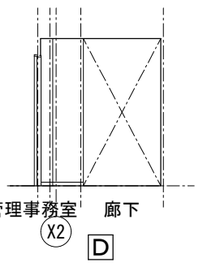
廊下	
天井仕上	ビニルクロス
廻縁	—
壁仕上	ビニルクロス
幅木	ビニル幅木
床仕上	ビニル床シート



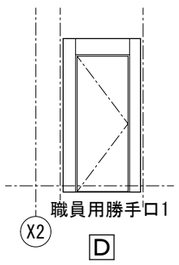
C



D



D

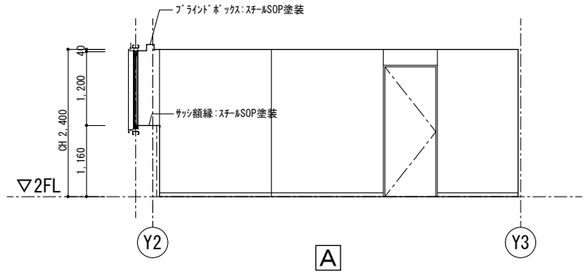


D

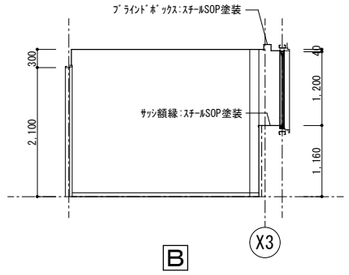
特記

物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事
図面名	管理棟 1階展開図(4)
縮尺	A1:1/50 A3:1/100
図番	D-119

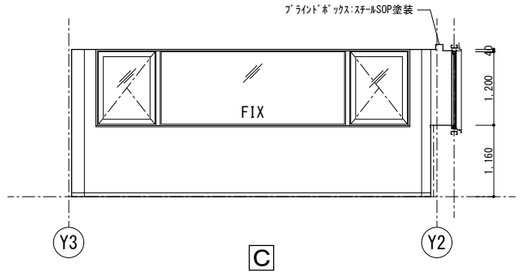
理事長室	
天井仕上	ビニルクロス
廻縁	—
壁仕上	ビニルクロス
幅木	ビニル幅木
床仕上	t6.5ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ ＯＡフロア



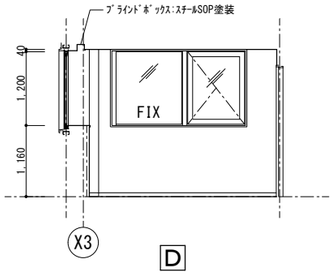
A



B

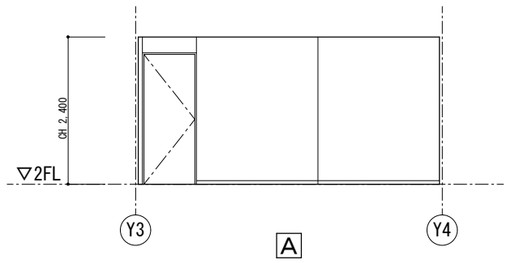


C

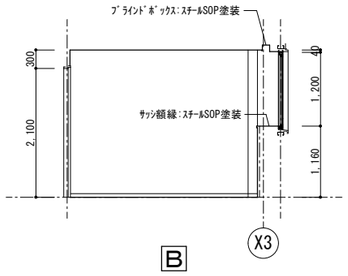


D

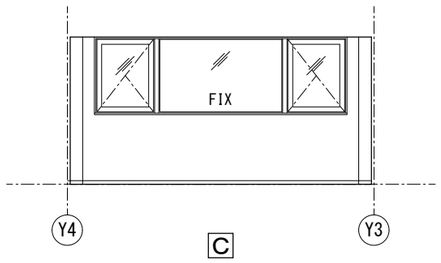
小会議室	
天井仕上	ビニルクロス
廻縁	—
壁仕上	ビニルクロス
幅木	ビニル幅木
床仕上	t6.5ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ ＯＡフロア



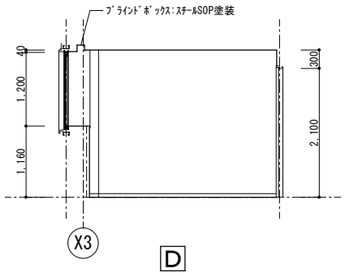
A



B

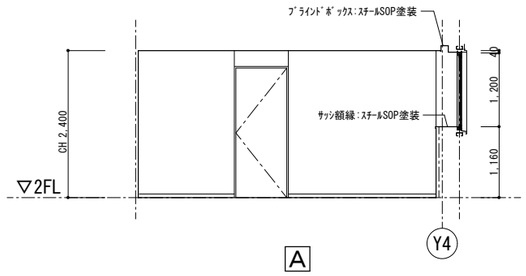


C

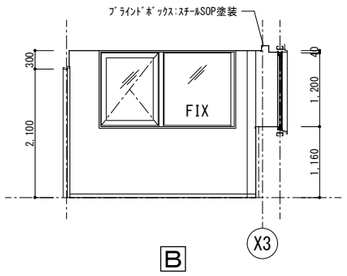


D

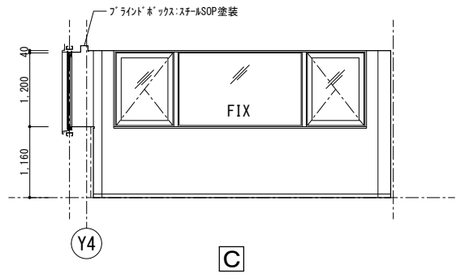
専務理事室	
天井仕上	ビニルクロス
廻縁	—
壁仕上	ビニルクロス
幅木	ビニル幅木
床仕上	t6.5ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ ＯＡフロア



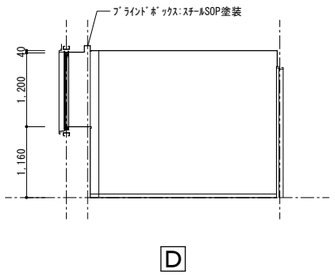
A



B

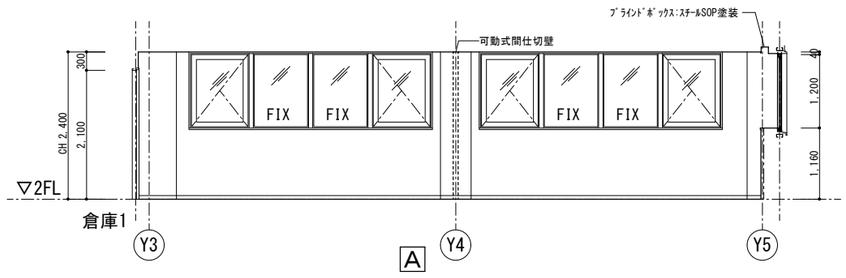


C

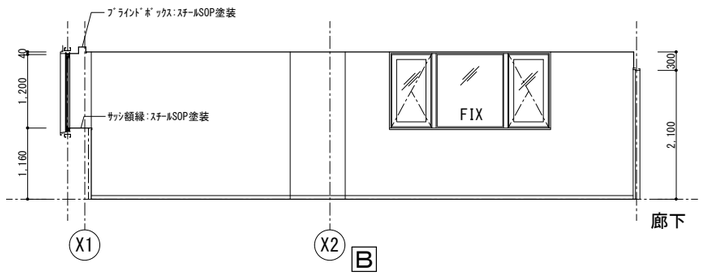


D

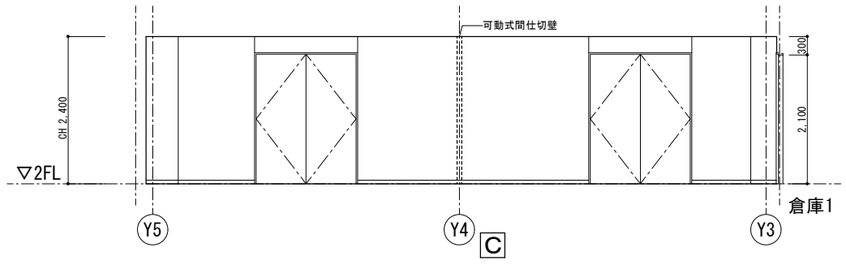
大会議室	
天井仕上	ビニルクロス
廻縁	—
壁仕上	ビニルクロス
幅木	ビニル幅木
床仕上	t6.5ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ ＯＡフロア



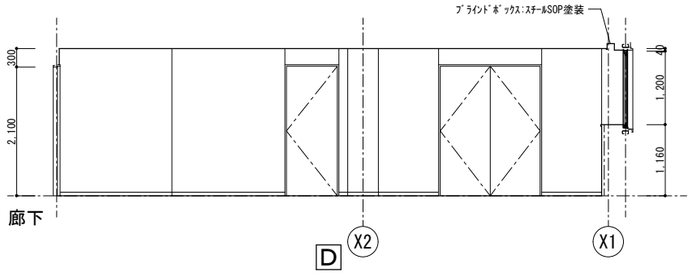
A



B



C

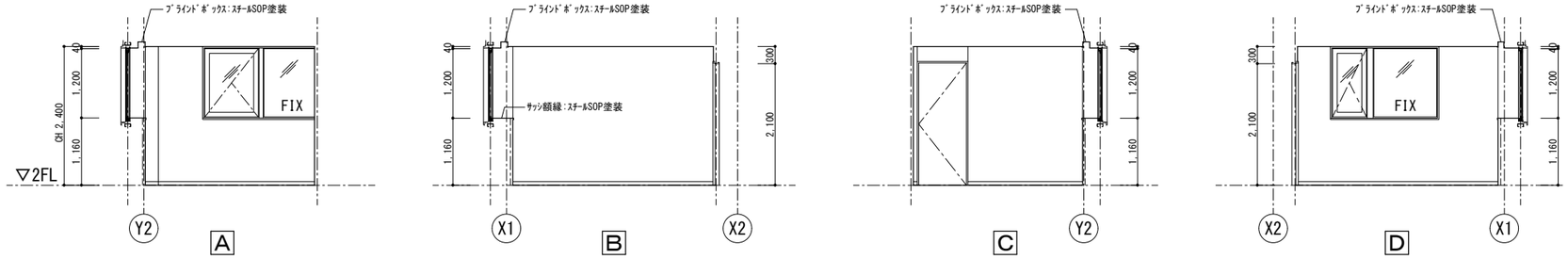


D

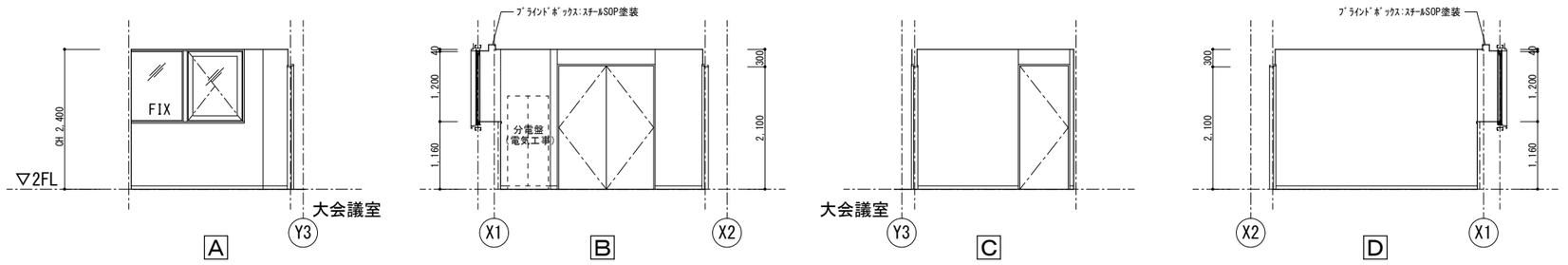
特記

物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事
図面名	管理棟 2階展開図(1)
縮尺	A1:1/50 A3:1/100
図番	D-120

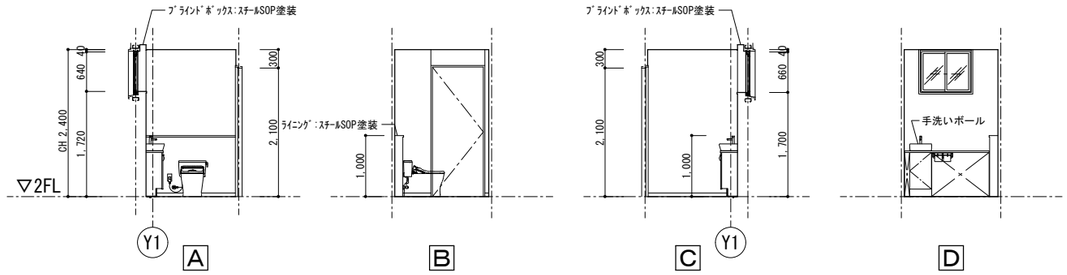
多目的室	
天井仕上	ビニルクロス
廻縁	—
壁仕上	ビニルクロス
幅木	ビニル幅木
床仕上	t6.5ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ ＯＡフロア



倉庫1	
天井仕上	ビニルクロス
廻縁	—
壁仕上	ビニルクロス
幅木	ビニル幅木
床仕上	ビニル床シート

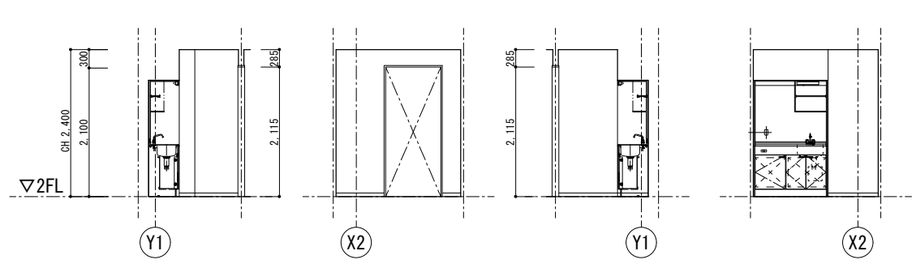


便所2	
天井仕上	ビニルクロス
廻縁	—
壁仕上	ビニルクロス
幅木	ビニル幅木
床仕上	ビニル床シート

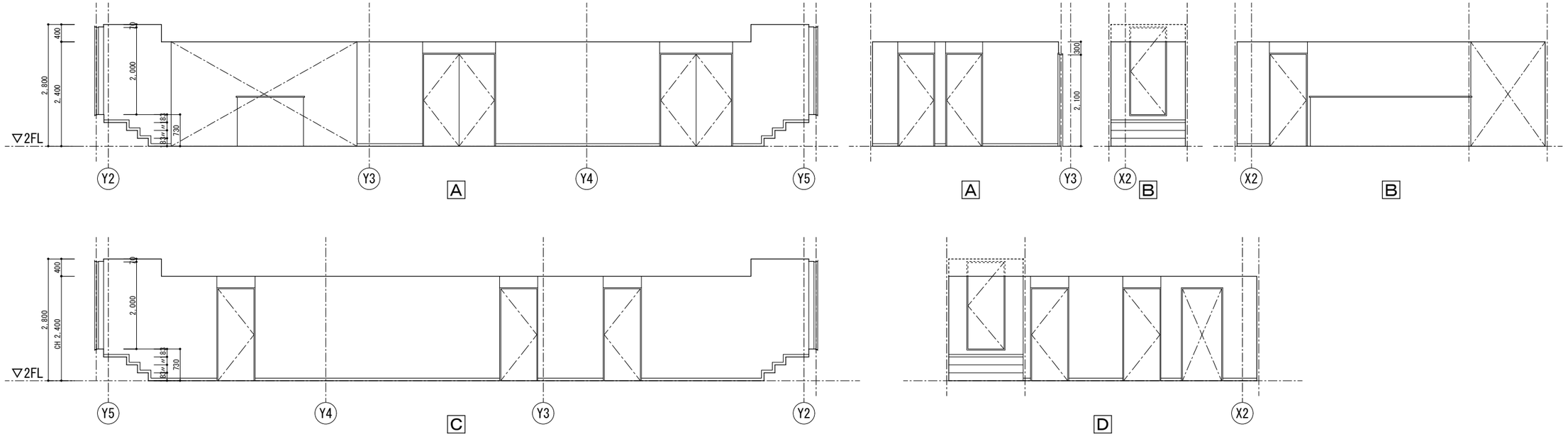


湯沸室	
天井仕上	ビニルクロス
廻縁	—
壁仕上	ビニルクロス
幅木	ビニル幅木
床仕上	ビニル床シート

ﾐﾆｷｯﾁﾝ:L=1160

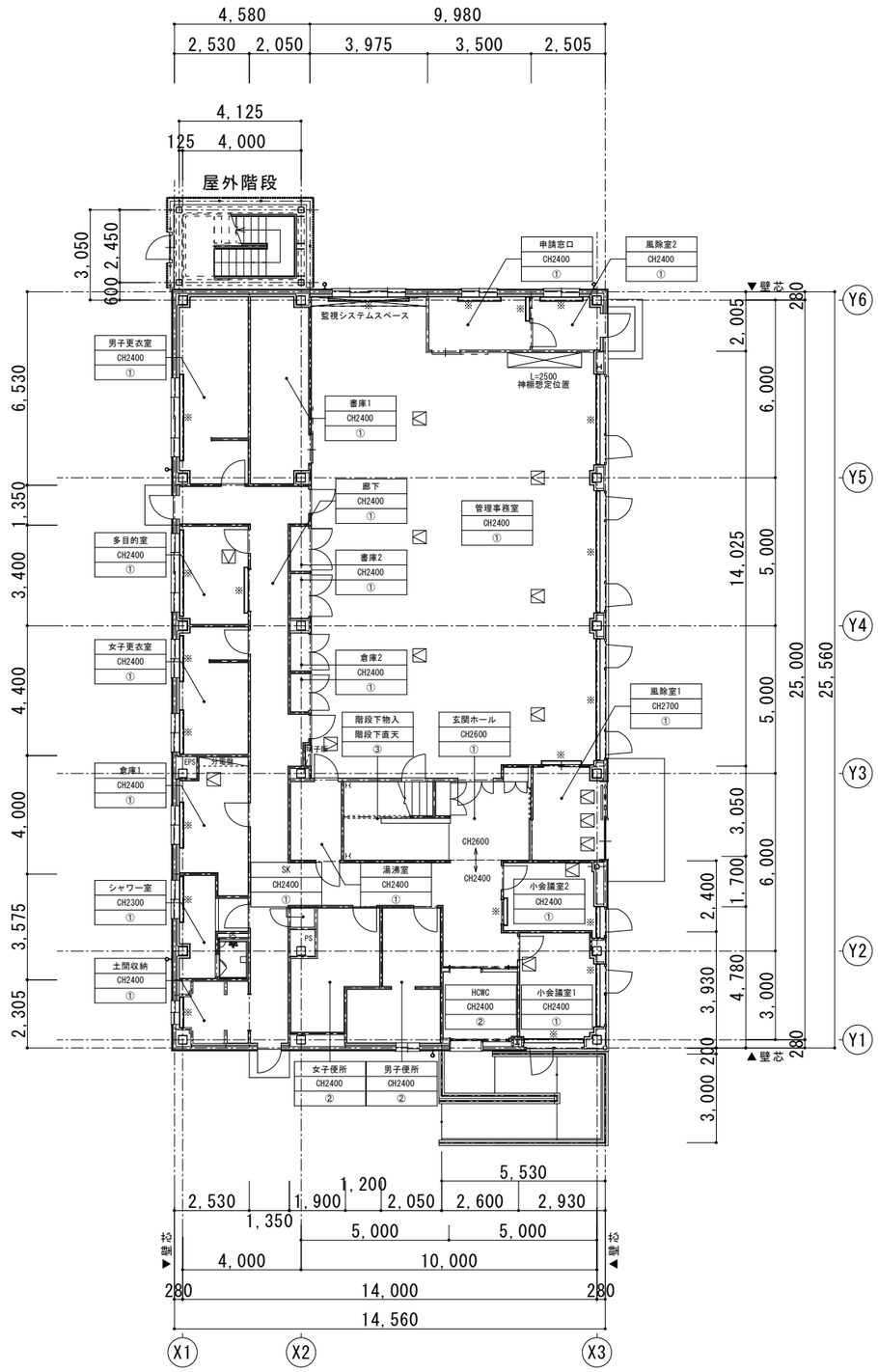


廊下	
天井仕上	ビニルクロス
廻縁	—
壁仕上	ビニルクロス
幅木	ビニル幅木
床仕上	ビニル床シート

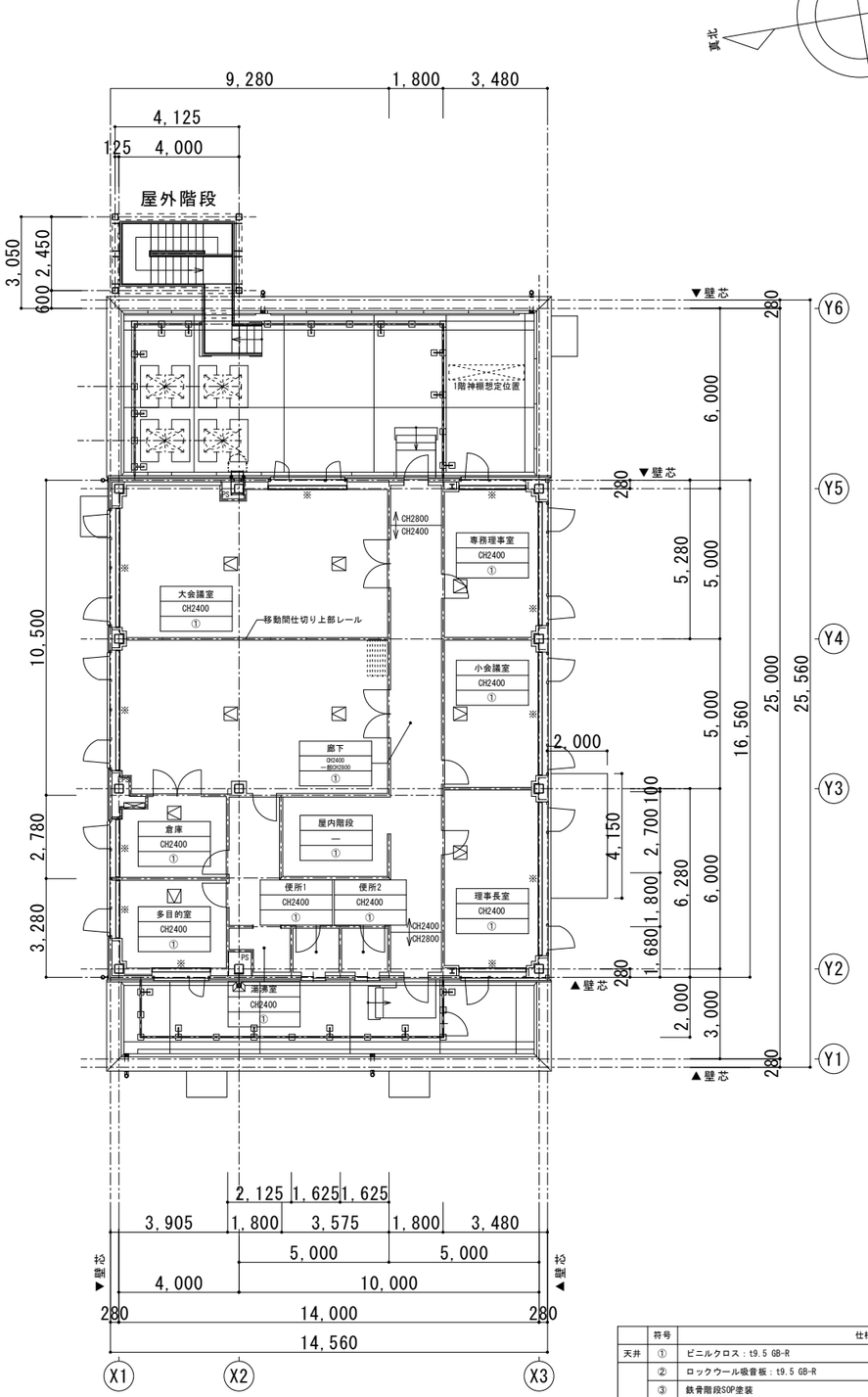


特記

物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事
図面名	管理棟 2階展開図(2)
縮尺	A1:1/50 A3:1/100
図番	D-121



1階天井伏図



2階天井伏図

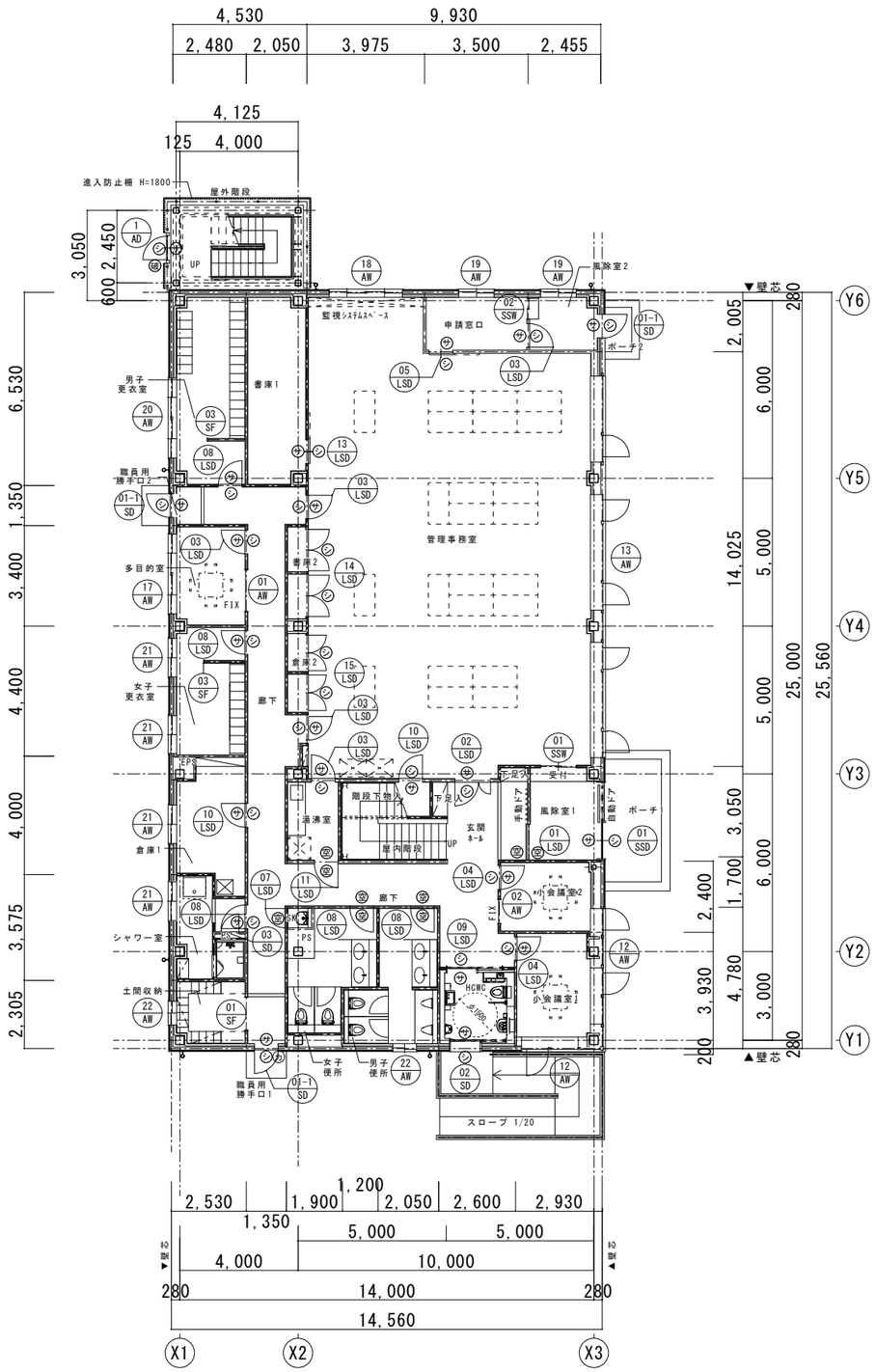
	符号	仕様
天井	①	ビニルクロス：t9.5 GB-R
	②	ロックウール吸音板：t9.5 GB-R
	③	鉄骨階段SOP塗装
	※	ブラインドボックス
	⊠	天井点検口:450×450(アルミ製)

※1 PS、EPSは特記なき限りデッキプレート素地とする。

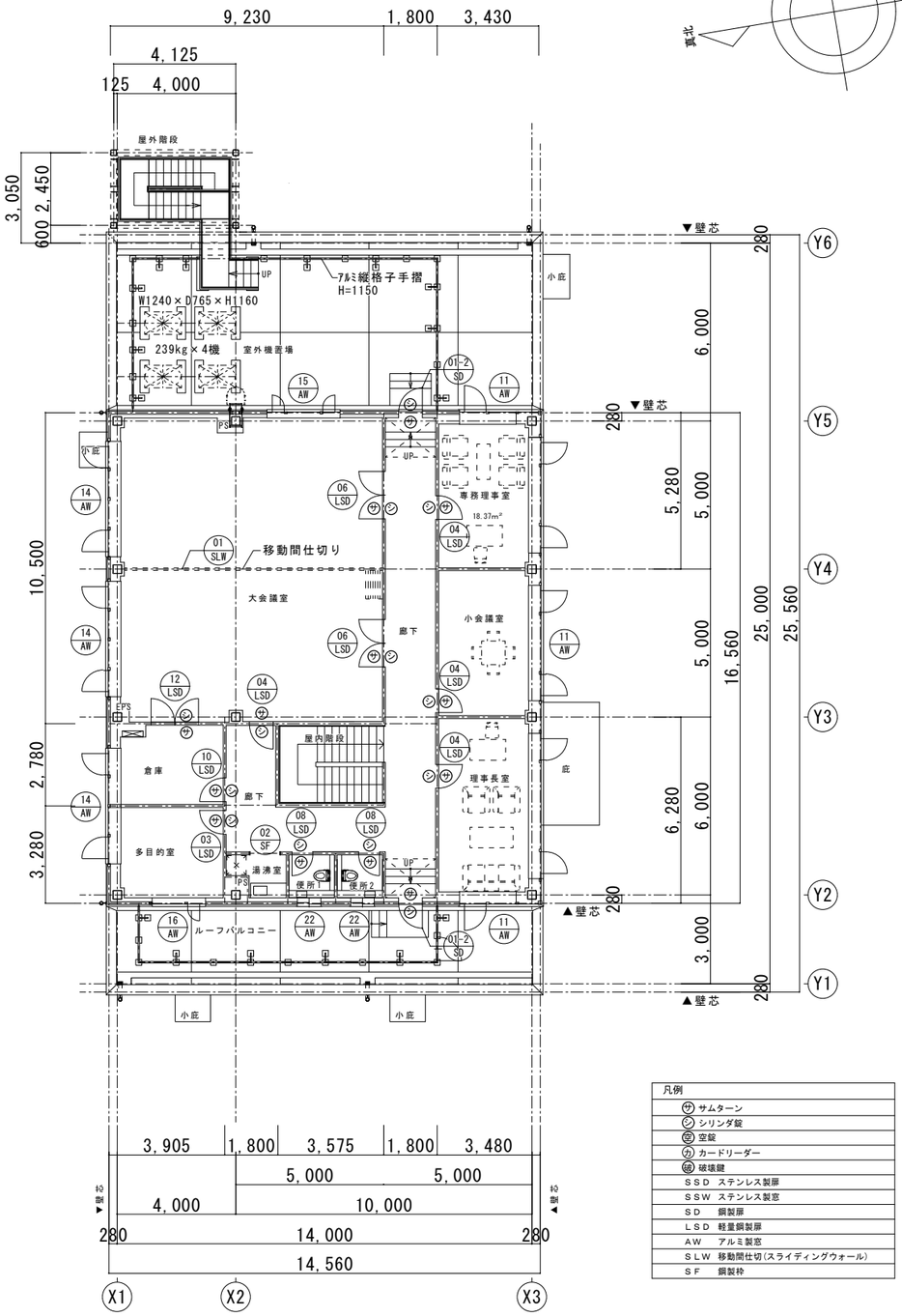
室名
天井高（床仕上高～）
仕上符号

特記

物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事
図面名	管理棟 天井伏図
縮尺	A1:1/100 A3:1/200
図番	D-122



1階平面図



2階平面図

凡例	
㋮	サムターン
㋭	シリンダ錠
㋬	空錠
㋣	カードリーダー
㋠	破壊錠
SSD	ステンレス製扉
SSW	ステンレス製窓
SD	鋼製扉
LSD	軽量鋼製扉
AW	アルミ製窓
SLW	移動間仕切(スライディングウォール)
SF	鋼製枠

特記

物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事
図面名	管理棟 内部・外部建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ
縮尺	A1:1/100 A3:1/200
図番	D-123

略　　号

◆ 建具記号

番号 / 建具符号

◆ 性能記号
- D　特定防火設備
- F　防火設備
- N　不燃戸

◆建具種別
- SD　鋼製扉
- SW　鋼製窓
- SG　鋼製ガラリ
- SS　鋼製重量シャッター
- LSD　軽量鋼製扉
- LSS　鋼製軽量シャッター
- SF　鋼製枠
- SSD　ステンレス製扉
- SSW　ステンレス製窓
- SSG　ステンレス製ガラリ
- SSF　ステンレス製枠
- AD　アルミ製扉
- AW　アルミ製窓
- AG　アルミ製ガラリ
- WD　木製扉
- WW　木製窓
- WG　木製ガラリ
- SP　可動間仕切(パーテーション)
- SLW　スライディングウォール
- CW　カーテンウォール

◆ガラス種別
- S　普通板ガラス
- F　型板ガラス
- FL　フロートガラス
- W　網入ガラス
- T　強化ガラス
- D　複層ガラス
- LD　Low-E複層ガラス
- L　合わせガラス
- H　倍強度ガラス
- LH　倍強度合わせガラス
- SL　防音合わせガラス
- FR　耐熱強化ガラス

◆ ガラス取付材
- S　シーリング
- G　グレイジングガスケット
- Z　ジッパーガスケット

◆建具金物記号

◆施錠金物
- ①　空錠
- ②　本締錠
- ③　ケースロック
- ④　表示錠
- ⑤　点検口錠
- ⑥　電気錠

◆操作金物
- N　握玉
- LH　レバーハンドル
- CH　ケースハンドル
- P　引手
- GH　グレモンハンドル
- HP　押棒、押板

◆支持金物
- H　丁番
- FH　フロアヒンジ
- AH　オートヒンジ
- PH　ピボットヒンジ
- LH　ラバトリーヒンジ
- CR　隠し丁番
- HR　ハンガーレール

◆開閉金物
- DC　ドアクローザ
- DC-1　ドアクローザ(コンシールド)
- DC-2　ドアクローザ
- バックチェック機能
- ラッチング機能
- ディレードアクション機能
- DS　戸当り
- FR　フランス落し
- WS　ワイヤーストッパー

◆ 錠区分

錠記号
- ○　空錠
- Ⓒ　シリンダ錠
- △　サムターン
- ×　非常錠

◆ その他金物
- FB(フラットバー)

◆ 仕上記号

◆材種記号
- AC　二次電解着色
- HL　ヘアーライン
- VS　塩化ビニル鋼板
- PW　ポリエステル化粧合板
- MW　メラミン化粧合板
- DS　化粧フィルム張り
- MR　鏡面仕上
- SOP　合成樹脂調合ペイント
- CL　クリヤラッカー
- OS　オイルステイン
- PH　パイプレーション
- BP　焼付塗装(フッ素樹脂系)
- 2-FUE　フッ素樹脂焼付塗装
- S　スチール
- ALアルミニウム
- SLステンレス
- W　木

◆遮音性能記号
- T-1
- T-2
- T-3
- T-4

◆ 枠の形状

◆ 吸音の形状
- ①目地棒
- ②扉厚幅
- ③建具枠幅
- ④建具枠幅(外)
- ⑤水切り

◆ がらりの形状

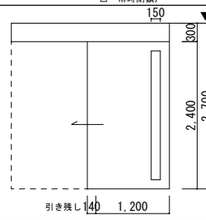
○印は該当を、空欄は非該当を表す
本表に記入なき錠の使用区分は、キープランによる
本表に記入なき仕様は、仕様書による
本表に記入された商品名は、同等品を含む
姿図のW、H寸法は枠の内法寸法を示す
1 フロアヒンジ、オートヒンジ、ドアクローザは特記なき場合は、ストッパーなしとする
2 ドア開放時に柱または壁にドアが当たる恐れのある場合、戸当り付きとする
3 便所ブースドアは建具表に記載のない場合、内部仕上表による
4 防火設備については認定番号取得製品を使用する
5 既製品の建具には付属金物一式を含むものとする
6 両開きの特定防火設備、防火設備は順位調整器付とする。

---

01 LSD　1階：風除室　数量 1

開閉方法　片引きハンガー扉（自閉式）

□ 特定防火設備
□ 防火設備　■ 指定なし
□ 常時開放戸　□ 常時閉鎖戸



枠 形状	枠 見込	枠 材種	枠 仕上	扉・障子 見込	扉・障子 材種	扉・障子 仕上	額縁 見込	額縁 材種	額縁 仕上	施錠金物 ③ 支持金物	施錠金物 HP 開閉金物	操作金物
⑥	—	S	DS	—	S	DS	—	S	DS	HR	—	

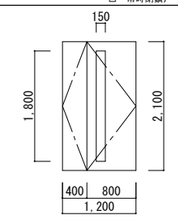
容揺 形状	容揺 見込	容揺 材種	容揺 仕上	ガラス 材種	ガラス 厚	ガラス 取付材	ガラリ 形状	ガラリ 材種	ガラリ 仕上	網戸 枠材種	網戸 枠仕上	網戸 網材種
③	—	SL	HL	FL	6	S	—	—	—	—	—	—

■ 付属金物
付属金物一式、ステンレス押棒 H=900
■ 備考
四方ゴム（簡易遮音対策）

02 LSD　1階：管理事務室　数量 1

開閉方法　親子扉

□ 特定防火設備
□ 防火設備　■ 指定なし
□ 常時開放戸　□ 常時閉鎖戸



枠 形状	枠 見込	枠 材種	枠 仕上	扉・障子 見込	扉・障子 材種	扉・障子 仕上	額縁 見込	額縁 材種	額縁 仕上	施錠金物 ③ 支持金物	施錠金物 LH 開閉金物	操作金物
③	—	S	SOP	—	S	SOP	—	S	SOP	PH	DC	

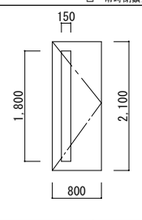
容揺 形状	容揺 見込	容揺 材種	容揺 仕上	ガラス 材種	ガラス 厚	ガラス 取付材	ガラリ 形状	ガラリ 材種	ガラリ 仕上	網戸 枠材種	網戸 枠仕上	網戸 網材種
②	—	SL	HL	F	6	S	—	—	—	—	—	—

■ 付属金物
フランス落し、順位調整器付、付属金物一式
■ 備考

03 LSD　2階：多目的室 1 / 1階：管理事務室、申請窓口、多目的室 5　数量 6

開閉方法　片開き

□ 特定防火設備
□ 防火設備　■ 指定なし
□ 常時開放戸　□ 常時閉鎖戸



枠 形状	枠 見込	枠 材種	枠 仕上	扉・障子 見込	扉・障子 材種	扉・障子 仕上	額縁 見込	額縁 材種	額縁 仕上	施錠金物 ③ 支持金物	施錠金物 LH 開閉金物	操作金物
③	—	S	SOP	—	S	SOP	—	S	SOP	PH	DC	

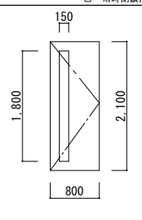
容揺 形状	容揺 見込	容揺 材種	容揺 仕上	ガラス 材種	ガラス 厚	ガラス 取付材	ガラリ 形状	ガラリ 材種	ガラリ 仕上	網戸 枠材種	網戸 枠仕上	網戸 網材種
②	—	SL	HL	F	6	S	—	—	—	—	—	—

■ 付属金物
フランス落し、順位調整器付、付属金物一式
■ 備考

04 LSD　2階：理事長室、専務理事室、小会議室、大会議室 4 / 1階：小会議室 1・2 2　数量 6

開閉方法　片開き

□ 特定防火設備
□ 防火設備　■ 指定なし
□ 常時開放戸　□ 常時閉鎖戸



枠 形状	枠 見込	枠 材種	枠 仕上	扉・障子 見込	扉・障子 材種	扉・障子 仕上	額縁 見込	額縁 材種	額縁 仕上	施錠金物 ③ 支持金物	施錠金物 LH 開閉金物	操作金物
③	—	S	SOP	—	S	SOP	—	S	SOP	PH	DC	

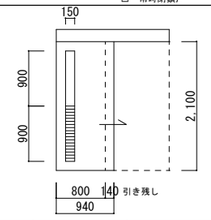
容揺 形状	容揺 見込	容揺 材種	容揺 仕上	ガラス 材種	ガラス 厚	ガラス 取付材	ガラリ 形状	ガラリ 材種	ガラリ 仕上	網戸 枠材種	網戸 枠仕上	網戸 網材種
③	—	SL	HL	F	6	S	—	—	—	—	—	—

■ 付属金物
付属金物一式、大会議室のみドアボトム付（1箇所）
■ 備考
遮音性能：セミエアタイト

05 LSD　1階：申請窓口　数量 1

開閉方法　片引きハンガー扉（自閉式）

□ 特定防火設備
□ 防火設備　■ 指定なし
□ 常時開放戸　□ 常時閉鎖戸



枠 形状	枠 見込	枠 材種	枠 仕上	扉・障子 見込	扉・障子 材種	扉・障子 仕上	額縁 見込	額縁 材種	額縁 仕上	施錠金物 ③ 支持金物	施錠金物 HP 開閉金物	操作金物
⑥	—	S	SOP	—	S	SOP	—	S	SOP	HR	—	

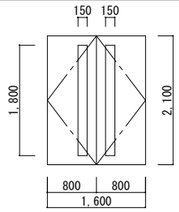
容揺 形状	容揺 見込	容揺 材種	容揺 仕上	ガラス 材種	ガラス 厚	ガラス 取付材	ガラリ 形状	ガラリ 材種	ガラリ 仕上	網戸 枠材種	網戸 枠仕上	網戸 網材種
②	—	SL	HL	F	6	S	3	S	SOP	—	—	—

■ 付属金物
付属金物一式、ステンレス押棒 H=900
■ 備考
ガラリ開口率：40%

06 LSD　2階：大会議室　数量 2

開閉方法　両開き扉

□ 特定防火設備
□ 防火設備　■ 指定なし
□ 常時開放戸　□ 常時閉鎖戸



枠 形状	枠 見込	枠 材種	枠 仕上	扉・障子 見込	扉・障子 材種	扉・障子 仕上	額縁 見込	額縁 材種	額縁 仕上	施錠金物 ③ 支持金物	施錠金物 LH 開閉金物	操作金物
③	—	S	SOP	—	S	SOP	—	S	SOP	PH	DC	

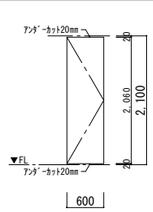
容揺 形状	容揺 見込	容揺 材種	容揺 仕上	ガラス 材種	ガラス 厚	ガラス 取付材	ガラリ 形状	ガラリ 材種	ガラリ 仕上	網戸 枠材種	網戸 枠仕上	網戸 網材種
②	—	SL	HL	F	6	S	③	S	SOP	—	—	—

■ 付属金物
付属金物一式
■ 備考
ガラリ開口率：40%

07 LSD　1階：ＳＫ置場　数量 1

開閉方法　片開き

□ 特定防火設備
□ 防火設備　■ 指定なし
□ 常時開放戸　□ 常時閉鎖戸



枠 形状	枠 見込	枠 材種	枠 仕上	扉・障子 見込	扉・障子 材種	扉・障子 仕上	額縁 見込	額縁 材種	額縁 仕上	施錠金物 ③ 支持金物	施錠金物 LH 開閉金物	操作金物
③	—	S	SOP	—	S	SOP	—	S	SOP	PH	DC	

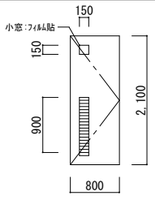
容揺 形状	容揺 見込	容揺 材種	容揺 仕上	ガラス 材種	ガラス 厚	ガラス 取付材	ガラリ 形状	ガラリ 材種	ガラリ 仕上	網戸 枠材種	網戸 枠仕上	網戸 網材種
②	—	SL	HL	—	—	—	—	—	—	—	—	—

■ 付属金物
フランス落し、順位調整器付、ドアボトム、付属金物一式
■ 備考
遮音性能：T-2

08 LSD　2階：便所1、便所2 2 / 1階：男子更衣室、女子更衣室、男子ﾄｲﾚ、女子ﾄｲﾚ、ｼｬﾜｰ室、 5　数量 7

開閉方法　片開き

□ 特定防火設備
□ 防火設備　■ 指定なし
□ 常時開放戸　□ 常時閉鎖戸



枠 形状	枠 見込	枠 材種	枠 仕上	扉・障子 見込	扉・障子 材種	扉・障子 仕上	額縁 見込	額縁 材種	額縁 仕上	施錠金物 ③ 支持金物	施錠金物 P 開閉金物	操作金物
⑥	—	S	SOP	—	S	SOP	—	S	SOP	HR	—	

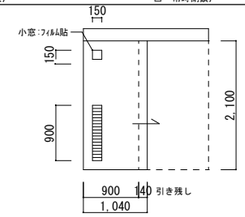
容揺 形状	容揺 見込	容揺 材種	容揺 仕上	ガラス 材種	ガラス 厚	ガラス 取付材	ガラリ 形状	ガラリ 材種	ガラリ 仕上	網戸 枠材種	網戸 枠仕上	網戸 網材種
③	—	SL	HL	—	—	—	—	—	—	—	—	—

■ 付属金物
付属金物一式、ステンレス押棒 H=900
■ 備考

09 LSD　1階：HCWC　数量 1

開閉方法　片引きハンガー扉（自閉式）

□ 特定防火設備
□ 防火設備　■ 指定なし
□ 常時開放戸　□ 常時閉鎖戸



枠 形状	枠 見込	枠 材種	枠 仕上	扉・障子 見込	扉・障子 材種	扉・障子 仕上	額縁 見込	額縁 材種	額縁 仕上	施錠金物 ③ 支持金物	施錠金物 P 開閉金物	操作金物
⑥	—	S	SOP	—	S	SOP	—	—	—	H	—	

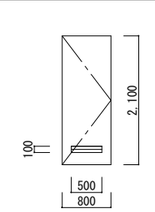
容揺 形状	容揺 見込	容揺 材種	容揺 仕上	ガラス 材種	ガラス 厚	ガラス 取付材	ガラリ 形状	ガラリ 材種	ガラリ 仕上	網戸 枠材種	網戸 枠仕上	網戸 網材種
①	—	SL	HL	—	—	—	—	—	—	—	—	—

■ 付属金物
付属金物一式
■ 備考

10 LSD　2階：倉庫 1 / 1階：管理事務室（階段下物入）、倉庫1 2　数量 3

開閉方法　片開き

□ 特定防火設備
□ 防火設備　■ 指定なし
□ 常時開放戸　□ 常時閉鎖戸



枠 形状	枠 見込	枠 材種	枠 仕上	扉・障子 見込	扉・障子 材種	扉・障子 仕上	額縁 見込	額縁 材種	額縁 仕上	施錠金物 ③ 支持金物	施錠金物 LH 開閉金物	操作金物
③	—	S	SOP	—	S	SOP	—	S	SOP	PH	DC	

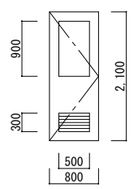
容揺 形状	容揺 見込	容揺 材種	容揺 仕上	ガラス 材種	ガラス 厚	ガラス 取付材	ガラリ 形状	ガラリ 材種	ガラリ 仕上	網戸 枠材種	網戸 枠仕上	網戸 網材種
②	—	SL	HL	—	—	—	—	—	—	—	—	—

■ 付属金物
付属金物一式
■ 備考
ガラリ開口率：40%

11 LSD　1階：湯沸室　数量 1

開閉方法　片開き

□ 特定防火設備
□ 防火設備　■ 指定なし
□ 常時開放戸　□ 常時閉鎖戸



枠 形状	枠 見込	枠 材種	枠 仕上	扉・障子 見込	扉・障子 材種	扉・障子 仕上	額縁 見込	額縁 材種	額縁 仕上	施錠金物 ③ 支持金物	施錠金物 LH 開閉金物	操作金物
③	—	S	SOP	—	S	SOP	—	S	SOP	PH	DC	

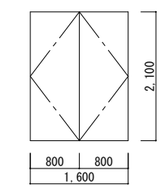
容揺 形状	容揺 見込	容揺 材種	容揺 仕上	ガラス 材種	ガラス 厚	ガラス 取付材	ガラリ 形状	ガラリ 材種	ガラリ 仕上	網戸 枠材種	網戸 枠仕上	網戸 網材種
②	—	SL	HL	F	6	S	③	S	SOP	—	—	—

■ 付属金物
付属金物一式
■ 備考
ガラリ開口率：40%

12 LSD　2階：大会議室（倉庫）　数量 1

開閉方法　両開き扉

□ 特定防火設備
□ 防火設備　■ 指定なし
□ 常時開放戸　□ 常時閉鎖戸



枠 形状	枠 見込	枠 材種	枠 仕上	扉・障子 見込	扉・障子 材種	扉・障子 仕上	額縁 見込	額縁 材種	額縁 仕上	施錠金物 ③ 支持金物	施錠金物 LH 開閉金物	操作金物
③	—	S	SOP	—	S	SOP	—	S	SOP	PH	DC	

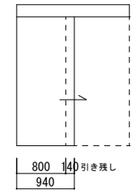
容揺 形状	容揺 見込	容揺 材種	容揺 仕上	ガラス 材種	ガラス 厚	ガラス 取付材	ガラリ 形状	ガラリ 材種	ガラリ 仕上	網戸 枠材種	網戸 枠仕上	網戸 網材種
②	—	SL	HL	—	—	—	—	—	—	—	—	—

■ 付属金物
フランス落し、順位調整器付、ドアボトム、付属金物一式
■ 備考
遮音性能：T-2

13 LSD　1階：管理事務室（書庫1）　数量 1

開閉方法　片引きハンガー扉（自閉式）

□ 特定防火設備
□ 防火設備　■ 指定なし
□ 常時開放戸　□ 常時閉鎖戸



枠 形状	枠 見込	枠 材種	枠 仕上	扉・障子 見込	扉・障子 材種	扉・障子 仕上	額縁 見込	額縁 材種	額縁 仕上	施錠金物 ③ 支持金物	施錠金物 P 開閉金物	操作金物
⑥	—	S	SOP	—	S	SOP	—	S	SOP	HR	—	

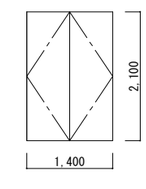
容揺 形状	容揺 見込	容揺 材種	容揺 仕上	ガラス 材種	ガラス 厚	ガラス 取付材	ガラリ 形状	ガラリ 材種	ガラリ 仕上	網戸 枠材種	網戸 枠仕上	網戸 網材種
③	—	SL	HL	—	—	—	—	—	—	—	—	—

■ 付属金物
付属金物一式、ステンレス押棒 H=900
■ 備考

14 LSD　1階：管理事務室（書庫2）　数量 2

開閉方法　両開き３連扉

□ 特定防火設備
□ 防火設備　■ 指定なし
□ 常時開放戸　□ 常時閉鎖戸



枠 形状	枠 見込	枠 材種	枠 仕上	扉・障子 見込	扉・障子 材種	扉・障子 仕上	額縁 見込	額縁 材種	額縁 仕上	施錠金物 ③ 支持金物	施錠金物 P 開閉金物	操作金物
⑥	—	S	SOP	—	S	SOP	—	—	—	H	—	

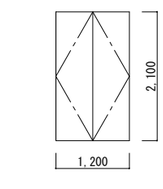
容揺 形状	容揺 見込	容揺 材種	容揺 仕上	ガラス 材種	ガラス 厚	ガラス 取付材	ガラリ 形状	ガラリ 材種	ガラリ 仕上	網戸 枠材種	網戸 枠仕上	網戸 網材種
①	—	SL	HL	—	—	—	—	—	—	—	—	—

■ 付属金物
付属金物一式
■ 備考

15 LSD　1階：管理事務室（倉庫2）　数量 2

開閉方法　両開き２連扉

□ 特定防火設備
□ 防火設備　■ 指定なし
□ 常時開放戸　□ 常時閉鎖戸



枠 形状	枠 見込	枠 材種	枠 仕上	扉・障子 見込	扉・障子 材種	扉・障子 仕上	額縁 見込	額縁 材種	額縁 仕上	施錠金物 ③ 支持金物	施錠金物 LH 開閉金物	操作金物
⑥	—	S	SOP	—	S	SOP	—	S	SOP	H	—	

容揺 形状	容揺 見込	容揺 材種	容揺 仕上	ガラス 材種	ガラス 厚	ガラス 取付材	ガラリ 形状	ガラリ 材種	ガラリ 仕上	網戸 枠材種	網戸 枠仕上	網戸 網材種
①	—	SL	HL	—	—	—	—	—	—	—	—	—

■ 付属金物
付属金物一式
■ 備考

特記

物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事		
図面名	管理棟 建具表(1)	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図番 D-124

略　　号

◆ 建具記号

番号 / 建具符号

◆ 性能記号
- D　特定防火設備
- F　防火設備
- N　不燃戸

◆建具種別

SD　鋼製扉	AD　アルミ製扉
SW　鋼製窓	AW　アルミ製窓
SG　鋼製ガラリ	AG　アルミ製ガラリ
SS　鋼製重量シャッター	WD　木製扉
LSD　軽量鋼製扉	WW　木製窓
LSS　鋼製軽量シャッター	WG　木製ガラリ
SF　鋼製枠	SP　可動間仕切(パーテーション)
SSD　ステンレス製扉	SLW　スライディングウォール
SSW　ステンレス製窓	CW　カーテンウォール
SSG　ステンレス製ガラリ	
SSF　ステンレス製枠	

◆ガラス種別

S　普通板ガラス	◆ ガラス取付材
F　型板ガラス	S　シーリング
FL　フロートガラス	G　グレイジングガスケット
W　網入ガラス	Z　ジッパーガスケット
T　強化ガラス	
D　複層ガラス	
LD　Low-E複層ガラス	
L　合わせガラス	
H　倍強度ガラス	
LH　倍強度合わせガラス	
SL　防音合わせガラス	
FR　耐熱強化ガラス	

◆建具金物記号

◆施錠金物
- ①　空錠
- ②　本締錠
- ③　ケースロック
- ④　表示錠
- ⑤　点検口錠
- ⑥　電気錠

◆操作金物
- N　握玉
- LH　レバーハンドル
- CH　ケースハンドル
- P　引手
- GH　グレモンハンドル
- HP　押棒、押板

◆支持金物
- H　丁番
- FH　フロアヒンジ
- AH　オートヒンジ
- PH　ピボットヒンジ
- LH　ラバトリーヒンジ
- CR　隠し丁番
- HR　ハンガーレール

◆開閉金物
- DC　ドアクローザ
- DC-1　ドアクローザ(コンシールド)
- DC-2　ドアクローザ
- バックチェック機能
- ラッチング機能
- ディレード アクション機能
- DS　戸当り
- FR　フランス落し
- WS　ワイヤーストッパー

◆ 錠区分

錠記号
- ○　空錠
- Ⓘ　シリンダ錠
- △　サムターン
- ×　非常錠

◆ その他金物
- FB(フラットバー)

◆ 仕上記号

AC　二次電解着色	
HL　ヘアーライン	
VS　塩化ビニル鋼板	
PW　ポリエステル化粧合板	
MW　メラミン化粧合板	
DS　化粧フィルム張り	
MR　鏡面仕上	
SOP　合成樹脂調合ペイント	
CL　クリヤラッカー	
OS　オイルステイン	
PH　バイブレーション	
BP　焼付塗装(フッ素樹脂系)	
2-FUE　フッ素樹脂焼付塗装	

◆材種記号
- S　スチール
- ALアルミニウム
- SLステンレス
- W　木

◆遮音性能記号
- T-1
- T-2
- T-3
- T-4

◆ 枠の形状

①　②　③　④　⑤　⑥

◆ 召合の形状

①目地棒　②扉厚幅　③建具枠幅　④建具枠幅(外)　⑤水切り

◆ がらりの形状

①　②　③　④　⑤

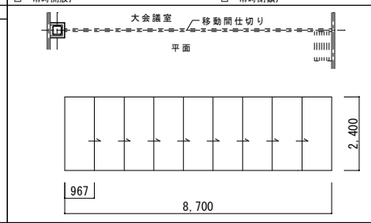
○印は該当を、空欄は非該当を表す
本表に記入なき錠の使用区分は、キープランによる
本表に記入なき仕様は、仕様書による
本表に記入された商品名は、同等品を含む
姿図のW、H寸法は枠の内法寸法を示す
1 フロアヒンジ、オートヒンジ、ドアクローザは特記なき場合は、ストッパーなしとする
2 ドア開放時に柱または壁にドアが当たる恐れのある場合、戸当り付きとする
3 便所ブースドアは建具表に記載のない場合、内部仕上表による
4 防火設備については認定番号取得製品を使用する
5 既製品の建具には付属金物一式を含むものとする
6 両開きの特定防火設備、防火設備は順位調整器付とする。

---

01 SLW　2階：大会議室（倉庫）　数量 1

開閉方法　移動間仕切(スライディングウォール)

□ 特定防火設備
□ 防火設備　■ 指定なし
□ 常時開放戸　□ 常時閉鎖戸



枠 形状	枠 見込	枠 材種	枠 仕上	扉・障子 見込	扉・障子 材種	扉・障子 仕上	額縁 見込	額縁 材種	額縁 仕上	施錠金物 ③ / 支持金物	操作金物 CH / 開閉金物
⑥	85	AL	AC	80	S	SOP	—	—	—	HR	—

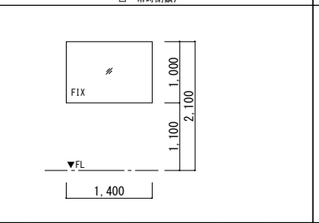
容揖 形状	容揖 見込	容揖 材種	容揖 仕上	ガラス 材種	ガラス 厚	ガラス 取付材	ガラリ 形状	ガラリ 材種	ガラリ 仕上	網戸 枠材種	網戸 枠仕上	網戸 網材種
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

■ 付属金物
付属金物一式
■ 備考
文化シャッター：スライデォングウォールSS-85　同等品

01 AW　1階：多目的室（廊下）　数量 1

開閉方法　アルミ製嵌め殺し窓

□ 特定防火設備
□ 防火設備　■ 指定なし
□ 常時開放戸　□ 常時閉鎖戸



枠 形状	枠 見込	枠 材種	枠 仕上	扉・障子 見込	扉・障子 材種	扉・障子 仕上	額縁 見込	額縁 材種	額縁 仕上	施錠金物 — / 支持金物	操作金物 — / 開閉金物
—	110	AL	AC	45	AL	AC	—	—	—	—	—

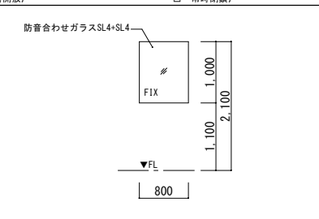
容揖 形状	容揖 見込	容揖 材種	容揖 仕上	ガラス 材種	ガラス 厚	ガラス 取付材	ガラリ 形状	ガラリ 材種	ガラリ 仕上	網戸 枠材種	網戸 枠仕上	網戸 網材種
—	—	—	—	FL	6	S	—	—	—	—	—	—

■ 付属金物
付属金物一式
■ 備考
屋内用アルミ製窓：LIXIL　インショップフロント(同等品)

02 AW　1階：小会議室2（廊下）　数量 1

開閉方法

□ 特定防火設備
□ 防火設備　■ 指定なし
□ 常時開放戸　□ 常時閉鎖戸



枠 形状	枠 見込	枠 材種	枠 仕上	扉・障子 見込	扉・障子 材種	扉・障子 仕上	額縁 見込	額縁 材種	額縁 仕上	施錠金物 — / 支持金物	操作金物 — / 開閉金物
—	110	AL	AC	45	AL	AC	—	—	—	—	—

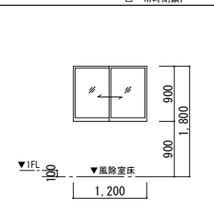
容揖 形状	容揖 見込	容揖 材種	容揖 仕上	ガラス 材種	ガラス 厚	ガラス 取付材	ガラリ 形状	ガラリ 材種	ガラリ 仕上	網戸 枠材種	網戸 枠仕上	網戸 網材種
—	—	—	—	FL	図示	S	—	—	—	—	—	—

■ 付属金物
付属金物一式
■ 備考
屋内用アルミ製窓：LIXIL　インショップフロント(同等品)

01 SSW　1階：管理事務室（風除室1）　数量 1

開閉方法　引違窓

□ 特定防火設備
□ 防火設備　■ 指定なし
□ 常時開放戸　□ 常時閉鎖戸



枠 形状	枠 見込	枠 材種	枠 仕上	扉・障子 見込	扉・障子 材種	扉・障子 仕上	額縁 見込	額縁 材種	額縁 仕上	施錠金物 — / 支持金物	操作金物 — / 開閉金物
⑥	110	SL	HL	36	SL	HL	—	—	—	—	—

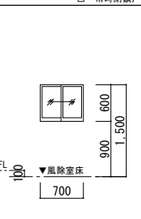
容揖 形状	容揖 見込	容揖 材種	容揖 仕上	ガラス 材種	ガラス 厚	ガラス 取付材	ガラリ 形状	ガラリ 材種	ガラリ 仕上	網戸 枠材種	網戸 枠仕上	網戸 網材種
—	—	—	—	FL	6	S	—	—	—	—	—	—

■ 付属金物
付属金物一式
■ 備考

02 SSW　1階：申請窓口（風除室2）　数量 1

開閉方法　引違窓

□ 特定防火設備
□ 防火設備　■ 指定なし
□ 常時開放戸　□ 常時閉鎖戸



枠 形状	枠 見込	枠 材種	枠 仕上	扉・障子 見込	扉・障子 材種	扉・障子 仕上	額縁 見込	額縁 材種	額縁 仕上	施錠金物 — / 支持金物	操作金物 — / 開閉金物
⑥	110	SL	HL	36	SL	HL	—	—	—	—	—

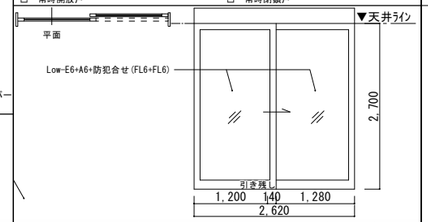
容揖 形状	容揖 見込	容揖 材種	容揖 仕上	ガラス 材種	ガラス 厚	ガラス 取付材	ガラリ 形状	ガラリ 材種	ガラリ 仕上	網戸 枠材種	網戸 枠仕上	網戸 網材種
—	—	—	—	FL	6	S	—	—	—	—	—	—

■ 付属金物
付属金物一式
■ 備考

01 SSD　1階：風除室1　数量 1

開閉方法　片引き自動扉

□ 特定防火設備
□ 防火設備　■ 指定なし
□ 常時開放戸　□ 常時閉鎖戸



枠 形状	枠 見込	枠 材種	枠 仕上	扉・障子 見込	扉・障子 材種	扉・障子 仕上	額縁 見込	額縁 材種	額縁 仕上	施錠金物 ③ / 支持金物	操作金物 LH / 開閉金物
⑥	—	A	AC	—	A	AC	—	—	—	PH	DC

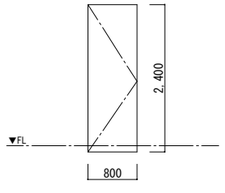
容揖 形状	容揖 見込	容揖 材種	容揖 仕上	ガラス 材種	ガラス 厚	ガラス 取付材	ガラリ 形状	ガラリ 材種	ガラリ 仕上	網戸 枠材種	網戸 枠仕上	網戸 網材種
③	—	SL	HL	—	—	—	—	—	—	—	—	—

■ 付属金物
付属金物一式、破壊鍵
■ 備考

01-1 SD　1階：風除室2、職員勝手口、廊下　数量 3

開閉方法　片開き

□ 特定防火設備
□ 防火設備　■ 指定なし
□ 常時開放戸　■ 常時閉鎖戸



枠 形状	枠 見込	枠 材種	枠 仕上	扉・障子 見込	扉・障子 材種	扉・障子 仕上	額縁 見込	額縁 材種	額縁 仕上	施錠金物 ③ / 支持金物	操作金物 LH / 開閉金物
③	—	S	SOP	—	S	SOP	—	S	SOP	PH	DC

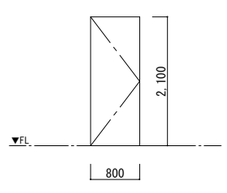
容揖 形状	容揖 見込	容揖 材種	容揖 仕上	ガラス 材種	ガラス 厚	ガラス 取付材	ガラリ 形状	ガラリ 材種	ガラリ 仕上	網戸 枠材種	網戸 枠仕上	網戸 網材種
④	—	SL	HL	—	—	—	—	—	—	—	—	—

■ 付属金物
付属金物一式
■ 備考
セミエアタイト
1階職員勝手口（1箇所）のみ「カードリーダー付」

01-2 SD　2階：廊下　数量 2

開閉方法　片開き

□ 特定防火設備
□ 防火設備　■ 指定なし
□ 常時開放戸　■ 常時閉鎖戸



枠 形状	枠 見込	枠 材種	枠 仕上	扉・障子 見込	扉・障子 材種	扉・障子 仕上	額縁 見込	額縁 材種	額縁 仕上	施錠金物 ③ / 支持金物	操作金物 LH / 開閉金物
③	—	S	SOP	—	S	SOP	—	S	SOP	PH	DC

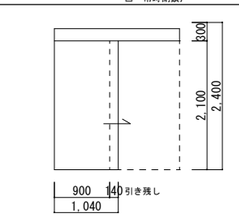
容揖 形状	容揖 見込	容揖 材種	容揖 仕上	ガラス 材種	ガラス 厚	ガラス 取付材	ガラリ 形状	ガラリ 材種	ガラリ 仕上	網戸 枠材種	網戸 枠仕上	網戸 網材種
④	—	SL	HL	—	—	—	—	—	—	—	—	—

■ 付属金物
付属金物一式
■ 備考
セミエアタイト

02 SD　1階：HCWC　数量 1

開閉方法　片引きハンガー扉（自閉式）

□ 特定防火設備
□ 防火設備　■ 指定なし
□ 常時開放戸　□ 常時閉鎖戸



枠 形状	枠 見込	枠 材種	枠 仕上	扉・障子 見込	扉・障子 材種	扉・障子 仕上	額縁 見込	額縁 材種	額縁 仕上	施錠金物 ③ / 支持金物	操作金物 HP / 開閉金物
⑥	—	S	SOP	—	S	SOP	—	S	SOP	HR	—

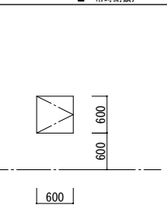
容揖 形状	容揖 見込	容揖 材種	容揖 仕上	ガラス 材種	ガラス 厚	ガラス 取付材	ガラリ 形状	ガラリ 材種	ガラリ 仕上	網戸 枠材種	網戸 枠仕上	網戸 網材種
③	—	SL	HL	—	—	—	—	—	—	—	—	—

■ 付属金物
付属金物一式、ステンレス押棒 H=900
■ 備考
四方ゴム（簡易遮音対策）

03 SD　1階：シャワー室（PS）　数量 1

開閉方法　片開き

□ 特定防火設備
□ 防火設備　■ 指定なし
□ 常時開放戸　■ 常時閉鎖戸



枠 形状	枠 見込	枠 材種	枠 仕上	扉・障子 見込	扉・障子 材種	扉・障子 仕上	額縁 見込	額縁 材種	額縁 仕上	施錠金物 ⑤ / 支持金物	操作金物 CH / 開閉金物
②	—	S	SOP	—	S	SOP	—	S	SOP	H	WS

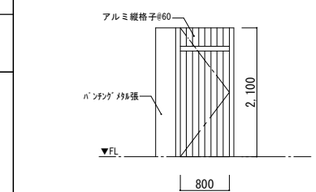
容揖 形状	容揖 見込	容揖 材種	容揖 仕上	ガラス 材種	ガラス 厚	ガラス 取付材	ガラリ 形状	ガラリ 材種	ガラリ 仕上	網戸 枠材種	網戸 枠仕上	網戸 網材種
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

■ 付属金物
付属金物一式
■ 備考

01 AD　1階：外部階段　数量 1

開閉方法　片開き

□ 特定防火設備
□ 防火設備　■ 指定なし
□ 常時開放戸　□ 常時閉鎖戸



枠 形状	枠 見込	枠 材種	枠 仕上	扉・障子 見込	扉・障子 材種	扉・障子 仕上	額縁 見込	額縁 材種	額縁 仕上	施錠金物 ③ / 支持金物	操作金物 LH / 開閉金物
⑥	—	A	AC	—	A	AC	—	—	—	PH	DC

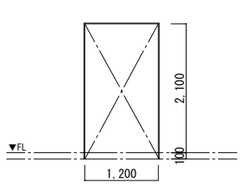
容揖 形状	容揖 見込	容揖 材種	容揖 仕上	ガラス 材種	ガラス 厚	ガラス 取付材	ガラリ 形状	ガラリ 材種	ガラリ 仕上	網戸 枠材種	網戸 枠仕上	網戸 網材種
③	—	SL	HL	—	—	—	—	—	—	—	—	—

■ 付属金物
付属金物一式、破壊鍵
■ 備考

01 SF　1階：土間収納　数量 1

開閉方法

□ 特定防火設備
□ 防火設備　□ 指定なし
□ 常時開放戸　□ 常時閉鎖戸



枠 形状	枠 見込	枠 材種	枠 仕上	扉・障子 見込	扉・障子 材種	扉・障子 仕上	額縁 見込	額縁 材種	額縁 仕上	施錠金物 — / 支持金物	操作金物 — / 開閉金物
⑥	120	S	SOP	—	—	—	—	—	—	—	—

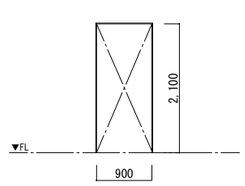
容揖 形状	容揖 見込	容揖 材種	容揖 仕上	ガラス 材種	ガラス 厚	ガラス 取付材	ガラリ 形状	ガラリ 材種	ガラリ 仕上	網戸 枠材種	網戸 枠仕上	網戸 網材種
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

■ 付属金物
■ 備考

02 SF　2階：湯沸室　数量 1

開閉方法

□ 特定防火設備
□ 防火設備　□ 指定なし
□ 常時開放戸　□ 常時閉鎖戸



枠 形状	枠 見込	枠 材種	枠 仕上	扉・障子 見込	扉・障子 材種	扉・障子 仕上	額縁 見込	額縁 材種	額縁 仕上	施錠金物 — / 支持金物	操作金物 — / 開閉金物
⑥	120	S	SOP	—	—	—	—	—	—	—	—

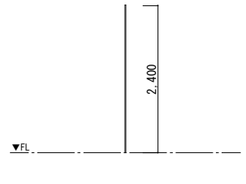
容揖 形状	容揖 見込	容揖 材種	容揖 仕上	ガラス 材種	ガラス 厚	ガラス 取付材	ガラリ 形状	ガラリ 材種	ガラリ 仕上	網戸 枠材種	網戸 枠仕上	網戸 網材種
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

■ 付属金物
■ 備考

03 SF　1階：男子更衣室、女子更衣室　数量 2

開閉方法

□ 特定防火設備
□ 防火設備　□ 指定なし
□ 常時開放戸　□ 常時閉鎖戸



枠 形状	枠 見込	枠 材種	枠 仕上	扉・障子 見込	扉・障子 材種	扉・障子 仕上	額縁 見込	額縁 材種	額縁 仕上	施錠金物 — / 支持金物	操作金物 — / 開閉金物
⑥	120	S	SOP	—	—	—	—	—	—	—	—

容揖 形状	容揖 見込	容揖 材種	容揖 仕上	ガラス 材種	ガラス 厚	ガラス 取付材	ガラリ 形状	ガラリ 材種	ガラリ 仕上	網戸 枠材種	網戸 枠仕上	網戸 網材種
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

■ 付属金物
■ 備考

特記

物件名　第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事

図面名　管理棟 建具表(2)

縮尺　A1:1/50　A3:1/100

図番　D-125

略　　号

◆ 建具記号

番号 / 建具符号

◆ 性能記号
- D　特定防火設備
- F　防火設備
- N　不燃戸

◆建具種別

SD　鋼製扉	AD　アルミ製扉
SW　鋼製窓	AW　アルミ製窓
SG　鋼製ガラリ	AG　アルミ製ガラリ
SS　鋼製重量シャッター	WD　木製扉
LSD 軽量鋼製扉	WW　木製窓
LSS 鋼製軽量シャッター	WG　木製ガラリ
SF　鋼製枠	SP　可動間仕切(パーテーション)
SSD ステンレス製扉	SLW スライディングウォール
SSW ステンレス製窓	CW　カーテンウォール
SSG ステンレス製ガラリ	
SSF ステンレス製枠	

◆ガラス種別

S　普通板ガラス	◆ ガラス取付材
F　型板ガラス	S　シーリング
FL　フロートガラス	G　グレイジングガスケット
W　網入ガラス	Z　ジッパーガスケット
T　強化ガラス	
D　複層ガラス	
LD　Low-E複層ガラス	
L　合わせガラス	
H　倍強度ガラス	
LH 倍強度合わせガラス	
SL 防音合わせガラス	
FR 耐熱強化ガラス	

◆建具金物記号

◆施錠金物
- ① 空錠
- ② 本締錠
- ③ ケースロック
- ④ 表示錠
- ⑤ 点検口錠
- ⑥ 電気錠

◆操作金物
- N　握玉
- LH レバーハンドル
- CH ケースハンドル
- P　引手
- GH グレモンハンドル
- HP 押棒、押板

◆支持金物
- H　丁番
- FH フロアヒンジ
- AH オートヒンジ
- PH ピボットヒンジ
- LH ラバトリーヒンジ
- CR 隠し丁番
- HR ハンガーレール

◆開閉金物
- DC　ドアクローザ
- DC-1 ドアクローザ(コンシールド)
- DC-2 ドアクローザ
- バックチェック機能
- ラッチング機能
- ディレードアクション機能
- DS 戸当り
- FR フランス落し
- WS ワイヤーストッパー

◆ 錠区分

錠記号
- ○ 空錠
- Ⓒ シリンダ錠
- △ サムターン
- × 非常錠

◆ その他金物
- FB(フラットバー)

◆ 仕上記号
- AC　二次電解着色
- HL　ヘアーライン
- VS　塩化ビニル鋼板
- PW　ポリエステル化粧合板
- MW　メラミン化粧合板
- DS　化粧フィルム張り
- MR　鏡面仕上
- SOP 合成樹脂調合ペイント
- CL　クリヤラッカー
- OS　オイルステイン
- PH　バイブレーション
- BP　焼付塗装(フッ素樹脂系)
- 2-FUE フッ素樹脂焼付塗装

◆材種記号
- S　スチール
- AL アルミニウム
- SL ステンレス
- W　木

◆遮音性能記号
- T-1
- T-2
- T-3
- T-4

◆ 枠の形状

①　②　③　④　⑤　⑥

◆ 召合の形状

①目地棒　②厚厚幅　③建具枠幅　④建具枠幅(外)　⑤水切り

◆ がらりの形状

①　②　③　④　⑤

○印は該当を、空欄は非該当を表す
本表に記入なき鍵の使用区分は、キープランによる
本表に記入なき仕様は、仕様書による
本表に記入された商品名は、同等品を含む
姿図のW、H寸法は枠の内法寸法を示す
1 フロアヒンジ、オートヒンジ、ドアクローザは特記なき場合は、ストッパーなしとする
2 ドア開放時に柱または壁にドアが当たる恐れのある場合、戸当り付きとする
3 便所ブースドアは建具表に記載のない場合、内部仕上表による
4 防火設備については認定番号取得製品を使用する
5 既製品の建具には付属金物一式を含むものとする
6 開閉きの特定防火設扉、防火設扉は順位調整器付とする。

外部アルミニウム製建具性能
- 耐風圧性等級：S-3
- 水密性等級：W-5
- 気密性等級：A-4
- 断熱性等級：H-2
- 遮音性等級：T-2

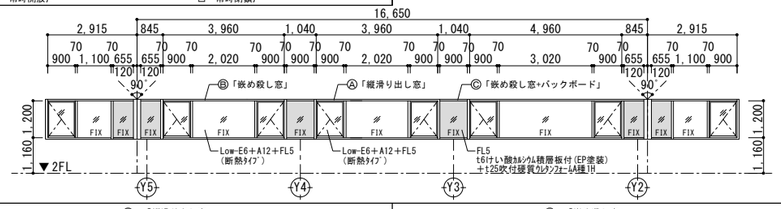
外部アルミニウム製建具カラーは「ブラック色」とする。
網戸の網材質_PPネット(ポリプロピレン樹脂)ブラック色、18×18網メッシュ

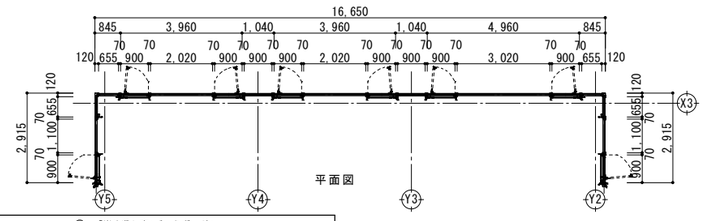
---

11 AW　2階：理事長室、小会議室、専務理事室　1　数量 1

開閉方法　アルミ連窓コーナーサッシ型　Ⓐ「縦滑り出し窓」+Ⓑ「嵌め殺し窓」+Ⓒ「嵌め殺し窓+バックボード」

- □ 特定防火設備
- □ 防火設備　■ 指定なし
- □ 常時開放戸　□ 常時閉鎖戸





Ⓐ:「縦滑り出し窓」

枠 形状	枠 見込	枠 材種	枠 仕上	扉・障子 見込	扉・障子 材種	扉・障子 仕上	額縁 見込	額縁 材種	額縁 仕上	施錠金物	操作金物
										—	カムラッチハンドル
										支持金物	開閉金物
—	70	AL	AC	25	AL	AC	145	S	SOP	—	アームストッパー

容揺 形状	容揺 見込	容揺 材種	容揺 仕上	ガラス 材種	ガラス 厚	ガラス 取付材	屋外三方付枠 見込	屋外三方付枠 材種	屋外三方付枠 仕上	横引きロール網戸 枠材種	横引きロール網戸 枠仕上	横引きロール網戸 網材種
—	—	—	—	LD	図示	S	75	AL	AC	AL	AC	PPネット

■ 付属金物
付属金物一式
■ 備考
屋外下枠水切材：AL、AC、W=75
膳板：ｽﾁｰﾙ、SOP塗装、D=400
把手付

Ⓑ:「嵌め殺し窓」

枠 形状	枠 見込	枠 材種	枠 仕上	扉・障子 見込	扉・障子 材種	扉・障子 仕上	額縁 見込	額縁 材種	額縁 仕上	施錠金物	操作金物
										—	—
										支持金物	開閉金物
—	70	AL	AC	36	AL	AC	145	S	SOP	—	—

容揺 形状	容揺 見込	容揺 材種	容揺 仕上	ガラス 材種	ガラス 厚	ガラス 取付材	屋外三方付枠 見込	屋外三方付枠 材種	屋外三方付枠 仕上	網戸 枠材種	網戸 枠仕上	網戸 網材種
—	—	—	—	LD	図示	S	75	AL	AC	—	—	—

■ 付属金物
付属金物一式
■ 備考
屋外下枠水切材：AL、AC、W=75
膳板：ｽﾁｰﾙ、SOP塗装、D=400

Ⓒ:「嵌め殺し窓+バックボード」

枠 形状	枠 見込	枠 材種	枠 仕上	扉・障子 見込	扉・障子 材種	扉・障子 仕上	額縁 見込	額縁 材種	額縁 仕上	施錠金物	操作金物
										—	—
										支持金物	開閉金物
—	70	AL	AC	36	AL	AC	—	—	—	—	—

容揺 形状	容揺 見込	容揺 材種	容揺 仕上	ガラス 材種	ガラス 厚	ガラス 取付材	屋外三方付枠 見込	屋外三方付枠 材種	屋外三方付枠 仕上	網戸 枠材種	網戸 枠仕上	網戸 網材種
—	—	—	—	FL	5	S	75	AL	AC	—	—	—

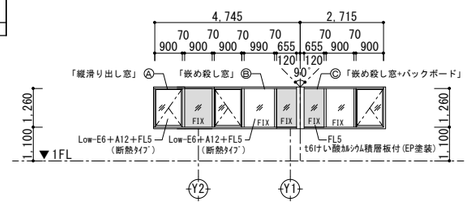
■ 付属金物
付属金物一式
■ 備考
屋外下枠水切材：AL、AC、W=75
ﾊﾞｯｸﾎﾞｰﾄﾞ：t6けい酸カルシウム積層板付(EP塗装)＋t25吹付硬質ウレタンフォームA種1H

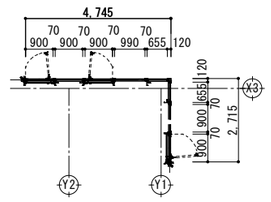
---

12 AW　1階：小会議室1、2　1　数量 1

開閉方法　アルミ連窓コーナーサッシ型　Ⓐ「縦滑り出し窓」+Ⓑ「嵌め殺し窓」+Ⓒ「嵌め殺し窓+バックボード」

- □ 特定防火設備
- □ 防火設備　■ 指定なし
- □ 常時開放戸　□ 常時閉鎖戸





Ⓐ:「縦滑り出し窓」

枠 形状	枠 見込	枠 材種	枠 仕上	扉・障子 見込	扉・障子 材種	扉・障子 仕上	額縁 見込	額縁 材種	額縁 仕上	施錠金物	操作金物
										—	カムラッチハンドル
										支持金物	開閉金物
—	70	AL	AC	25	AL	AC	145	S	SOP	—	アームストッパー

容揺 形状	容揺 見込	容揺 材種	容揺 仕上	ガラス 材種	ガラス 厚	ガラス 取付材	屋外三方付枠 見込	屋外三方付枠 材種	屋外三方付枠 仕上	横引きロール網戸 枠材種	横引きロール網戸 枠仕上	横引きロール網戸 網材種
—	—	—	—	LD	図示	S	75	AL	AC	AL	AC	PPネット

■ 付属金物
付属金物一式
■ 備考
屋外下枠水切材：AL、AC、W=75
膳板：ｽﾁｰﾙ、SOP塗装、D=400
把手付

Ⓑ:「嵌め殺し窓」

枠 形状	枠 見込	枠 材種	枠 仕上	扉・障子 見込	扉・障子 材種	扉・障子 仕上	額縁 見込	額縁 材種	額縁 仕上	施錠金物	操作金物
										—	—
										支持金物	開閉金物
—	70	AL	AC	36	AL	AC	145	S	SOP	—	—

容揺 形状	容揺 見込	容揺 材種	容揺 仕上	ガラス 材種	ガラス 厚	ガラス 取付材	屋外三方付枠 見込	屋外三方付枠 材種	屋外三方付枠 仕上	網戸 枠材種	網戸 枠仕上	網戸 網材種
—	—	—	—	LD	図示	S	75	AL	AC	—	—	—

■ 付属金物
付属金物一式
■ 備考
屋外下枠水切材：AL、AC、W=75
膳板：ｽﾁｰﾙ、SOP塗装、D=400

Ⓒ:「嵌め殺し窓+バックボード」

枠 形状	枠 見込	枠 材種	枠 仕上	扉・障子 見込	扉・障子 材種	扉・障子 仕上	額縁 見込	額縁 材種	額縁 仕上	施錠金物	操作金物
										—	—
										支持金物	開閉金物
—	70	AL	AC	36	AL	AC	—	—	—	—	—

容揺 形状	容揺 見込	容揺 材種	容揺 仕上	ガラス 材種	ガラス 厚	ガラス 取付材	屋外三方付枠 見込	屋外三方付枠 材種	屋外三方付枠 仕上	網戸 枠材種	網戸 枠仕上	網戸 網材種
—	—	—	—	FL	5	S	75	AL	AC	—	—	—

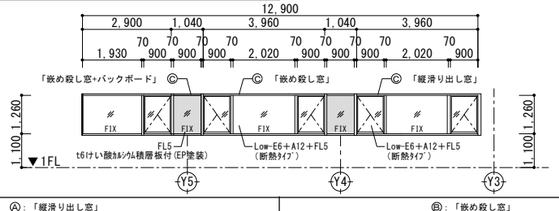
■ 付属金物
付属金物一式
■ 備考
屋外下枠水切材：AL、AC、W=75
ﾊﾞｯｸﾎﾞｰﾄﾞ：t6けい酸カルシウム積層板付(EP塗装)＋t25吹付硬質ウレタンフォームA種1H

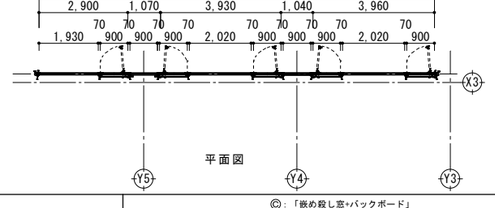
---

13 AW　1階：管理事務室　1　数量 1

開閉方法　アルミ連窓サッシ型　Ⓐ「縦滑り出し窓」+Ⓑ「嵌め殺し窓」+Ⓒ「嵌め殺し窓+バックボード」

- □ 特定防火設備
- □ 防火設備　■ 指定なし
- □ 常時開放戸　□ 常時閉鎖戸





Ⓐ:「縦滑り出し窓」

枠 形状	枠 見込	枠 材種	枠 仕上	扉・障子 見込	扉・障子 材種	扉・障子 仕上	額縁 見込	額縁 材種	額縁 仕上	施錠金物	操作金物
										—	カムラッチハンドル
										支持金物	開閉金物
—	70	AL	AC	25	AL	AC	145	S	SOP	—	アームストッパー

容揺 形状	容揺 見込	容揺 材種	容揺 仕上	ガラス 材種	ガラス 厚	ガラス 取付材	屋外三方付枠 見込	屋外三方付枠 材種	屋外三方付枠 仕上	横引きロール網戸 枠材種	横引きロール網戸 枠仕上	横引きロール網戸 網材種
—	—	—	—	LD	図示	S	75	AL	AC	AL	AC	PPネット

■ 付属金物
付属金物一式
■ 備考
屋外下枠水切材：AL、AC、W=75
膳板：ｽﾁｰﾙ、SOP塗装、D=400
把手付

Ⓑ:「嵌め殺し窓」

枠 形状	枠 見込	枠 材種	枠 仕上	扉・障子 見込	扉・障子 材種	扉・障子 仕上	額縁 見込	額縁 材種	額縁 仕上	施錠金物	操作金物
										—	—
										支持金物	開閉金物
—	70	AL	AC	36	AL	AC	145	S	SOP	—	—

容揺 形状	容揺 見込	容揺 材種	容揺 仕上	ガラス 材種	ガラス 厚	ガラス 取付材	屋外三方付枠 見込	屋外三方付枠 材種	屋外三方付枠 仕上	網戸 枠材種	網戸 枠仕上	網戸 網材種
—	—	—	—	LD	図示	S	75	AL	AC	—	—	—

■ 付属金物
付属金物一式
■ 備考
屋外下枠水切材：AL、AC、W=75
膳板：ｽﾁｰﾙ、SOP塗装、D=400

Ⓒ:「嵌め殺し窓+バックボード」

枠 形状	枠 見込	枠 材種	枠 仕上	扉・障子 見込	扉・障子 材種	扉・障子 仕上	額縁 見込	額縁 材種	額縁 仕上	施錠金物	操作金物
										—	—
										支持金物	開閉金物
—	70	AL	AC	36	AL	AC	—	—	—	—	—

容揺 形状	容揺 見込	容揺 材種	容揺 仕上	ガラス 材種	ガラス 厚	ガラス 取付材	屋外三方付枠 見込	屋外三方付枠 材種	屋外三方付枠 仕上	網戸 枠材種	網戸 枠仕上	網戸 網材種
—	—	—	—	FL	5	S	75	AL	AC	—	—	—

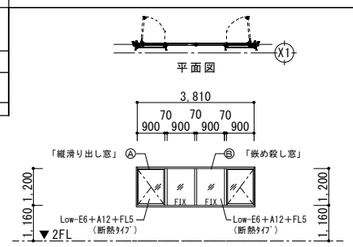
■ 付属金物
付属金物一式
■ 備考
屋外下枠水切材：AL、AC、W=75
ﾊﾞｯｸﾎﾞｰﾄﾞ：t6けい酸カルシウム積層板付(EP塗装)＋t25吹付硬質ウレタンフォームA種1H

---

14 AW　2階：大会議室、多目的室・倉庫1　3　数量 3

開閉方法　アルミ連窓サッシ型　Ⓐ「縦滑り出し窓」+Ⓑ「嵌め殺し窓」

- □ 特定防火設備
- □ 防火設備　■ 指定なし
- □ 常時開放戸　□ 常時閉鎖戸



Ⓐ:「縦滑り出し窓」

枠 形状	枠 見込	枠 材種	枠 仕上	扉・障子 見込	扉・障子 材種	扉・障子 仕上	額縁 見込	額縁 材種	額縁 仕上	施錠金物	操作金物
										—	カムラッチハンドル
										支持金物	開閉金物
—	70	AL	AC	25	AL	AC	145	S	SOP	—	アームストッパー

容揺 形状	容揺 見込	容揺 材種	容揺 仕上	ガラス 材種	ガラス 厚	ガラス 取付材	屋外三方付枠 見込	屋外三方付枠 材種	屋外三方付枠 仕上	横引きロール網戸 枠材種	横引きロール網戸 枠仕上	横引きロール網戸 網材種
—	—	—	—	LD	図示	S	75	AL	AC	AL	AC	PPネット

■ 付属金物
付属金物一式
■ 備考
屋外下枠水切材：AL、AC、W=75
膳板：ｽﾁｰﾙ、SOP塗装、D=400
把手付

Ⓑ:「嵌め殺し窓」

枠 形状	枠 見込	枠 材種	枠 仕上	扉・障子 見込	扉・障子 材種	扉・障子 仕上	額縁 見込	額縁 材種	額縁 仕上	施錠金物	操作金物
										—	—
										支持金物	開閉金物
—	70	AL	AC	36	AL	AC	145	S	SOP	—	—

容揺 形状	容揺 見込	容揺 材種	容揺 仕上	ガラス 材種	ガラス 厚	ガラス 取付材	屋外三方付枠 見込	屋外三方付枠 材種	屋外三方付枠 仕上	網戸 枠材種	網戸 枠仕上	網戸 網材種
—	—	—	—	LD	図示	S	75	AL	AC	—	—	—

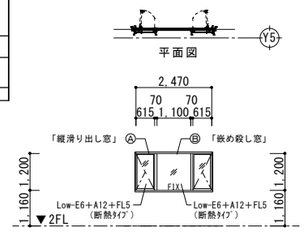
■ 付属金物
付属金物一式
■ 備考
屋外下枠水切材：AL、AC、W=75
膳板：ｽﾁｰﾙ、SOP塗装、D=400

---

15 AW　2階：大会議室　1　数量 1

開閉方法　アルミ連窓サッシ型　Ⓐ「縦滑り出し窓」+Ⓑ「嵌め殺し窓」

- □ 特定防火設備
- □ 防火設備　■ 指定なし
- □ 常時開放戸　□ 常時閉鎖戸



Ⓐ:「縦滑り出し窓」

枠 形状	枠 見込	枠 材種	枠 仕上	扉・障子 見込	扉・障子 材種	扉・障子 仕上	額縁 見込	額縁 材種	額縁 仕上	施錠金物	操作金物
										—	カムラッチハンドル
										支持金物	開閉金物
—	70	AL	AC	25	AL	AC	145	S	SOP	—	アームストッパー

容揺 形状	容揺 見込	容揺 材種	容揺 仕上	ガラス 材種	ガラス 厚	ガラス 取付材	屋外三方付枠 見込	屋外三方付枠 材種	屋外三方付枠 仕上	横引きロール網戸 枠材種	横引きロール網戸 枠仕上	横引きロール網戸 網材種
—	—	—	—	LD	図示	S	75	AL	AC	AL	AC	PPネット

■ 付属金物
付属金物一式
■ 備考
屋外下枠水切材：AL、AC、W=75
膳板：ｽﾁｰﾙ、SOP塗装、D=145
把手付

Ⓑ:「嵌め殺し窓」

枠 形状	枠 見込	枠 材種	枠 仕上	扉・障子 見込	扉・障子 材種	扉・障子 仕上	額縁 見込	額縁 材種	額縁 仕上	施錠金物	操作金物
										—	—
										支持金物	開閉金物
—	70	AL	AC	36	AL	AC	145	S	SOP	—	—

容揺 形状	容揺 見込	容揺 材種	容揺 仕上	ガラス 材種	ガラス 厚	ガラス 取付材	屋外三方付枠 見込	屋外三方付枠 材種	屋外三方付枠 仕上	網戸 枠材種	網戸 枠仕上	網戸 網材種
—	—	—	—	LD	図示	S	75	AL	AC	—	—	—

■ 付属金物
付属金物一式
■ 備考
屋外下枠水切材：AL、AC、W=75
膳板：ｽﾁｰﾙ、SOP塗装、D=145

特記

物件名　第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事

図面名　管理棟 建具表(3)　縮尺 A1:1/100 A3:1/200　図番 D-126

略　　号

◆ 建具記号

番号 / 建具符号（例：1 SD）

◆ 性能記号
- D　特定防火設備
- F　防火設備
- N　不燃戸

◆建具種別

SD　鋼製扉	AD　アルミ製扉
SW　鋼製窓	AW　アルミ製窓
SG　鋼製ガラリ	AG　アルミ製ガラリ
SS　鋼製重量シャッター	WD　木製扉
LSD 軽量鋼製扉	WW　木製窓
LSS 鋼製軽量シャッター	WG　木製ガラリ
SF　鋼製枠	SP　可動間仕切(パーテーション)
SSD ステンレス製扉	SLW スライディングウォール
SSW ステンレス製窓	CW　カーテンウォール
SSG ステンレス製ガラリ	
SSF ステンレス製枠	

◆ガラス種別

S　普通板ガラス	◆ ガラス取付材
F　型板ガラス	S　シーリング
FL フロートガラス	G　グレイジングガスケット
W　網入ガラス	Z　ジッパーガスケット
T　強化ガラス	
D　複層ガラス	
LD Low-E複層ガラス	
L　合わせガラス	
H　倍強度ガラス	
LH 倍強度合わせガラス	
SL 防音合わせガラス	
FR 耐熱強化ガラス	

◆建具金物記号

◆施錠金物
- ①　空錠
- ②　本締錠
- ③　ケースロック
- ④　表示錠
- ⑤　点検口錠
- ⑥　電気錠

◆操作金物
- N　握玉
- LH レバーハンドル
- CH ケースハンドル
- P　引手
- GH グレモンハンドル
- HP 押棒、押板

◆支持金物
- H　丁番
- FH フロアヒンジ
- AH オートヒンジ
- PH ピボットヒンジ
- LH ラバトリーヒンジ
- CR 隠し丁番
- HR ハンガーレール

◆開閉金物
- DC　ドアクローザ
- DC-1 ドアクローザ(コンシールド)
- DC-2 ドアクローザ
- バックチェック機能
- ラッチング機能
- ディレード アクション機能
- DS 戸当り
- FR フランス落し
- WS ワイヤーストッパー

◆ 錠区分

錠記号
- ○　空錠
- Ⓒ　シリンダ錠
- △　サムターン
- ×　非常錠

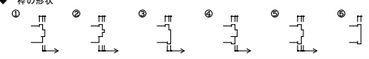
◆ その他金物
- FB(フラットバー)

◆ 仕上記号
- AC　二次電解着色
- HL　ヘアーライン
- VS　塩化ビニル鋼板
- PW　ポリエステル化粧合板
- MW　メラミン化粧合板
- DS　化粧フィルム張り
- MR　鏡面仕上
- SOP　合成樹脂調合ペイント
- CL　クリヤラッカー
- OS　オイルステイン
- PH　バイブレーション
- BP　焼付塗装(フッ素樹脂系)
- 2-FUE フッ素樹脂焼付塗装

◆材種記号
- S　スチール
- AL アルミニウム
- SL ステンレス
- W　木

◆遮音性能記号
- T-1
- T-2
- T-3
- T-4

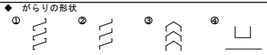
◆ 枠の形状



◆ 吸込の形状



◆ がらりの形状



○印は該当を、空欄は非該当を表す
本表に記入なき扉の使用区分は、キープランによる
本表に記入なき仕様は、仕様書による
本表に記入された商品名は、同等品を含む
姿図のW、H寸法は枠の内法寸法を示す
1 フロアヒンジ、オートヒンジ、ドアクローザは特記なき場合は、ストッパーなしとする
2 ドア開放時に柱または壁にドアが当たる恐れのある場合、戸当り付きとする
3 便所ブースドアは建具表に記載のない場合、内部仕上表による
4 防火設備については認定番号取得製品を使用する
5 既製品の建具には付属金物一式を含むものとする
6 両開きの特定防火設備、防火設備は順位調整器付とする。

外部アルミニウム製建具性能
- 耐風圧性等級：S-3
- 水密性等級：W-5
- 気密性等級：A-4
- 断熱性等級：H-2
- 遮音性等級：T-2

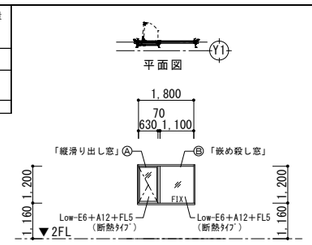
外部アルミニウム製建具カラーは「ブラック色」とする。
網戸の網材質_PPﾈｯﾄ（ﾎﾟﾘﾌﾟﾛﾋﾟﾚﾝ樹脂）ﾌﾞﾗｯｸ色、18×18網ﾒｯｼｭ

---

16 AW　2階：多目的室　1　数量 1

開閉方法　アルミ連窓サッシ型 Ⓐ「縦滑り出し窓」+Ⓑ「嵌め殺し窓」

- □ 特定防火設備
- □ 防火設備　■ 指定なし
- □ 常時開放戸　□ 常時閉鎖戸



Ⓐ：「縦滑り出し窓」

枠				扉・障子			額縁			施錠金物	操作金物
形状	見込	材種	仕上	見込	材種	仕上	見込	材種	仕上	—	ｶﾑﾗｯﾁﾊﾝﾄﾞﾙ
										支持金物	開閉金物
—	70	AL	AC	25	AL	AC	145	S	SOP	—	ｱｰﾑｽﾄｯﾊﾟｰ

框				ガラス			屋外三方付枠			横引きロール網戸		
形状	見込	材種	仕上	材種	厚	取付材	見込	材種	仕上	枠材種	枠仕上	網材種
—	—	—	—	LD	図示	S	75	AL	AC	AL	AC	PPﾈｯﾄ

■ 付属金物
付属金物一式

■ 備考
屋外下枠水切材：AL、AC、W=75
腰板：ｽﾁｰﾙ、SOP塗装、D=145
把手付

Ⓑ：「嵌め殺し窓」

枠				扉・障子			額縁			施錠金物	操作金物
形状	見込	材種	仕上	見込	材種	仕上	見込	材種	仕上	—	—
										支持金物	開閉金物
—	70	AL	AC	36	AL	AC	145	S	SOP	—	—

框				ガラス			屋外三方付枠			網戸		
形状	見込	材種	仕上	材種	厚	取付材	見込	材種	仕上	枠材種	枠仕上	網材種
—	—	—	—	LD	図示	S	75	AL	AC	AL	AC	PPﾈｯﾄ

■ 付属金物
付属金物一式

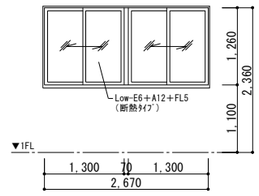
■ 備考
屋外下枠水切材：AL、AC、W=75
腰板：ｽﾁｰﾙ、SOP塗装、D=145

---

17 AW　1階：多目的室　1　数量 1

開閉方法　2連引違サッシ

- □ 特定防火設備
- □ 防火設備　■ 指定なし
- □ 常時開放戸　□ 常時閉鎖戸



枠				框・障子			屋内三方額縁			施錠金物	操作金物
形状	見込	材種	仕上	見込	材種	仕上	見込	材種	仕上	—	—
										支持金物	開閉金物
—	70	AL	AC	36	AL	AC	145	S	SOP	—	—

框				ガラス			屋外三方付枠			網戸		
形状	見込	材種	仕上	材種	厚	取付材	見込	材種	仕上	枠材種	枠仕上	網材種
—	—	—	—	LD	図示	S	75	AL	AC	AL	AC	PPﾈｯﾄ

■ 付属金物
付属金物一式

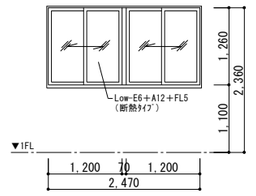
■ 備考
屋外下枠水切材：AL、AC、W=75
屋内下枠：ｽﾁｰﾙ、SOP塗装、D=145

---

18 AW　1階：管理事務室　1　数量 1

開閉方法　2連引違サッシ

- □ 特定防火設備
- □ 防火設備　■ 指定なし
- □ 常時開放戸　□ 常時閉鎖戸



枠				框・障子			屋内三方額縁			施錠金物	操作金物
形状	見込	材種	仕上	見込	材種	仕上	見込	材種	仕上	—	—
										支持金物	開閉金物
—	70	AL	AC	36	AL	AC	145	S	SOP	—	—

框				ガラス			屋外三方付枠			網戸		
形状	見込	材種	仕上	材種	厚	取付材	見込	材種	仕上	枠材種	枠仕上	網材種
—	—	—	—	LD	図示	S	75	AL	AC	AL	AC	PPﾈｯﾄ

■ 付属金物
付属金物一式

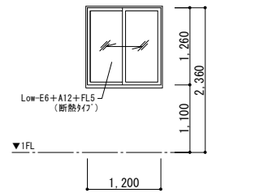
■ 備考
屋外下枠水切材：AL、AC、W=75
屋内下枠：ｽﾁｰﾙ、SOP塗装、D=145

---

19 AW　1階：申請窓口、風除室2　2　数量 2

開閉方法　引違サッシ

- □ 特定防火設備
- □ 防火設備　■ 指定なし
- □ 常時開放戸　□ 常時閉鎖戸



枠				框・障子			屋内三方額縁			施錠金物	操作金物
形状	見込	材種	仕上	見込	材種	仕上	見込	材種	仕上	—	—
										支持金物	開閉金物
—	70	AL	AC	36	AL	AC	145	S	SOP	—	—

框				ガラス			屋外三方付枠			網戸		
形状	見込	材種	仕上	材種	厚	取付材	見込	材種	仕上	枠材種	枠仕上	網材種
—	—	—	—	LD	図示	S	75	AL	AC	AL	AC	PPﾈｯﾄ

■ 付属金物
付属金物一式

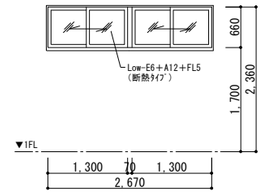
■ 備考
屋外下枠水切材：AL、AC、W=75
屋内下枠：ｽﾁｰﾙ、SOP塗装、D=145

---

20 AW　1階：男子更衣室　1　数量 1

開閉方法　2連高窓引違サッシ

- □ 特定防火設備
- □ 防火設備　■ 指定なし
- □ 常時開放戸　□ 常時閉鎖戸



枠				框・障子			屋内三方額縁			施錠金物	操作金物
形状	見込	材種	仕上	見込	材種	仕上	見込	材種	仕上	—	—
										支持金物	開閉金物
—	70	AL	AC	36	AL	AC	145	S	SOP	—	—

框				ガラス			屋外三方付枠			網戸		
形状	見込	材種	仕上	材種	厚	取付材	見込	材種	仕上	枠材種	枠仕上	網材種
—	—	—	—	LD	図示	S	75	AL	AC	AL	AC	PPﾈｯﾄ

■ 付属金物
付属金物一式

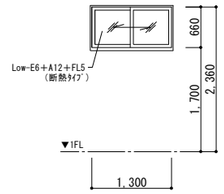
■ 備考
屋外下枠水切材：AL、AC、W=75
屋内下枠：ｽﾁｰﾙ、SOP塗装、D=145

---

21 AW　1階：女子更衣室、倉庫1、シャワー室　4　数量 4

開閉方法　高窓引違サッシ

- □ 特定防火設備
- □ 防火設備　■ 指定なし
- □ 常時開放戸　□ 常時閉鎖戸



枠				框・障子			屋内三方額縁			施錠金物	操作金物
形状	見込	材種	仕上	見込	材種	仕上	見込	材種	仕上	—	—
										支持金物	開閉金物
—	70	AL	AC	36	AL	AC	145	S	SOP	—	—

框				ガラス			屋外三方付枠			網戸		
形状	見込	材種	仕上	材種	厚	取付材	見込	材種	仕上	枠材種	枠仕上	網材種
—	—	—	—	LD	図示	S	75	AL	AC	AL	AC	PPﾈｯﾄ

■ 付属金物
付属金物一式

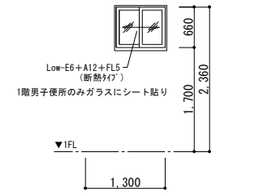
■ 備考
屋外下枠水切材：AL、AC、W=75
屋内下枠：ｽﾁｰﾙ、SOP塗装、D=145

---

22 AW　2階：便所1、2 / 1階：土間収納、男子便所　2+2　数量 4

開閉方法　高窓引違サッシ

- □ 特定防火設備
- □ 防火設備　■ 指定なし
- □ 常時開放戸　□ 常時閉鎖戸



枠				框・障子			屋内三方額縁			施錠金物	操作金物
形状	見込	材種	仕上	見込	材種	仕上	見込	材種	仕上	—	—
										支持金物	開閉金物
—	70	AL	AC	36	AL	AC	145	S	SOP	—	—

框				ガラス			屋外三方付枠			網戸		
形状	見込	材種	仕上	材種	厚	取付材	見込	材種	仕上	枠材種	枠仕上	網材種
—	—	—	—	LD	図示	S	75	AL	AC	AL	AC	PPﾈｯﾄ

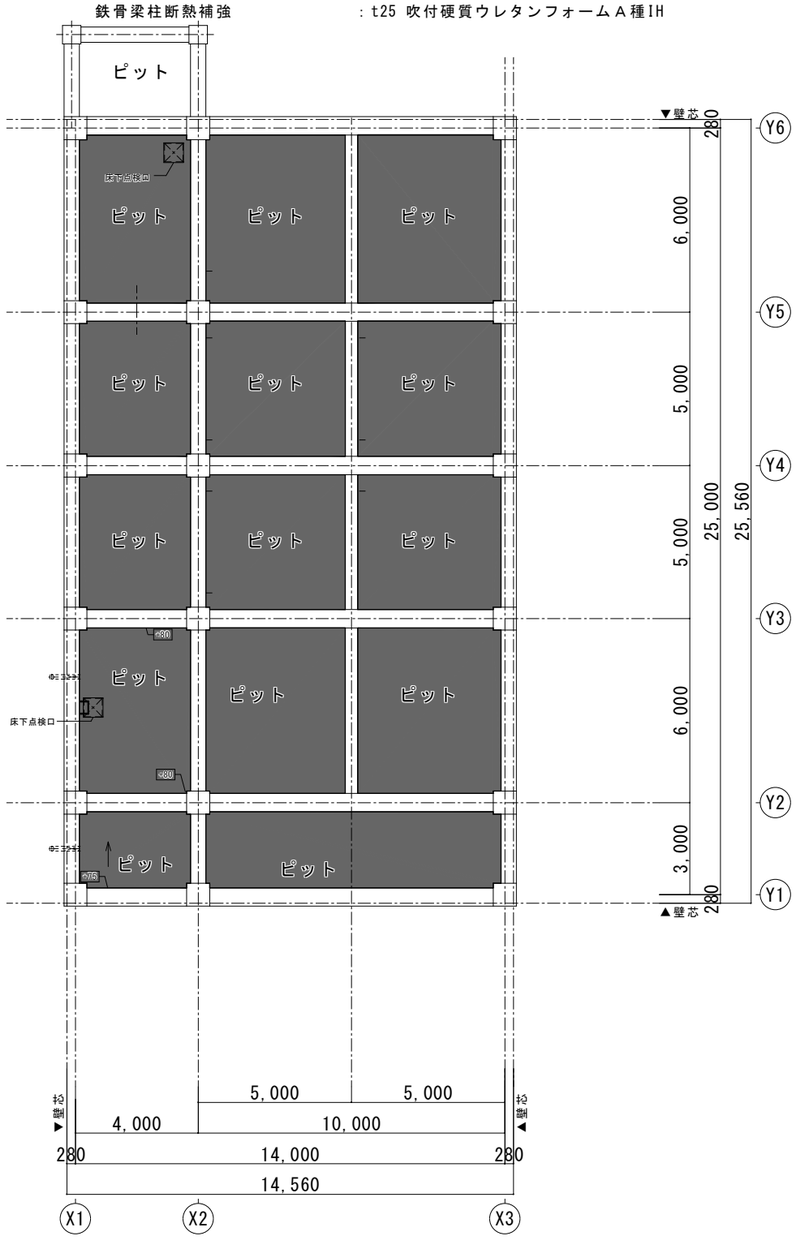
■ 付属金物
付属金物一式

■ 備考
屋外下枠水切材：AL、AC、W=75
屋内下枠：ｽﾁｰﾙ、SOP塗装、D=145

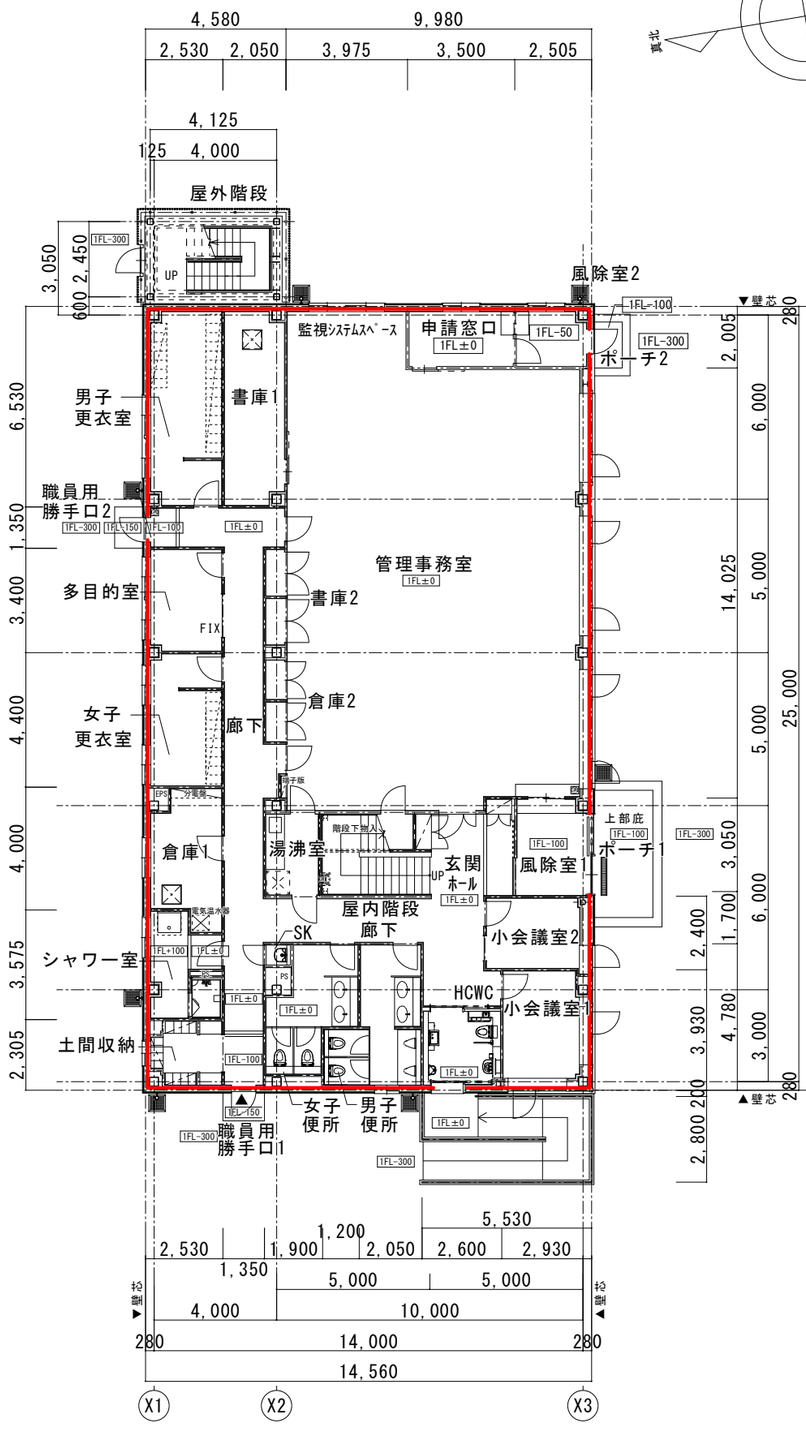
特記

物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事		
図面名	管理棟 建具表(4)	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図番 D-127

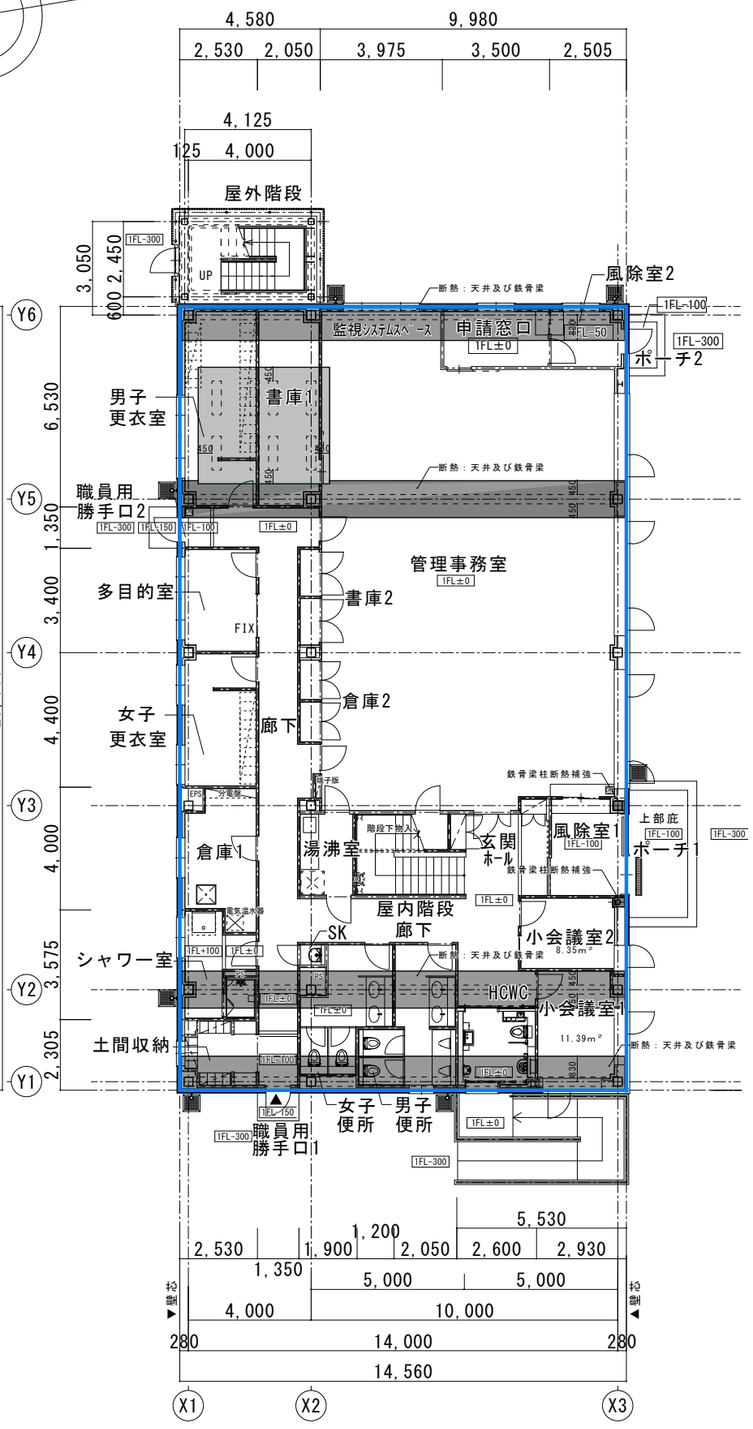
1階 外壁胴縁間　：断熱材_t100 グラスウール(24kg/m3)
1階 スラブ下　：t70 押出法ポリスチレンフォーム保温板３種bA
1階 屋根基礎下断熱スラブ下　：t40 吹付硬質ウレタンフォームＡ種IH
天井断熱補強スラブ下及び鉄骨梁：t25 吹付硬質ウレタンフォームＡ種IH
鉄骨梁柱断熱補強　：t25 吹付硬質ウレタンフォームＡ種IH



ピット見上げ図



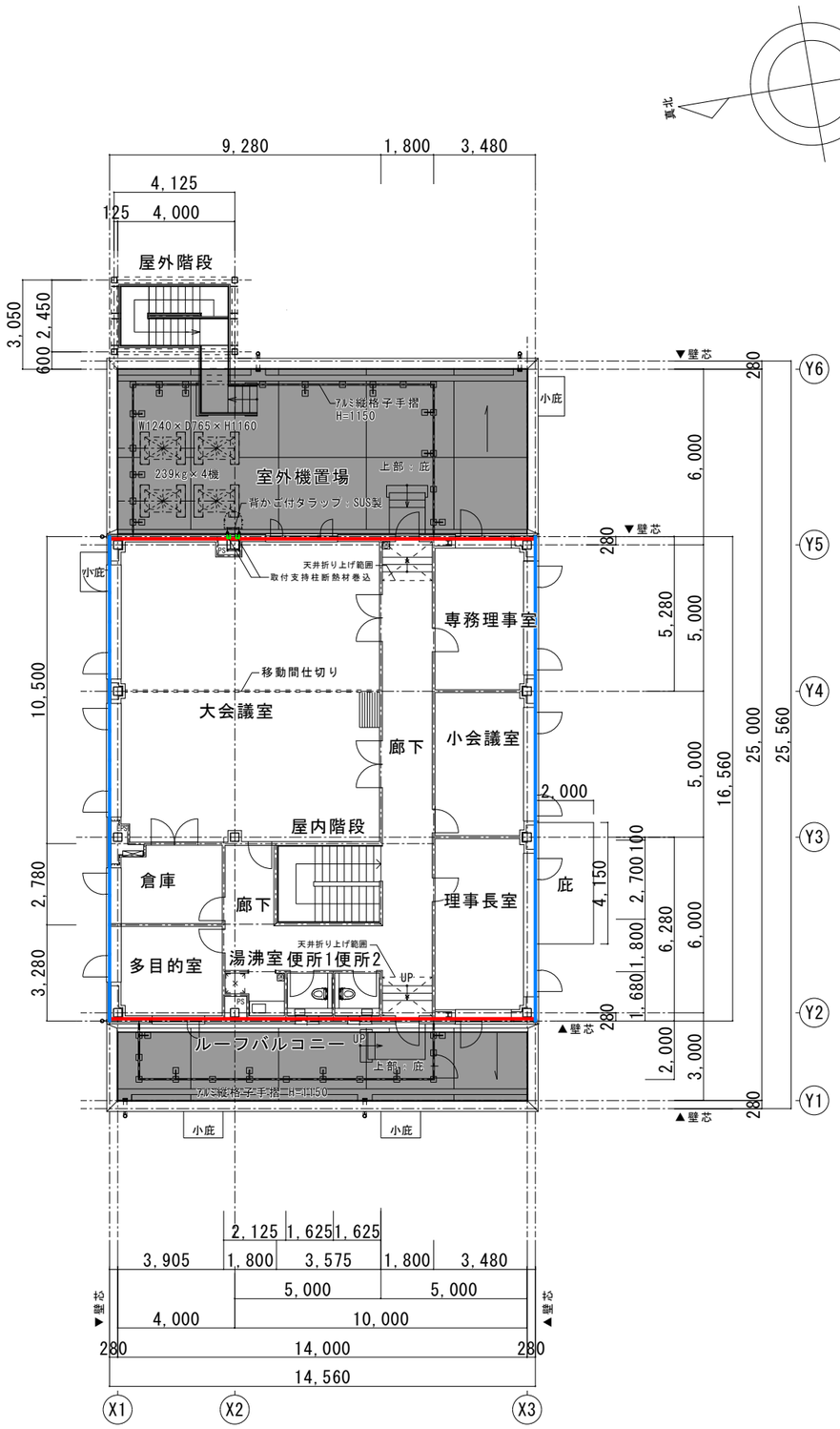
１階見下げ図



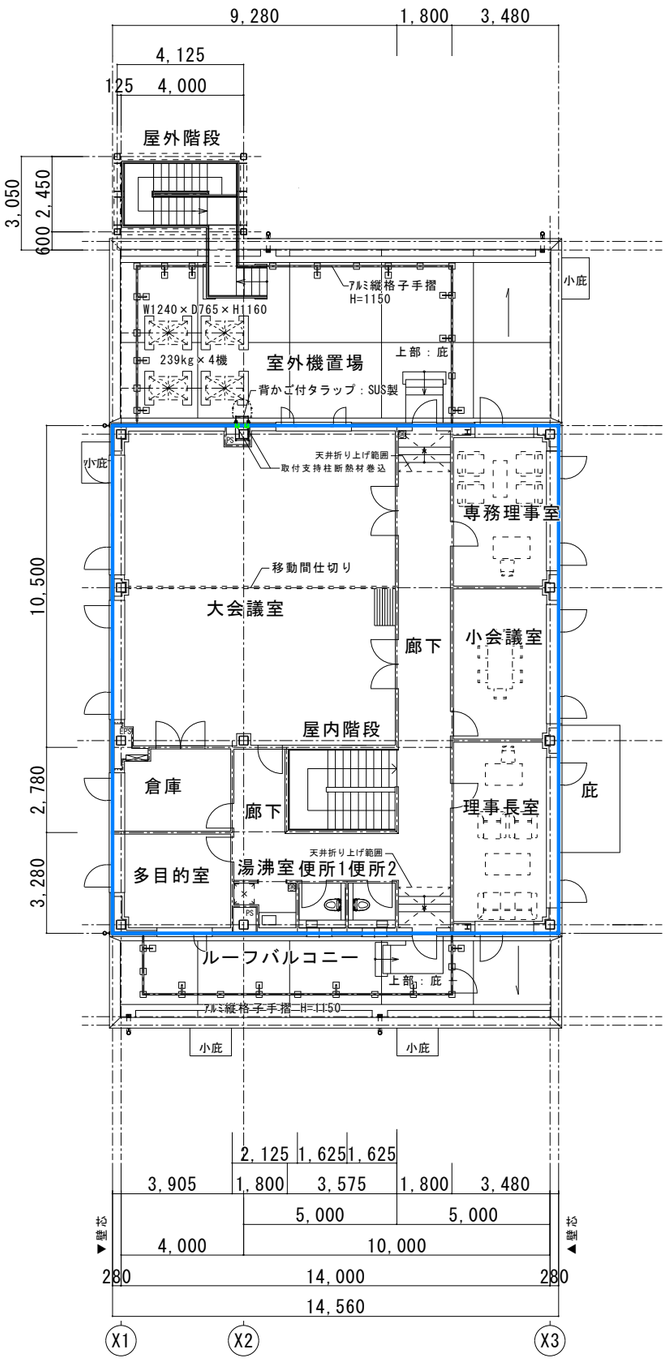
１階見上げ図

特記

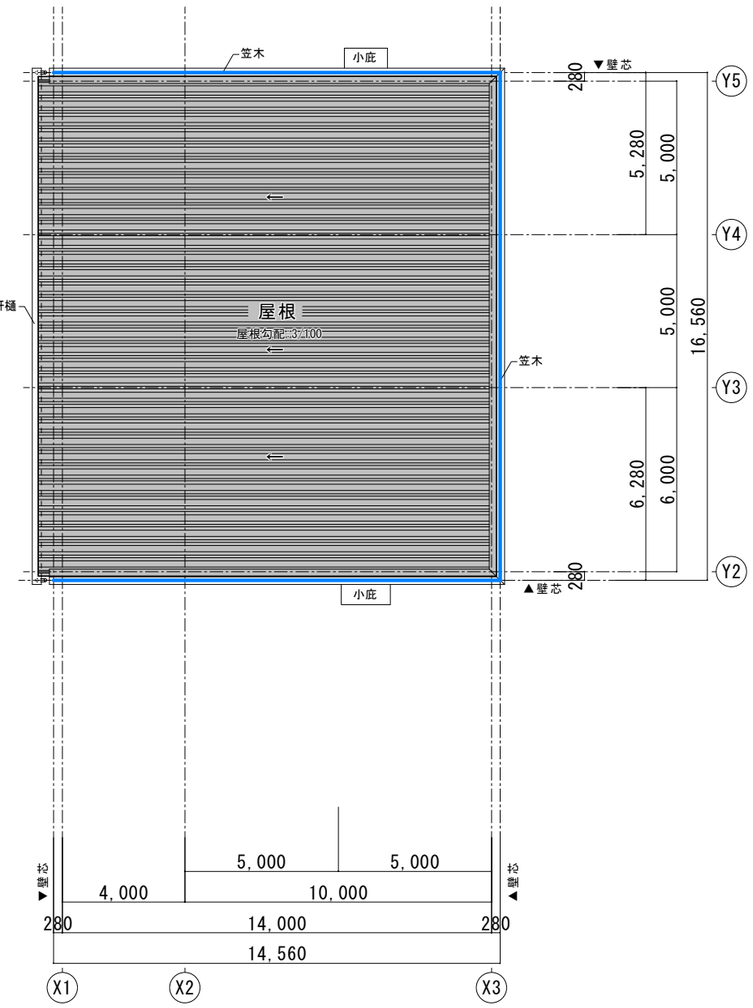
物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事
図面名	管理棟断熱範囲図(1)
縮尺	A1:1/100 A3:1/200
図番	D-128



２階見下げ図



２階見上げ図

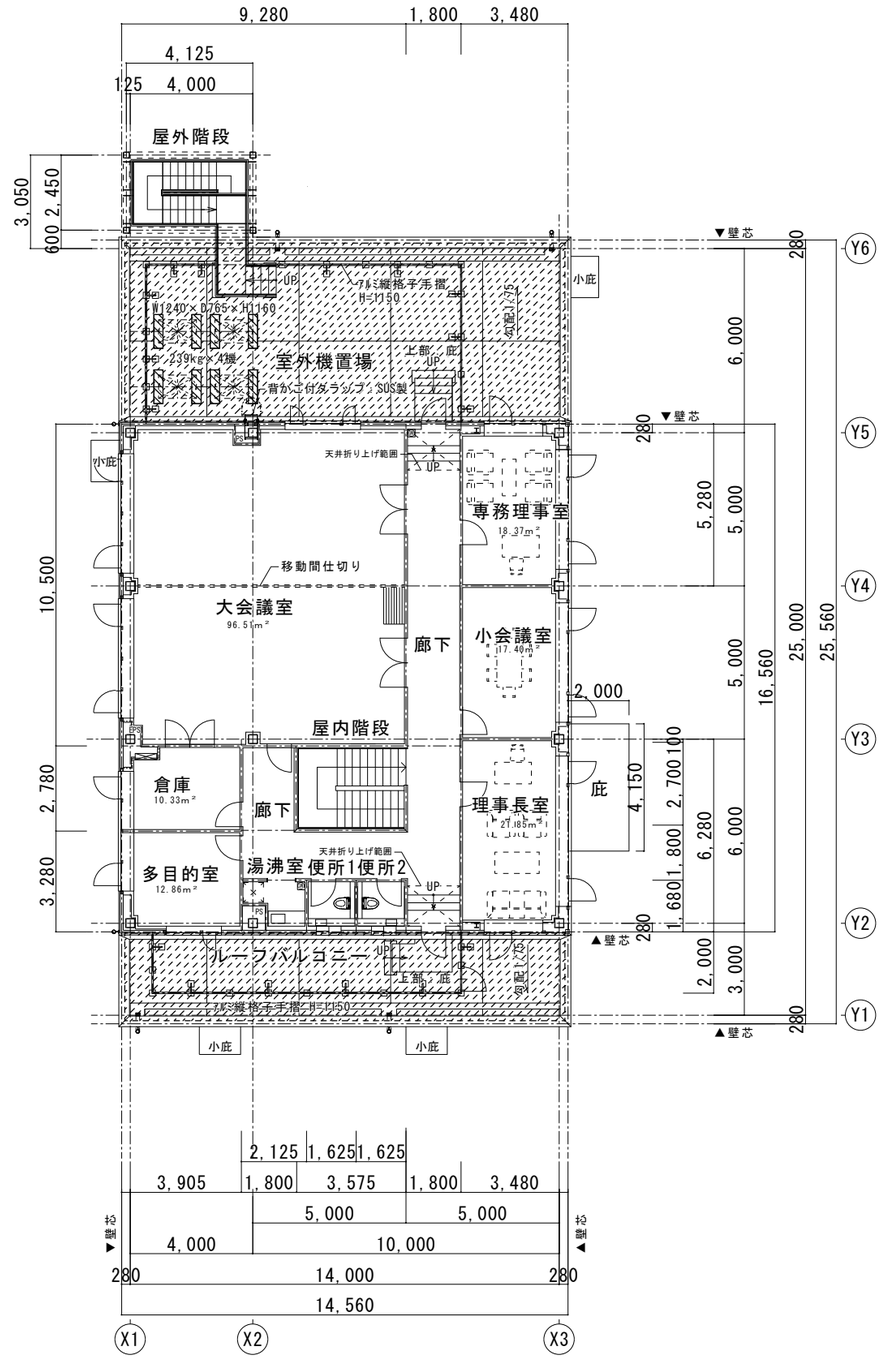


屋根見下げ図

2階 RCパラペット立上り　：t25 吹付硬質ウレタンフォームＡ種IH
2階 タラップ取付支持柱　：断熱材巻込_t25 吹付硬質ウレタンフォームＡ種IH
2階 外壁胴縁間・パラペット立上り　：断熱材_t100 グラスウール(24kg/m3)
1階 屋根(室外機置場・ルーフバルコニー)：t40 押出法ポリスチレンフォーム保温板３種bA (保護防水外断熱仕様)
W折板屋根　：断熱材_t100 グラスウール(24kg/m3)

特記

物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事		
図面名	管理棟断熱範囲図(2)	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図番 D-129



2階平面図

設備基礎:
ウレタン塗膜防水

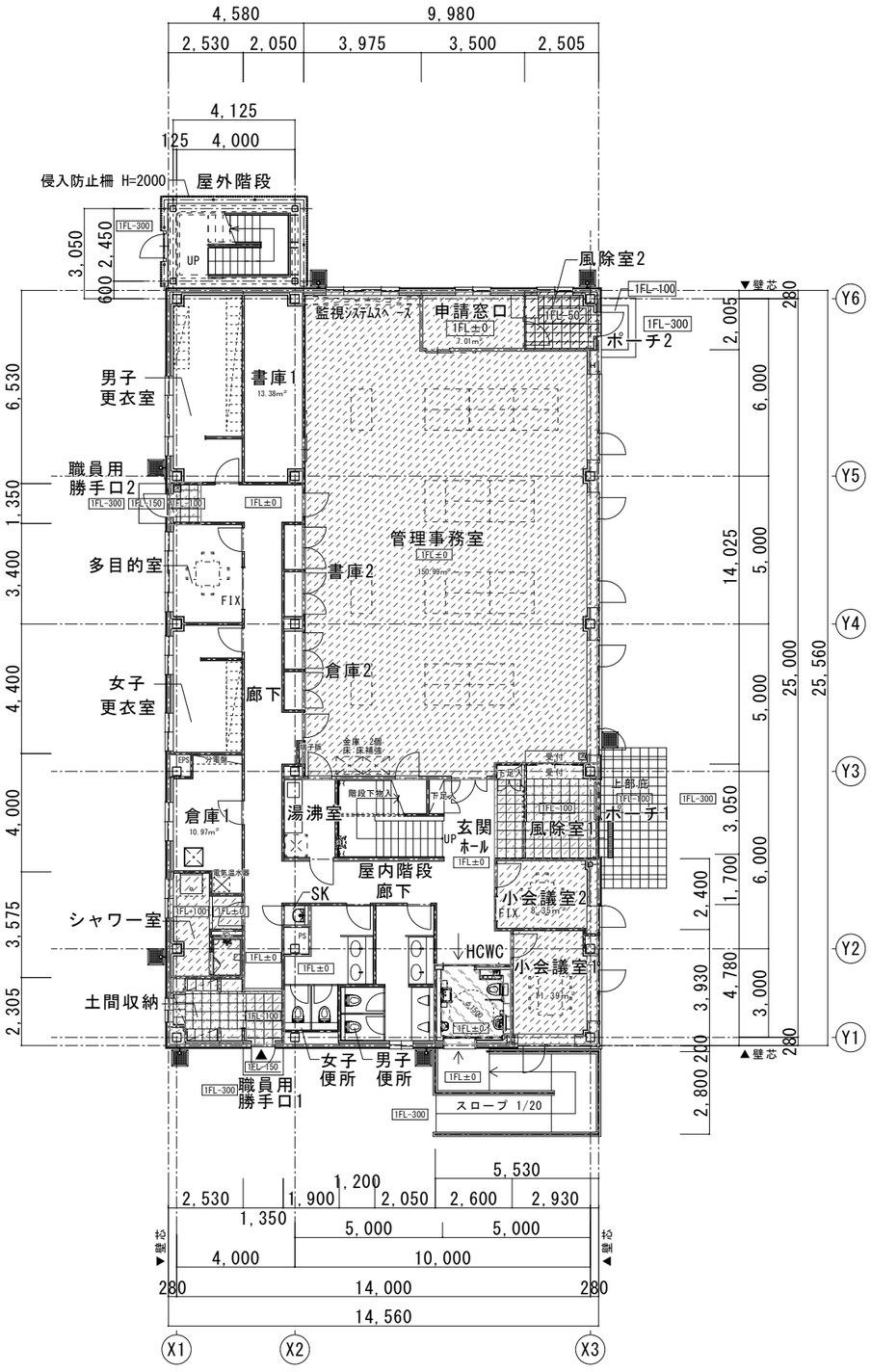
屋根:
コンクリート直均し 勾配1/75
アスファルト保護断熱防水
外断熱:t40押出しポリスチレンフォーム保温板3種bA
t80押えコンクリート金ゴテ押え

特記

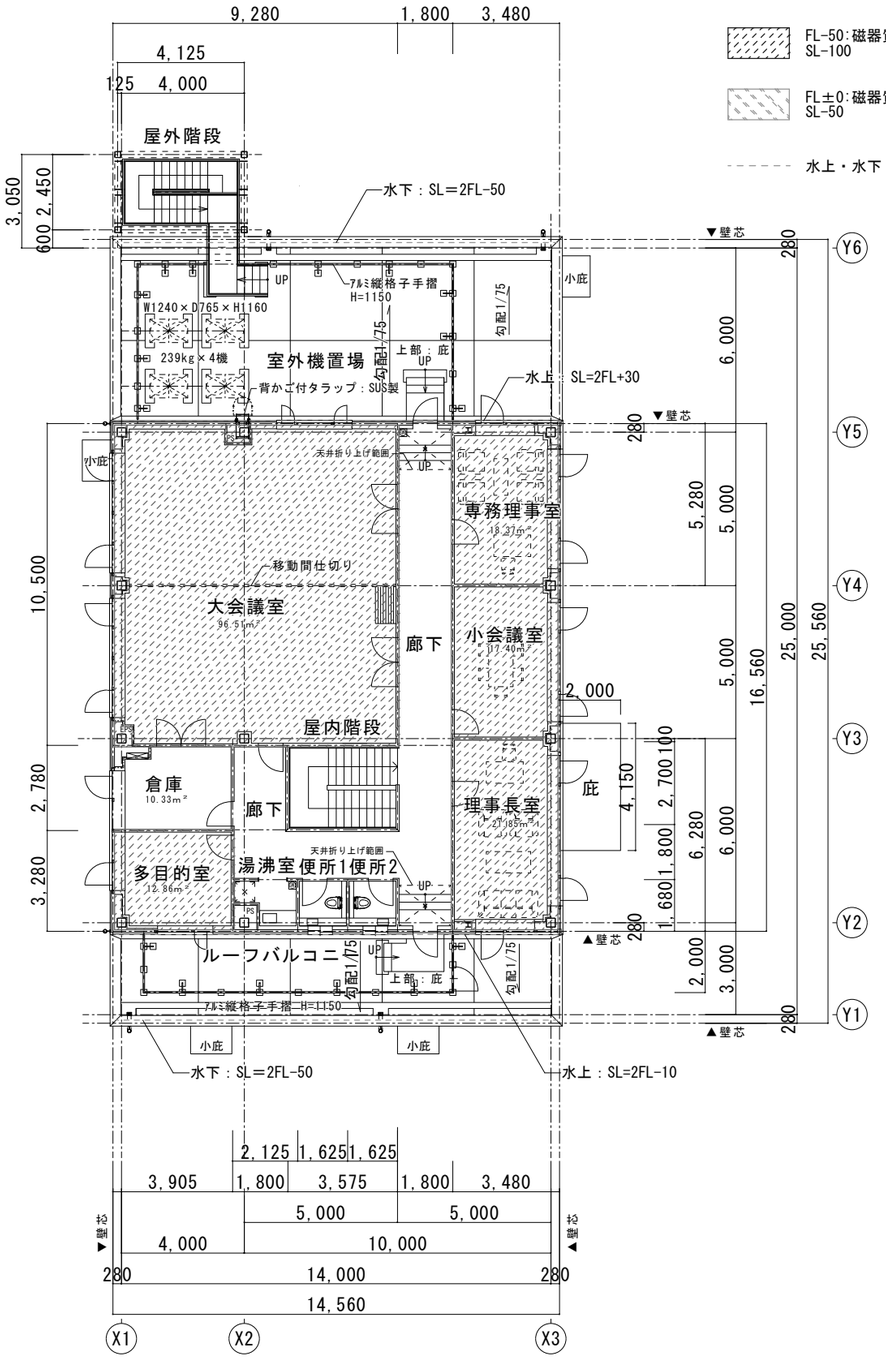
物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事
図面名	管理棟 防水範囲図
縮尺	A1:1/100 A3:1/200
図番	D-130

凡例

- FL-100：磁器質タイル SL-150
- FL±0：OAフロアー・乾式二重床 SL-100
- FL-50:磁器質タイル SL-100
- FL±0:磁器質タイル SL-50
- 水上・水下　FL高さ：図示 SL高さ：図示



1階平面図



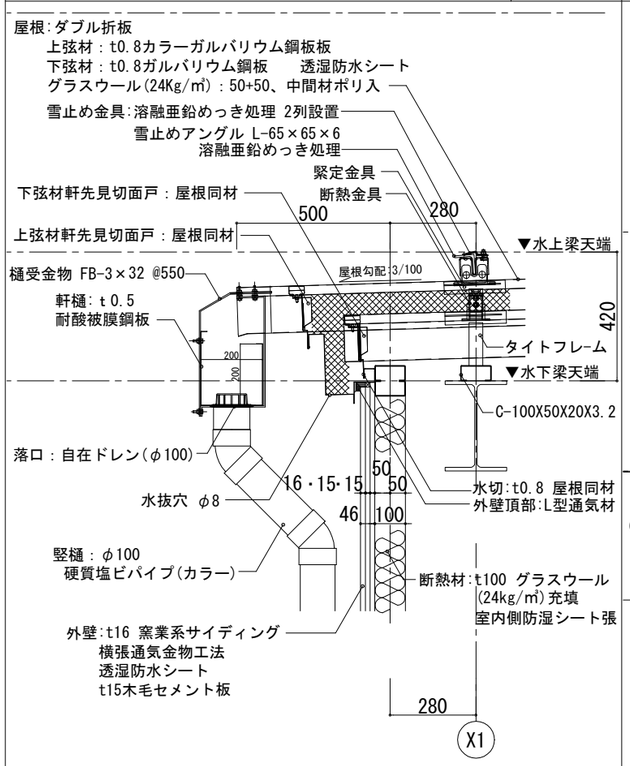
2階平面図

N

特記				物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事
				図面名	管理棟 床下げ範囲図
				縮尺	A1:1/100 A3:1/200
				図番	D-131

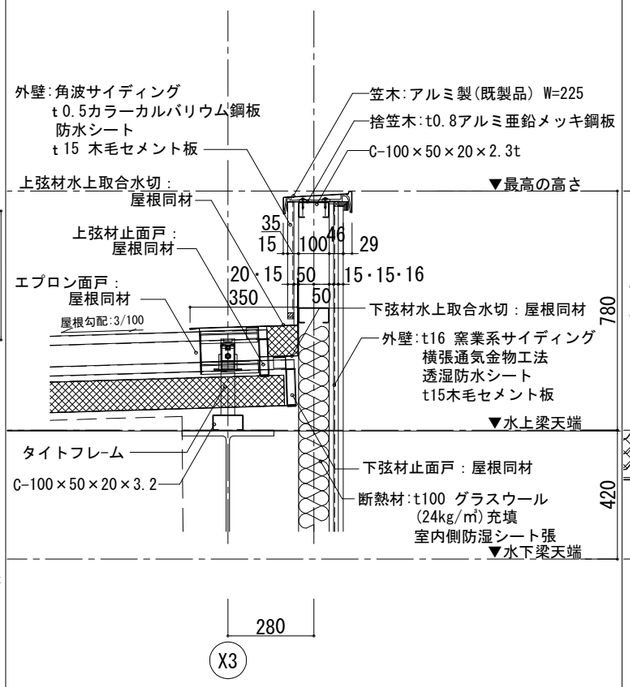
屋根(軒先)詳細図

A1 1:10
A3 1:20



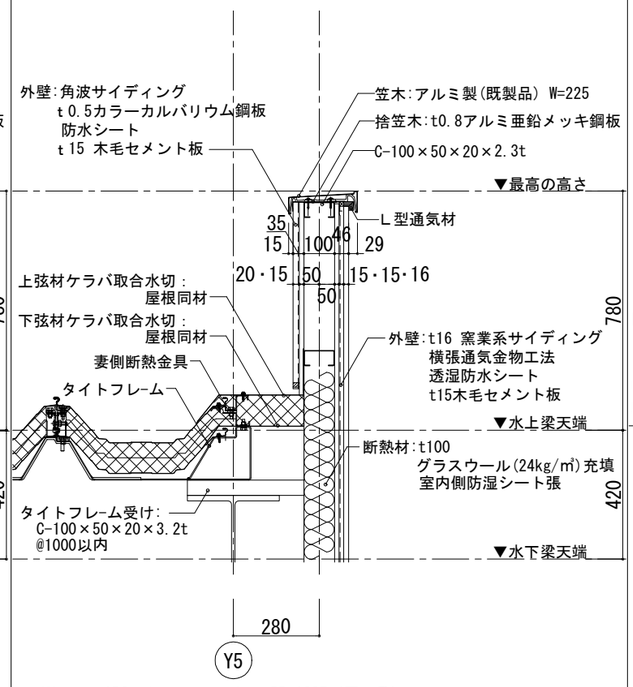
屋根(外壁)詳細図

A1 1:10
A3 1:20



屋根(ケラバ)詳細図

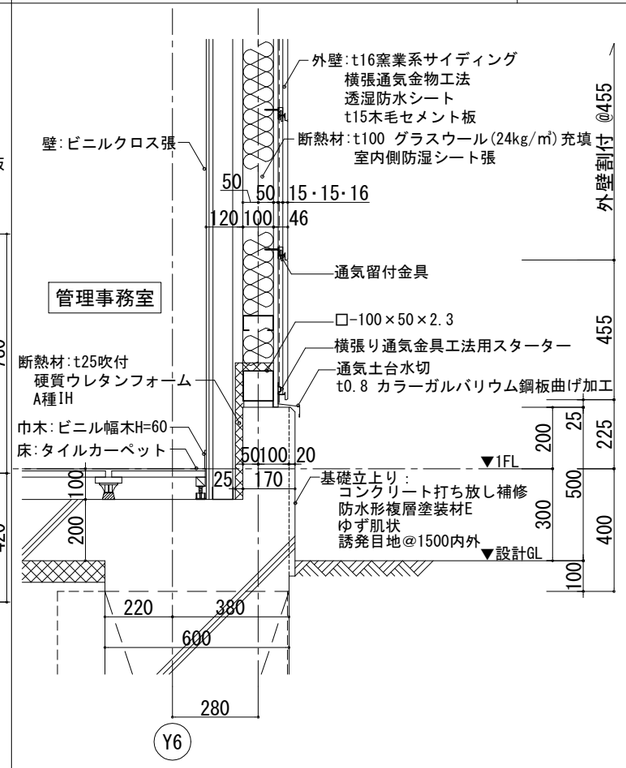
A1 1:10
A3 1:20



※ 笠木:ABC商会 アルウィトラ RD A225（同等品）
定尺 4000mm 下地ホルダー4カ所（@1269）

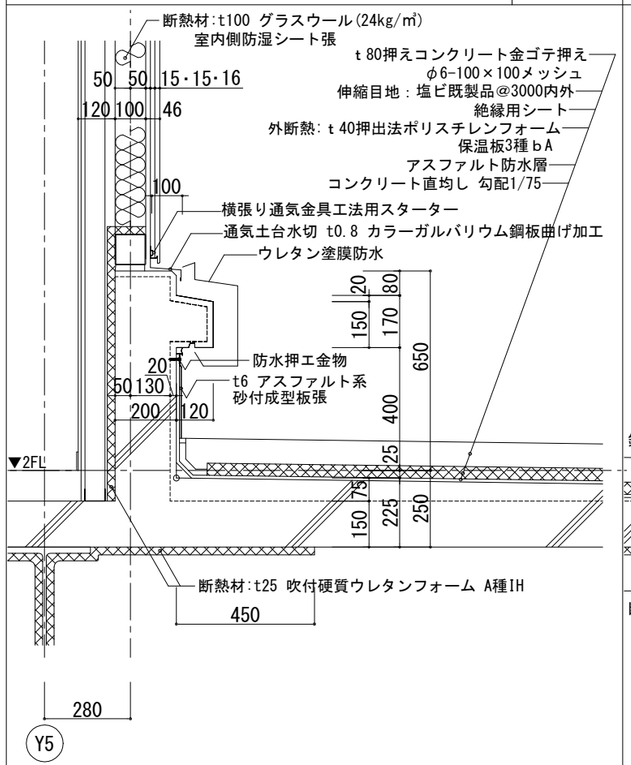
外壁、基礎立上り詳細図

A1 1:10
A3 1:20



室外機置場壁立上り詳細図

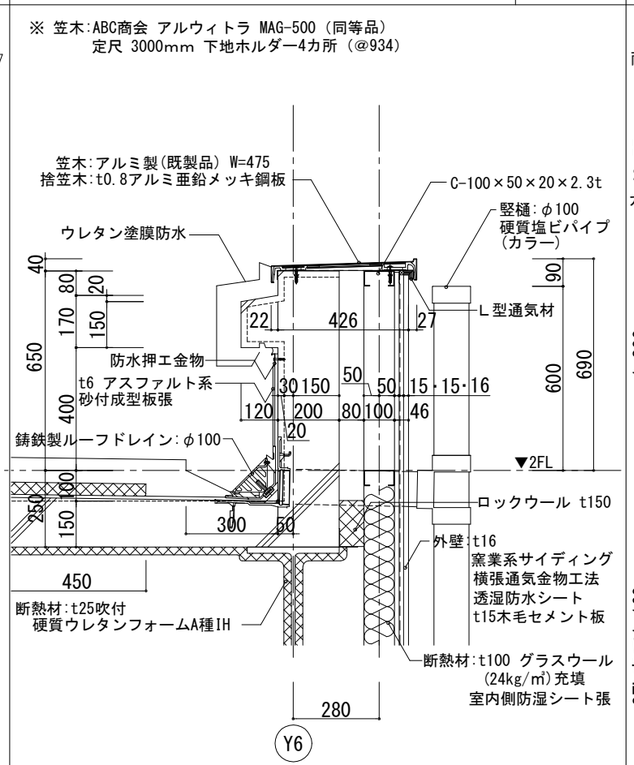
A1 1:10
A3 1:20



室外機置場パラペット詳細図

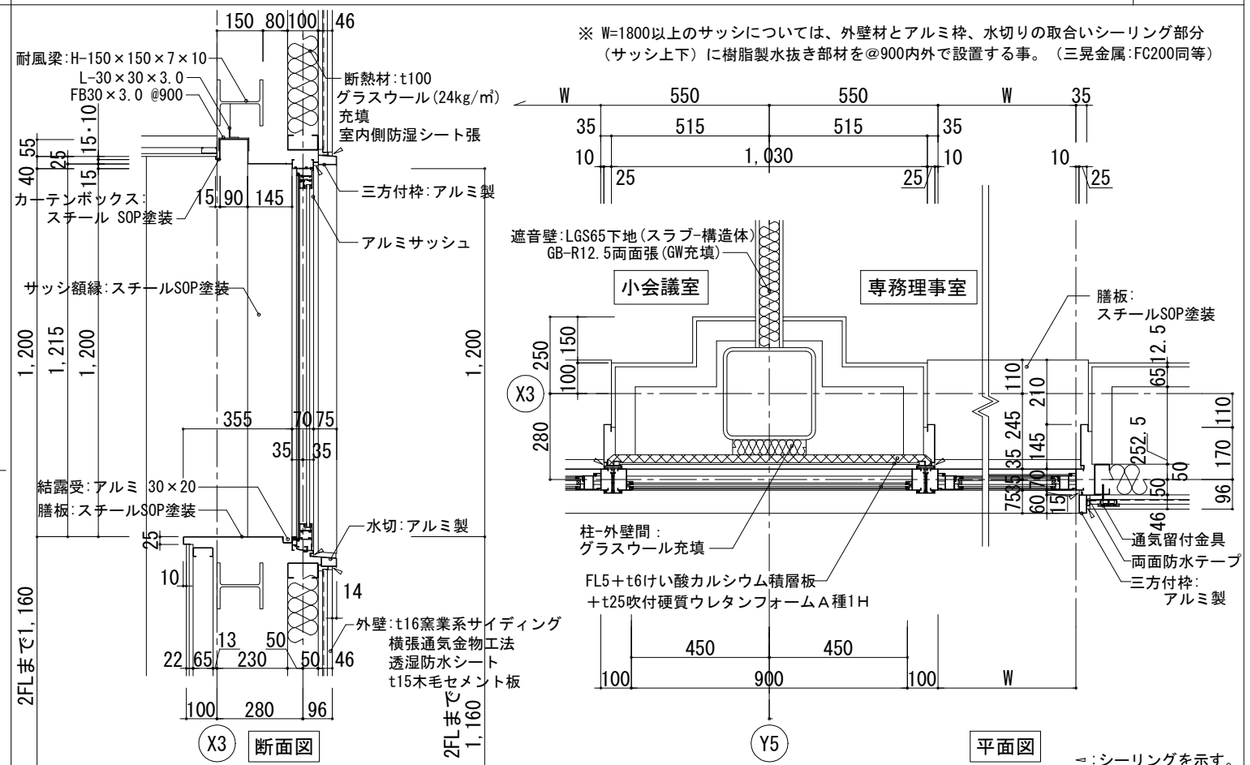
A1 1:10
A3 1:20

※ 笠木:ABC商会 アルウィトラ MAG-500（同等品）
定尺 3000mm 下地ホルダー4カ所（@934）



サッシ詳細図

A1 1:10
A3 1:20

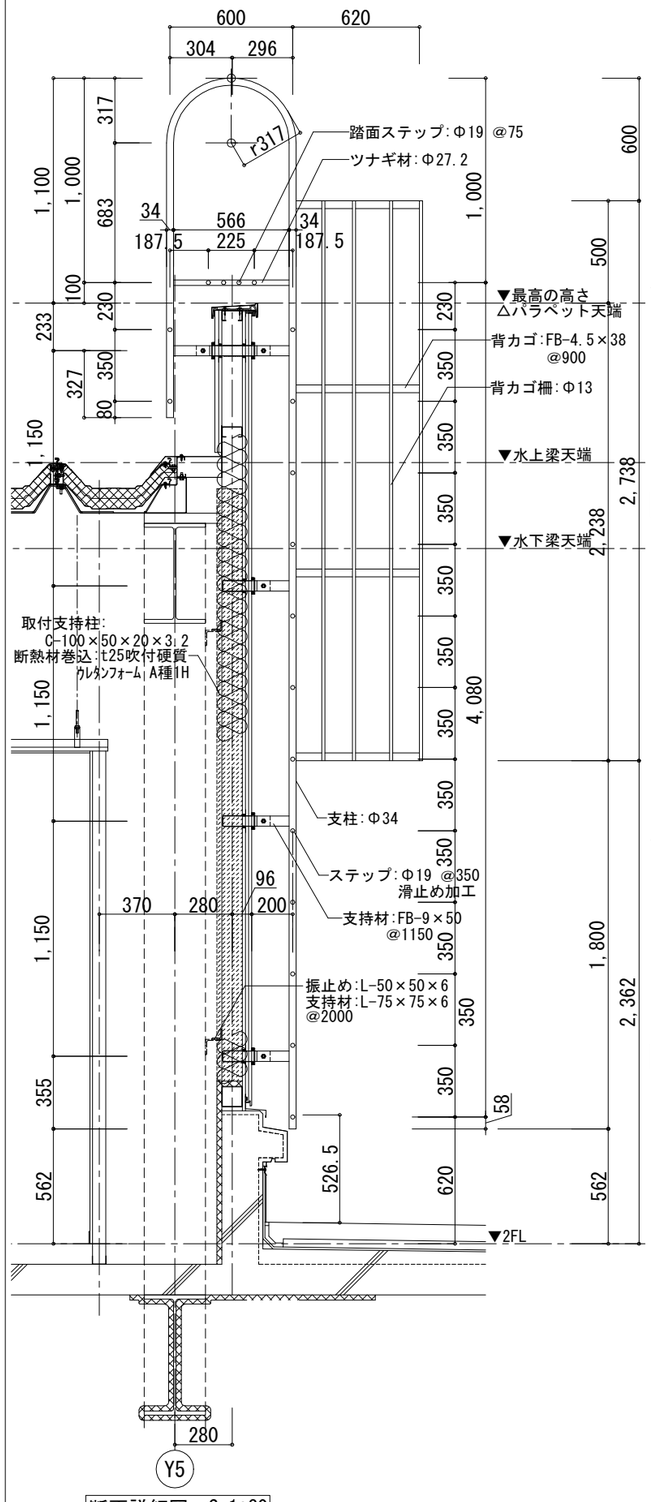


特記

			物件名	第R6-8号 新産業廃棄物最終処分場建設工事
			図面名	管理棟 部分詳細図(1)
			縮尺	A1:- 1/10 A3:- 1/20
			図番	D-132

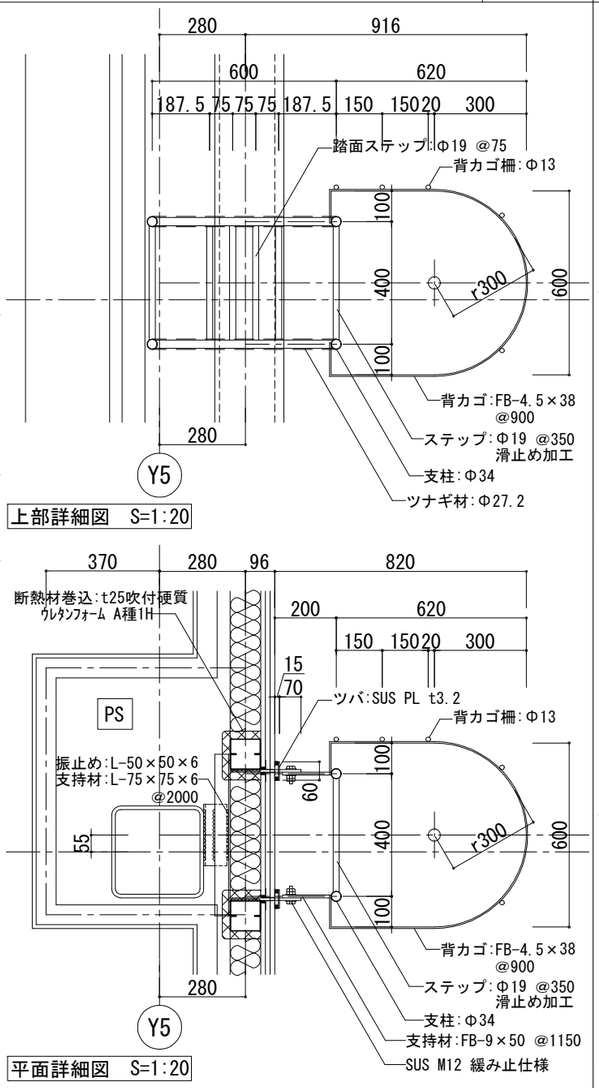
メンテタラップ詳細図

A1 1:15
A3 1:30



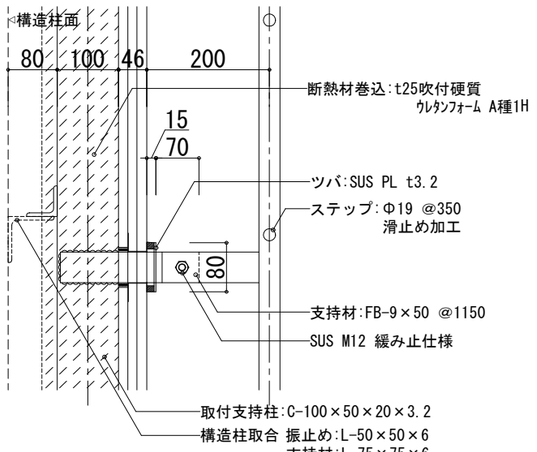
断面詳細図　S=1:30

※ タラップ部材は全てステンレス。ビス等金物もステンレス製とする。



上部詳細図　S=1:20

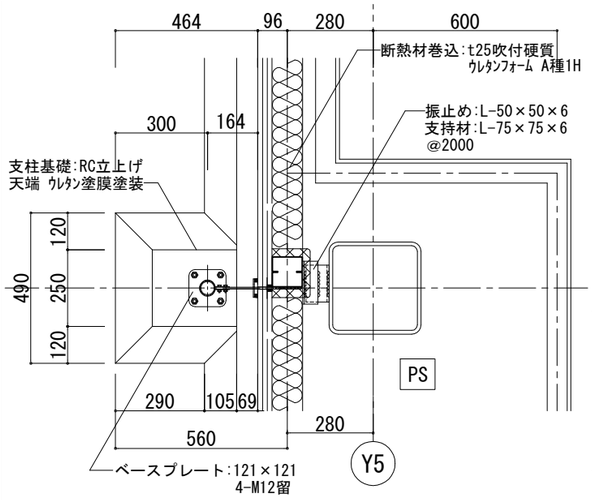
平面詳細図　S=1:20



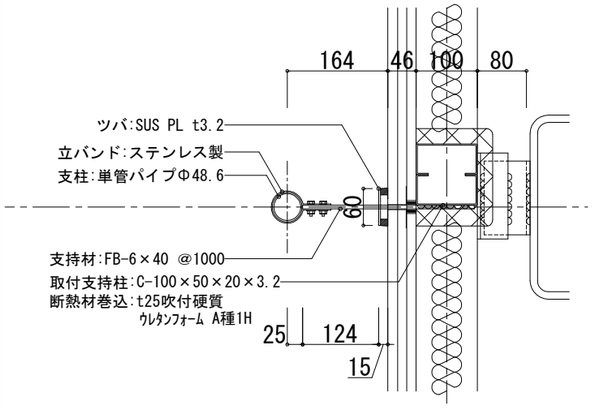
継手詳細図　S=1:10

気象観測装置廻り詳細図

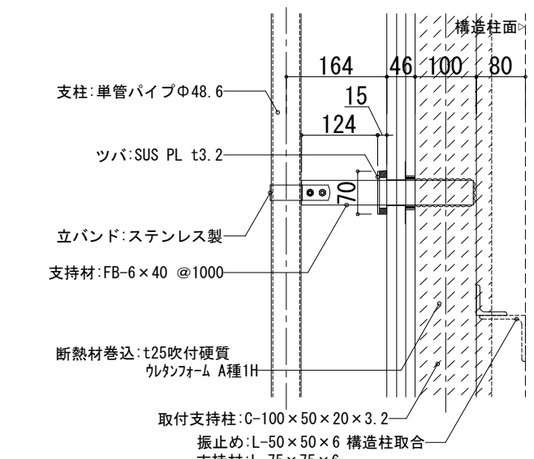
A1 1:15
A3 1:30



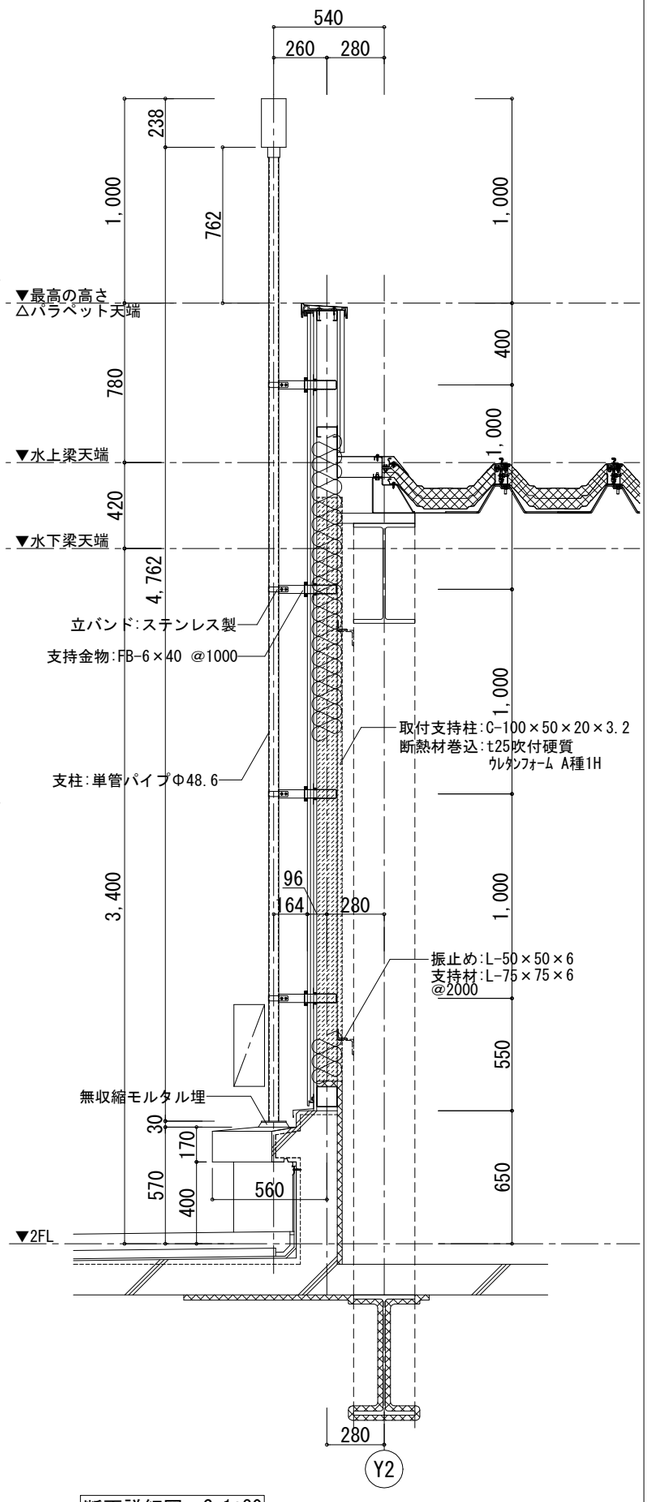
平面詳細図　S=1:20



継手平面図　S=1:10



継手詳細図　S=1:10



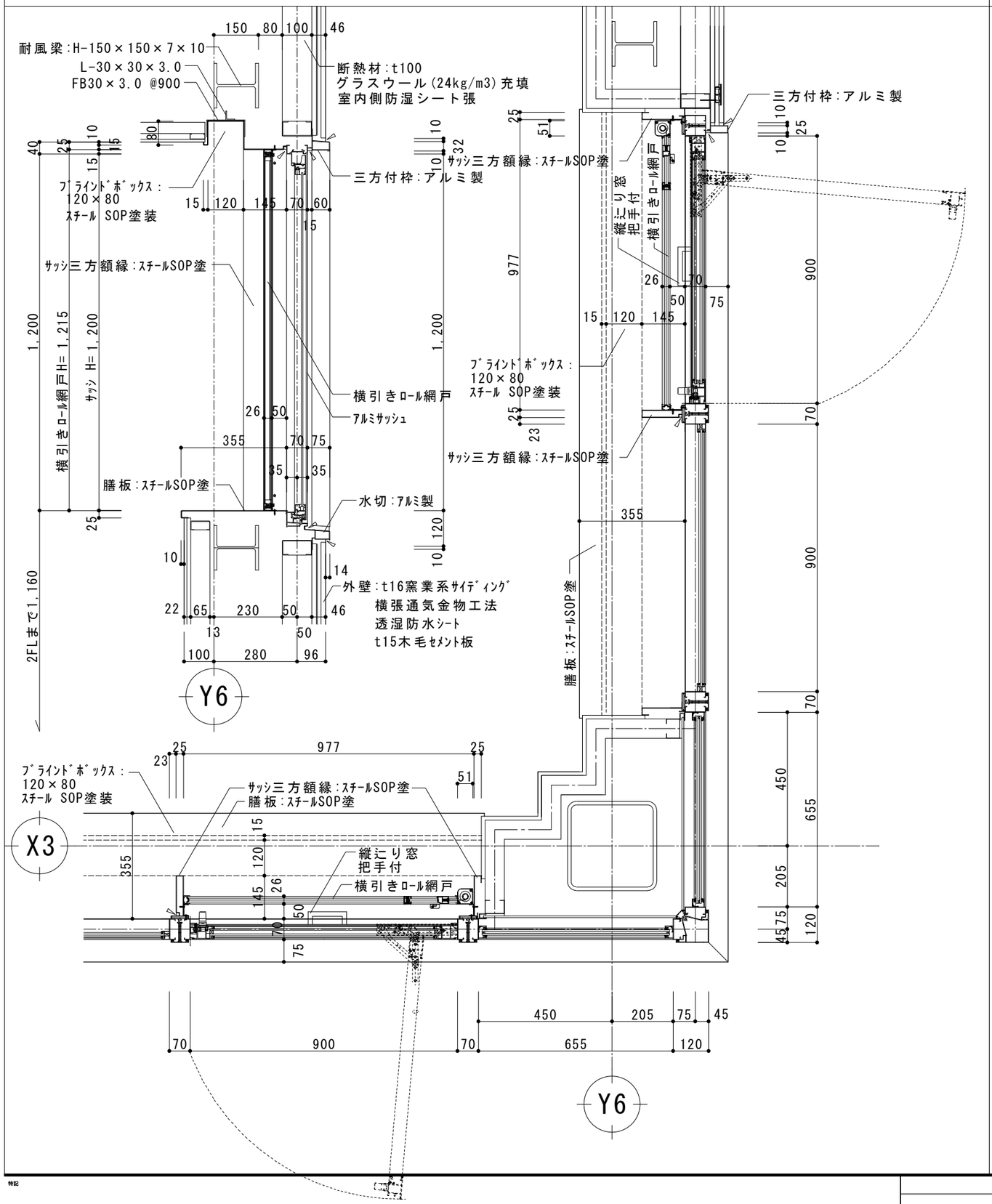
断面詳細図　S=1:30

※ 気象観測装置は別途工事。
※ 支持材、ビス等金物はステンレス製とする。

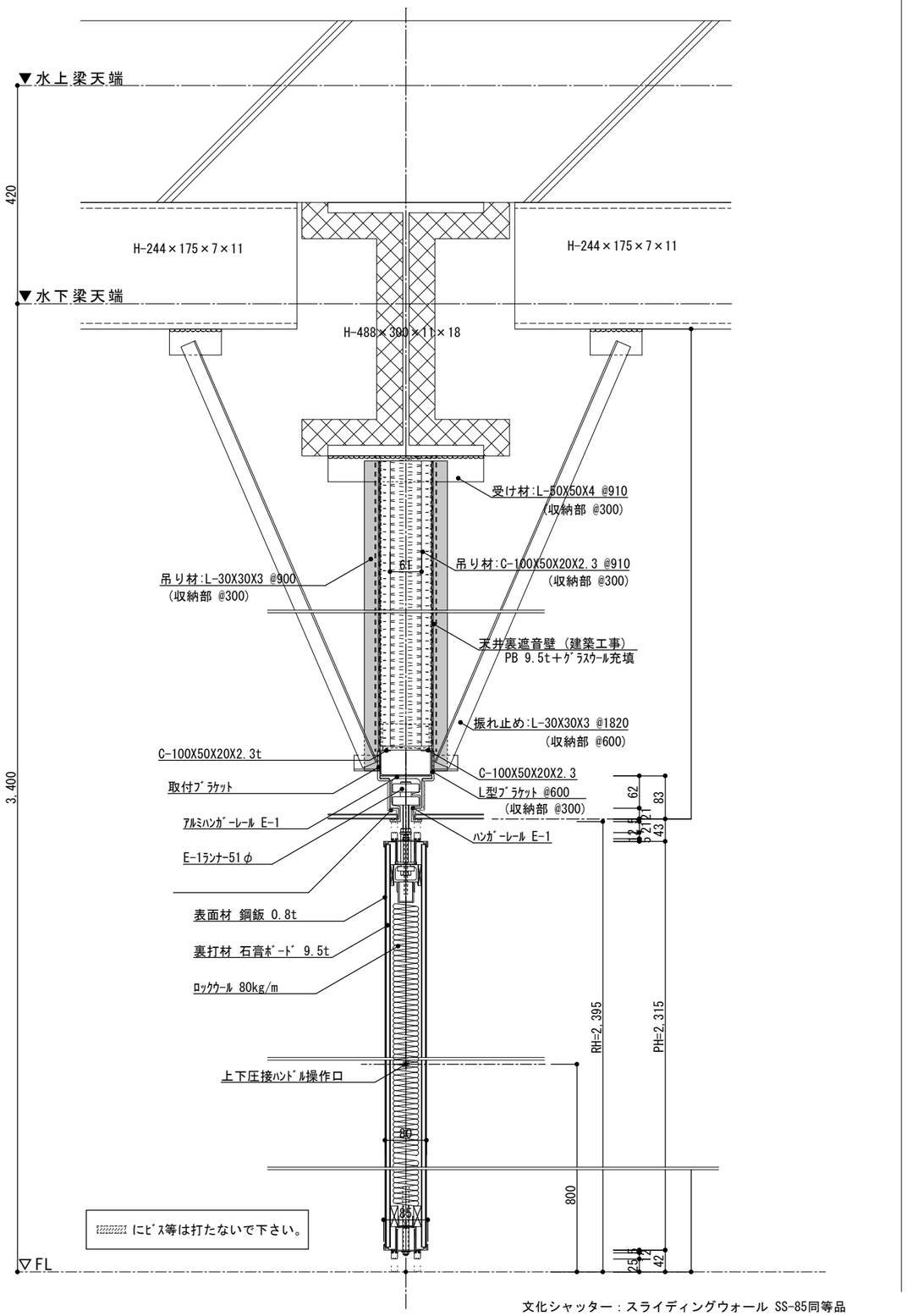
特記

			物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事
			図面名	管理棟 部分詳細図(2)
			縮尺	A1:- 1/10 A3:- 1/30
			図番	D-133

縦辷り窓の、コーナーサッシ、横引きﾛｰﾙ網戸 詳細図　S=1/15



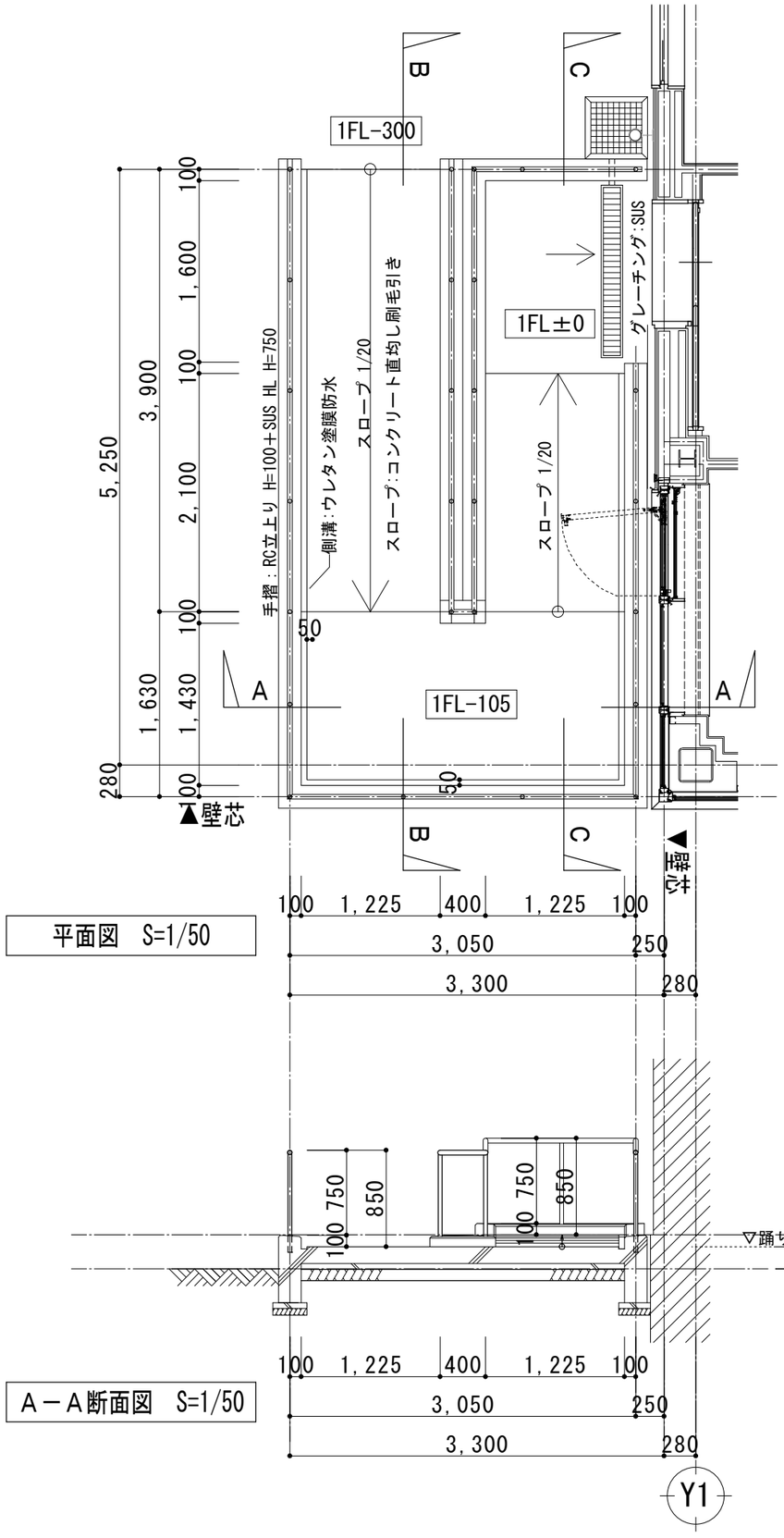
スライディングドア詳細図　S=1/15



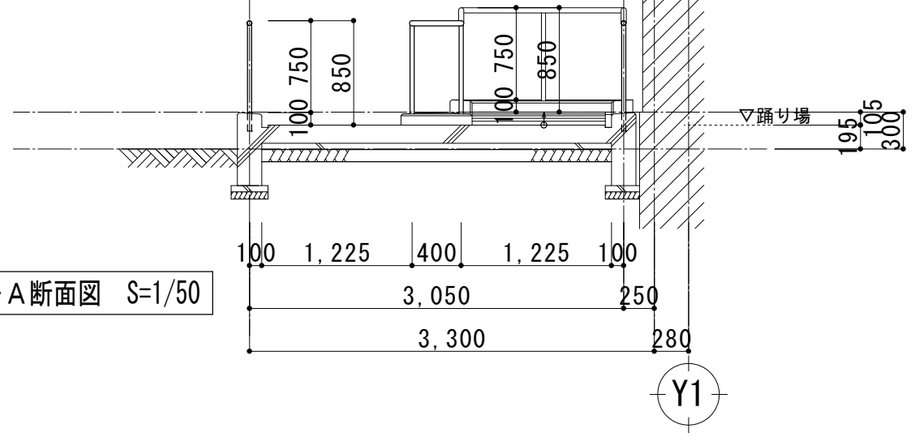
文化シャッター：スライディングウォール SS-85同等品

特記

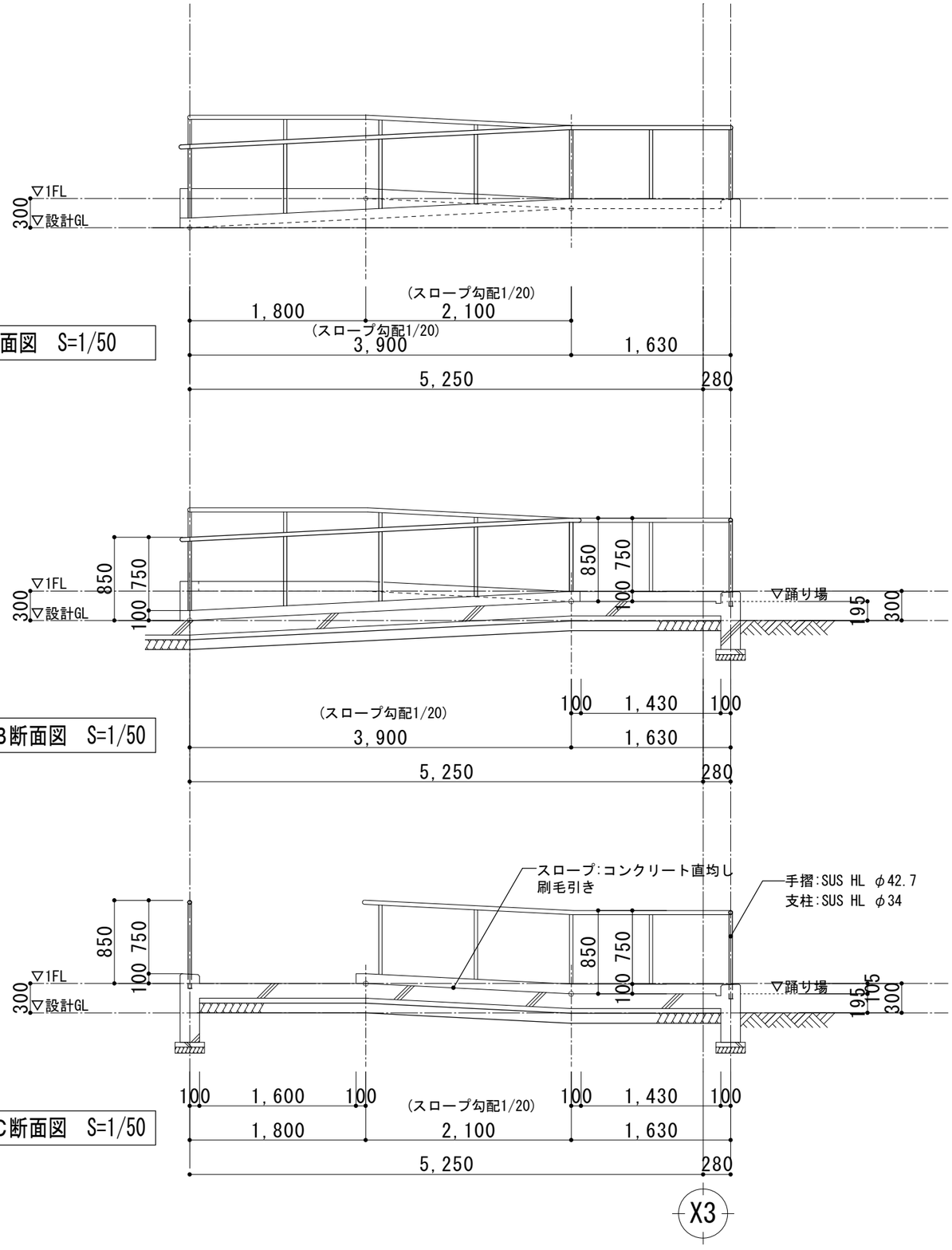
物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事
図面名	管理棟 部分詳細図(3)
縮尺	A1:1/50 A3:1/100,1/15
図番	D-134



平面図　S=1/50



A－A断面図　S=1/50



立面図　S=1/50

B－B断面図　S=1/50

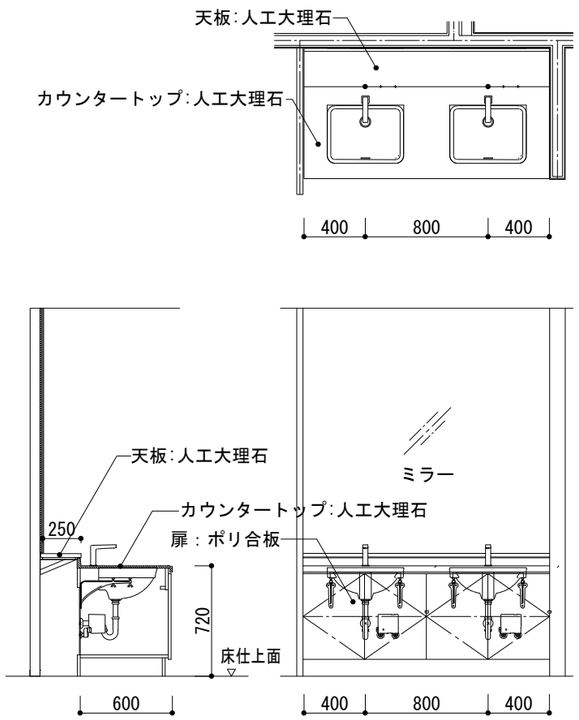
C－C断面図　S=1/50

特記

				物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事
				図面名	管理棟 部分詳細図(4)
				縮尺	A1:1/50 A3:1/100,1/15
				図番	D-135

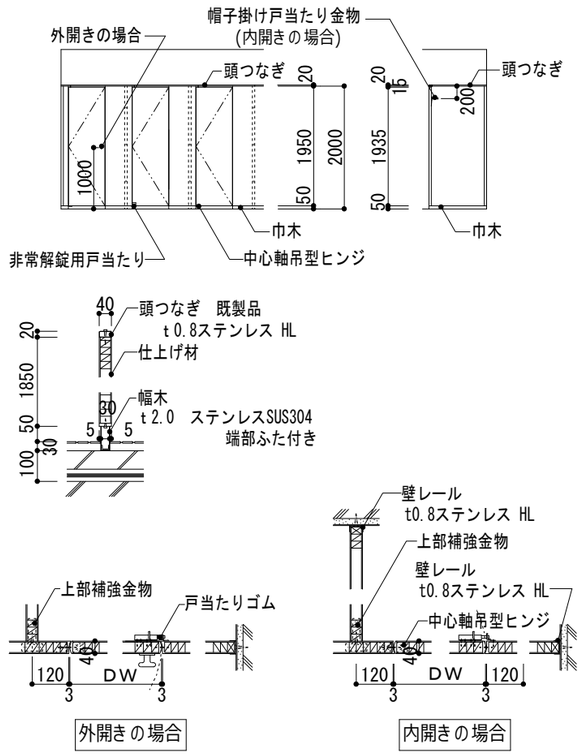
1F 男子便所・女子便所 洗面化粧台

A1 1:20
A3 1:40



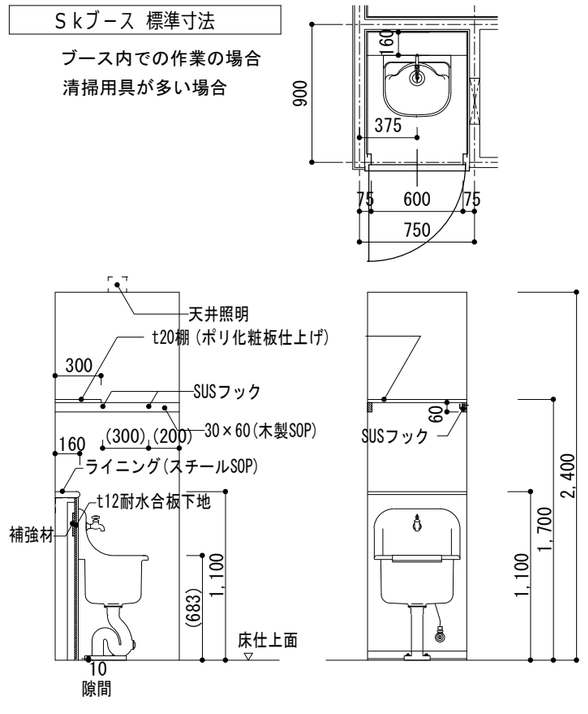
1F 男子便所・女子便所 トイレブース

A1 1:10, 1/50
A3 1:20, 1/100



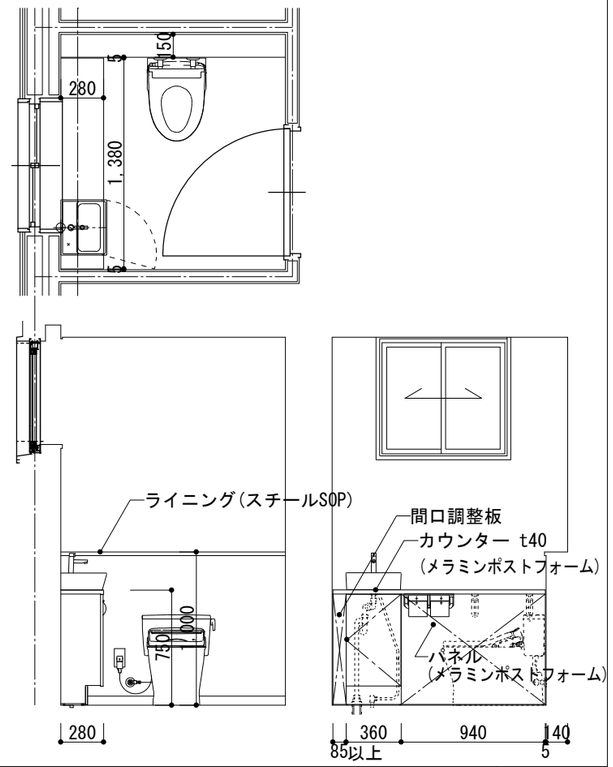
1F 廊下 ＳＫブース

A1 1:20
A3 1:40



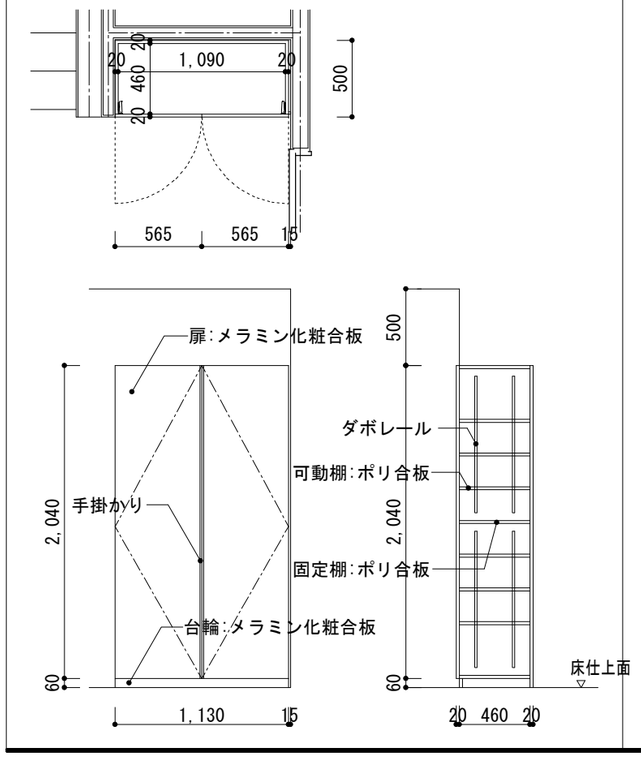
2F 便所１・便所２ トイレ手洗カウンター

A1 1:20
A3 1:40



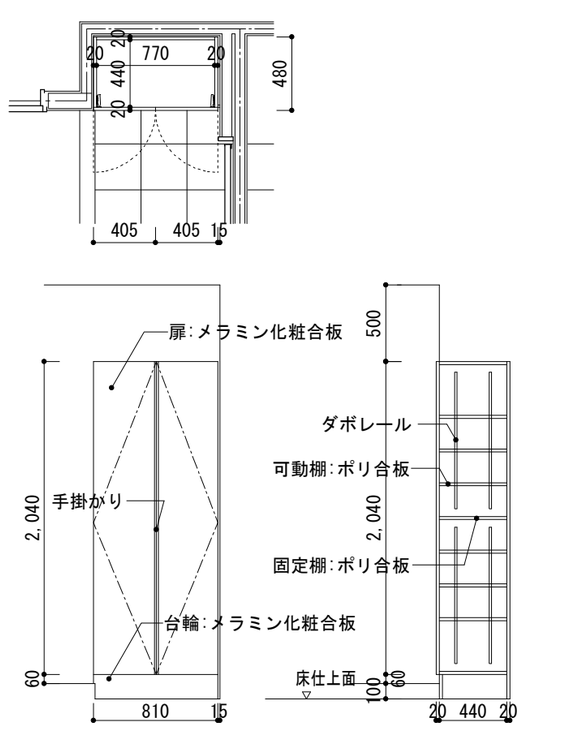
1F 玄関ホール 下足入

A1 1:20
A3 1:40



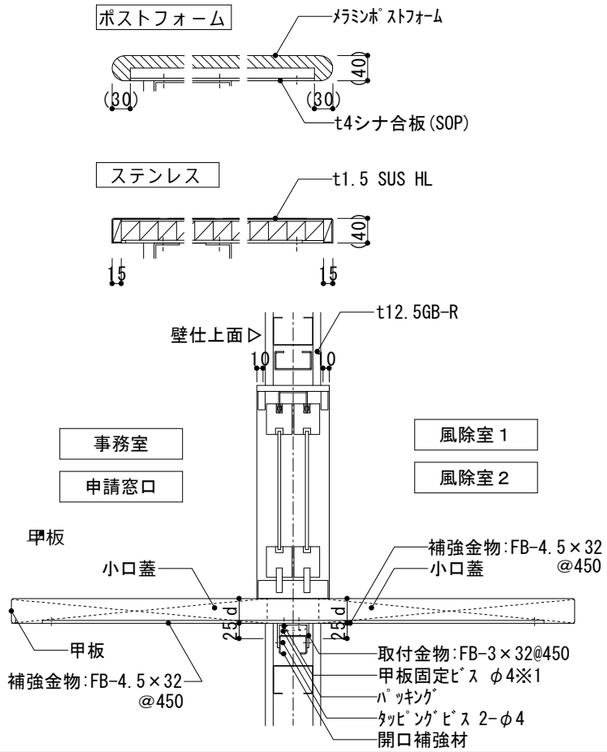
1F 玄関ホール 下足入

A1 1:20
A3 1:40



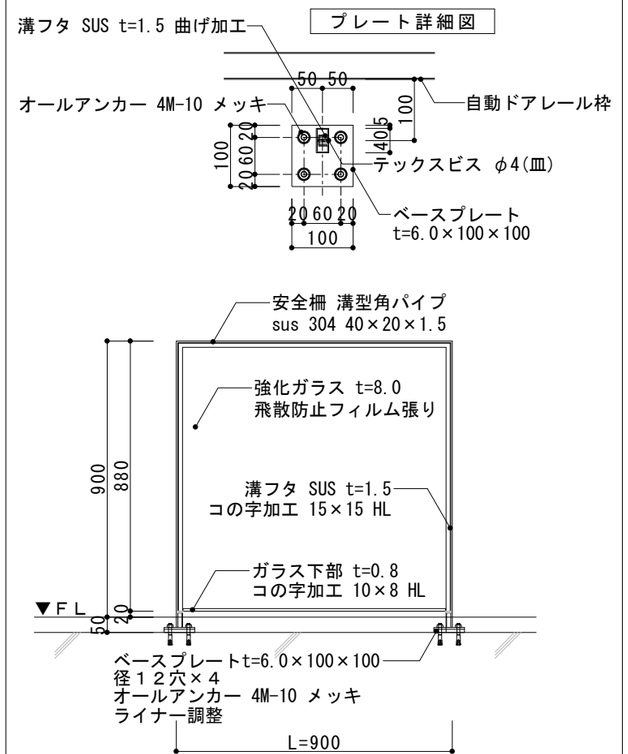
1F 玄関ホール・受付 受付カウンター

A1 1: 5
A3 1:10



1F 風除室１ 自動ドア衝突防止柵

A1 1: 5, 10
A3 1:10, 20

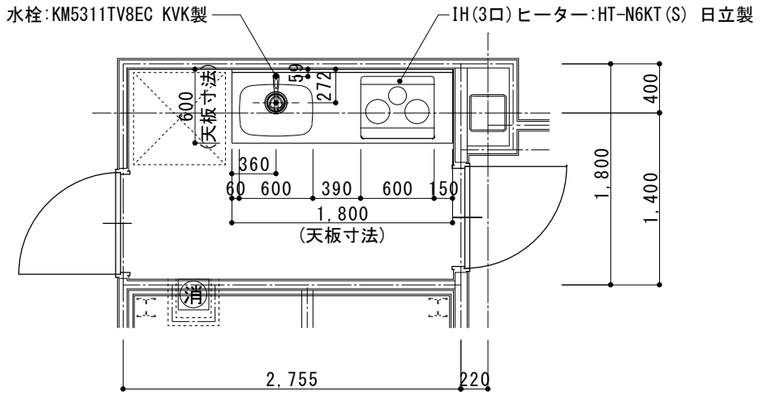


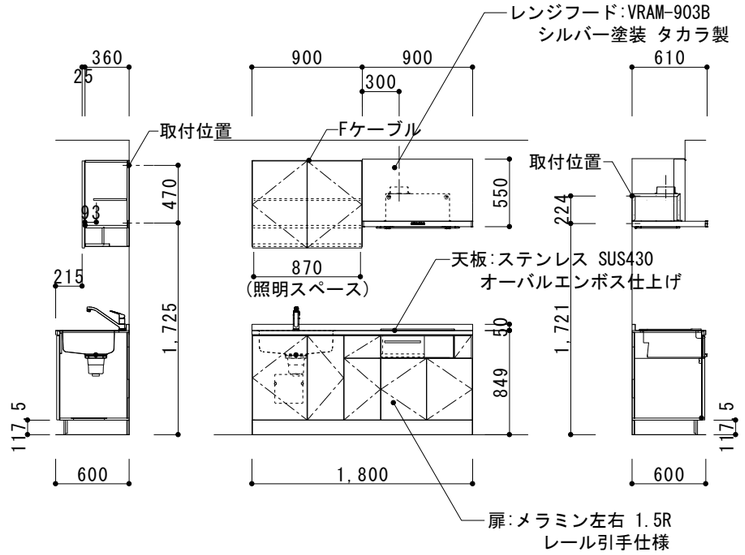
特記

物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事	
図面名	管理棟 部分詳細図(5)	縮尺 A1:1/10,1/20,1/50 A3:1/20,1/40,1/100
		図番 D-136

1F 湯沸室
キッチン Ｌ１８００

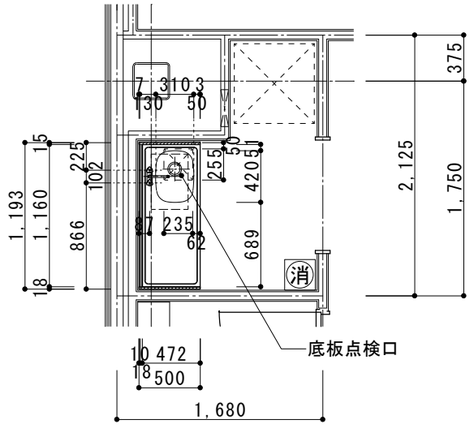
A1 1:25
A3 1:50

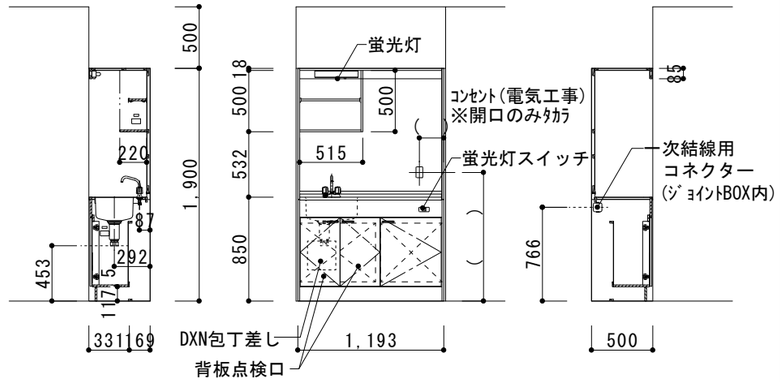




2F 湯沸室
ミニキッチン Ｌ１１６０

A1 1:25
A3 1:50



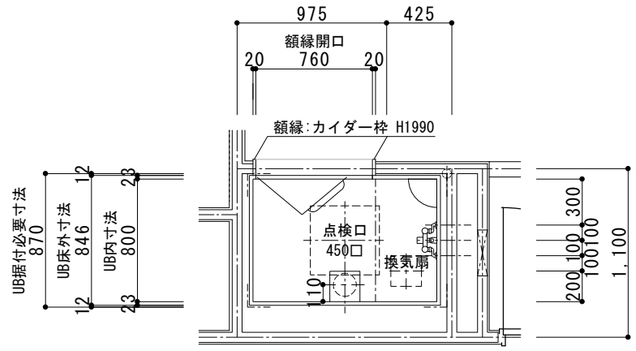


NO.	品名	仕様		
1	流し台 （下台ユニット）	天板	ステンレス	ＳＵＳ４３０
		扉・幕板	両面コート紙貼化粧 パーティクルボードｔ１５	表裏柄：ホワイト　TW色
		側板	両面コート紙貼化粧 パーティクルボードｔ１５	ホワイト　TW色
		後板	ラミネートＭＤＦｔ２．７	ホワイト　TW色
		底板	両面コート紙貼化粧 パーティクルボードｔ１５	ホワイト　TW色
		部品	排水トラップ・ＤＸＮ包丁差し	
2	食器棚 （オーブン棚）	側板	両面コート紙貼化粧 パーティクルボードｔ１５	ホワイト　TW色
		側板 （不燃材仕様）	（内面）ラミネート合板ｔ２．５ （外面）化粧不燃材ｔ３ ｔ６又はｔ９	ホワイト　TW色
		底板	両面コート紙貼化粧 パーティクルボードｔ１５	ホワイト　TW色
		木口	PPテープ	ホワイト　TW色
3	サイドパネル(N)		両面コート紙貼化粧 パーティクルボードｔ１５	ホワイト　TW色
4	サイドパネル(G)	内面	化粧不燃材ｔ３	ホワイト　TW色
		外面	パーティクルボードｔ１５	ホワイト　TW色
5	バックパネル	内面	化粧不燃材ｔ３	ホワイト　TW色
		下木口	アルミカバー	
6	天板	内面	化粧不燃材ｔ３又はｔ６	ホワイト　TW色
7	天井幕板	内面	化粧不燃材ｔ３	ホワイト　TW色
		外面	ラミネート合板ｔ２．５	ホワイト　TW色
8	木口エッジ		硬質ＰＶＣ	ホワイト　TW色
9	水栓		混合水栓	ＫＶＫ（KM17NECN）
１０	蛍光灯		１０Ｗ	

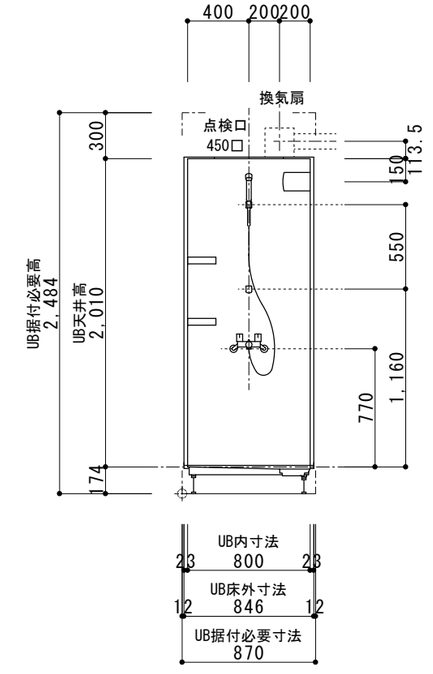
別途工事	
1	給水・給湯・排水配管接続工事
2	電源及び、一次結線用フルコネクターへの一次側電源接続工事（アース付）
3	壁、天井（幕板）との取合工事

1F シャワー室
シャワーユニット　０８１２　SPB-0812LBEL

A1 1:20
A3 1:40







リクシル：SPB-0812LBEL（同等品）
標準仕様
換気扇、シャワー水栓、排水トラップ、照明器具、コーナー棚、付属金物一式

特記

物件名　第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事

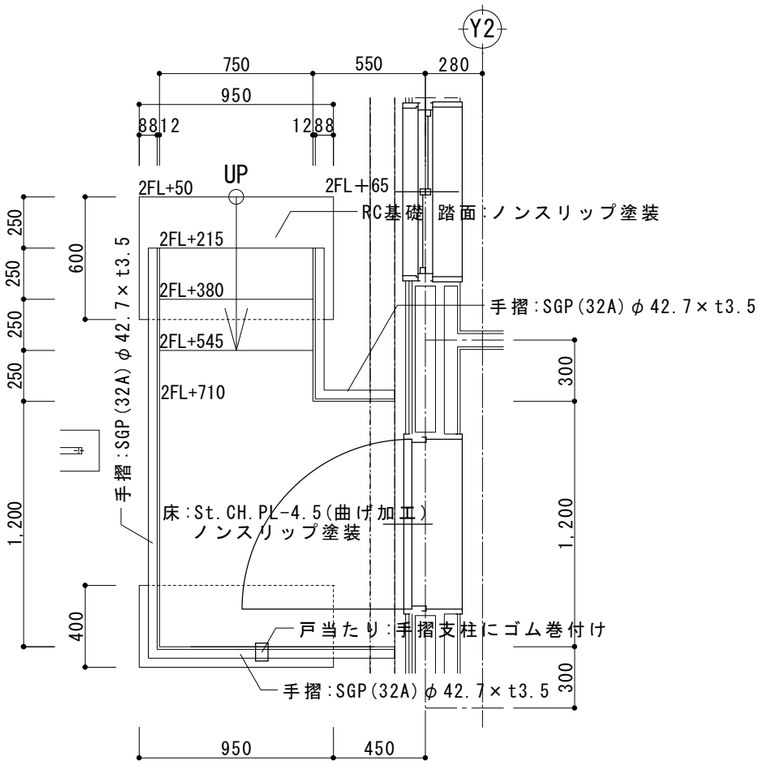
図面名　管理棟 部分詳細図(6)

縮尺　A1:1/20, 1/25　A3:1/40, 1/50

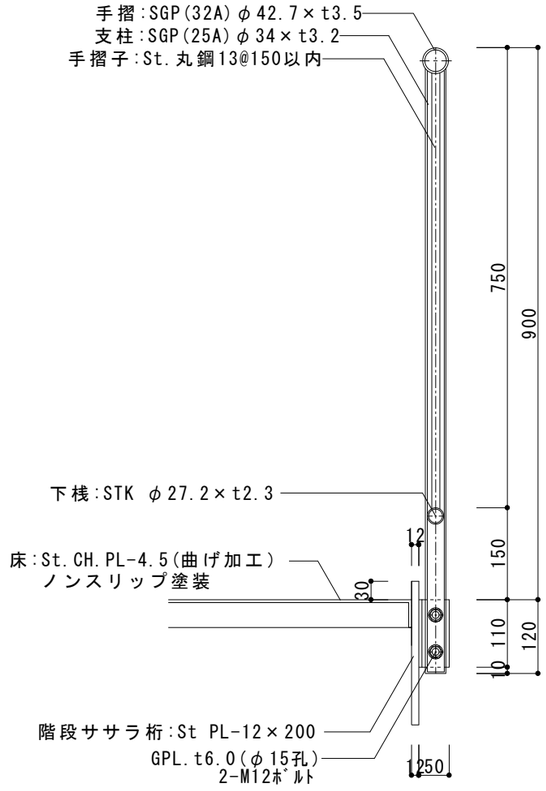
図番　D-137

2階出入口外部鉄骨ステップ詳細図

A1 1:5,1/15
A3 1:10,1/30

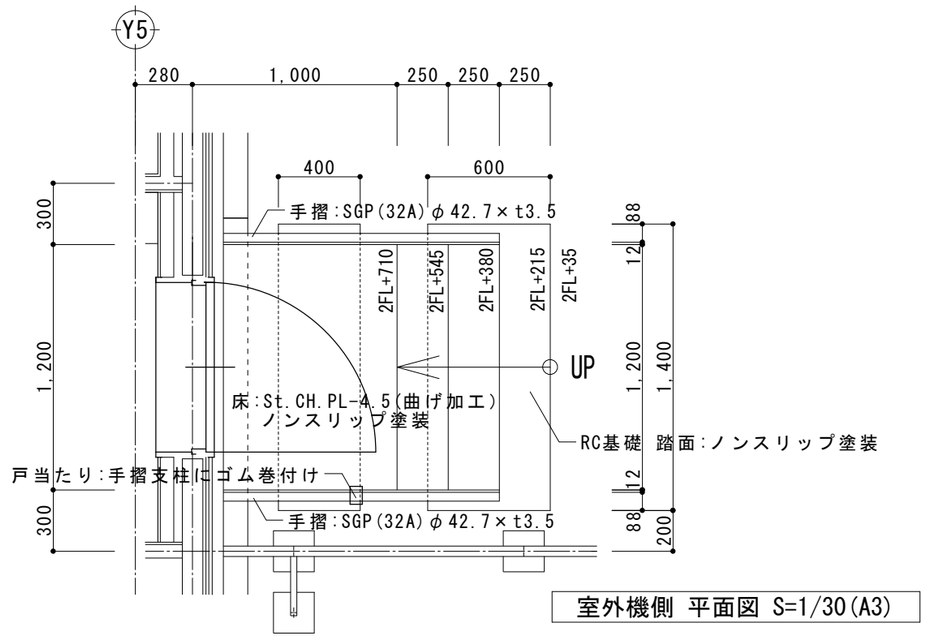


ルーフバルコニー側平面図 S=1/30(A3)

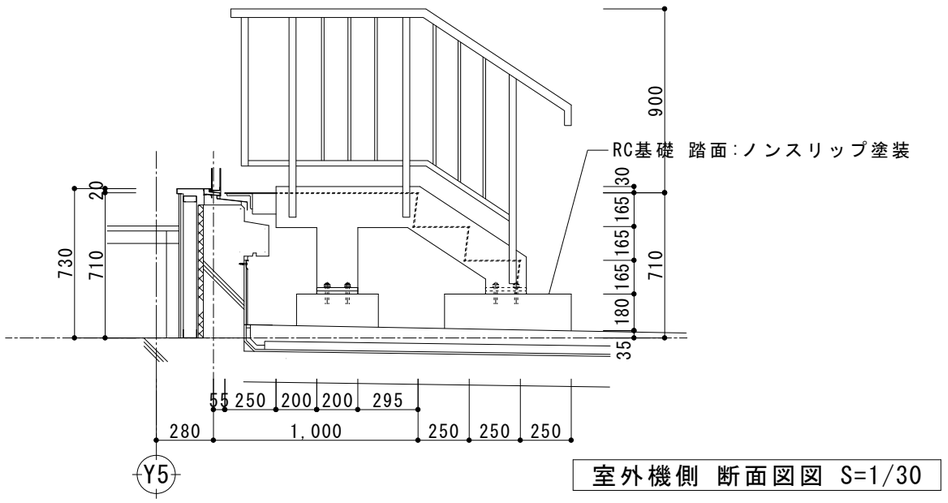


※鉄部は全て溶融亜鉛めっき処理とする。

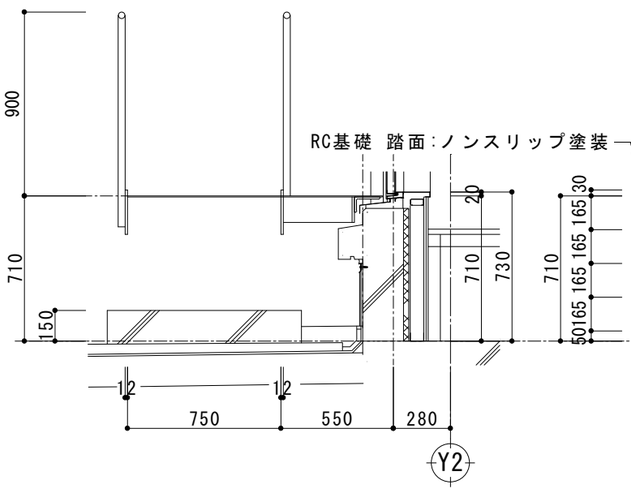
手摺断面図 S=1/10(A3)



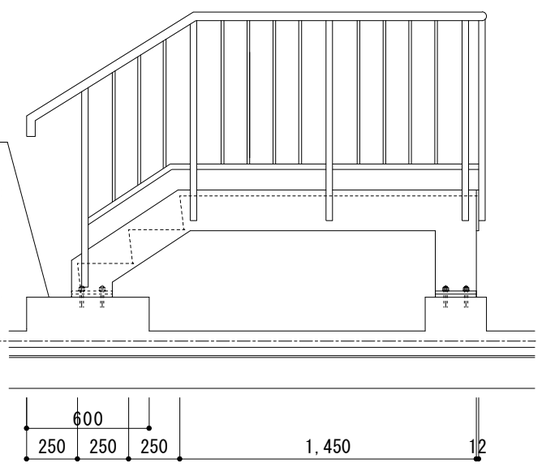
室外機側 平面図 S=1/30(A3)



室外機側 断面図図 S=1/30



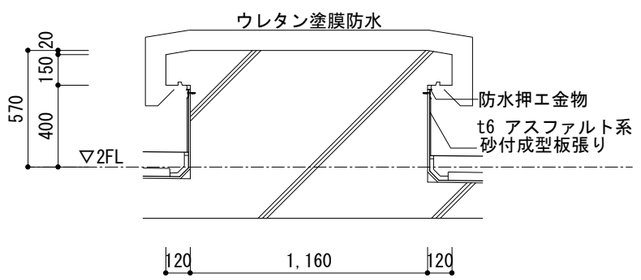
ルーフバルコニー側断面図1 S=1/30(A3)



ルーフバルコニー側断面図2 S=1/30(A3)

2階 室外機置場基礎詳細図

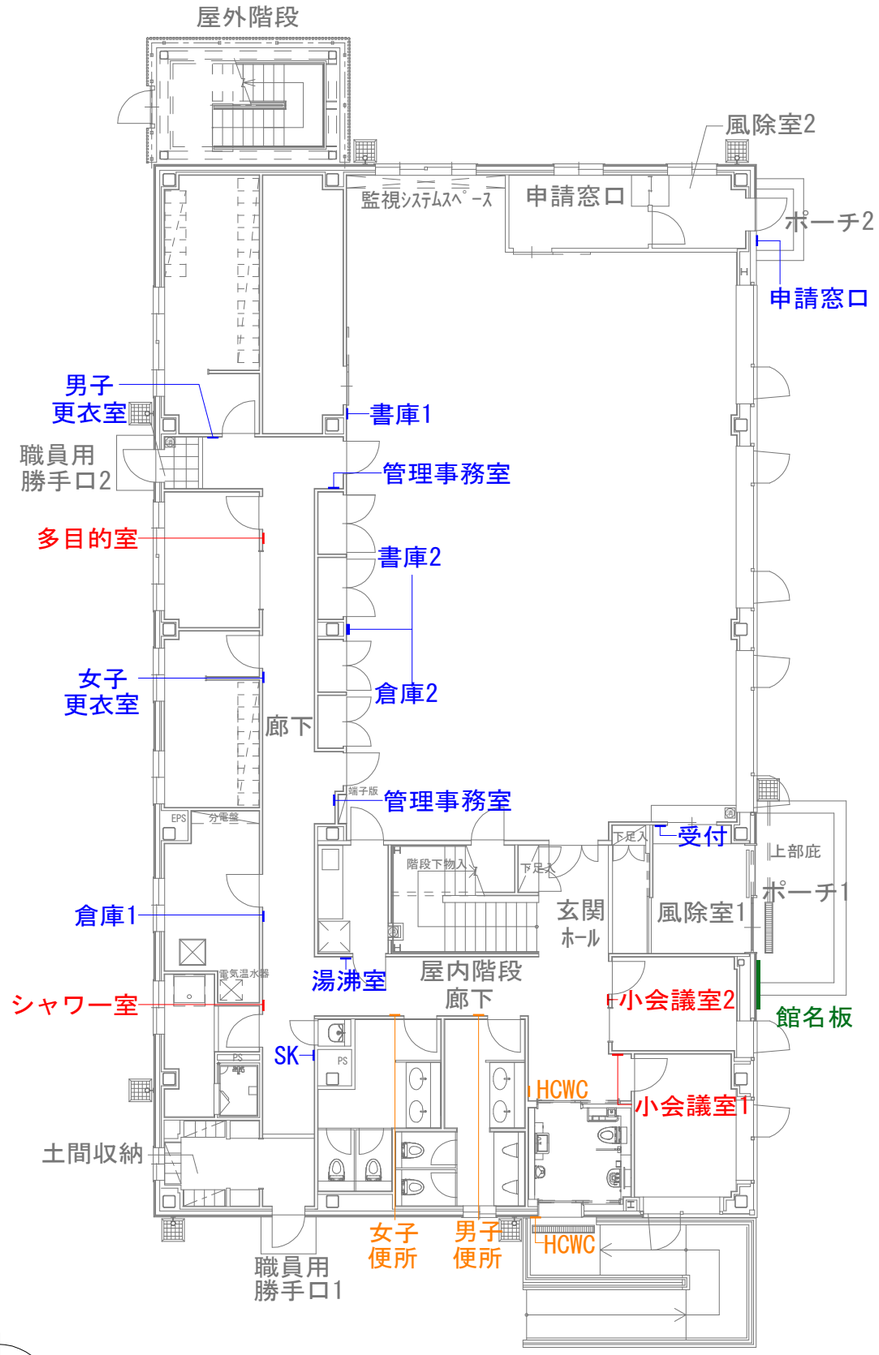
A1 1:15
A3 1:30

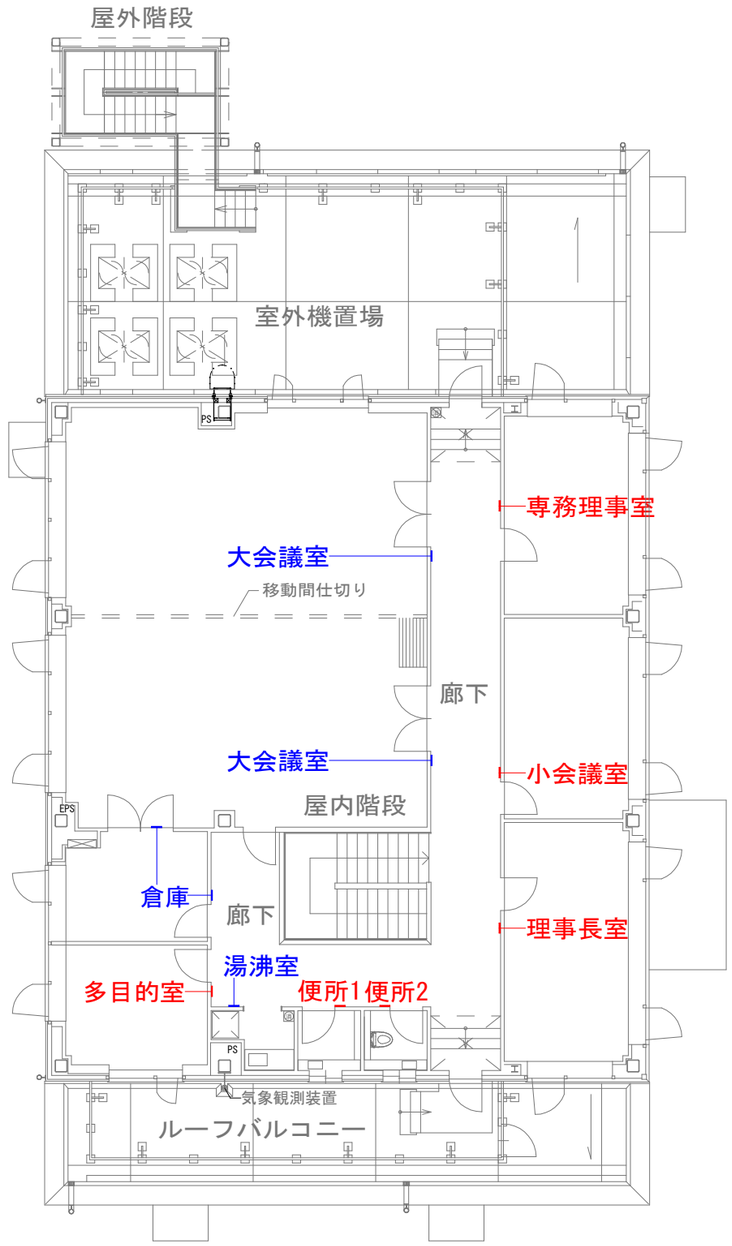


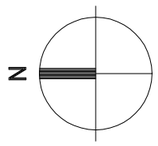
2階 室外機置場基礎

特記

物件名	第R6-8号 新産業廃棄物最終処分場建設工事
図面名	管理棟 部分詳細図(7)
縮尺	A1:1/15,5 A3:1/30,10
図番	D-138







◇サイン凡例【1.2階共通】

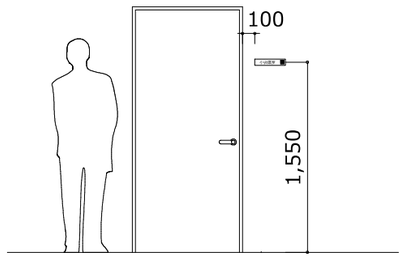
赤　　:室名札+在室札(在室/不在　切り変え)
青　　:室名札(ステンレスカッティングシート)
オレンジ　:ピクトサイン
緑　　:館銘板はポーチ1付近の外壁に設置

特記

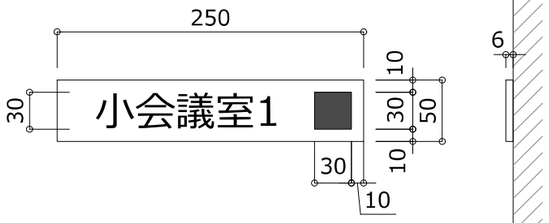
物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事
図面名	管理棟 サインキープラン図
縮尺	A1:- 1:75 A3:-1:150
図番	D-139

1 室名札+在室札（在室/不在 切り替え）　数量 ： 10

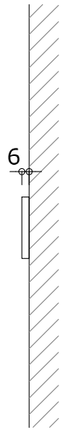
〔仕様〕
ベース　：アクリル　t 5.0　（グレー）
表示部　：ステンレス鋼板 t1.0、ヘアーライン仕上
窓　部　：フィルム貼　（赤）
スライド：ステンレス鋼板 t1.0、ヘアーライン仕上
室名　　：ステンレスカッティングシート
書体　　：メイリオ



scale 1:50(A3)



scale 1:5(A3)

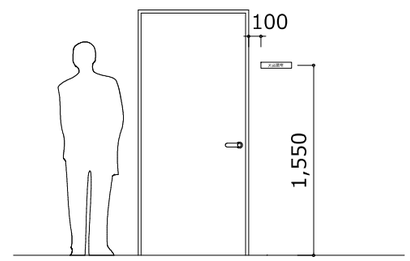


30

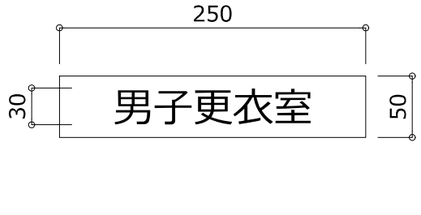
小会議室1 × 1　便所1 × 1
小会議室2 × 1　便所2 × 1
シャワー室 × 1
多目的室 × 2
専務理事室 × 1
小会議室 × 1
理事長室 × 1

2 室名札（ステンレスカッティングシート）　数量 ： 17

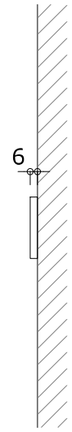
〔仕様〕
ベース　：アクリル　t 5.0　（グレー）
表示部　：ステンレス鋼板 t1.0、ヘアーライン仕上
室名　　：ステンレスカッティングシート
書体　　：メイリオ



scale 1:50(A3)



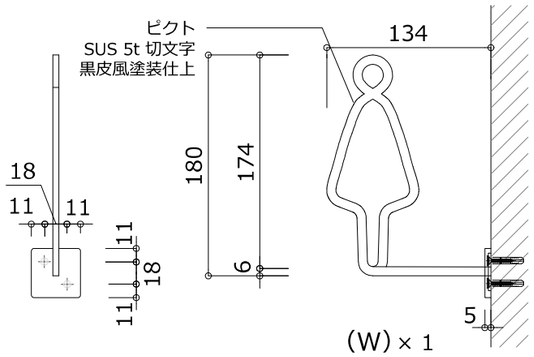
scale 1:5(A3)



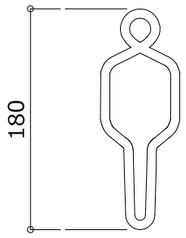
30

管理事務室 × 2　大会議室 × 2
書庫1 × 1　倉庫 × 2
書庫2 × 1　湯沸室 × 2
倉庫1 × 1　SK × 1
倉庫2 × 1　受付 × 1
男子更衣室 × 1　申請窓口 × 1
女子更衣室 × 1

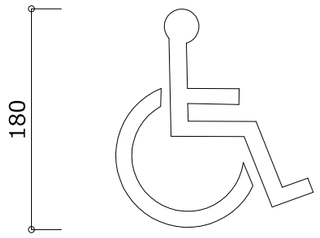
3 ピクトサイン　数量 ： 4



(W) × 1



(M) × 1



(HCWC) × 2

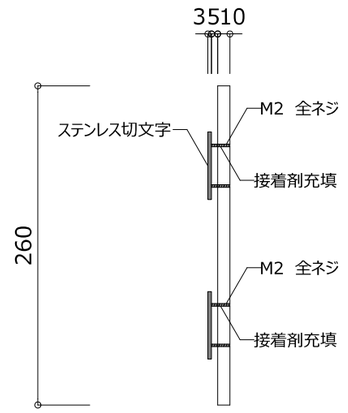
scale 1:5(A3)

4 館銘板　数量 ： 1

〔仕様〕
ベース　：ステンレス鋼板t3.0、ヘアーライン仕上
館銘　　：ステンレス切文字　全ネジ足付
書体　　：メイリオ



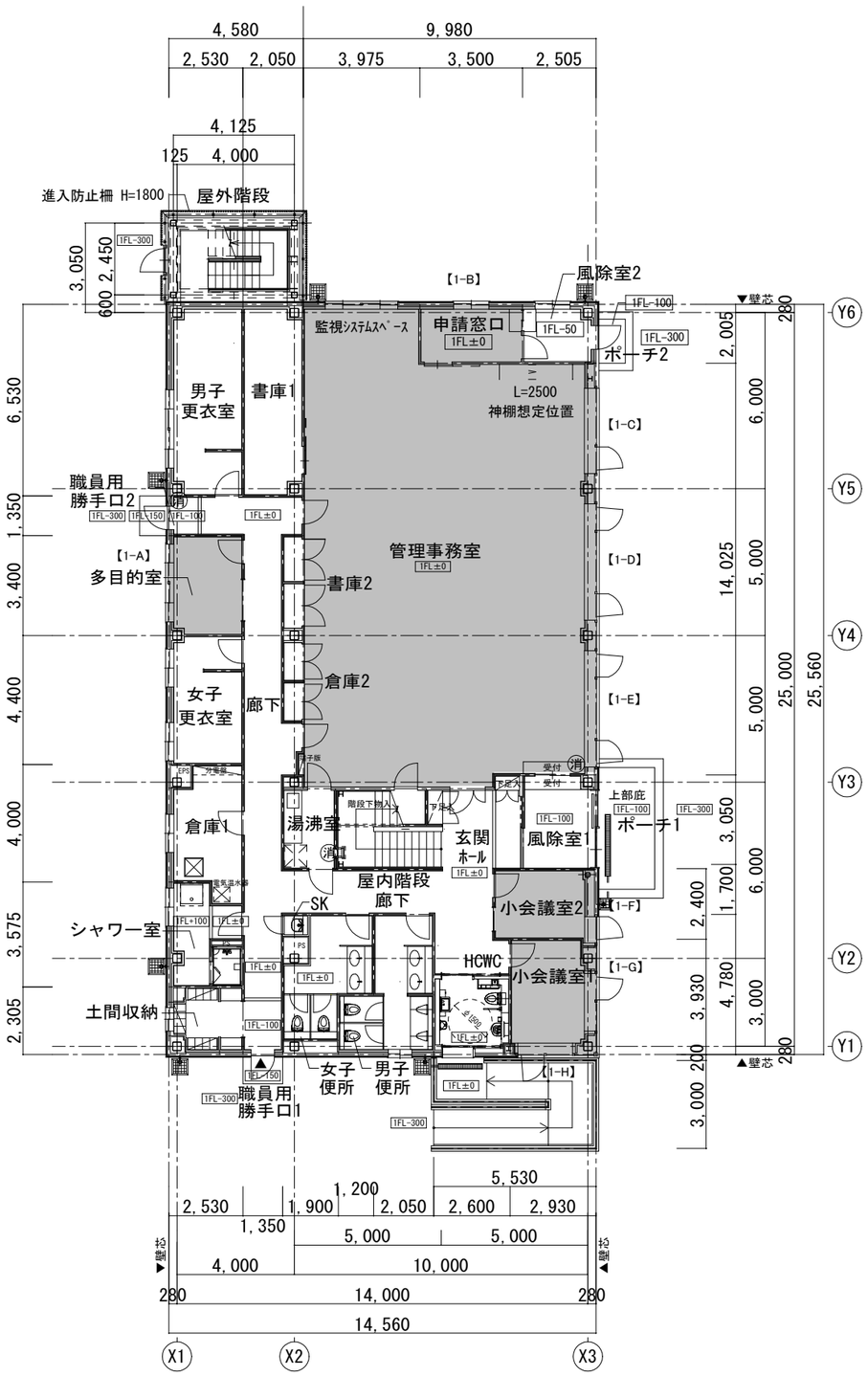
scale 1:50(A3)

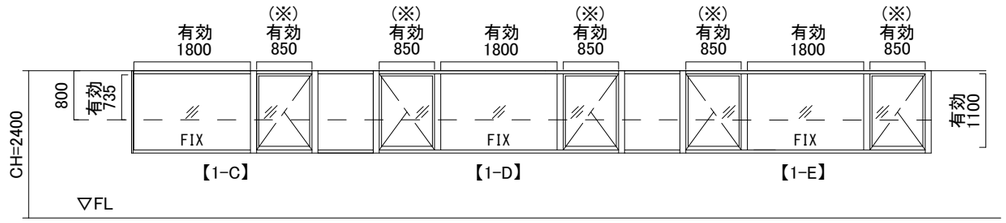


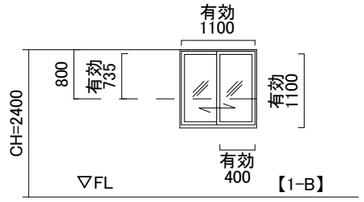
scale 1:5(A3)

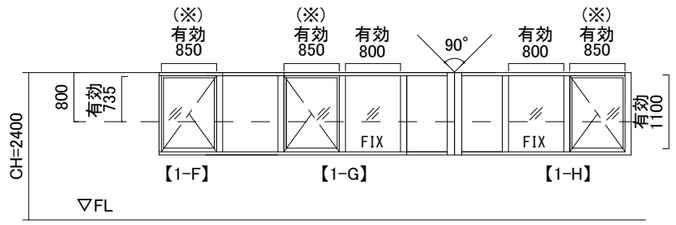
特記

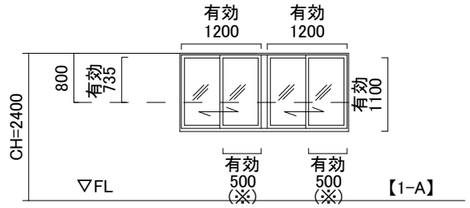
物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事
図面名	管理棟　サイン詳細図
縮尺	A1:-1:100 A3:-1:200
図番	D-140











管理事務室　開口部チェック　床面積151.15㎡	
{(W1.800×H1.100×3)+(W0.850×H1.100×5)}×20=212.30㎡	＞151.15　採光上有窓
(W0.850×H0.735×5)×50=156.18㎡	＞151.15　排煙設備不要
法28条2項換気計算は設備図による	(機械換気)

申請窓口　開口部チェック　床面積7.01㎡	
(W1.100×H1.100)×20=24.20㎡	＞7.01　採光上有窓
(W0.400×H0.735)×50=14.70㎡	＞7.01　排煙設備不要
(W0.400×H1.100)×20＝8.80㎡	＞7.01　自然換気OK

小会議室1　開口部チェック　床面積11.42㎡	
(W0.850×H1.100)×20＝18.70㎡	＞11.42　採光上有窓
(W0.850×H0.735)×50＝31.23㎡	＞11.42　排煙設備不要
(W0.850×H1.100)×20＝18.70㎡	＞11.42　自然換気OK
小会議室2　開口部チェック　床面積8.35㎡	
(W0.850×H1.100×2)+(W0.800×H1.100×2)×20=72.60㎡	＞ 8.35　採光上有窓
(W0.850×H0.735×2)×50=62.47㎡	＞ 8.35　排煙設備不要
(W0.850×H1.100×2)×20＝37.40㎡	＞ 8.35　自然換気OK

多目的室　開口部チェック　床面積8.60㎡	
(W1.200×H1.100×2)×20=52.80㎡	＞ 8.60　採光上有窓
(W0.500×H0.735×2)×50=36.75㎡	＞ 8.60　排煙設備不要
(W0.500×H1.100×2)×20=22.00㎡	＞ 8.60　自然換気OK

消防法普通階判定チェック　1階延床面積384.73㎡
384.73/30　＝　12.82㎡　　※サッシ下端は床面から1200mm以下とする。
FIX　W1.800×H1.100×3＝5.940㎡（直径1m以上の円が内接するサッシ2箇所以上）
FIX　W0.800×H1.100×2=1.760㎡
縦辷り　W0.500(※)×H1.100×8＝4.400㎡（※）消防進入口としての有効開口幅
引違い　W0.500(※)×H1.100×2＝1.100㎡　(※)消防進入口としての有効開口幅
5.940+1.760+4.400+1.100=13.20㎡ ＞ 12.82㎡ 普通階OK

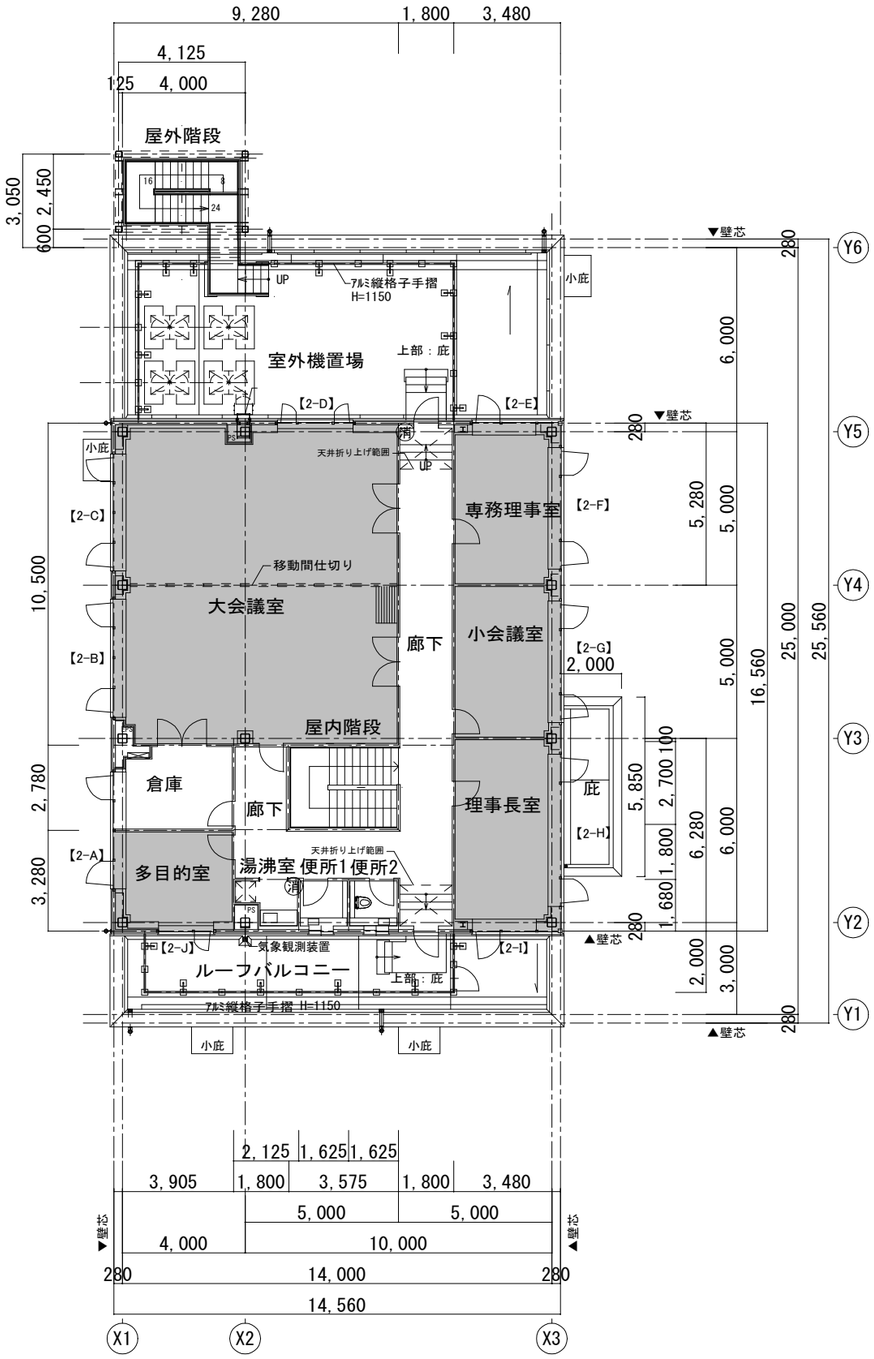
令第116条の2　窓その他の開口部
1項一号　居室面積1/20以上（採光に有効な部分）
1項二号　居室面積1/50以上（開放できる部分・天井80cm以内）

(消)　消火器（特記なき限りABC10型）：歩行距離20m以内及びIHコンロ1台につき1箇所設置

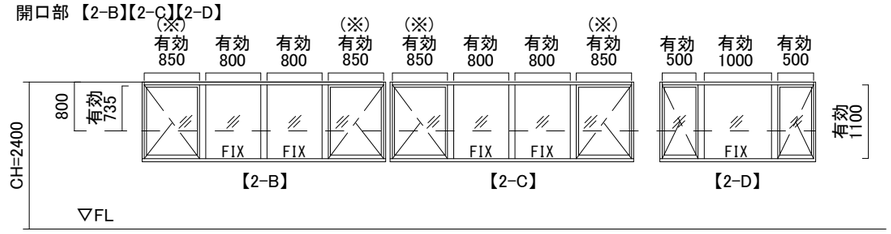
N

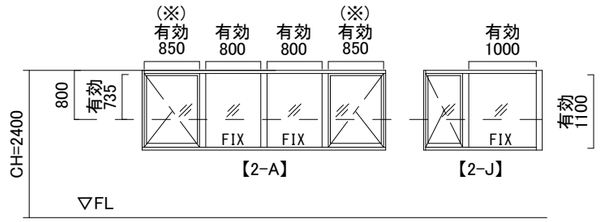
特記

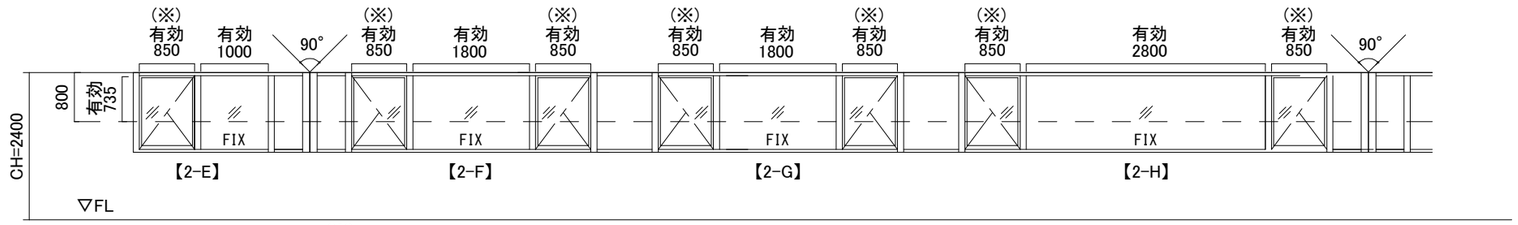
物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事		
図面名	管理棟 1階法チェック図	縮尺 A1:- 1/100 A3:- 1/200	図番 D-141

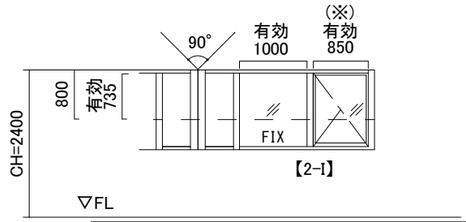


開口部 【2-B】【2-C】【2-D】









大会議室　開口部チェック　床面積96.44㎡	
(W0.800×H1.100×4)+(W0.850×H1.100×4)+(W1.000×H1.100)+(W0.500×H1.100)×20	
=178.20㎡	＞96.44　採光上有窓
{(W0.850×H0.735×4)+(W0.500×H0.735×2)}×50=161.70㎡	＞96.44　排煙設備不要
法28条2項換気計算は設備図による	（機械換気）

多目的室　開口部チェック　床面積12.80㎡ ※【2-A】のみで算定	
{(W0.800×H1.100×2)+(0.850×H1.100×2)}×20=37.40㎡	＞12.80　採光上有窓
(W0.850×H0.735×2)×50=62.47㎡	＞12.80　排煙設備不要
(W0.850×H1.100×2)×20＝37.40㎡	＞12.80　自然換気OK

小会議室　開口部チェック　床面積17.40㎡	
(W1.800×H1.100)+(W0.850×H1.100×2)×20=77.00㎡	＞17.40　採光上有窓
(W0.850×H0.735×2)×50=62.47㎡	＞17.40　排煙設備不要
(W0.850×H1.100)×20＝18.70㎡	＞17.40　自然換気OK

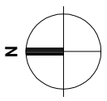
理事長室　開口部チェック　床面積21.85㎡	
{(W1.000×H1.100)+(W2.800×H1.100)+(W0.850×H1.100×3)}×20＝139.70㎡	
	＞21.85　採光上有窓
(W0.850×H0.735×3)×50＝93.71㎡	＞21.85　排煙設備不要
(W0.850×H1.100×3)×20＝56.10㎡	＞21.85　自然換気OK

専務理事室　開口部チェック　床面積18.37㎡	
{(W1.000×H1.100)+(W1.800×H1.100)+(W0.850×H1.100×3)}×20＝117.70㎡	
	＞18.37　採光上有窓
(W0.850×H0.735×3)×50＝93.71㎡	＞18.37　排煙設備不要
(W0.850×H1.100×3)×20＝56.10㎡	＞18.37　自然換気OK

消防法普通階判定チェック　2階延床面積241.11㎡
241.11/30　＝　8.037㎡　　※サッシ下端は床面から1200mm以下とする。
FIX(2-I、2-D) W1.000×H1.100×2＝2.200㎡（直径1m以上の円が内接するサッシ2箇所以上）
縦ﾐﾗ　W0.500(※)×H1.100×14＝7.700㎡　(※)消防進入口としての有効開口幅
2.200+7.700=9.900㎡　＞　8.037㎡　普通階OK

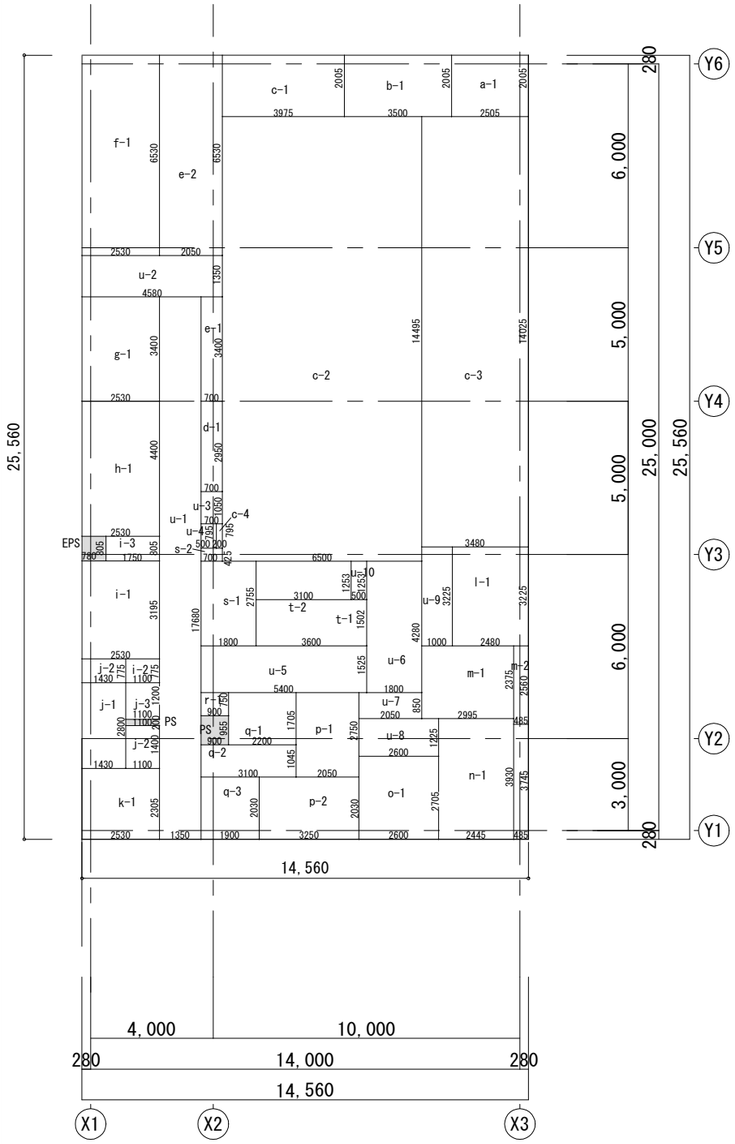
令第116条の2　窓その他の開口部
1項一号　居室面積1/20以上（採光に有効な部分）
1項二号　居室面積1/50以上（開放できる部分・天井80cm以内）

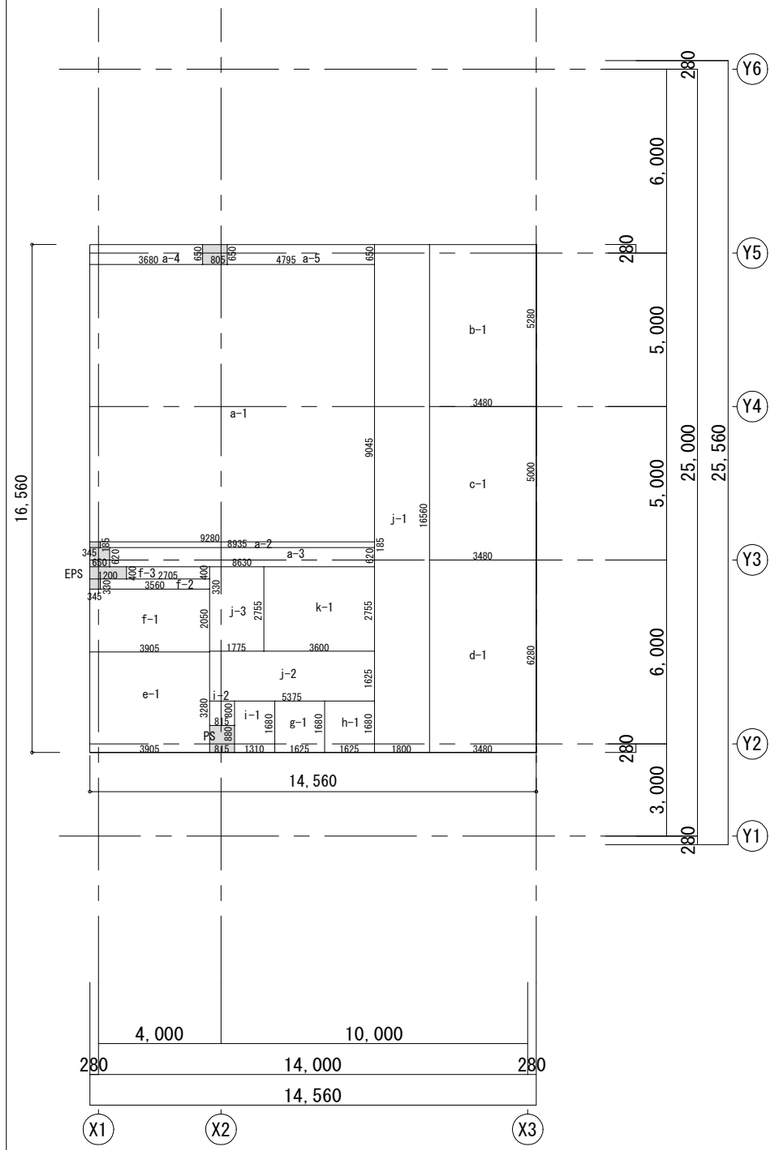
(消)　消火器（特記なき限りABC10型）：歩行距離20m以内及びIHコンロ1台につき1箇所設置



特記

				物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事
				図面名	管理棟 2階法チェック図
				縮尺	A1:- 1/100 A3:- 1/200
				図番	D-142





風除室2 5.02㎡

a	1	2.005×2.505	5.022525

申請窓口 7.01㎡

b	1	2.005×3.500	7.017500

管理事務室 151.15㎡

c	1	2.005×3.975	7.969875
c	2	14.495×6.500	94.217500
c	3	14.025×3.480	48.807000
c	4	0.795×0.200	0.159000

倉庫2 2.06㎡

d	1	2.950×0.700	2.065000

書庫1 2.38㎡

e	1	3.400×0.700	2.380000

書庫2 13.38㎡

e	2	6.530×2.050	13.386500

男子更衣室 16.52㎡

f	1	6.530×2.530	16.520900

多目的室 8.60㎡

g	1	3.400×2.530	8.602000

女子更衣室 11.13㎡

h	1	4.400×2.530	11.132000

倉庫1 10.34㎡

i	1	3.195×2.530	8.083350
i	2	0.775×1.100	0.852500
i	3	0.805×1.750	1.408750

シャワー室、踏み込み 6.43㎡

j	1	2.800×1.430	4.004000
j	2	0.775×1.430	1.108250
j	3	1.200×1.100	1.320000

土間収納 5.83㎡

k	1	2.305×2.530	5.831650

風除室1 7.99㎡

l	1	3.225×2.480	7.998000

小会議室2 8.35㎡

m	1	2.375×2.995	7.113125
m	2	2.560×0.485	1.241600

小会議室1 11.42㎡

n	1	3.930×2.445	9.608850
n	2	3.745×0.485	1.816325

HCWC 7.03㎡

o	1	2.705×2.600	7.033000

男子便所 12.23㎡

p	1	2.750×2.050	5.637500
p	2	2.030×3.250	6.597500

女子便所 10.84㎡

q	1	1.705×2.200	3.751000
q	2	1.045×3.100	3.239500
q	3	2.030×1.900	3.857000

SK 0.67㎡

r	1	0.750×0.900	0.675000

湯沸室 5.25㎡

s	1	2.755×1.800	4.959000
s	2	0.425×0.700	0.297500

階段下物入　※階段は2階にて求積 9.29㎡

t	1	1.502×3.600	5.407200
t	2	1.253×3.100	3.884300

廊下 55.90㎡

u	1	17.680×1.350	23.868000
u	2	4.580×1.350	6.183000
u	3	1.050×0.700	0.735000
u	4	0.795×0.500	0.397500
u	5	1.525×5.400	8.235000
u	6	4.280×1.800	7.704000
u	7	0.850×2.050	1.742500
u	8	1.225×2.600	3.185000
u	9	3.225×1.000	3.225000
u	10	1.253×0.500	0.626500

EPS 0.62㎡

	1	0.805×0.780	0.627900

PS(女子便所) 0.85㎡

	1	0.955×0.900	0.859500

PS(シャワー室) 0.22㎡

	1	0.200×1.100	0.220000

大会議室 96.44㎡

a	1	9.045×9.280	83.937600
a	2	0.185×8.935	1.652975
a	3	0.620×8.630	5.350600
a	4	0.650×3.680	2.392000
a	5	0.650×4.795	3.116750

専務理事室 18.37㎡

b	1	5.280×3.480	18.374400

小会議室 17.40㎡

c	1	5.000×3.480	17.400000

理事長室 21.85㎡

d	1	6.280×3.480	21.854400

多目的室 12.80㎡

e	1	3.280×3.905	12.808400

倉庫1 10.26㎡

f	1	2.050×3.905	8.005250
f	2	0.330×3.560	1.174800
f	3	0.400×2.705	1.082000

便所1 2.73㎡

g	1	1.680×1.625	2.730000

便所2 2.73㎡

h	1	1.680×1.625	2.730000

湯沸室 2.85㎡

i	1	1.680×1.310	2.200800
i	2	0.800×0.815	0.652000

廊下 43.43㎡

j	1	16.560×1.800	29.808000
j	2	1.625×5.375	8.734375
j	3	2.755×1.775	4.890125

屋内階段 9.91㎡

k	1	2.755×3.600	9.918000

EPS

	1	0.330×0.345	0.113850
	2	0.400×1.200	0.480000
	3	0.620×0.650	0.403000
	4	0.185×0.345	0.063825

PS(湯沸室) 0.71㎡

	1	0.880×0.815	0.717200

PS(大会議室) 0.52㎡

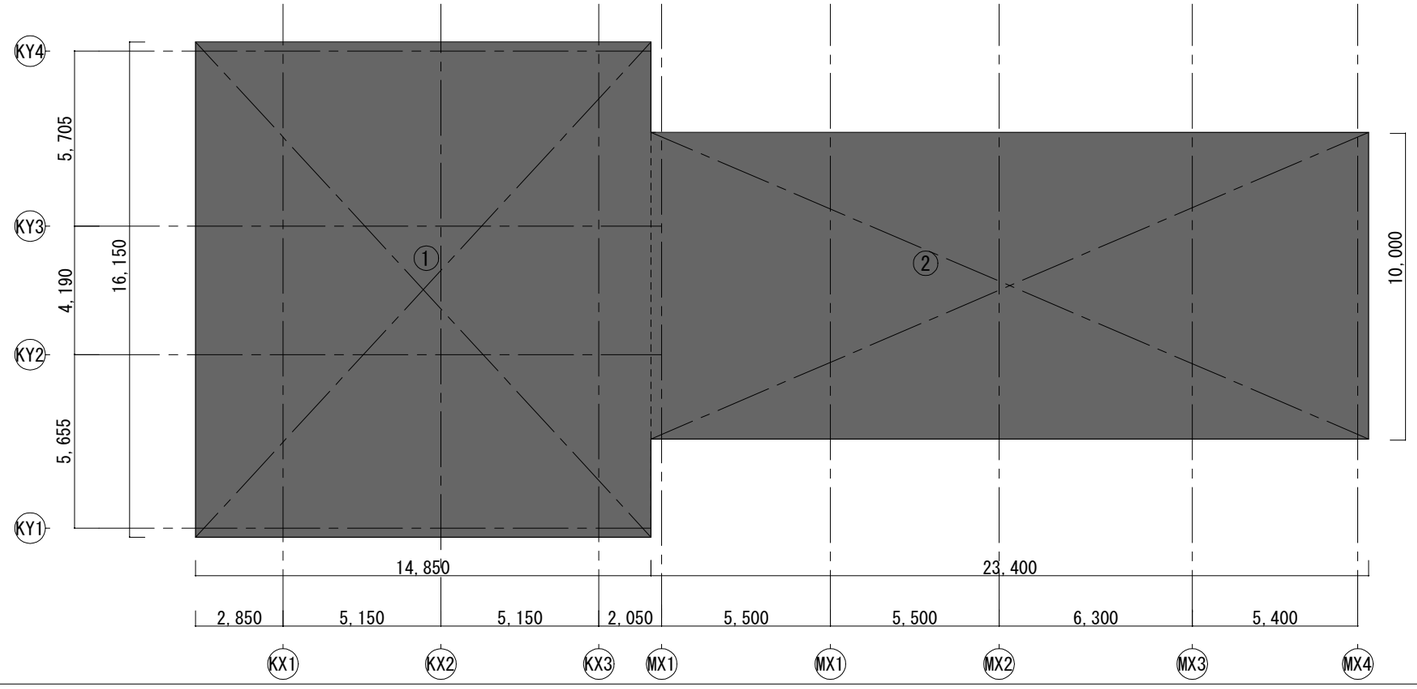
	1	0.650×0.805	0.523250

特記

物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事			
図面名	管理棟 各室面積求積図	縮尺	A1:-1:100 A3:-1:200	図番 D-143

申請建物②③ 計量棟・目視監視施設

建築面積（㎡）



◇建築面積(㎡)

計量棟

① 16.150 × 14.850 ＝ 239.82750

239.82㎡

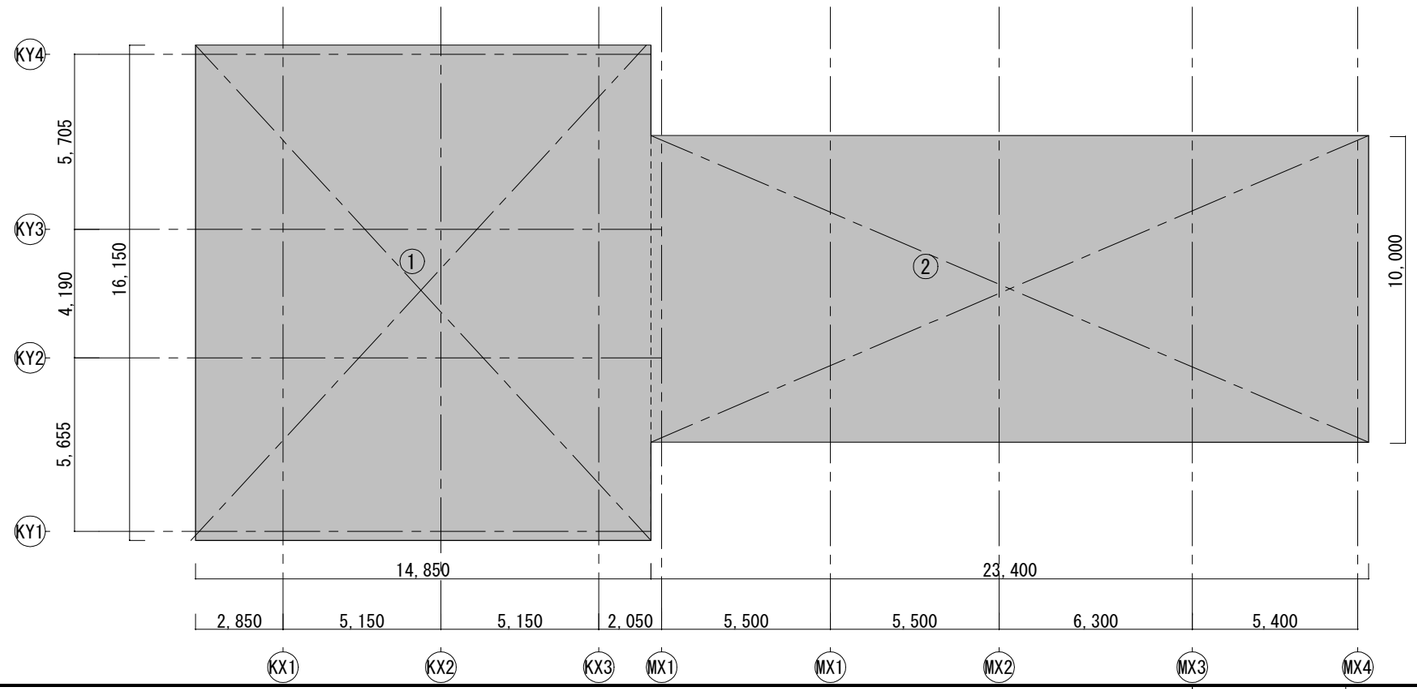
目視監視施設

② 10.000 × 23.400 ＝ 234.000000

234.00㎡

申請建物②③ 計量棟・目視監視施設

延床面積（㎡）



◇延床面積(㎡) 容積対象床面積として

計量棟

① 16.150 × 14.850 ＝ 239.82750

239.82㎡

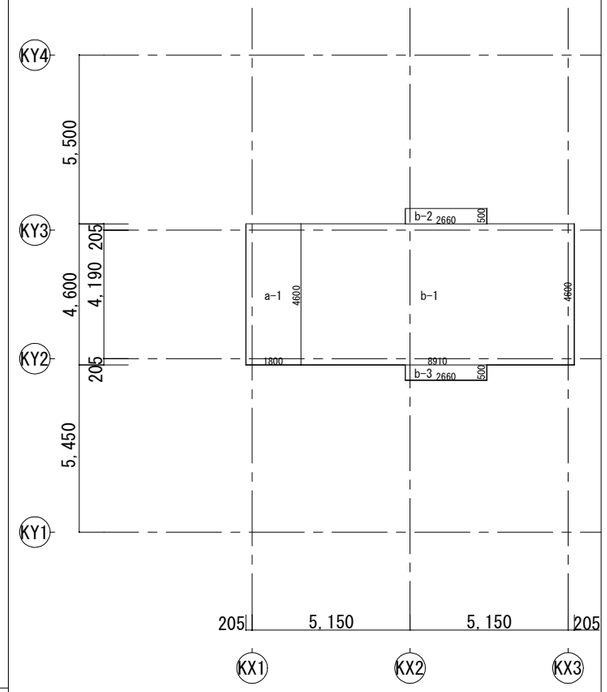
目視監視施設

② 10.000 × 23.400 ＝ 234.000000

234.00㎡

申請建物②③ 計量棟・目視監視施設

各室求積図



風除室 8.28㎡

a	1	1.505×2.900	8.280000

事務室 43.64㎡

c	1	4.600×6.010	40.986000
c	2	0.500×2.660	1.330000
c	3	0.500×2.660	1.330000

特記

物件名 第R6-8号 新産業廃棄物最終処分場建設工事

図面名 計量棟・目視監視施設 建築面積/延床面積/各室求積図

縮尺 A1:-1:100 A3:-1:200

図番 D-201

部位	仕上	部位	仕上	部位	仕上
【計量棟　屋根・屋上付属物】		【計量棟　外壁・外壁付属物】		【計量棟　その他（建物外周部・外構）】	
屋根	シングル折板：t0.8カラーガルバリウム鋼板 （三晃金属：丸馳折版Ⅲ型同等品） 結露防止塗料 付属品：ケラバ・面戸・軒先包・水切 t0.8カラーガルバリウム鋼板 雪止めアングル： L-65×65×6 溶融亜鉛めっき、2列 軒樋： t 0.5耐酸被覆鋼板　W200×H150 竪樋：φ125硬質塩ビパイプ(カラー)	外壁	金属サイディング　t0.6カラーガルバリウム鋼板 （三晃金属：角波サイディングＳ同等品） t15木毛セメント板、防水シート 縦胴縁　C-100×50×2.3　@600 断熱材: t 100グラスウール(24kg/㎥)	歩道	コンクリート直均しの上　防塵塗装 H250　歩車道境界ブロック
				雨水桝	桝（450角 有効高さ450）コンクリート（既製品）、 グレーチング蓋：溶融亜鉛めっき
		腰壁	基礎立上り：コンクリート打ち放し補修　防水形複層塗装材E 誘発目地@1500内外	VS側溝(横断用、縦断用)	コンクリート（既製品）、グレーチング蓋：溶融亜鉛めっき
出窓屋根	屋根：t0.5カラーガルバリウム鋼板 嵌合フラットタイプ （裏貼：t4発砲ポリエチレンフォーム）		水切り： t0.6カラーガルバリウム鋼板　曲げ加工	トラックスケール　ピット	コンクリート金鏝仕上
	バックアップ材：t25押出法ポリスチレンフォーム			タラップ	ステンレス製
	防湿材：t1.0ゴムアスファルトルーフィング	開口部	アルミサッシAC		
	下地材：t25硬質木毛セメント板　　水切り：t0.5カラーガルバリウム鋼板 （三晃金属：サンコーフラットI型同等品）		ガラス：Low-E複層ガラス（断熱タイプ） スチール扉：SOP塗装、ベンドキャップ：焼付塗装 指定色(設備工事)	カーブミラー （トラックケース上部屋根裏）	Φ800　2カ所
				エアコンドレン(設備工事)	40VP　1か所
		柱（根巻き）	鉄部：溶融亜鉛めっき処理 根巻き：コンクリート打ち放し補修の上　浸透形吸水防止材塗布		
		梁	鉄部：溶融亜鉛めっき処理		
			カーブミラー：SUS製　φ800　2カ所		
【目視監視棟　屋根・屋上付属物】		【目視監視棟　外壁・外壁付属物】		【目視監視棟　その他（建物外周部・外構）】	
屋根	シングル折板：t0.8カラーガルバリウム鋼板 （三晃金属：丸馳折版Ⅲ型同等品） 結露防止塗料 付属品：ケラバ・面戸・軒先包 t0.8カラーガルバリウム鋼板 雪止めアングル： L-65×65×6 溶融亜鉛めっき、1列、2箇所 軒樋： t 0.5耐酸被覆鋼板 W710×H200 竪樋：φ125硬質塩ビパイプ(カラー)	柱（根巻き）	鉄部：溶融亜鉛めっき処理 根巻き：コンクリート打ち放し補修の上　浸透形吸水防止材塗布	タラップ	ステンレス製
		梁	鉄部：溶融亜鉛めっき処理	雨水桝	桝（450角 有効高さ450）コンクリート（既製品） グレーチング蓋：溶融亜鉛めっき
		点検歩廊	床　ファインフロアー　ノンスリップタイプ：溶融亜鉛めっき処理 手摺　スチール：溶融亜鉛めっき処理	自由勾配側溝 (横断用、縦断用)	コンクリート（既製品）、グレーチング蓋：溶融亜鉛めっき
屋根面鉄骨梁	エスコートレール　（三和鋼器株式会社）同等品※梁に取付けピース設置				
		点検歩廊下部(GLレベル)	床　土間コンクリート　防塵塗装		

室名	居室	排煙設備	内装制限	FL	SL	CH	床 下地	床 仕上	幅木 H	幅木 材料	腰壁	壁 下地	壁 仕上	回縁	天井 下地	天井 仕上	備考
【計量棟】																	
事務室	居室			±0	-100	2500	OAフロアー H=100	タイルカーペット	60	ビニル幅木		t12.5GB-R	ビニルクロス		t9.5GB-R	ビニルクロス	カーテンボックス：スチール SOP塗装、手洗い天井裏にt100 GW(24K)パック敷き込み
風除室	非居室			-50	-100	2550	コンクリート直均し	磁器質タイル	110	ステンレス		t12.5GB-R	ビニルクロス、t6化粧ケイカル板		t9.5GB-R	ビニルクロス	天井裏にt100 GW(24K)パック敷き込み 地流し

◇特記事項　1.使用する建築材料は、ホルムアルデヒドの発散についてF☆☆☆☆認定品又は規制対象外のものとする。 2.使用する建築材料は、クロロピリホスを一切添加していないものとする。 3.断熱を行う部屋・部位にグラスウールがある場合は断熱+グラスウール（SUS金物固定併用）とすること。

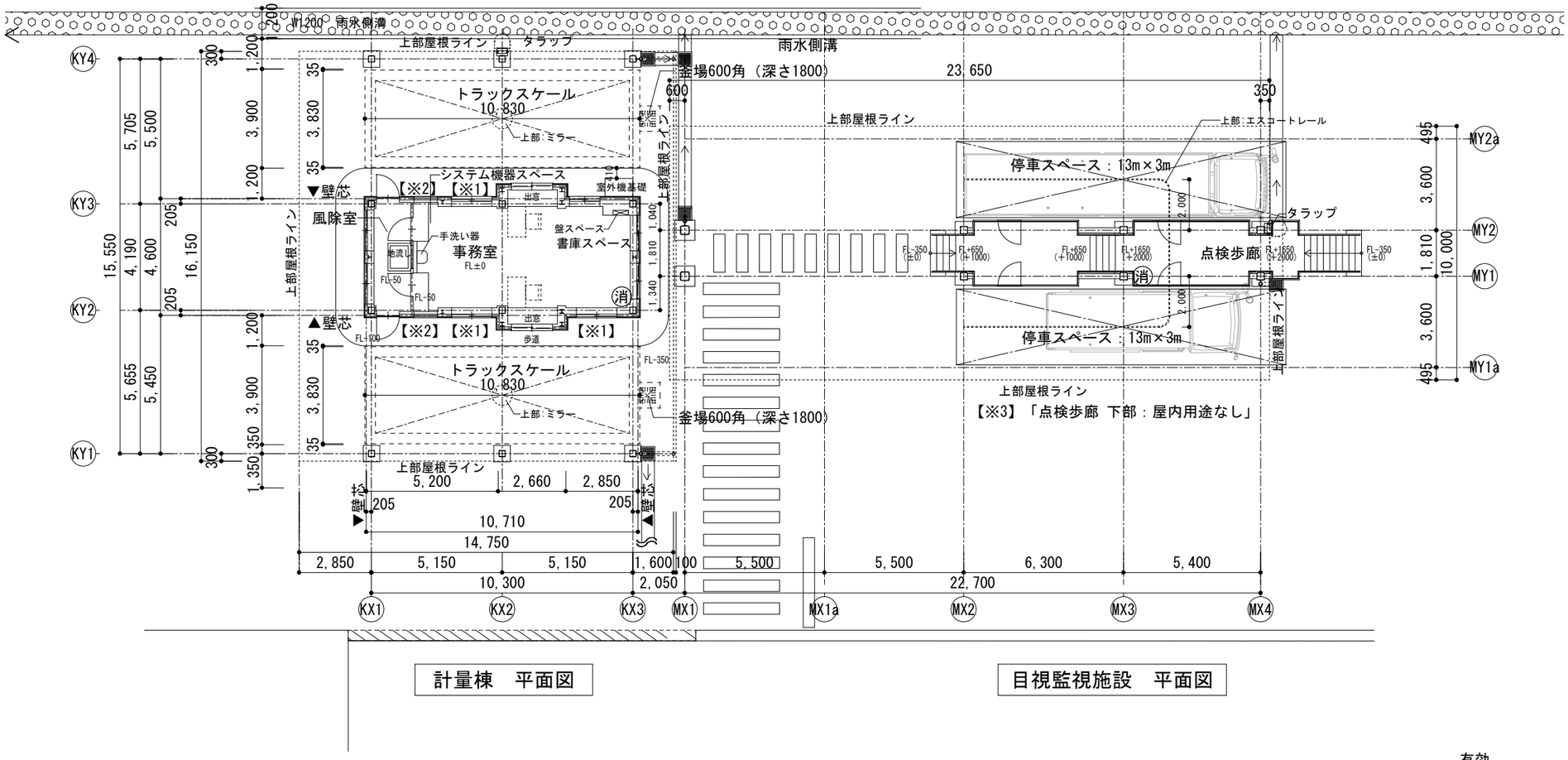
下地略号				仕上略号				塗装略号	
ALC	ALC板	※	内装制限に準ずる	MW	メラミン化粧鋼板	RC	鉄筋コンクリート	SOP	合成樹脂調合ペイント塗り
SUS	ステンレス	GB-R	せっこうボード						
		GB-S	シージングせっこうボード						
		FK	けい酸カルシウム板						
		FK-D	化粧けい酸カルシウム板						

特記

物件名　第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事

図面名　管理棟・目視監視施設　外部仕上表　縮尺 A1:– N.S
計量棟　外部仕上表　A3:– N.S

図番　D-202



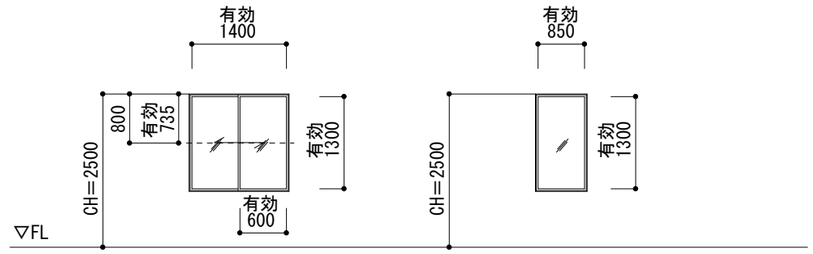
計量棟　平面図

目視監視施設　平面図

㊟ 消火器(特記なき限りABC10型)：歩行距離20m以内

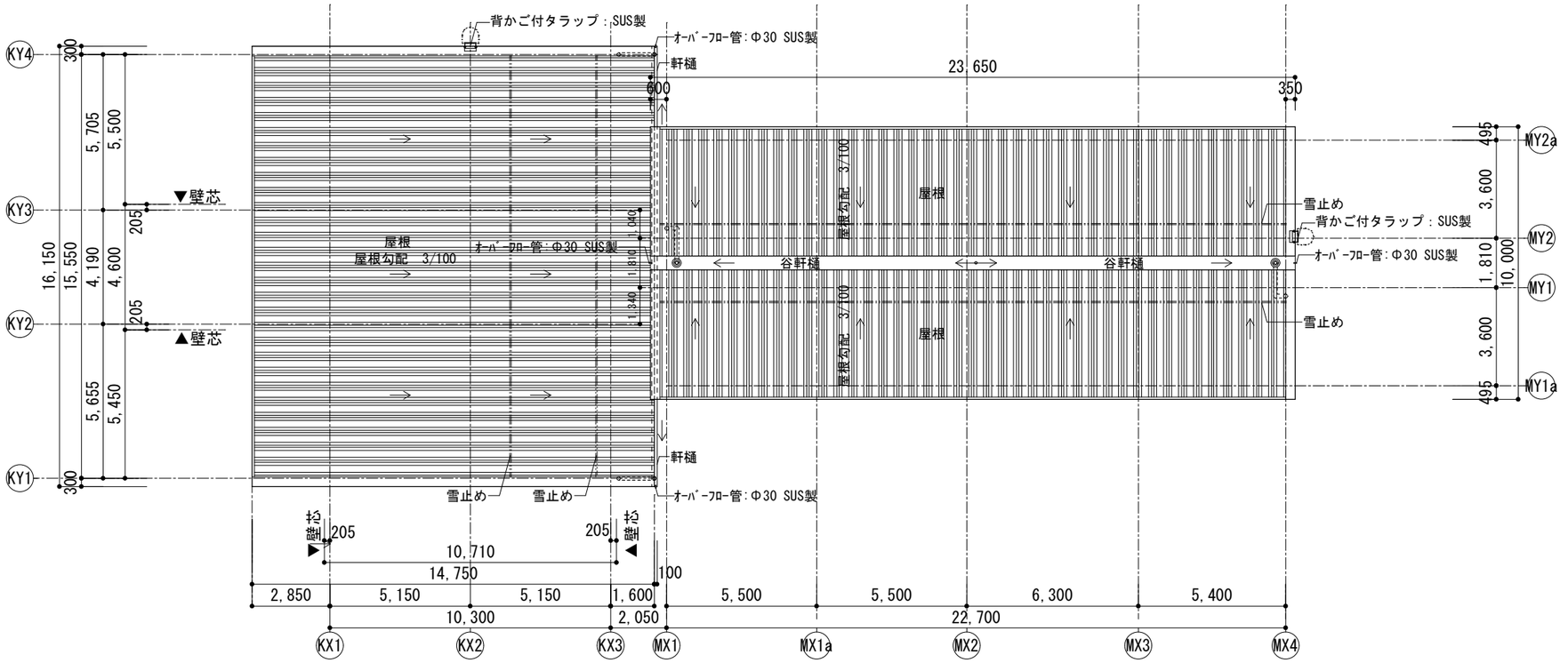
事務室　開口部チェック　床面積43.64㎡
(W1.400×H1.300×3)×20・・・・＝109.20㎡　＞43.64　採光上有窓
(WO.600×HO.735×3)×50・・・・＝ 66.15㎡　＞43.64　排煙設備不要
(WO.600×H1.300×3)×20・・・・＝ 46.80㎡　＞43.64　自然換気OK
【※1】　対象開口部

消防法普通階判定チェック　床面積(外壁で囲まれた部分)51.92㎡
51.92/30＝1.74　※サッシ下端は床面から1200mm以下とする。
FIX　　WO.850×H1.300×2=2.210㎡(W750mmH1200以上のサッシ2箇所)
2.21㎡　＞　1.74㎡　普通階OK
【※2】　対象開口部



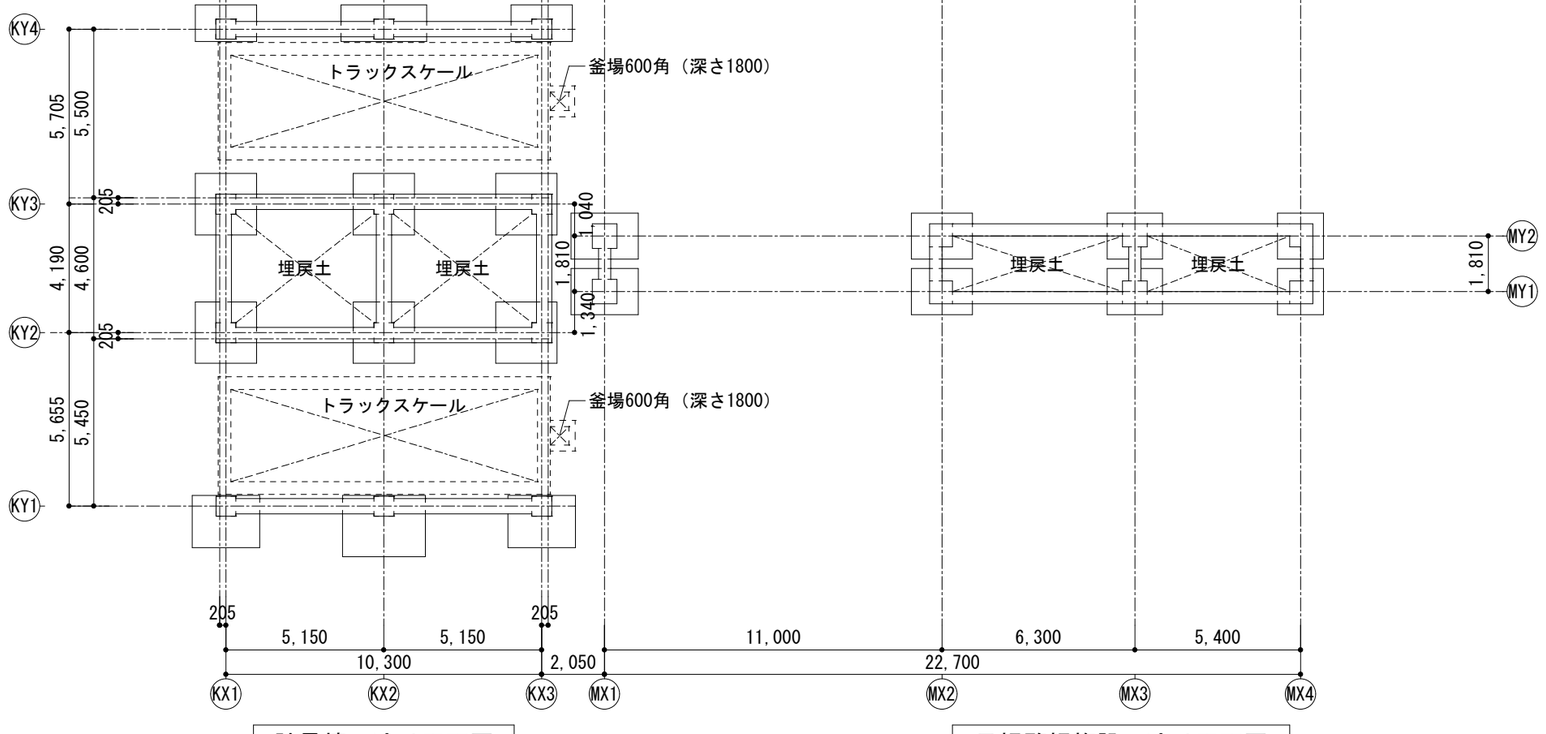
特記

物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事	
図面名	計量棟・目視監視施設 平面図	縮尺 A1:1/100 A3:1/200
		図番 D-203



計量棟　屋根伏図

目視監視施設　屋根伏平面図

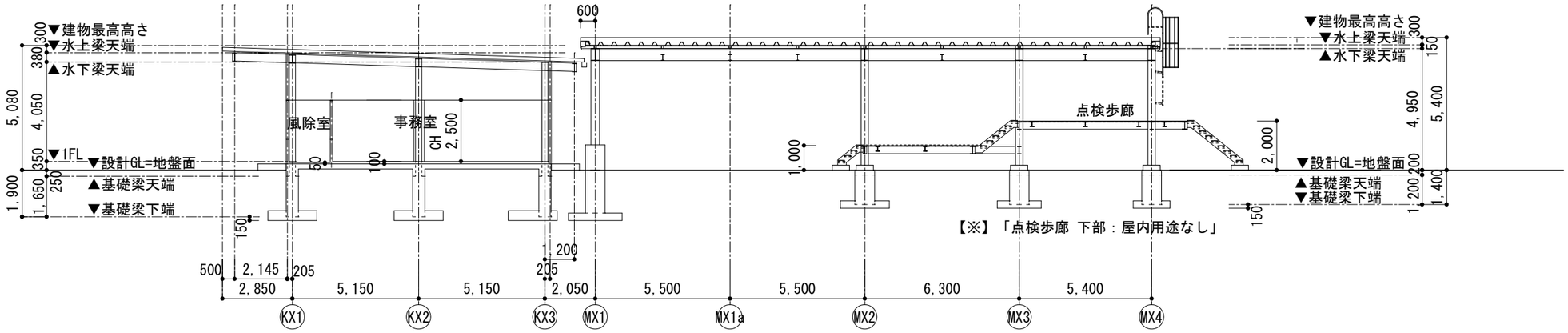


計量棟　ﾋﾟｯﾄ平面図

目視監視施設　ﾋﾟｯﾄ平面図

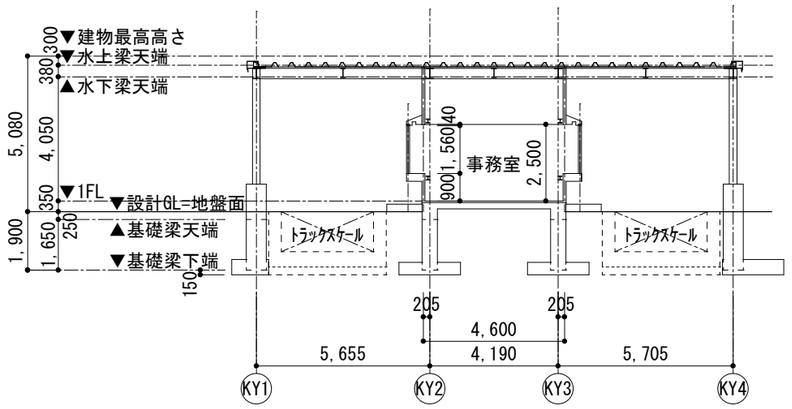
特記

物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事		
図面名	計量棟・目視監視施設 ﾋﾟｯﾄ平面図／屋根伏図	縮尺	A1:1/100 A3:1/200
図番	D-204		

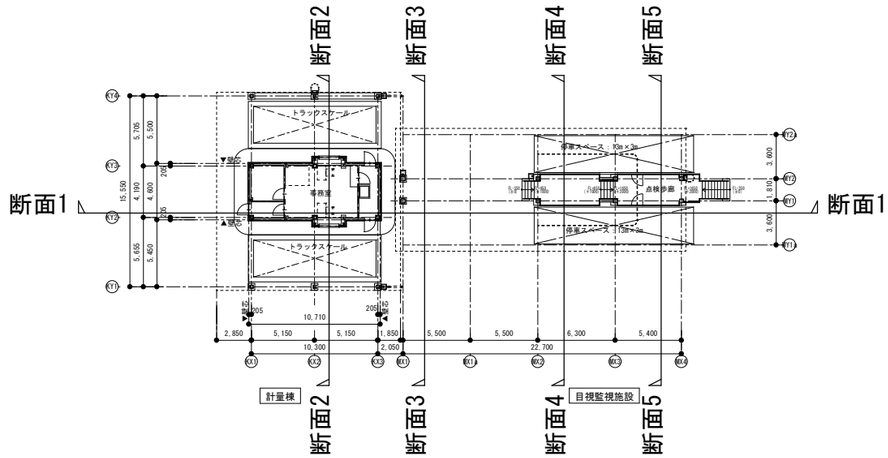


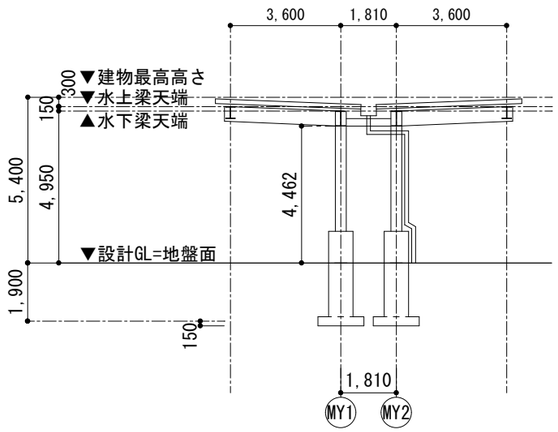
計量棟 | 断面図１

目視監視施設 | 断面図１



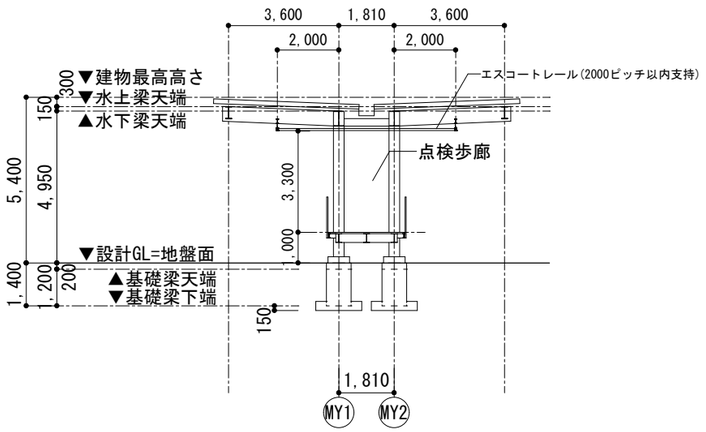
計量棟 | 断面図２





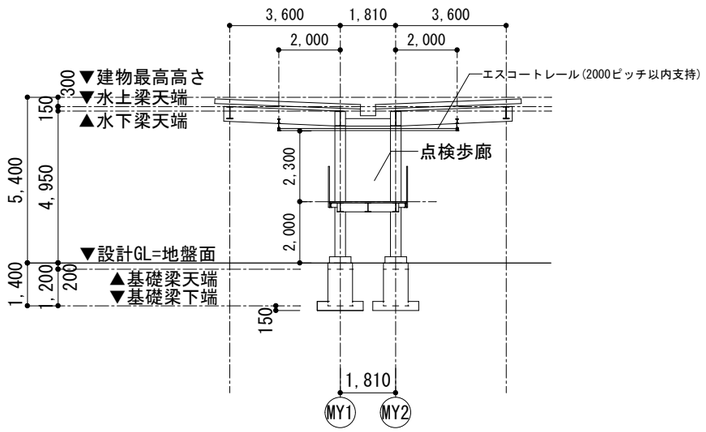
目視監視施設 | 断面図３

MX1～MX1a



目視監視施設 | 断面図４

MX2～MX3



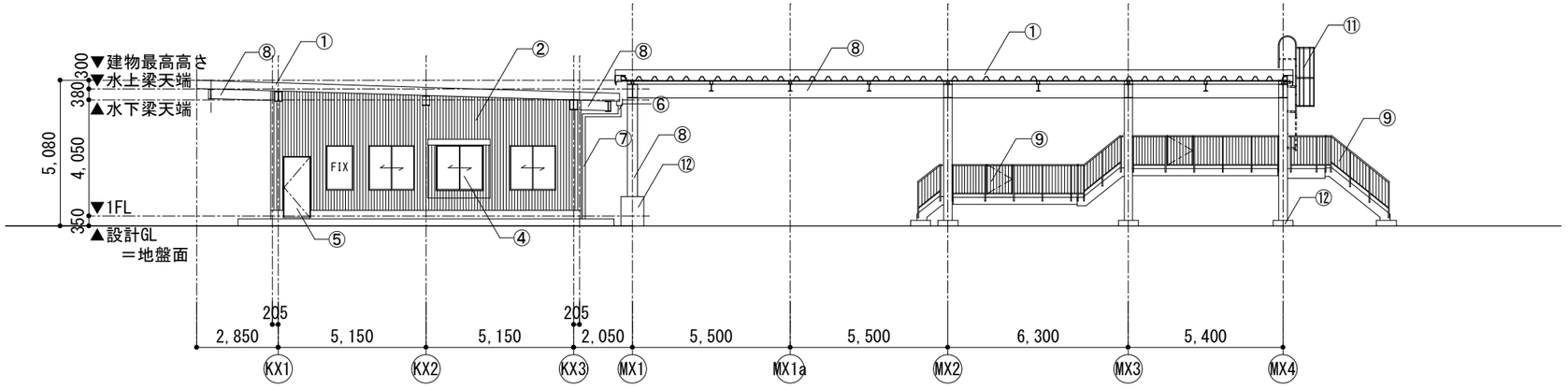
目視監視施設 | 断面図５

MX3～MX4

特記				物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事
				図面名	計量棟・目視監視施設 断面図
				縮尺	A1:1/100 A3:1/200
				図番	D-205

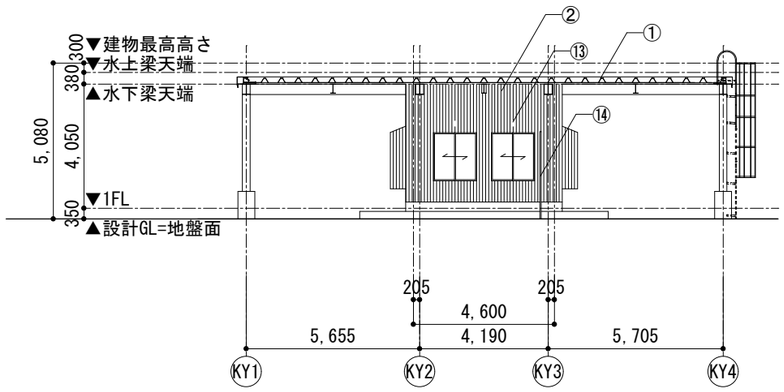
凡例

記号	仕上
①	屋根：シングル折版　t0.8カラーガルバリウム鋼板
②	外壁：t0.6 金属サイディング　カラーガルバリウム鋼板
③	RC基礎立上り：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修 防水形複層塗材Ｅ
④	サッシ：アルミ電解着色
⑤	SD：SOP
⑥	軒樋：t0.5耐酸被膜鋼板
⑦	縦樋：硬質塩ビ管（VPカラー）
⑧	鉄部：溶融亜鉛めっき処理
⑨	手摺：スチール　溶融亜鉛めっき処理
⑩	ササラ：スチール　溶融亜鉛めっき処理
⑪	タラップ：スチール　溶融亜鉛めっき処理
⑫	柱根巻：浸透形吸水防止材塗布
⑬	ベントキャップ（設備工事）：焼付塗装　特注色
⑭	エアコンドレン管40VP

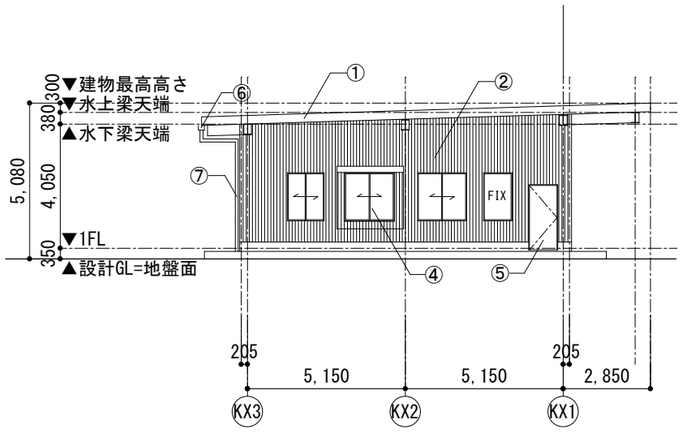


計量棟　西側立面図

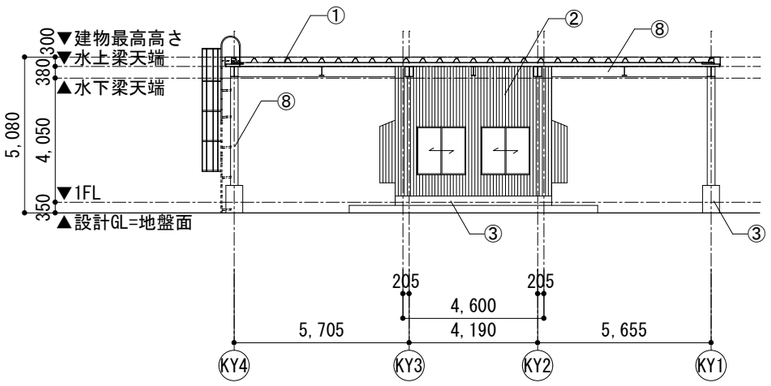
目視監視施設　西側立面図



計量棟　南側立面図

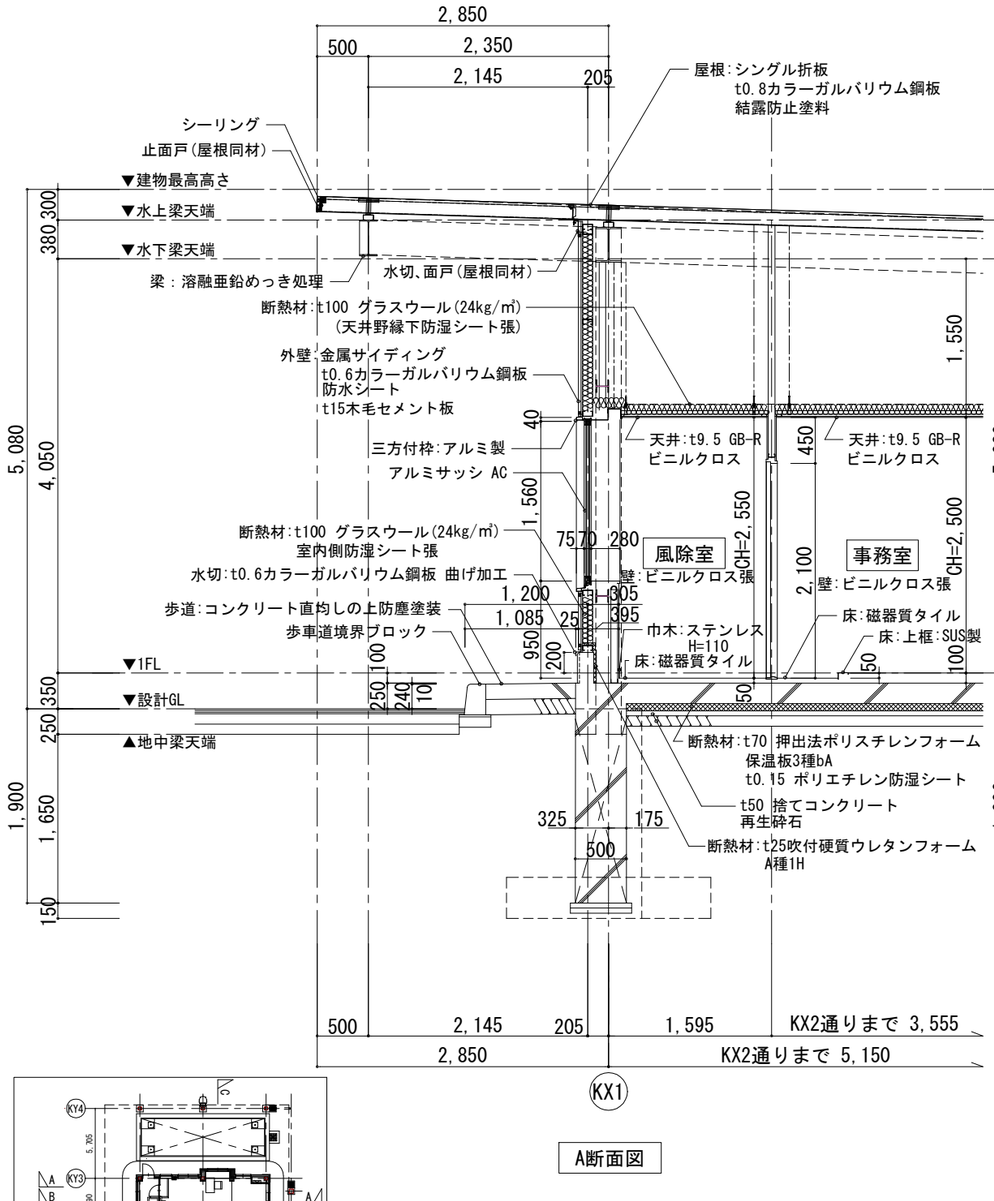


計量棟　東側立面図

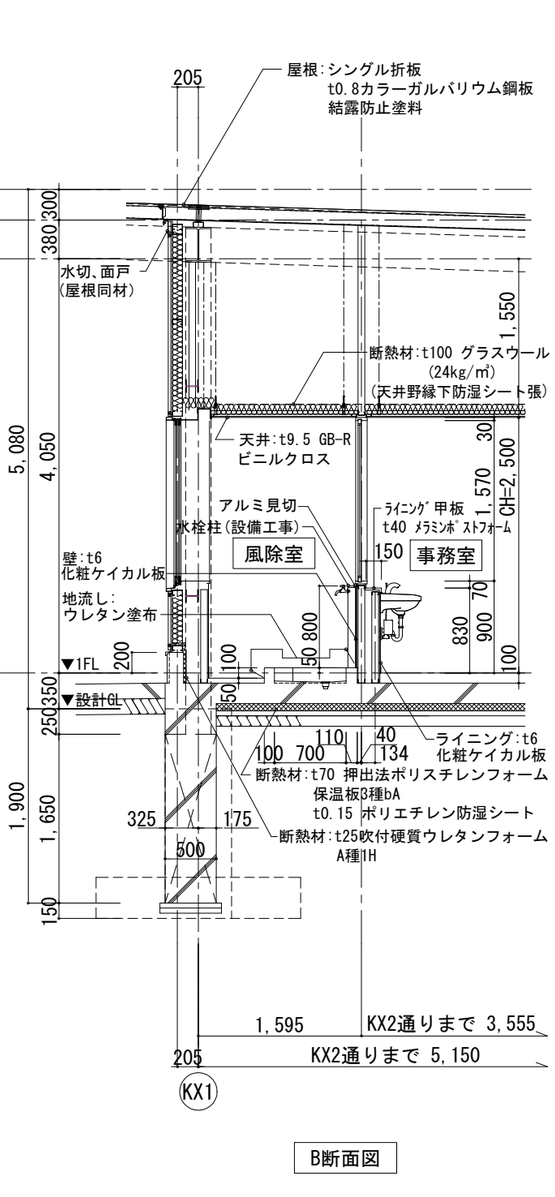


計量棟　北側立面図

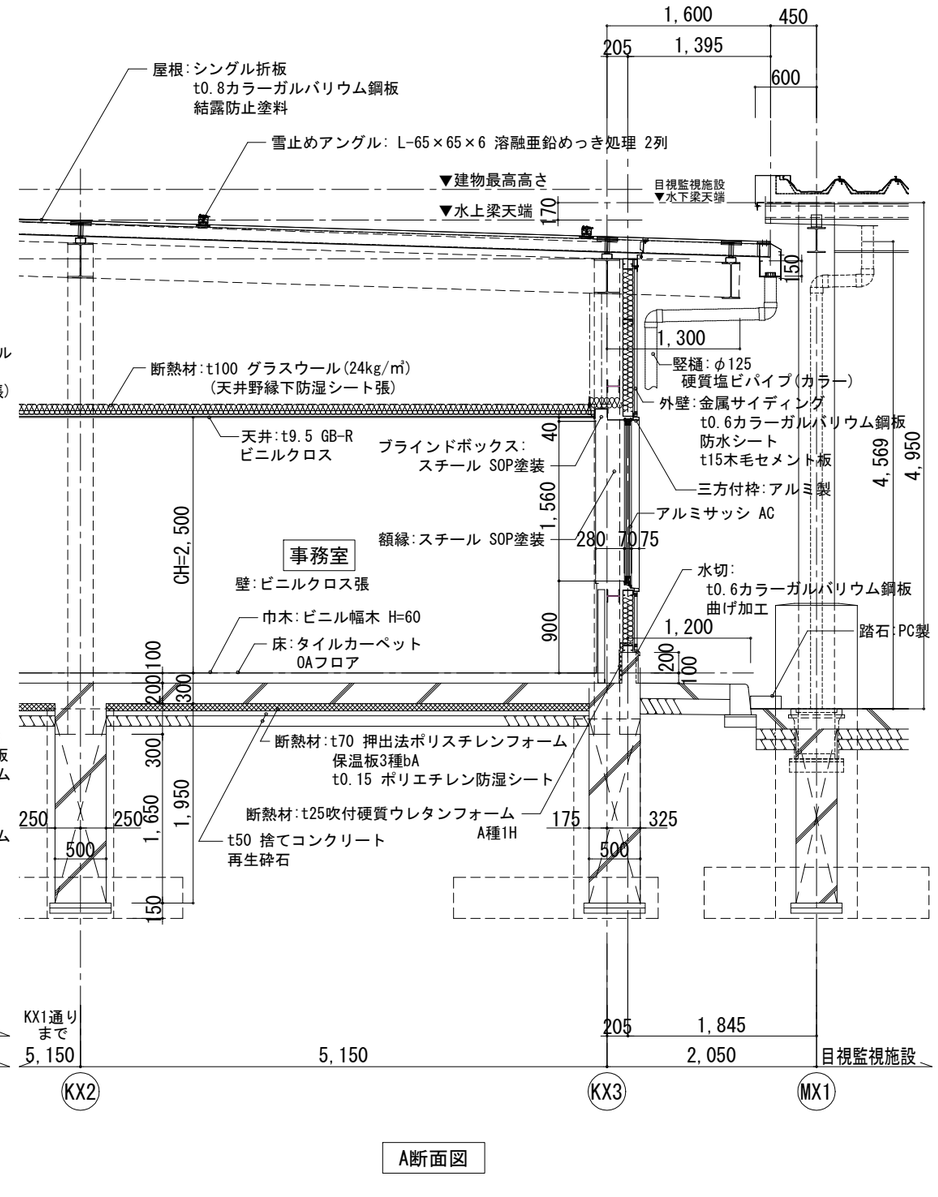
特記				物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事
				図面名	計量棟･目視監視施設 立面図
				縮尺	A1:1/100 A3:1/200
				図番	D-206



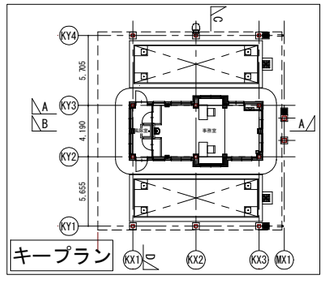
A断面図



B断面図



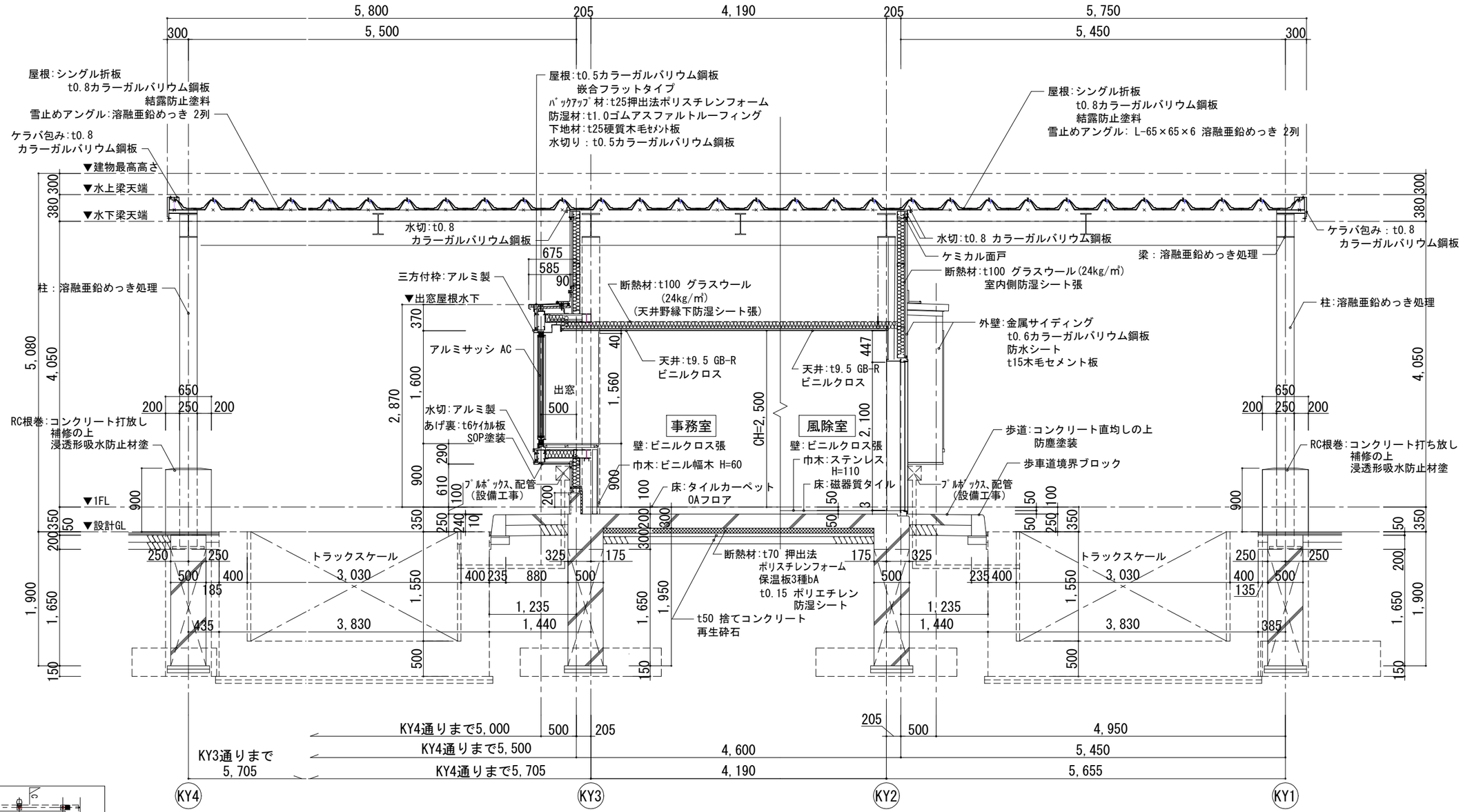
A断面図



※ 天井裏断熱材はt100グラスウール(24kg/㎥)ポリエチレンフィルム包み込（6面パック）とする。

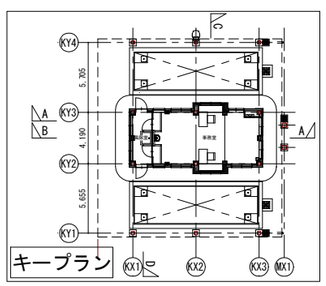
特記

				物件名	第R6-8号 新産業廃棄物最終処分場建設工事
				図面名	計量棟 矩計図(1)
				縮尺	A1:- 1/30 A3:- 1/60
				図番	D-207



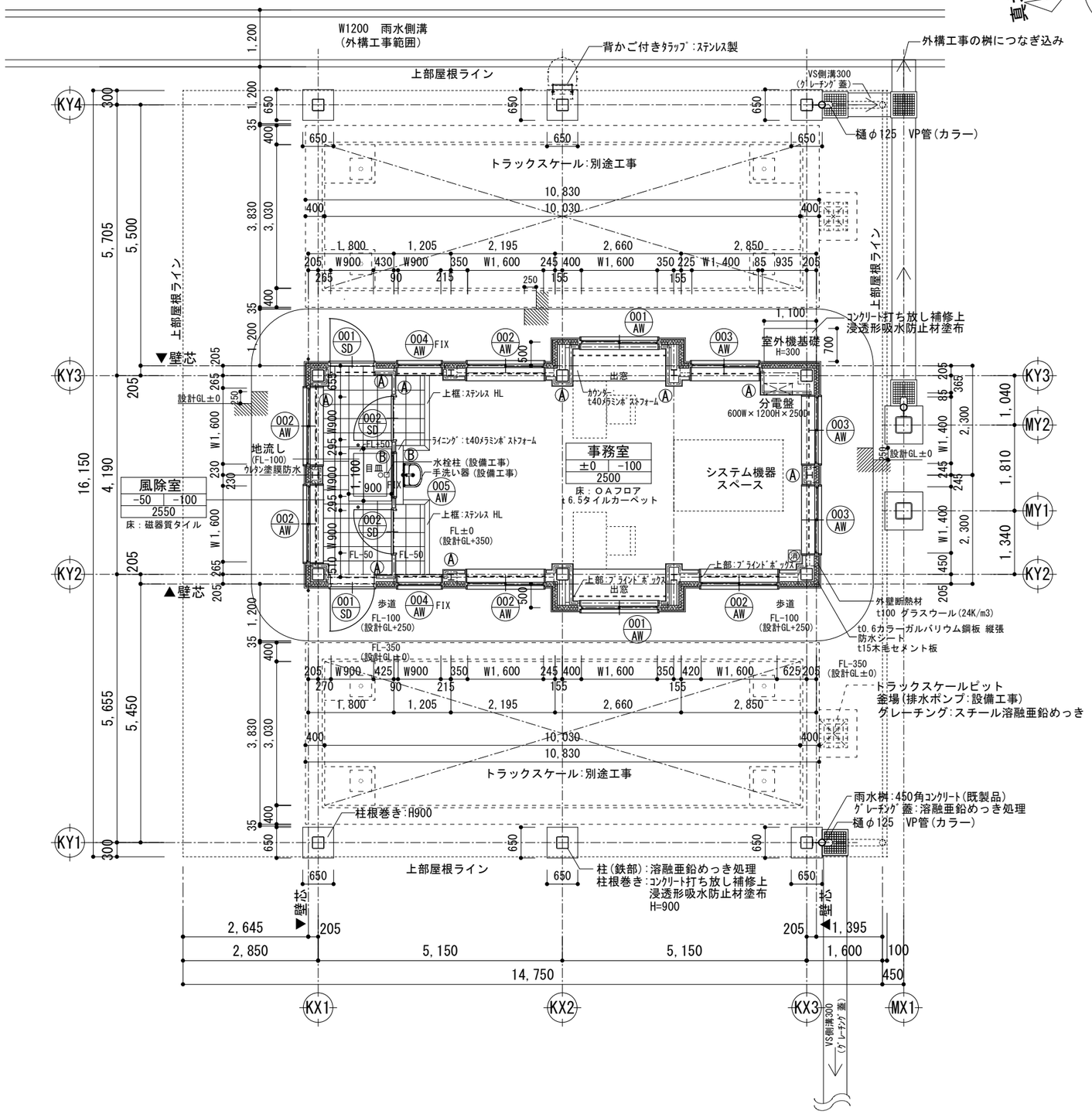
C断面図

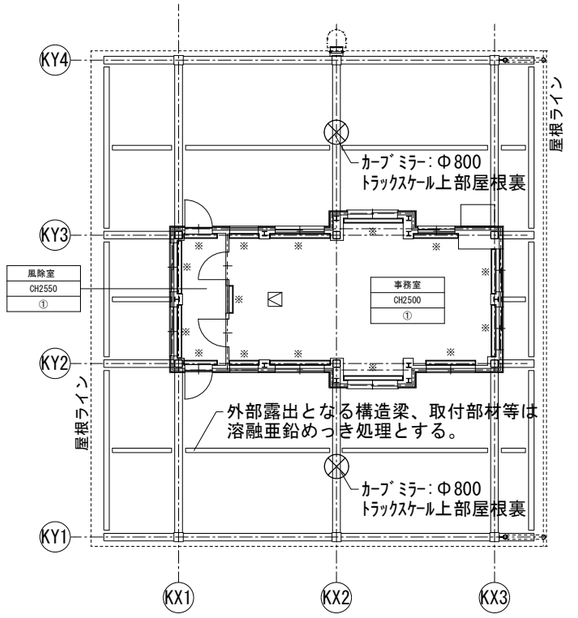
D断面図



※ 天井裏断熱材はt100グラスウール(24kg/m³)ポリエチレンフィルム包み込 (6面パック) とする。

特記				物件名	第R6-8号 新産業廃棄物最終処分場建設工事
				図面名	計量棟 矩計図(2)
				縮尺	A1:- 1/30 A3:- 1/60
				図番	D-208





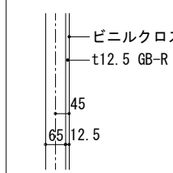
	符号	仕様
天井	①	ビニルクロス：t9.5 GB-R
	※	ブラインドボックス
	▨	天井点検口：450×450(アルミ製)

室名
天井高（床仕上高～）
仕上符号

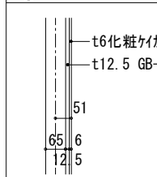
天井伏図　S=1/200（A3）

壁種別 凡例　1/20

Ⓐ



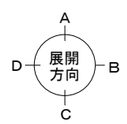
Ⓑ



凡例

消	置き型消火器ケース UFB-3F-2500-PWH（ﾕﾆｵﾝ）同等品 ｽﾁｰﾙﾎﾟｰﾗﾙﾎﾜｲﾄﾍﾟｲﾝﾄ 1ヵ所
•	戸当り

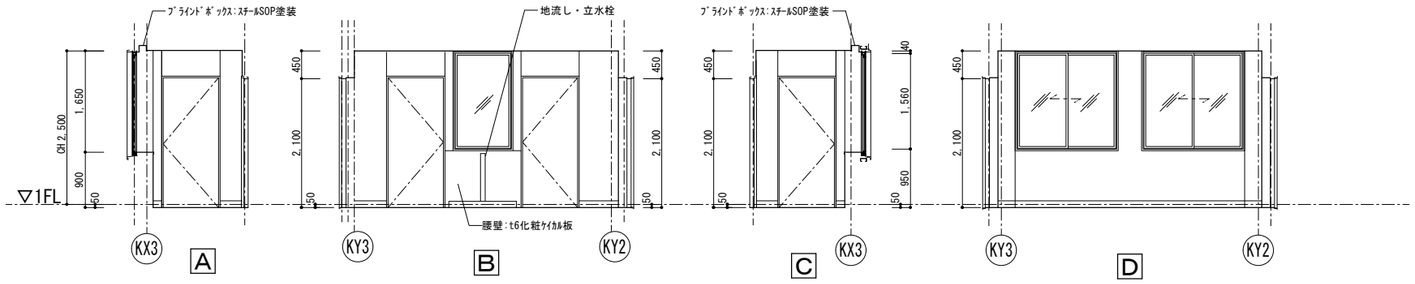
室名
仕上ﾚﾍﾞﾙ｜ｽﾗﾌﾞﾚﾍﾞﾙ
天井高さ



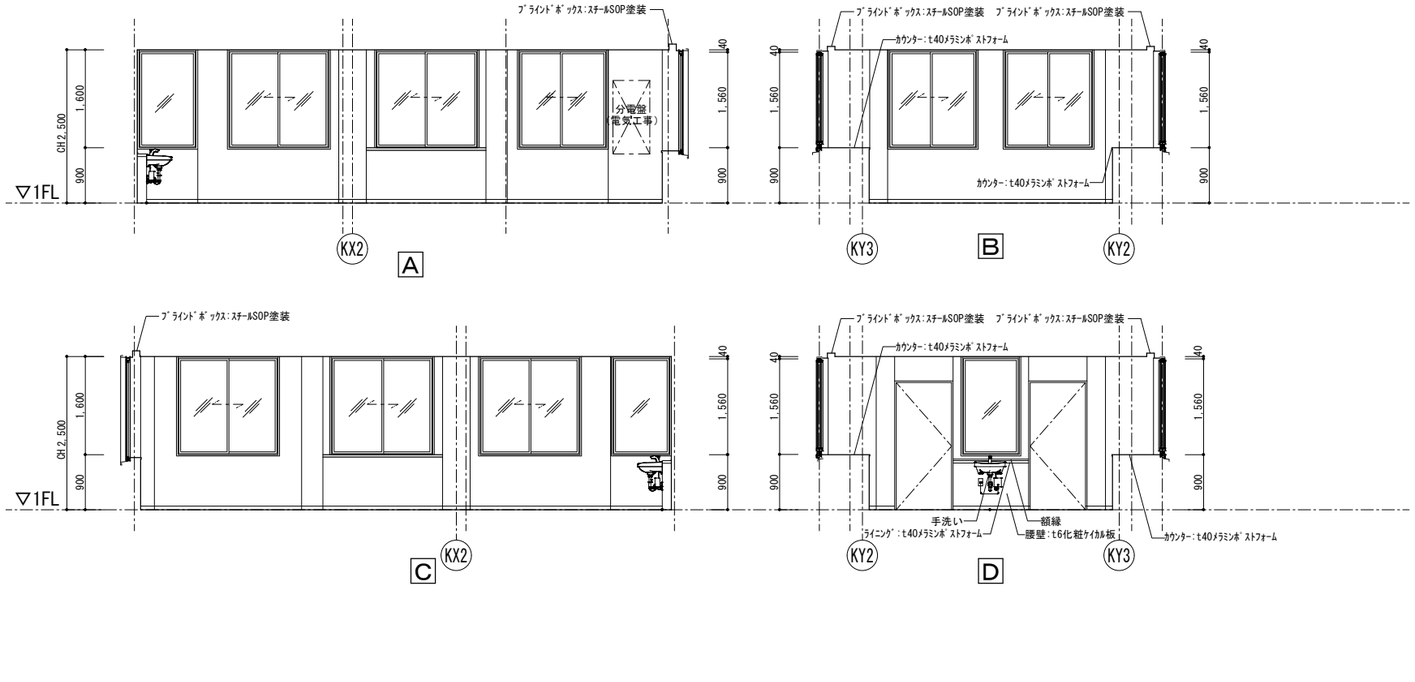
※ 001 AW (2ヶ所)出窓部分の室内側に窓・壁を設置する設計変更を予定しています。

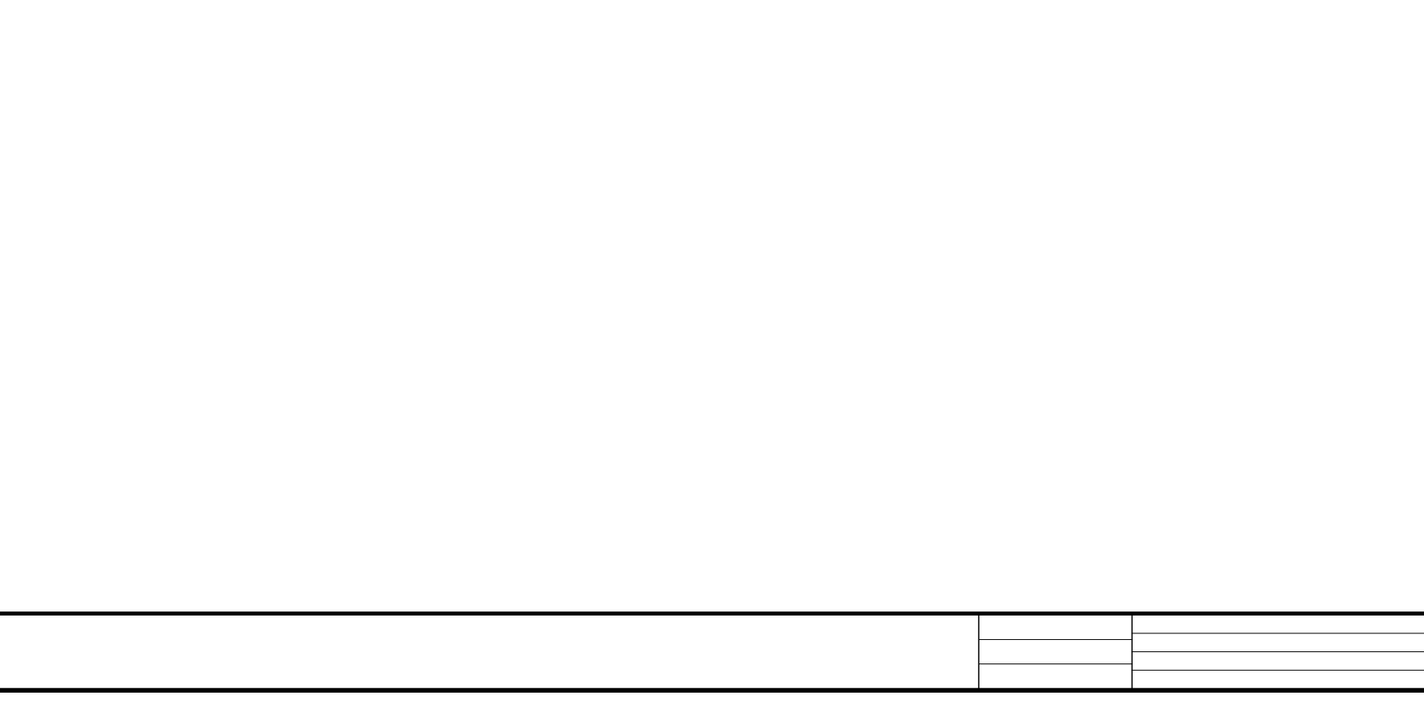
特記				物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事
				図面名	計量棟 平面詳細図/天井伏図　縮尺 A1:1/50 A3:1/100　図番 D-209

風除室	
天井仕上	ビニルクロス
廻縁	—
壁仕上	ビニルクロス
腰壁仕上 地流し前	t6化粧ケイカル板
幅木	ステンレス
床仕上	磁器質タイル



事務室	
天井仕上	ビニルクロス
廻縁	—
壁仕上	ビニルクロス
腰壁仕上 手洗い前	t6化粧ケイカル板
幅木	ビニル幅木
床仕上	t6.5ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ ＯＡフロア





特記				物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事
				図面名	計量棟 展開図
				縮尺	A1:1/50 A3:1/100
				図番	D-210

略　　号

◆ 建具記号

番号 / 建具符号（SD）

◆ 性能記号
- D　特定防火設備
- F　防火設備
- N　不燃戸

◆建具種別

SD　鋼製扉	AD　アルミ製扉
SW　鋼製窓	AW　アルミ製窓
SG　鋼製ガラリ	AG　アルミ製ガラリ
SS　鋼製重量シャッター	WD　木製扉
LSD 軽量鋼製扉	WW　木製窓
LSS 鋼製軽量シャッター	WG　木製ガラリ
SF　鋼製枠	SP　可動間仕切(パーテーション)
SSD ステンレス製扉	SLW スライディングウォール
SSW ステンレス製窓	CW　カーテンウォール
SSG ステンレス製ガラリ	
SSF ステンレス製枠	

◆ガラス種別

S　普通板ガラス	◆ ガラス取付材
F　型板ガラス	S　シーリング
FL　フロートガラス	G　グレイジングガスケット
W　網入ガラス	Z　ジッパーガスケット
T　強化ガラス	
D　複層ガラス	
LD　Low-E複層ガラス	
L　合わせガラス	
H　倍強度ガラス	
LH 倍強度合わせガラス	
SL 防音合わせガラス	
FR 耐熱強化ガラス	

◆建具金物記号

◆施錠金物
- ①　空錠
- ②　本締錠
- ③　ケースロック
- ④　表示錠
- ⑤　点検口錠
- ⑥　電気錠

◆操作金物
- N　握玉
- LH レバーハンドル
- CH ケースハンドル
- P　引手
- GH グレモンハンドル
- HP 押棒、押板

◆支持金物
- H　丁番
- FH フロアヒンジ
- AH オートヒンジ
- PH ピボットヒンジ
- LH ラバトリーヒンジ
- CR 隠し丁番
- HR ハンガーレール

◆開閉金物
- DC　ドアクローザ
- DC-1 ドアクローザ（コンシールド）
- DC-2 ドアクローザ
- バックチェック機能
- ラッチング機能
- ディレードアクション機能
- DS 戸当り
- FR フランス落し
- WS ワイヤーストッパー

◆ 錠区分

錠記号
- ○　空錠
- Ⓘ　シリンダ錠
- △　サムターン
- ×　非常錠

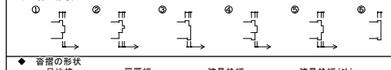
◆ その他金物
- FB(フラットバー)

◆ 仕上記号
- AC　二次電解着色
- HL　ヘアーライン
- VS　塩化ビニル鋼板
- PW　ポリエステル化粧合板
- MW　メラミン化粧合板
- DS　化粧フィルム張り
- MR　鏡面仕上
- SOP　合成樹脂調合ペイント
- CL　クリヤラッカー
- OS　オイルステイン
- PH　バイブレーション
- BP　焼付塗装(フッ素樹脂系)
- 2-FUE フッ素樹脂焼付塗装

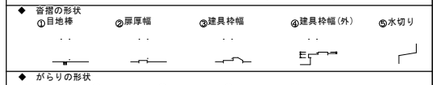
◆材種記号
- S　スチール
- AL アルミニウム
- SL ステンレス
- W　木

◆遮音性能記号
- T-1
- T-2
- T-3
- T-4

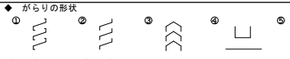
◆ 枠の形状



◆ 吸音の形状



◆ がらりの形状

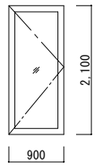


○印は該当を、空欄は非該当を表す
本表に記入なき錠の使用区分は、キープランによる
本表に記入なき仕様は、仕様書による
本表に記入された商品名は、同等品を含む
姿図のW、H寸法は枠の内法寸法を示す
1 フロアヒンジ、オートヒンジ、ドアクローザは特記なき場合は、ストッパーなしとする
2 ドア開放時に柱または壁にドアが当たる恐れのある場合、戸当り付きとする
3 便所ブースドアは建具表に記載のない場合、内部仕上表による
4 防火設備については認定番号取得製品を使用する
5 既製品の建具には付属金物一式を含むものとする
6 両開きの特定防火設備、防火設備は順位調整器付とする。

001 SD　風除室　数量 2

開閉方法　親子扉

□ 特定防火設備
□ 防火設備　■ 指定なし
□ 常時開放戸　□ 常時閉鎖戸



枠 形状	枠 見込	枠 材種	枠 仕上	扉・障子 見込	扉・障子 材種	扉・障子 仕上	額縁 見込	額縁 材種	額縁 仕上	施錠金物 ③ 支持金物	操作金物 LH 開閉金物
④	—	S	SOP	—	S	SOP	—	S	SOP	PH	DC

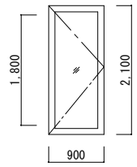
吹寄 形状	吹寄 見込	吹寄 材種	吹寄 仕上	ガラス 材種	ガラス 厚	ガラス 取付材	ガラリ 形状	ガラリ 材種	ガラリ 仕上	網戸 枠材種	網戸 枠仕上	網戸 網材種
④	—	SL	HL	T	10	S	—	—	—	—	—	—

■ 付属金物
付属金物一式
■ 備考
セミエアタイト
飛散防止フィルム張

002 SD　事務室(風除室1側)　数量 2

開閉方法　片開き

□ 特定防火設備
□ 防火設備　■ 指定なし
□ 常時開放戸　□ 常時閉鎖戸



枠 形状	枠 見込	枠 材種	枠 仕上	扉・障子 見込	扉・障子 材種	扉・障子 仕上	額縁 見込	額縁 材種	額縁 仕上	施錠金物 ③ 支持金物	操作金物 LH 開閉金物
③	—	S	SOP	—	S	SOP	—	S	SOP	PH	DC

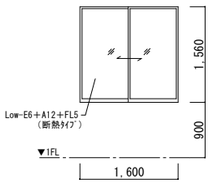
吹寄 形状	吹寄 見込	吹寄 材種	吹寄 仕上	ガラス 材種	ガラス 厚	ガラス 取付材	ガラリ 形状	ガラリ 材種	ガラリ 仕上	網戸 枠材種	網戸 枠仕上	網戸 網材種
③	—	SL	HL	T	10	S	—	—	—	—	—	—

■ 付属金物
付属金物一式
■ 備考
飛散防止フィルム張

001 AW　事務室　数量 2

開閉方法　引違窓

□ 特定防火設備
□ 防火設備　■ 指定なし
□ 常時開放戸　□ 常時閉鎖戸



枠 形状	枠 見込	枠 材種	枠 仕上	扉・障子 見込	扉・障子 材種	扉・障子 仕上	屋内三方額縁 見込	屋内三方額縁 材種	屋内三方額縁 仕上	施錠金物 — 支持金物	操作金物 — 開閉金物
-	70	AL	AC	36	AL	AC	125	S	SOP	—	—

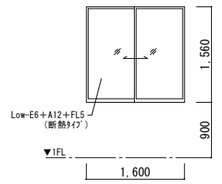
吹寄 形状	吹寄 見込	吹寄 材種	吹寄 仕上	ガラス 材種	ガラス 厚	ガラス 取付材	屋外三方付枠 見込	屋外三方付枠 材種	屋外三方付枠 仕上	網戸 枠材種	網戸 枠仕上	網戸 網材種
—	—	—	—	LD	図示	S	75	AL	AC	AL	AC	PPネット

■ 付属金物
付属金物一式
■ 備考
屋外下枠水切材：AL、AC、W=75
屋内下枠：ｽﾁｰﾙ、SOP塗装、D=125
ブラインドボックス

002 AW　事務室 3 / 風除室 2　数量 5

開閉方法　引違窓

□ 特定防火設備
□ 防火設備　■ 指定なし
□ 常時開放戸　□ 常時閉鎖戸



枠 形状	枠 見込	枠 材種	枠 仕上	扉・障子 見込	扉・障子 材種	扉・障子 仕上	屋内三方額縁 見込	屋内三方額縁 材種	屋内三方額縁 仕上	施錠金物 — 支持金物	操作金物 — 開閉金物
-	70	AL	AC	36	AL	AC	165	S	SOP	—	—

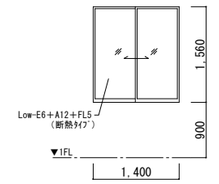
吹寄 形状	吹寄 見込	吹寄 材種	吹寄 仕上	ガラス 材種	ガラス 厚	ガラス 取付材	屋外三方付枠 見込	屋外三方付枠 材種	屋外三方付枠 仕上	網戸 枠材種	網戸 枠仕上	網戸 網材種
—	—	—	—	LD	図示	S	75	AL	AC	AL	AC	PPネット

■ 付属金物
付属金物一式
■ 備考
屋外下枠水切材：AL、AC、W=75
屋内下枠：ｽﾁｰﾙ、SOP塗装、D=280
ブラインドボックス

003 AW　事務室　数量 3

開閉方法　引違窓

□ 特定防火設備
□ 防火設備　■ 指定なし
□ 常時開放戸　□ 常時閉鎖戸



枠 形状	枠 見込	枠 材種	枠 仕上	扉・障子 見込	扉・障子 材種	扉・障子 仕上	屋内三方額縁 見込	屋内三方額縁 材種	屋内三方額縁 仕上	施錠金物 — 支持金物	操作金物 — 開閉金物
-	70	AL	AC	36	AL	AC	165	S	SOP	—	—

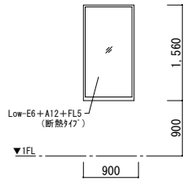
吹寄 形状	吹寄 見込	吹寄 材種	吹寄 仕上	ガラス 材種	ガラス 厚	ガラス 取付材	屋外三方付枠 見込	屋外三方付枠 材種	屋外三方付枠 仕上	網戸 枠材種	網戸 枠仕上	網戸 網材種
—	—	—	—	LD	図示	S	75	AL	AC	AL	AC	PPネット

■ 付属金物
付属金物一式
■ 備考
屋外下枠水切材：AL、AC、W=75
屋内下枠：ｽﾁｰﾙ、SOP塗装、D=280
ブラインドボックス

004 AW　事務室　数量 2

開閉方法　FIX窓

□ 特定防火設備
□ 防火設備　■ 指定なし
□ 常時開放戸　□ 常時閉鎖戸



枠 形状	枠 見込	枠 材種	枠 仕上	扉・障子 見込	扉・障子 材種	扉・障子 仕上	屋内三方額縁 見込	屋内三方額縁 材種	屋内三方額縁 仕上	施錠金物 — 支持金物	操作金物 — 開閉金物
-	70	AL	AC	36	AL	AC	165	S	SOP	—	—

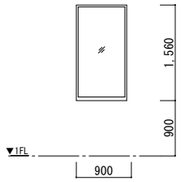
吹寄 形状	吹寄 見込	吹寄 材種	吹寄 仕上	ガラス 材種	ガラス 厚	ガラス 取付材	屋外三方付枠 見込	屋外三方付枠 材種	屋外三方付枠 仕上	網戸 枠材種	網戸 枠仕上	網戸 網材種
—	—	—	—	LD	図示	S	75	AL	AC	AL	AC	PPネット

■ 付属金物
付属金物一式
■ 備考
屋外下枠水切材：AL、AC、W=75
屋内下枠：ｽﾁｰﾙ、SOP塗装、D=165
ブラインドボックス

005 AW　事務室　数量 1

開閉方法　FIX窓

□ 特定防火設備
□ 防火設備　■ 指定なし
□ 常時開放戸　□ 常時閉鎖戸



枠 形状	枠 見込	枠 材種	枠 仕上	扉・障子 見込	扉・障子 材種	扉・障子 仕上	額縁 見込	額縁 材種	額縁 仕上	施錠金物 — 支持金物	操作金物 — 開閉金物
-	110	AL	AC	45	AL	AC	—	—	—	—	—

吹寄 形状	吹寄 見込	吹寄 材種	吹寄 仕上	ガラス 材種	ガラス 厚	ガラス 取付材	ガラリ 見込	ガラリ 材種	ガラリ 仕上	網戸 枠材種	網戸 枠仕上	網戸 網材種
—	—	—	—	FL	6	S	—	—	—	—	—	—

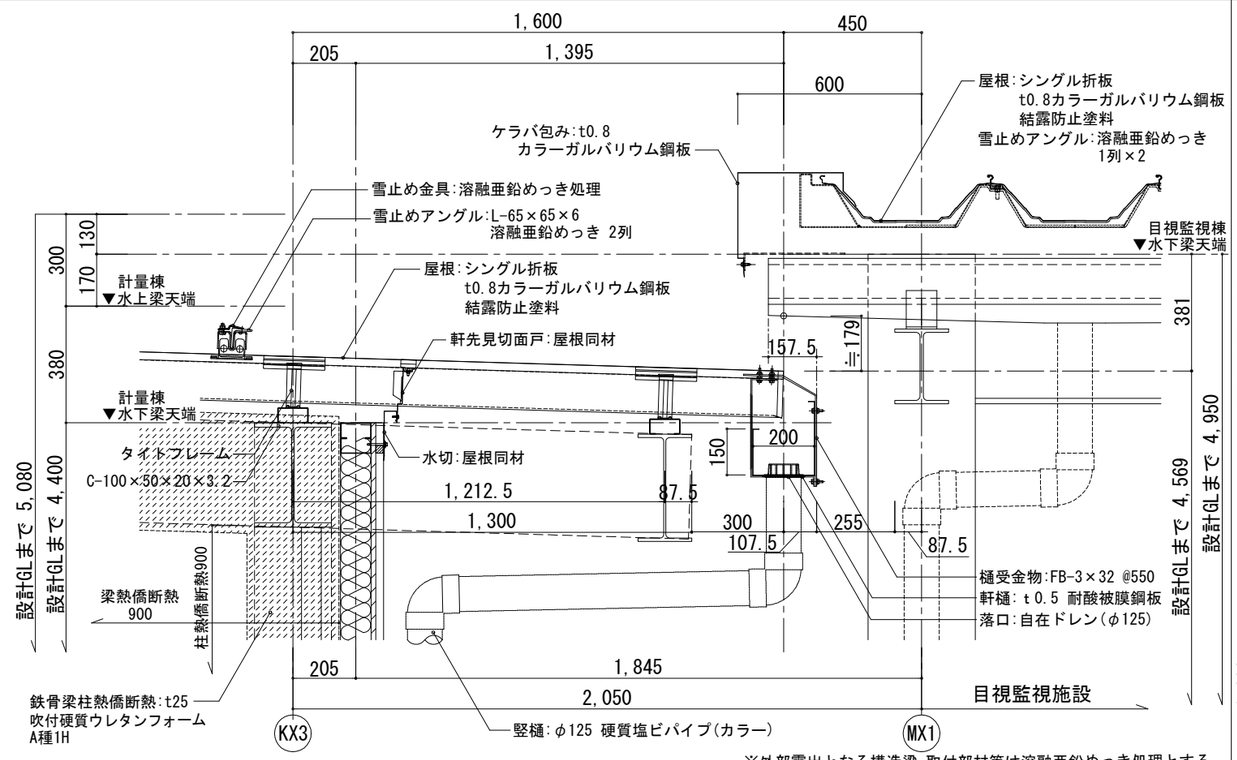
■ 付属金物
付属金物一式
■ 備考
ブラインドボックス
屋内用アルミ製窓：LIXIL　インショップフロント(同等品)

特記

物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事		
図面名	計量棟 建具表	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図番 D-211

屋根取合い(計量棟⇔目視監視棟)詳細図

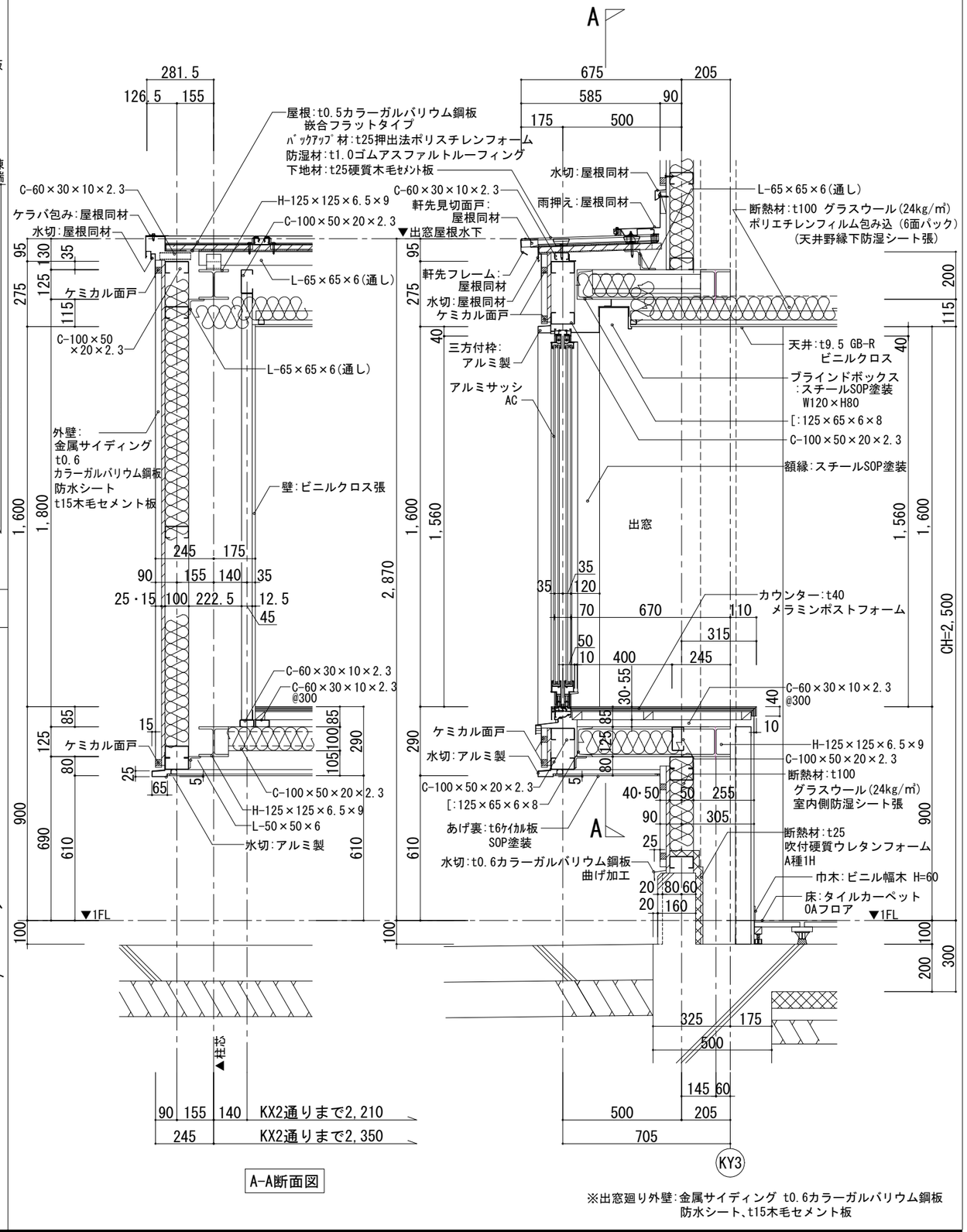
A1 1:10
A3 1:20



※外部露出となる構造梁、取付部材等は溶融亜鉛めっき処理とする。

出窓詳細図

A1 1:10
A3 1:20

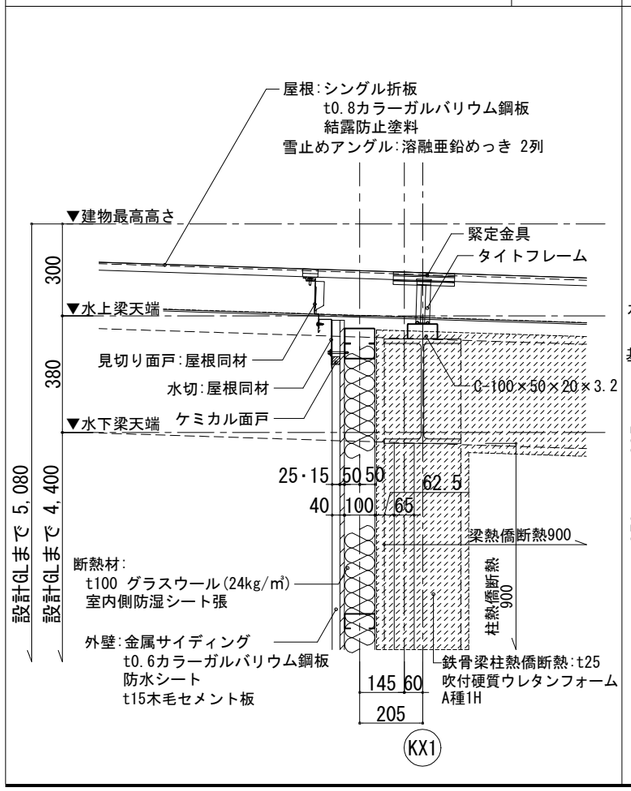


A-A断面図

※出窓廻り外壁:金属サイディング t0.6カラーガルバリウム鋼板
防水シート、t15木毛セメント板

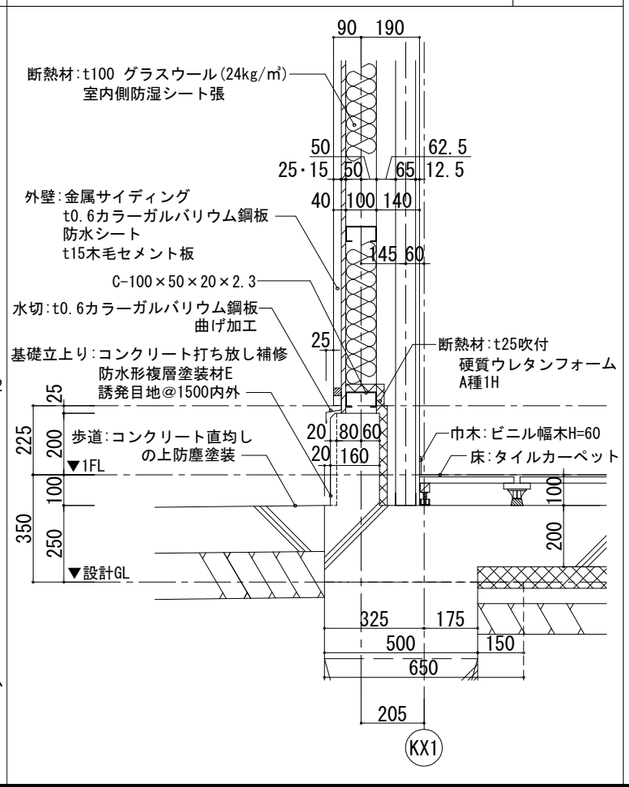
屋根(外壁)詳細図

A1 1:10
A3 1:20



外壁、基礎立上り詳細図

A1 1:10
A3 1:20

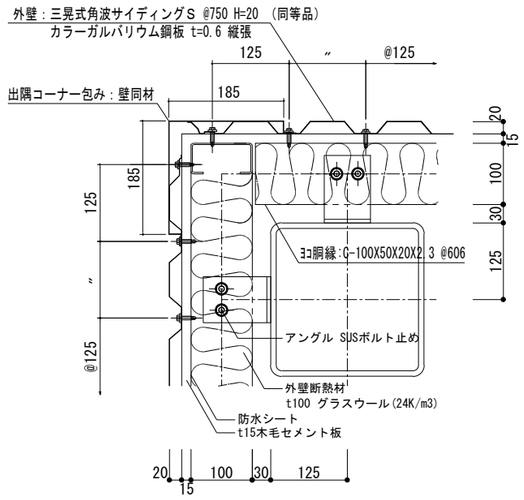


特記

			物件名	第R6-8号 新産業廃棄物最終処分場建設工事
			図面名	計量棟 部分詳細図(1)
			縮尺	A1:- 1/10 A3:- 1/20
			図番	D-212

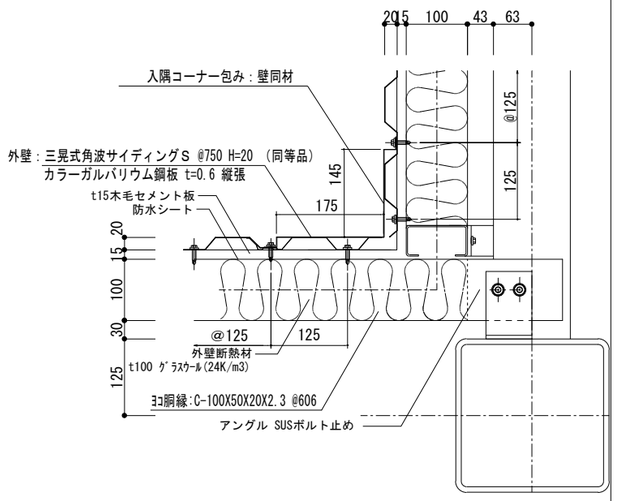
外壁 出隅コーナー詳細図

A1 1:5
A3 1:10



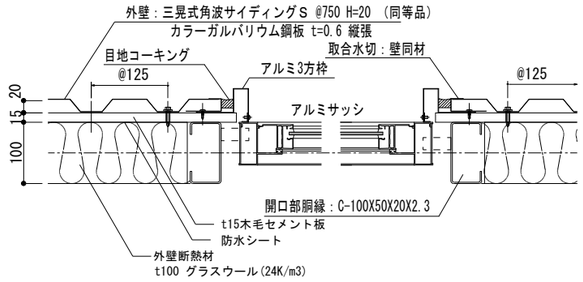
外壁 入隅コーナー詳細図

A1 1:5
A3 1:10



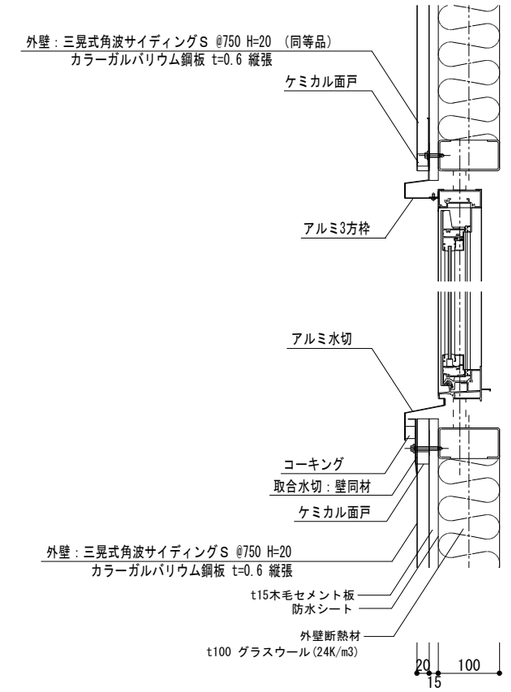
外壁 サッシ廻り平面詳細図

A1 1:5
A3 1:10



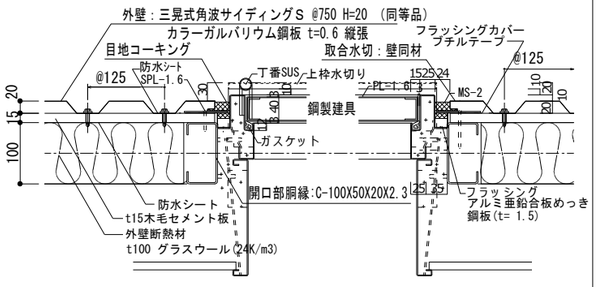
外壁 サッシ廻り断面詳細図

A1 1:5
A3 1:10



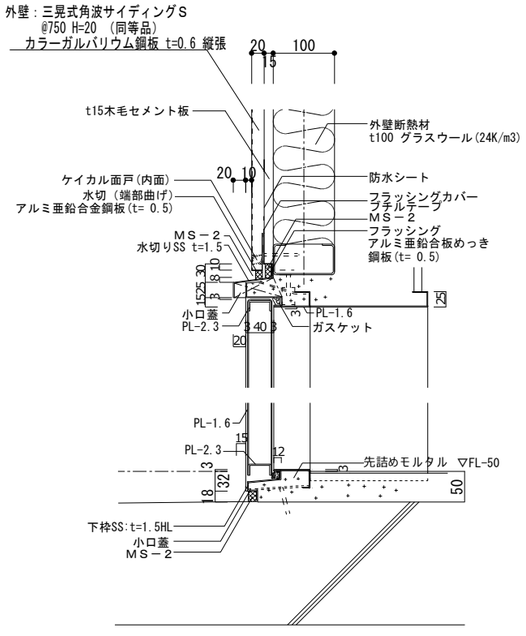
外壁 鋼製建具廻り平面詳細図

A1 1:5
A3 1:10



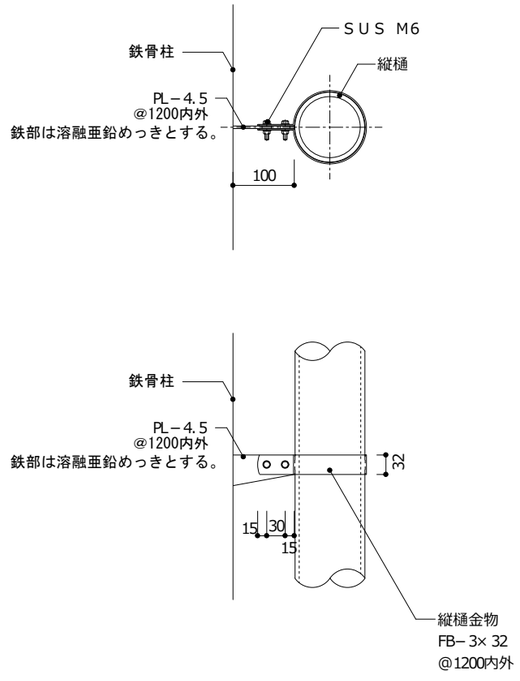
外壁 鋼製建具廻り断面詳細図

A1 1:5
A3 1:10



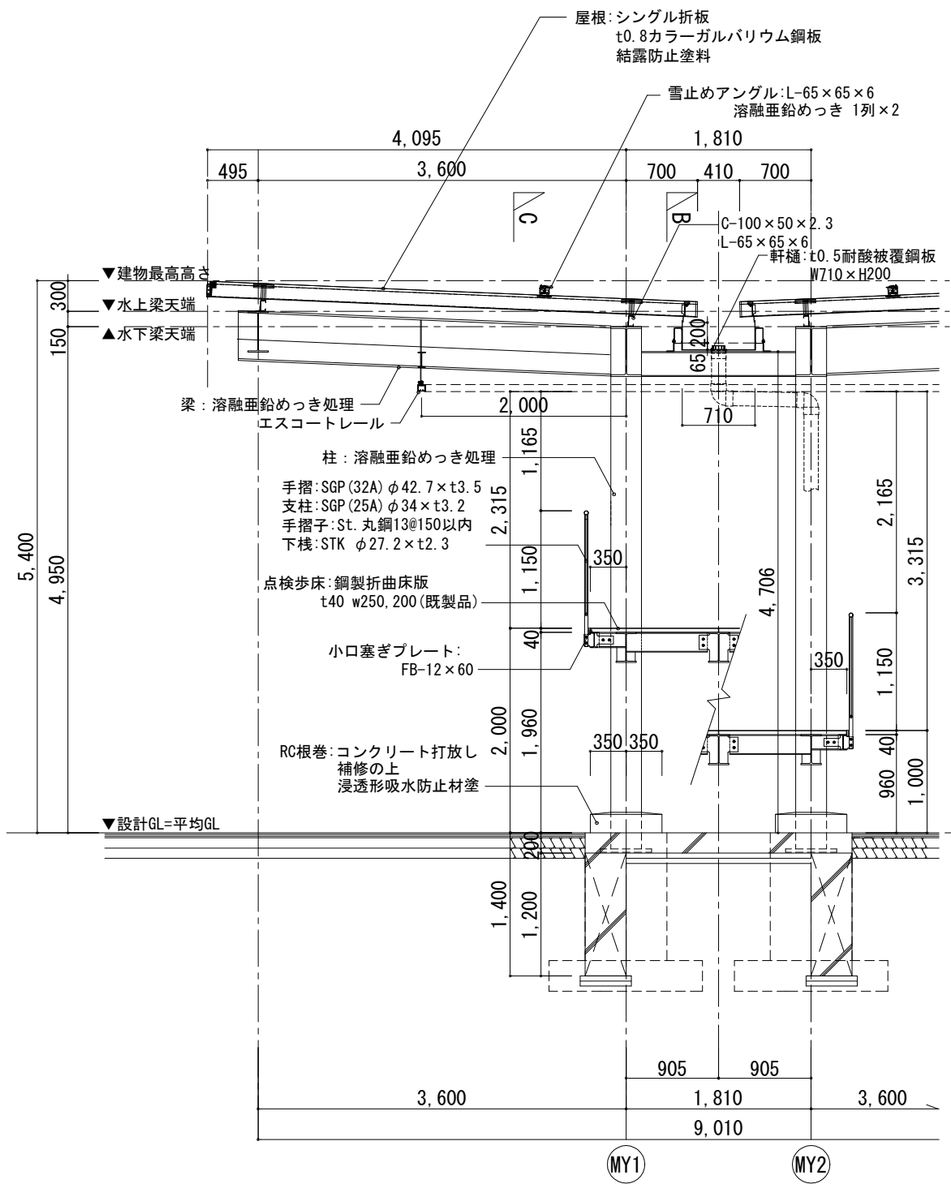
雨樋取付金物詳細図

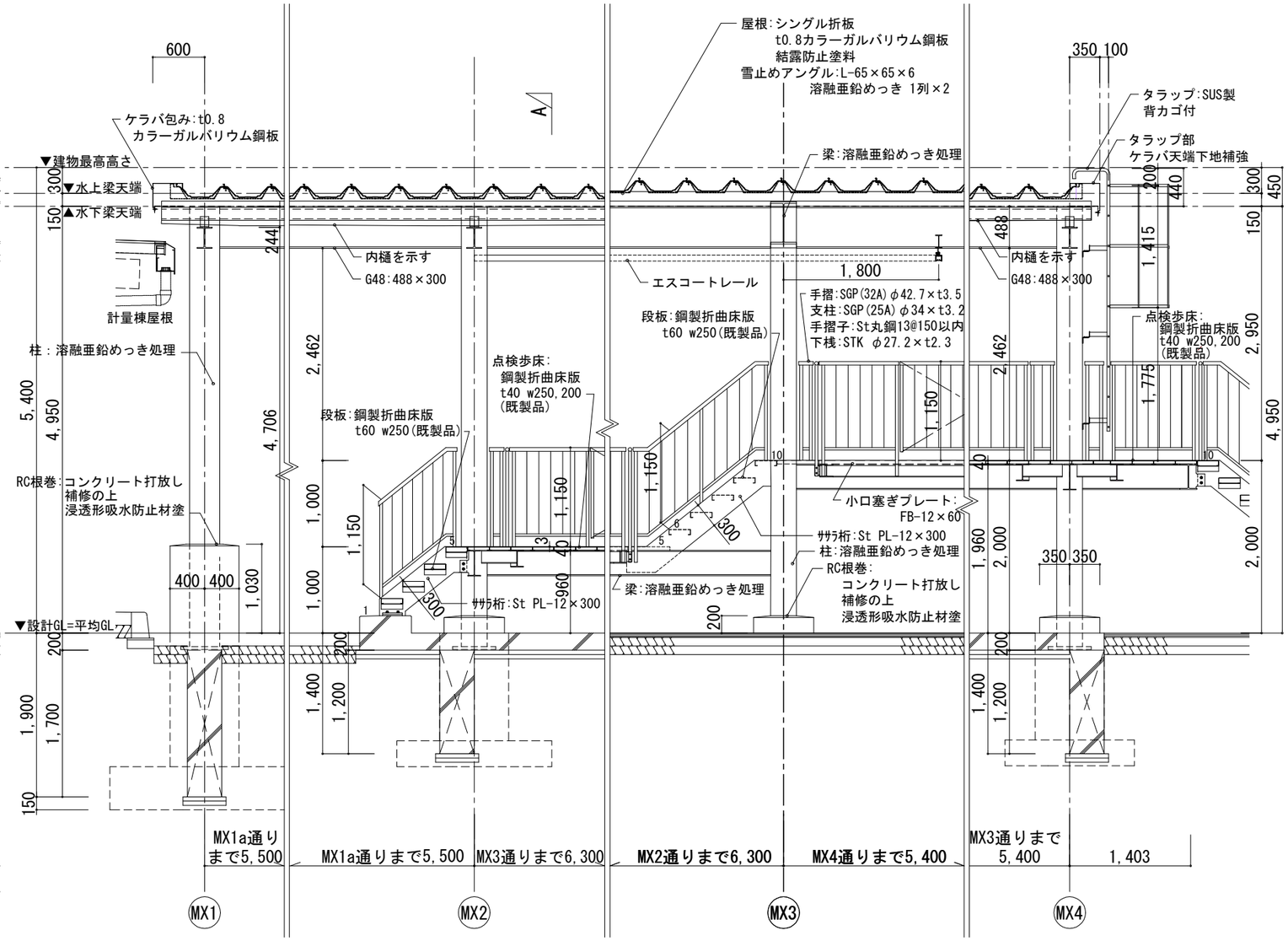
A1 1:5
A3 1:10

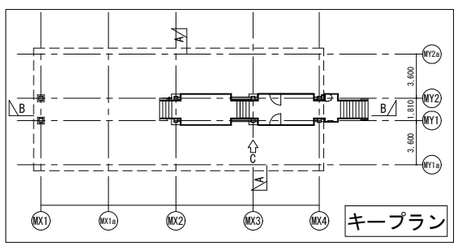


特記

物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事			
図面名	計量棟 部分詳細図(2)	縮尺 A1:1/5 A3:1/10	図番	D-213







A断面図

B断面図1

B断面図2

C視

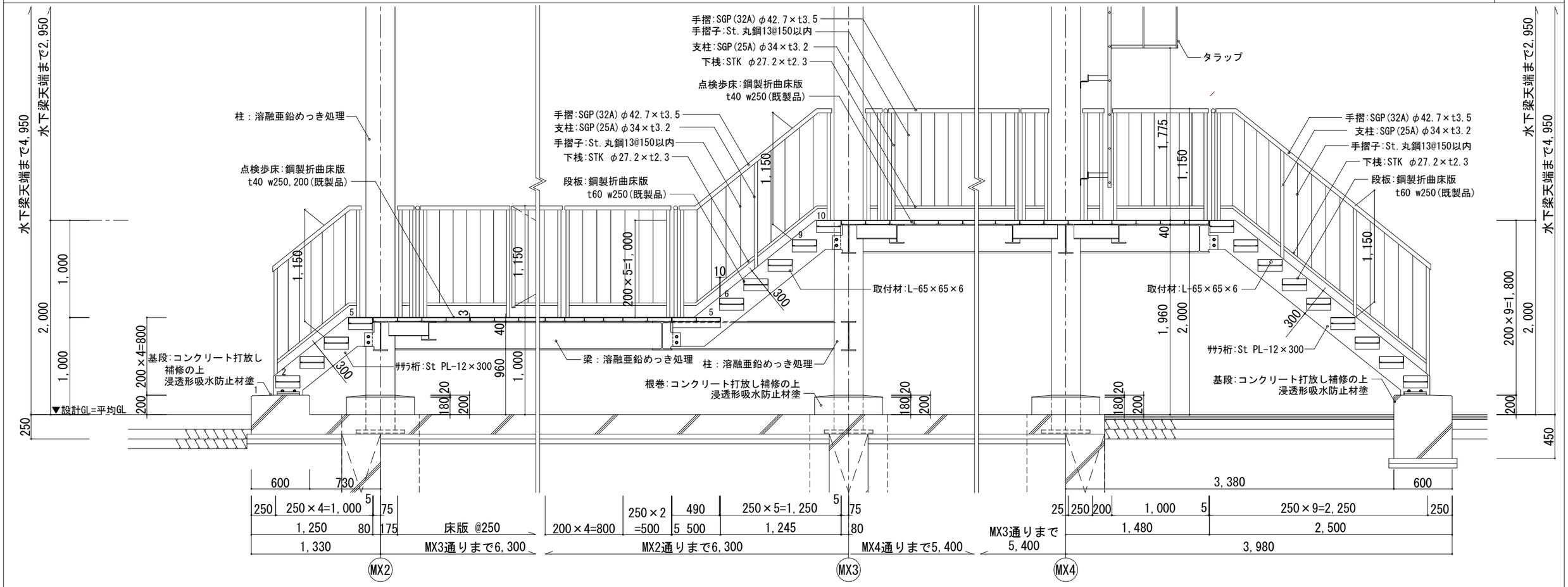
B断面図3

特記

物件名	第R6-8号 新産業廃棄物最終処分場建設工事		
図面名	目視監視施設 矩計図	縮尺	A1:- 1/30 A3:- 1/60
図番	D-214		

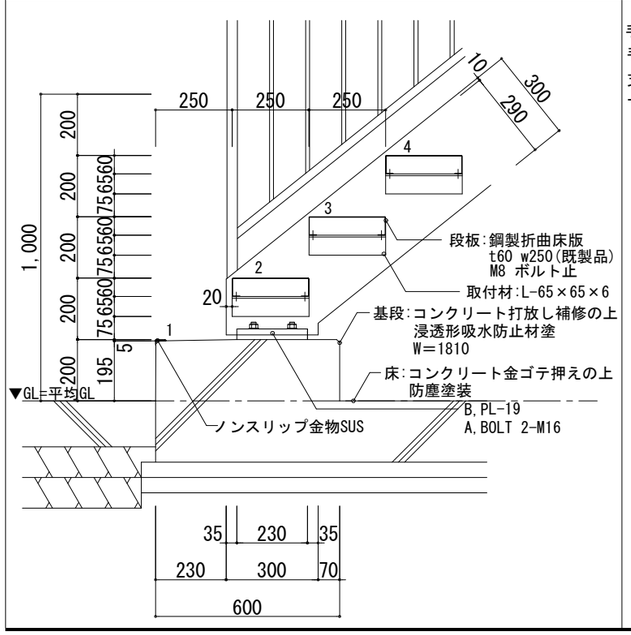
階段詳細図

A1 1:20
A3 1:40



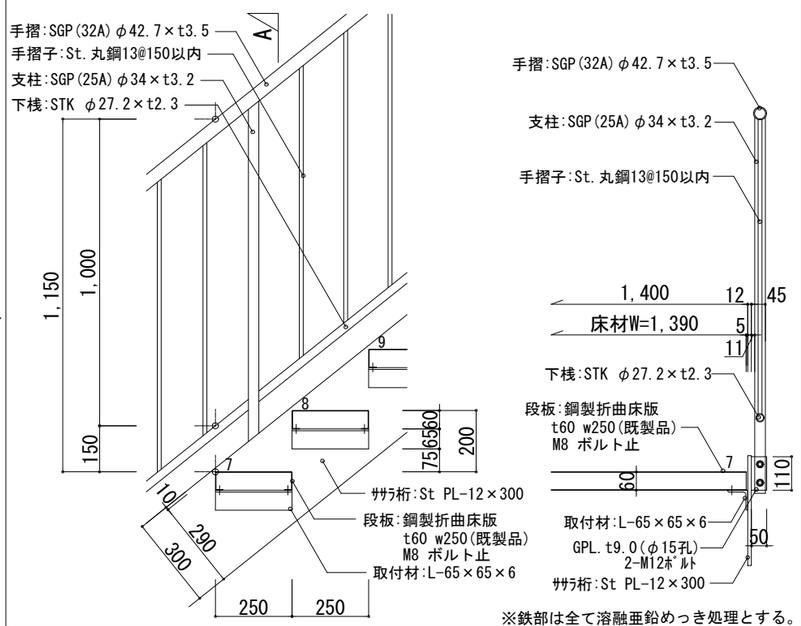
基段詳細図

A1 1:10
A3 1:20



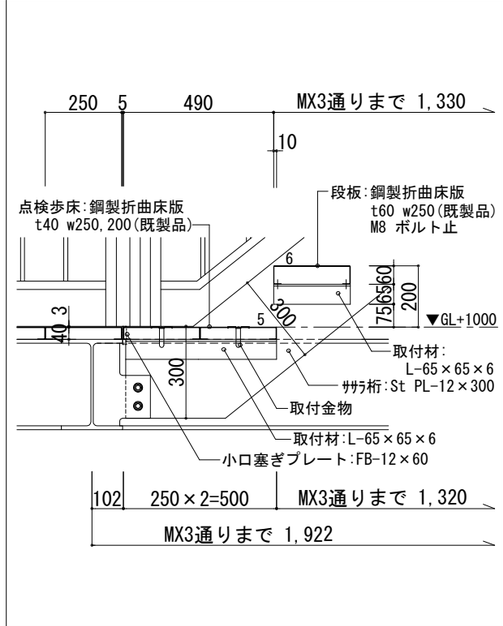
段板、手摺詳細図

A1 1:10
A3 1:20



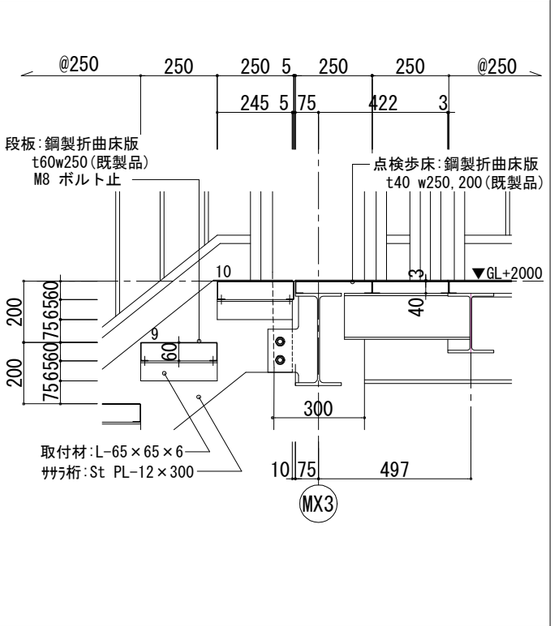
階段下部詳細図

A1 1:10
A3 1:20



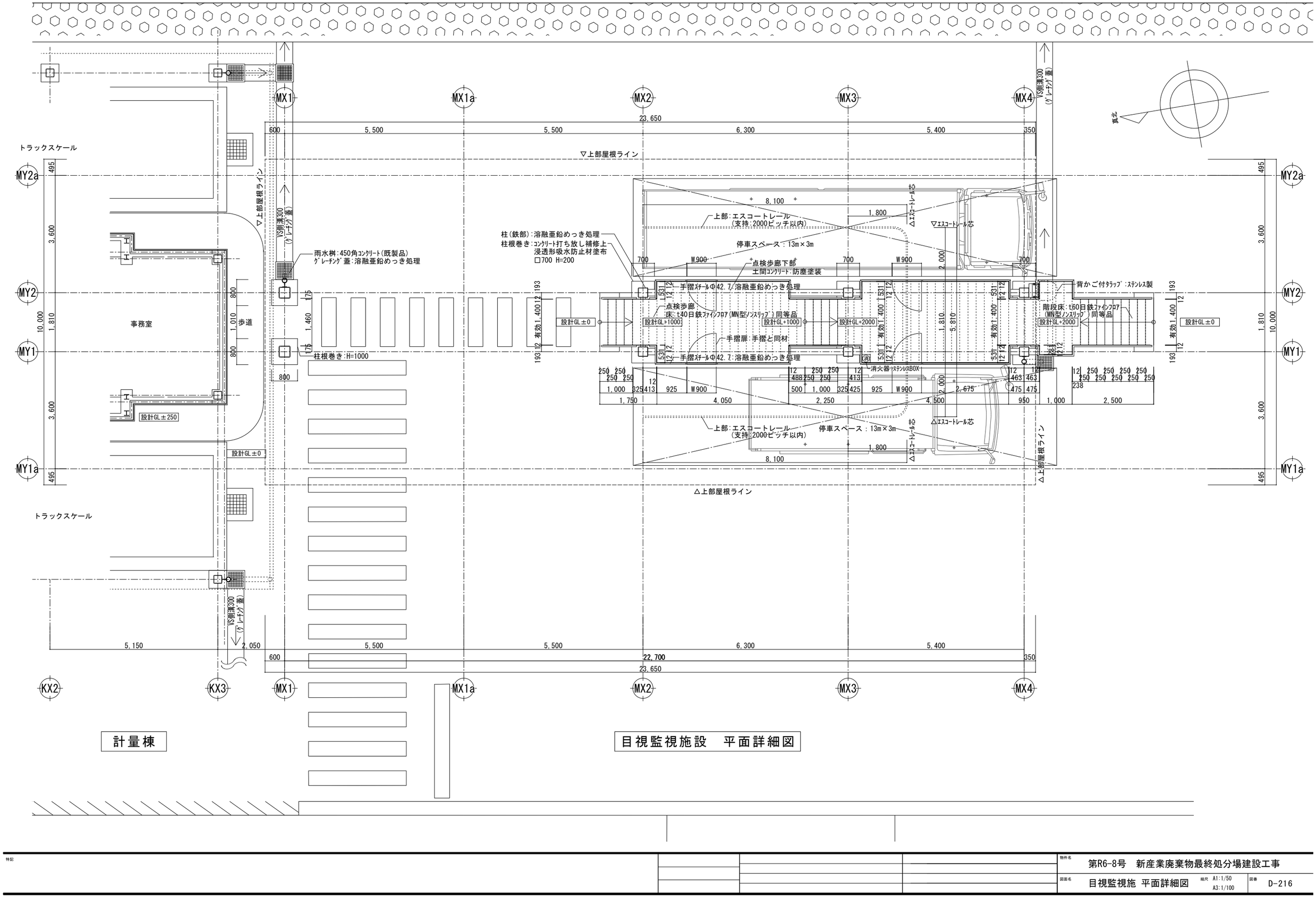
階段上部詳細図

A1 1:10
A3 1:20



特記

物件名	第R6-8号 新産業廃棄物最終処分場建設工事
図面名	目視監視施設 階段詳細図
縮尺	A1:-1/10,20 A3:-1/20,40
図番	D-215



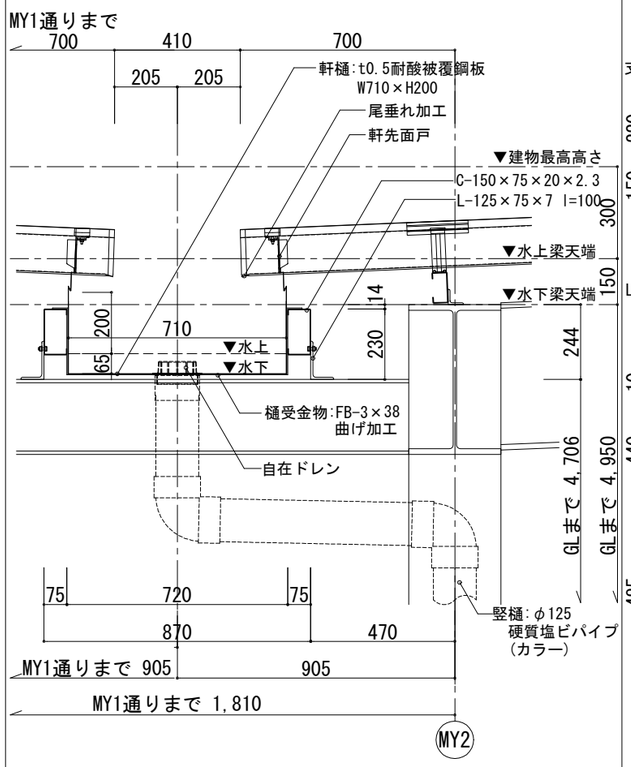
計量棟

目視監視施設　平面詳細図

特記				物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事
				図面名	目視監視施 平面詳細図
				縮尺	A1:1/50 A3:1/100
				図番	D-216

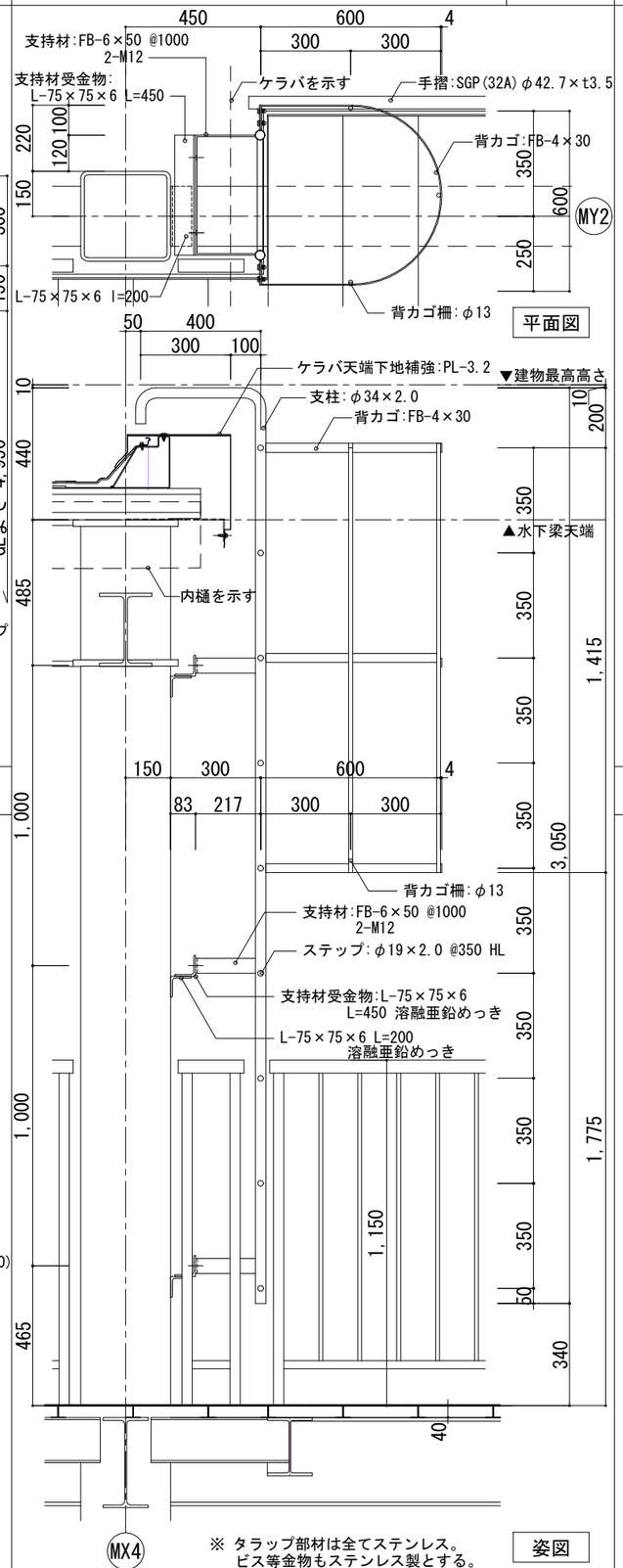
雨樋詳細図

A1 1:10
A3 1:20



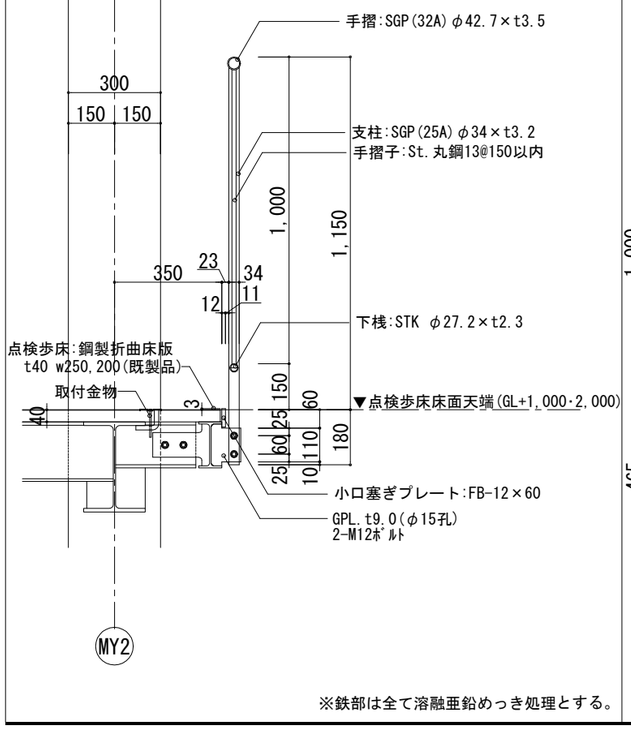
タラップ(SUS)詳細図

A1 1:10
A3 1:20



点検歩廊手摺詳細図

A1 1:10
A3 1:20



※鉄部は全て溶融亜鉛めっき処理とする。

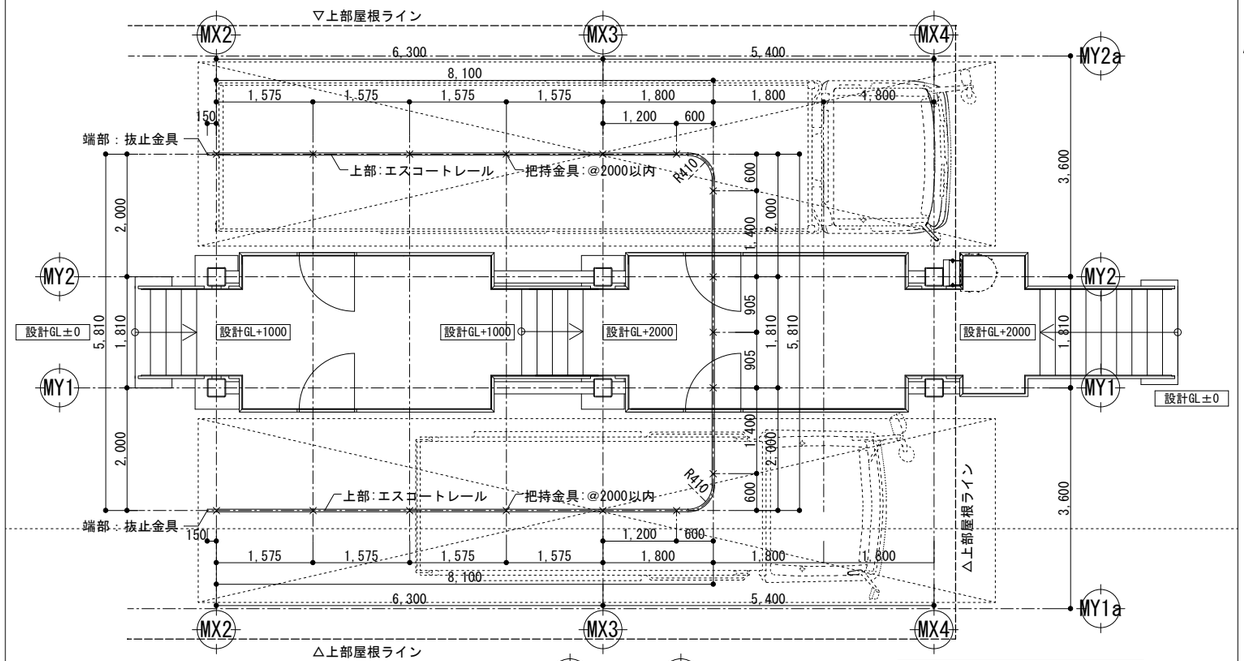
特記

			物件名	第R6-8号 新産業廃棄物最終処分場建設工事
			図面名	目視監視施設 部分詳細図(1)
			縮尺	A1:- 1/10 A3:- 1/20
			図番	D-217

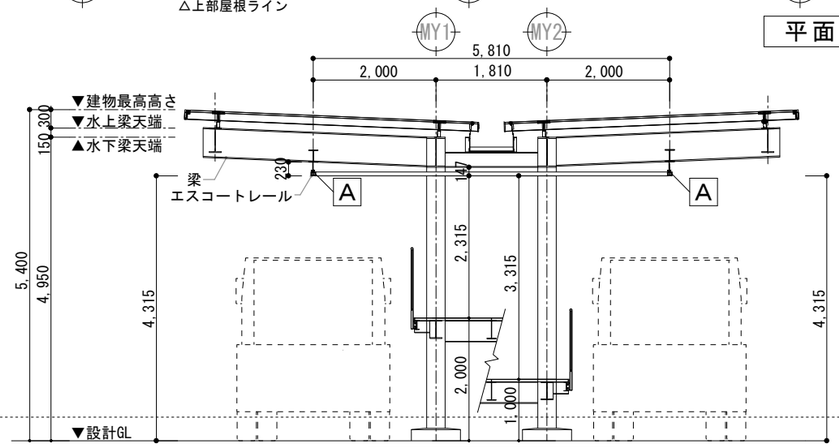
エスコートレール詳細図

設置個所：２箇所

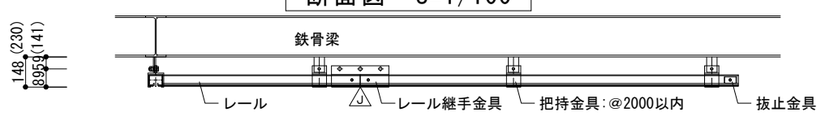
A1 1:25
A3 1:50



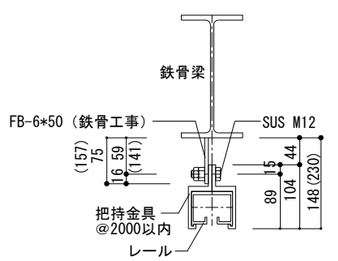
平面図　S=1/100



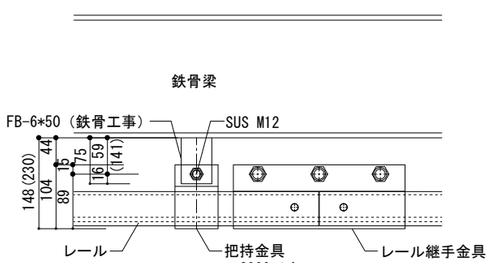
断面図　S=1/100



レール詳細図　S=1/30



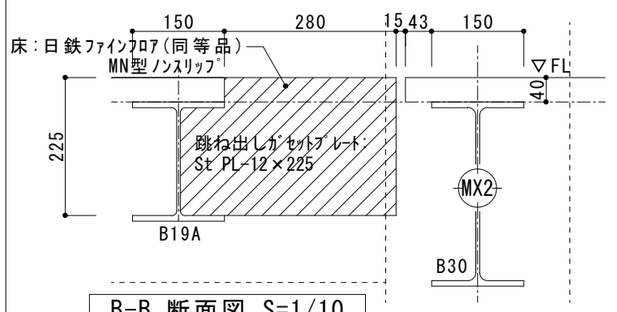
A部拡大図　S=1/10



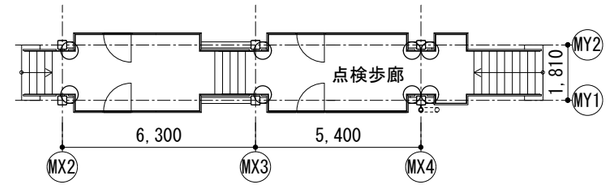
金物詳細図　S=1/10

柱廻り手摺･床詳細図

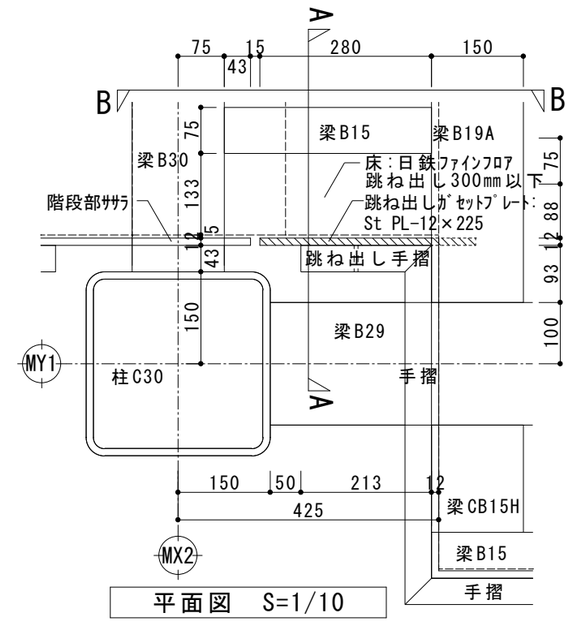
A1 1:5,100
A3 1:10,1/200



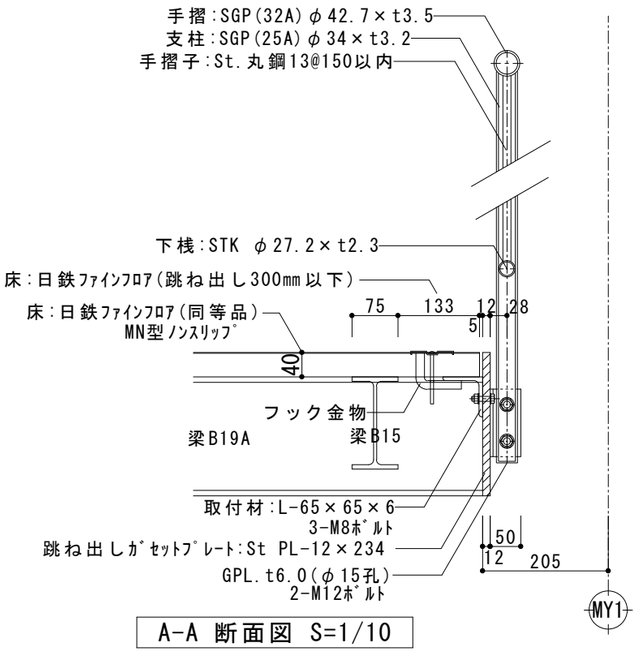
B-B 断面図　S=1/10



配置図　S=1/200



平面図　S=1/10



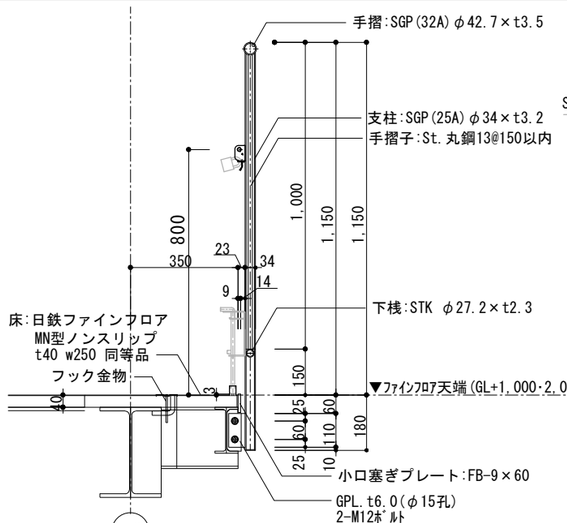
A-A 断面図　S=1/10

※鉄部は全て溶融亜鉛めっき処理とする。

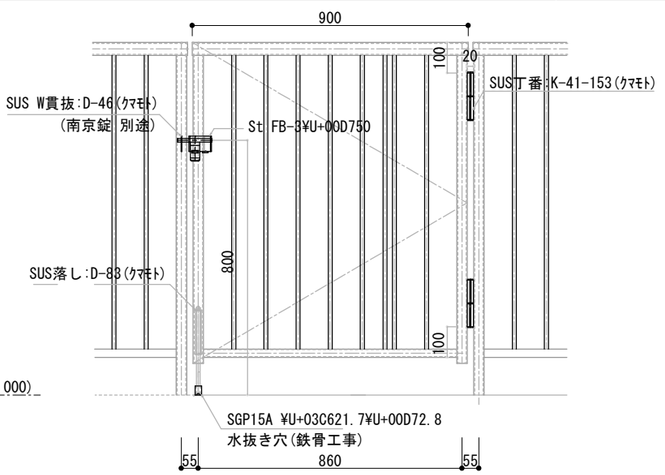
手摺扉 詳細図

設置個所：4箇所

A1 1:25
A3 1:50



断面詳細図　S=1/20



立面詳細図　S=1/20

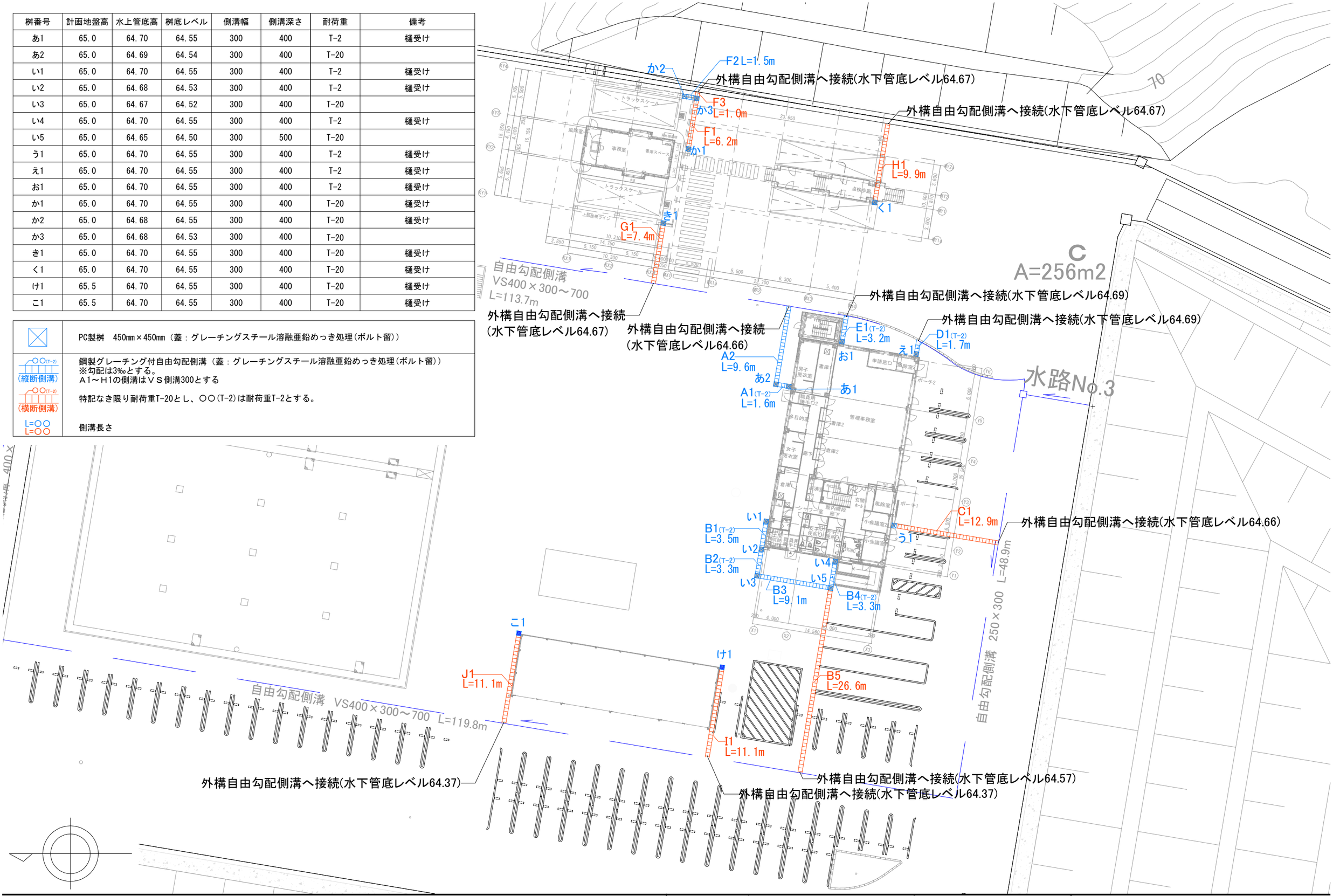
※鉄部は全て溶融亜鉛めっき処理とする。

特記

物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事
図面名	目視監視施設 部分詳細図(2)
縮尺	A1:1/25 A3:1/50
図番	D-218

桝番号	計画地盤高	水上管底高	桝底レベル	側溝幅	側溝深さ	耐荷重	備考
あ1	65.0	64.70	64.55	300	400	T-2	樋受け
あ2	65.0	64.69	64.54	300	400	T-20	
い1	65.0	64.70	64.55	300	400	T-2	樋受け
い2	65.0	64.68	64.53	300	400	T-2	樋受け
い3	65.0	64.67	64.52	300	400	T-20	
い4	65.0	64.70	64.55	300	400	T-2	樋受け
い5	65.0	64.65	64.50	300	500	T-20	
う1	65.0	64.70	64.55	300	400	T-2	樋受け
え1	65.0	64.70	64.55	300	400	T-2	樋受け
お1	65.0	64.70	64.55	300	400	T-2	樋受け
か1	65.0	64.70	64.55	300	400	T-20	樋受け
か2	65.0	64.68	64.55	300	400	T-20	樋受け
か3	65.0	64.68	64.53	300	400	T-20	
き1	65.0	64.70	64.55	300	400	T-20	樋受け
く1	65.0	64.70	64.55	300	400	T-20	樋受け
け1	65.5	64.70	64.55	300	400	T-20	樋受け
こ1	65.5	64.70	64.55	300	400	T-20	樋受け

☒	PC製桝　450㎜×450㎜（蓋：グレーチングスチール溶融亜鉛めっき処理（ボルト留））
○○(T-2)（縦断側溝）	鋼製グレーチング付自由勾配側溝（蓋：グレーチングスチール溶融亜鉛めっき処理（ボルト留）） ※勾配は3‰とする。 A1～H1の側溝はＶＳ側溝300とする
○○(T-2)（横断側溝）	特記なき限り耐荷重T-20とし、○○(T-2)は耐荷重T-2とする。
L=○○ L=○○	側溝長さ

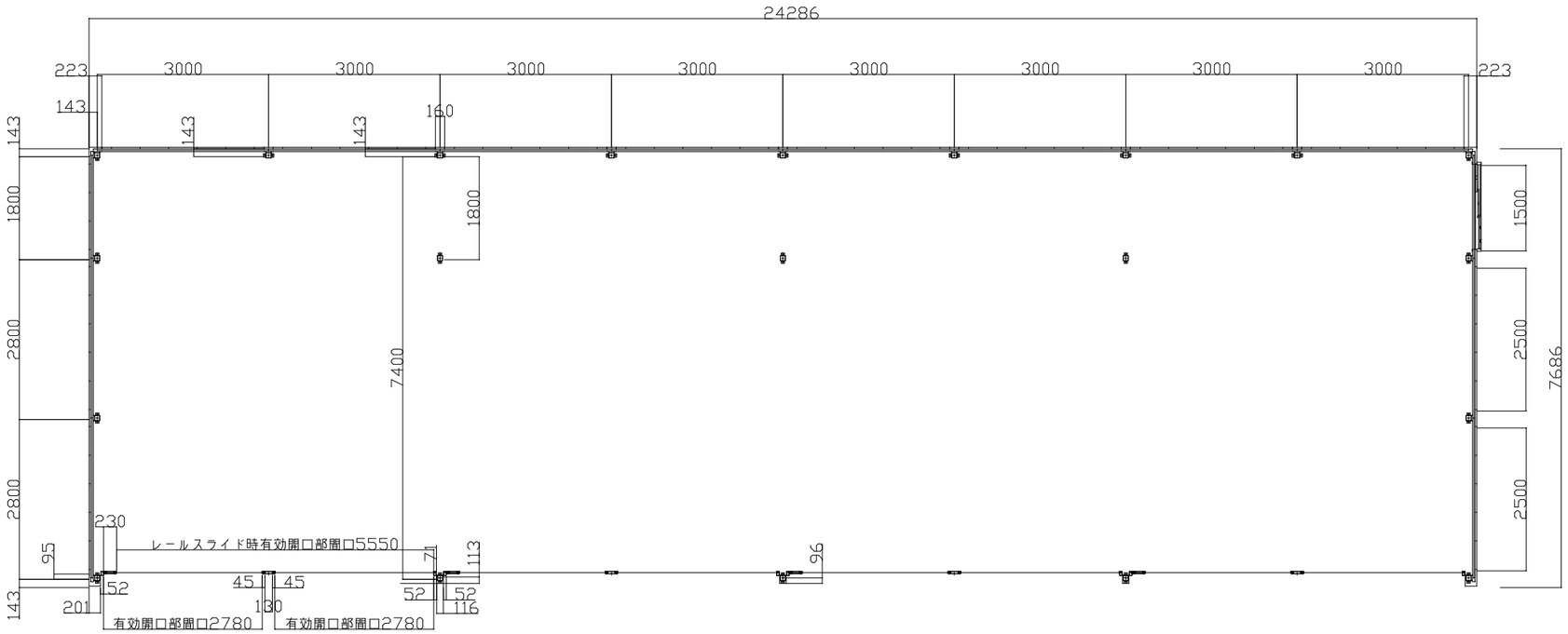


特記

物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事
図面名	雨水排水計画図
縮尺	A1:-1:200 A3:-1:400
図番	D-301

資材保管庫兼車庫一般図

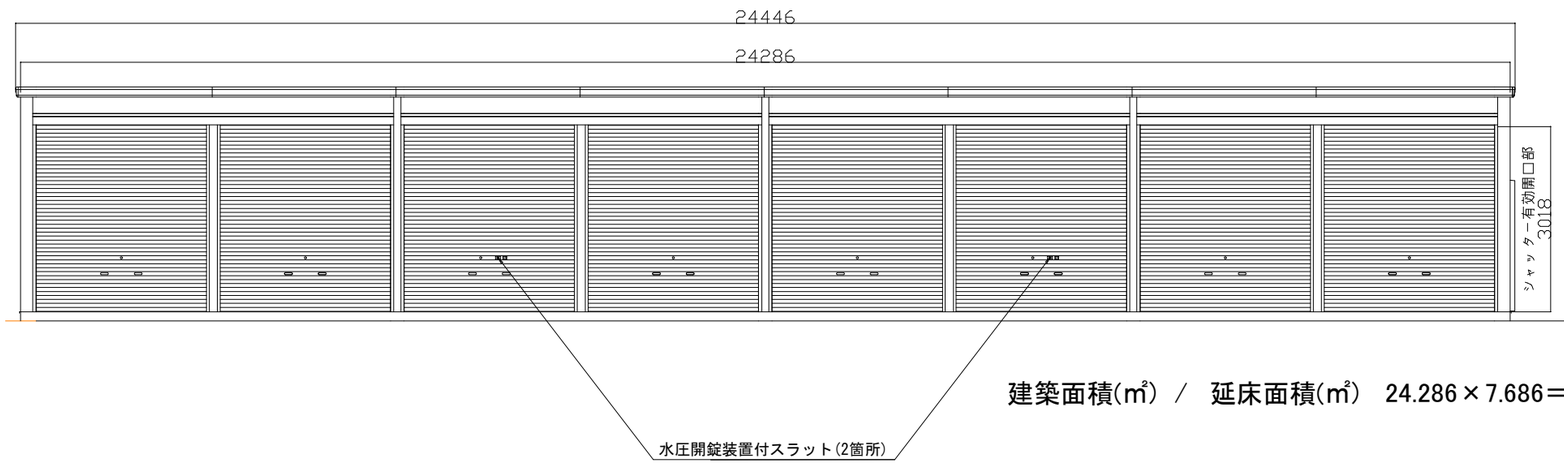
外形平面図



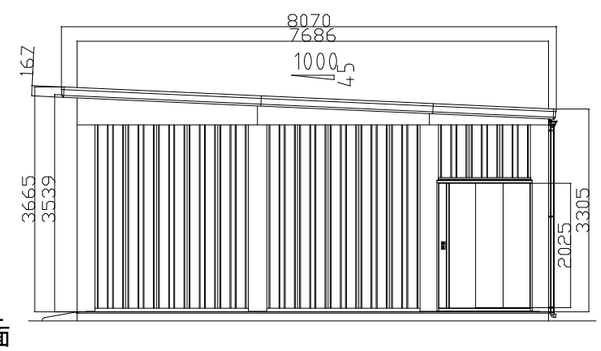
品番	部品名	材料（材質） 単位mm
1	水切板	SGCC F12 0.5
2	ベースプレート	SS400 6.0
3	柱後・中・前・中央※	STKR400 F12 2.3
4	土台取付金具	SGHC F12 1.6
5	土台	SGCC F12 1.2
6	桁後	SZAH400 Y10 2.3
7	桁前	SZAH400 Y10 2.3
8	プレートA	SZAH400 Y10 2.3
9	プレートB	SGH400 F12 3.2
10	コーナー金具(2.5連棟以上)	SZAH400 Y10 2.3
11	梁中(2.5連棟以上)	SZAH400 Y10 2.3
12	母屋	SZAH400 Y10 2.3
13	小梁	SZAH400 Y10 2.3
14	上胴縁	SZAH400 Y10 2.3
15	化粧柱後・中・前	SGCC F12 1.0
16	桁前幕板(前面壁・ハーフタイプのみ)	SZACC Y10 0.7
17	桁後幕板	SZACC Y10 0.7
18	梁左右幕板	SZACC Y10 0.7
19	屋根	CGLCCR AZ150 0.6
20	妻板左右	SZACC Y10 0.7
21	鼻隠シ前・後	SZACC Y10 0.7
22	壁パネル	SGCC F12 0.5
23	胴縁	SGHC F12 1.6
24	ブレース(JIS A 5540)	SS400/SNR400B M10,12
25	シャッター	CGC400 Z08 0.5
26	シャッターカバー	SZACC Y10 1.0
27	シャッターレール	SGCC Z08 1.0
	移動柱(2連棟以上)	SGHC F08 1.6
28	雨樋	PVC

SGCC,SGHC,SGH400 ： JIS G 3302
STKR400 ： JIS G 3466
SZAH400,SZACC ： JIS G 3317
CGLCCR ： JIS G 3322
CGC400 ： JIS G 3312
SS400 ： JIS G 3101
SNR400B ： JIS G 3138

外形立面図(正面)



外形立面図(側面)



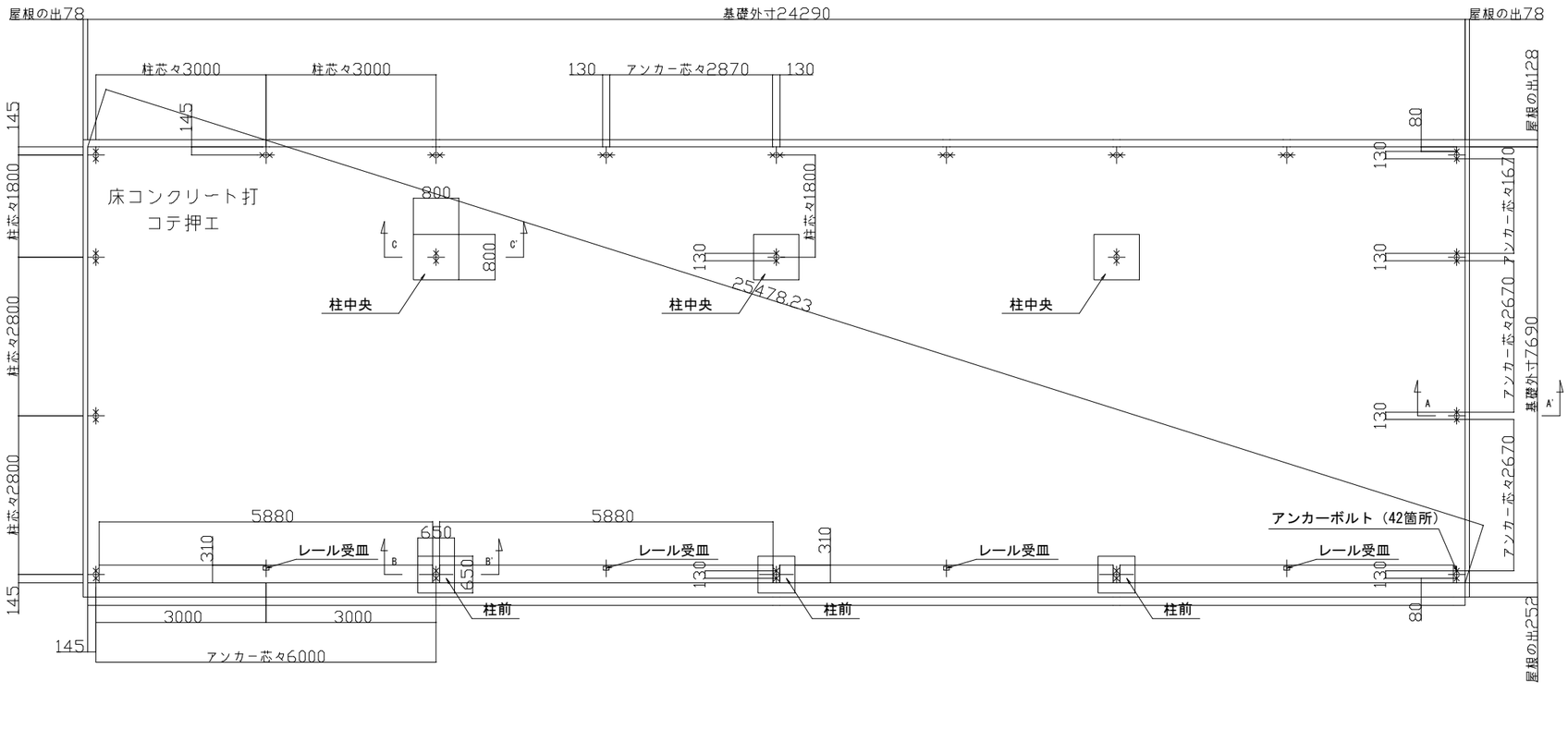
建築面積(㎡) / 延床面積(㎡) 24.286×7.686＝186.66~~2196~~
186.66㎡

消防法普通階チェック
186.66/30=6.23
シャッター有効開口 W2.780×H3.018×2＝16.78
16.78㎡ ＞ 6.23㎡ 普通階OK

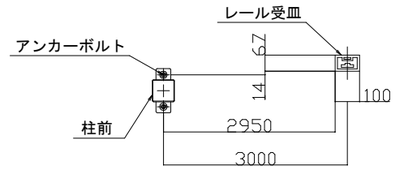
特記				物件名	第R6-8号 新産業廃棄物最終処分場建設工事		
				図面名	資材保管庫兼車庫 平面図・立面図	縮尺 A1:- 1/50 A3:- 1/100	図番 D-302

資材保管庫兼車庫基礎図

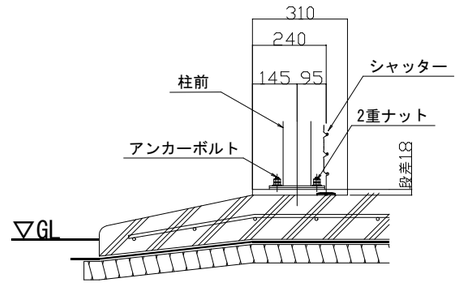
基礎平面図



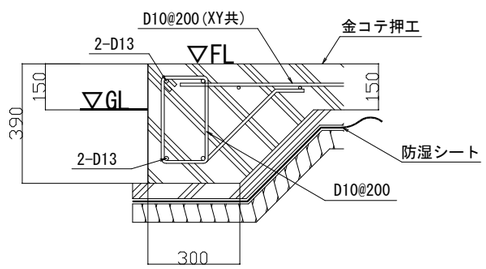
シャッターレール受皿埋込位置



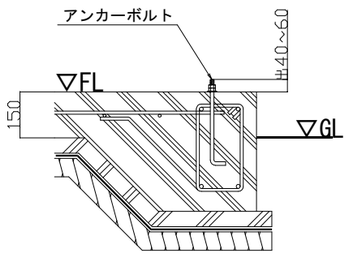
入口床面コンクリート仕上断面



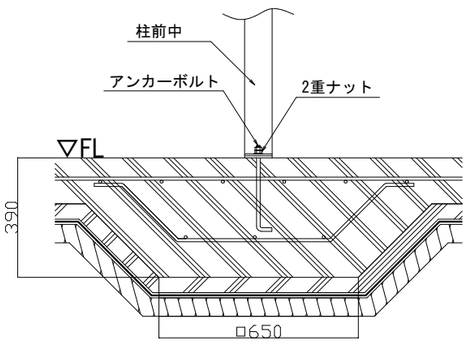
基礎断面



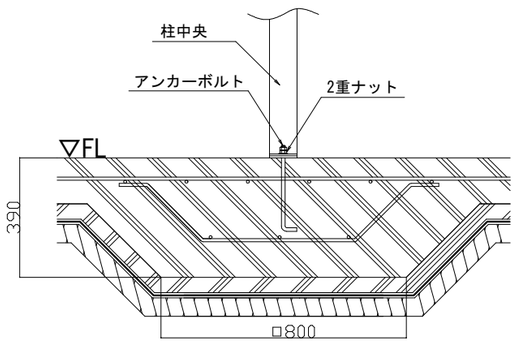
A－A'断面



B－B'断面



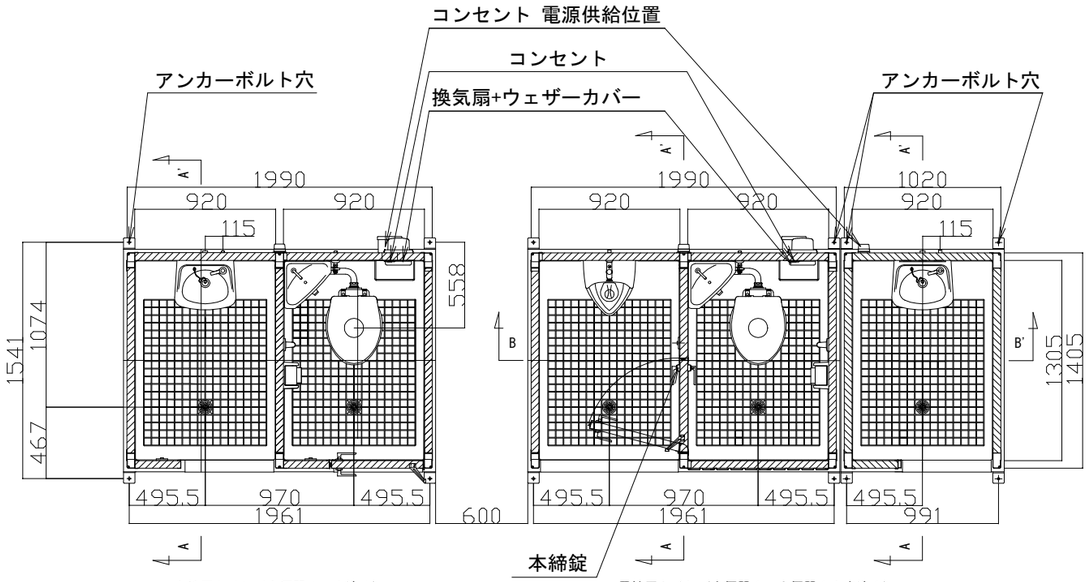
C－C'断面



特記				物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事
				図面名	資材保管庫兼車庫　基礎図
				縮尺	A1:-1/10,50 A3:-1/20,100
				図番	D-303

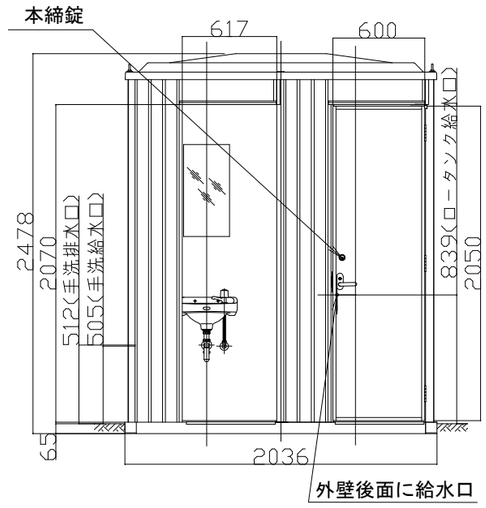
搬入業者用トイレ

組立平面図

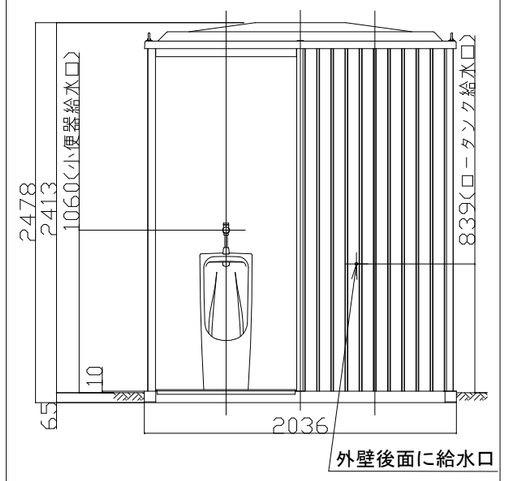


女性用トイレ（大便器１、水洗１）　　男性用トイレ（大便器１、小便器１＋水洗１）

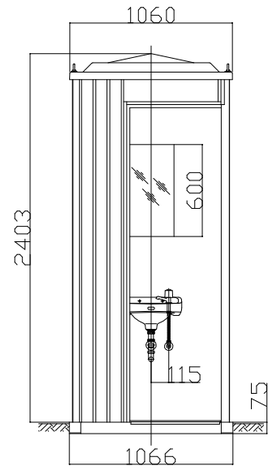
A-A' 断面（大便器×１、小便器×１ユニット部）



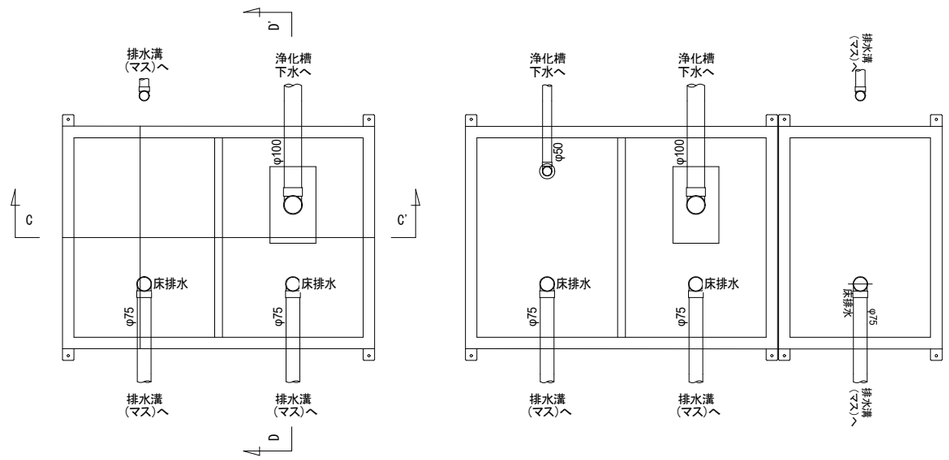
A-A' 断面（大便器×１、小便器×１ユニット部）



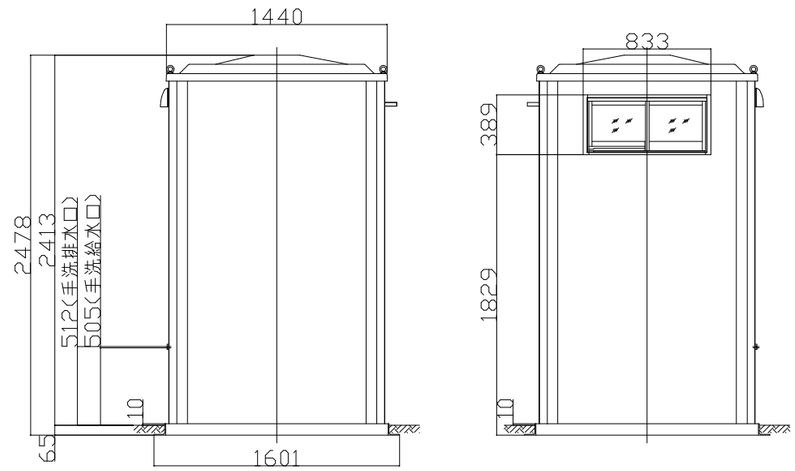
A-A' 断面（水洗ユニット部）



基礎平面図

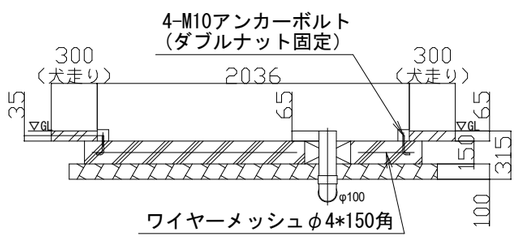


B-B' 断面（水洗ユニット部）

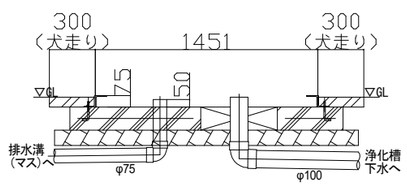


No	品　名	数量	材　質	備　考
1	屋 根	1	FRP	
2	天井パネル	1	鋼板,PS	
3	天井フレーム	1	鋼板(塗装)	
4	外壁パネル(内壁共用)	3s	鋼板,PS	外側表面パターン入、白灰
5	化粧鋼鈑	1s	ガルバリウム鋼板	角波、ギングロ
6	支 柱	1s	アルミ	
7	架台フレーム	1	スチール	亜鉛めっき,塗装
8	各室仕切パネル	1	鋼板,PS	
9	ドアパネル	1	鋼板,PS	
10	ドア庇	2	スチール	
11	フロアー	1	FRP	磁器タイル埋込
12	窓	1	アルミ、型ガラス(t4.0)	W786, H359
13	吊りボルト	4	ステンレス	M12アイボルト
14	ロック錠	1	アルミ	レバーハンドルタイプ
15	厚口丁番	3	ステンレス	102 mm
16	手洗器	1	陶器	
17	手洗水栓	1	銅合金(めっき)	
18	手洗Pトラップ	1	銅合金(めっき)	φ32
19	鏡	1	ガラス	300×600
20	ロータンクW	1	ABS	水栓金具付
21	洋式便器	1	陶器	
22	普通便座	1	PP	
23	照明器具	2	PC	LED
24	防水スイッチ	1	PP	
25	ニロスイッチ	1	PP	※オプション
26	握りバー	1	アルミ	表面コート(白)
27	ペーパーホルダー	1	ABS	ワンタッチ式
28	化粧棚	1	PP	260×130
29	コンセント	1	-	2口/配線無し/BOXのみ
30	本締錠	1	-	※オプション
31	換気扇	1	-	※オプション
	ウェザーカバー	1	PP	※オプション
手洗、洋式		水洗	重量	約350 kg
供給電源		1Ø2W(単2)		
給水2か所		手洗:R1/2		ロータンク:R1/2

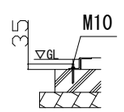
C-C' 断面（基礎図）



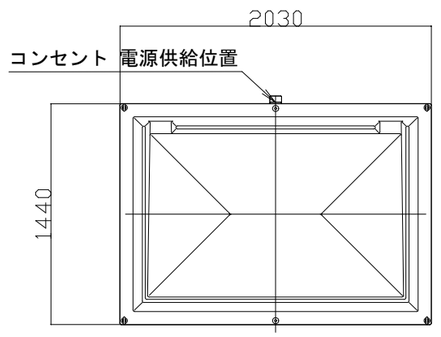
D-D' 断面（基礎図）



アンカー



屋根伏図



特記

物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事
図面名	搬入業者用トイレ 平面･断面･屋根伏図
縮尺	A1:- 1/20　A3:- 1/40
図番	D-304

建物概要等

【管理棟】

1. 構造概要

構造概要

			備考
構造種別	地上	（１）階～（２）階（ S ）造 （　）階～（　）階（　）造	地下 （　）階～（　）階（　）造 （　）階～（　）階（　）造
架構形式	X方向	（　ラーメン　）構造	
	Y方向	（　ラーメン　）構造	
耐震構造方式	⊙耐震構造　・制振構造		
	・免震構造（免震層の位置　・基礎下免震　・中間階免震（　）階		
基礎方式	⊙直接基礎（・独立　・連続　⊙べた　・　）		適用箇所は図示による（　）
	・杭基礎（・場所打ちコンクリート杭　・既製コンクリート杭 ・鋼管杭　・　）		
耐震安全性の分類	・Ⅰ類(1.5)　・Ⅱ類(1.25)　⊙Ⅲ類(1.0)		
耐風に関する性能の分類	・Ⅰ類(1.3)　・Ⅱ類(1.15)　⊙Ⅲ類(1.0)		

2. 構造設計条件等

計算方法

	X方向	Y方向	備　考
許容応力度計算（令第82条各号＋令第82条の4）【ルート１】	・	・	X方向、Y方向の適用する計算法に○を記載する
許容応力度等計算　【ルート２】	・	・	
保有水平耐力計算　【ルート３】	⊙	⊙	
限界耐力計算	・		
その他の計算法（　）	・	・	
構造計算適合性判定機関（　）			
特別な検証法（時刻歴応答解析による）	・		
大臣認定（認定番号　）			
指定性能評価機関（　）			
評価　・高層評価　・免震評価　・その他			
（評価番号　）			

外力等

			備考
地震力	設計用一次固有周期	（　0.225　）秒	
	地震地域係数(Z)	Z= ⊙1.0　・0.9　・0.8　・0.7	
	地盤の種別	第（　2　）種地盤　Tc=（　0.6　）秒	
	標準せん断力係数	X方向 / Y方向	
	一次設計	C_{0x}=（　0.2　）/ C_{0y}=（　0.2　）	
	二次設計	C_{0x}=（　1.0　）/ C_{0y}=（　1.0　）	
風圧力(施行令第87条)	地表面粗度区分	基準風速(V_0)　速度圧(q)	
	・Ⅰ・Ⅱ⊙Ⅲ・Ⅳ	（　30　）m/s	
風圧力(施行令第82条の4)	地表面粗度区分	基準風速(V_0)　平均速度圧($\overline{q}$)	
	・Ⅰ・Ⅱ⊙Ⅲ・Ⅳ	（　30　）m/s	
積雪荷重	区域	・多雪区域 ⊙多雪区域以外（特定緩勾配屋根　・有　⊙無）	
	設計垂直積雪量	（　30　）cm^2	
	単位荷重	（　20　）N/m/cm	
	垂直積雪量の低減	・低減する　⊙低減しない	

【計量棟】

1. 構造概要

構造概要

			備考
構造種別	地上	（１）階～（１）階（ S ）造 （　）階～（　）階（　）造	地下 （　）階～（　）階（　）造 （　）階～（　）階（　）造
架構形式	X方向	（　ラーメン　）構造	
	Y方向	（　ラーメン　）構造	
耐震構造方式	⊙耐震構造　・制振構造		
	・免震構造（免震層の位置　・基礎下免震　・中間階免震（　）階		
基礎方式	⊙直接基礎（⊙独立　・連続　・べた　・　）		適用箇所は図示による（　）
	・杭基礎（・場所打ちコンクリート杭　・既製コンクリート杭 ・鋼管杭　・　）		
耐震安全性の分類	・Ⅰ類(1.5)　・Ⅱ類(1.25)　⊙Ⅲ類(1.0)		
耐風に関する性能の分類	・Ⅰ類(1.3)　・Ⅱ類(1.15)　⊙Ⅲ類(1.0)		

2. 構造設計条件等

計算方法

	X方向	Y方向	備　考
許容応力度計算（令第82条各号＋令第82条の4）【ルート1-1】	⊙	⊙	X方向、Y方向の適用する計算法に○を記載する
許容応力度等計算　【ルート２】	・	・	
保有水平耐力計算　【ルート３】	・	・	
限界耐力計算	・		
その他の計算法（　）	・	・	
構造計算適合性判定機関（　）			
特別な検証法（時刻歴応答解析による）	・		
大臣認定（認定番号　）			
指定性能評価機関（　）			
評価　・高層評価　・免震評価　・その他			
（評価番号　）			

外力等

			備考
地震力	設計用一次固有周期	（　0.134　）秒	
	地震地域係数(Z)	Z= ⊙1.0　・0.9　・0.8　・0.7	
	地盤の種別	第（　2　）種地盤　Tc=（　0.6　）秒	
	標準せん断力係数	X方向 / Y方向	
	一次設計	C_{0x}=（　0.3　）/ C_{0y}=（　0.3　）	
	二次設計	C_{0x}=（　—　）/ C_{0y}=（　—　）	
風圧力(施行令第87条)	地表面粗度区分	基準風速(V_0)　速度圧(q)	
	・Ⅰ・Ⅱ⊙Ⅲ・Ⅳ	（　30　）m/s	
風圧力(施行令第82条の4)	地表面粗度区分	基準風速(V_0)　平均速度圧($\overline{q}$)	
	・Ⅰ・Ⅱ⊙Ⅲ・Ⅳ	（　30　）m/s	
積雪荷重	区域	・多雪区域 ⊙多雪区域以外（特定緩勾配屋根　・有　⊙無）	
	設計垂直積雪量	（　30　）cm^2	
	単位荷重	（　20　）N/m/cm	
	垂直積雪量の低減	・低減する　⊙低減しない	

【目視監視施設】

1. 構造概要

構造概要

			備考
構造種別	地上	（１）階～（１）階（ S ）造 （　）階～（　）階（　）造	地下 （　）階～（　）階（　）造 （　）階～（　）階（　）造
架構形式	X方向	（　ラーメン　）構造	
	Y方向	（　ラーメン　）構造	
耐震構造方式	⊙耐震構造　・制振構造		
	・免震構造（免震層の位置　・基礎下免震　・中間階免震（　）階		
基礎方式	⊙直接基礎（⊙独立　・連続　・べた　・　）		適用箇所は図示による（　）
	・杭基礎（・場所打ちコンクリート杭　・既製コンクリート杭 ・鋼管杭　・　）		
耐震安全性の分類	・Ⅰ類(1.5)　・Ⅱ類(1.25)　⊙Ⅲ類(1.0)		
耐風に関する性能の分類	・Ⅰ類(1.3)　・Ⅱ類(1.15)　⊙Ⅲ類(1.0)		

2. 構造設計条件等

計算方法

	X方向	Y方向	備　考
許容応力度計算（令第82条各号＋令第82条の4）【ルート1-2】	⊙	⊙	X方向、Y方向の適用する計算法に○を記載する
許容応力度等計算　【ルート２】	・	・	
保有水平耐力計算　【ルート３】	・	・	
限界耐力計算	・		
その他の計算法（　）	・	・	
構造計算適合性判定機関（　）			
特別な検証法（時刻歴応答解析による）	・		
大臣認定（認定番号　）			
指定性能評価機関（　）			
評価　・高層評価　・免震評価　・その他			
（評価番号　）			

外力等

			備考
地震力	設計用一次固有周期	（　0.168　）秒	
	地震地域係数(Z)	Z= ⊙1.0　・0.9　・0.8　・0.7	
	地盤の種別	第（　2　）種地盤　Tc=（　0.6　）秒	
	標準せん断力係数	X方向 / Y方向	
	一次設計	C_{0x}=（　0.3　）/ C_{0y}=（　0.3　）	
	二次設計	C_{0x}=（　—　）/ C_{0y}=（　—　）	
風圧力(施行令第87条)	地表面粗度区分	基準風速(V_0)　速度圧(q)	
	・Ⅰ・Ⅱ⊙Ⅲ・Ⅳ	（　30　）m/s	
風圧力(施行令第82条の4)	地表面粗度区分	基準風速(V_0)　平均速度圧($\overline{q}$)	
	・Ⅰ・Ⅱ⊙Ⅲ・Ⅳ	（　30　）m/s	
積雪荷重	区域	・多雪区域 ⊙多雪区域以外（特定緩勾配屋根　・有　⊙無）	
	設計垂直積雪量	（　30　）cm^2	
	単位荷重	（　20　）N/m/cm	
	垂直積雪量の低減	・低減する　⊙低減しない	

3. 地盤調査資料

⊙当該敷地の既往調査報告書
・当該敷地の既往調査報告書及び今回工事に含まれる地盤調査結果
（今回工事に含まれる地盤調査については図示による。）

4. 液状化対策

・有り
（範囲、工法、仕様、計測、試験等については図示による。）
⊙無し
・

5. 軽微な変更への対応（あらかじめの検討）

施工の関係上やむを得ず発生する可能性の高い変更等(位置の変更)
施工誤差を考慮して構造耐力上支障がない検討が行われている部分

・くいの芯ずれを考慮した検討
　許容誤差（　）
・小ばりの位置の変更を見込んだ大ばり等の検討
・大きさの変更を見込んだスラブ等の検討(屋根床版含む)
・はり貫通孔の大きさと位置の変更を見込んだ検討
・壁開口の位置の変更を見込んだ検討
・スラブの開口及び段差の変更を見込んだ検討
・間柱の位置の変更を見込んだ検討

構造関係共通事項（共通事項）

構-1 総則

1.1 適用範囲

（1）構造関係共通事項(配筋標準図)は鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造等における鉄筋の加工、組立等の一般的な標準図とする。
（2）構造関係共通事項(鉄骨標準図)は鉄骨造及び鉄骨鉄筋コンクリート造等における鉄骨の加工、組立の一般的な標準図とする。
（3）建築構造図に特記無き事項は、公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版による。

1.2 用語の定義

（1）「構造図」とは、建築構造図のうち構造関係共通事項（共通事項）、構造関係共通事項（配筋標準図）及び構造関係共通事項（鉄骨標準図）以外の図面をいう。

1.3 優先順位

設計図書の図面のうち建築構造図に相違がある場合の優先順位は以下のとおりとする。
1．構造図及び構造関係共通事項（共通事項）
2．構造関係共通事項（配筋標準図）、構造関係共通事項（鉄骨標準図）

1.4 記号等

（1）図面で使用する記号等は表1.1～表1.8、図1.1を標準とする。
（2）異形鉄筋の径(本文、図、表において「D、d」で示す)は、呼び名に用いた数値とする。
（3）長さ、厚さ等の単位は、特記なき限りmmとする。

表1.1　異形鉄筋の断面表示記号

区分＼径	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
建築	●	×	⌀	◉	○	⊙	⊗	◎

表1.2　各階伏図における記号

記号	説明	記号	説明
(S)	スラブの配筋種別	⊕	杭の位置
◇	スラブ厚さ	⊕	試験杭の位置
○	階段の配筋種別	▨	打増しの範囲
(D)	土間コンクリート	⊠	スラブ開口
⊏⊐	コンクリートブロック壁（CB壁）	⊕	ボーリング位置
▨	梁・スラブの上がり下がりの範囲	（±　）	FLからの上がり下がり
EW○○ EKW○○ ERW○○	耐力壁 **片持ちスラブ階段を受け、かつ耐力壁** 土圧を受け、かつ耐力壁		

表1.3　梁貫通孔記号

区分＼径	50	75	100	125	150	175	200	225	250	275	300	325	350	375	400
建　築	⊖	⊗	⊣	⊗	⊖	⊗	⊣	⊗	⊖	⊗	⊣	⊗	⊖	⊗	⊣

表1.4　スリーブ材質の凡例

管　名	鋼　管	溶融亜鉛めっき鋼版	硬質塩化ビニル管（薄肉管）	つば付き鋼管（黒管）
記号（建築用）	SP（白管）	GA	VU	RS

※建築用以外のスリーブ材質は各工事による。

表1.5　高力ボルト径の記号

区分＼径	M12	M16	M20	M22	M24
高力ボルト（F10T、S10T）	●	◆	◆	◆	✱
溶融亜鉛めっき高力ボルト（F8T相当）	|	＋	＋	✱	✱

表1.6　普通ボルト径の記号

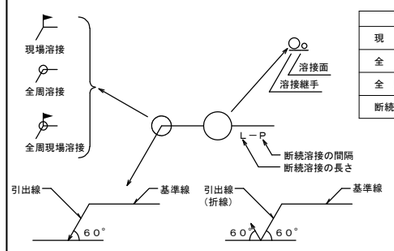
区分＼径	M12	M16	M20	M22	M24
普通ボルト	○	⊕	⊕	✱	✱

表1.7　溶接継手及び溶接面の分類別記号

分類			記号
溶接継手	完全溶込み溶接	突合わせ継手	B
		T型継手	T
		かど継手	L
	隅肉溶接		F
	部分溶込み溶接		P
	フレア溶接		FL
溶接面	片面溶接		1
	両面溶接		2

表1.8　溶接の補助記号

区分	補助記号
現場溶接	⚑
全周溶接	○
全周現場溶接	⚑○
断続溶接の長さ及び間隔	L－P



※特記無き限り、完全溶込溶接の溶接方法・溶接面は適切な溶接方法等による。

図1.1　溶接記号の記載例

構-2 施工方法等計画書関連等

項　目	特　記　事　項
1. コンクリートの単位水量測定	(1)単位水量の測定は、150m^3に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2)単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(f)(c)による。 (3)単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1)測定した単位水量が、配合計画書の設計値(以下「設計値」という。)±15kg/m^3の範囲にある場合は、その運搬車のレディーミクストコンクリート（以下「生コン」という。）を合格とし、そのまま打設する。 2)測定した単位水量が設計値±15を超え±20kg/m^3の範囲にある場合は、その運搬車の生コンを合格とし打設してよいが、水量変動の原因を調査し、生コン生産者に改善を指示する。 その後、設計値±15kg/m^3以内に安定するまで、運搬車の３台毎に１回、単位水量の測定を行う。 3)測定した単位水量が設計値±20kg/m^3を超える場合は、その運搬車の生コンを不合格とし、打設せずに持ち帰らせるとともに、水量変動の原因を調査し、生コン生産者に改善を指示する。その後、単位水量が設計値±20Kg/m^3以内になるまで全運搬車の測定を行い、 更に設計値±15kg/m^3以内に安定するまで、運搬車の３台毎に１回、単位水量の測定を行う。 4)3)により不合格となった生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 (4)単位水量管理についての記録を書面(配合計画書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により監督職員に提出する。 (5)単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、エアメータ法又は静電容量測定法による。また、試験機関は当該生コン生産者以外の機関とする。

特記

				物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事	
				図面名	共通 構造関係共通事項	縮尺 A1: － A3: － / 図番 S-001

④ 地業工事

⊙支持地盤等　(3.2.1)(4.2.4)(4.3.4)(4.3.5)(4.4.4)(4.5.5)(4.5.6)

・杭基礎
支持層の位置及び土質(基礎ぐいの先端の位置含む)
・図示による(　　)　・
⊙直接基礎
支持地盤の位置及び土質(基礎底部の位置含む)
⊙図示による（管理棟 S-103,計量棟 S-201,目視監視施設 S-301)　・
試験掘り(根切り底の状態の確認等)
・行わない
・行う
位置等
・図示による(　　)　・
⊙地盤の載荷試験
載荷試験の方法
⊙地盤工学会基準　JGS 1521による　・
試験の位置、載荷荷重
⊙図示による（管理棟 S-103,計量棟 S-201,目視監視施設 S-301)

・既製コンクリート杭地業　(4.2.2)(4.3.1)(4.3.3)～(4.3.6)(4.3.8)

種類
・遠心力高強度プレストレストコンクリート杭（PHC杭）
・プレストレスト鉄筋コンクリート杭（PRC杭）
・外殻鋼管付きコンクリート杭（SC杭）
SC杭の鋼管材料　・SKK400　・SKK490
杭の種類、性能及び曲げ強度等による区分（種別）、寸法、継手の箇所数等

		種類種別	コンクリート強度(N/mm²)	杭径(mm)	厚さ(mm)	杭長(mm)	継手数	ｾｯﾄ数	長期設計支持力(kN/本)	備　考
試験杭	上杭									
	中杭									
	下杭									
本　杭	上杭									
	中杭									
	下杭									

杭先端部形状
・開放形　・半開放形　・閉そく形　・
工法
・セメントミルク工法
試験杭
試験杭の位置
・図示による(　　)　・
掘削深さ
・図示による(　　)　・
杭の支持層への根入れ長さ
・図示による(　　)　・
杭の精度
水平方向の位置ずれ
・杭径の1/4かつ100mm以下　・
建込み時の杭の鉛直度
・1/100以内　・
・特定埋込杭工法
・H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持力でα=250を採用できる工法
・H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持力のうち
α、β、γが以下の値を採用できる工法
α=(　　)、β=(　　)、γ=(　　)
工法
・プレボーリング拡大根固め工法
・中堀り拡大根固め工法
・
杭周固定液
・使用する　・使用しない
試験杭
試験杭の位置
・図示による(　　)　・
杭の支持層への根入れ長さ
※評定等の評価内容による
杭の精度
水平方向の位置ずれ
※評定等の評価内容による
建込み時の杭の鉛直度
※評定等の評価内容による
杭の継手の工法
・アーク溶接継手
溶接材料
・標準仕様書 7.2.5(1)(2)による　・
・機械式継手（継手部に接続金具を用いた方式のもの）
工法
※評定等を受けた工法
杭頭の処理等
・処理しない
・処理する
処理方法（切断にともなう補強方法含む）
・図示による(　　)　・
杭頭の中詰め材料
・基礎のコンクリートと同調合のもの　・

・鋼杭地業　(4.2.2)(4.4.3)～(4.4.6)

鋼杭の材料
・
杭の種類、寸法、継手等

		種類	杭径(mm)	板厚(mm)	杭長(mm)	継手数	ｾｯﾄ数	長期設計支持力(kN/本)	備　考
試験杭	上杭								
	中杭								
	下杭								
本　杭	上杭								
	中杭								
	下杭								

特定埋込杭工法
・H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持力でα=250を採用できる工法
・H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持力のうち
α、β、γが以下の値を採用できる工法
α=(　　)、β=(　　)、γ=(　　)
工法
・
試験杭
試験杭の位置
・図示による(　　)　・
杭の支持層への根入れ長さ
※評定等の評価内容による
杭の精度
水平方向の位置ずれ
※評定等の評価内容による
建込み時の杭の鉛直度
※評定等の評価内容による
杭の継手の工法
・アーク溶接継手
形状
・JIS A 5525による　・
溶接材料
・標準仕様書 7.2.5(1)(2)による
・
・機械式継手
工法
※評定等を受けた工法
杭頭の処理等
・処理しない
・処理する
処理方法（切断にともなう補強方法含む）
・図示による(　　)　・
杭頭の中詰め材料
・基礎のコンクリートと同調合のもの　・

・場所打ちコンクリート杭地業　(4.2.2)(4.5.1)(4.5.4)～(4.5.6)

工法
・アースドリル工法　（安定液　※使用する　・使用しない）
・リバース工法
・オールケーシング工法　（孔内の水張り　・行う　・行わない）
併用する工法
・場所打ち鋼管コンクリート杭工法
鋼管巻き材料
・SKK400　・SKK490　・
・拡底杭工法（安定液　・使用する　・使用しない）
・
寸法等

	軸径(mm)	拡底径(mm)	杭長(mm)	ｾｯﾄ数	長期設計支持力(kN/本)	備　考
試験杭						
本　杭						

試験杭
試験杭の位置
・図示による(　　)　・
孔壁の保持状況（孔壁測定）
測定箇所
・試験杭(　　)箇所及び本杭(　　)箇所　・
杭の支持層への根入れ長さ
・図示による(　　)　・
杭の精度
水平方向の位置ずれ
・杭径の1/4かつ100mm以下　・評定等の評価内容による　・
建込み時の杭の鉛直度
・1/100以内　・評定等の評価内容による　・
鉄筋の種類

種類の記号	呼び径(mm)	備　考
・SD295		
・SD345		
・		

帯筋の加工及び組立
・図示による(　　)　・
鉄筋の最小かぶり厚さ
・100mm　・
鉄筋かごの補強
・
組み立てた鉄筋の節ごとの継手
※重ね継手
重ね継手の長さ　・図示による（　　）　・
・
主筋の基礎底盤への定着長さ
・図示による(　　)　・

セメントの種類
※高炉セメントB種 G　・
コンクリートの設計基準強度
・図示による(　　)　・
コンクリートの種別
・A種　・B種　・評定等の評価内容による
スランプ
・18cm　・21cm
構造体強度補正値
・3N/mm²　・評定等の評価内容による

⊙ 砂利地業　(4.6.2)(4.6.3)

材料
砂利　⊙再生クラッシャラン G　・切込砂利又は切込砕石
範囲
⊙基礎下、基礎梁下、土間スラブ下、土間コンクリート下
・図示による(　　)
厚さ
※60mm　・

⊙ 捨コンクリート地業　(4.6.4)

範囲
⊙基礎下、基礎梁下、土間スラブ下　・図示による（　　）
厚さ
※50mm　・
設計基準強度
※18N/mm²　・
スランプ
※15cm又は18cm　・

⊙ 床下防湿層　(4.6.2)(4.6.5)

材料
※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上　・
範囲
⊙建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ピット下を除く）
・

⊙ 地盤改良工法

種類及び施工方法等
⊙図示による（ 管理棟 S-103　）　・

⑤ 鉄筋工事

⊙ 鉄筋　(5.2.1)

鉄筋の種類等

種類の記号	呼び径(mm)	備　考
⊙SD295	D16以下	図示による
⊙SD345	D19以上	図示による
・		
・		

⊙ 溶接金網　(5.2.2)

鉄線の形状等

種　類	種類の記号	鉄線の形状、網目寸法、鉄線の径(mm)	使用部位
⊙溶接金網	JIS G3551	φ6-100×100	防水押え
・鉄筋格子			

⊙ 鉄筋の継手　(5.3.4)(5.5.3)(5.6.3)

鉄筋の継手の方法等

部　位	継手の方法	呼び径(mm)
柱、梁の主筋	⊙ガス圧接　・機械式継手 ・溶接継手　・重ね継手	D22,D19
耐力壁の鉄筋	・重ね継手　・	
その他の鉄筋(　　)	⊙重ね継手　・	D10,D13,D16

継手位置
⊙図示による（ 構造図による ）　・
柱及び梁主筋の重ね継手の長さ
・図示による（　　）　・
耐力壁の重ね継手の長さ
・図示による（　　）　・

⊙ 鉄筋の定着　(5.3.4)

鉄筋の定着長さ
⊙図示による（ 構造図による ）　・
機械式定着工法
・適用する
適用場所
・図示による（　　）　・
種類
・摩擦圧接接合　・螺合グラウト固定
・嵌合グラウト固定　・
工法
※第三者機関の評定等を取得している工法とする
必要定着長さ
※評定等の評価内容による
補強筋形状
※評定等の評価内容による
かぶり厚さ
※評定等の評価内容による
品質確認
※評定等の評価内容による
検査
※評定等の評価内容による

⊙鉄筋のかぶり厚さ及び間隔（溶接金網を含む)　(5.3.5)

最小かぶり厚さ
⊙図示による（構造図による）　・
軽量コンクリートを適用する場合
・あり　適用箇所(　　)
・最小かぶり厚さに加える厚さ（　　）mm　・
耐久性上不利な箇所がある場合（塩害等を受けるおそれのある部分等）
・あり　適用箇所(　　)
・最小かぶり厚さに加える厚さ（　　）mm　・

⊙ 各部配筋　(5.3.7)

各部配筋
⊙図示による（　　）　・

⊙ ガス圧接継手　(5.4.10)

圧接完了後の圧接部の試験
※超音波探傷試験
・引張試験
試験方法等　※標準仕様書5.4.10(イ)(b)①～⑥による　・

・ 機械式継手　(5.5.3)(5.5.5)

適用箇所
・図示による（　　）　・
H12建告第1463号に適合する性能
・A級　・
種類
・ねじ式鉄筋継手
充填方式
・無機グラウト方式　・有機グラウト方式　・
・端部ねじ加工継手
・モルタル充填式継手
・
工法
※第三者機関の評定等を取得している工法
鉄筋相互のあき
※評定等の評価内容による
品質の確認
※評定等の評価内容による
検査
※評定等の評価内容による
施工完了後の継手部の試験
・外観試験
試験対象
※全数
試験項目
・評定等の評価内容による　・
試験方法
・評定等の評価内容による　・
・超音波測定試験
試験対象
・抜取り
ロット
・1組の作業班が1日に行った継手箇所で、最大200箇所程度とする。
・
試験の箇所数
1ロットに対して（　　）箇所
・全数
試験項目
※挿入長さ
試験方法
※JIS Z 3064（鉄筋コンクリート用機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定方法及び判定基準）による
不合格となった場合の措置
・

・ 溶接継手　(5.6.3)(5.6.5)

適用箇所
・図示による(　　)　・
H12建告第1463号に適合する性能
・A級　・
溶接継手の工法
・図示による(　　)　・
鉄筋相互のあき
・標準仕様書5.3.5(4)による
・評定等の評価内容による
・図示による(　　)
施工完了後の溶接部の試験
・外観試験
試験対象
※全数
試験項目
・評定等の評価内容による　・
試験方法
・評定等の評価内容による　・
・超音波探傷試験
試験対象
・抜取り
ロット
・1組の作業班が1日に行った溶接箇所で、最大200箇所程度とする。
・
試験の箇所数
1ロットに対して（　　）箇所
・全数
試験項目
※内部欠陥の検出
試験方法
※JIS Z 3063（鉄筋コンクリート用異形棒鋼溶接部の超音波測定方法及び判定基準）による
不合格となった場合の措置
・

特記

物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事		
図面名	共通 特記仕様書 構造関係(その1)	縮尺	A1: － A3: －
図番	S-002		

⑥ コンクリート工事

⊙ コンクリートの種類 (6.2.1)

コンクリートの類別
※Ⅰ類（JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート）
・Ⅱ類（JIS A 5308に適合したコンクリート）

⊙ コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度等 (6.2.1)～(6.2.4)(6.3.2)(6.10.1)(6.10.2)

・普通コンクリート

設計基準強度 (N/mm²)	スランプ (cm)	気乾単位容積質量 (t/m³)	適用箇所
⊙24	⊙15	⊙2.3程度	基礎,基礎梁,RCスラブ,腰壁
・	・	・	

構造体強度補正値　※標準仕様書表6.3.2による　・

・軽量コンクリート

設計基準強度 (N/mm²)	スランプ (cm)	気乾単位容積質量 (t/m³)	種類	適用箇所
・	※21　・	・	・1種　・2種	
・	・	・		

構造体強度補正値　※標準仕様書表6.3.2による　・

⊙ セメント (6.3.1)

種　類
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は
フライアッシュセメントA種（普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で352Ｊ/ｇ 以下、かつ28日目で 402Ｊ/ｇ 以下のものとする）
適用箇所（普通コンクリート使用箇所）
・高炉セメントB種 G　適用箇所（　　）
・フライアッシュセメントB種 G　適用箇所（　　）

⊙ 骨材 (6.3.1)

アルカリシリカ反応性による区分
※A　・B

⊙ 混和材料 (6.3.1)

⊙混和剤
混和剤の種類
※標準仕様書 6.3.1(4)(a)による　・
・混和材
混和材の種類
※標準仕様書 6.3.1(4)(b)による　・

・ 寒中コンクリート (6.11.1)(6.11.2)

適用期間
・図示による（　　）　・
構造体強度補正値
・標準仕様書6.11.2(3)(ｱ)による
・積算温度による

・ 暑中コンクリート (6.12.2)

構造体強度補正値
※6N/mm²　・

・ マスコンクリート (6.13.1)(6.13.2)

適用箇所
・図示による（　　）　・
セメントの種類
・普通ポルトランドセメント
・中庸熱ポルトランドセメント
・低熱ポルトランドセメント
・高炉セメントB種 G
・フライアッシュセメントB種 G
・シリカセメント
・
混和材料
・混和剤
混和剤の種類
※標準仕様書 6.13.2(2)(ｱ)による　・
・混和材
混和材の種類
※標準仕様書 6.13.2(2)(ｲ)による　・
スランプ
※15cm　・
構造体強度補正値
※標準仕様書表6.13.1による　・

⊙ 無筋コンクリート (6.14.1)

コンクリートの種類
※普通コンクリート　・
セメントの種類
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は
フライアッシュセメントA種
・高炉セメントB種 G
・フライアッシュセメントB種 G
設計基準強度
※18N/mm²　・
スランプ
※15cm又は18cm　・
適用箇所
※標準仕様書 6.14.1(4)(ｱ)～(ｳ)による　・

・ 流動化コンクリート (6.15.1)

適用箇所
・図示による（　　）

⊙ 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地 (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3)

打継ぎの位置
※標準仕様書6.6.4(1)による　・図示による（　　）
目地寸法
※ 標準仕様書9.7.3(1)(ｱ)による　・図示による（　　）
ひび割れ誘発目地の位置・形状・寸法
・図示による（　　）

⊙ 構造体コンクリートの仕上り (6.2.5)

合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ

種　別	適用箇所
・A種	
・B種	
⊙C種	ビット内コーン使用

コンクリートの仕上りの平たんさ

種　別	適用箇所
⊙a種	
・b種	
・c種	

⊙ 打増し厚さ（打放し仕上げ部） (6.8.1)

⊙打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る)
⊙20mm　・
⊙打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る)
⊙10mm　・20mm　・

⊙ 型枠 (6.8.2)

せき板の材料及び厚さ
⊙合板(※12mm　・　) G　・
・断熱材を兼用した型枠材
使用箇所
・図示による（　　）　・
・ＭＣＲ工法用シート
適用箇所
・図示による（　　）　・
打増し厚さ　・20mm　・
打増し範囲　・図示による（　　）　・
スリーブの材種・規格等
・図示による（　　）　・

・ コンクリートの単位水量測定 (6.5.1)

実施要領
・図示による（　　）　・

⑦ 鉄骨工事

⊙ 鉄骨製作工場 (7.1.3)

鉄骨製作工場の加工能力
※建築基準法 第68条の25 に基づき国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場
（　M　）グレード以上
・監督職員の承諾する工場

⊙ 鉄骨製作工場における施工管理技術者 (7.1.4)

※配置する

⊙ 鋼材 (7.2.1)(7.2.10)

種類等

種類の記号	適用箇所（主要な部分）	規　格
SS400	小梁,鉛直ブレース,間柱	⊙JISによる　・
SN400B	大梁、ベースプレート	⊙JISによる　・
TMCP325	ベースプレート	・JISによる　・
SN490C	ダイアフラム	⊙JISによる　・
BCR295	柱	・JISによる　・

⊙ 高力ボルト (7.2.2)(7.3.2)(7.4.2)

高力ボルトの種類
⊙トルシア形高力ボルト
・JIS形高力ボルト
・
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
⊙図示による（構造図による）　・
摩擦面の処理方法
⊙標準仕様書7.4.2(1)による
・
・すべり試験の実施
・すべり係数試験　・すべり耐力試験
すべり試験を実施する場合、標準仕様書7.4.2(1)(ｲ)による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。

⊙ 普通ボルト (7.2.3)(7.3.2)(7.3.8)

ボルト及びナットの材料
⊙標準仕様書 表7.2.3(JIS附属書品)又は次による
ボルトの規格は、JIS B 1180とする。
ボルトの種類は、呼び径六角ボルト又は全ねじ六角ボルトとし、材料は鋼とする。
ボルトの強度区分は、4.6又は4.8とする。なお、呼び径六角ボルトの軸径の最大寸法は、ボルトの径の値以下とする。
ナットの規格は、JIS B 1181とする。
ナットの種類は、六角ナットCとし、材料は鋼とする。
・

座金

※JIS B 1256による　・
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
・図示による（　　）　・
母屋又は胴縁の取付けに使用するボルトの孔径
※ねじの呼び径+1.0mm　・

⊙ 溶融亜鉛めっき高力ボルト (7.3.2)(7.4.2)(7.12.5)

ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
⊙図示による（構造図による）　・
摩擦面の処理方法
・ブラスト処理(表面粗度50μmRz以上)
⊙りん酸塩処理
・
・すべり試験の実施
・すべり係数試験　・すべり耐力試験
すべり試験を実施する場合、標準仕様書7.12.5(1)(ｱ)又は(ｲ)による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。

⊙ アンカーボルト (7.2.4)(7.3.2)

⊙構造用アンカーボルト
種類
⊙ABR400　・ABR490　・露出型弾性固定柱脚構法
⊙建方用アンカーボルト
種類
⊙SS400　・
アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度
※標準仕様書 表7.2.3による　・
・標準仕様書7.2.4以外のアンカーボルト
適用箇所
・図示による（　　）　・
種類
・SS400　・
アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度
※標準仕様書 表7.2.3による　・
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
⊙図示による（ 構造図による ）　・

⊙ 溶接材料 (7.2.5)

溶接材料
⊙標準仕様書 7.2.5(1)(2)による
・

⊙ ターンバックル (7.2.6)

種類
建築用ターンバックルボルト
※羽子板ボルト　・
建築用ターンバックル胴
※割枠式　・
ねじの呼び
⊙図示による（ 構造図による ）　・

⊙ 床構造用のデッキプレート (7.2.7)(7.7.8)

材質、形状及び寸法

	適用箇所	材質・形状・寸法	備　考
・デッキプレート単独の構法			
・デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構法	管理棟 2階スラブ	S-109による	
・			

開口部補強要領（補強筋の定着長さ等を含む）
⊙図示による（　　）　・
鉄骨部材への溶接方法
⊙図示による（　　）　・
耐火認定
⊙あり
耐火時間　⊙図示による（　S-109　）　・
・なし

⊙ スタッド (7.2.8)

種類等

呼　び　名	呼び長さ（mm）	適　用　箇　所
⊙16	80	小梁
⊙19	80	大梁
・22		

⊙ 柱底均しモルタル (7.2.9)

無収縮モルタルとする場合の材料、調合等
※標準仕様書 7.2.9(2)(ｱ)から(ｴ)による　・

⊙ 製作精度 (7.3.3)

鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]に加えて、次による
通しダイアフラムの突合せ継手の食い違いの寸法
※H12建告第1464号第二号イ(2)による
・
アンダーカットの寸法
※H12建告第1464号第二号イ(3)による
・
食い違い仕口のずれの検査方法及び補強方法
・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による
・

・ 仮組 (7.3.10)

仮組を行う範囲
・図示による（　　）　・

⊙ 溶接作業を行う技能資格者の技量付加試験 (7.6.3)

試験の要領
・図示による（　　）　⊙建築鉄骨溶接技量検定(AW)に準拠

⊙ 溶接接合 (7.6.4)(7.6.7)

開先の形状
⊙図示による（構造図による）　・
鋼製エンドタブを切断する部分
切断する箇所
・図示による（　　）　⊙見え掛り部分等
切断範囲
⊙鋼製エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジの端から5mm以下を残して直線状に切断する。
なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する。
・
切断面の仕上げ
⊙標準仕様書7.6.7(1)(ｶ)(b)②による
・
スカラップの形状
・図示による（　　）　⊙ノンスカラップ工法

⊙ 入熱,パス間温度の溶接条件 (7.6.7)(7.6.10)

鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件
⊙図示による（構造図による）　・
適用箇所
・図示による（　　）
⊙柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶込み溶接部

⊙ 溶接部の試験 (7.6.12)

平12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等
⊙「突合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2 受入検査による
※抜き取り検査②　・抜き取り検査①
JASS 6 付則 6［鉄骨精度検査基準］の付表3「溶接」に関する試験方法等
⊙JASS 6 10.4［受入検査］e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。
完全溶込み部の超音波探傷試験
・工場溶接の場合
AQQL(%)　※4.0　・2.5

節	⊙全て	・	・	・
検査水準	※第6水準	・	・	・

⊙工事現場溶接の場合
※全て　・

⊙ 錆止め塗装 (7.8.2、4)(18.3.2)

塗料の範囲
耐火被覆材の接着する面の塗装範囲
・図示による（　　）　・
耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲
※ 標準仕様書7.8.2(2)(ｱ)～(ｲ)による　・図示による（　　）
塗料の種別
・下記以外の鉄鋼面は、18章[塗装工事]による
・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種別
※A種　・
・耐火被覆材が接着する面の塗料の種別
・

⊙ 溶融亜鉛メッキ (7.12.1)(7.12.3)(14.2.3)(18.2.4)

適用範囲　※露出鉄骨部材（　構造図による　）
付着量
型鋼及び鋼板類の亜鉛めっきは、最小板厚に対するめっき付着量とする。

種　別	表面処理方法	規格番号	規格名称	めっきの種類	記　号	最小板厚(mm)
※A種					HDZ55	6 以上
・B種	溶融亜鉛めっき	JIS H8641	溶融亜鉛めっき	2 種	HDZ45	3.2 以上
・C種					HDZ32	1.6 以上

・ 耐火被覆 (7.9.2)～(7.9.8)

種類、材料、工法等

種類	材料・工法	性能（耐火時間）	適用箇所（部位・部分）
・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール		
	・半乾式吹付けロックウール		
	・湿式ロックウール		
	・		
	・		
・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板		
	・		
・耐火材巻付け	・高断熱ロックウール		
	・		
・ラス張りモルタル塗り	—		
・耐火塗料	・		

⊙ アンカーボルト等の設置等 (7.10.3)

構造用アンカーボルトの形状及び寸法
⊙図示による（　S-010　）　・
構造用アンカーフレームの形状及び寸法
⊙図示による（　S-010　）　・
建方用アンカーボルトの形状及び寸法
・図示による（　　）　・
建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法
種別
・A種　・B種
柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種別
厚さ
⊙図示による（構造図による）
種別
※A種　・B種

・軽量形鋼構造 (7.11.2)

ボルトの接合部
・普通ボルト接合　・

特記

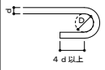
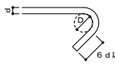
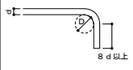
				物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事
				図面名	共通 特記仕様書 構造関係(その2)
				縮尺	A1: － A3: －
				図番	S-003

構造関係共通事項(配筋標準図)

1.1 鉄筋の加工

鉄筋の折曲げ内法直径は、表1.1を標準とする。

表1.1　鉄筋の折曲げ内法直径

折曲げ角度	折曲げ図（余長）	折曲げ内法直径(D)		
	鉄筋の種類	SD295,SD345		SD390
	呼び名	D16以下	D19～D38	D19～D38
180°		3d以上	4d以上	5d以上
135°				
90°				
135°及び90°（幅止め筋）				

1．片持ちスラブ先端、壁筋の自由端側の先端で90°フック又は135°フックを用いる場合は、余長は4ｄ以上とする。
2．９０°未満の折曲げの内法直径は構造図による。

2.1 異形鉄筋の末端部

次の部分に使用する異形鉄筋の末端部にはフックを付ける。
（１）柱及び梁（基礎梁を除く）の出隅部

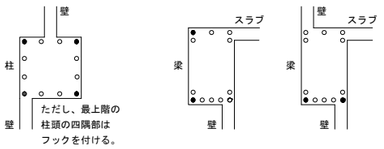


図2.1 末端部にフックを必要とする出隅部の鉄筋（ ● 印）

（２）煙突の鉄筋（壁の一部となる場合を含む）
（３）杭基礎のベース筋
（４）帯筋、あばら筋及び幅止め筋

3.1 継手及び定着

（ａ）鉄筋の重ね継手
（１）径が異なる鉄筋の重ね継手の長さは、細い鉄筋の径による。
（２）柱及び梁の主筋並びに耐力壁を除く鉄筋の重ね継手の長さは、表3.1による。

表3.1　鉄筋の重ね継手の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 Fc（N/mm²）	L1（フックなし）	L1h（フックあり）
SD295	18	45d	35d
	21	40d	30d
	24，27	35d	25d
	30，33，36	35d	25d
SD345	18	50d	35d
	21	45d	30d
	24，27	40d	30d
	30，33，36	35d	25d
SD390	21	50d	35d
	24，27	45d	35d
	30，33，36	40d	30d

（注）１．L1，L1h：重ね継手の長さ及びフックあり重ね継手の長さ
２．フックありの場合のL1hは、図3.1に示すようにフック部分 Q を含まない。
３．軽量コンクリートの場合は、表の値に５ｄを加えたものとする。

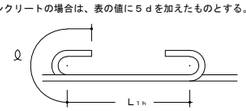
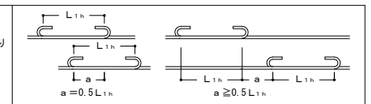
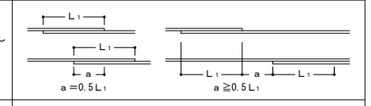
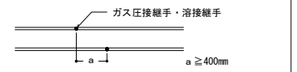
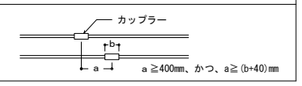


図3.1　フックありの場合の重ね継手の長さ

（３）耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さは、フックありなしにかかわらず４０ｄ以上（軽量コンクリートの場合は５０ｄ以上）又は表3.1の重ね継手の長さのうちいずれか大きい値とする。

（４）隣り合う継手の位置は、表3.2による。
ただし、スラブ筋でＤ１６以下の場合及び壁筋の場合は除く。

表3.2　隣り合う継手の位置

重ね継手	フックありの場合	
	フックなしの場合	
ガス圧接継手 溶接継手	－	
機械式継手	－	

（ｂ）鉄筋の定着
（１）鉄筋の定着の長さは、表3.3及び図3.2による。

表3.3　鉄筋の定着の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 Fc（N/mm²）	直線定着の長さ L1	直線定着の長さ L2	直線定着の長さ L3 小梁	直線定着の長さ L3 スラブ	フックあり定着の長さ L1h	フックあり定着の長さ L2h	フックあり定着の長さ L3h 小梁	フックあり定着の長さ L3h スラブ
SD295	18	45d	40d	20d（片持小梁の場合２５d）	10dかつ150mm以上（片持スラブの場合２５d）	35d	30d	10d	－
	21	40d	35d			30d	25d		
	24，27	35d	30d			25d	20d		
	30，33，36	35d	30d			25d	20d		
SD345	18	50d	40d			35d	30d		
	21	45d	35d			30d	25d		
	24，27	40d	35d			30d	25d		
	30，33，36	35d	30d			25d	20d		
SD390	21	50d	40d			35d	30d		
	24，27	45d	40d			35d	30d		
	30，33，36	40d	35d			30d	25d		

（注）１．L1，L1h：２．から４．まで以外の直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ
２．L2，L2h：割裂破壊のおそれのない箇所への直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ
３．L3h：小梁及び端部がのろ型筋の直線定着の長さ。ただし、基礎耐圧スラブ及びこれを受ける小梁は除く。
５．フックあり定着の場合は、図3.2に示すようにフック部分 Q を含まない。また、中間部での折曲げは行わない。
６．軽量コンクリートの場合は、表の値に５ｄを加えたものとする。

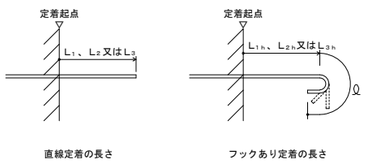


図3.2　直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ

（２）梁主筋の柱内折曲げ定着又は小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の方法は、図3.3により、次の（ｉ）、（ii）及び（iii）をすべて満足するものとする。
（ｉ）　全長は表3.3に示す直線定着の長さ以上
（ii）　余長は８ｄ以上とする。
（iii）　仕口面から鉄筋外面までの投影定着長さＬａ及びＬｂは表3.4に示す長さとする。
ただし、梁主筋の柱内定着においては、柱せいの3/4倍以上とする。

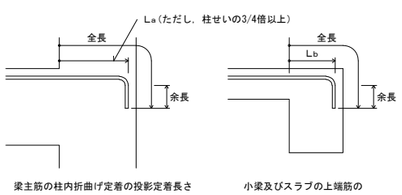


図3.3　折曲げ定着の方法

表3.4　鉄筋の投影定着の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 Fc（N/mm²）	La	Lb
SD295	18	20d	15d
	21	15d	15d
	24，27	15d	15d
	30，33，36	15d	15d
SD345	18	20d	20d
	21	20d	20d
	24，27	20d	15d
	30，33，36	15d	15d
SD390	21	20d	20d
	24，27	20d	20d
	30，33，36	20d	15d

（注）１．Ｌａ：梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ
（基礎梁、片持梁及び片持スラブを含む。）
２．Ｌｂ：小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ
（片持小梁及び片持スラブを除く。）
３．軽量コンクリートの場合は、表の値に５ｄを加えたものとする。

（３）溶接金網の継手及び定着は、図3.4による。
なお、L1 は表3.1に、L2 及びL3 は表3.3による。

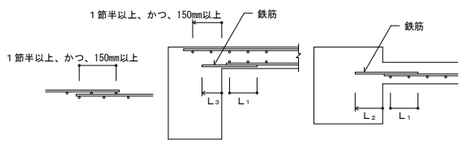


図3.4　溶接金網の継手及び定着

（４）スパイラル筋の継手及び定着は、図3.5による

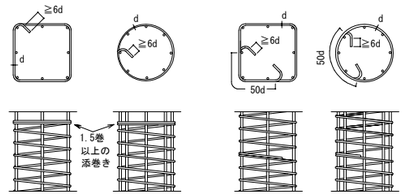


図3.5　スパイラル筋の継手及び定着

4.1 最小かぶり厚さ

（ａ）鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは、表4.1による。
ただし、柱及び梁の主筋にＤ２９以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保するように最小かぶり厚さを定める。

表4.1　鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ

構造部分の種別			最小かぶり厚さ(mm)
土に接しない部分	スラブ，耐力壁以外の壁	仕上げあり	20
		仕上げなし	30
	柱，梁，耐力壁 屋内	仕上げあり	30
		仕上げなし	30
	柱，梁，耐力壁 屋外	仕上げあり	30
		仕上げなし	40
	擁壁，耐圧スラブ		40
土に接する部分	柱，梁，スラブ，壁		40
	基礎，擁壁，耐圧スラブ		60
煙突等高熱を受ける部分			60

（注）１．この表は、普通コンクリートに適用し、軽量コンクリートには適用しない。
また、塩害を受けるおそれのある部分等耐久性上不利な箇所には適用しない。
２．「仕上げあり」とは、モルタル塗り等の仕上げのあるものとし、鉄筋の耐久性上有効でない仕上げ（仕上塗材、塗装等）のものを除く。
３．スラブ、梁、基礎及び擁壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、捨コンクリートの厚さを含まない。
４．杭基礎の場合の基礎下端筋のかぶり厚さは、杭天端からとする。

（ｂ）柱、梁等の鉄筋の加工に用いるかぶり厚さは、最小かぶり厚さに１０mmを加えた数値を標準とする。

（ｃ）鉄筋組立後のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。

（ｄ）鉄筋相互のあきは図4.1により、次の値のうち最大のもの以上とする。
（１）粗骨材の最大寸法の1.25倍
（２）２５mm
（３）隣り合う鉄筋の径の平均（呼び名の数値）の1.5倍

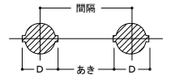


図4.1　鉄筋相互のあき及び間隔

（ｅ）鉄骨鉄筋コンクリート造の場合、主筋と平行する鉄骨とのあきは、(d)による。

（ｆ）貫通孔に接する鉄筋のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。

5.1 基礎梁

（ａ）一般事項
（１）梁筋は、連続端で柱に接する梁筋が同数の時は柱をまたいで引き通すものとし、鉄筋の本数が異なる場合には、図5.1のように反対側の梁に定着する。外端部や隅部では、折り曲げて定着する。
（２）梁筋を柱内に定着する場合は、7.1(b)(4)による。

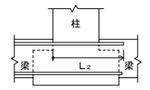
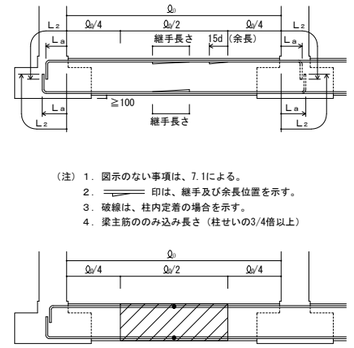


図5.1　梁筋の基礎梁内への定着

（ｂ）独立基礎で基礎梁にスラブが付かない場合の主筋の継手、定着及び余長は、図5.2による。

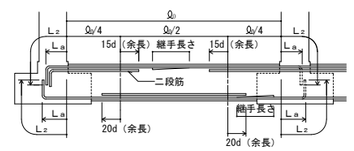


（注）１．図示のない事項は、7.1による。
２．＝＝＝ 印は、継手及び余長位置を示す。
３．破線は、柱内定着の場合を示す。
４．梁主筋ののみ込み長さ（柱せいの3/4倍以上）

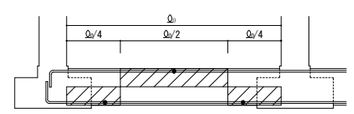
：継手の好ましい位置
：ガス圧接を例で示す

図5.2　主筋の継手、定着及び余長（その１）

（ｃ）独立基礎で基礎梁にスラブが付く場合の主筋の継手、定着及び余長は、図5.3による。
ただし、耐圧スラブが付く場合は、（d）による。



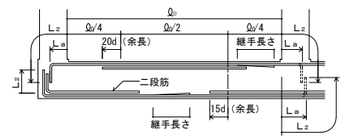
（注）１．図示のない事項は、7.1による。
２．＝＝＝ 印は、継手及び余長位置を示す。
３．破線は、柱内定着の場合を示す。
４．梁主筋ののみ込み長さ（柱せいの3/4倍以上）



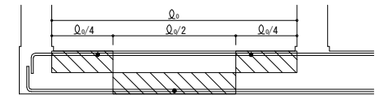
：継手の好ましい位置
：ガス圧接を例で示す

図5.3　主筋の継手、定着及び余長（その２）

（ｄ）連続基礎及びべた基礎の場合の主筋の継手、定着及び余長は、図5.4による。



（注）１．図示のない事項は、7.1による。
２．＝＝＝ 印は、継手及び余長位置を示す。
３．破線は、柱内定着の場合を示す。
４．梁主筋ののみ込み長さ（柱せいの3/4倍以上）



：継手の好ましい位置
：ガス圧接を例で示す

図5.4　主筋の継手、定着及び余長（その３）

5.2 基礎梁のあばら筋等

（ａ）一般事項
（１）あばら筋の径および間隔は、構造図による。
（２）あばら筋組立の形及びフックの位置は、7.2(b)による。
ただし、梁の上下端にスラブが付く場合で、かつ、梁せいが1.5m以上の場合は、図5.5によることができる。

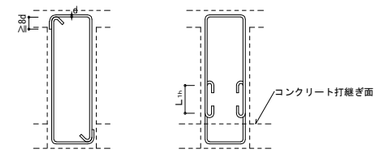


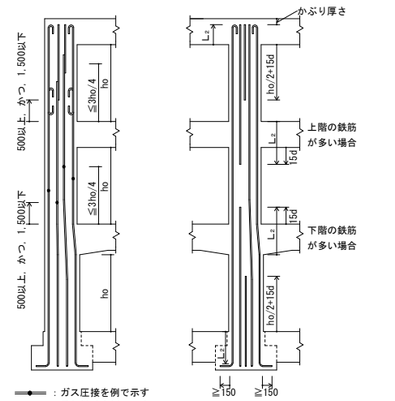
図5.5　あばら筋組立の形及びフックの位置

（ｂ）腹筋及び幅止め筋は、7.2による。ただし、梁せいが1.5m以上の場合は構造図による。

（ｃ）あばら筋の割付けは、7.2(c)による。

6.1 柱

（ａ）一般事項
（１）継手中心位置は、梁上端から500mm以上、1,500mm以下、かつ、3ho/4（hoは柱の内法高さ）以下とする。
（２）継手、定着及び余長は、図6.1による。
ただし、柱頭定着長さL2 が確保できない場合は、構造図による。



（注）１．柱の四隅にある主筋で、重ね継手の場合及び最上階の柱頭にある場合には、フックを付ける。
２．隣り合う継手の位置は、表3.2［隣り合う継手の位置］による。
３．継手及び定着は、すべての階に適用できる。

図6.1　柱主筋の継手、定着及び余長

特記

			物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事	
			図面名	共通 構造関係共通事項(配筋標準図)その1	縮尺 A1: － A3: － / 図番 S-004

（b）柱打増し部

（1）打増し部分に、壁、梁、スラブ等がとりつく場合の壁、梁、スラブ筋等の定着長さは、打増し部分を含まない。

（2）土に接する柱周囲の打増しは図6.2による。

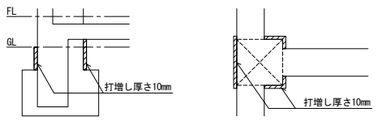


図6.2　柱打増し部

6.2　帯筋

（a）帯筋の種類及び間隔は、構造図による。

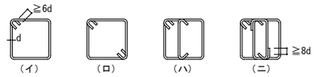
（b）帯筋組立の形は図6.3により、適用は構造図による。

（1）H形の135°曲げのフックが困難な場合は、W－I形とする。

（2）溶接する場合の溶接長さLは、両面フレア溶接の場合は５ｄ以上、片面フレア溶接の場合は１０ｄ以上とする。

（3）ＳＰ形において、柱頭及び柱脚の端部は1.5巻以上の添巻き行う。

①H形



②W－I形



注）溶接は、鉄筋の組立前に行う。

⑤ＳＰ形（スパイラル筋）　⑥丸形

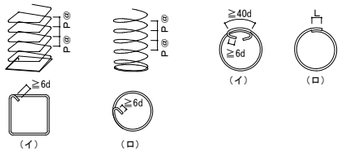
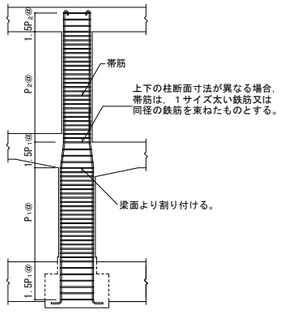


図6.3　帯筋組立の形

（c）フック及び継手の位置は交互とする。

（d）帯筋の割付けは図6.4とし、それ以外の場合は構造図による。



（注）1．柱に取り付く梁に段差がある場合、帯筋の間隔を1.5P_1@または1.5P_2@とする範囲は、その柱に取り付くすべての梁を考慮して適用する。

2．図中のP_1@　、P_2@は、特記された帯筋の間隔を示す。

図6.4　帯筋の割付け

7.1　大梁

（a）一般事項

（1）梁の上がり下がりは FLを基準とした寸法値とする。

（2）地中梁下の砂利地業厚及び捨てコンクリート地業厚は構造図による。

（3）打増し部分に、スラブ、壁、梁筋等が取り付く場合のスラブ、壁、梁筋等の定着長さは、打増し部分を含まない。

（b）大梁主筋の継手及び定着の一般事項

（1）継手中心位置は、次による。

上端筋：中央 $\ell_0/2$以内

下端筋：柱面より梁せい（D）以上離し、$\ell_0/4$を加えた範囲以内

（2）継手中央部の位置、定着長さ及び余長は図7.3及び図7.4による。

（3）梁筋は、連続端で柱に接する梁筋が同数の時は柱をまたいで引き通すものとし、鉄筋の本数が異なる場合には、図7.1のように反対側の梁に定着する。外端部や隅部では、折り曲げて定着する。

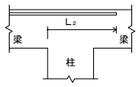


図7.1　梁主筋の梁内定着

（4）梁主筋を柱内に折り曲げて定着する場合は次による。

なお、定着の方法は3.1(b)(2)による。

上端筋：曲げ降ろす。

下端筋（一般）：原則、曲げ上げる。

下端筋（ハンチ付き）：原則、曲げ上げる。

（5）梁にハンチをつける場合、その傾斜は構造図による。

（6）段違い梁は、図7.2による。

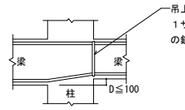
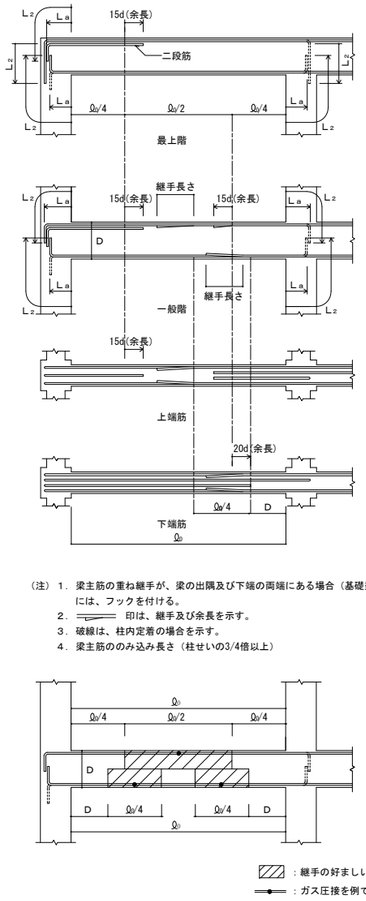


図7.2　段違い梁

（c）ハンチのない場合の重ね継手、定着及び余長は、図7.3による。



（注）1．梁主筋の重ね継手が、梁の出隅及び下端の両端にある場合（基礎梁を除く）には、フックを付ける。

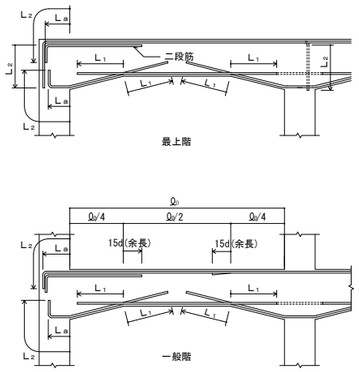
2．═══ 印は、継手及び余長を示す。

3．破線は、柱内定着の場合を示す。

4．梁主筋ののみ込み長さ（柱せいの3/4倍以上）

図7.3　大梁の重ね継手、定着及び余長

（d）ハンチのある場合の定着及び余長は、図7.4による。



（注）1．梁主筋の重ね継手が、梁の出隅及び下端の両端にある場合（基礎梁を除く）には、フックを付ける。

2．═══ 印は、継手及び余長を示す。

3．梁内定着の端部下端筋が接近するときは、：：：：：：のように引き通すことができる。

4．破線は、柱内定着を示す。

5．梁主筋ののみ込み長さ（柱せいの3/4倍以上）

図7.4　ハンチのある大梁の定着及び余長

7.2　あばら筋等

（a）あばら筋、腹筋及び幅止め筋の一般事項

（1）あばら筋の種類、径及び間隔は、構造図による。

（2）腹筋に継手を設ける場合の継手長さは、150mm程度とし、定着長さは図7.6による。
ただし、腹筋を計算上考慮している場合の継手長さ、定着長さは構造図による。

（3）幅止め筋及び受け用幅止め筋は、D10-1,000@程度とする。

（b）あばら筋組立の形及びフックの位置

（1）形は、図7.5（イ）とする。
ただし、L形梁の場合は、（ロ）または（ハ）、T形梁の場合は（ロ）～（ニ）とすることができる。

（2）フックの位置

ⅰ．（イ）の場合は交互とする。

ⅱ．（ロ）の場合　L形ではスラブの付く側、T形では交互とする。

ⅲ．（ハ）の場合は床版の付く側を90°折曲げとする。

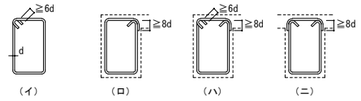
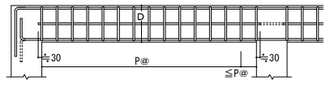


図7.5　あばら筋組立の形

（c）あばら筋の割付け

（1）間隔が一様でハンチのない場合は、図7.6による。

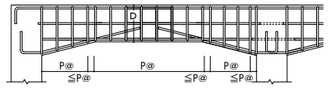


（注）1．あばら筋は、柱面の位置から割り付ける。

2．図中のP@は、構造図のあばら筋の間隔を示す。

図7.6　あばら筋の割付け（その１）

（2）間隔が一様でハンチのある場合は、図7.7による。

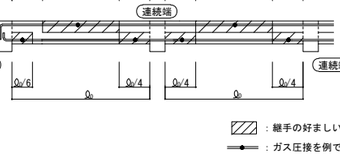


（注）1．あばら筋は、柱面の位置から割り付ける。

2．図中のP@は、構造図のあばら筋の間隔を示す。

図7.7　あばら筋の割付け（その２）

（3）梁の端部で間隔の異なる場合は、図7.8による。



（注）1．あばら筋は、柱面の位置から割り付ける。

2．図中のP@、P'@は、構造図のあばら筋の間隔を示す。

図7.8　あばら筋の割付け（その３）

（d）腹筋及び幅止め筋

（1）一般の梁は、図7.9による。

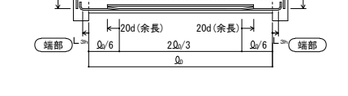
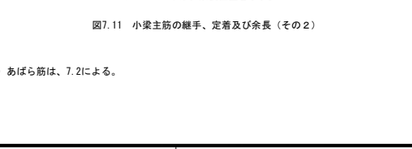


図7.9　腹筋および幅止め筋

7.3　小梁

（a）小梁主筋の継手、定着及び余長

（1）連続小梁の場合は、図7.10による。



（注）1．図示のない事項は、5.1及び7.1に準ずる。

2．═══ 印は、余長位置を示す。

図7.10　小梁主筋の継手、定着及び余長（その１）

（2）単独小梁の場合は、図7.11による。

直交する梁へ斜めに定着する場合

（注）1．図示のない事項は、5.1及び7.1に準ずる。

2．═══ 印は、余長位置を示す。

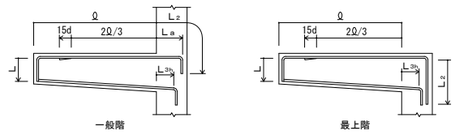
図7.11　小梁主筋の継手、定着及び余長（その２）

（b）あばら筋は、7.2による。

7.4　片持梁

（a）片持梁主筋の定着及び余長

（1）先端に小梁のない場合は、図7.12による。



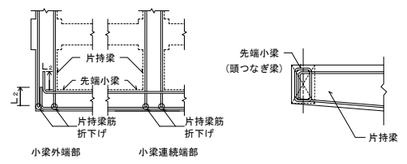
（注）1．図示のない事項は、7.1による。

2．═══ 印は、余長位置を示す。

3．先端の折曲げの長さLは、梁せいからかぶり厚さを除いた長さとする。

図7.12　片持梁主筋の定着及び余長

（2）先端に小梁がある場合は、図7.13による。



（注）1．図示のない場合は、（1）による。

2．先端小梁終端部の主筋は、片持梁内に水平定着する。

3．先端小梁の連続端は、片持梁の先端を貫通する通し筋としてよい。

図7.13　片持梁主筋の定着

（b）あばら筋は、7.2による。

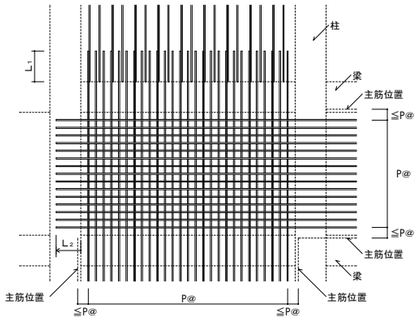
8.1　壁

（a）一般事項

（1）壁配筋の重ね継手の長さはL_1、定着の長さはL_2とし、鉄筋の継手位置は、柱・梁部以外とする。ただし、耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さは、フックありなしにかかわらず４０ｄ以上（軽量コンクリートの場合は５０ｄ以上）又は表3.1の重ね継手の長さのうちいずれか大きい値とする。

（2）幅止め筋は、縦横ともD10-1,000@程度とする。

（3）梁の打増し部分等に、壁が取り付く場合の壁筋等の定着長さは、打増し部分を含まない。



（注）図中のP@は、特記された壁筋の間隔を示す。

図8.1　壁の配筋

（b）壁の配筋は表8.1により、種別は構造図による。

表8.1　壁の配筋

種別	縦筋及び横筋	断面図　(mm)
W12	D10-200@シングル	120
W15A	D10-150@シングル	150
W15B	D10-100@シングル	
W18A	D10-200@ダブル	180
W18B	D10-150@ダブル	
W20A	D10-200@ダブル	200
W20B	D10-150@ダブル	

（注）　壁筋の配筋順序は、規定しない。

特記

				物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事
				図面名	共通 構造関係共通事項(配筋標準図)その2
				縮尺	A1: － A3: －
				図番	S-005

（ｃ）片持スラブ形階段を受ける壁の配筋は表8.2により、種別は構造図による。

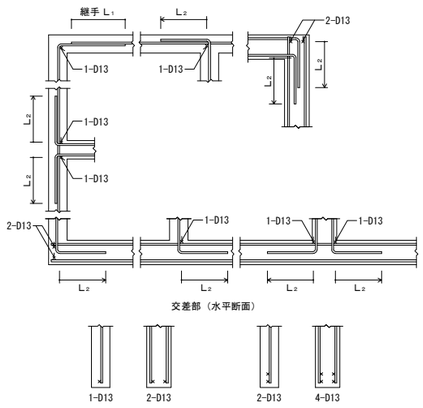
表8.2　片持スラブ形階段を受ける壁の配筋

種別	縦筋及び横筋		断面図　(mm)	階段の配筋種別(表10.1)
KW1	縦筋	D13-200@ダブル	180	KA1 KA3
	横筋	D10-200@ダブル		
KW2	縦筋	D13-150@ダブル	200	KA2 KA4
	横筋	D10-200@ダブル		

（注）縦筋は，横筋の外側に配筋する。

（ｄ）土圧を受ける壁の配筋は、構造図による。

（ｅ）壁の交差部及び端部の配筋は、図8.2による。



交差部（水平断面）　端部（垂直及び水平断面）　外壁の端部（垂直及び水平断面）

図8.2　壁の交差部及び端部の配筋

8.2　壁の補強

（ａ）壁開口部の補強

（１）耐力壁を除く壁開口部の補強筋は、Ａ形は表8.3、Ｂ形は表8.4とし、適用は構造図による。
なお、耐力壁の補強筋は、構造図による。

表8.3　壁開口部補強筋（Ａ形）

壁の種別	補強筋	
	縦横	斜め
W12，W15	1-D13	1-D13
W18，W20	2-D13	2-D13

表8.4　壁開口部補強筋（Ｂ形）

壁の種別	補強筋	
	縦横	斜め
W12，W15	2-D13	1-D13
W18，W20	4-D13	2-D13

（２）壁開口部補強の定着長さは、図8.3による。

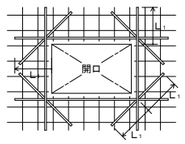


図8.3　壁開口部補強筋の定着長さ

（ｂ）コンセントボックス等を壁に埋め込む場合の補強は、構造図による。

9.1　スラブ

（１）スラブ及び土間コンクリートの上がり下がりは、FLを基準とした寸法値とする。
（２）土間スラブ下の砂利地業厚及び捨てコンクリート地業厚は構造図による。
（３）土間コンクリート補強筋（D※）の配筋及びコンクリート厚さは構造図による。
（４）スラブの配筋（Ｓ形配筋）は表9.1及び図9.1により、配筋種別及びスラブ厚さは、構造図による。
（５）梁の打増し部分等に、スラブが取り付く場合のスラブ筋等の定着長さは、打増し部分を含まない。

表9.1　Ｓ形配筋

配筋種別	短辺方向（主筋）全域	長辺方向（配力筋）全域
Ｓ1	D13-100@	D13-100@
Ｓ2	同　上	D13-150@
Ｓ3	同　上	D10,D13-150@
Ｓ4	D13-150@	D13-150@
Ｓ5	同　上	D10,D13-150@
Ｓ6	同　上	D10-150@
Ｓ7	D10,D13-150@	D10,D13-150@

配筋種別	短辺方向（主筋）全域	長辺方向（配力筋）全域
Ｓ8	D10,D13-150@	D10-150@
Ｓ9	同　上	D10-200@
S10	D10,D13-200@	D10,D13-200@
S11	同　上	D10-200@
S12	同　上	D10-250@
S13	D10-200@	D10-200@
S14	同　上	D10-250@

（注）上端筋，下端筋とも同一配筋とする。

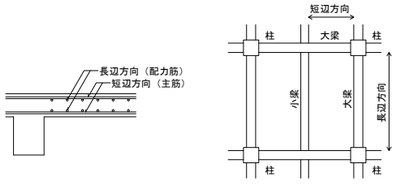


図9.1　スラブの配筋

（５）配筋の割付けは、中央から行い、端部は定められた間隔以下とする。
（６）鉄筋の重ね継手長さは、Ｌ₁とする。
（７）定着長さ及び受け筋は、図9.2による。
ただし、引き通すことができない場合は、図9.3により梁内に定着する。

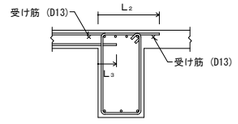
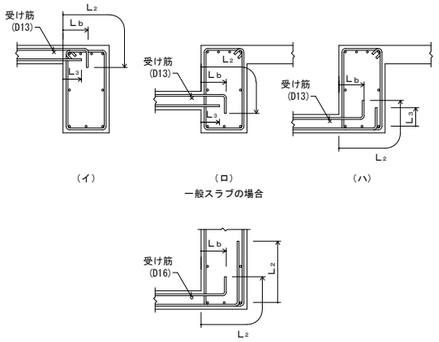


図9.2　スラブ筋の定着長さ及び受け筋（その１）



（イ）　（ロ）　（ハ）
一般スラブの場合
耐圧スラブの場合

図9.3　スラブ筋の定着長さ及び受け筋（その２）

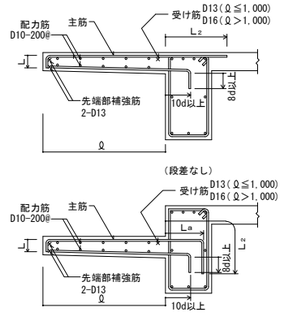
9.2　片持スラブ

片持スラブは、プレキャストコンクリート部材または現場打ちコンクリート部材とする。
プレキャストコンクリート部材とする場合の躯体への接続方法は、構造図による。
ただし、構造図になければ、片持ちスラブは現場打ちコンクリート部材とする。
片持スラブの配筋は、次による。
（１）片持スラブの配筋（ＣＳ形配筋）は、表9.2並びに図9.4及び図9.5により、配筋種別及びスラブ厚さは、構造図による。

表9.2　ＣＳ形配筋

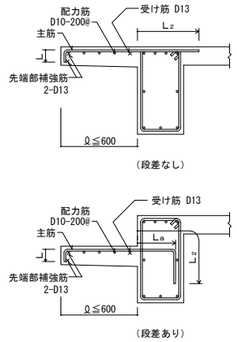
配筋種別		主筋
CS1	上	D13-100@
	下	D13-200@
CS2	上	D13-150@
	下	D13-300@
CS3	上	D10,D13-150@
	下	D10,D13-300@
CS4	上	D10,D13-200@
	下	D10-200@

配筋種別		主筋
CS5	上	D10-200@
	下	D10-400@
CS6	上	D10,D13-200@
	下	——
CS7	上	D10-200@
	下	——



（注）１．先端の折り曲げ長さＬは、スラブ厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。

図9.4　片持スラブの配筋（ＣＳ１からＣＳ５）



（注）１．先端の折り曲げ長さＬは、スラブ厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。

図9.5　片持スラブの配筋（ＣＳ６及びＣＳ７）

（２）先端に壁が付く場合の配筋は、図9.6による。

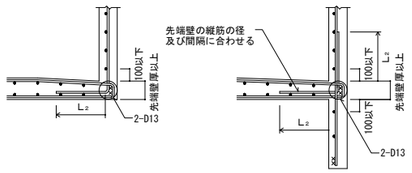


図9.6　先端に壁が付く場合の配筋

（３）出隅部
（ⅰ）出隅部の補強筋は構造図により、配筋方法は、図9.7による。
（ⅱ）出隅受け部分（図9.7の斜線部分）の補強筋は構造図による。

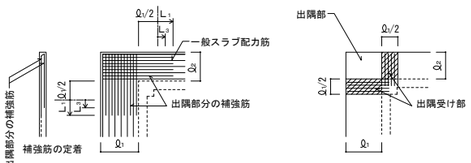


図9.7　片持ちスラブ出隅部の補強配筋

9.3　スラブ等の補強

（ａ）スラブ開口部の補強
スラブ開口部の補強方法は、構造図による。構造図になければ、（ⅰ）(ⅱ)による。
（ⅰ）スラブ開口の最大径が700mm以下の場合は、図9.8により開口によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、隅角部に斜め方向に2-D13（ Q＝２Ｌ，）シングルを上下筋の内側に配筋する。

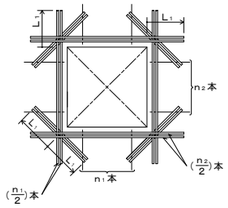


図9.8　スラブ開口部の補強配筋

（ⅱ）スラブ開口の最大径が両方向の配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。

（ｂ）屋根スラブの補強
屋根スラブの出隅及び入隅部分には、図9.9により、補強筋を上端筋の下側に配置する。

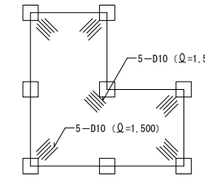
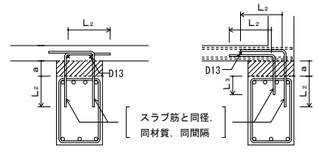


図9.9　出隅及び入隅部の補強配筋

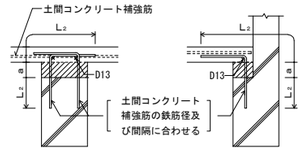
（ｃ）土間スラブの打継ぎ補強
基礎梁とスラブを一体打ちとしないで、打継ぎを設ける場合の補強は図9.10による。
ただし、土間スラブとは、土に接するスラブでＳ形の配筋によるものをいう。



（注）ａ≦300の場合

図9.10　打継ぎ補強配筋

（ｄ）土間コンクリートの補強
土間コンクリートの補強筋は、構造図による。なお、基礎梁との接合部は、図9.11による。



（注）ａ≦300の場合

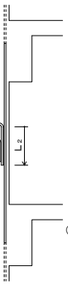
図9.11　土間コンクリートと基礎梁との接合部配筋

10.1　片持スラブ形階段

片持スラブ形階段の配筋は、表10.1及び図10.1により、寸法及び配筋種別は、構造図による。

表10.1　片持スラブ形階段の配筋

配筋種別	KA1	KA2
配筋図	D13 D13 D10-300@ D10-300@ t	2-D13 D13 D10-300@ D10-300@ t
配筋種別	KA3	KA4
配筋図	D10-300@ t t D13 D13	D10-300@ t t D13 2-D13



（注）１．壁配筋は、8.1（ｃ）による。
２．階段主筋は、壁の中心線を越えてから縦に下ろす。
３．スラブ配力筋の継手及び定着の長さは、表3.3［鉄筋の定着の長さ］のＬ₃とする。

図10.1　片持スラブ形階段配筋の定着

10.2　二辺固定スラブ形階段

二辺固定スラブ形階段は、プレキャストコンクリート部材または現場打ちコンクリート部材とする。
プレキャストコンクリート部材とする場合の躯体への接続方法は構造図による。
二辺固定スラブ形階段の配筋は表10.2並びに図10.2及び図10.3により、寸法及び配筋種別は、構造図による。
ただし、構造図になければ、二辺固定スラブ形階段は現場打ちコンクリート部材とする。

表10.2　二辺固定スラブ形配筋

配筋種別	上端筋、下端筋とも（全域）
KB1	D13-200@
KB2	D13-150@
KB3	D13-100@
KB4	D13,D16-150@
KB5	D16-150@
KB6	D16-125@
KB7	D16-100@

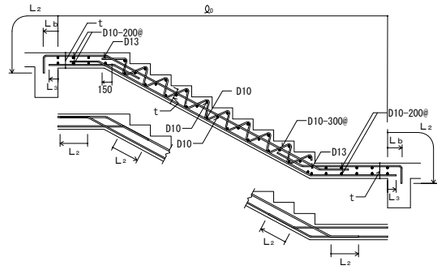
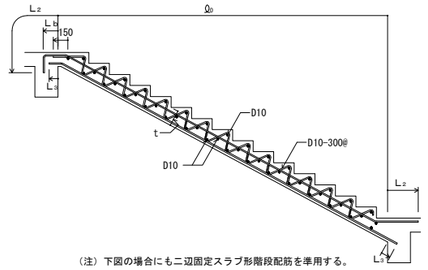


図10.2　二辺固定スラブ形階段配筋（その１）



（注）下図の場合にも二辺固定スラブ形階段配筋を準用する。

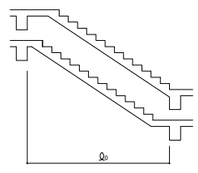


図10.3　二辺固定スラブ形階段配筋（その２）

特記

物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事				
図面名	共通 構造関係共通事項(配筋標準図)その3	縮尺	A1: － A3: －	図番	S-006

11.1　梁貫通孔

（ａ）梁貫通孔は、次による。

（１）　梁貫通孔補強筋の名称等は、図11.1による。

（２）　孔の径は、梁せいの1/3以下とする。

（３）　孔の上下方向の位置は梁せい中心付近とし、梁中央部においては、梁下端よりＤ/3（Ｄは梁せい）の範囲に孔を設けてはならない。ただし、耐圧スラブ付きの基礎梁の梁中央部においては、梁上端よりＤ/3の範囲に孔を設けてはならない。

（４）　孔は、柱面から原則として、1.5Ｄ以上離す。ただし、基礎梁及び壁付帯梁は除く。

（５）　孔が並列する場合の中心間隔は、孔の径の平均値の３倍以上とする。

（６）　縦筋及び上下縦筋は、あばら筋の形に配筋する。

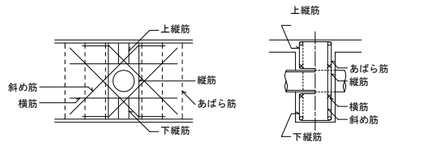
（７）　補強筋は、主筋の内側とする。また、鉄筋の定着長さは、図11.2による。

（８）　孔の径が梁せいの1/10以下、かつ、150㎜未満のものは、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。

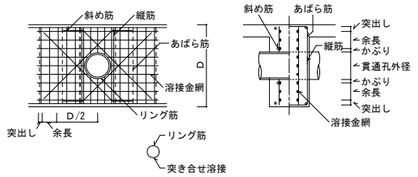
（９）　溶接金網の余長は1格子以上とし、突出しは10㎜以上とする。

（10）　溶接金網の貫通孔部分には、鉄筋 1-13φのリング筋を取り付ける。
なお、リング筋は、溶接金網に４箇所以上溶接する。

（11）　溶接金網の割付け始点は、横筋ではあばら筋の下側とし、縦筋では貫通孔の中心とする。



Ｈ形



ＭＨ形及びＭ形

図11.1　梁貫通孔補強筋の名称等

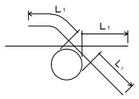


図11.2　補強筋の定着長さ

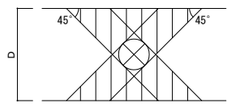


図11.3 他の開孔を設けない範囲

（ｂ）梁貫通孔の補強形式は表11.1～表11.3により、配筋種別は構造図による。

表11.1　Ｈ形配筋

配筋種別	斜め筋	縦筋	横筋	上下縦筋	配筋図
H1	2-2-D13	なし	なし	なし	
H2		2-2-D13			
H3	4-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
H4	4-2-D16				
H5	4-2-D16	4-2-D13	2-2-D13	3-2-D13	
H6	4-2-D19				
H7	4-2-D22				

（注）------　は、一般部分のあばら筋を示す。

表11.2　Ｍ形配筋

配筋種別	縦筋	溶接金網	配　筋　図
M1	2-2-D13	なし	
M2	4-2-D13		
M3	4-2-D13	2-6φ-100@	
M4	6-2-D13		

（注）------　は、一般部分のあばら筋を示す。

表11.3　ＭＨ形配筋

配筋種別	斜め筋	縦筋	溶接金網	配筋図
MH1	2-2-D13	なし	なし	
MH2		2-2-D13		
MH3	2-2-D13	2-2-D13	2-6φ-100@	
MH4	4-2-D13			
MH5	4-2-D16			
MH6	4-2-D16	4-2-D13	2-6φ-100@	
MH7	4-2-D19			

（注）------　は、一般部分のあばら筋を示す。

11.2　コンクリートブロック帳壁との取合い

（ａ）控壁は、次による。

（１）控壁の配置は、構造図による。

（２）配筋は、図11.4による。

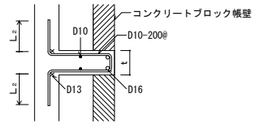


図11.4　控壁の配筋（水平、垂直とも）

（ｂ）帳壁が土間コンクリート上に設置される場合の補強は、図11.5による。

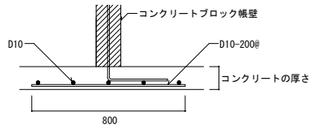


図11.5　壁付き土間コンクリートの補強配筋

11.3　パラペット

パラペットの先端補強筋は図11.6により、コンクリート厚さ及び配筋は構造図による。

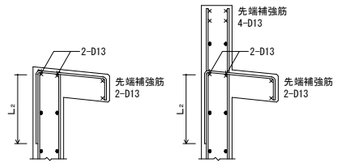


図11.6　パラペットの先端補強筋

特記

				物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事	
				図面名	共通 構造関係共通事項(配筋標準図)その4	縮尺 A1: － A3: －
						図番 S-007

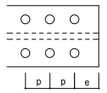
構造関係共通事項(鉄骨標準図)

1-1 縁端距離及びボルト間隔

（a）縁端距離及びボルト間隔
縁端距離及びボルト間隔は、表1.1による。ただし、引張材の接合部分において、せん断力を受けるボルトが応力方向に3本以上並ばない場合の縁端距離は、構造図による。構造図になければ、ボルト軸径の2.5倍以上とする。
また、アンカーボルトの縁端距離は構造図による。

表1.1　縁端距離及びボルト間隔　（単位mm）

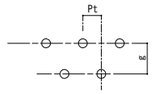
ねじの呼び	縁端距離 e	ボルト間隔 p
M12 M16 M20 M22	40	60
M24	45	70



（b）千鳥打ちのゲージ及びボルト間隔
千鳥打ちのゲージ及びボルト間隔は、表1.2による。

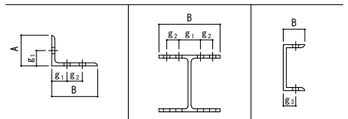
表1.2　千鳥のゲージ及びボルト間隔　（単位mm）

ゲージ g	千鳥打ちのボルト間隔 Pt ねじの呼び	
	M12,M16,M20,M22	M24
35	50	65
40	45	60
45	40	55
50	35	50
55	25	45
60	–	40



（c）形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径
形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径は、表1.3による。

表1.3　形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径　（単位mm）



A又はB	g_1	g_2	最大軸径	B	g_1	g_2	最大軸径	B	g_3	最大軸径
45	25		12	100	56		16	50	30	12
50	28		16	125	75		16	65	35	20
60	35		16	150	90		22	70	40	20
65	35		20	175	105		22	75	40	22
70	40		20	200	120		24	80	45	22
75	40		22	250	150		24	90	50	24
80	45		22	300	150	40 ※1	24	100	55	24
90	50		24	350	140	70	24			
100	55		24	400	140	90	24			
125	50	35	24							
130	50	40	24							
150	55	55	24							
175	60	70	24							
200	60	90	24							

※1　千鳥打ちとした場合

1-2 溶接継手の種類別開先標準

突合わせ継手(B)の開先標準

（単位：mm）

H（被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接）		A（サブマージアーク自動溶接）	
1（片面溶接）	2（両面溶接）	1（片面溶接）	2（両面溶接）
t ≦ 6		t ≦12	
G = t		6	
6＜ t ≦19		12＜ t ≦22	
35°, 2, 7	45°, 2, 7	30°, 2, 6	60°, 6
19＜ t ≦40		22＜ t ≦40	
35°, 2, 7	45°, 2, D1, D2, 60°	30°, 2, 6	60°, 6, D2, D1
	D1 = 2（t −2）/3 D2 =（t −2）/3		D1 =（t −6）/2 D2 =（t −6）/2

T型継手(T)の開先標準

（単位：mm）

H（被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接）		A（サブマージアーク自動溶接）	
1（片面溶接）	2（両面溶接）	1（片面溶接）	2（両面溶接）
t ≦ 6		t ≦12	
35°, S, 2, 6		35°, S, 2, 6	
1/4 t≦ S ≦10		1/4 t≦ S ≦10	
6＜ t ≦19		12＜ t ≦22	
35°, S, 2, 7	45°, S, 2, 7	35°, S, 2, 7	60°, S, 6
1/4 t≦ S ≦10	1/4 t≦ S ≦10	1/4 t≦ S ≦10	1/4 t≦ S ≦10
19＜ t ≦40		22＜ t ≦40	
35°, S, 2, 7	45°, S, 2, D1, D2, 60°	35°, S, 2, 7	60°, S, 6, D2, D1, 60°
1/4 t≦ S ≦10	D1= 2（t −2）/3 D2=（t −2）/3 1/4 t≦ S ≦10	1/4 t≦ S ≦10	D1=（t −6）/2 D2=（t −6）/2 1/4 t≦ S ≦10

部材が直交しない場合の開先標準

（単位：mm）

H（被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接）		
1（片面溶接）	2（両面等両面溶接）	
6＜ t ≦40	6＜ t ≦19	19＜ t ≦40
t, 2, ≧60°, S, 35°	t, 2, ≧60°, 0, S, 45°	t, 2, 2/3（t −2）, t ≧ t, ≧75°, 45°, 0, S, 60°
1/4 t≦ S ≦10	1/4 t≦ S ≦10	1/4 t≦ S ≦10

かど継手(L)の開先標準

（単位：mm）

H（被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接）		A（サブマージアーク自動溶接）	
1（片面溶接）	2（両面溶接）	1（片面溶接）	2（両面溶接）
t ≦ 6		t ≦12	
S, t		6, t	
S = t			
6＜ t ≦19		12＜ t ≦19	
35°, 2, 7, t	45°, 2, S, t	35°, 2, 7, t	50°, S, 6, t
	1/4 t≦ S ≦10		1/4 t≦ S ≦10
19＜ t ≦40		19＜ t ≦40	
35°, 2, 7, t	45°, 2, D1, D2, S, 60°, t	35°, 2, 7, t	60°, S, 6, D2, D1, 60°, t
	D1= 2（t −2）/3 D2=（t −2）/3 1/4 t≦ S ≦10		D1=（t −6）/2 D2=（t −6）/2 1/4 t≦ S ≦10

隅肉溶接(F)の開先標準

（単位：mm）

H（被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接）		
1（片面溶接）	2（両面溶接）	
t ≦16	t ≦16	16＜ t ≦40
S, S, S, t, S	t, S, S, S, S, S	t, S/2, S/2, 60°, 60°, S, S

隅肉溶接のサイズ

（単位：mm）

t	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	19	22	25	28	32	36	40
s	3	4	5	5	6	7	8	8	9	10	10	11	12	11	13	15	17	19	21	24

部分溶込み溶接(P)の開先標準

（単位：mm）

H（被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接）	
1（片面溶接）	2（両面溶接）
12≦ t ≦40	16≦ t ≦40
t, S, D, S, 45°, S	t, S, 2, S, D1, D2, 45°, 45°

t	12	16	19	22	25	28	32	36	40
D	10	11	12	13	13	14	15	15	16

1/4 t≦ S ≦10

D1=（t −2）/2
D2=（t −2）/2
1/4 t≦ S ≦10

フレア溶接(FL)の開先標準

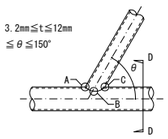
（単位：mm）

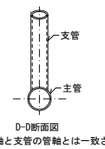
H（被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接）			
1（丸鋼等片面溶接）	2（丸鋼等両面溶接）	3（軽量形鋼V形溶接）	4（軽量形鋼レ形溶接）
d/2 d/2, d d	d, d/2 d/2, t, d/2 d/2, d d, d/2 d/2	t ≧3のとき S ＝t t ＜3のとき S ＝3	t, S t ≧3のとき S ＝t t ＜3のとき S ＝3

1-3 鋼管分岐継手詳細

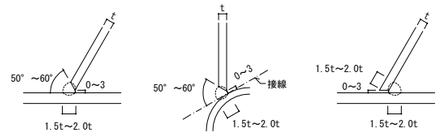
自動機械により開先加工を行う場合はこの限りではない。　（単位：mm）

適用管厚　3.2mm≦t≦12mm
交角　30°≦θ≦150°



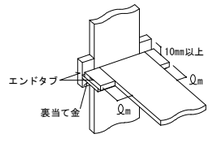


D-D断面図
主管の管軸と支管の管軸とは一致させること。



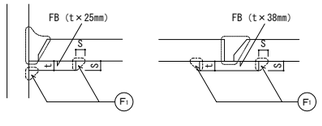
1-4 鉄骨溶接施工

（a）エンドタブ・裏当て金の鋼材の種別及び引張強さによる区分は、母材と同等とする。
（b）エンドタブ
エンドタブの形状は母材と同厚・同開先のものとする。



溶接方法	Qm
手溶接	35以上
半自動溶接	38以上
自動溶接	70以上

（c）裏当て金
（1）裏当て金の組み立て溶接は、接合部に影響を与えないように、エンドタブの位置又は梁フランジ幅の1/4の位置に行い、梁フランジ両端から10mm以内の位置には行ってはならない。
（2）完全溶込み溶接の片面溶接に用いる裏当て金は原則としてフランジの内側に設置する。



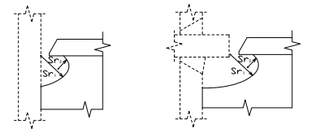
裏当て金の厚さ　（単位：mm）

溶接方法	t
手溶接	6以上
半自動溶接	9以上
自動溶接	12以上

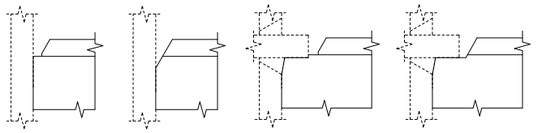
溶接のサイズ　（単位：mm）

裏当て金の厚さ	S
t≦9	5
t>9	9

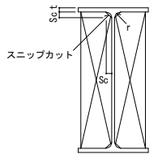
（d）スカラップ
スカラップの要否および加工は、構造図による。構造図に特記が無い場合は、次による。
（1）スカラップを設ける場合
改良型スカラップ
（i）スカラップ半径Sr_1は35mmとする。Sr_2は10mmとする。
（ii）スカラップ円弧の曲線は、フランジに滑らかに接するように加工し、複合円は滑らかに仕上げる。



（2）スカラップを設けない場合



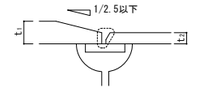
（e）スニップカット
（1）スニップカット部は溶接により埋めるものとする。



（2）スニップカットの寸法は、下表による。ただし、既製形鋼のスニップカットについては、Sc=r＋2により求めるものとする。

t	6	9	12	16以上
Sc	10	12	14	15

（f）溶接部分の段差
完全溶込み溶接を行う部分の板厚の差による段違いが10mmを超える場合



（g）鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件

鋼材の種類	規格	溶接材料	入熱 (KJ/cm)	パス間温度 (℃)
400N級鋼	JIS Z 3211	引張強さ570MPa以上のものを除く	40以下	350以下
	JIS Z 3312	YGW11, 15	40以下	350以下
		YGW18, 19	30以下	450以下
	JIS Z 3313	T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U	40以下	350以下
		T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U	30以下	450以下
	JIS Z 3214	引張強さ570MPa以上のものを除く	40以下	350以下
	JIS Z 3315	G49A0U-CCJ G49A0U-NCC, NCCT 等		
490N級鋼	JIS Z 3211	引張強さ570MPa以上のものを除く	40以下	350以下
	JIS Z 3312	YGW11, 15	30以下	250以下
		YGW18, 19	40以下	350以下
	JIS Z 3313	T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U	30以下	250以下
		T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U	40以下	350以下
	JIS Z 3214	引張強さ570MPa以上のものを除く	40以下	350以下
	JIS Z 3315	G49A0U-CCJ G49A0U-NCC, NCCT 等		
520N級鋼	JIS Z 3312	YGW18, 19	30以下	250以下
	JIS Z 3313	T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U		
400N級STKR、BCR及びBCP	JIS Z 3312	YGW11, 15	30以下	250以下
		YGW18, 19	40以下	350以下
	JIS Z 3313	T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U	30以下	250以下
		T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U	40以下	350以下
490N級STKR、及びBCP	JIS Z 3312	YGW18, 19	30以下	250以下
	JIS Z 3313	T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U		

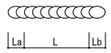
特記

			物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事		
			図面名	共通 構造関係共通事項(鉄骨標準図)その1	縮尺 A1: – A3: –	図番 S-008

1-5 フレア溶接を行う場合の溶接長さ

鉄筋又は軽量形鋼にフレア溶接を行う場合の溶接長さ（Ｌ）は、ビードの始点（La）及びクレーター（Lb）を除いた部分の長さとする。

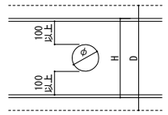
Ｌ：片面フレア溶接の場合　10d
　　両面フレア溶接の場合　5d
Ｌａ及びＬｂは１ｄ（軽量形鋼については１Ｓ）以上
　ｄ：異形鉄筋の呼び名に用いた数値
　Ｓ：溶接のサイズ



1-6 梁貫通孔補強

（ａ）鉄骨造及び鉄骨鉄筋コンクリート造の鉄骨梁ウェブ部材に貫通孔を設ける場合は、次による。
（１）貫通孔の内径寸法は、鉄骨せいの1/2以下かつ鉄筋コンクリート梁せいの1/3以下とする。
（２）貫通孔間隔は、両側の貫通孔径の平均値の、鉄骨造で２倍以上、鉄骨鉄筋コンクリート造で３倍以上確保する。

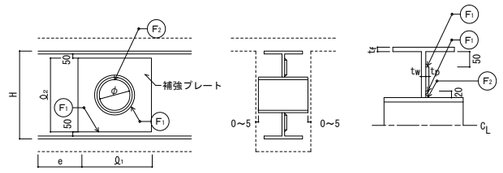
貫通孔の位置の限度（単位：mm）



H ：鉄骨せい
D ：はりせい
φ：貫通孔の内径寸法
（φ≦H/2かつφ≦D/3）

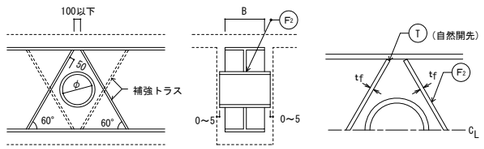
（ｂ）貫通孔の補強方法は、構造図による。
（１）補強プレート法及び補強トラス法の溶接等は、以下による。

補強プレート法
（１）補強プレート厚が16mm以上となる場合は、必要な厚さの1/2以上の補強プレートをウェブ両面から溶接する。
（２）補強プレートは丸型としても良い。上下フランジとのあき50mmについては施工性を考慮して小さくすることもできる。

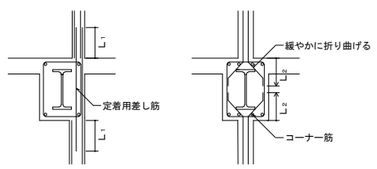


Q1は３φまたはQ2のうち小さい方とする。（ｅ≧ Ｈ とする）
ｅ：材端と補強プレートの間隔

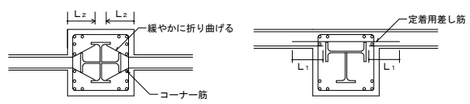
補強トラス法
（１）スリーブの取付けは、全周隅肉溶接とする。



1-7 壁筋の周辺部材への定着

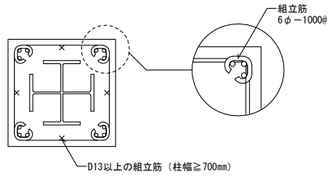


梁への定着方法



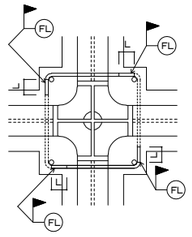
柱への定着方法

1-8 柱組立筋



1-9 仕口部内の帯筋の加工及び組立

片面溶接の溶接長さ（Ｌ）は、鉄筋の呼び名の数値の10倍以上とする。ただし、溶接によらない場合は135° 曲げフックとする。



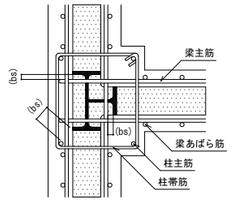
1-10 鉄筋貫通孔の径及び位置

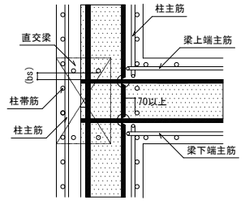
鉄筋の貫通孔径の最大値は、下表による。

（単位：mm）

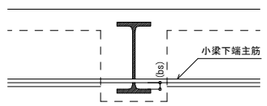
鉄筋の呼び名	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
鉄筋貫通孔の径	21	24	28	31	35	38	43	46

鉄骨フランジには、鉄筋貫通孔を設けないものとする。

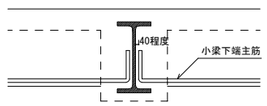




小梁下端主筋が貫通する場合



小梁下端主筋が貫通しない場合（単位：mm）



(bs)：主筋と平行する鉄骨とのあき

特記

			物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事		
			図面名	共通 構造関係共通事項(鉄骨標準図)その2	縮尺	A1: － A3: －
			図番	S-009		

ＱＬデッキ合成スラブ設計・施工標準　耐火仕様①　同等品
合成スラブ工業会仕様

［耐火認定FP60FL-9095, 9101, FP120FL-9107, 9113用］

ＱＬデッキ合成スラブの設計・施工は、(社)日本建築学会「各種合成構造設計指針・同解説」「鉄骨工事技術指針」「建築工事標準仕様書・同解説 JASS5鉄筋コンクリート工事及びJASS6鉄骨工事」、(一社)日本鋼構造協会「デッキプレート床構造設計・施工規準 2018」、合成スラブ工業会「合成スラブの設計・施工マニュアル」、ＱＬデッキ設計マニュアル・同施工マニュアルによる。

設　計

材料／デッキプレート　［ISO 9001認証取得］

デッキプレート種類		板厚(mm)	表面処理
■ＱＬ99-50 □ＱＬ99-75	端部加工 □エンクロ有り ■無し	――	――
		■1.2 □1.6	■裏面防錆処理(一次塗装) ＱＬプライマー(P) *1 □亜鉛めっき　［ □Z12　□Z27 ］ □JFEエコガル(高耐食溶融めっき鋼板)　［ □Y18　□Y27 ］ □その他(　　)　□無し
材　質	ＪＩＳ Ｇ 3352に定めるSDP1T、SDP2、SDP2G		

*1 現場搬入までの一次防錆（ＪＩＳ Ｋ 5621 2種または3種相当）

材料／コンクリート

種　類	■普通コンクリート　□軽量コンクリート［ □1種　□2種 ］
設計基準強度	□18　□21　■24　□(　) N/mm²
厚さ(ℓdデッキ山上)	□60　□70　■80　□85　□90　□95　□100　□(　)mm

材料／溶接金網・異形鉄筋

□ 溶接金網	ＪＩＳ Ｇ 3551	□φ6-75×75　□φ6-150×150 □φ6-100×100　□(　)*2
■ 異形鉄筋	ＪＩＳ Ｇ 3112、3117	□D10-150×150 ■D10-200×200　□(　)
□ 耐火補強筋	ＪＩＳ Ｇ 3112、3117	D13-@300

*2 線形6mm以上を用いたもの

接　合

梁との接合	■頭付きスタッド	ＪＩＳ Ｂ 1198 □φ13　■φ16　■φ19　□φ22 (各長さ・ピッチは特記による *3)
	□焼抜き栓溶接	下記焼抜き栓溶接の項による
	□打込み鋲	接合箇所は特記による
	□その他	

*3 最小長さはデッキ高さ+30mm以上とする

耐　火

デッキプレート	耐火区分	支持条件	コンクリート種別	耐火補強筋	認定番号
QL99-50 QL99-75	床1時間	単純	普通/軽量	要	□FP060FL-9101
		連続		不要	□FP060FL-9095
	床2時間	単純		要	□FP120FL-9113
		連続		不要	□FP120FL-9107

注）床2時間は床1時間耐火を含む

その他	□指定なし　□(　)　□(　)

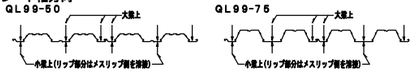
特　記

支保工有無	その他：
■ 無　□ 有	

上欄内の採用項目に［レ］を記して下さい。

焼抜き栓溶接

デッキプレート幅方向



デッキプレートスパン方向

「ＱＬデッキ設計マニュアル」に基づいて決定する。

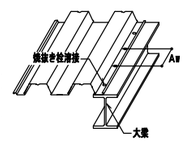
$$Aw = \frac{1.5Qa}{Qo} \times 1000mm \text{ かつ } 600mm \text{ 以下}$$

Qa：焼抜き栓溶接１個当たりの長期許容せん断力（N）
Qo：設計最大せん断力(N/m)
Aw：焼抜き栓溶接ピッチ

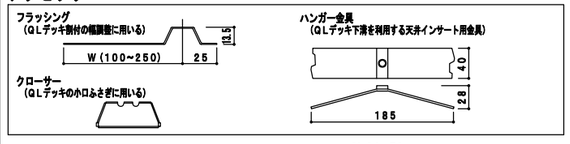
板厚	Qa (N)
1.2	4,900
1.6	7,350(SPW)、6,860(A.P.W)

Aw ＝（　　）mm

(注) 接合に頭付きスタッドを用いる場合、焼抜き栓溶接は不要



アクセサリー

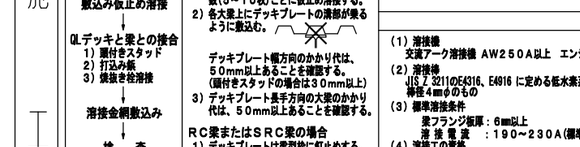


耐　火　仕　様

【連続支持合成スラブ】

支　持　梁　：鉄骨(S)梁 及び 大梁：鉄筋コンクリート(RC)梁又は鉄骨鉄筋コンクリート(SRC)梁、小梁：鉄骨(S)梁
コンクリート：設計基準強度１８Ｎ/mm²以上の普通コンクリート、及び、軽量コンクリート（１種・２種）

耐火時間	コンクリート種別	品　名	支持スパン	コンクリート厚さ	溶接金網又は異形鉄筋(D10−@200)	許容積載荷重
床、１時間耐火 FP060FL-9095	普通コンクリート	QL99−50	3.0m 以下	80mm 以上	φ6−150x150	算出式 注5)A 参照
		QL99−75	3.4m 以下			算出式 注5)B 参照
			3.6m 以下	90mm 以上	φ6−100x100	4,400N/m²以下 注7)
	軽量コンクリート	QL99−50	3.0m 以下	80mm 以上	φ6−150x150	算出式 注5)A 参照
		QL99−75	3.4m 以下			算出式 注5)B 参照
床、２時間耐火 FP120FL-9107	普通コンクリート	QL99−50	2.7m 以下	95mm 以上	φ6−100x100	算出式 注5)A 参照
		QL99−75	3.4m 以下	90mm 以上		算出式 注5)B 参照
			3.6m 以下	95mm 以上	D10−@200	5,400N/m²以下 注7)
	軽量コンクリート	QL99−50	2.7m 以下	85mm 以上	φ6−100x100	算出式 注5)A 参照
		QL99−75	3.4m 以下			算出式 注5)B 参照
			3.6m 以下	90mm 以上	D10−@200	5,400N/m²以下 注7)

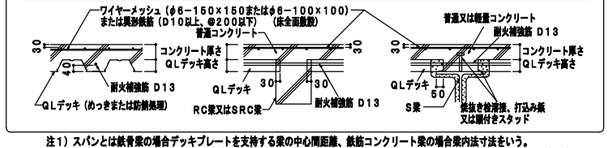


【単純支持合成スラブ】

支　持　梁　：鉄骨(S)梁　　コンクリート：設計基準強度１８Ｎ/mm²以上の普通コンクリート、及び、軽量コンクリート（１種・２種）
耐火補強筋　：Ｄ１３（デッキプレート各溝@３００）

耐火時間	コンクリート種別	品　名	支持スパン	コンクリート厚さ	溶接金網又は異形鉄筋(D10−@200)	許容積載荷重
床、１時間耐火 FP060FL-9101	普通コンクリート	QL99−50	2.7m 以下	80mm 以上	φ6−150x150	算出式 注5)A 参照
		QL99−75	3.4m 以下			算出式 注5)B 参照
	軽量コンクリート	QL99−50	2.7m 以下			算出式 注5)A 参照
		QL99−75	3.4m 以下			算出式 注5)B 参照
床、２時間耐火 FP120FL-9113	普通コンクリート	QL99−50	2.7m 以下	95mm 以上	φ6−100x100	算出式 注5)A 参照
		QL99−75	3.4m 以下	90mm 以上		算出式 注5)B 参照
	軽量コンクリート	QL99−50	2.7m 以下	85mm 以上		算出式 注5)A 参照
		QL99−75	3.4m 以下			算出式 注5)B 参照

支持梁：鉄筋コンクリート(RC)梁又は鉄骨鉄筋コンクリート(SRC)梁の場合　　コンクリート：設計基準強度１８Ｎ/mm²以上の普通コンクリート
耐火補強筋：Ｄ１３（デッキプレート各溝@３００）



注1）スパンとは鉄骨梁の場合デッキプレートを支持する梁の中心間距離、鉄筋コンクリート梁の場合梁内法寸法をいう。
注2）スパンが３．４ｍを超える場合は、合成スラブと梁とは頭付きスタッド（軸径１６mm以上、ピッチ３００mm以下）で結合する。
注3）鉄骨梁の場合、梁との接合は焼抜き栓溶接、打込み鋲、または頭付きスタッドを用いる。
注4）梁の耐火被覆　梁に１、２または３時間の耐火性能が要求される場合は、それらに応じ耐火被覆を施す。
注5）許容積載荷重Ｗ　算出式　　ℓ：支持スパン (m)

[A] QL99−50	[B] QL99−75
$W=5,400\times(\frac{2.7}{\ell})^2$ かつ9,800 N/m² 以下	$W=5,400\times(\frac{3.4}{\ell})^2$ かつ9,800 N/m² 以下

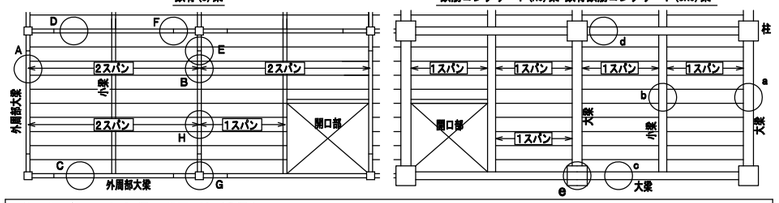
※許容積載荷重は、床にかかる全荷重(仕上げ荷重も含む)から床荷重(デッキプレートとコンクリートの自重)を差し引いた値を示します。

付帯条件
連続支持合成スラブの場合、デッキプレートは２スパン以上にわたって連続的に小げり等によって、ほぼ等間隔(スパン比３：２を超えない程度 *)に支持されるものとする。
※合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」参照

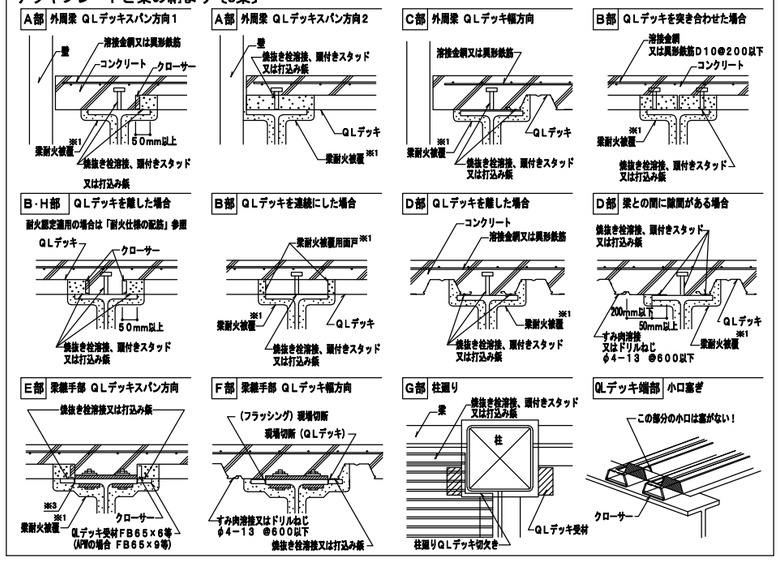
標　準　納　まり

図中※1は、梁に1、２または３時間の耐火性能が要求される場合のみ適用。　※2はＱＬデッキ耐火認定を適用する場合に必要。
※3 溶接方法等は別途検討が必要。（合成スラブ工業会Ｑ＆Ａ参照）

鉄骨(S)梁　　鉄筋コンクリート(RC)梁・鉄骨鉄筋コンクリート(SRC)梁

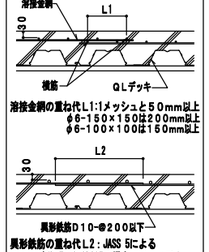


デッキプレートと梁の納まり〔S梁〕



スラブの配筋

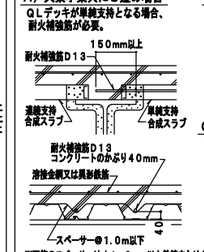
コンクリート表面よりのかぶり厚さが３０mmになるようレベル保持し、全面に配筋する。



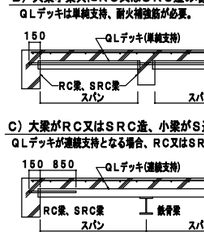
耐火仕様の配筋

・ＱＬデッキが単純支持となる場合、耐火補強筋を配筋する。配筋はＪＡＳＳ５鉄筋コンクリート工事による。
・耐火補強筋・端部補強筋が必要な場合、ＱＬデッキの各溝中央部にかぶり４０mmで配筋する。
・耐火補強筋、端部補強筋共、梁へ１５０mm以上定着させる。梁上で定着が１５０mmとれない場合は、Ｌ型に曲げて１５０mm以上を確保する。

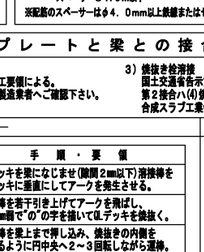
A）大梁小梁共にS造の場合
ＱＬデッキが単純支持となる場合、耐火補強筋が必要。

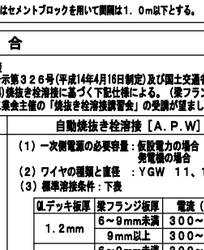


B）大梁小梁共にRC又はSRC造の場合
ＱＬデッキは単純支持、耐火補強筋が必要。

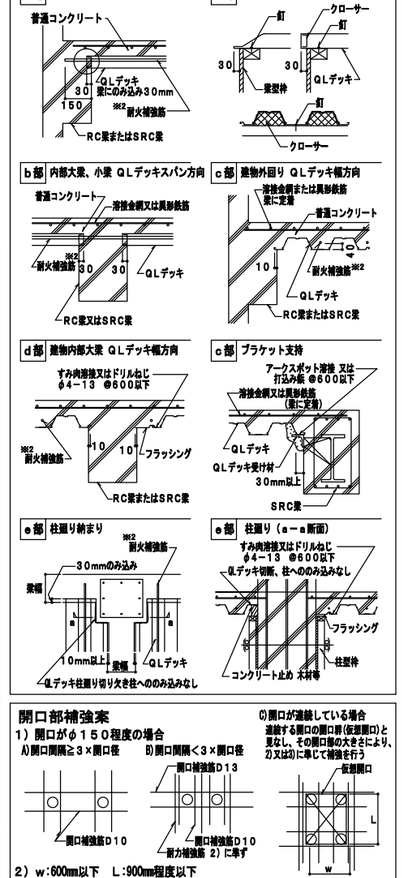


C）大梁がRC又はSRC造、小梁がS造の場合
ＱＬデッキが連続支持となる場合、RC又はSRC造の大梁部側では端部補強筋を配筋する。





デッキプレートと梁の納まり〔RC・SRC梁〕



開口部補強案

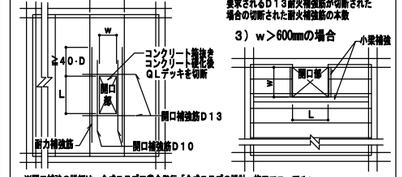
1）開口がφ１５０程度の場合

A)開口間隔≧３×開口径　　B)開口間隔＜３×開口径　　C)開口が連続している場合
連続する開口の開口部(仮想開口)と見なし、その開口部の大きさにより、2)又は3)に準じて補強を行う

2）w：600mm以下　L：900mm程度以下



3）w＞600mmの場合



※開口補強の詳細は、合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」
(1) 合成スラブの設計　4．合成スラブの開口補強方法　を参照する。

施工

施工順序

墨出し
↓
敷込み仮止め溶接
↓
ＱＬデッキと梁との接合
1) 頭付きスタッド
2) 打込み鋲
3) 焼抜き栓溶接
↓
溶接金網敷込み
↓
検　査
↓
コンクリート打設

敷　込　み

鉄骨梁の場合
1) 墨出し線に合わせて１枚目のデッキプレートを仮止め溶接した後、順次進捗な数量(５～１０枚)ごとに仮止め溶接する。
2) 各大梁上にデッキプレートの溝部が乗るように敷込む。



デッキプレート幅方向のかかり代は、５０mm以上あることを確認する。
(頭付きスタッドの場合は３０mm以上)
3) デッキプレート長手方向の大梁のかかり代は、５０mm以上あることを確認する。

RC梁またはSRC梁の場合
1) デッキプレートは梁型枠に釘止めする。
2) デッキプレートの梁型枠へののみ込み代が幅方向１０mm以上、長手方向が３０mmあることを確認する。

デッキプレートと梁との接合

1) 頭付きスタッド
施工は、JASS6「鉄骨工事」による。
デッキプレートと梁とはアークスポット溶接等で接合する。

2) 打込み鋲
施工は打込み鋲製造業者の施工要領による。
施工の仕様等については別途製造業者へご確認下さい。
日本ヒルティ(株)

3) 焼抜き栓溶接
国土交通省告示第３２６号(平成14年4月16日制定)及び国土交通省告示第６０６号(平成19年6月20日改正)の第２接合ハ(4)焼抜き栓溶接に基づく下記仕様による。(梁フランジの表面処理条件：黒皮または一般錆止め塗装)
合成スラブ工業会主催の「焼抜き栓溶接講習会」の受講が望ましい。

焼抜き栓溶接［ＳＰＷ］ ―アーク手溶接―

(1) 溶接機
交流アーク溶接機 AW250A以上　エンジン溶接機 230A以上
(2) 溶接棒
ＪＩＳ Ｚ 3211のE4316、E4916 に定める低水素系被覆アーク溶接棒で棒径4mmのもの
(3) 標準溶接条件

梁フランジ板厚：	6mm以上
溶 接 電 流	：190～230A(標準210A)

(4) 溶接工の資格
ＪＩＳ Ｚ 3801、ＪＩＳ Ｚ 3841 における基本級の有資格者
(5) 手順・要領
右の１～４の順に行う。

	工　程	手　順・要　領
1	アーク発生	ＱＬデッキを狭になじませ(隙間2mm以下)溶接棒をＱＬデッキに垂直にしてアークを発生させる。
2	ＱＬデッキ焼抜き	溶接棒を若干引き上げてアークを飛ばし、径10mm前で"の"の字を描いてＱＬデッキを焼抜く。
3	押し込み・溶着	溶接棒を梁上まで押し込み、焼抜きの内側をなぞるように円中央へ２～３回転しながら溶着。
4	整　形	溶着金属を整え、中央部でそっと溶接棒を引き上げる。スラグを除去して仕上がりを確認。

溶接時間の目安；電流値２１０A(標準)の場合８秒程度

自動焼抜き栓溶接［Ａ．Ｐ．Ｗ］ ―ＣＯ２アークスポット溶接 ―

(1) 一次側電源の必要容量：仮設電力の場合　１８KVA以上　３相　２００V
発電機の場合　３５KVA以上　３相　２００V
(2) ワイヤの種類と直径　：ＹＧＷ　１１、１２　φ1.2mm
(3) 標準溶接条件：下表

ＱＬデッキ板厚	梁フランジ板厚	電流 (A)	電圧 (V)	アークタイム (秒)
1.2mm	6～9mm未満	３００～３２０	３３～３５	3.0～4.0×1度打ち
	9mm以上	３００～３２０	３３～３５	3.0～4.0×2度打ち
1.6mm	6～9mm未満	３００～３２０	３４～３６	3.5～4.5×1度打ち
	9mm以上	３００～３２０	３４～３６	4.0～4.5×2度打ち

注1.デッキプレート　板厚1．2、1．6mm　表面条件：Ｚ12、Ｚ27、裏面塗装
2.ＣＯ２ガス流量：２０ℓ/分以上

検　査

【焼抜き栓溶接（ＳＰＷ）及び自動焼抜き栓溶接（Ａ．Ｐ．Ｗ）】
□事前検査
ＳＰＷ：適正な溶接を行うため下記1)または2)の方法で電流値をチェックする。
1) 検査ﾃｰﾌﾟでの計測
2) 溶接棒の消費長さによる確認 ―― 未使用の規定の溶接棒を用いて、アーク長さを約３mmに保持し、１０mm程度の円を描いて１０秒間溶接した時の溶接棒の消費長さが４５～５３mmであること。
Ａ．Ｐ．Ｗ：試し溶接を行って溶接信を確認する。
□溶接後の外観検査
1) 溶接箇所の確認　2) 焼き切れ、余盛り不足の有無
3) 標準余盛り径　ＳＰＷ；10mm以上　Ａ．Ｐ．Ｔ；25mm±3
□不良部の補修
ＳＰＷ　の場合：スラグ除去後、梁にデッキプレートを密着させて再溶接する。
不良合箇所に溶着金属を流し込む要領で補修。
Ａ．Ｐ．Ｗの場合：重ね溶接して補修する。
【その他】
(1)ＱＬデッキ相互の嵌合状況　(2)ひび割れ拡大防止筋の重込み状況　(3)開口部の補強状況

施工時許容スパン表（デッキプレートの検討）

注１：普通コンクリート（単位体積重量24.0kN/m³）、
表面処理が亜鉛めっきの場合
注２：（）数値は表面処理がめっきなしまたは塗装品の許容スパンを示す。
注３：表を超える場合は、別途支保工が必要です。

QL99-50　　(単位：m)

コンクリート厚(mm)		60		70		80		90		100	
	板厚(mm)	1.2	1.6	1.2	1.6	1.2	1.6	1.2	1.6	1.2	1.6
支持条件	単純(内法)	2.52 (2.52)	2.75 (2.75)	2.47 (2.47)	2.69 (2.69)	2.42 (2.42)	2.64 (2.64)	2.37 (2.37)	2.59 (2.59)	2.33 (2.33)	2.54 (2.54)
	2連続	3.38 (3.38)	3.67 (3.67)	3.31 (3.31)	3.61 (3.61)	3.24 (3.24)	3.54 (3.54)	3.18 (3.15)	3.47 (3.47)	3.12 (3.07)	3.41 (3.41)
	3連続	3.12 (3.12)	3.40 (3.40)	3.05 (3.05)	3.33 (3.33)	2.99 (2.99)	3.26 (3.26)	2.93 (2.93)	3.20 (3.20)	2.88 (2.88)	3.15 (3.15)

QL99-75　　(単位：m)

コンクリート厚(mm)		60		70		80		90		100	
	板厚(mm)	1.2	1.6	1.2	1.6	1.2	1.6	1.2	1.6	1.2	1.6
支持条件	単純(内法)	3.31 (3.31)	3.61 (3.61)	3.24 (3.24)	3.55 (3.55)	3.18 (3.18)	3.48 (3.48)	3.13 (3.13)	3.42 (3.42)	3.07 (3.07)	3.37 (3.37)
	2連続	4.02 (3.89)	4.30 (4.30)	3.96 (3.78)	4.24 (4.24)	3.91 (3.67)	4.18 (4.18)	3.83 (3.58)	4.13 (4.13)	3.73 (3.49)	4.07 (4.07)
	3連続	3.78 (3.78)	4.05 (4.05)	3.73 (3.73)	3.99 (3.99)	3.68 (3.68)	3.93 (3.93)	3.63 (3.63)	3.88 (3.88)	3.58 (3.58)	3.83 (3.83)

S造・施工時のスパンの取り方

【単純支持】



【連続支持】



その他の納まり・参考例等については、ＱＬデッキ施工マニュアルまたは別途『納まり図』(技術資料CADデータ収録)を参照下さい。

特記

物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事		
図面名	管理棟　合成スラブデッキ設計・施工標準	縮尺	A1: − A3: −
		図番	S-101

ＪＦ７５・ＪＦ７５Ｗ　設計・施工標準　同等品

1 型式・質量および断面性能

JF75 ⇒熊谷工場製造
JF75W⇒神戸工場製造

	型式	板厚[mm]	製品質量 亜鉛めっき(Z12) [kg/枚]	製品質量 亜鉛めっき(Z12) [kg/m²]	断面性能 Ⅰ [x10⁴mm⁴/m]	断面性能 Z [x10³mm³/m]
□	ＪＦ75－08	0.8	7.95	12.6	120	18.7
	ＪＦ75Ｗ－08		7.97	12.6		
■	ＪＦ75－10	1.0	9.88	15.7	150	24.4
	ＪＦ75Ｗ－10		9.88	15.7		
□	ＪＦ75－12	1.2	11.8	18.7	180	29.4
	ＪＦ75Ｗ－12		11.8	18.7		
□	ＪＦ75－14	1.4	13.7	21.8	206	34.4
	ＪＦ75Ｗ－14		13.6	21.6		
□	ＪＦ75－16	1.6	15.7	24.9	232	39.3
	ＪＦ75Ｗ－16		15.5	24.6		

(注) JF75（熊谷工場）とJF75W（神戸工場）の使い分けについて：製品は原則、指定搬入先に近い工場にて製造し出荷致します

ＪＦ７５・ＪＦ７５Ｗの設計・施工は、(一社)公共建築協会「平成18年版 床型枠用鋼製デッキプレート(フラットデッキ)設計施工指針・同解説」による。
ＪＦ７５評価番号［評価 第911-0100A003号］

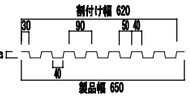
種類の記号および材料

種類記号	付着量記号	最小付着量(両面)[g/m²]	使用材料
SGCC	□ Z12	120	JIS G 3302「溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯」 降伏点205N/mm²、引張強さ295N/mm²以上
SGHC	□ Z27	275	
SZACC SZAHC	□ Y18	180	JIS G 3317「溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯」 降伏点205N/mm²、引張強さ295N/mm²以上
□ その他（ ）			

(注) 断面性能のⅠは、断面2次モーメント(全断面有効)、Zは断面係数(有効幅考慮50t)を示します
Y18及びその他製品については、事前にご相談下さい

キーストンプレート

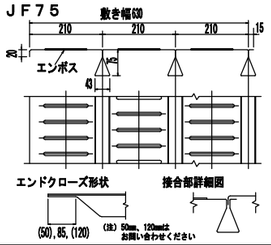
原則として、デッキ長さが1,000mm未満の場合に使用。
(L=350～1,200mm)※板厚：0.8mm



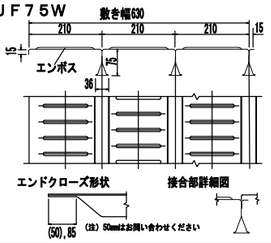
キーストンプレート				
板厚 mm	全断面有効 断面2次モーメント Ⅰ x10⁴mm⁴/m	有効幅考慮 断面係数 Z x10³mm³/m	製品質量 亜鉛めっき(Z12) kg/m	製品質量 亜鉛めっき(Z27) kg/m
0.8	12.2	9.80	5.89	6.07

2 製品仕様

ＪＦ７５



ＪＦ７５Ｗ

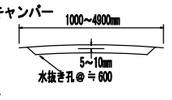


製品長さ・エンドクローズ寸法

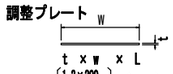
種類	エンドクローズ長さ	製品長さ
ＪＦ７５	85、(50、120) mm	1000～4900 mm
ＪＦ７５Ｗ	85、(50) mm	1000～4900 mm

(注) 50mm、120mmはお問い合わせください

キャンバー

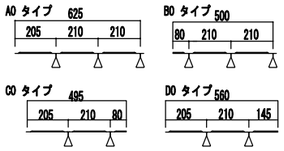


調整プレート



(注) RC梁型枠用調整プレートには釘孔加工(@600mm)有り

役物デッキプレート



3 断面応力・たわみの計算

断面応力・たわみの計算は、一般に単純支持梁モデルを用いて計算する
算定式および許容値は、下表とする

項目		算定式
曲げ応力 (N/mm²)	[Ｓ造]	$\sigma = \frac{M}{Z} = \frac{wL^2}{8Z} \times 10^3 \leqq f_b$
	[RC・SRC造]	$\sigma = \frac{M}{Z} = \frac{wL^2}{8Z} \times 10^3 \leqq \frac{f_b}{\alpha}$
たわみ (mm)		$\delta = \frac{5wL^4}{384EI} \times 10^9 \leqq \frac{Lx10^3}{180} + 5$
支圧耐力 (N/m)		P＝WL ≦ Pa

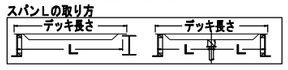
記号説明

σ	曲げ応力度	(N/mm²)
f_b	許容曲げ応力度　f_b= 205	(N/mm²)
M	最大曲げモーメント	(N-mm/m)
Z	断面係数（有効幅５０ｔ考慮）	(mm³/m)
δ	最大たわみ	(mm)
C	たわみ算定用係数　(C=1.6)	
w	設計（上載）荷重	(N/m²)
L	スパン	(m)
E	鋼材のヤング係数 $E=2.05\times10^5$ N/mm²	(N/mm²)
I	断面２次モーメント(全断面有効)	(mm⁴/m)
α	施工割増係数［別表参照］	
P	ＪＦデッキリブ支圧荷重	(N/m)
Pa	許容支圧荷重［別表参照］	(N/m)

許容支圧荷重Pa（幅1m当たり）

板厚 (mm)	0.8	1.0	1.2
許容支圧荷重 (N/m)	9,800	14,700	19,600

スパンLの取り方



設計荷重 W

W=W₁+ W₂+ W₃　　W₁：スラブ自重＝（スラブ厚）×（鉄筋コンクリート単重）
W₂：フラットデッキ自重　　W₃：作業荷重(下記)

施工時作業荷重	□ 1,470N/m²［ポンプ工法］　□ 2,450N/m²［ホッパー・バケット工法］ □（　　N/m²）［　　］
コンクリート［鉄筋コンクリート単重］	■ 普通コンクリート［ 24kN/m³ ］　□ 軽量コンクリート［ 20kN/m³ ］ □（　　）［　　kN/m³ ］

施工割増係数（支持梁がＲＣ造またはＳＲＣ造の場合）

施工状況の種類	施工割増係数(α)	施工条件など
□ Ⅰ類	1.0	RC造またはSRC造の場合で、荷重条件、施工条件等の適切な設定、管理により施工上の安全性が確実に確保される場合
□ Ⅱ類	1.25	Ⅰ類以外のRC造またはSRC造の場合で、板厚１.０mmまたは板厚１.２mmのフラットデッキを使用する場合
□ Ⅲ類	1.5	Ⅰ類以外のRC造またはSRC造の場合で、板厚０.８mmのフラットデッキを使用する場合

スラブ厚さ別許容スパン早見表［施工時作業荷重1,470N/m²、施工割増係数考慮］

建物の構造		S造、RC・SRC造					RC・SRC造		
RC・SRC造 施工状況の種類		Ⅰ類[施工割増係数：α=1.0]					Ⅱ類[α=1.25]		Ⅲ類[α=1.5]
スラブ厚S(mm)	板厚 t	0.8mm	1.0mm	1.2mm	1.4mm	1.6mm	1.0mm	1.2mm	0.8mm
普通コンクリート 24kN/m²	120	2,610	2,870	3,040	3,160	3,270	2,660	2,910	2,130
	125	2,580	2,850	3,010	3,130	3,250	2,630	2,870	2,100
	130	2,540	2,830	2,990	3,110	3,220	2,590	2,840	2,080
	135	2,510	2,810	2,960	3,090	3,200	2,560	2,800	2,050
	140	2,480	2,790	2,940	3,060	3,170	2,530	2,770	2,030
	145	2,450	2,770	2,920	3,040	3,150	2,500	2,740	2,000
	150	2,420	2,750	2,900	3,020	3,130	2,470	2,700	1,980
	155	2,400	2,730	2,880	3,000	3,110	2,440	2,670	1,960
	160	2,370	2,700	2,860	2,980	3,080	2,410	2,640	1,930
	170	2,320	2,640	2,820	2,940	3,040	2,360	2,590	1,890
	180	2,270	2,590	2,790	2,900	3,010	2,320	2,540	1,850
	190	2,230	2,540	2,750	2,870	2,970	2,270	2,490	1,820
	200	2,180	2,490	2,720	2,830	2,940	2,230	2,440	1,780
	250	2,000	2,290	2,500	2,690	2,790	2,040	2,240	1,640
	300	1,860	2,120	2,330	2,510	2,660	1,900	2,080	1,520
軽量コンクリート 20kN/m²	120	2,760	2,980	3,140	3,270	3,390	2,810	3,080	2,260
	125	2,730	2,950	3,120	3,250	3,360	2,780	3,040	2,230
	130	2,700	2,930	3,100	3,220	3,340	2,750	3,010	2,200
	135	2,670	2,910	3,070	3,200	3,310	2,710	2,970	2,180
	140	2,640	2,890	3,050	3,180	3,290	2,680	2,940	2,150
	145	2,610	2,870	3,030	3,150	3,270	2,650	2,900	2,130
	150	2,580	2,850	3,010	3,130	3,250	2,630	2,870	2,100
	155	2,550	2,830	2,990	3,110	3,220	2,600	2,840	2,080
	160	2,520	2,810	2,970	3,090	3,200	2,570	2,810	2,060
	170	2,470	2,780	2,940	3,060	3,160	2,520	2,760	2,020
	180	2,420	2,750	2,900	3,020	3,130	2,470	2,700	1,980
	190	2,380	2,710	2,870	2,980	3,090	2,420	2,650	1,940
	200	2,340	2,660	2,840	2,950	3,060	2,380	2,610	1,910
	250	2,150	2,450	2,690	2,810	2,910	2,190	2,400	1,760
	300	2,000	2,290	2,500	2,690	2,790	2,040	2,240	1,640

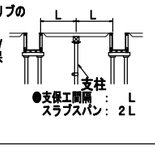
1) □ 部は、たわみで決定する範囲を示す。　　(単位：mm)

中間支保工を設ける場合の許容スパン早見表［施工時作業荷重1,470N/m²］

施工状況の種類	Ⅰ類			Ⅱ類		Ⅲ類
施工割増係数	α=1.0			α=1.25		α=1.5
スラブ厚S(mm) 板厚 t	0.8mm	1.0mm	1.2mm	1.0mm	1.2mm	0.8mm
普通コンクリート 24kN/m²	120	4,370	4,900	4,900	4,900	4,900	4,270
	130	4,150	4,900	4,900	4,900	4,900	4,150
	140	3,950	4,900	4,900	4,900	4,900	3,950
	150	3,770	4,900	4,900	4,900	4,900	3,770
	160	3,600	4,900	4,900	4,830	4,900	3,600
	170	3,450	4,900	4,900	4,730	4,900	3,450
	180	3,310	4,900	4,900	4,640	4,900	3,310
	190	3,180	4,750	4,900	4,540	4,900	3,180
	200	3,060	4,570	4,900	4,460	4,880	3,060
	250	2,570	3,850	4,900	3,850	4,480	2,570
	300	2,220	3,330	4,420	3,330	4,170	2,220
軽量コンクリート 20kN/m²	120	4,900	4,900	4,900	4,900	4,900	4,520
	130	4,670	4,900	4,900	4,900	4,900	4,410
	140	4,450	4,900	4,900	4,900	4,900	4,310
	150	4,260	4,900	4,900	4,900	4,900	4,210
	160	4,080	4,900	4,900	4,900	4,900	4,080
	170	3,920	4,900	4,900	4,900	4,900	3,920
	180	3,770	4,900	4,900	4,900	4,900	3,770
	190	3,630	4,900	4,900	4,850	4,900	3,630
	200	3,500	4,900	4,900	4,770	4,900	3,500
	250	2,970	4,430	4,900	4,390	4,810	2,970
	300	2,570	3,850	4,900	3,850	4,480	2,570

(単位：mm)

1)上表の数値は、中間支保工を設ける場合のＪＦ７５・ＪＦ７５Ｗリブの許容支圧荷重によって決まる許容スラブスパン２Ｌを示す
2)ＲＣ造またはＳＲＣ造において梁側板型枠でＪＦ７５・ＪＦ７５Ｗを支持する場合、スラブスパンが３.０mを超えるときは中間支保工を設けることを原則とする
3)ＪＦ７５・ＪＦ７５Ｗ製品仕様の最大長さは４.９m

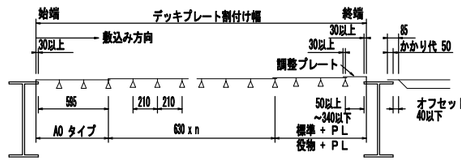


4 納まり例

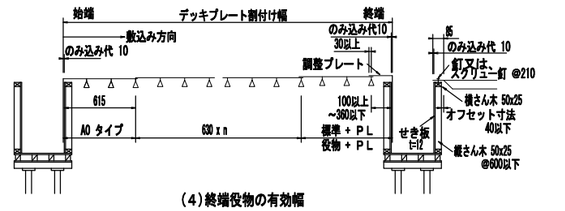
4-1 割付け

幅方向の割付けは、標準品（６３０幅）をベースに割付ける
始端・終端調整には役物、調整プレートを使用する

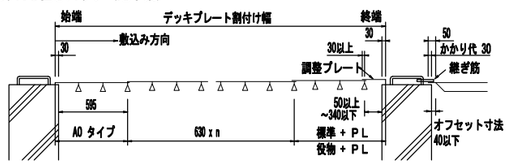
(1)鉄骨造（Ｓ造）



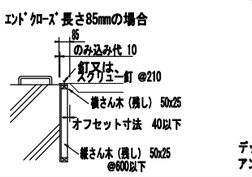
(2)鉄筋コンクリート造（ＲＣ造） 鉄骨鉄筋コンクリート造（ＳＲＣ造）



(3)ＲＣ置きスラブ（地中梁）

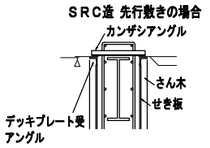


エンドクローズ長さ85mmの場合

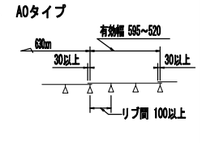


(4)終端役物の有効幅

SRC造 先行敷きの場合



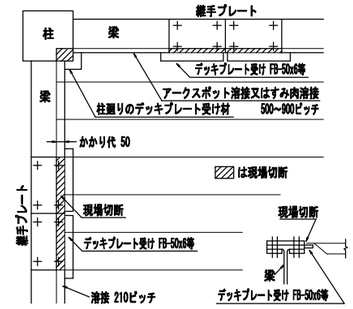
A0タイプ



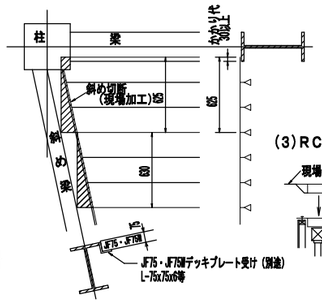
4-2 各所の納まり

デッキプレート受けは、設計荷重を十分支持可能な部材及び取付方法とする
デッキプレート受けのサイズは監理者の承認を得て決定すること

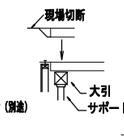
(1)Ｓ造継手プレート部の納まり
※柱コーナーおよび継手プレート部の切断は現場加工



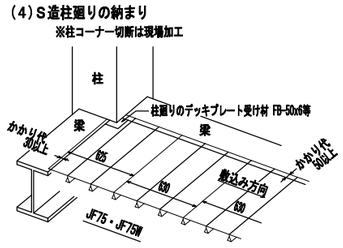
(2)Ｓ造斜め梁の納まり



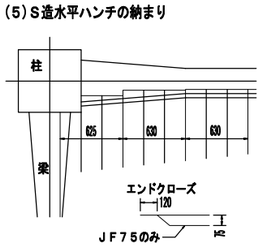
(3)ＲＣ、ＳＲＣ造斜め梁



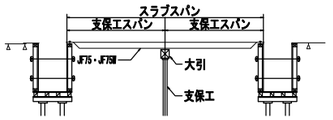
(4)Ｓ造柱廻りの納まり
※柱コーナー切断は現場加工



(5)Ｓ造水平ハンチの納まり



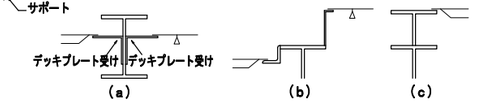
4-3 中間支保工設置



(6)Ｓ造梁の段差（レベル差）がある場合



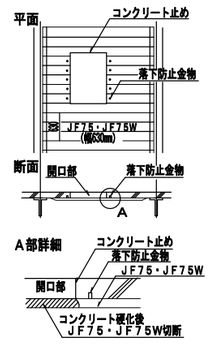
(7)Ｓ造床板と梁に段差のある場合



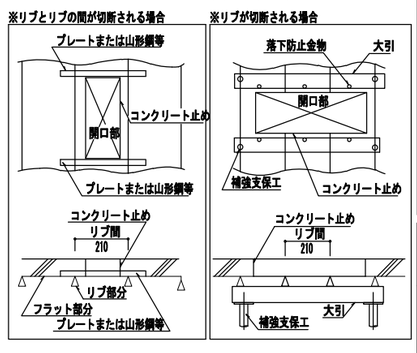
4-4 開口部納まり例

配線・配管・空調ダクト等の開口部の施工は、原則として下Ａ図のようにあらかじめ型枠で囲い、コンクリート打設硬化後にデッキプレートを切断する。開口部の大きさにより、デッキプレートとコンクリートが剥離する恐れがある場合、切断部周辺に「落下防止金物」を取り付ける

A)コンクリート硬化後に開口部切断



B)コンクリート打設前に開口部切断



5 施工の要点

施工の要点は、下表のとおりとする
特殊なケースの場合は、その都度施工法を十分に検討し施工すること

項目	内容
1 保管	(1)敷込みとの関連を考えて保管場所を決める (2)薄板製品であることを十分認識し変形に注意する
2 吊り込み	(1)骨組の組立順序との関連を十分検討する (2)壁、パネル等の取り付け作業との関連を十分検討する (3)クレーンの揚重能力の検討、パレットを用いる等安全対策を検討する (4)揚重枚数と敷込み順序の関係等検討する
3 敷込み	(1)始端かかり位置、中間位置(デッキ５枚位の位置)終端位置をマーキングする (2)割付方向は図面に従い、間違いの無いようにする (3)２枚目以降は最初のデッキプレートに倣うので最初の位置決めを正確に行い、確実に梁に固定する(落下防止等安全対策) (4)かかり寸法は厳守する (5)敷込み後は速やかに溶接等で固定する
4 作業床	(1)一時的な作業床で使用することも考えられるが、板厚が0.8～1.0mmのデッキプレートの場合は、接合部分の変形、破損しやすいので避ける (2)受圧面積が極端に小さい集中荷重は避ける。集中荷重がかかる場合は、厚板等を敷く等の措置により受圧面積を大きくする (3)油等コンクリートに有害なものは、コンクリート打設前までに取り除く (4)資材等の仮置は避ける。止むを得ず仮置する場合は、デッキプレートに負担がかからないよう十分配慮する。特に0.8～1.0mmは注意する
5 コンクリート打設	(1)打設は打設荷重等の施工荷重を極力低減するようにし、過荷重には十分注意する (2)打設は、コンクリートの山（集中荷重）をつくらないようにする

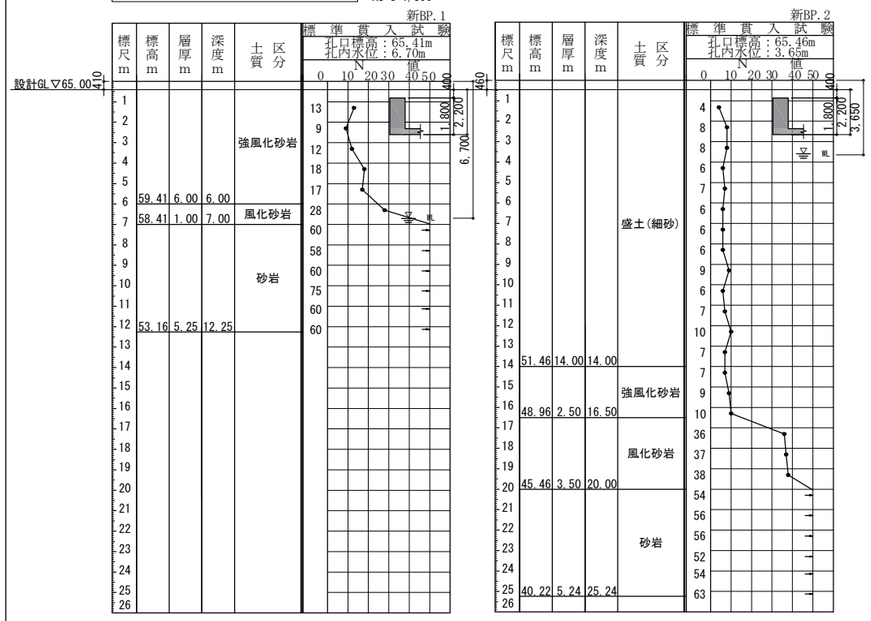
特記(施工)	

特記

物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事	
図面名	管理棟　フラットデッキ設計施工要領	縮尺 A1: － A3: －
図番	S-102	

ボーリング柱状図

A1:S=1/150
A3:S=1/300



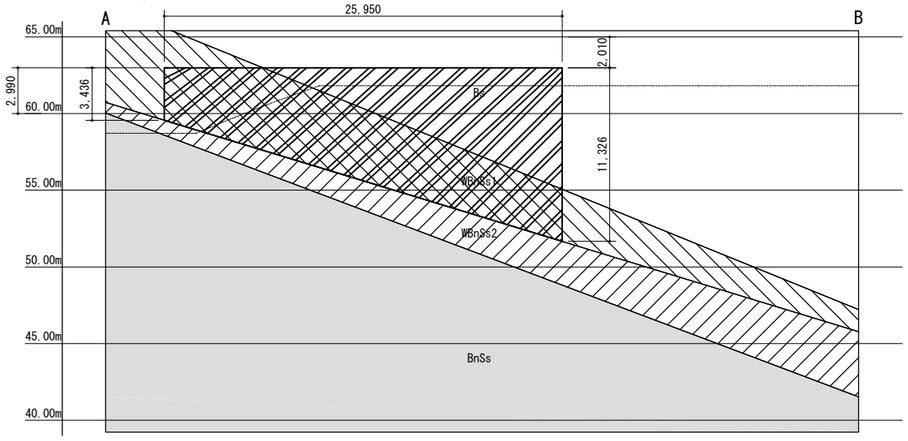
地盤改良仕様

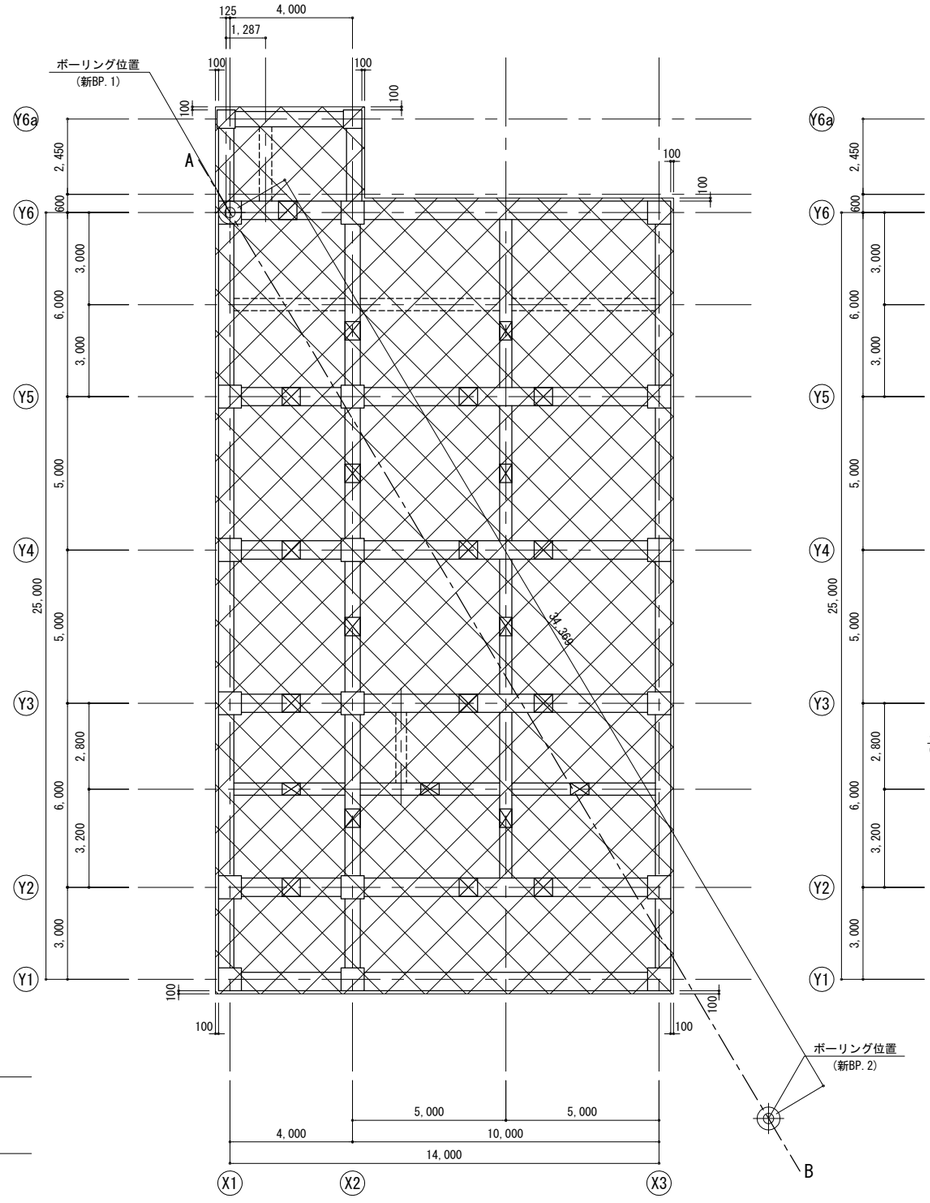
「改訂版　建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針 平成14年11月」
(財)日本建築センターに準拠する。
・改良工法:セメント系固化剤による浅層混合処理工法
・改良体の一軸強度 180kN/m2
・セメント系固化剤　添加量 50kg/m3
　六価クロム対策用特殊固化剤ユースタビラー50(宇部三菱セメント)同等品
・施工前試験:一軸圧縮試験
　地盤改良施工前に現位置での土質サンプリングを採取し、施工前試験を実施し、予定の配合により所定の強度が発現することを確認すること。(供試体材齢7日)
　供試体本数は、3本とする。
・管理試験　一軸圧縮試験
　施工後に深さ方向のコア抜きにより供試体を作成し、強度確認を行うこと。
　(供試体材齢28日)
　供試体本数は、3本とする。
　コア抜き箇所の穴埋めは、設計基準強度以上の改良土等による。
・六価クロム溶出試験
　セメント及びセメント系固化剤を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領(案)(国土交通省)に基づく試験を実施すること。

地質想定断面図

A1:S=1/200
A3:S=1/400

特記事項
1)　地盤改良範囲を示す。

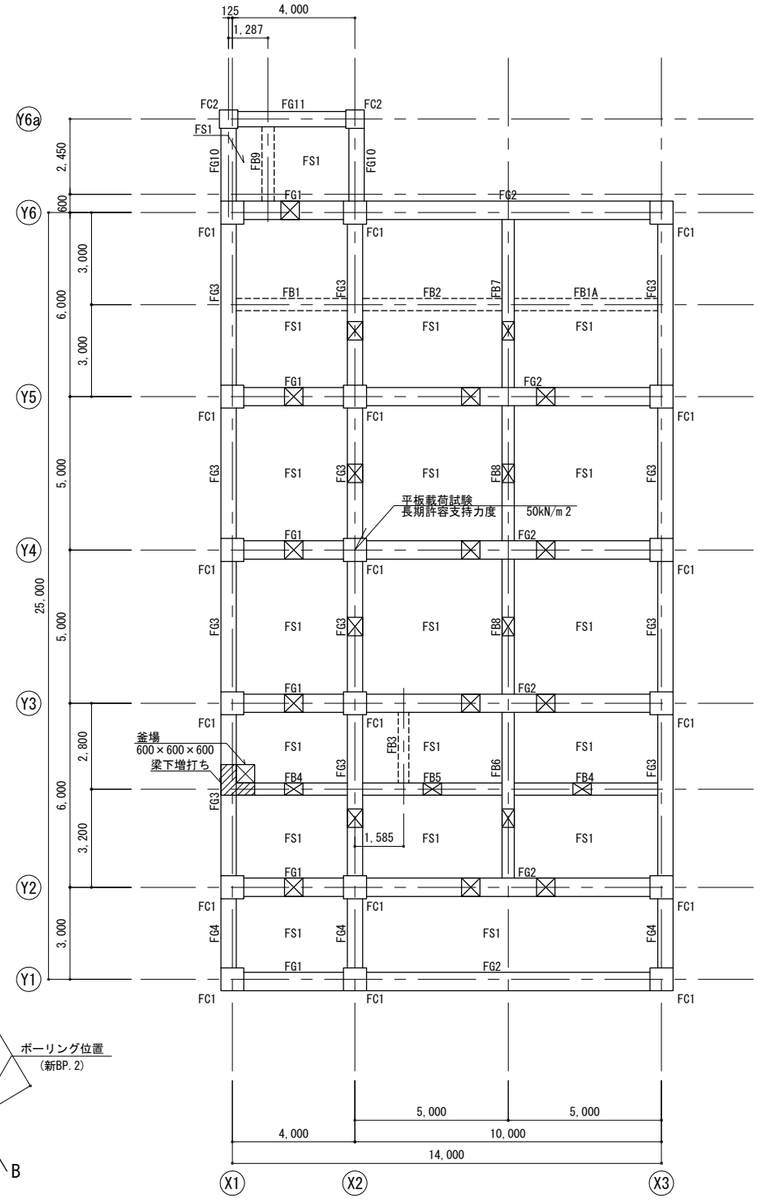




地盤改良図(浅層混合処理工法)

A1:S=1/100
A3:S=1/200

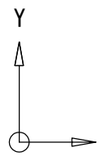
特記事項
1)　地盤改良範囲を示す。



基礎伏図

A1:S=1/100
A3:S=1/200

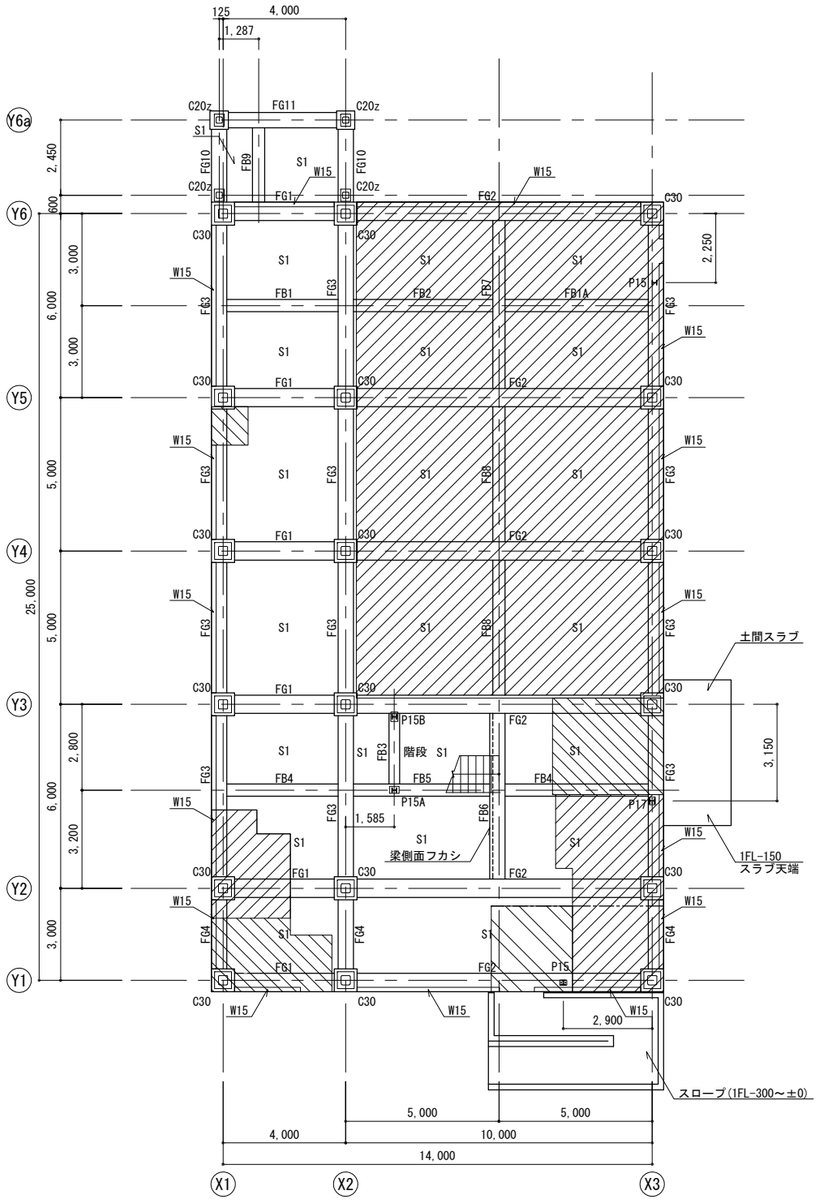
特記事項
1)　特記なきスラブ天端レベルは、1FL-1950(GL-1650)とする。
2)　特記なき基礎下端レベルは、1FL-2200(GL-1900)とする。
3)　図面内の表記は以下による。
　　：人通孔φ600



基礎梁主筋方向はY方向を上とする

コンクリート設計基準強度
Fc24
鉄筋　D16以下　SD295
　　D19以上　SD345

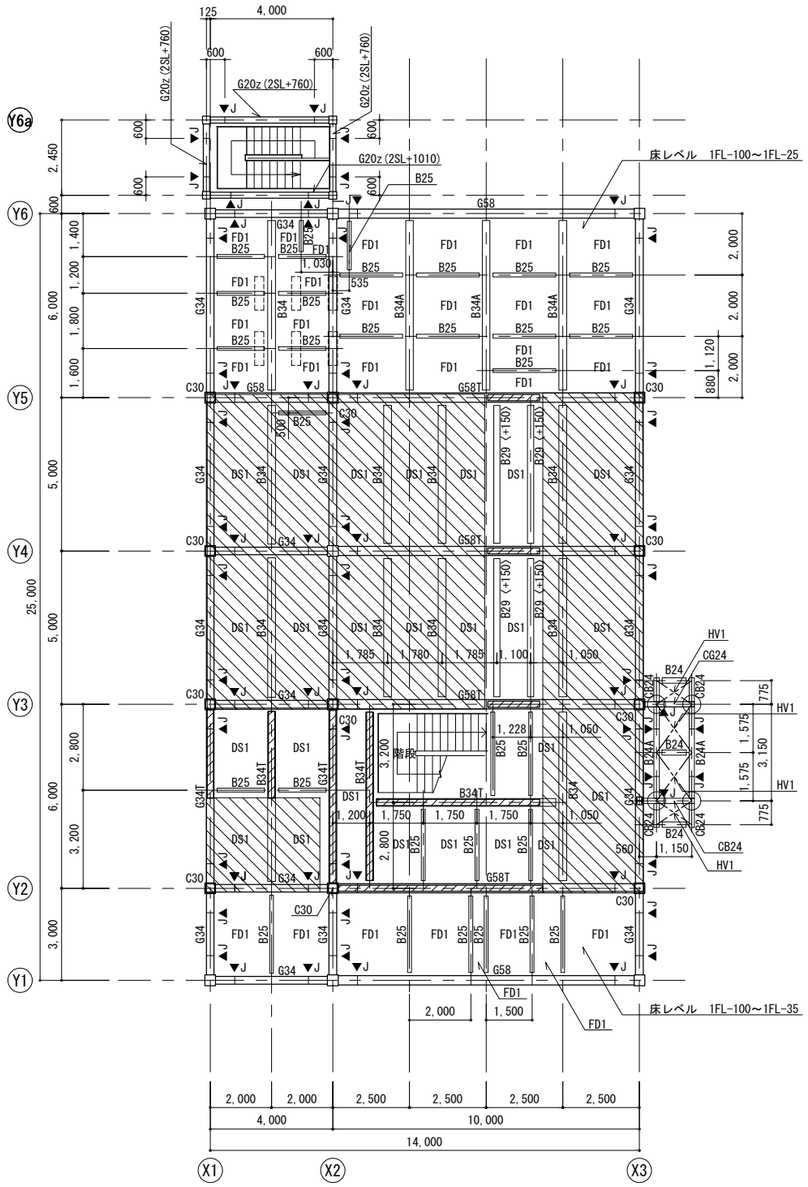
特記				物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事	
				図面名	管理棟　伏図(1)・柱状図	縮尺 A1:1/100,150,200 A3:1/200,300,400 / 図番 S-103



1階伏図

A1:S=1/100
A3:S=1/200

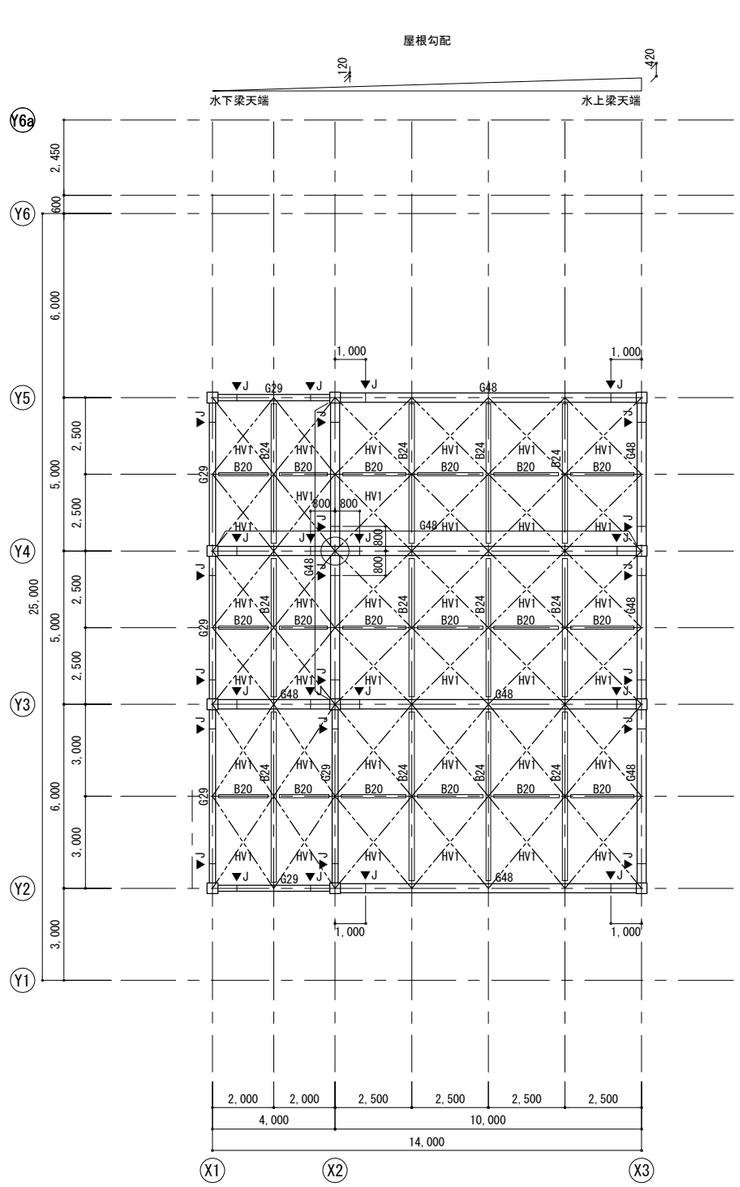
特記事項
1) 特記なきスラブ天端レベルは、1FL±0とする。
2) 特記なき梁天端レベルは1FL-400(GL-100)とする。
3) 特記なき限りスラブ天端レベルは下記による。
▨ : 1FL-150
▨ : 1FL-100
▨ : 1FL-50



2階伏図

A1:S=1/100
A3:S=1/200

特記事項
1) 特記なきスラブ天端レベルは、2FL±0とする。
2) 特記なき梁天端レベルは2FL-250とする。
3) 〈 〉内の数値は梁天端レベルの2FLからの下がりを示す。
4) 特記なき限り現場接手位置は柱心より800mmとする。
5) ▼J : 鉄骨梁現場継手を示す。
6) 特記なき限り、FD1とDS1のデッキ方向、主筋方向は⁓方向とする。
7) 特記なき限りスラブ天端レベルは下記による。
▨ : 2FL-100
8) ▨ : CT-100×200×8×12を示す。
9) X3より外部側の梁天端レベルは1FL+2815とする
10) ◯ : 剛接合部を示す。



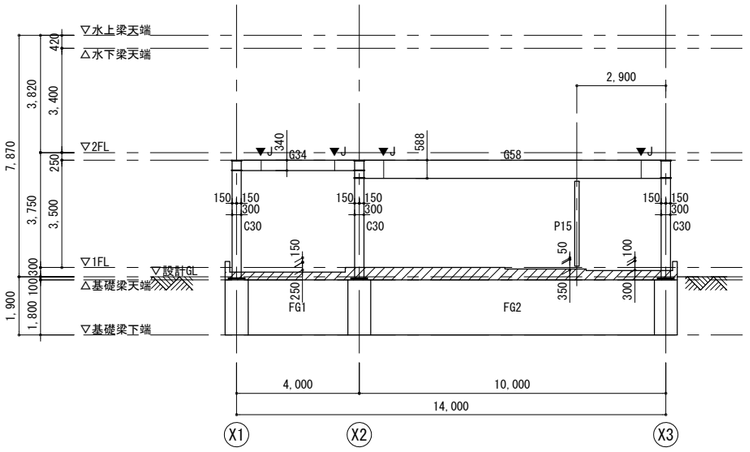
R階伏図

A1:S=1/100
A3:S=1/200

特記事項
1) 特記なき限り現場接手位置は柱心より800mmとする。
2) ▼J : 鉄骨梁現場継手を示す。
3) ◯ : 剛接合部を示す。

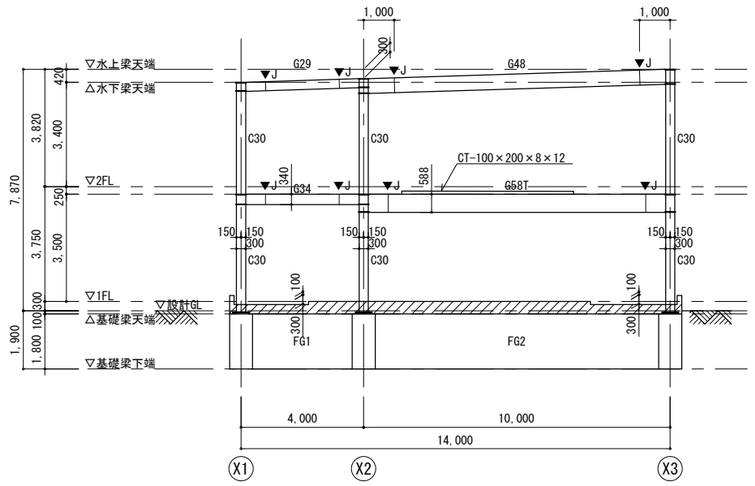
Y
X
基礎梁主筋方向はY方向を上とする

特記				物件名	第R6-8号 新産業廃棄物最終処分場建設工事	
				図面名	管理棟 伏図(2)	縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200 / 図番 S-104



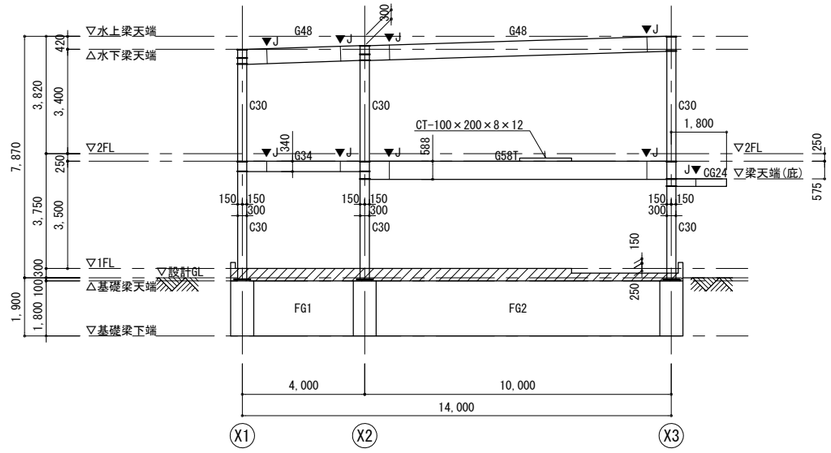
Y1通り　軸組図　A1:S=1/100 A3:S=1/200

特記事項
1)　特記なき限り現場接手位置は柱心より800mmとする。
2)　▼J ：鉄骨梁現場継手を示す。
3)　▨：増打ちコンクリートを示す。



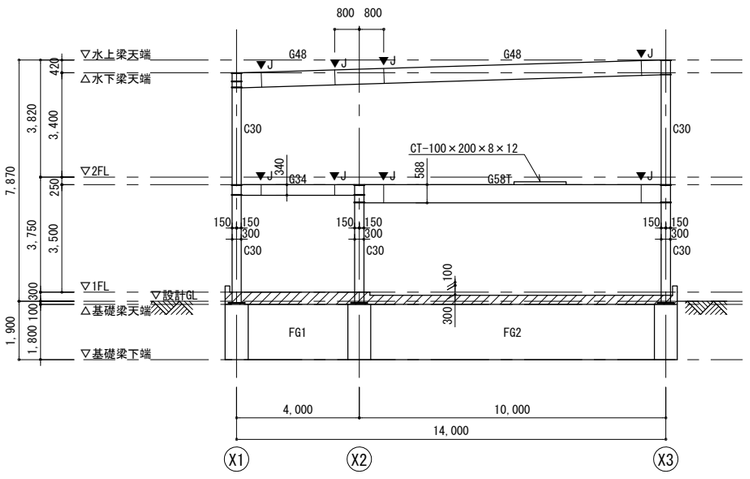
Y2通り　軸組図　A1:S=1/100 A3:S=1/200

特記事項
1)　特記なき限り現場接手位置は柱心より800mmとする。
2)　▼J ：鉄骨梁現場継手を示す。
3)　▨：増打ちコンクリートを示す。



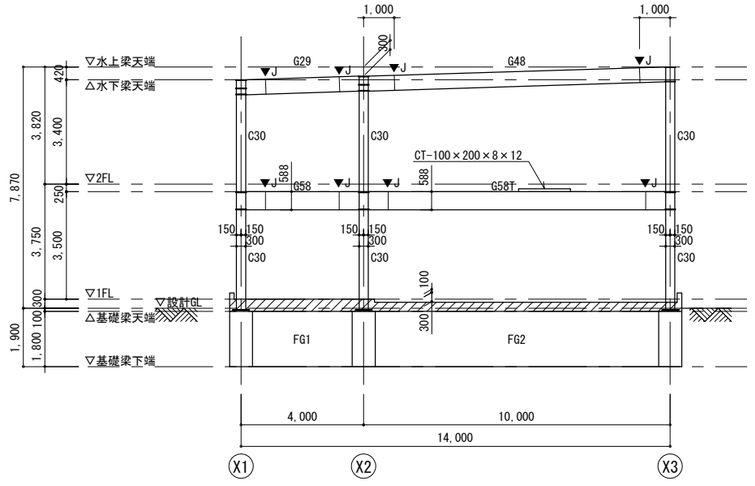
Y3通り　軸組図　A1:S=1/100 A3:S=1/200

特記事項
1)　特記なき限り現場接手位置は柱心より800mmとする。
2)　▼J ：鉄骨梁現場継手を示す。
3)　▨：増打ちコンクリートを示す。



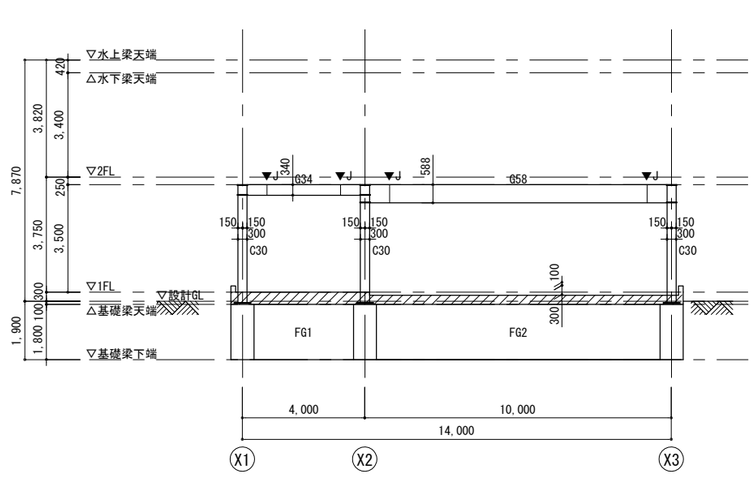
Y4通り　軸組図　A1:S=1/100 A3:S=1/200

特記事項
1)　特記なき限り現場接手位置は柱心より800mmとする。
2)　▼J ：鉄骨梁現場継手を示す。
3)　▨：増打ちコンクリートを示す。



Y5通り　軸組図　A1:S=1/100 A3:S=1/200

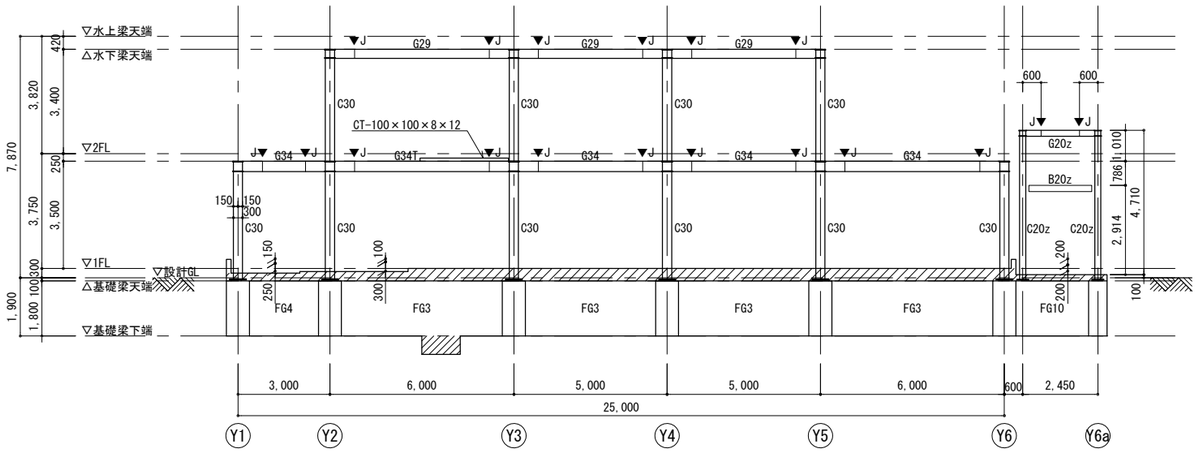
特記事項
1)　特記なき限り現場接手位置は柱心より800mmとする。
2)　▼J ：鉄骨梁現場継手を示す。
3)　▨：増打ちコンクリートを示す。



Y6通り　軸組図　A1:S=1/100 A3:S=1/200

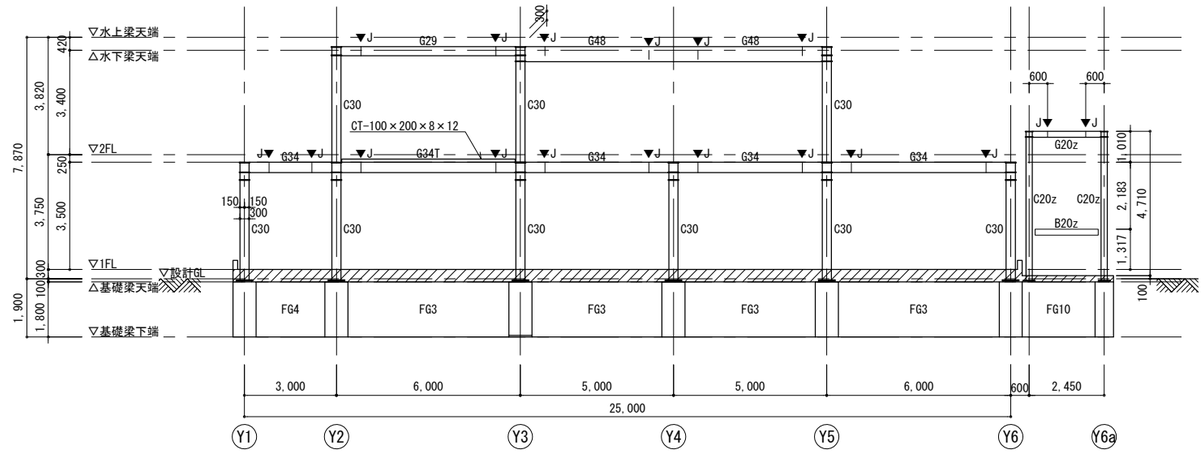
特記事項
1)　特記なき限り現場接手位置は柱心より800mmとする。
2)　▼J ：鉄骨梁現場継手を示す。
3)　▨：増打ちコンクリートを示す。

特記				物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事		
				図面名	管理棟　軸組図(1)	縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200	図番 S-105



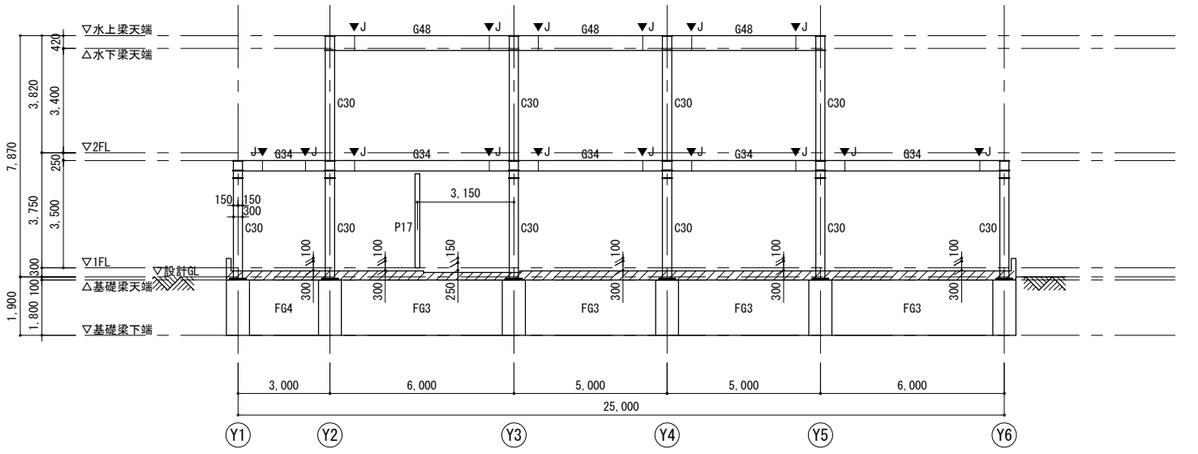
X1通り　軸組図　A1:S=1/100 A3:S=1/200

特記事項
1)　特記なき限り現場接手位置は柱心より800mmとする。
2)　▼J　：鉄骨梁現場継手を示す。
3)　▨　：増打ちコンクリートを示す。



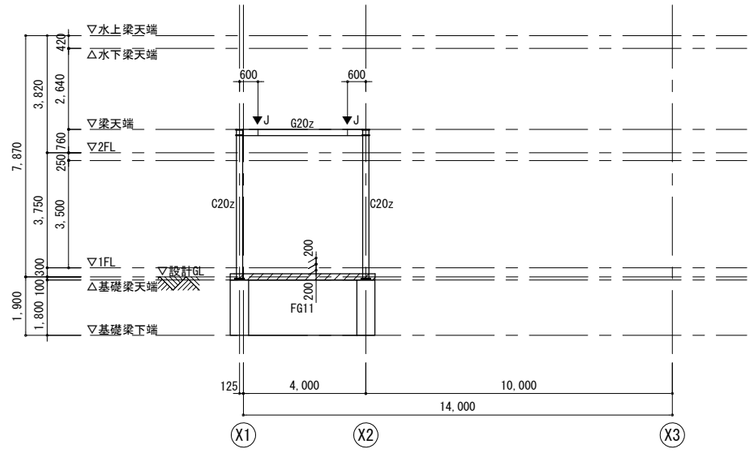
X2通り　軸組図　A1:S=1/100 A3:S=1/200

特記事項
1)　特記なき限り現場接手位置は柱心より800mmとする。
2)　▼J　：鉄骨梁現場継手を示す。
3)　▨　：増打ちコンクリートを示す。



X3通り　軸組図　A1:S=1/100 A3:S=1/200

特記事項
1)　特記なき限り現場接手位置は柱心より800mmとする。
2)　▼J　：鉄骨梁現場継手を示す。
3)　▨　：増打ちコンクリートを示す。



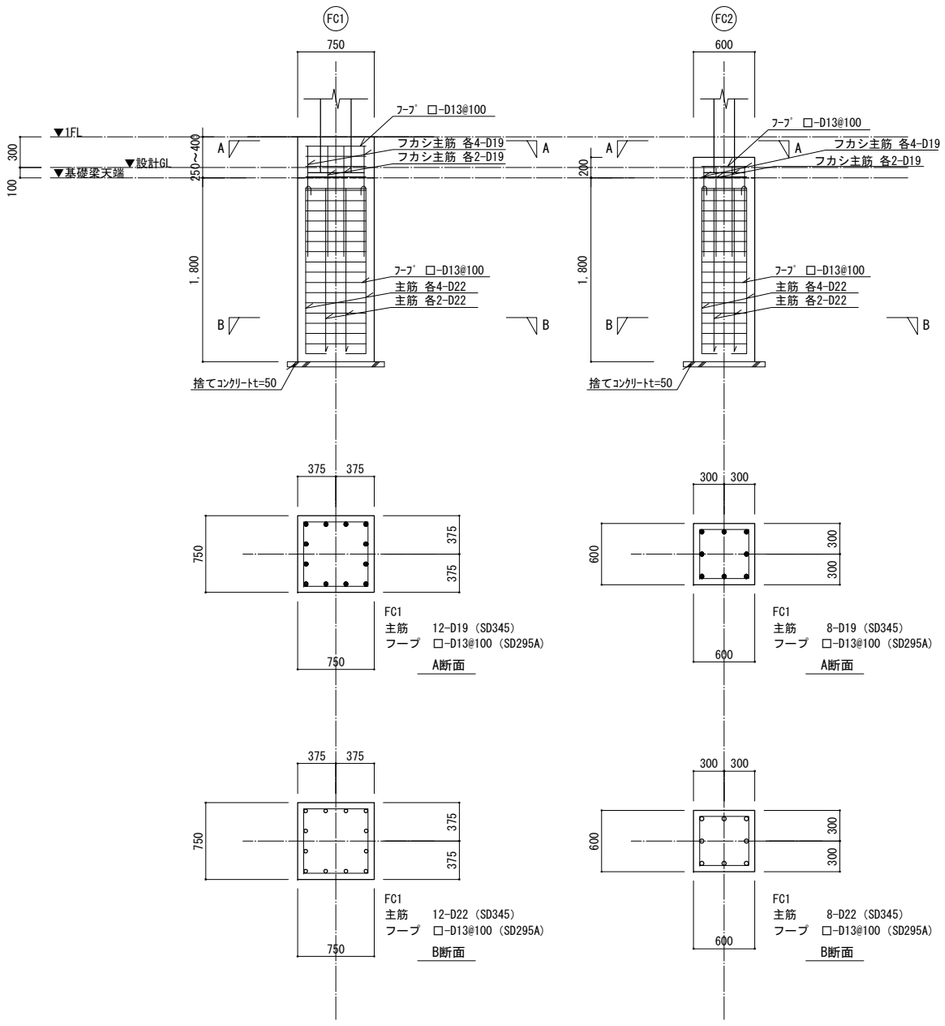
Y6a通り　軸組図　A1:S=1/100 A3:S=1/200

特記事項
1)　▼J　：鉄骨梁現場継手を示す。
2)　▨　：増打ちコンクリートを示す。

特記				物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事	
				図面名	管理棟　軸組図(2)	縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200 / 図番 S-106

基礎柱型断面表

A1:S=1/30
A3:S=1/60



基礎柱型断面表

A1:S=1/30
A3:S=1/60

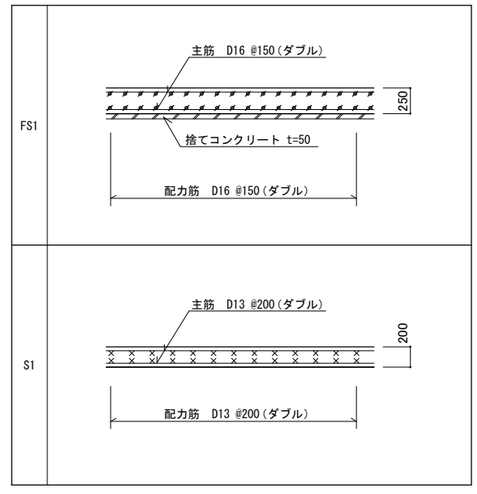
特記事項
1) 幅止筋はD10-@1,000とする。

階	符号	FG1	FG2			FG3
	断面名	全断面	X2端	中央	X3端	全断面
1FL	断面	フカシ主筋 4-D19 フカシSTP 冂 -D13@200 ▽1FL △1SL ▽基礎梁天端 L2 250~400 1,800 2,200 〈共通〉 捨てｺﾝｸﾘｰﾄt=50 600	フカシ主筋 4-D22 フカシSTP 冂 -D13@200 600	フカシ主筋 4-D22 フカシSTP 冂 -D13@200 600	フカシ主筋 4-D22 フカシSTP 冂 -D13@200 600	フカシ主筋 4-D16 フカシSTP 冂 -D13@200 500
	コンクリート	600x1800	600x1800			500x1800
	上端筋	6/5-D22	6/5-D25	6/5-D25	6-D25	4-D19
	下端筋	6/2-D22	6/2-D25	6/4-D25	6/2-D25	4/2-D19
	スターラップ	□-D13@200	□-D13@200			□-D13@200
	腹筋	6-D13	6-D13			6-D13

階	符号	FG4	FG10	FG11
	断面名	全断面	全断面	全断面
1FL	断面	フカシ主筋 5-D16 フカシSTP 冂 -D13@200 ▽1FL △1SL ▽基礎梁天端 L2 250~400 1,800 2,200 〈共通〉 捨てｺﾝｸﾘｰﾄt=50 500	フカシ主筋 3-D19 フカシSTP 冂 -D13@200 200 1,800 2,000 500	フカシ主筋 3-D19 フカシSTP 冂 -D13@200 200 1,800 2,000 500
	コンクリート	500x1800	500x1800	500x1800
	上端筋	3/1-D19	4-D22	4-D22
	下端筋	3-D19	4-D22	4-D22
	スターラップ	□-D13@200	□-D13@200	□-D13@200
	腹筋	6-D13	6-D13	6-D13

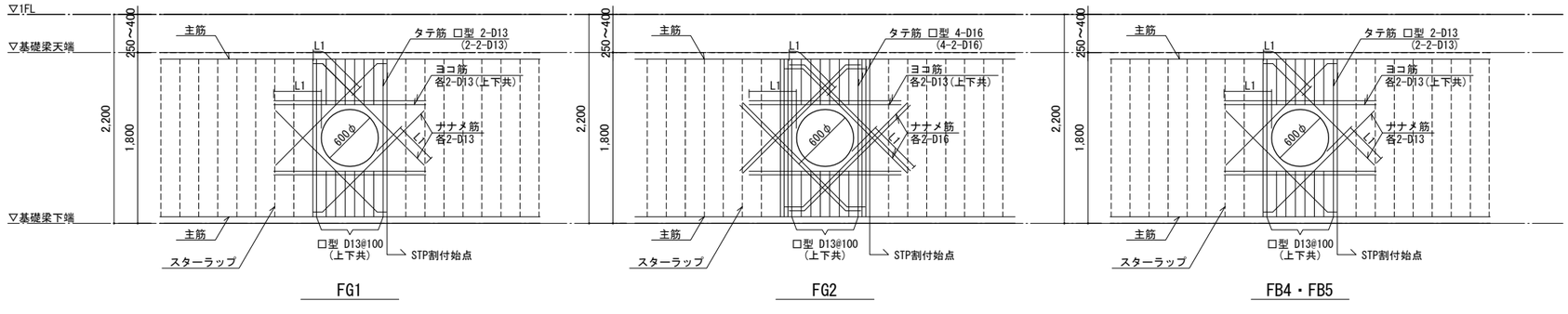
スラブ断面表

A1:S=1/30
A3:S=1/60



基礎梁人通孔補強要領図

A1:S=1/30
A3:S=1/60



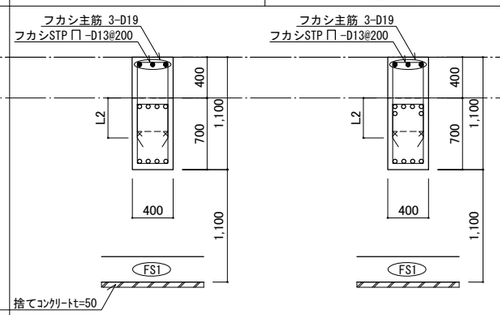
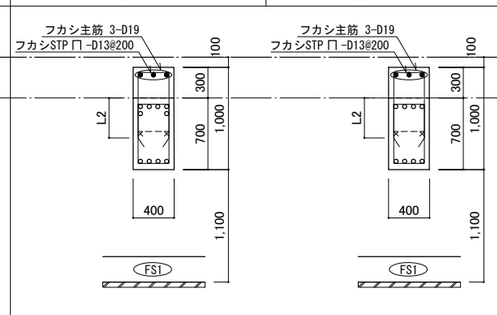
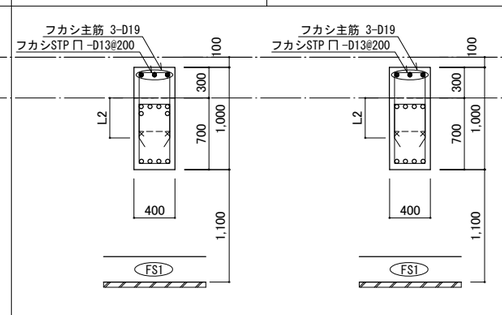
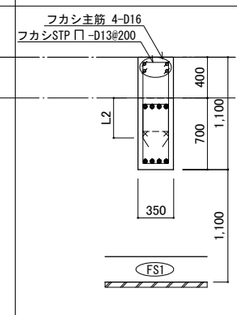
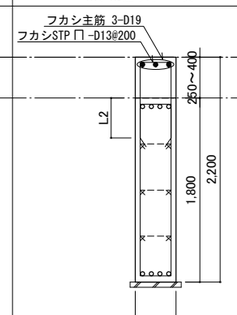
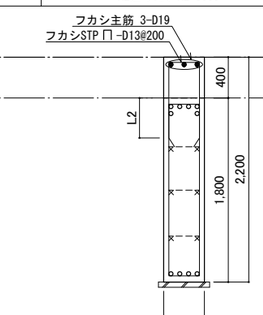
特記

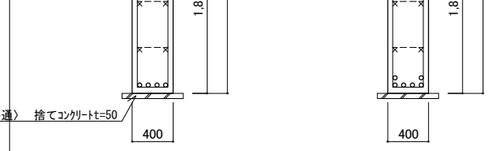
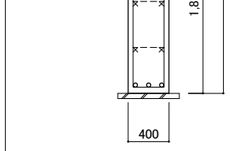
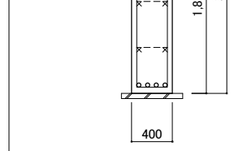
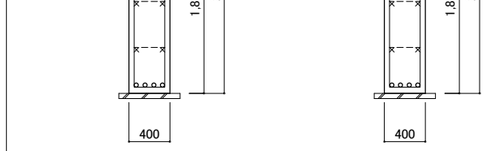
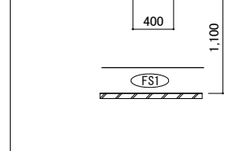
物件名	第R6-8号 新産業廃棄物最終処分場建設工事	
図面名	管理棟 基礎断面表(1)	縮尺 A1: 1/30 A3: 1/60
		図番 S-107

基礎小梁断面表

A1:S=1/30
A3:S=1/60

特記事項
1）幅止筋はD10-@1,000とする。

階	符号	FB1		FB1A		FB2		FB3	FB4	
	断面名	X1通り端、中央	X2通り端	X2通り端	X3通り端、中央	両端	中央	全断面	X1、X3通り端・中央	X2通り端、X2+5000
1FL	断面									
	コンクリート	400x1000		400x1000		400x1000		350x1000	400x1800	
	上端筋	4-D22	4/2-D22	4/2-D22	4-D22	4/2-D22	4-D22	4-D19	4-D22	4/2-D22
	下端筋	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D19	4-D22	4-D22
	スターラップ	□-D13@200		□-D13@200		□-D13@200		□-D13@200	□-D13@200	
	腹筋	2-D13		2-D13		2-D13		2-D13	6-D13	

階	符号	FB5		FB6	FB7	FB8		FB9
	断面名	両端	中央	全断面	全断面	Y3、Y4、Y5通り端	中央	全断面
1FL	断面						
	コンクリート	400x1800		400x1800	400x1800	400x1800		400x800
	上端筋	4/2-D22	4-D22	3-D22	4-D22	4/2-D22	4-D22	4-D19
	下端筋	4-D22	4/2-D22	3-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D19
	スターラップ	□-D13@200		□-D13@200	□-D13@200	□-D13@200		□-D13@200
	腹筋	6-D13		6-D13	6-D13	6-D13		2-D13

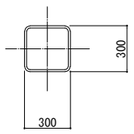
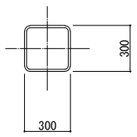
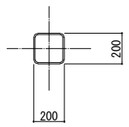
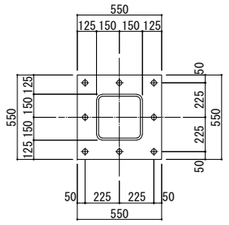
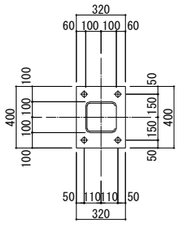
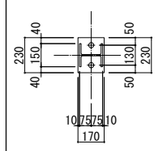
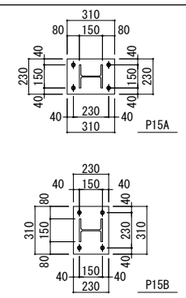
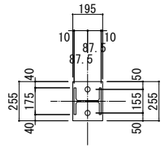
特記

物件名	第R6-8号 新産業廃棄物最終処分場建設工事			
図面名	管理棟 基礎断面表(2)	縮尺	A1: 1/30 A3: 1/60	図番 S-108

鉄骨柱断面表

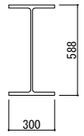
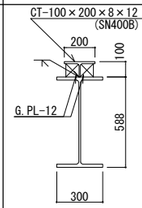
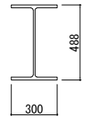
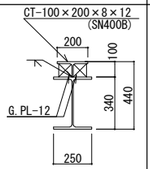
A1:S=1/20
A3:S=1/40

特記事項　1) ダイアフラムは SN490C とする。

階	符号	C30	C20z	P15	P15A・P15B	P17
2階	上下取付	–		G.PL-9,HTB 2-M16(S10T)		
	断面					
	鉄骨	□-300×300×12		H-150×150×7×10		
	材種	BCR295		SS400		
1階	上下取付	–	–	G.PL-9,HTB 2-M16(S10T)	G.PL-9,HTB 2-M16(S10T)	G.PL-9,HTB 2-M20(S10T)
	断面		 ※溶融亜鉛メッキ仕上げ			
	鉄骨	□-300×300×12	□-200×200×9	H-150×150×7×10	H-150×150×7×10	H-175×175×7.5×11
	材種	BCR295	BCR295	SS400	SS400	SN400B
柱脚			 ※溶融亜鉛メッキ仕上げ			
		B.PL-32×550×550 (SN490B) A.BOLT 8-M24(ABR490)L=480(埋込長) 定着金物 16×75×75 Wナット締め	B.PL-22×320×400 (SN490B) A.BOLT 4-M16(ABR400)L=320(埋込長) 定着金物 12×60×60 Wナット締め	B.PL-22×170×230 (SS400) A.BOLT 2-M16(SS400) L=320(埋込長) Wナット締め	P15A B.PL-19×310×230(SN400B) A.BOLT 4-M16(SS400)L=320(埋込長) P15B B.PL-19×230×310(SN400B) A.BOLT 4-M16(SS400)L=320(埋込長)	B.PL-22×195×255 (SN400B) A.BOLT 2-M16(SS400)L=320(埋込長) Wナット締め

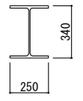
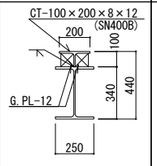
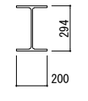
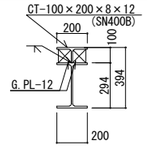
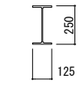
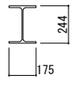
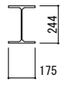
鉄骨大梁断面表

A1:S=1/20
A3:S=1/40

符号	G58	G58T	G48	G34	G34T	G29	G20z
位置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
断面							
鉄骨	H-588×300×12×20	H-588×300×12×20	H-488×300×11×18	H-340×250×9×14	H-340×250×9×14	H-294×200×8×12	H-200×200×8×12
材質	SN400B	SN400B	SN400B	SN400B	SN400B	SN400B	SN400B
継手	J58	J58	J48	J34	J34	J29	J20z
備考							仕上げ：溶融亜鉛メッキとする

鉄骨小梁断面表

A1:S=1/20
A3:S=1/40

符号	B34・B34A	B34T	B29	B29T	B25	B24	B24A
位置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
断面							
鉄骨	H-340×250×9×14	H-340×250×9×14	H-294×200×8×12	H-294×200×8×12	H-250×125×6×9	H-244×175×7×11	H-244×170×7×11
材質	SS400	SS400	SS400	SS400	SS400	SS400	SS400
接合部	BJ34	BJ34	BJ29	BJ29	—	—	J24
備考					BJ25	BJ24	両端固定

鉄骨片持ち梁断面表

A1:S=1/20
A3:S=1/40

符号	B20	B20H	B20z
位置	全断面	全断面	全断面
断面			
鉄骨	H-200×100×5.5×8	H-200×200×8×12	H-200×200×8×12
材質	SS400	SS400	SS400
継手	—	—	—
接合部	BJ20	—	BJ20z
備考			仕上げ：溶融亜鉛メッキとする

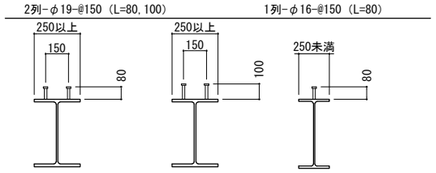
符号	CG24	CB24
位置	全断面	全断面
断面		
鉄骨	H-244×170×7×11	H-244×175×7×11
材質	SN400B	SN400B
継手	J24	J24
備考		

頭付きスタッド要領

A1:S=1/20
A3:S=1/40

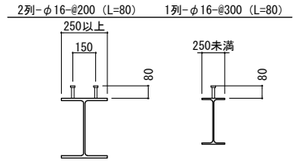
(大梁)

2列-φ19-@150 (L=80,100)　　1列-φ16-@150 (L=80)



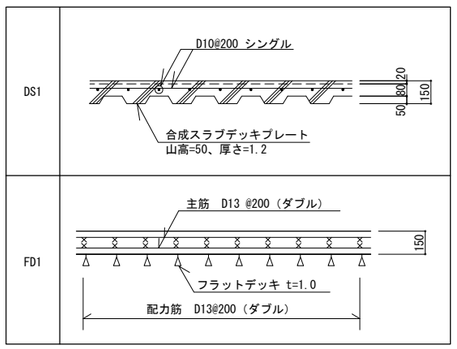
(小梁)

2列-φ16-@200 (L=80)　　1列-φ16-@300 (L=80)



スラブ断面表

A1:S=1/20
A3:S=1/40

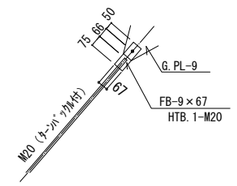


水平ブレース断面表

A1:S=1/20
A3:S=1/40

HV1

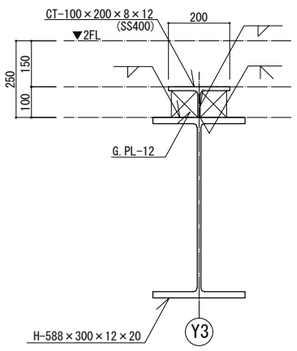
M20(SNR400B) G.PL-9(SS400) HTB 1-M20(S10T)



JISターンバックル筋交いJIS A 5540
GPL有効幅 B=85以上
GPL有効溶接長 130以上

CT詳細図

A1:S=1/10
A3:S=1/20



特記				物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事
				図面名	管理棟　鉄骨部材断面表
				縮尺	A1: 1/10,20 A3: 1/20,40
				図番	S-109

鉄骨継手断面表

A1:S=1/10
A3:S=1/20

特記事項
1)特記なきプレートの材種は SN400B とする。

符号	J58	J48	J34	J29	J24	J20z
断面	G58・G58T	G48	G34・G34T	B29	CG24・CB24	G20z
仕様 F.SPL	PL-12×300×440 2PL-16×110×440	PL-12×300×440 2PL-12×110×440	PL-12×250×410 2PL-12×100×410	PL-9×200×410 2PL-9× 80×410	PL-9×175×290 2PL-9× 70×290	PL-9×200×410 2PL-9× 80×410
F.SPL HTB	8-M22(S10T) g1=150 g2=40 P1=45	8-M22(S10T) g1=150 g2=40 P1=45	6-M22(S10T) g1=150 g2=- P1=60	6-M20(S10T) g1=120 g2=- P1=60	4-M20(S10T) g1=105 g2=- P1=60	メッキ HTB 6-M20(F8T) g1=120 g2=- P1=60
W.SPL	2PL- 9×440×170	2PL-12×320×170	2PL- 9×200×170	2PL-9×200×170	2PL-6×140×230	2PL-6×140×350
W.SPL HTB	7-M22(S10T) P2=60	5-M22(S10T) P2=60	3-M22(S10T) P2=60	3-M20(S10T) P2=60	2-M20(S10T) P2=60	メッキ HTB 4-M20(F8T) P2=60
備考						仕上げ：溶融亜鉛メッキとする

鉄骨接合部断面表

A1:S=1/10
A3:S=1/20

特記事項
1)特記なきプレートの材種は SN400B とする。

符号	BJ34	BJ34A	BJ29	BJ25	BJ24
断面	B34	B34A	B29	B25	B24
接合部	G,PL-12 HTB 4-M20 (S10T)	G,PL-12 HTB 8-M20 (S10T)	G,PL-9 HTB 3-M20 (S10T)	G,PL-6 HTB 3-M20 (S10T)	G,PL-12 HTB 4-M20 (S10T)
備考					

	BJ20	BJ20z
	B20	B20z
	G,PL-6 HTB 2-M20 (S10T)	G,PL-9 メッキ HTB 2-M20 (F8T)
		仕上げ：溶融亜鉛メッキとする

J20

G20z

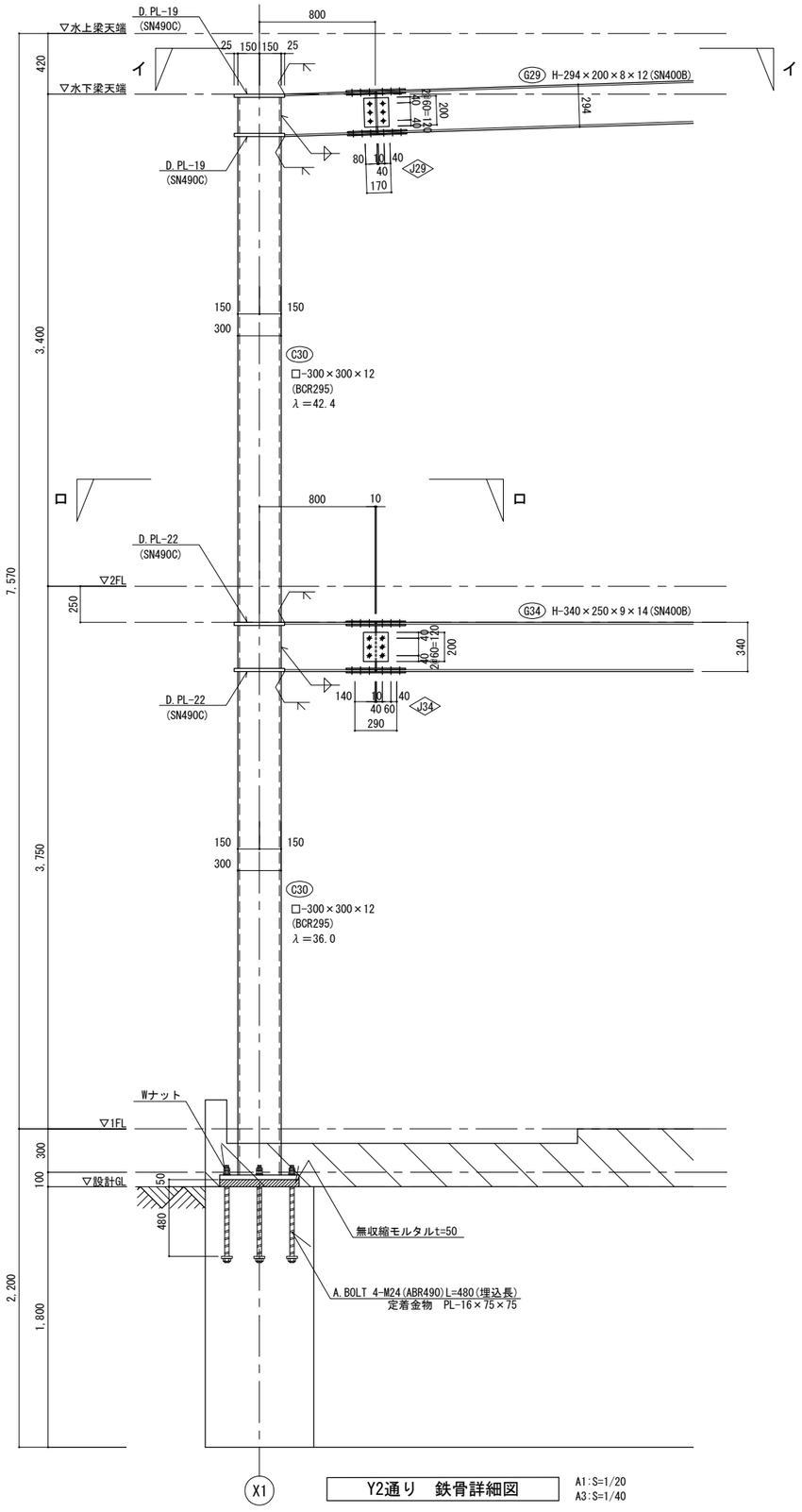
F.SPL	PL-9×200×410 2PL-9× 80×410	メッキ HTB	6-M20(F8T) g1=120 g2=- P1=60
W.SPL	2PL-6×140×350	メッキ HTB	4-M20(F8T) P2=60

仕上げ：溶融亜鉛メッキとする

凡例

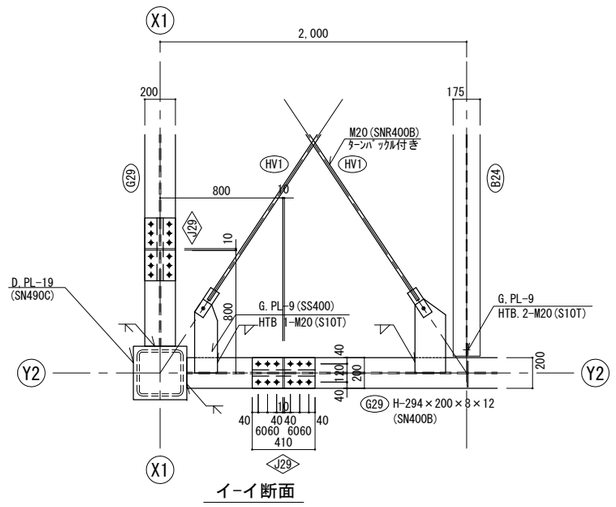
F.BOLT本数
F.SPL(PL)
F.SPL(2PL)
W.BOLT本数
W.SPL(2PL)

特記			物件名	第R6-8号 新産業廃棄物最終処分場建設工事	
			図面名	管理棟 鉄骨継手断面表	縮尺 A1: 1/10 A3: 1/20
					図番 S-110

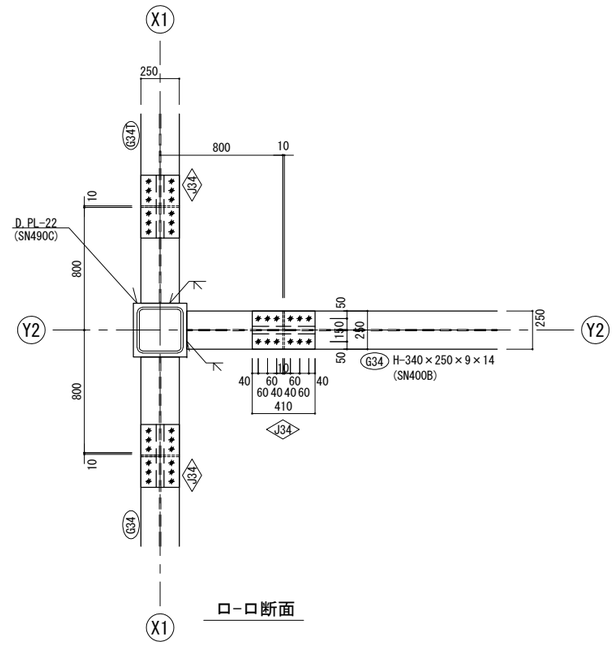


Y2通り　鉄骨詳細図

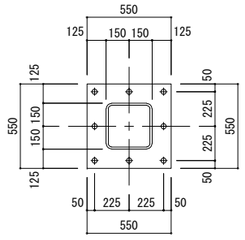
A1:S=1/20
A3:S=1/40



イ-イ断面

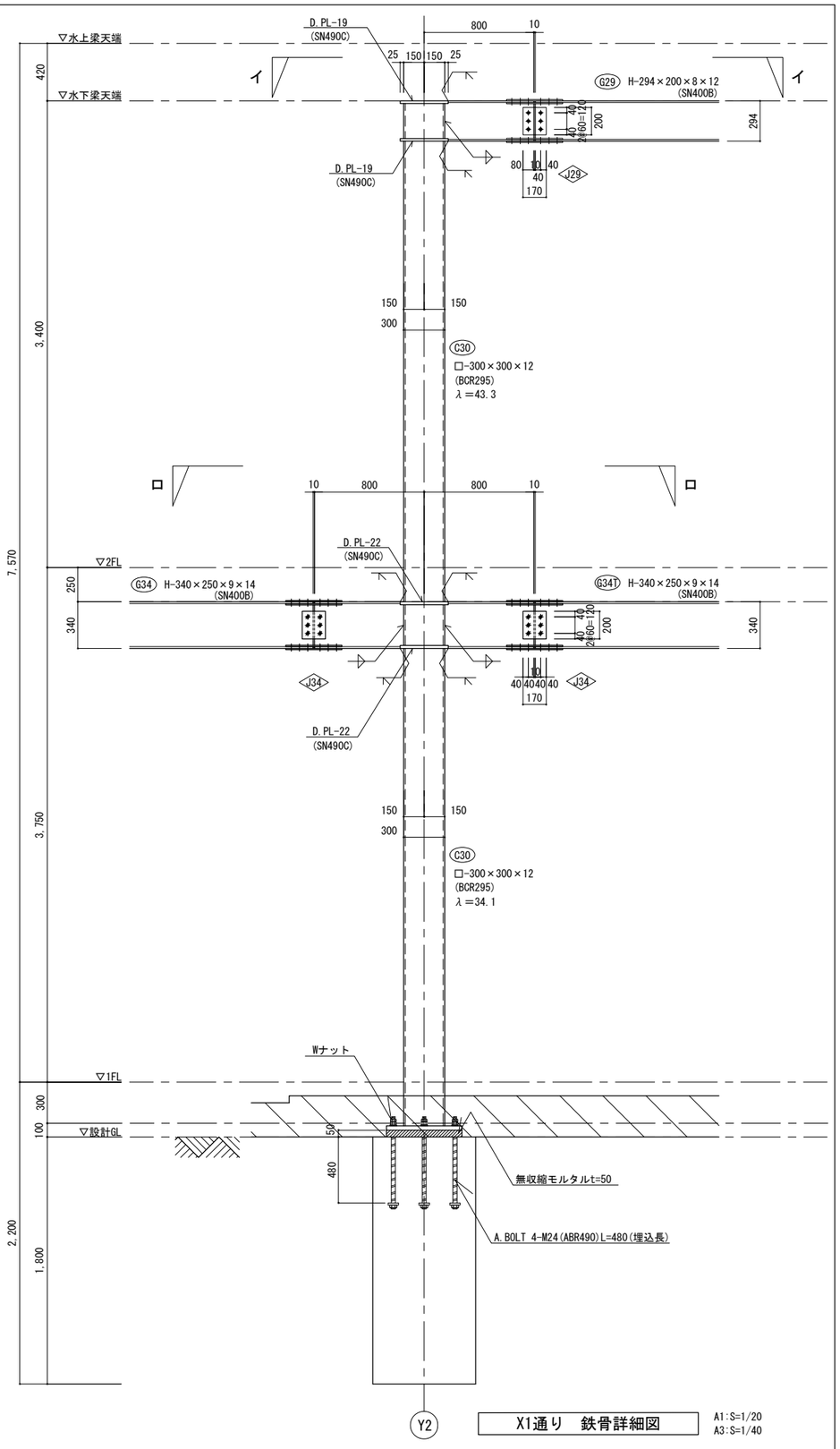


ロ-ロ断面



A.BOLT 8-M24(ABR490)L=480(埋込長)
定着金物 16×75×75

ベースプレート詳細図

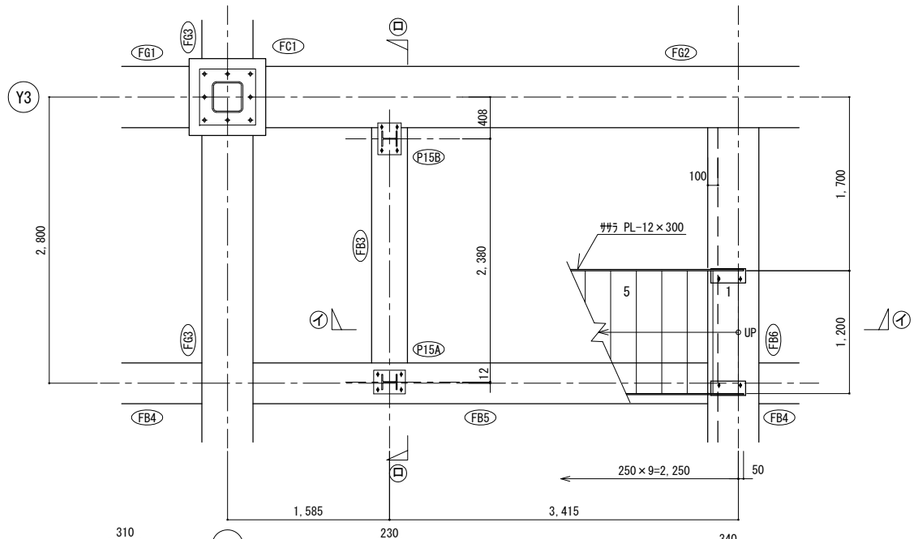


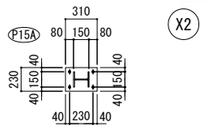
X1通り　鉄骨詳細図

A1:S=1/20
A3:S=1/40

特記

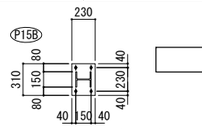
物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事				
図面名	管理棟　鉄骨詳細図	縮尺	A1: 1/20 A3: 1/40	図番	S-111





B, PL-19×310×230(SN400B)
A, BOLT 4-M16(埋込長:L=320)

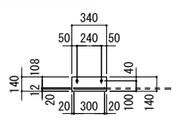
ベースプレート詳細図



B, PL-19×230×310(SN400B)
A, BOLT 4-M16(埋込長:L=320)

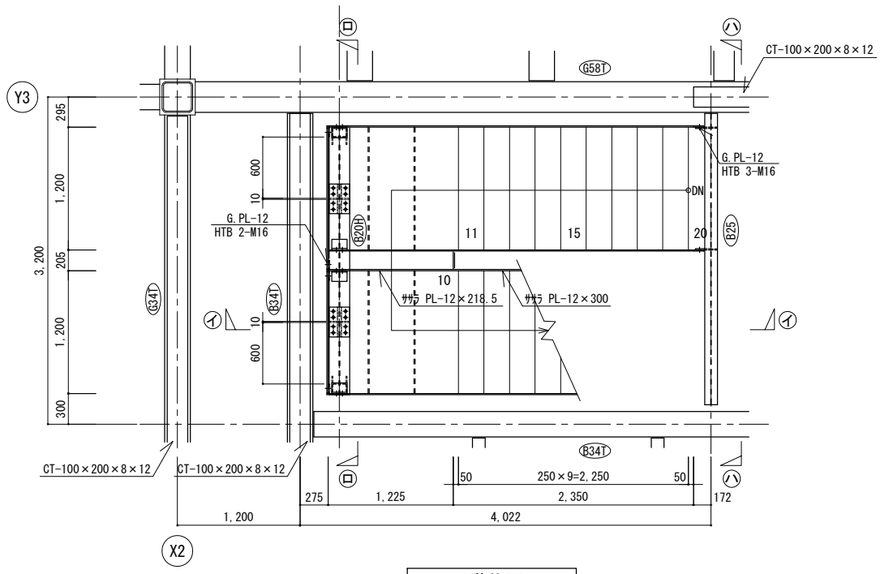
ベースプレート詳細図

1階伏図

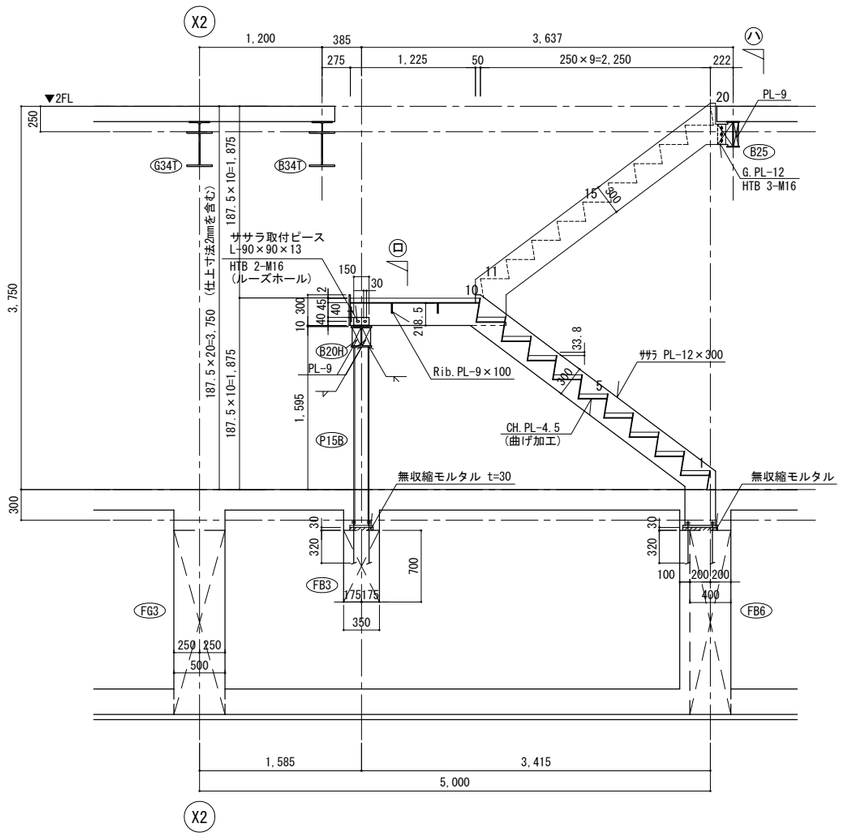


B, PL-19×340×140(SN400B)
A, BOLT 2-M16(埋込長:L=320)

ベースプレート詳細図

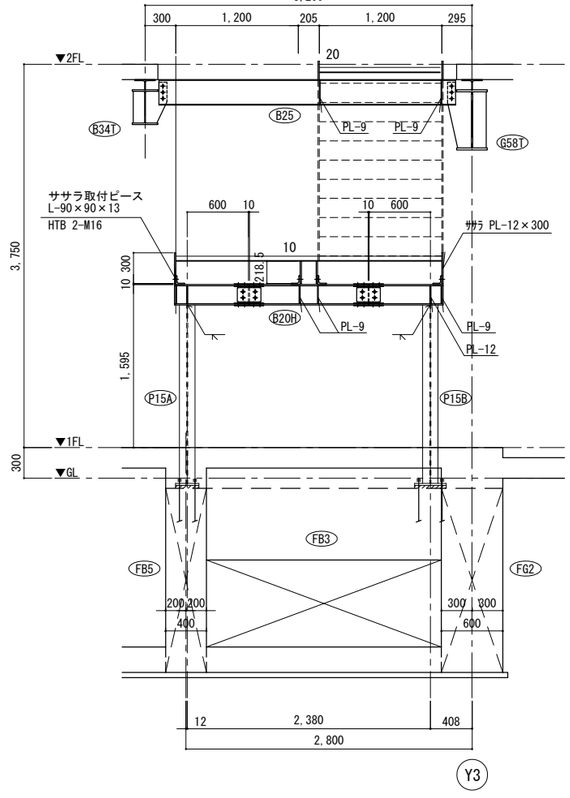


2階伏図



イ-イ断面

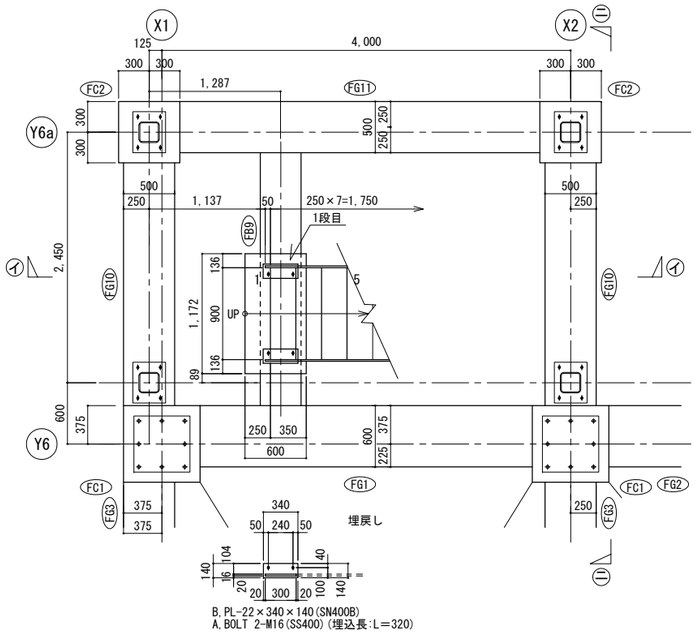
ハ-ハ断面



ロ-ロ断面

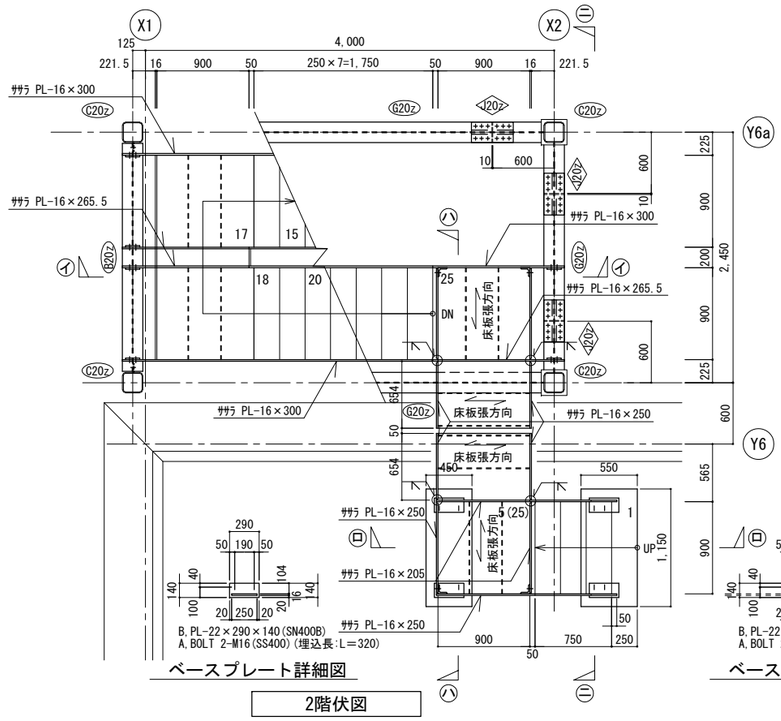
特記

				物件名	第R6-8号 新産業廃棄物最終処分場建設工事
				図面名	管理棟 屋内鉄骨階段詳細図
				縮尺	A1: 1/30 A3: 1/60
				図番	S-112



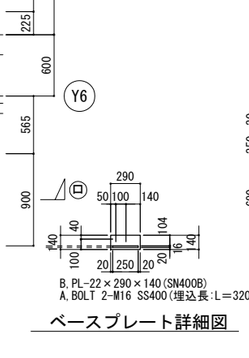
ベースプレート詳細図

1階伏図

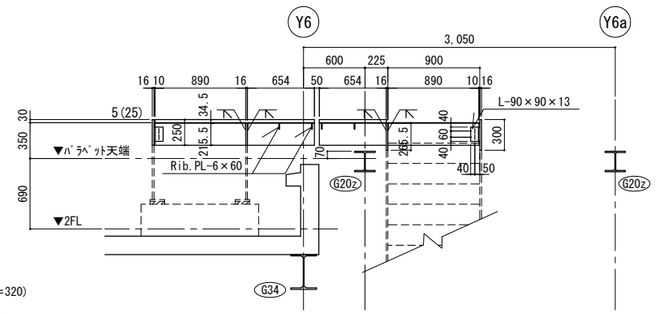

X1
X2
Y6a
Y6
ｻｻﾗ PL-16×300
ｻｻﾗ PL-16×265.5
ｻｻﾗ PL-16×250
ｻｻﾗ PL-16×205
G20z
J20z
B20z
床板張方向
UP
DN
(25)
B, PL-22×290×140(SN400B)
A, BOLT 2-M16(SS400)(埋込長:L=320)

ベースプレート詳細図

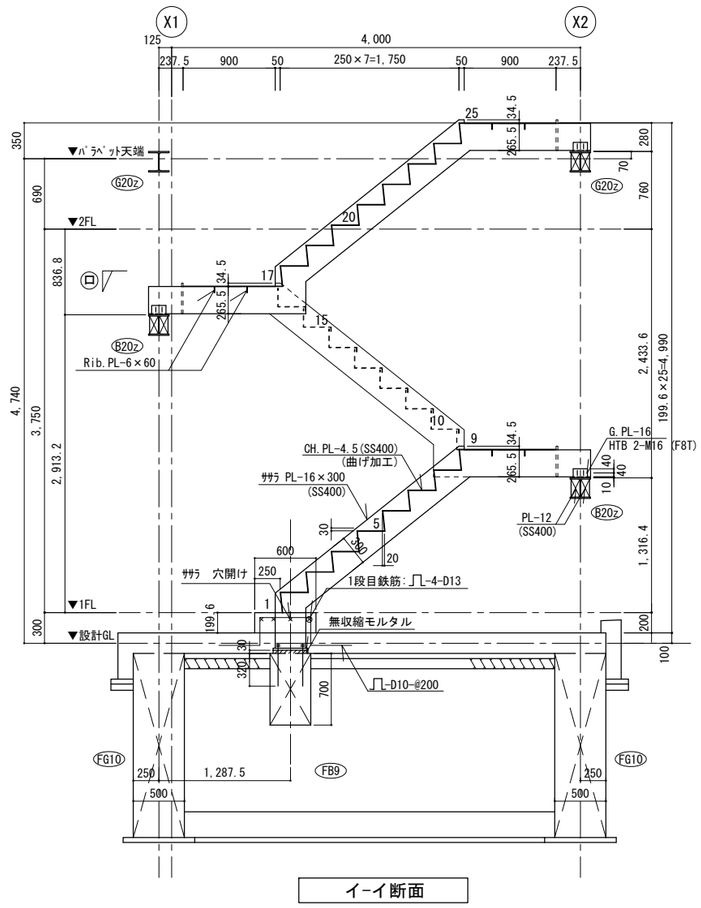
2階伏図


Y6
Y6a
B20z
B, PL-22×290×140(SN400B)
A, BOLT 2-M16 SS400(埋込長:L=320)

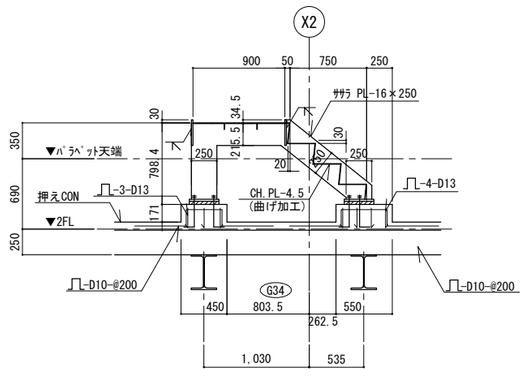
ベースプレート詳細図


Y6
Y6a
L-90×90×13
▼ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ天端
Rib.PL-6×60
▼2FL
G20z
G34

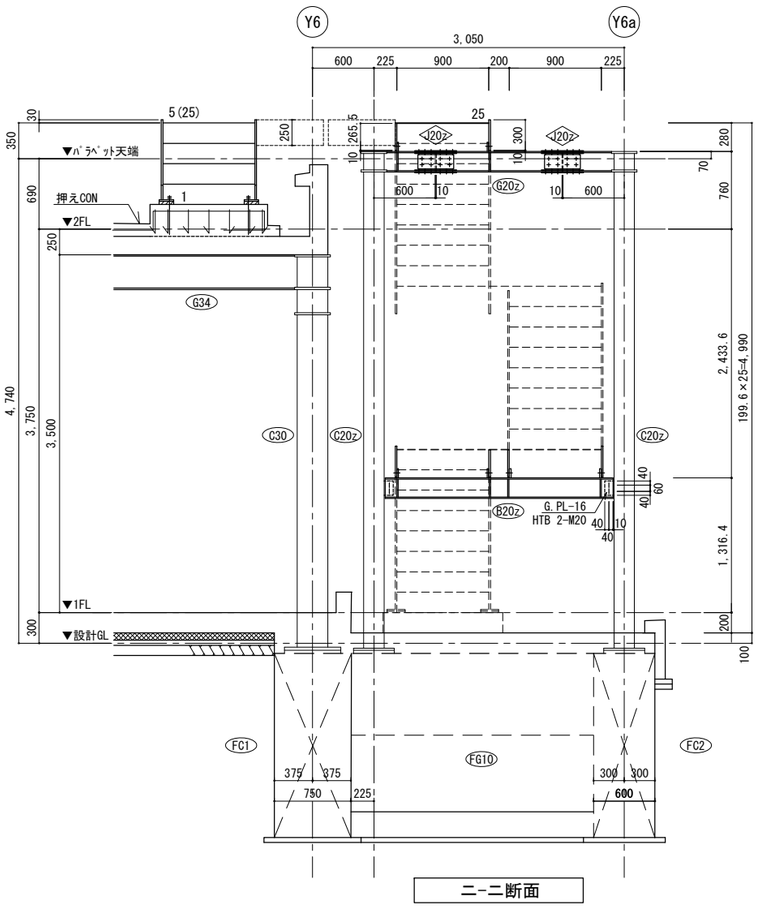
ハ-ハ断面


X1
X2
▼ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ天端
▼2FL
▼1FL
▼設計GL
G20z
B20z
Rib.PL-6×60
CH.PL-4.5(SS400)
(曲げ加工)
ｻｻﾗ PL-16×300
(SS400)
PL-12
(SS400)
G.PL-16
HTB 2-M16 (F8T)
ｻｻﾗ 穴開け
1段目鉄筋:⊓-4-D13
無収縮モルタル
⊓-D10-@200
FG10
FB9
1,287.5

イ-イ断面


X2
ｻｻﾗ PL-16×250
▼ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ天端
押えCON
▼2FL
⊓-3-D13
CH.PL-4.5
(曲げ加工)
⊓-4-D13
⊓-D10-@200
G34
803.5
262.5
1,030
535

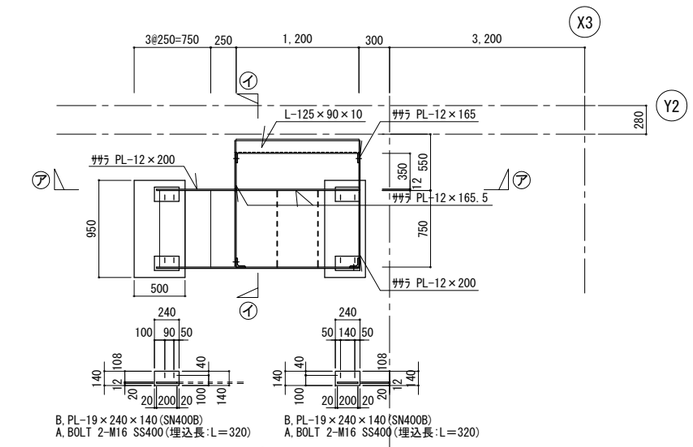
ロ-ロ断面


Y6
Y6a
▼ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ天端
押えCON
▼2FL
▼1FL
▼設計GL
J20z
G20z
C20z
C30
B20z
G.PL-16
HTB 2-M20
G34
FC1
FC2
FG10

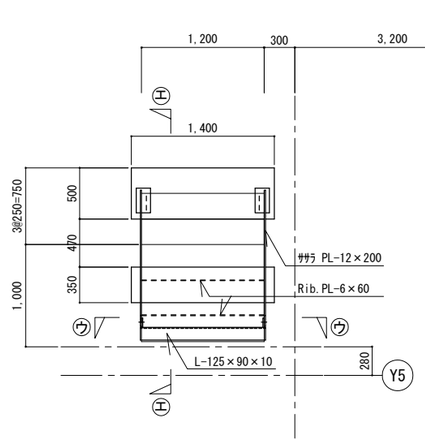
ニ-ニ断面

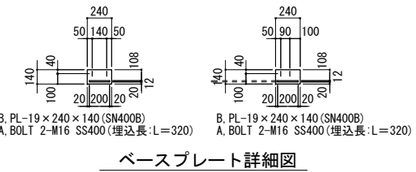
特記

物件名	第R6-8号 新産業廃棄物最終処分場建設工事
図面名	管理棟 屋外鉄骨階段詳細図
縮尺	A1: 1/30 A3: 1/60
図番	S-113

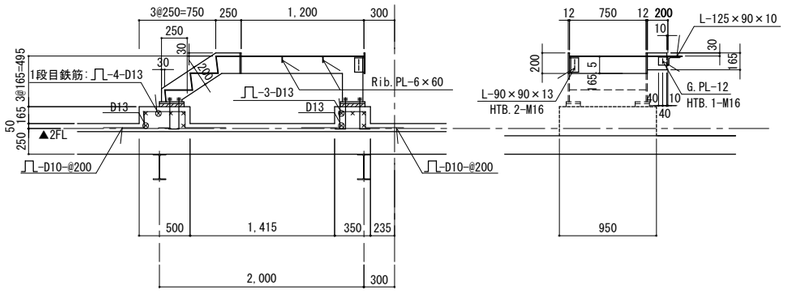


ベースプレート詳細図



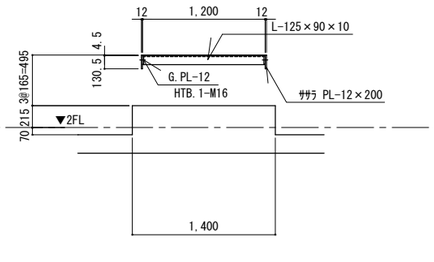


ベースプレート詳細図

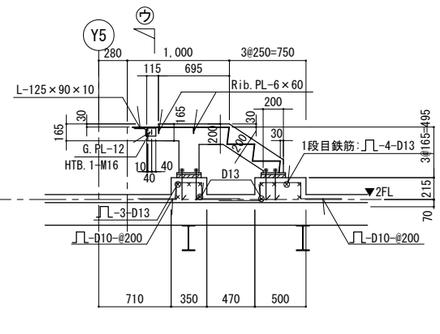


ア-ア断面

イ-イ断面



ウ-ウ断面

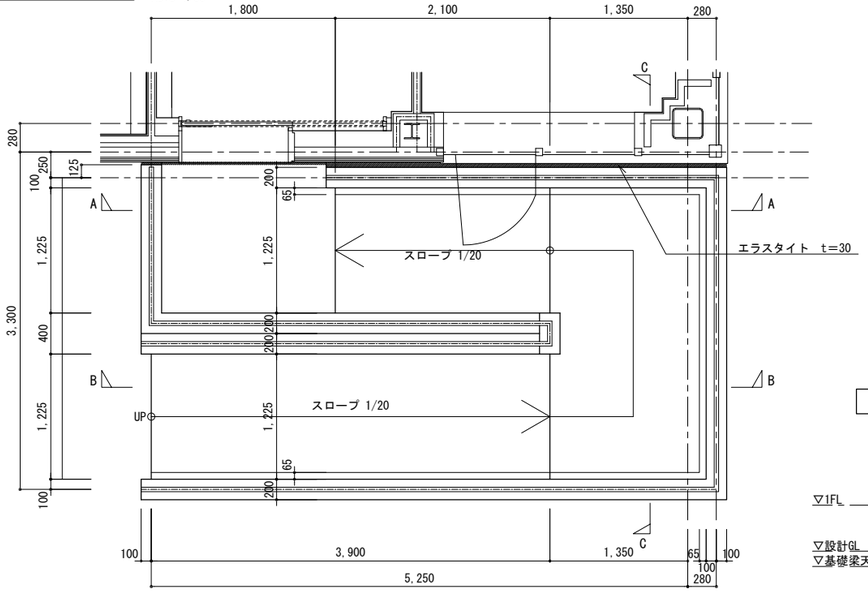


エ-エ断面

特記				物件名	第R6-8号 新産業廃棄物最終処分場建設工事	
				図面名	管理棟 外部鉄骨階段詳細図	縮尺 A1: 1/30 A3: 1/60 / 図番 S-114

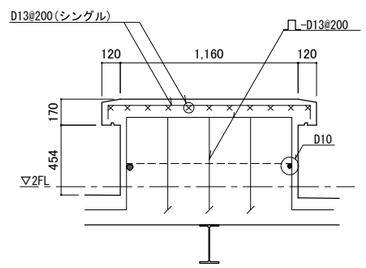
スロープ詳細図

A1:S=1/30
A3:S=1/60



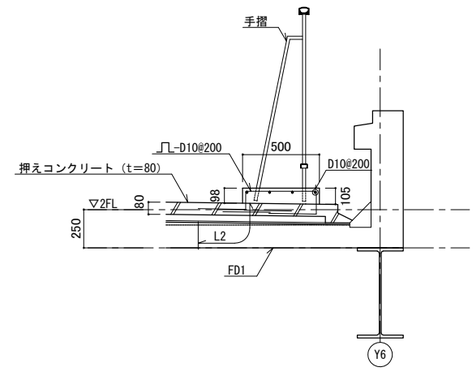
室外機基礎配筋詳細図

A1:S=1/20
A3:S=1/40



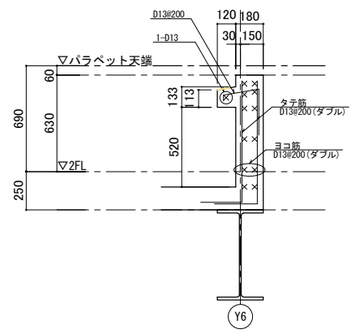
手摺基礎配筋詳細図

A1:S=1/20
A3:S=1/40



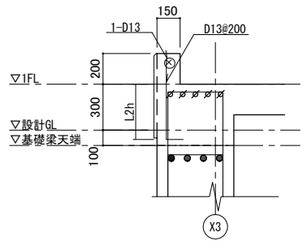
パラペット配筋詳細図

A1:S=1/20
A3:S=1/40



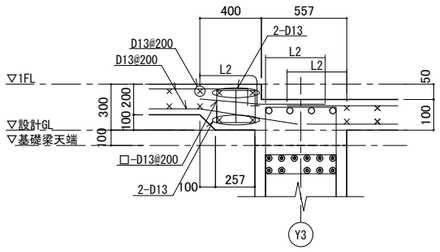
腰壁(W15)配筋詳細図

A1:S=1/20
A3:S=1/40



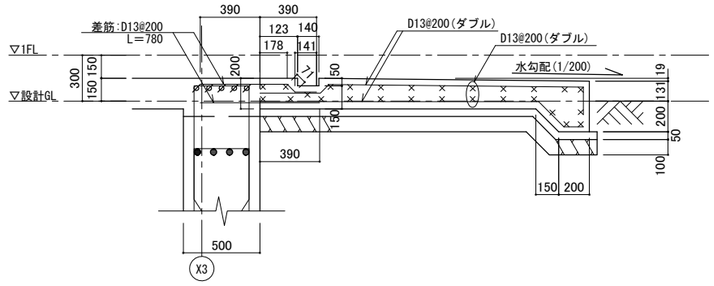
床段差配筋配筋図

A1:S=1/20
A3:S=1/40

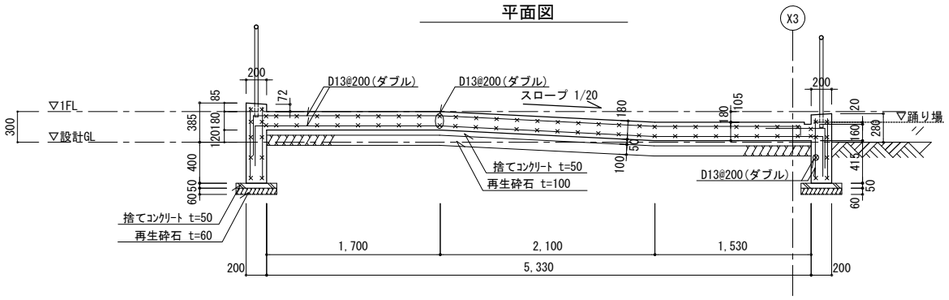


ポーチ土間配筋詳細図

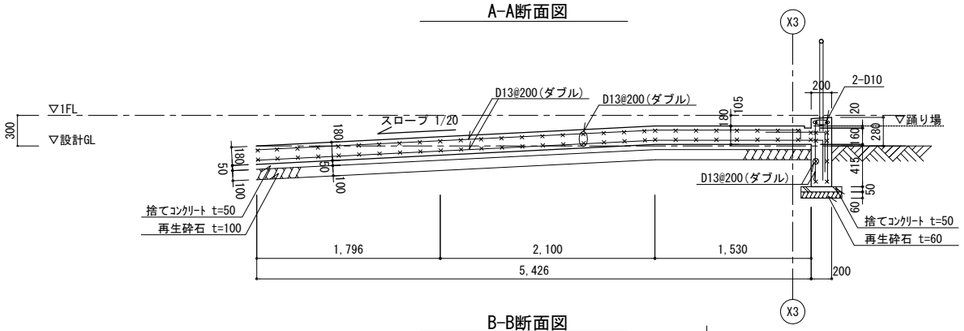
A1:S=1/20
A3:S=1/40



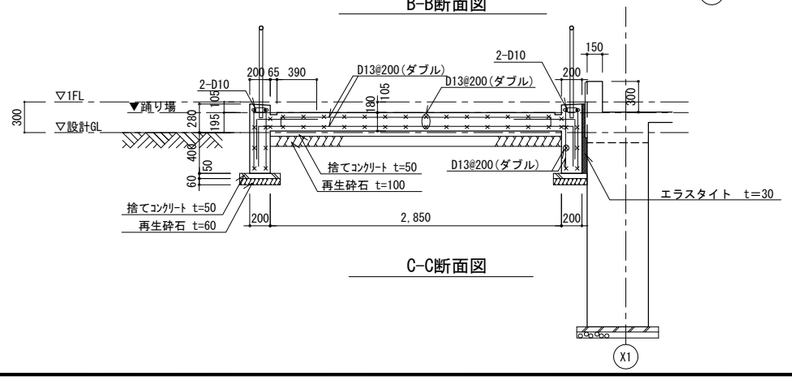
平面図



A-A断面図



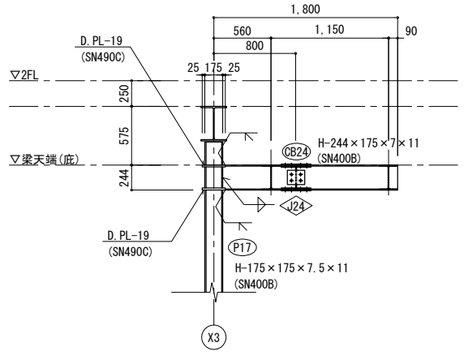
B-B断面図



C-C断面図

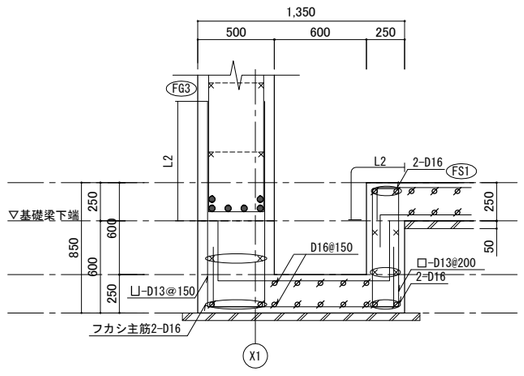
エントランス庇鉄骨詳細図

A1:S=1/30
A3:S=1/60



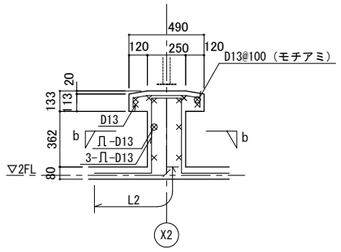
釜場配筋詳細図

A1:S=1/20
A3:S=1/40

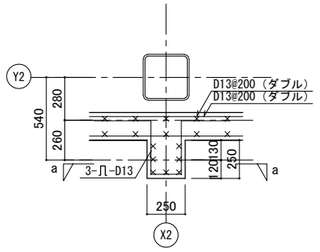


支柱基礎配筋詳細図

A1:S=1/20
A3:S=1/40



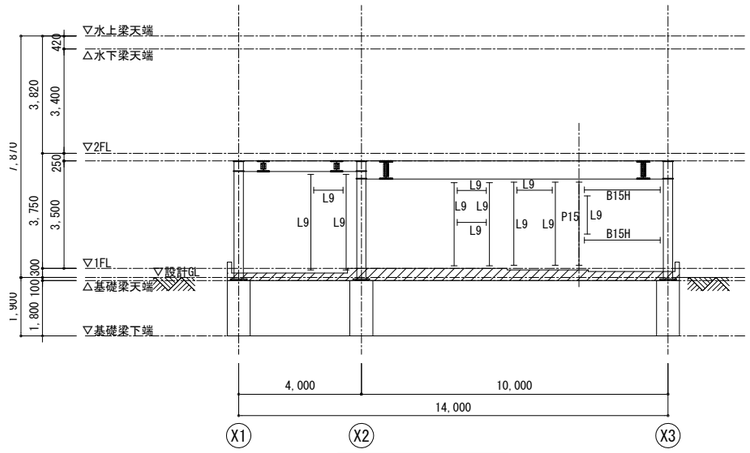
a-a断面図



b-b断面図

特記

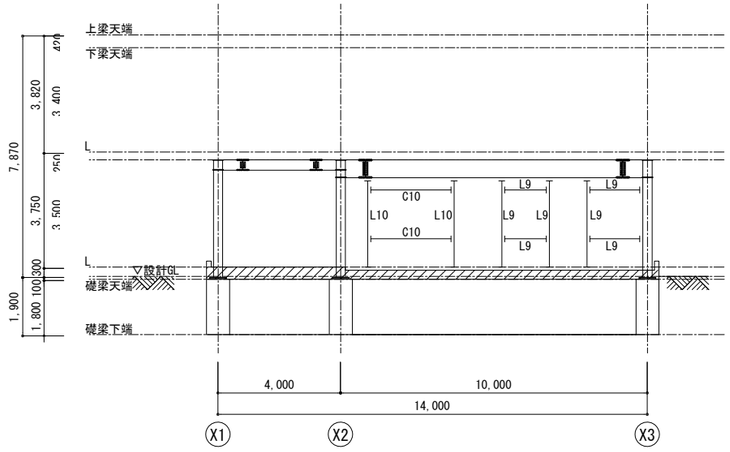
			物件名	第R6-8号 新産業廃棄物最終処分場建設工事	
			図面名	管理棟 雑詳細図	縮尺 A1: 1/20, 30 A3: 1/40, 60 / 図番 S-115



Y1通り間柱胴縁図

特記事項

1)　：タテ胴縁は C-100×50×20×2.3@600を使用する。



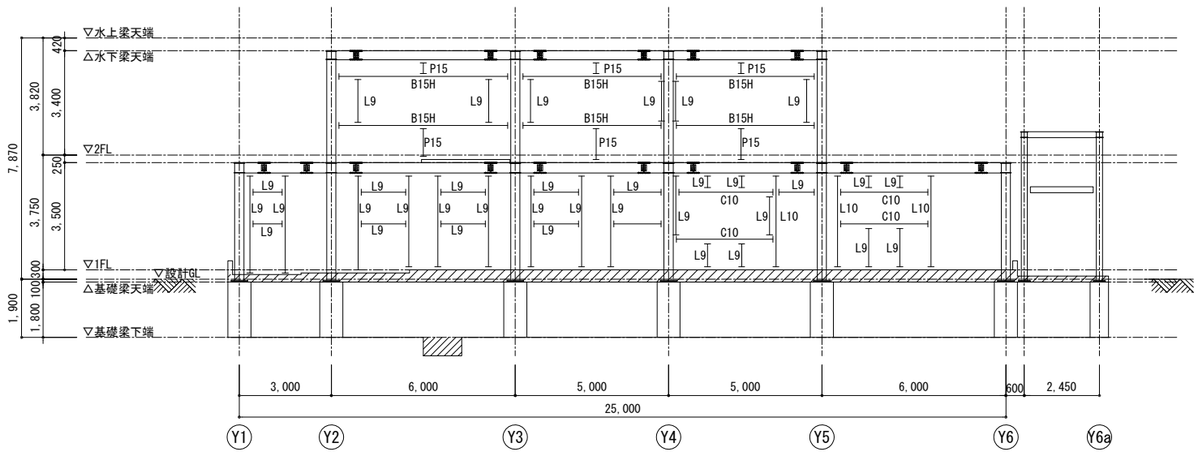
Y6通り間柱胴縁図

特記事項

1)　：タテ胴縁は C-100×50×20×2.3@600を使用する。

間柱・胴縁断面リスト

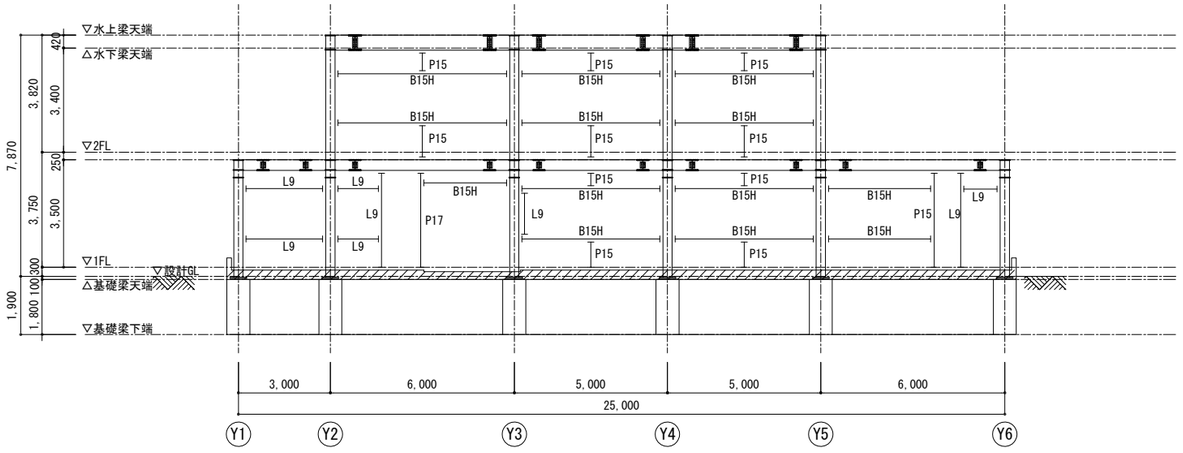
符号	B15H	P15	C10	L10	L9
断面名	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
断面	150 150	150 150	100 50	100 100	90 90
	H-150×150×7×10		C-100×50×20×3.2	L-100×100×10×10	L-90×90×10×10
材種	SS400		SSC400	SS400	SS400
接合部	G,PL-9,HTB 2-M16		G,PL-9,中ボルト2-M16	-	-
上下取付	-		-	-	G,PL-12 中ボルト2-M16
備考		S109 鉄骨部材断面表による			



X1通り間柱胴縁図

特記事項

1)　：タテ胴縁は C-100×50×20×2.3@600を使用する。



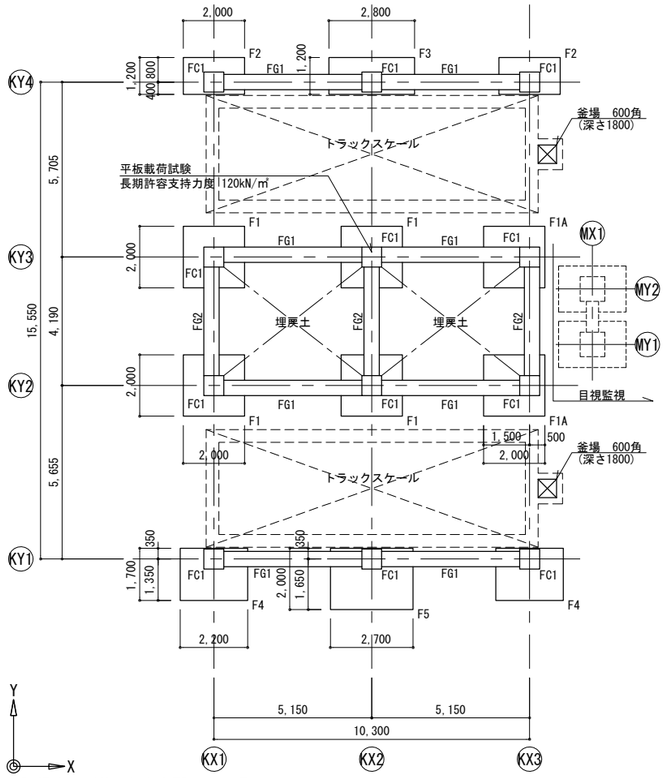
X3通り間柱胴縁図

特記事項

1)　：タテ胴縁は C-100×50×20×2.3@600を使用する。

特記

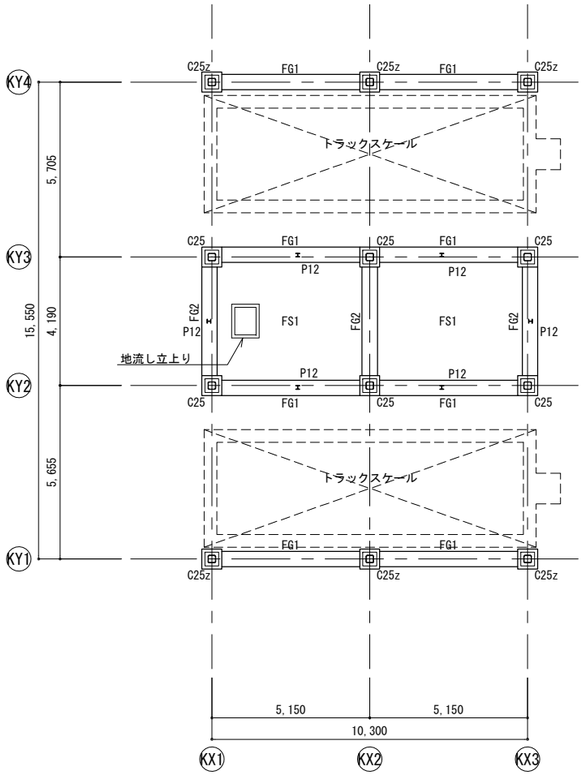
				物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事
				図面名	管理棟　間柱・胴縁図
				縮尺	A1: 1/100 A3: 1/200
				図番	S-116



基礎梁主筋はY方向を上配筋とする

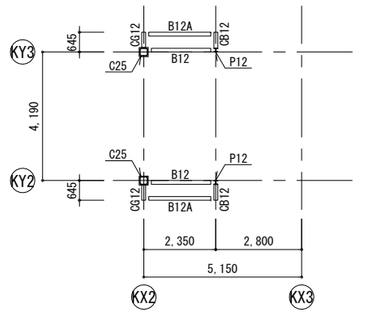
基礎伏図　S=1/200

特記事項
1) 特記なき基礎梁天端レベルは、1FL-600(設計GL-250)とする。
2) 特記なき基礎下端レベルは、1FL-2550(設計GL-2050)とする。

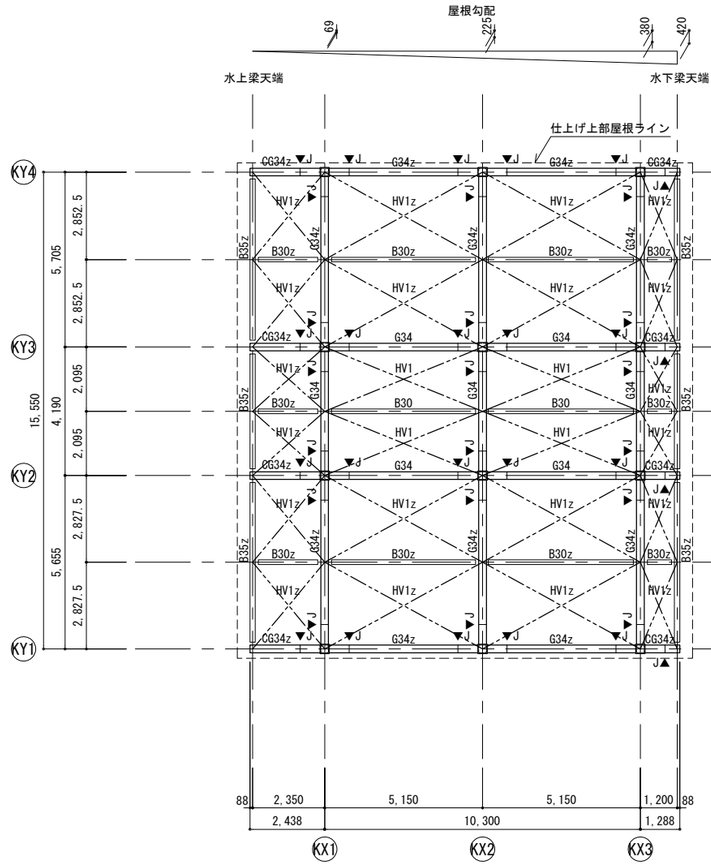


1階伏図　S=1/200

特記事項
1) 特記なきスラブ天端レベルは、1FL-100(GL+250)とする。
2) 特記なき基礎梁天端レベルは、1FL-600(GL-250)とする。



1FL+815・1FL+2740 伏図　S=1/200

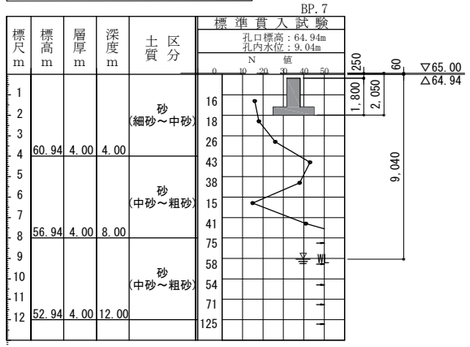


R階伏図　S=1/200

特記事項
1) 特記なき限り現場接手位置は柱心より800mmとする。
2) ▼J ：鉄骨梁現場継手を示す。
3) KX1-KX3、KY2-KY3範囲を除く鉄骨仕上げは溶融亜鉛メッキとする。

ボーリング柱状図

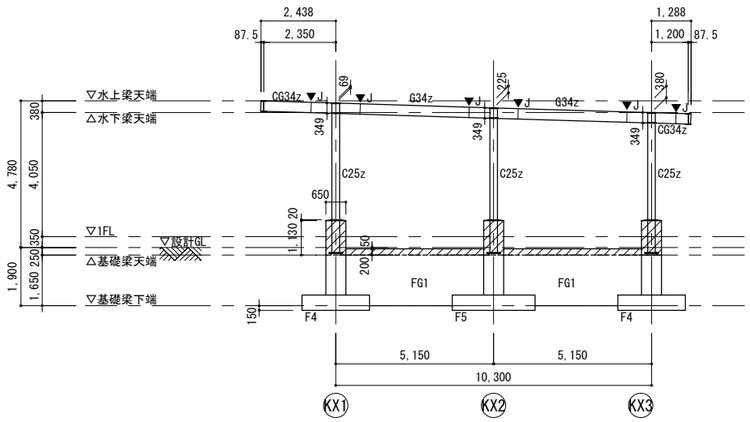
A1:S=1/150
A3:S=1/300



コンクリート設計基準強度
Fc24
鉄筋　D16以下　SD295
　　D19以上　SD345

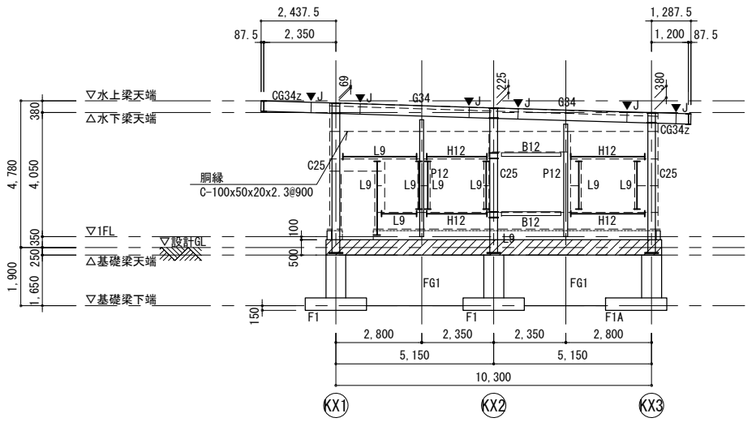
特記

				物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事	
				図面名	計量棟　伏図・柱状図	縮尺 A1: 1/100, 150 A3: 1/200, 300 / 図番 S-201



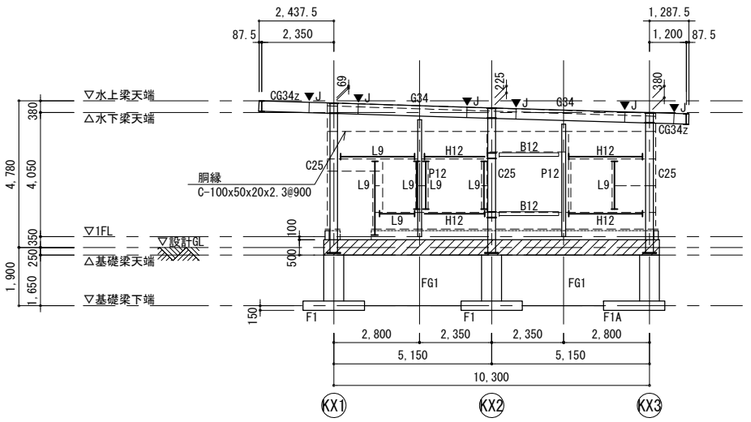
KY1通り　軸組図　S=1/200

特記事項
1)　特記なき限り現場接手位置は柱心より800㎜とする。
2)　▼J　：鉄骨梁現場継手を示す。
3)　▨　：フカシ及び根巻コンクリートを示す。



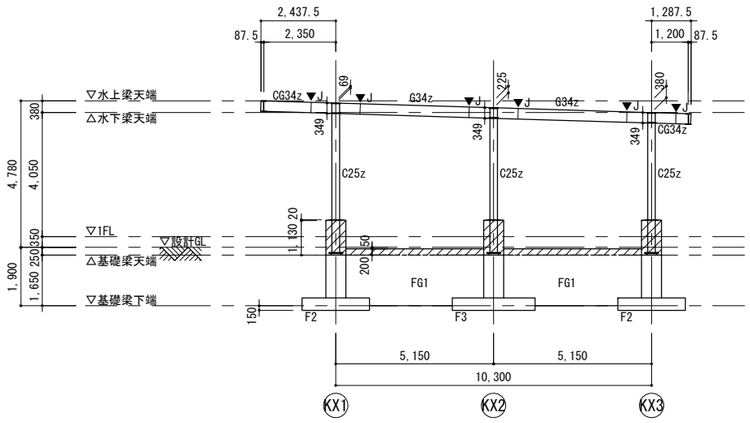
KY2通り　軸組図　S=1/200

特記事項
1)　特記なき限り現場接手位置は柱心より800㎜とする。
2)　▼J　：鉄骨梁現場継手を示す。
3)　▨　：フカシコンクリートを示す。



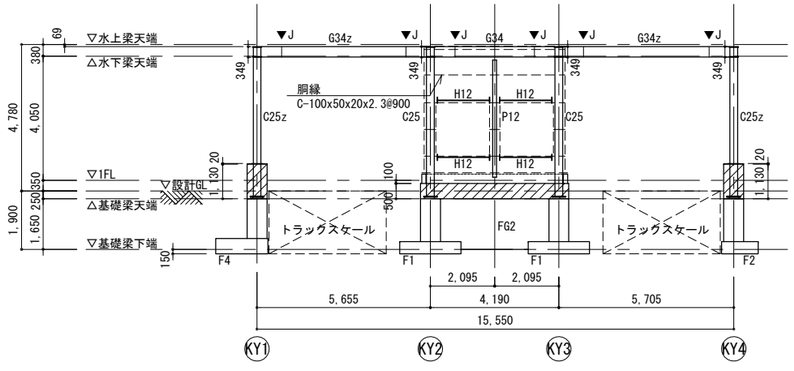
KY3通り　軸組図　S=1/200

特記事項
1)　特記なき限り現場接手位置は柱心より800㎜とする。
2)　▼J　：鉄骨梁現場継手を示す。
3)　▨　：フカシコンクリートを示す。



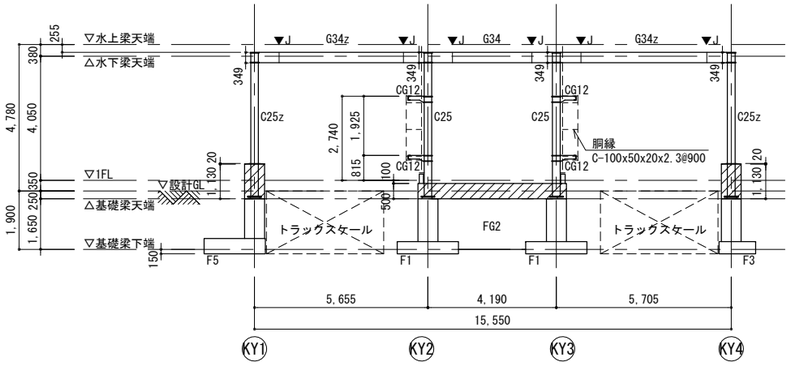
KY4通り　軸組図　S=1/200

特記事項
1)　特記なき限り現場接手位置は柱心より800㎜とする。
2)　▼J　：鉄骨梁現場継手を示す。
3)　▨　：フカシ及び根巻コンクリートを示す。



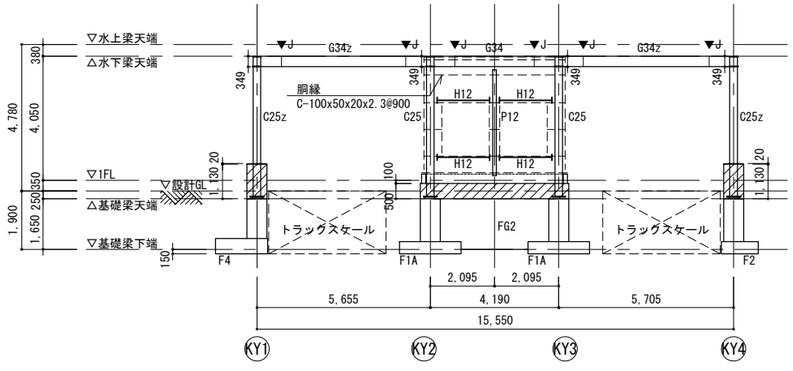
KX1通り　軸組図　S=1/200

特記事項
1)　特記なき限り現場接手位置は柱心より800㎜とする。
2)　▼J　：鉄骨梁現場継手を示す。
3)　▨　：フカシ及び根巻コンクリートを示す。



KX2通り　軸組図　S=1/200

特記事項
1)　特記なき限り現場接手位置は柱心より800㎜とする。
2)　▼J　：鉄骨梁現場継手を示す。
3)　▨　：フカシ及び根巻コンクリートを示す。



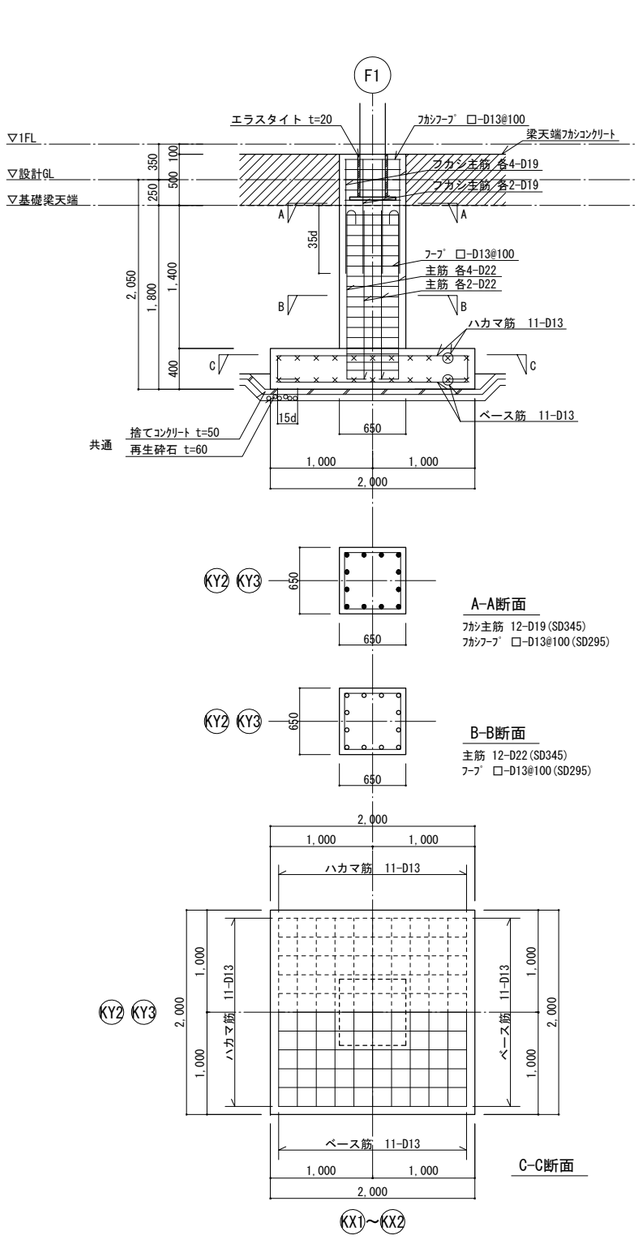
KX3通り　軸組図　S=1/200

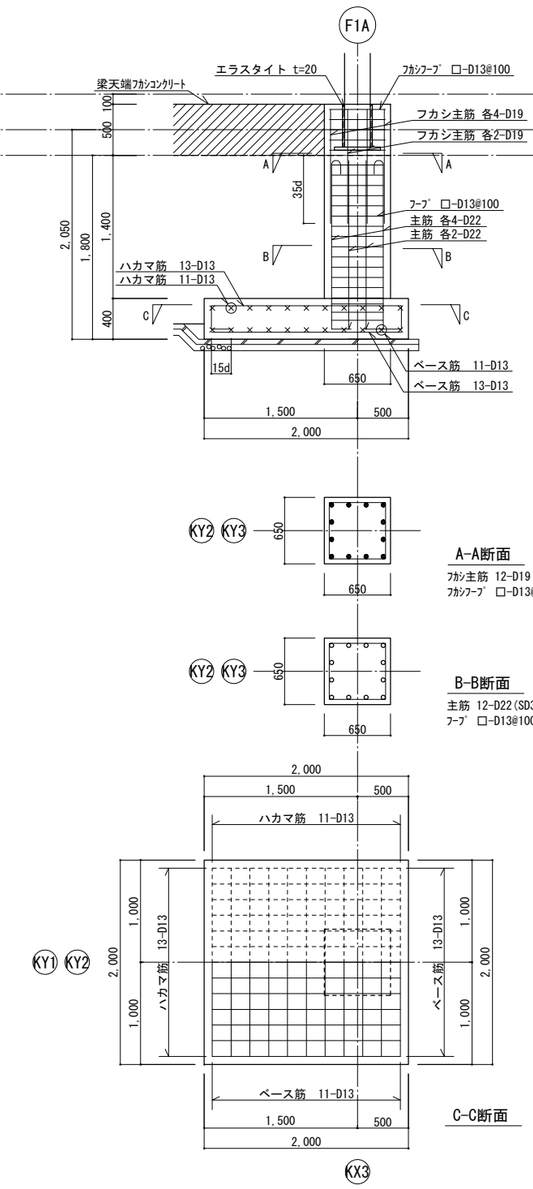
特記事項
1)　特記なき限り現場接手位置は柱心より800㎜とする。
2)　▼J　：鉄骨梁現場継手を示す。
3)　▨　：フカシ及び根巻コンクリート及び根巻を示す。

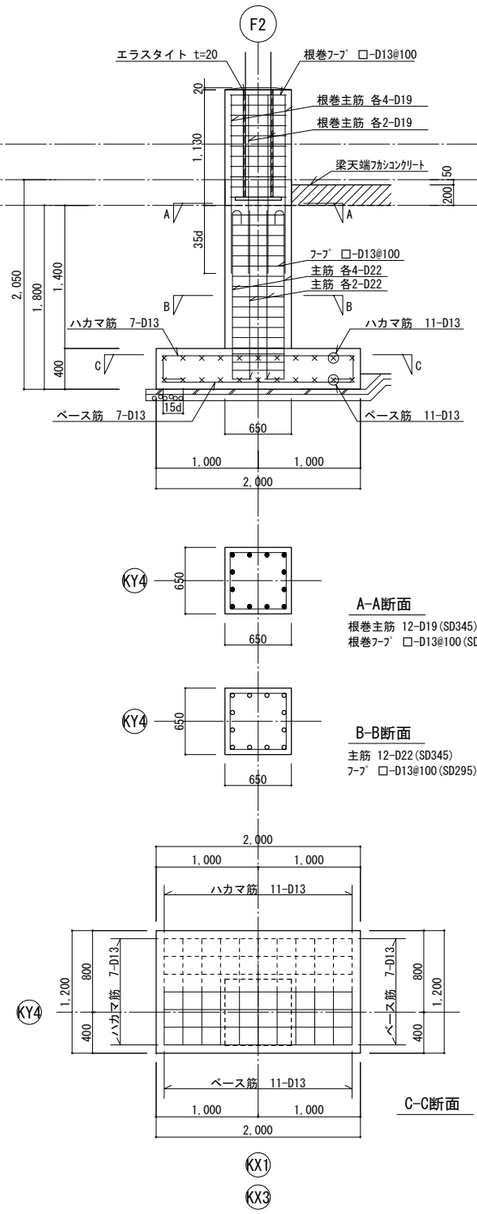
特記

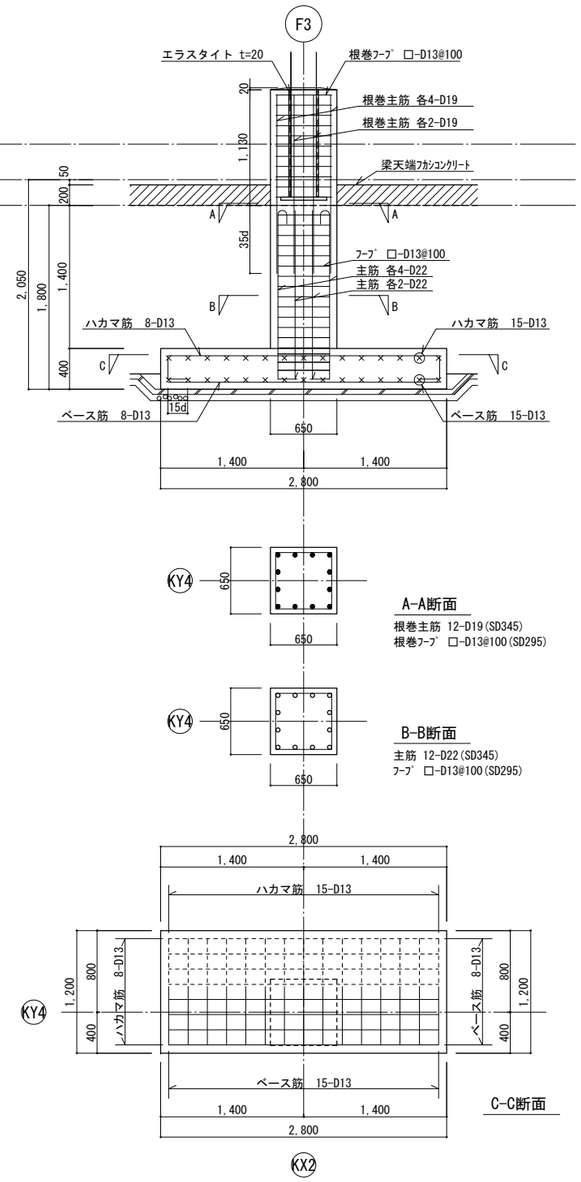
			物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事
			図面名	計量棟・軸組図
			縮尺	A1: 1/100 A3: 1/200
			図番	S-202

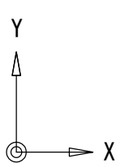
基礎断面表





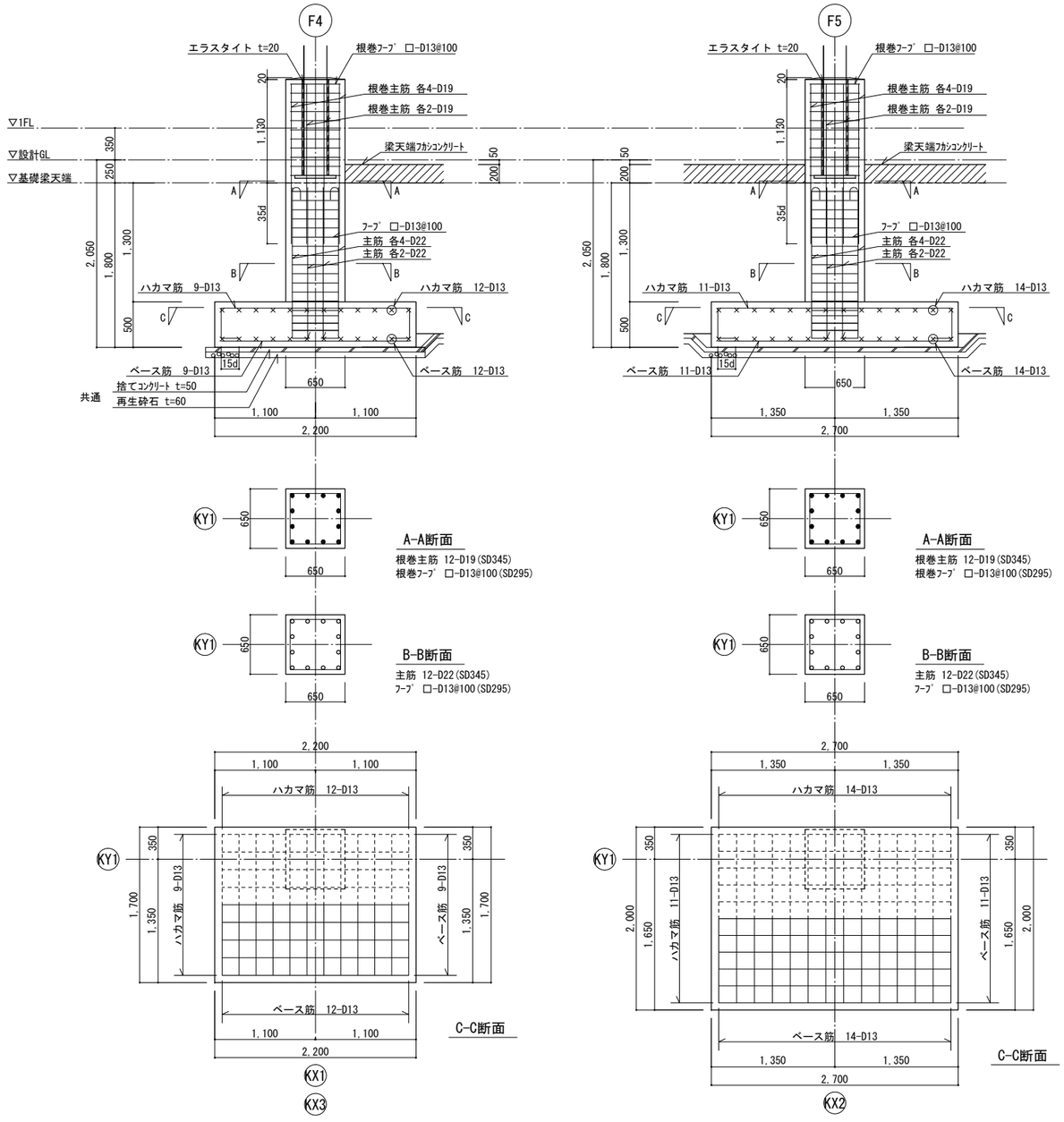






特記				物件名	第R6-8号 新産業廃棄物最終処分場建設工事	
				図面名	計量棟 基礎断面表(1)	縮尺 A1: 1/30 A3: 1/60 / 図番 S-203

基礎断面表

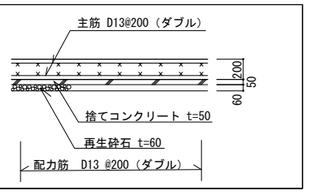


基礎大梁断面表

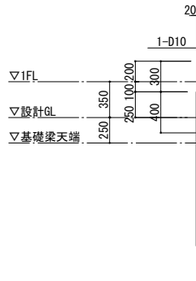
特記事項
1）幅止筋はD10-@1,000とする。

符号	FG1	FG2
断面名	全断面	全断面
断面	フカシSTP 冂-D13@200 フカシ主筋 4-D19 ※フカシ高さ500は腹筋 2-D10 ※500 200 30d 1,650 500	フカシSTP 冂-D13@200 フカシ主筋 4-D19 腹筋 2-D10 500 30d 1,650 500
共通	捨てｺﾝｸﾘｰﾄ t=50 再生砕石 t=60	
コンクリート	500x1650	500x1650
上端筋	4-D22	4-D22
下端筋	4/2-D22	4-D22
スターラップ	□-D13@200	□-D13@200
腹筋	6-D13	6-D13

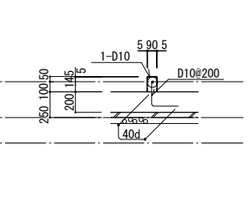
スラブ断面表

FS1	

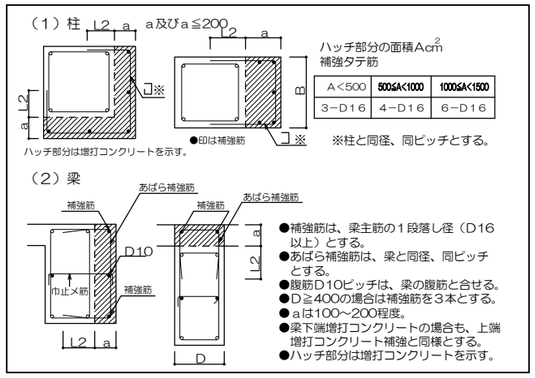
腰壁配筋要領

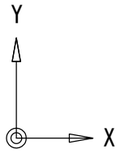


地流し立上り配筋要領



柱、梁増打コンクリート補強



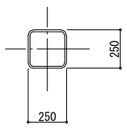
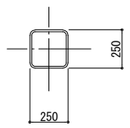
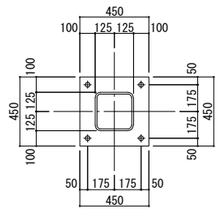
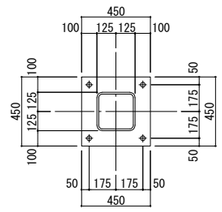
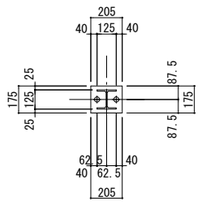
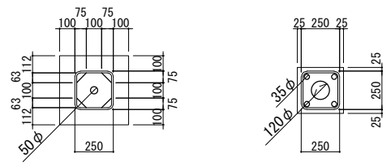


特記

				物件名	第R6-8号 新産業廃棄物最終処分場建設工事
				図書名	計量棟 基礎断面表(2)
				縮尺	A1: 1/30 A3: 1/60
				図番	S-204

鉄骨柱断面表

A3:1/40　特記事項
A1:1/20　1) ダイアフラムは SN490C とする。

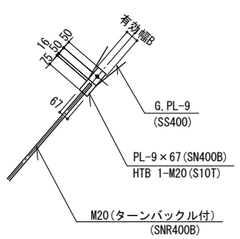
階	符号	C25	C25z	P12
1階				上下取付　G.PL-9, HTB.2-M16(S10T)
	断　面		 ※溶融亜鉛メッキ仕上げ	
	鉄　骨	□-250×250×12	□-250×250×12	H-125×125×6.5×9
	材　種	BCR295	BCR295	SS400
柱脚			 ※溶融亜鉛メッキ仕上げ	
		B.PL-32×450×450 (SN490B) A.BOLT 4-M27(ABR400)埋込深さL=540 Wナット締め 定着金物 16×90×90	B.PL-36×450×450 (SN490B) A.BOLT 4-M27(ABR400)埋込深さL=540 Wナット締め 定着金物 16×90×90	B.PL-16×205×175 (SS400) A.BOLT 2-M16(SS400)L=320(埋込長) Wナット締め
備　考		柱ダイアフラム、ベースプレート溶融亜鉛メッキ用閉鎖断面の開口部 C25z ベースプレート　C25z ダイアフラム 		

水平ブレース断面表

A3:1/40
A1:1/20

HV1

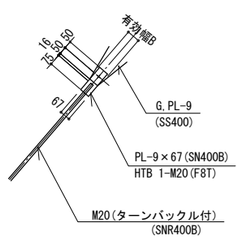
M20(SNR400B) G.PL-9(SS400) HTB 1-M20(S10T)



JISターンバックル筋交いJIS A 5540
GPL有効幅 B=85以上
GPL有効溶接長 130以上

HV1z

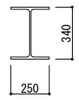
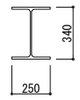
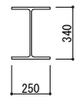
M20(SNR400B) G.PL-9(SS400) HTB 1-M20(F8T)



JISターンバックル筋交いJIS A 5540
GPL有効幅 B=85以上
GPL有効溶接長 130以上
溶融亜鉛メッキ仕様とする

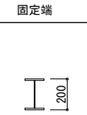
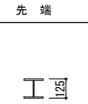
鉄骨大梁断面表

A3:1/40
A1:1/20

符　号	G34	G34z		CG34z	CG12	
位　置	全断面	全断面		全断面	固定端	先　端
断　面						
鉄　骨	H-340×250×9×14	H-340×250×9×14		H-340×250×9×14	BH-200×125×6×9	BH-125×125×6×9
材　質	SN400B	SN400B		SN400B	SN400B	
継　手	J34	J34z		J34z	-	
備　考		仕上げ：溶融亜鉛メッキとする		仕上げ：溶融亜鉛メッキとする		

鉄骨小梁断面表

A3:1/40
A1:1/20

符　号	B35z	B30	B30z	B12	B12A	CB12	
位　置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	固定端	先　端
断　面							
鉄　骨	H-350×175×7×11	H-300×150×6.5×9	H-300×150×6.5×9	H-125×125×6.5×9	[-125×65×6×8	BH-200×125×6×9	BH-125×125×6×9
材　質	SS400	SS400	SS400	SS400	SS400	SN400B	
接合部	BJ35z	BJ30	BJ30z	BJ12	BJ12A	-	
備　考	仕上げ：溶融亜鉛メッキとする		仕上げ：溶融亜鉛メッキとする				

耐風梁断面表

A3:1/40
A1:1/20

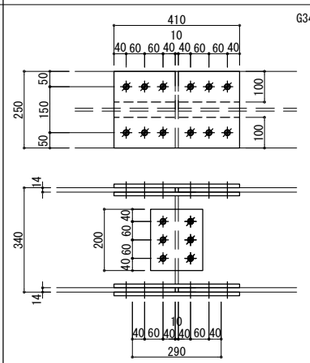
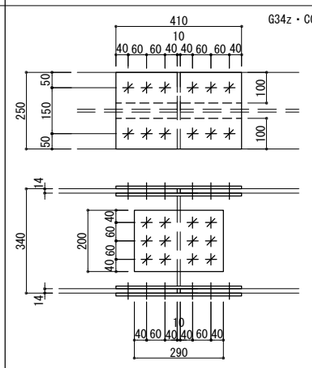
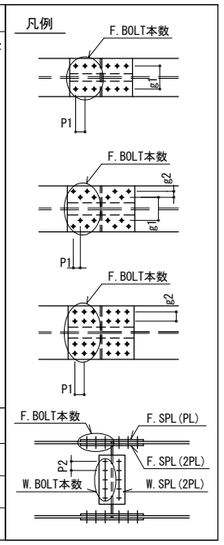
符　号	H12	L9	
位　置	全断面	全断面	
断　面			
鉄　骨	H-125×125×6.5×9	L-90×90×10	
材　質	SS400	SS400	
接合部	BJ12	G.PL-12 , HTB.2-M16	
備　考			

特記

			物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事	
			図面名	計量棟　鉄骨部材断面表	縮尺 A1: 1/20 A3: 1/40 / 図番 S-205

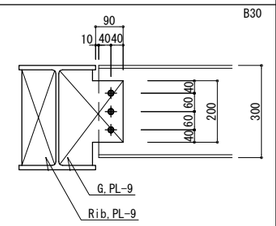
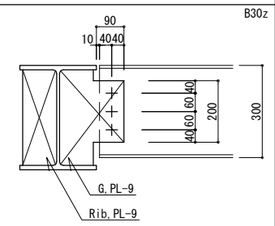
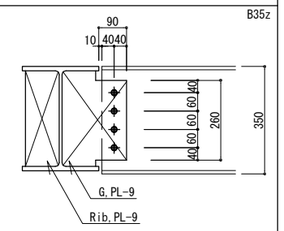
鉄骨継手断面表

A3:1/20　特記事項
A1:1/10　1)特記なきプレートの材種は SN400B とする。

符号	J34				J34z				凡例
断面	G34 				G34z・CG34z 				
仕様	F. SPL	PL-12×250×410 2PL-12×100×410	HTB	6-M22(S10T) g1=150 g2=- P1=60	F. SPL	PL- 9×250×410 2PL- 9×100×410	メッキ HTB	6-M22(F8T) g1=150 g2=- P1=60	
	W. SPL	2PL- 9×200×170	HTB	3-M22(S10T) P2=60	W. SPL	2PL- 9×200×290	メッキ HTB	6-M22(F8T) P2=60	
備考					仕上げ：溶融亜鉛メッキとする				

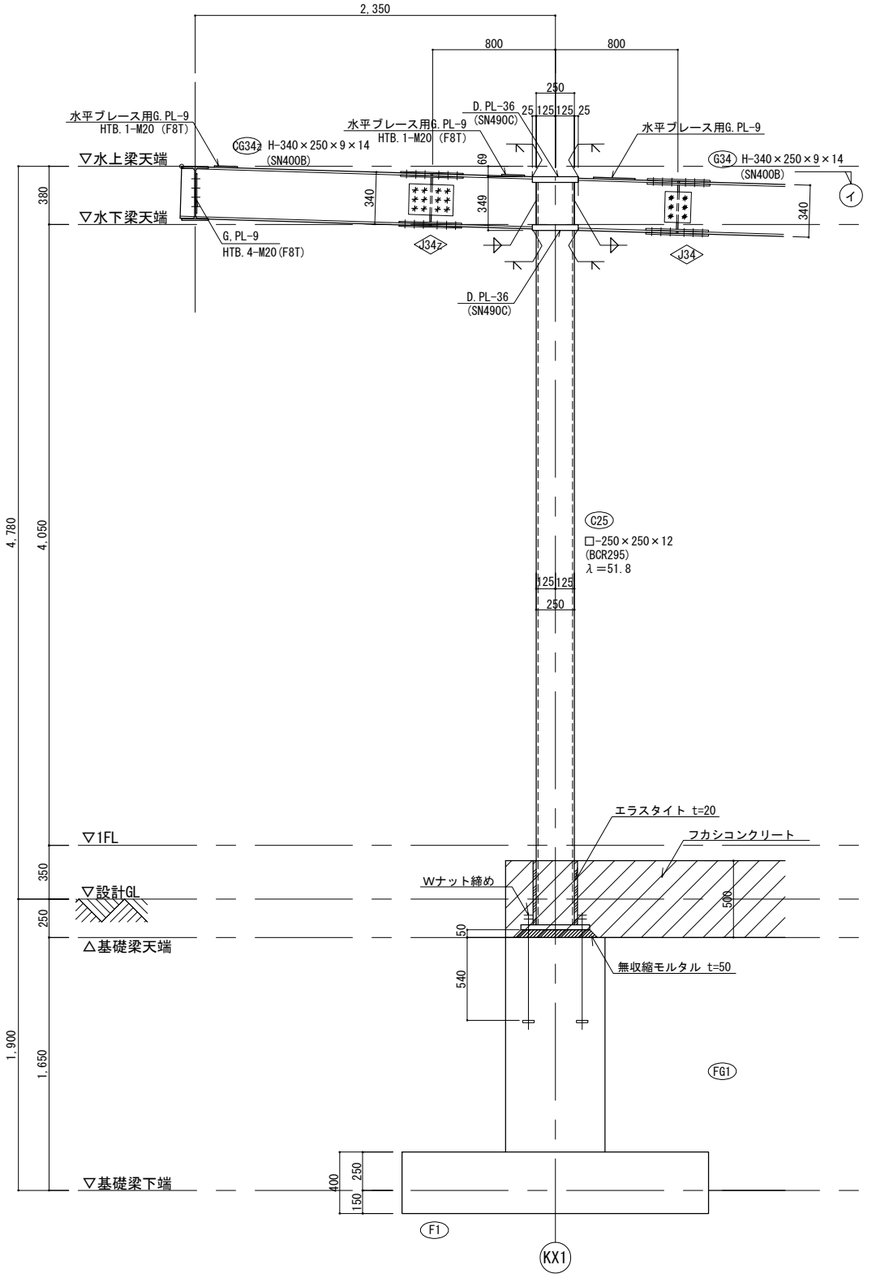
鉄骨接合部断面表

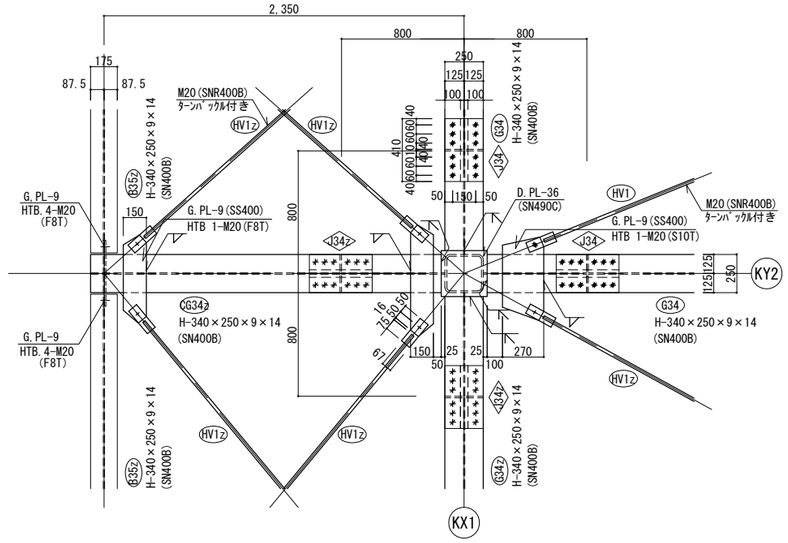
A3:1/20　特記事項
A1:1/10　1)特記なきプレートの材種は SS400とする。

符号	BJ30			BJ30z			BJ35z		
断面	B30 			B30z 			B35z 		
接合部	G. PL-9	HTB	3-M20 (S10T)	G. PL-9	メッキ HTB	3-M20 (F8T)	G. PL-9	メッキ HTB	4-M20 (F8T)
備考				仕上げ：溶融亜鉛メッキとする			仕上げ：溶融亜鉛メッキとする		

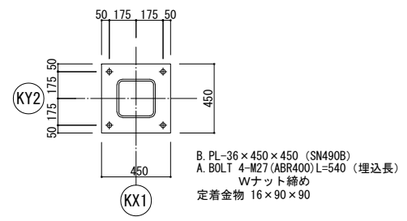
符号	BJ12			BJ12A					
断面	B12			B12A					
接合部	G. PL-9	HTB	2-M20 (S10T)	G. PL-6	HTB	2-M20 (S10T)			
備考									

特記				物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事	
				図面名	計量棟　鉄骨継手断面表	縮尺 A1: 1/10 A3: 1/20 / 図番 S-206

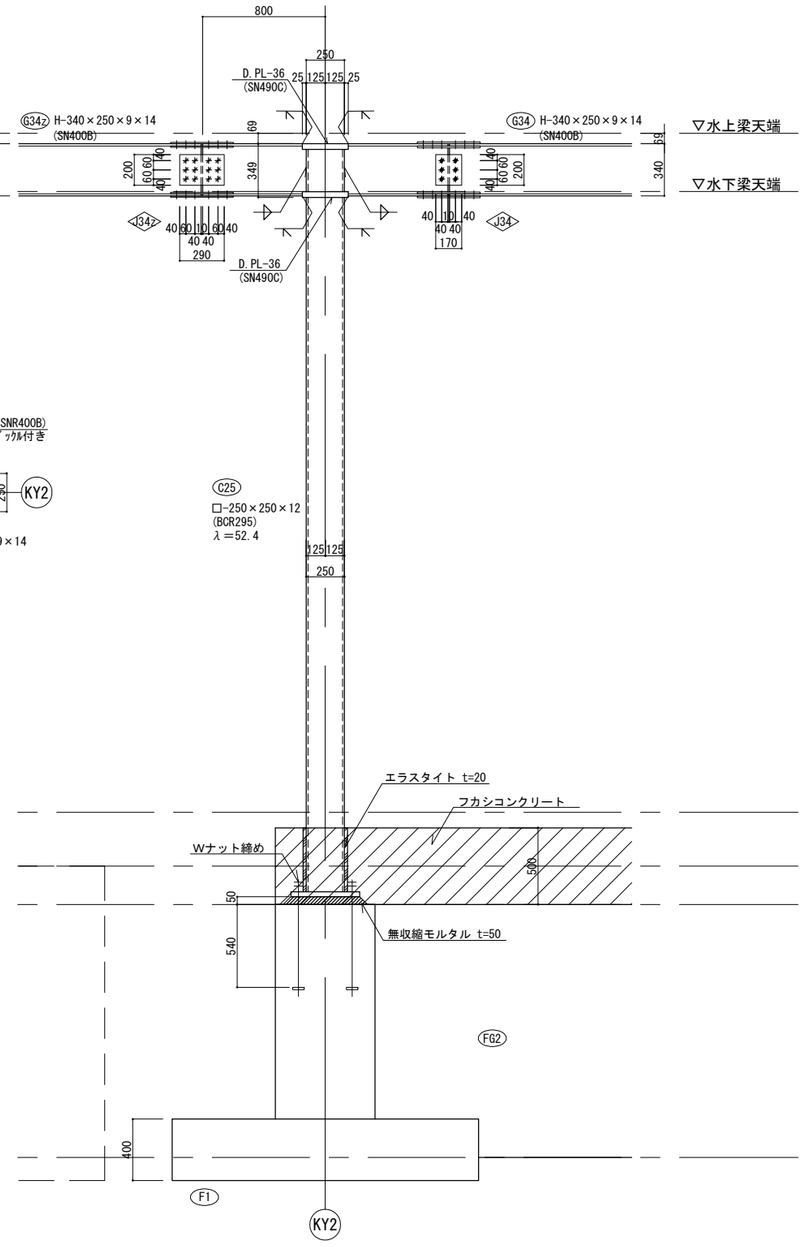




イ断面図



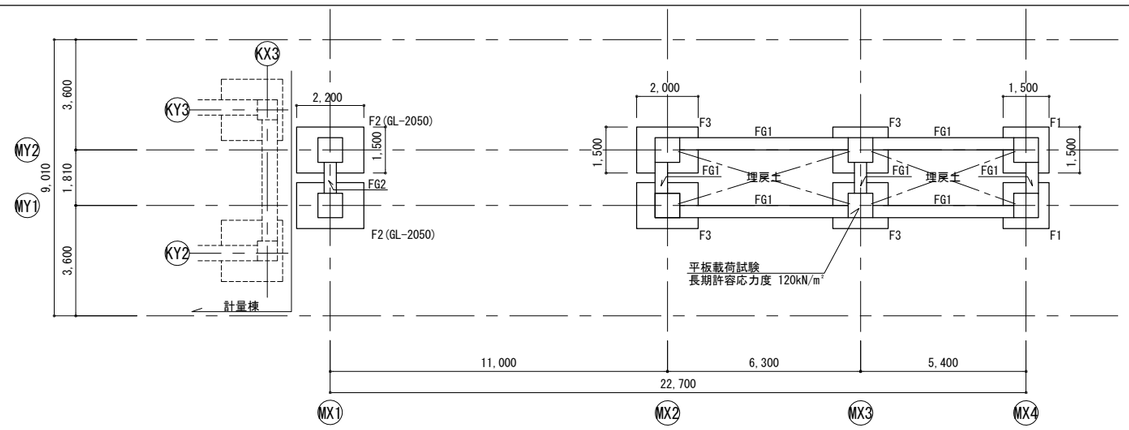
B.PL詳細図



KX1通り

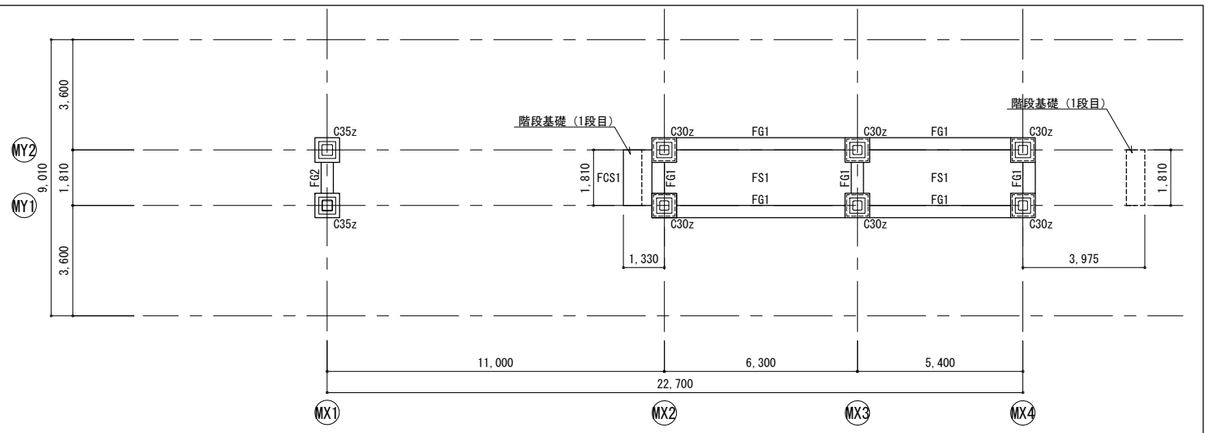
特記

物件名	第R6-8号 新産業廃棄物最終処分場建設工事				
図面名	計量棟 鉄骨詳細図	縮尺	A1: 1/20 A3: 1/40	図番	S-207

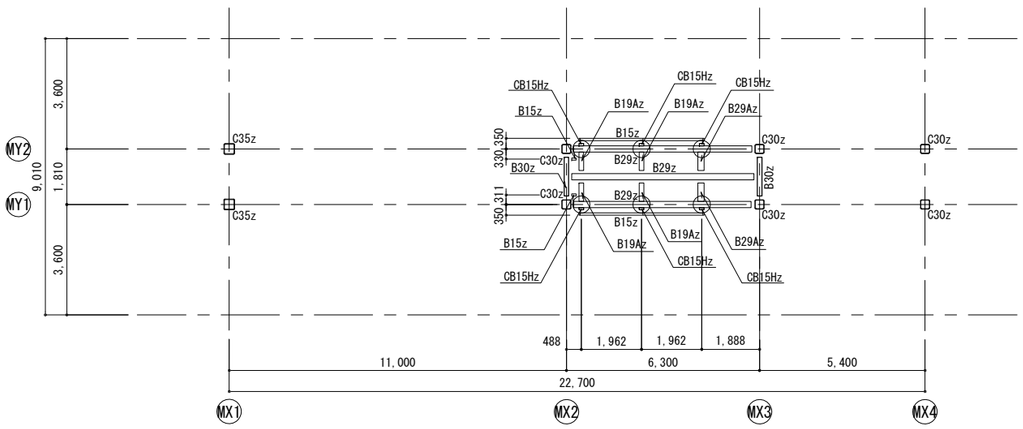


基礎伏図　A1:S=1/100　A3:S=1/200

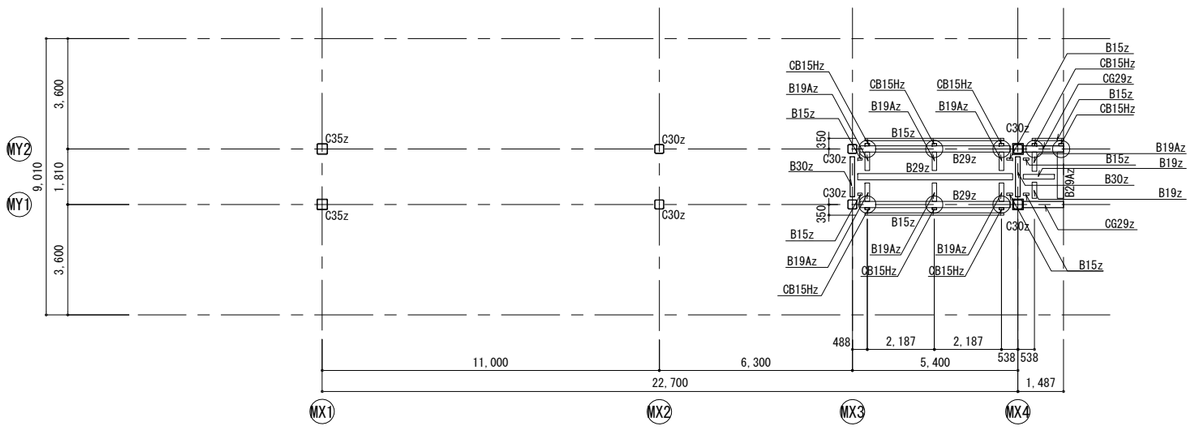
特記事項
1)　特記なき基礎下端レベルは、GL-1,550とする。



1階伏図　A1:S=1/100　A3:S=1/200

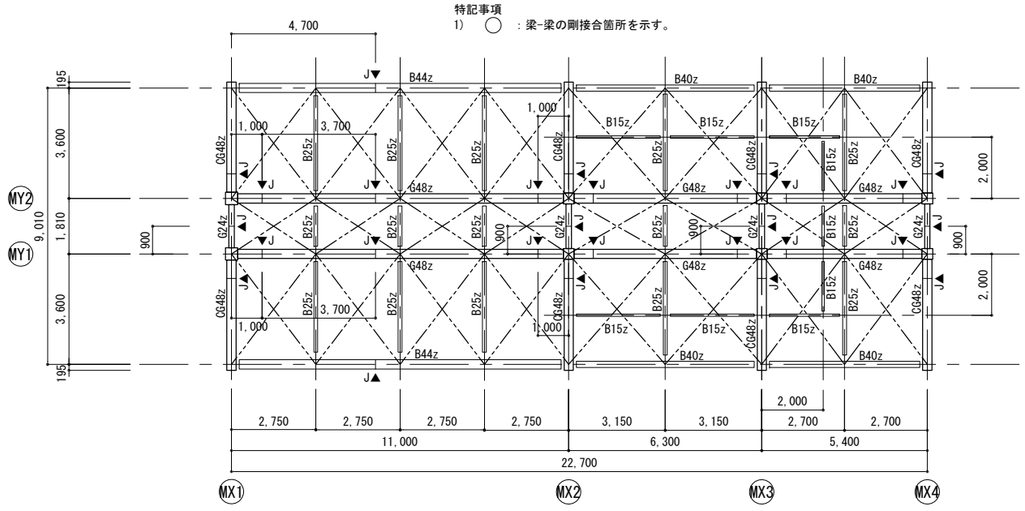


GL+1000伏図　A1:S=1/100　A3:S=1/200



GL+2000伏図　A1:S=1/100　A3:S=1/200

特記事項
1)　◯　：梁-梁の剛接合箇所を示す。



R階伏図　A1:S=1/100　A3:S=1/200

特記事項
1)　特記なき限り現場接手位置は柱心より800mmとする。
2)　▼J　：鉄骨梁現場継手を示す。
3)　特記なき水平ブレース　／　／　はHV1z(M20)とする。
4)　鉄骨溶融亜鉛メッキ仕上げとする。
5)　B15はB25の下端合わせとする。

ボーリング柱状図　A1:S=1/150　A3:S=1/300

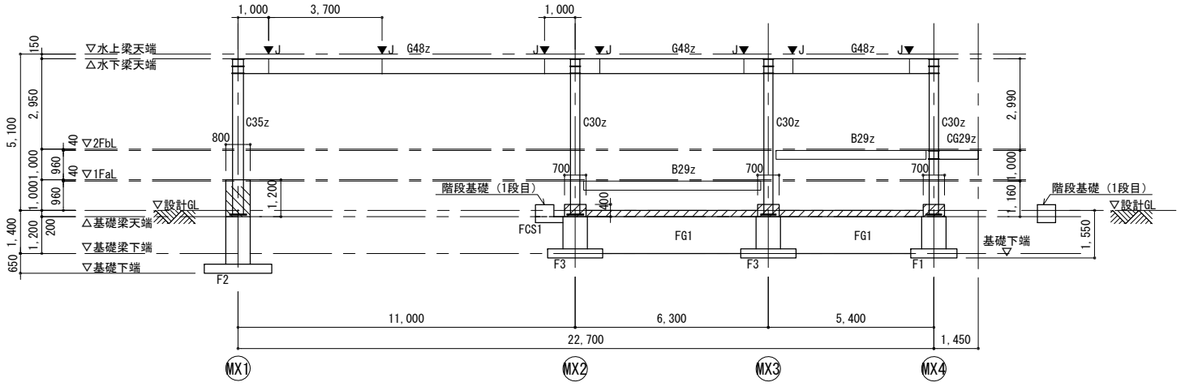
BP.7

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	土質区分	標準貫入試験 N値
1					16
2					18
3					26
4	60.94	4.00	4.00	砂（細砂～中砂）	43
5					38
6					15
7					41
8	56.94	4.00	8.00	砂（中砂～粗砂）	75
9					58
10					54
11					71
12	52.94	4.00	12.00	砂（中砂～粗砂）	125

孔口標高：64.94m
孔内水位：9.04m
▽65.00
△64.94
1,350
1,550
200
60
9,040

コンクリート設計基準強度
Fc24
鉄筋　D16以下　SD295
　　D19以上　SD345

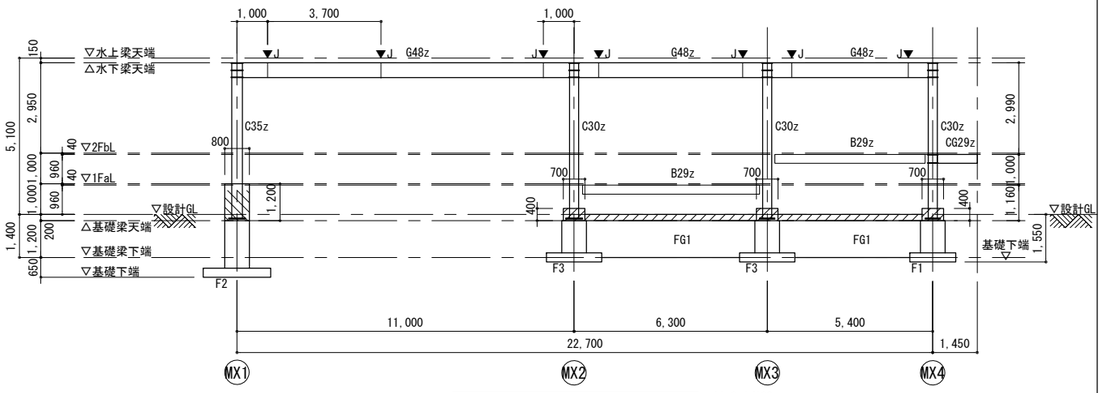
特記					物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事
					図面名	目視監視施設・伏図・柱状図
					縮尺	A1: 1/100-150　A3: 1/200-300
					図番	S-301



MY1通り　軸組図

A1:S=1/100
A3:S=1/200

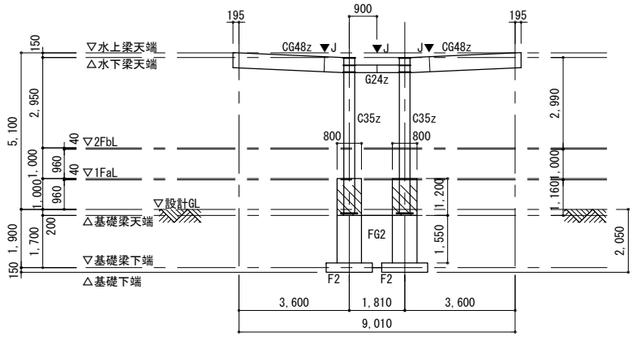
特記事項
1)　特記なき限り現場接手位置は柱心より800㎜とする。
2)　▼J ：鉄骨梁現場継手を示す。
3)　▨ ：フカシを示す。
4)　▨ ：根巻き柱脚を示す。



MY2通り　軸組図

A1:S=1/100
A3:S=1/200

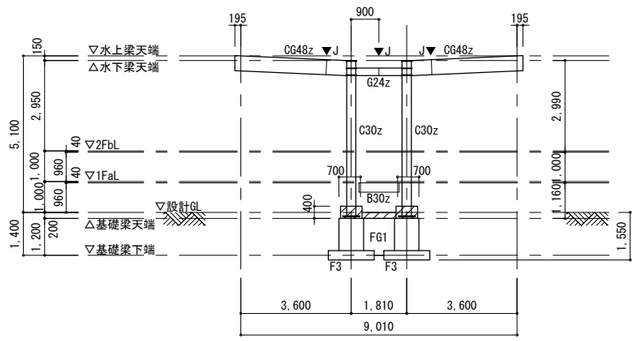
特記事項
1)　特記なき限り現場接手位置は柱心より800㎜とする。
2)　▼J ：鉄骨梁現場継手を示す。
3)　▨ ：フカシを示す。
4)　▨ ：根巻き柱脚を示す。



MX1通り　軸組図

A1:S=1/100
A3:S=1/200

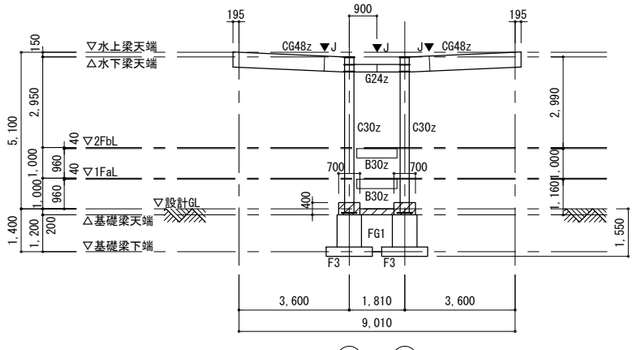
特記事項
1)　特記なき限り現場接手位置は柱心より800㎜とする。
2)　▼J ：鉄骨梁現場継手を示す。
3)　▨ ：根巻き柱脚を示す。



MX2通り　軸組図

A1:S=1/100
A3:S=1/200

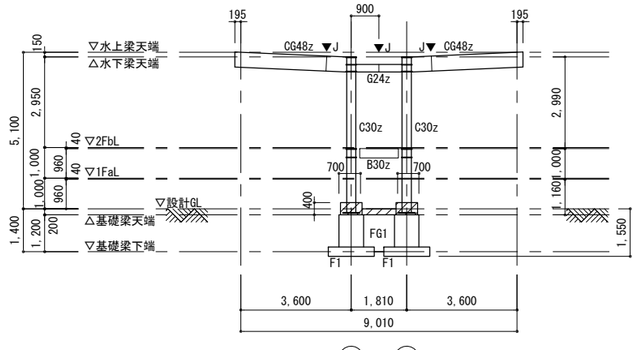
特記事項
1)　特記なき限り現場接手位置は柱心より800㎜とする。
2)　▼J ：鉄骨梁現場継手を示す。
3)　▨ ：フカシを示す。



MX3通り　軸組図

A1:S=1/100
A3:S=1/200

特記事項
1)　特記なき限り現場接手位置は柱心より800㎜とする。
2)　▼J ：鉄骨梁現場継手を示す。
3)　▨ ：フカシを示す。



MX4通り　軸組図

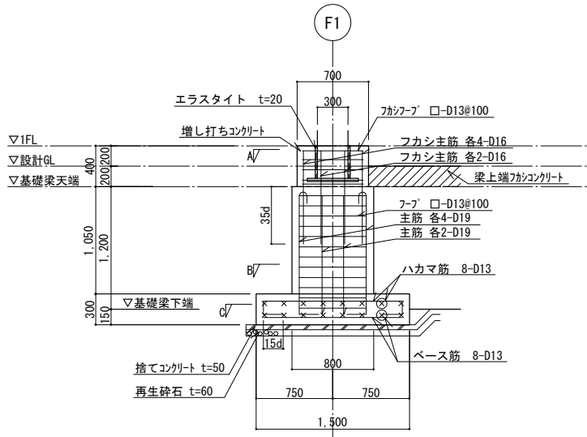
A1:S=1/100
A3:S=1/200

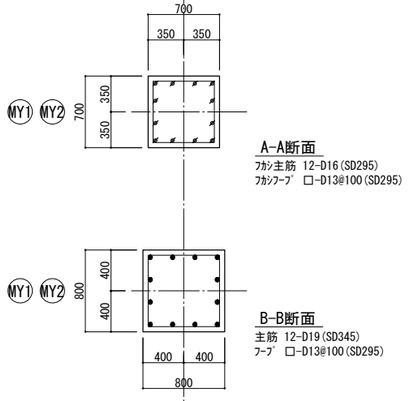
特記事項
1)　特記なき限り現場接手位置は柱心より800㎜とする。
2)　▼J ：鉄骨梁現場継手を示す。
3)　▨ ：フカシを示す。

特記				物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事	
				図面名	目視監視施設　軸組図	縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200 / 図番 S-302

基礎断面表

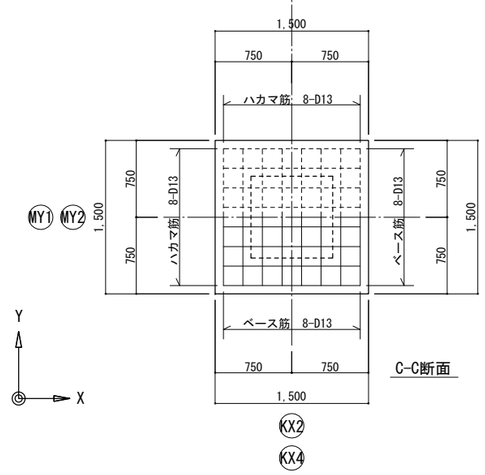
A1:S=1/30
A3:S=1/60





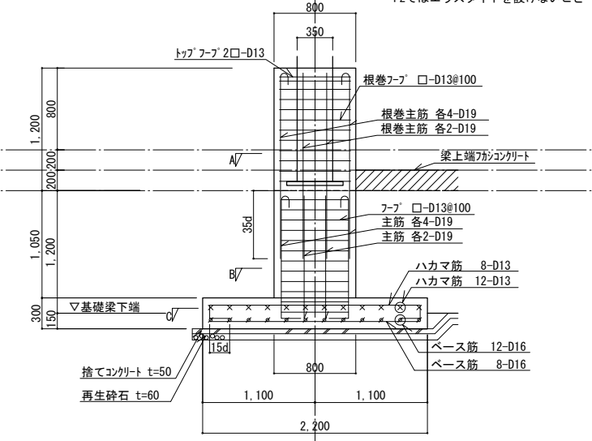
A-A断面
フカシ主筋 12-D16(SD295)
フカシフープ □-D13@100(SD295)

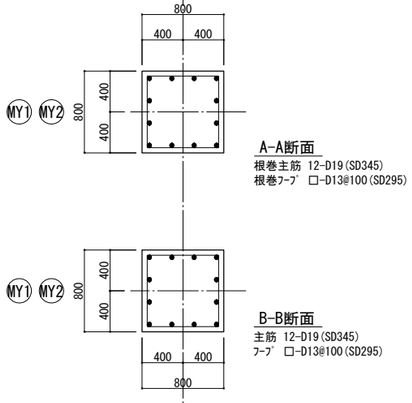
B-B断面
主筋 12-D19(SD345)
フープ □-D13@100(SD295)



F2

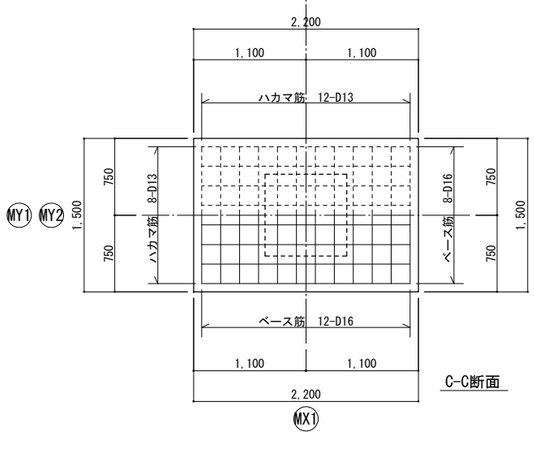
(注) 構造用の根巻柱脚のため
F2ではエラスタイトを設けないこと



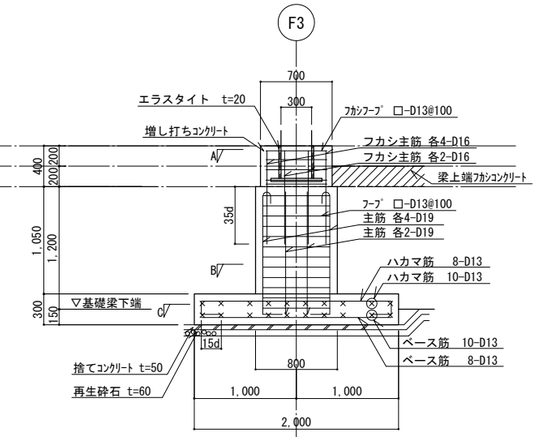


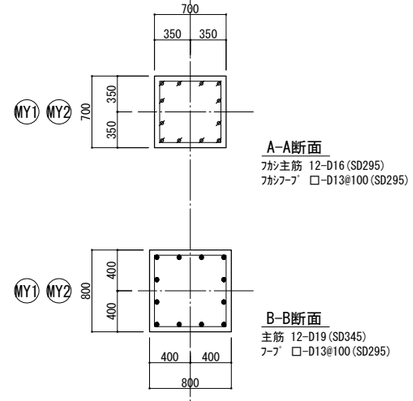
A-A断面
根巻主筋 12-D19(SD345)
根巻フープ □-D13@100(SD295)

B-B断面
主筋 12-D19(SD345)
フープ □-D13@100(SD295)



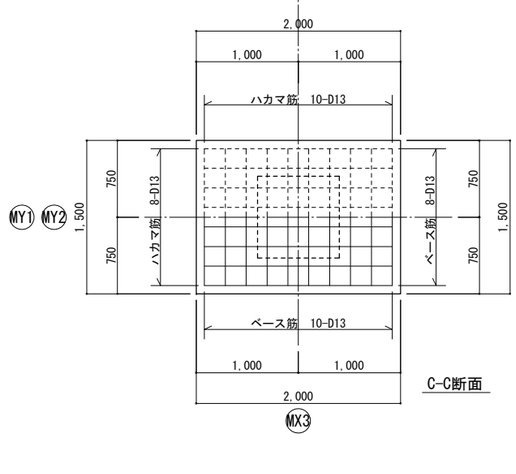
F3





A-A断面
フカシ主筋 12-D16(SD295)
フカシフープ □-D13@100(SD295)

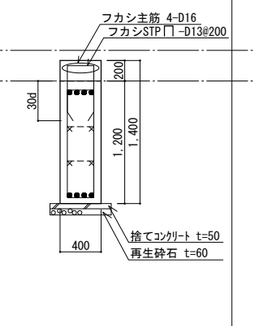
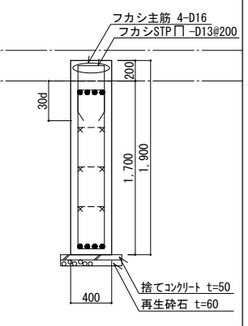
B-B断面
主筋 12-D19(SD345)
フープ □-D13@100(SD295)



基礎大梁断面表

A1:S=1/30
A3:S=1/60

特記事項
1) 幅止筋はD10-@1,000とする。

階	符号	FG1	FG2
	断面名	全断面	全断面
1FL	断面		
	コンクリート	400×1,200	400×1,700
	上端筋	4-D19	4-D19
	下端筋	4-D19	4-D19
	スターラップ	□-D13@200	□-D13@200
	腹筋	4-D13	6-D13

基礎大梁断面表

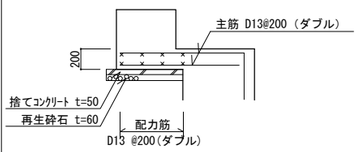
A1:S=1/30
A3:S=1/60

特記事項
1) 幅止筋はD10-@1,000とする。

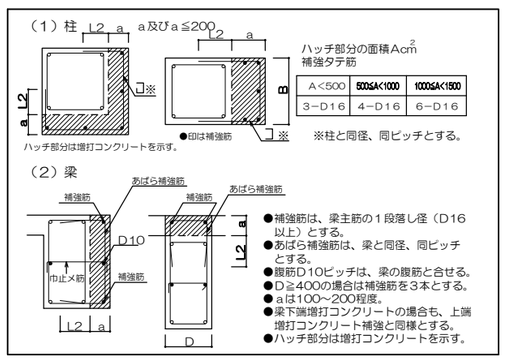
FS1



FCS1



柱、梁増打コンクリート補強



- ●補強筋は、梁主筋の1段落し径（D16以上）とする。
- ●あばら補強筋は、梁と同径、同ピッチとする。
- ●腹筋D10ピッチは、梁の腹筋と合せる。
- ●D≧400の場合は補強筋を3本とする。
- ●aは100~200程度。
- ●梁下端増打コンクリートの場合も、上端増打コンクリート補強と同様とする。
- ●ハッチ部分は増打コンクリートを示す。

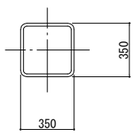
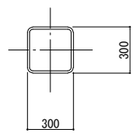
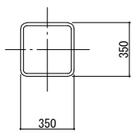
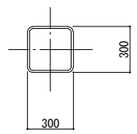
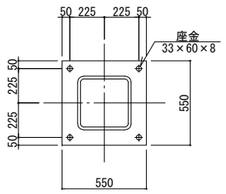
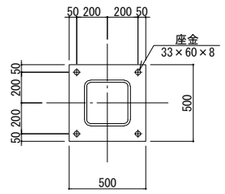
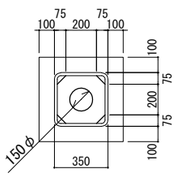
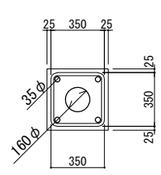
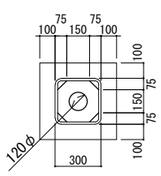
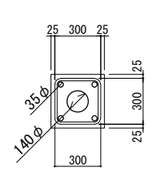
特記

物件名	第R6-8号 新産業廃棄物最終処分場建設工事		
図面名	目視監視施設 基礎断面表	縮尺	A1: 1/30 A3: 1/60
図番	S-303		

鉄骨柱断面表

A1:S=1/20
A3:S=1/40

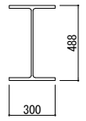
特記事項　1）ダイアフラムは SN490C とする。
　　2）仕上げは 溶融亜鉛メッキ とする。

階	符号	C35z	C30z
2階	断　面		
	鉄　骨	□-350×350×19	□-300×300×12
	材　種	BCR295	BCR295
1階	断　面		
	鉄　骨	□-350×350×19	□-300×300×12
	材　種	BCR295	BCR295
柱脚		 B.PL-45×550×550（TMCP325） A.BOLT 4-M30(ABR400)L=600(埋込長) 定着金物 16×100×100 ※座金PLをB.PLに溶接すること。	 B.PL-32×500×500（SN490B） A.BOLT 4-M30(ABR400)L=600(埋込長) 定着金物 16×100×100 ※座金PLをB.PLに溶接すること。
備考		柱ダイアフラム、ベースプレート 溶融亜鉛メッキ用閉鎖断面の開口部 C35z ベースプレート  C35z ダイアフラム  C30z ベースプレート  C30z ダイアフラム 	

鉄骨大梁断面表

A1:S=1/20
A3:S=1/40

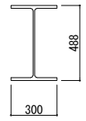
特記事項　1）仕上げは 溶融亜鉛メッキ とする。

符　号	G48z	G24z
位　置	全断面	全断面
断　面		
鉄　骨	H-488×300×11×18	H-244×175×7×11
材　質	SN400B	SN400B
継　手	J48	J24
備　考		

鉄骨片持ち梁断面表

A1:S=1/20
A3:S=1/40

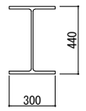
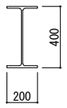
特記事項　1）仕上げは 溶融亜鉛メッキ とする。

符　号	CG48z	CG29z	CB15Hz
位　置	全断面	全断面	全断面
断　面			
鉄　骨	H-488×300×11×18	H-294×200×8×12	H-150×150×7×10
材　質	SN400B	SN400B	SS400
継　手	J48	J29	
備　考			

鉄骨小梁断面表

A1:S=1/20
A3:S=1/40

特記事項　1）仕上げは 溶融亜鉛メッキ とする。

符　号	B44z	B40z	B30z	B29z	B29Az	B25z	B19z
位　置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
断　面							
鉄　骨	H-440×300×11×18	H-400×200×8×13	H-300×150×6.5×9	H-294×200×8×12	H-294×200×8×12	H-250×125×6×9	H-194×150×6×9
材　質	SS400	SS400	SS400	SS400	SS400	SS400	SS400
接合部	BJ44,B44(継手)	BJ40	BJ30	BJ29	BJ29（CB15H側：剛接合）	BJ25	BJ19
備　考							

符　号	B19Az	B15z
位　置	全断面	全断面
断　面		
鉄　骨	H-194×150×6×9	H-150×75×5×7
材　質	SS400	SS400
接合部	BJ19（CB15H側：剛接合）	BJ15
備　考		

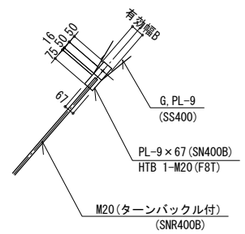
水平ブレース断面表

A1:S=1/20
A3:S=1/40

特記事項　1）仕上げは 溶融亜鉛メッキ とする。

HV1z

M20(SNR400B) G.PL-9(SS400) HTB 1-M20(F8T)



JISターンバックル筋交いJIS H 8641
GPL有効幅 B=85以上
GPL有効溶接長 130以上
溶融亜鉛メッキ仕様とする

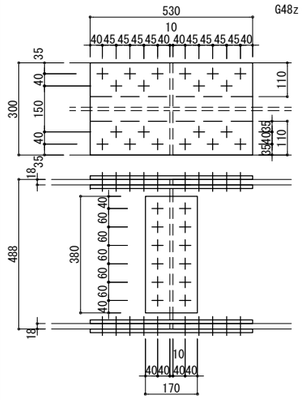
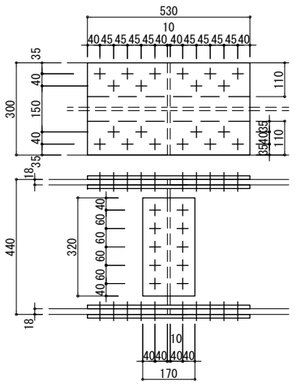
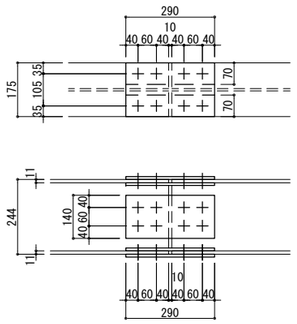
特記

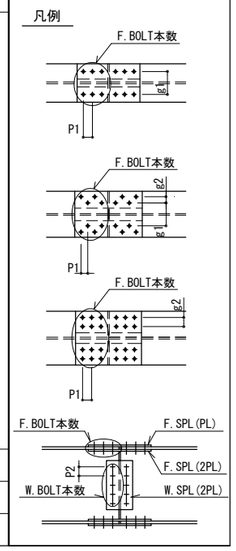
				物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事
				図面名	目視監視施設　鉄骨部材断面表
				縮尺	A1: 1/20 A3: 1/40
				図番	S-304

鉄骨継手断面表

A1:S=1/20
A3:S=1/40

特記事項 1)特記なきプレートの材種は SN400B とする。
2)仕上げは 溶融亜鉛メッキ とする。

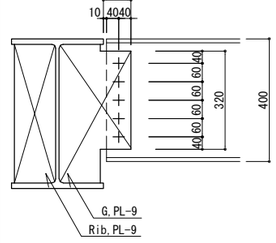
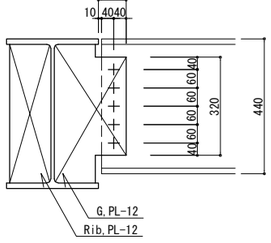
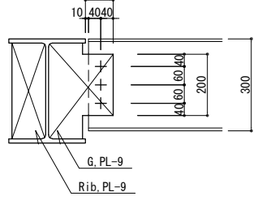
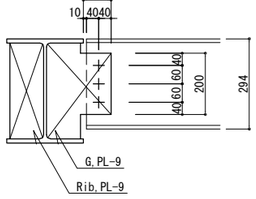
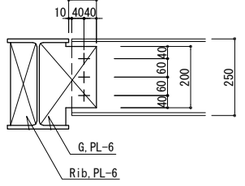
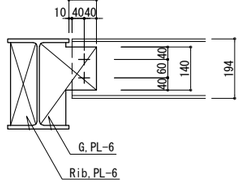
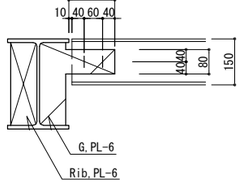
符号	J48z	J44z	J24z
断面	G48z・CG48z 	B44z 	B24z 
仕様 F.SPL	PL-12×300×530 2PL-12×110×530	メッキ HTB 10-M22(F8T) g1=150 g2=40 P1=45	PL-12×300×530 2PL-12×110×530	メッキ HTB 10-M22(F8T) g1=150 g2=40 P1=45	PL-9×175×290 2PL-9× 70×290	メッキ HTB 4-M20(F8T) g1=105 g2=- P1=60
仕様 W.SPL	2PL-9×380×170	メッキ HTB 6-M22(F8T) P2=60	2PL-9×320×170	メッキ HTB 5-M22(F8T) P2=60	2PL-9×140×290	メッキ HTB 4-M20(F8T) P2=60
備考	溶融亜鉛メッキ	溶融亜鉛メッキ	溶融亜鉛メッキ

凡例 

鉄骨継手断面表

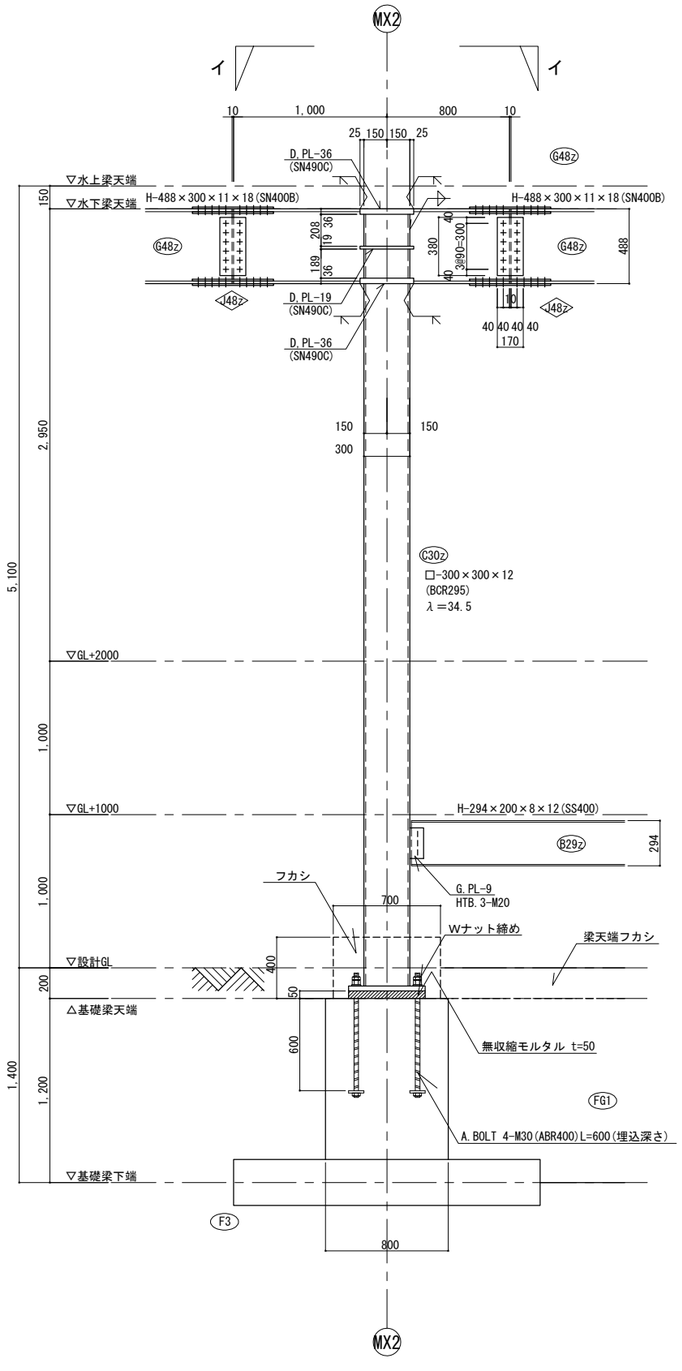
A1:S=1/20
A3:S=1/40

特記事項 1)特記なきプレートの材種は SN400B とする。
2)仕上げは 溶融亜鉛メッキ とする。

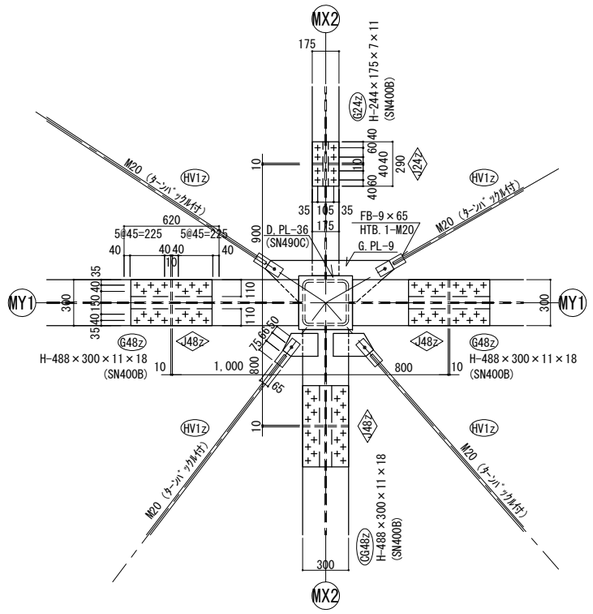
符号	BJ40z	BJ44z	BJ30z	BJ29z	BJ25z	BJ19z	BJ15z
断面	B40z 	B44z 	B30z 	B29z 	B25z 	B19z 	B15z 
接合部	G,PL-9	メッキ HTB	5-M20 (F8T)	G,PL-12	メッキ HTB	5-M20 (F8T)	G,PL-9	メッキ HTB	3-M20 (F8T)	G,PL-9	メッキ HTB	3-M20 (F8T)	G,PL-6	メッキ HTB	3-M20 (F8T)	G,PL-6	メッキ HTB	2-M20 (F8T)	G,PL-6	メッキ HTB	2-M16 (F8T)			
備考	溶融亜鉛メッキ	溶融亜鉛メッキ	溶融亜鉛メッキ	溶融亜鉛メッキ	溶融亜鉛メッキ	溶融亜鉛メッキ	溶融亜鉛メッキ

特記

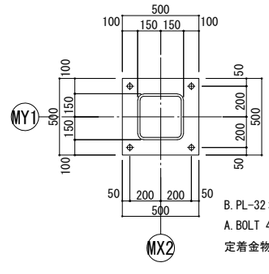
				物件名	第R6-8号 新産業廃棄物最終処分場建設工事
				図面名	目視監視施設 鉄骨継手断面表
				縮尺	A1: 1/10 A3: 1/20
				図番	S-305



MY1通り　鉄骨詳細図　A1:S=1/20　A3:S=1/40

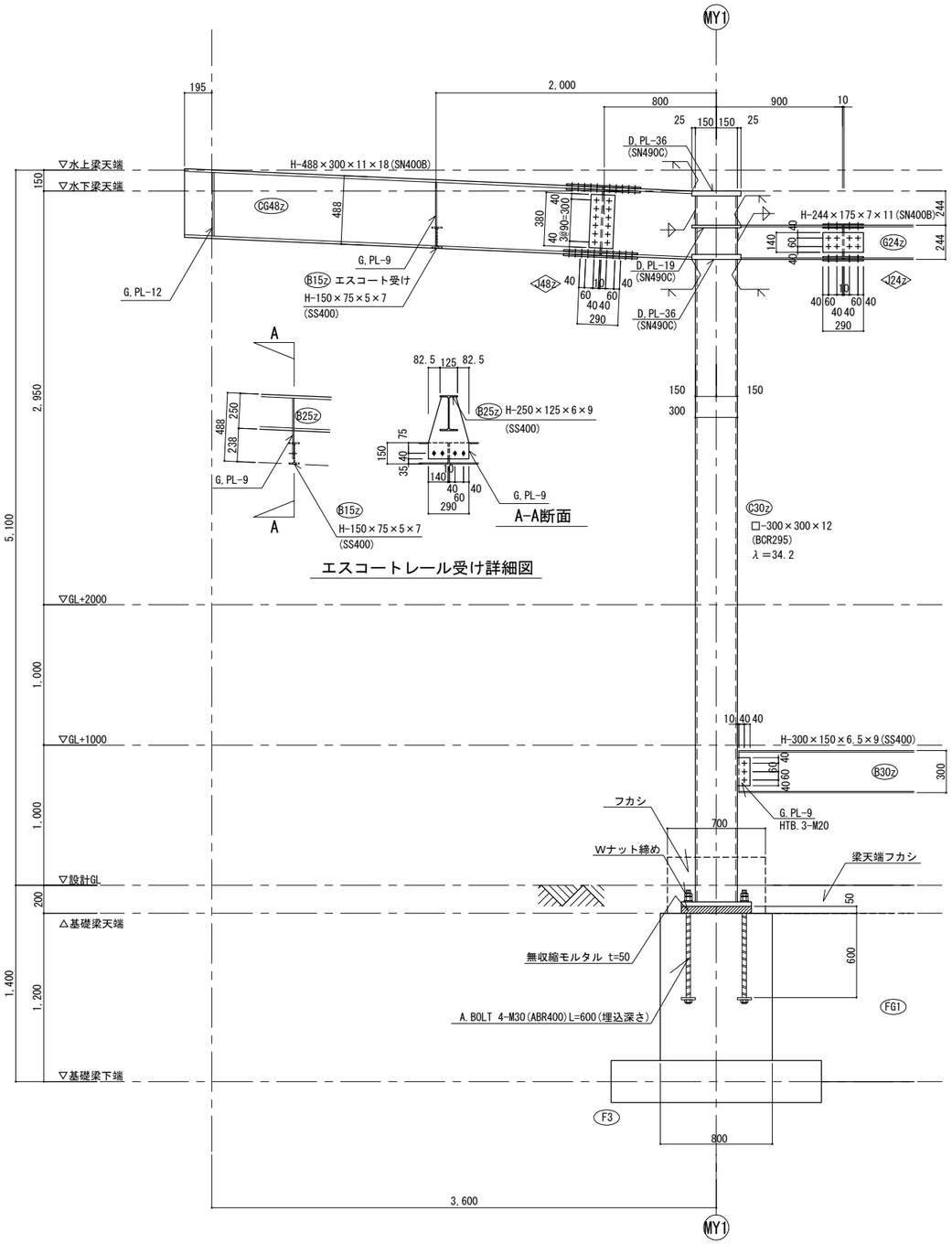


イ-イ断面



B.PL-32×500×500 (SN490B)
A.BOLT 4-M30(ABR400)L=600(埋込深さ)
定着金物 16×100×100

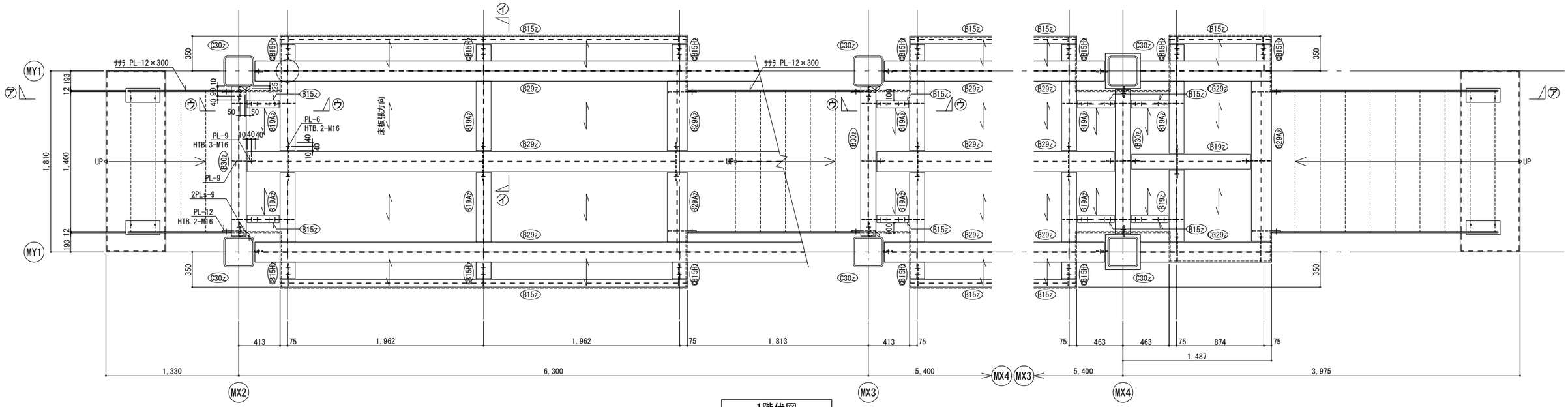
柱脚断面



エスコートレール受け詳細図

MX2通り　鉄骨詳細図　A1:S=1/20　A3:S=1/40

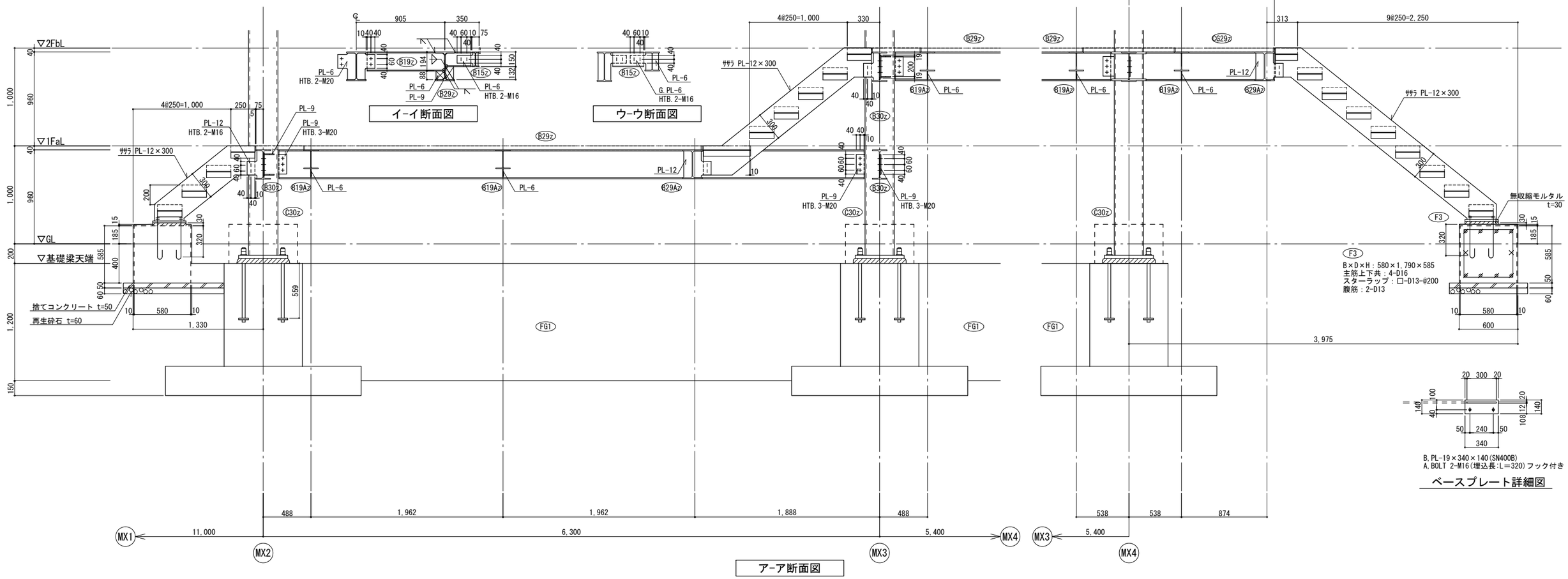
特記				物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事	
				図面名	目視監視施設　鉄骨詳細図	縮尺 A1: 1/20 A3: 1/40 / 図番 S-306



1階伏図

〈特記事項〉

1) ↕ は床板方向を示す。



イ-イ断面図

ウ-ウ断面図

ベースプレート詳細図

アーア断面図

特記				物件名	第R6-8号 新産業廃棄物最終処分場建設工事	
				図面名	目視監視施設 鉄骨階段詳細図	縮尺 A1: 1/20 A3: 1/40 / 図番 S-307

第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事　　設計図

特記仕様書

Ⅰ．工事概要

1．工事場所　　宮城県黒川郡大和町鶴巣大平・幕柳（地内）

2．建物概要

建物名称	構造	階数	建築基準法による延べ面積（㎡）	消防法施行令別表第一	施設の分類	備考
管理棟	S造	2階	624.68 ㎡	(15)項		
計量棟	S造	1階	234.00 ㎡	(15)項		
目視監視施設	S造	1階	234.00 ㎡	(15)項		
資材保管庫兼車庫	S造	1階	186.66 ㎡	(16)項ロ		

3．工事種目（○印のついたものを適用する）

建物別及び屋外 ＼ 工事種目	工事種別 管理棟	計量棟	目視監視施設	資材保管庫兼車庫	浸出水調整槽	屋外
⊙電灯設備	新設 一式	新設 一式	新設 一式	新設 一式	新設 一式	新設 一式
⊙動力設備	新設 一式	新設 一式	新設 一式			新設 一式
・電気自動車用充電設備	一式					
・電熱設備	一式					
・雷保護設備	一式					
・受変電設備	一式					
・電力貯蔵設備	一式					
・発電設備	一式					
⊙構内情報通信網設備	新設 一式	新設 一式				新設 一式
⊙構内交換設備	新設 一式	新設 一式				新設 一式
・情報表示設備	一式					
・映像・音響設備	一式					
・拡声設備	一式					
・誘導支援設備	一式					
・テレビ共同受信設備	一式					
⊙監視カメラ設備	一式					新設 一式
・駐車場管制設備	一式					
・防犯・入退室管理設備	一式					
・火災報知設備	一式					
・中央監視制御設備	一式					
・						
・構内配電線路						
・構内通信線路						
・テレビ電波障害除去工事・						
・						
・建築工事	一式					
・機械設備工事	一式					

4．指定部分　⊙無　・有　　対象部分（　　）
指定部分工期　　令和　年　月　日

Ⅱ．工事仕様

1．共通仕様

（1）図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の下記仕様書等のうち、○印の付いたものによる。

⊙ 公共建築工事標準仕様書　（電気設備工事編）（令和４年版）　（以下、「標準仕様書」という。）
⊙ 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和４年版）　（以下、「改修標準仕様書」という。）
⊙ 公共建築設備工事標準図　（電気設備工事編）（令和４年版）　（以下、「標準図」という。）

（2）本工事に建築工事及び機械設備工事が含まれる場合は、建築工事の工事仕様書は（　／　）図、機械設備工事の工事仕様書は（　／　）図による。

2．特記仕様

項目及び特記事項は○印の付いたものを適用する。

項目	特記事項
① 適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ⊙ 風圧力　風速（V_0=30.0 m/s） 地表面粗度区分（ ・Ⅰ ・Ⅱ ⊙Ⅲ ・Ⅳ ） ⊙ 積雪荷重　垂直積雪量（ 2.2 m）
② 環境への配慮	（1）本工事において、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）」に基づく、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和4年2月閣議決定）」に定める特定調達品目「公共工事」の品目を調達する場合は、判断の基準等を満たすものとする。 （2）建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

項目	特記事項
③ 機材の品質等	（1）本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有するべき品質及び性能を有するものとする。 （2）下表に機材名が記載された製造業者等は、次の①から⑥すべての事項を満たす証明となる資料を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、次の①から⑥すべての事項を評価された事を示す外部機関が発行する書面を提出し監督員の承諾を受けた場合は、証明となる資料等の提出を省略することができる。 ① 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 ② 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 ③ 安定的な供給が可能であること。 ④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥ 販売、保守等の営業体制が整えられていること。

機材名称	
ＬＥＤ照明器具（一般屋内用に限る）	高圧進相コンデンサ
照明制御装置	高圧限流ヒューズ
可変速運転用インバータ装置	高圧負荷開閉器
分電盤（ＯＡ盤及び実験盤を含む）	高圧変圧器（特定機器）
制御盤	交流無停電電源装置
キュービクル式配電盤	太陽光発電装置（パワーコンディショナ及び系統連系保護装置）
高圧スイッチギア（ＣＷ形、ＰＷ形）	監視カメラ装置
高圧交流遮断器	中央監視制御（監視制御装置）

項目	特記事項
④ 電源周波数	⊙ ５０Ｈｚ　・ ６０Ｈｚ
⑤ 保安規程	・ 国土交通省北陸地方整備局自家用電気工作物保安規程 ⊙ 当該電気工作物に規定されている保安規程
⑥ 電気工事士	契約電力５００ｋＷ以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工を行うものとする。
⑦ 工事用仮設物	すべて受注者の負担とする。 構内につくることが　⊙ できる　・ できない
⑧ 足場その他	⊙ 別契約の関係受注者が定置したものは、無償で使用できる。 ・ 本工事で設置とする。（改修標準仕様書 第１編 2.2.2によるほか下記による。） 「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における２の（２）手すり据え置き方式又は（３）手すり先行専用足場方式により行う。 ・ 内部足場の種別（　　種 ） ・ 外部足場の種別（　　種 ）
9 仮設備工事	仮設備期間（ ・ 図示　・　　） 仮電源等 （ ・ 受変電設備 ・ 発電設備 ・　　）
10 養生	養生範囲 （ ・　　・　　） 養生方法 （ ・　　・　　）
11 施工調査	改修部分は、施工調査を行う。
12 非破壊検査等	はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、事前に走査式埋設物調査を行い、監督員に報告する。 なお、放射線透過検査による場合は特記とし、撮影枚数は、１枚以上／部位とする。
13 穿孔作業	既存躯体に穿孔する場合は金属探知により電源供給が停止できる付属装置等を使用する。
⑭ 設備機器の固定等	(1) 設備機器の固定は、施設の分類並びに機器の種別、重要度及び設置階に応じて、次の設計用水平地震力及び設計用鉛直地震力に対し、移動、転倒、破損等が生じないようにする。 1)設計用水平地震力 機器の重量[ｋＮ]に、設計用水平震度を乗じたものとする。 なお特記なき場合、設計用水平震度は次による。 設計用水平震度

設置場所	機器種別	特定の施設 重要機器	特定の施設 一般機器	⊙一般の施設 重要機器	⊙一般の施設 一般機器
上層階屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6
地下・1階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6

※水槽類には、燃料小出タンク等を含むものとする。

上層階とは、２～６階建の場合は最上階、７～９階建の場合は上層２階、１０～１２階建の場合は上層３階、１３階建以上の場合は上層４層とする。
中間階とは、地階、１階を除く各階で上層階に該当しないものとする。
重要機器
⊙配電盤　・発電装置（防災用）・直流電源装置　・交流無停電電源装置
・交換装置　・火災報知受信機　・中央監視制御装置

2)設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の１／２とし、水平地震力と同時に働くものとする。

(2) 横引き配管等の耐震支持は、施設の分類に応じたものとする。

項目	特記事項
⑮ 建設発生土の処理	・ 特記仕様書補足事項による。 ⊙ 埋戻し後の建設発生土は、監督職員が指示する構内の場所に敷きならしとする。
⑯ 電線本数、管路等、ケーブルの種類	分電盤、制御盤及び端子盤等の二次側以降の配管・配線は、経路、電線太さ、電線本数、管径等は監督職員の承諾を受けて変更しても差し支えない。 また、機械室等の床埋設配管は図面上 PF管で記載している場合であっても、立上げ部分等の露出配管部分は金属管とし、その場合は全長に亘って接地線を設ける。
17 非常用照明装置の照度測定箇所数	測定箇所　　箇所以上測定し、監督員に報告する。
⑱ 金属製電線管の塗装・仕上げ	金属製電線管の露出配管の仕上げは、次による。 ⊙ 塗装を行わない厚鋼電線管は、溶融亜鉛めっき仕上げ付着量300g/㎡以上のものとする。 金属製電線管の塗装を行う箇所は下記とする。 ・ 屋外（　　） ⊙ 屋内（　露出配管（図示ヶ所）　）
⑲ フラッシュプレート	図面に特記なき場合は、⊙ 金属製（ステンレス、新金属も含む）　・ 樹脂製　とする。
20 電線類	二重床内に配線するEM-UTPケーブルは、用途に応じ色分けすること。
21 二重床内器具	二重床内に設置する器具の位置表示として、マーキングを直上の天井面に付けること。 また、用途に応じ色分けすること。
22 インバータ装置の規約効率	三相可変速電動機用インバータ装置の規約効率は次の数値以上とする。

電動機出力（kW）	0.4	0.75	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5	11	15	18.5	22	30	37
規約効率（%） 200V	86.0	88.5	92.0	93.0	94.0	94.0	94.5	94.5	95.0	95.5	95.5	95.5	95.5
規約効率（%） 400V	87.0	90.5	93.5	94.0	94.5	94.5	95.0	95.0	95.0	96.0	96.5	96.5	96.5

電動機出力（kW）	45	55	75
規約効率（%） 200V	95.5	95.5	95.5
規約効率（%） 400V	96.5	96.5	96.5

備考（1）規約効率は、JEM-TR245「汎用インバータの規約効率」により算出した値とする。
（2）0.4kWの効率は、JIS C 4212「高効率低圧三相かご形誘導電動機」の定格電圧200V（上段）、400V（下段）IP4X、6極、50Hzの電動機を駆動したときの値とする。
（3）0.75kW以上の効率は、JIS C 4213「低圧三相かご形誘導電動機－トップランナーモーター」の定格電圧200V（上段）、400V（下段）IP4X、6極、50Hzの電動機を駆動したときの値とする。

項目	特記事項
23 接地極	接地極の材料は下記による。なお、接地棒ＥＢ(14φ)の長さは 1,500mm 以上とし、10φは Ｗ=30 Ｌ=900mm 以上、14φは、Ｗ=40 Ｌ=1,200mm 以上としても差し支えない。

接地の種類	記号	接地抵抗値	接地極
・共同接地	$E_{A,B,C}$	Ω以下	ＥＢ（14φ）×３連－組
・共同接地	$E_{A,C}$	10Ω以下	ＥＢ（14φ）×３連－２組
・Ａ種	E_A	10Ω以下	ＥＢ（14φ）×３連－２組
・Ｂ種	E_B	Ω以下	ＥＢ（14φ）×３連－２組
・Ｄ種	E_D	100Ω以下	ＥＢ（10φ）×１（Ｌ＝1,000mm）
・Ｃ種	E_C	10Ω以下	ＥＢ（14φ）×３連－２組
・高圧避雷器用	E_{LH}	10Ω以下	ＥＢ（14φ）×３連－２組
・低圧避雷器用	E_{LL}	10Ω以下	ＥＢ（14φ）×３連－２組
・構造体接地			
・交換機用	E_1	10Ω以下	ＥＢ（14φ）×３連－２組
・通信用	E_{A1}	10Ω以下	ＥＢ（14φ）×３連－２組
・通信用	E_{D1}	100Ω以下	ＥＢ（10φ）×１（Ｌ＝1,000mm）
・電話引込口の保安器用	E_{LL}	100Ω以下	ＥＢ（10φ）×１（Ｌ＝1,000mm）
・測定用	E_0		ＥＢ（10φ）×１（Ｌ＝1,500mm）

項目	特記事項
24 天井仕上げ表示	図面において、室名に（ ）を付したものは直天井を示し、それ以外は二重天井の部屋を示す。
㉕ 取付高さ	壁付、壁掛形の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として下表による。

名称	測点	取付高さ［mm］
ブラケット（一般）	床上 ～ 中心	2,100
〃（踊場）	〃	2,500
〃（鏡上）	鏡上端 ～ 中心	150
スイッチ（一般）	床上 ～ 中心	1,200
〃（多機能便所用）	〃	1,200
ｺﾝｾﾝﾄ，電話用ﾌｧﾝｸｼｮﾝ，ﾃﾚﾋﾞ端子（一般）	〃	400
〃（和室）	〃	150
〃（台上）	台上 ～ 中心	150
コンセント（土間）	床上 ～ 中心	800 ～ 1,300
コンセント（電動車いす充電用）	〃	900
引込開閉器箱（低圧）	床上 ～ 上端	1,500
分電盤，制御盤，実験盤	床上 ～ 中心	1,500（上端1,900以下）
開閉器箱	〃	1,500
電磁開閉器用押しボタン	〃	1,200
接地用端子箱	地上，床上 ～ 中心	500
試験用接続端子箱	床上 ～ 下端	800
接地極埋設標	地上 ～ 中心	600
給油ボックス	地上 ～ 給油口	1,000
室内端子盤（廊下・室内）	床上 ～ 下端	300
中間端子盤（ＥＰＳ・電気室）	床上 ～ 中心	1,500
壁付電話機	〃	1,300
親時計	〃	1,500（上端1,900以下）
子時計，スピーカ	天井下 ～ 上端	100
アッテネータ	〃	1,200
表示盤	天井下 ～ 上端	100
発信器（出退表示用）	〃	1,200
外部受付用インターホン（子機）	〃	標準図による
壁付インターホン　（上記以外）	〃	1,100
呼出ボタン（多機能便所用）	〃	900（400）
復帰ボタン（　〃　）	〃	1,300
廊下表示灯（　〃　）	〃	2,000
テレビ機器収容箱	天井下 ～ 上端	200
火報受信機（複合盤）	床上 ～ 操作部	800 ～ 1,500
副受信機	床上 ～ 中心	1,500
機器収容箱（火災報知設備）	〃	800 ～ 1,500
発信機	〃	800 ～ 1,500
警報ベル	〃	（天井高）×0.9
表示灯（火災報知設備）	〃	（天井高）×0.8
連動制御器（自動閉鎖）	〃	1,500
ガス漏れ検知器（重ガス）	〃	300
ガス漏れ検知器（軽ガス）	天井面 ～ 中心	（天井高）－200

（参考）天井面を基準とする取付高は、天井高さが 2,500mm から 3,000mm の場合に適用する。
天井高さが 3,000mm 以上の場合及び機器の使用に支障が生じる場合は、監督職員と協議する。
壁付呼出押ボタン（多機能トイレ）の取付高さ(400)は床に転倒した時を考慮した高さを示す。

項目	特記事項
㉖ 他工事又は他工種との取り合い	工事区分表による。　ただし、これにより難い場合は、監督職員と協議する。

特記

物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事	
図面名	電気設備　特記仕様書	縮尺 A1:N.S　A3:N.S
		図番 E-01

電灯分電盤名称		L－1
キャビネット方式		W
電気方式	種 別	商 用
	相 数	単相３線式
	電 圧	100/200V
負 荷 容 量		49.813KVA
主幹容量	定格電流	300A

鋼板製指定色仕上

1Φ3W200／100V

EM－CET150ⁿ（暫定）

ELCB3P400/300A（感度電流切替）

備考	リモコンリレー等 T/U	リモコンリレー等 Ry20A	電圧(V)	負荷容量(VA) コンセント	負荷容量(VA) 電灯	定格電流	配線用遮断器	供給室名	回路番号
			100	500		20A	MCCB2P	警備保障制御盤	Ⓐ
			100	300		20A	MCCB2P	通信機器	Ⓒ
			100		487	20	MCCB2P	管理事務室	①
			100		580	20	MCCB2P	女子更衣室	③
熱交換型換気扇			100		513	20	MCCB2P	多目的室	⑤
			100			20	MCCB2P	予備	⑦
ﾊﾟﾈﾙﾋｰﾀｰ			100	1,750		20	ELCB2P	男子更衣室	①
ﾊﾟﾈﾙﾋｰﾀｰ			100	2,250		20	ELCB2P	女子更衣室	③
ﾊﾟﾈﾙﾋｰﾀｰ			100	2,500		20	ELCB2P	女子便所	⑤
ﾊﾟﾈﾙﾋｰﾀｰ			100	1,500		20	ELCB2P	多目的便所	⑦
IHヒｰﾀｰ			100	5,500		30	ELCB2P	湯沸室	⑨
空調室内機			100	563		20	ELCB2P	管理事務室	⑪
			100	600		20	ELCB2P	女子更衣室	①
			100	700		20	ELCB2P	廊下	③
			100	1,000		20	ELCB2P	監視システム	⑤
			100	500		20	ELCB2P	管理事務室	⑦
			100	600		20	ELCB2P	管理事務室	⑨
OAﾌﾛｱｰ			100	600		20	ELCB2P	管理事務室	⑪
自動ドア			100	500		20	ELCB2P	風除室	⑬
			100	900		20	ELCB2P	小会議室２	⑮
電気温水器			100	600		20	ELCB2P	女子便所	⑰
洗浄便座			100	1,261		20	ELCB2P	女子便所	⑲
洗浄便座			100	1,261		20	ELCB2P	男子便所	㉑
電気温水器			100	600		20	ELCB2P	男子便所	㉓
電気温水器他			100	505		20	ELCB2P	多目的便所	㉕
電気温水器他			100	630		20	ELCB2P	多目的便所	㉗
			100			20	ELCB2P	予備	㉙
			100			20	ELCB2P	予備	㉚
			100			20	ELCB2P	予備	㉛
			100			20	ELCB2P	予備	㉜
			100			20	ELCB2P	予備	㉝
				25,120	1,067				
				26,187					

回路番号	供給室名	配線用遮断器	定格電流	負荷容量(VA) 電灯	負荷容量(VA) コンセント	電圧(V)	リモコンリレー等 Ry20A	リモコンリレー等 T/U	備考
Ⓑ	電気錠制御装置	MCCB2P	20A		300	100			
Ⓓ		MCCB2P	20A			100			
②	管理事務室	MCCB2P	20	511		100			
④	廊下	MCCB2P	20	395		100			
⑥	予備	MCCB2P	20			100			
⑧	予備	MCCB2P	20			100			
②	男子更衣室	ELCB2P	20		1,750	100			ﾊﾟﾈﾙﾋｰﾀｰ
④	シャワー室	ELCB2P	20		2,250	100			ﾊﾟﾈﾙﾋｰﾀｰ
⑥	男子便所	ELCB2P	20		2,500	100			ﾊﾟﾈﾙﾋｰﾀｰ
⑧	倉庫	ELCB2P	20		4,400	100			電気温水器
⑩	湯沸室	ELCB2P	20		1,500	100			電気温水器
⑫	予備	ELCB2P	20			100			
①	倉庫	ELCB2P	20		600	100			
③	監視システム	ELCB2P	20		1,000	100			
⑤	申請窓口	ELCB2P	20		700	100			
⑦	管理事務室	ELCB2P	20		800	100			コピー他
⑨	管理事務室	ELCB2P	20		400	100			
⑪	管理事務室	ELCB2P	20		400	100			
⑬	湯沸室	ELCB2P	20		850	100			冷凍庫他
⑮	女子便所	ELCB2P	20		202	100			
⑰	女子便所	ELCB2P	20		1,261	100			洗浄便座
⑲	女子便所	ELCB2P	20		1,261	100			洗浄便座
㉑	男子便所	ELCB2P	20		600	100			電気温水器
㉓	男子便所	ELCB2P	20		600	100			電気温水器
㉕	多目的便所	ELCB2P	20		1,261	100			洗浄便座
㉘ ⓐ	ポーチ１	ELCB2P	20	85		100			Ｔ１ ※1
ⓑ	風除室１								Ｔ２
ⓒ	ポーチ２								Ｔ３
ⓓ	風除室２								Ｔ４
ⓔ	職員用勝手口								Ｔ５
				991	22,635				
				23,626					

42-1 42-2 42-3 42-4 42-5

４９，８１３

電灯分電盤名称		L－2
キャビネット方式		W
電気方式	種 別	商 用
	相 数	単相３線式
	電 圧	100/200V
負 荷 容 量		14.330KVA
主幹容量	定格電流	100A

鋼板製指定色仕上

1Φ3W200／100V

EM－CET38ⁿ（暫定）

ELCB3P100/100A（感度電流切替）

備考	リモコンリレー等 T/U	リモコンリレー等 Ry20A	電圧(V)	負荷容量(VA) コンセント	負荷容量(VA) 電灯	定格電流	配線用遮断器	供給室名	回路番号
			100	300		20A	MCCB2P	通信機器	Ⓐ
			100		638	20		大会議室	①
			100		395	20		倉庫	③
			100			20		予備	⑤
電気温水器			100	1,500		20	ELCB	湯沸室	①
ﾊﾟﾈﾙﾋｰﾀｰ			100	500		20	ELCB	便所	③
			100	800		20	ELCB	大会議室	①
OAﾌﾛｱｰ			100	400		20	ELCB	大会議室	③
			100	500		20	ELCB	廊下	⑤
電気温水器			100	600		30	ELCB	便所	⑦
洗浄便座			100	1,261		20	ELCB	便所	⑨
			100	500		20	ELCB	専務理事室	⑪
			100	500		20	ELCB	理事長室	⑬
			100			20	ELCB	予備	⑮
			100			20	ELCB	予備	⑰
			100			20	ELCB	予備	⑲
				6,861	1,033				
				7,894					

回路番号	供給室名	配線用遮断器	定格電流	負荷容量(VA) 電灯	負荷容量(VA) コンセント	電圧(V)	リモコンリレー等 Ry20A	リモコンリレー等 T/U	備考
Ⓑ	予備	MCCB2P	20A			100			
②	専務理事室	MCCB	20	574		100			
④	大会議室	MCCB	20	572		100			熱交換型換気扇
⑥	予備	MCCB	20			100			
②	便所	ELCB	20		500	100			ﾊﾟﾈﾙﾋｰﾀｰ
④	大会議室	ELCB	20		529	100			空調室内機
②	大会議室	ELCB	20		700	100			
④	多目的室	ELCB	20		500	100			
⑥	湯沸室	ELCB	20		600	100			冷蔵庫他
⑧	便所	ELCB	20		1,261	100			洗浄便座
⑩	便所	ELCB	20		600	100			電気温水器
⑫	小会議室	ELCB	20		500	100			
⑭	気象観測機器	ELCB	20		100	100			
⑯	予備	ELCB	20			100			
⑱	予備	ELCB	20			100			
⑳	予備	ELCB	20			100			
				1,146	5,290				
				6,436					

１４，３３０

動力分電盤名称		Ｐ－１
キャビネット方式		W
電気方式	種 別	商 用
	相 数	３相３線式
	電 圧	200V
負 荷 容 量		31.4KW
主幹容量	定格電流	225A

鋼板製指定色仕上

3Φ3W200V

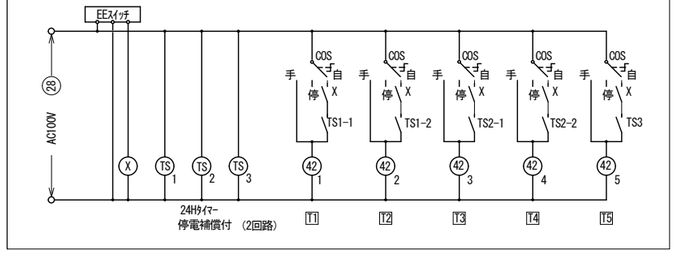
EM－CET60ⁿ （暫定）

MCCB3P 225／225A

ELCB3P 100／100A　ELCB3P 100／100A　ELCB3P 100／100A

負荷記号	EHP－１	EHP－２	スペース
負荷名称	空調機	空調機	
負荷容量	15.7KW	15.7KW	
備考			

※1　外灯タイマー回路

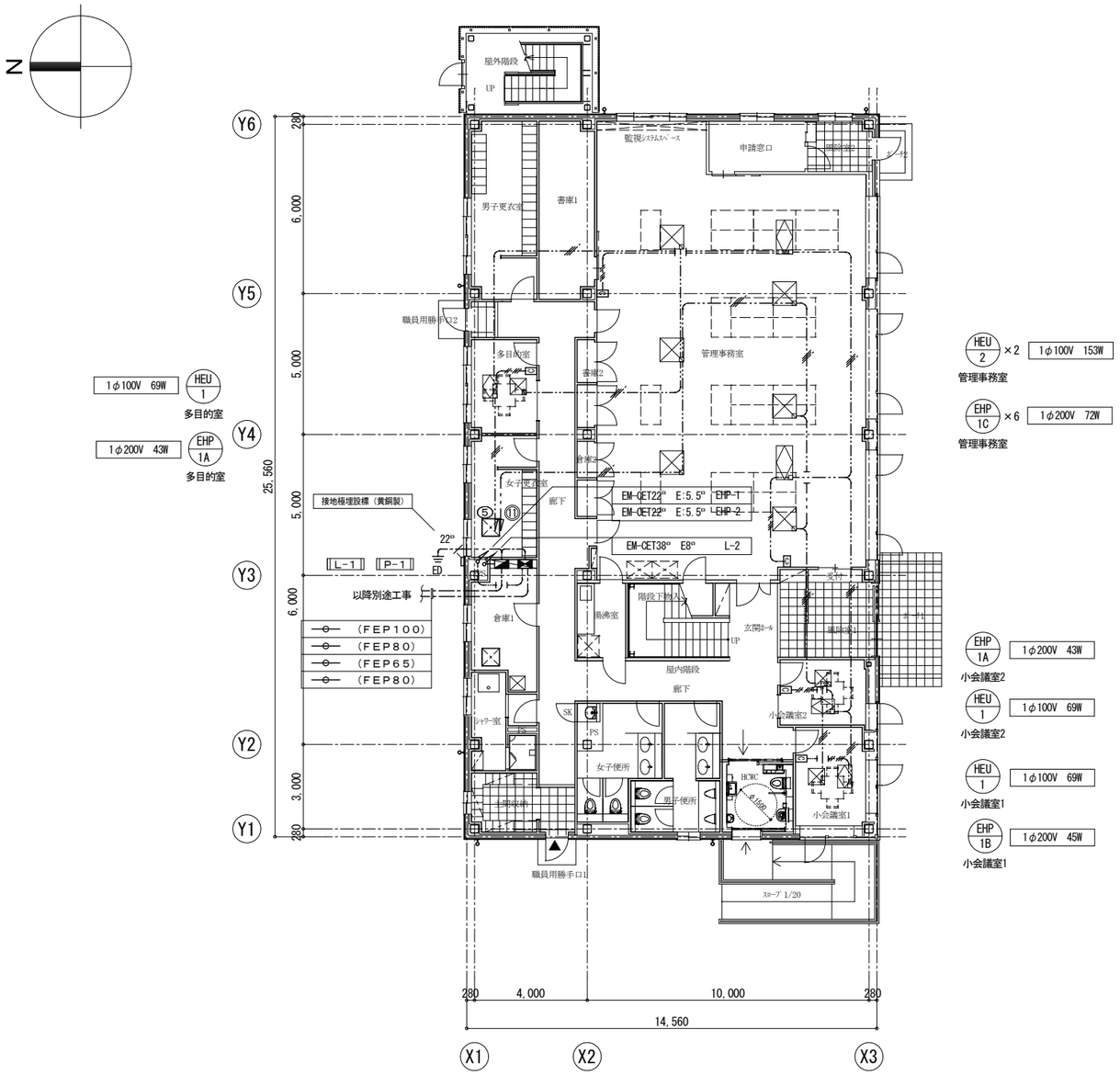


注　記

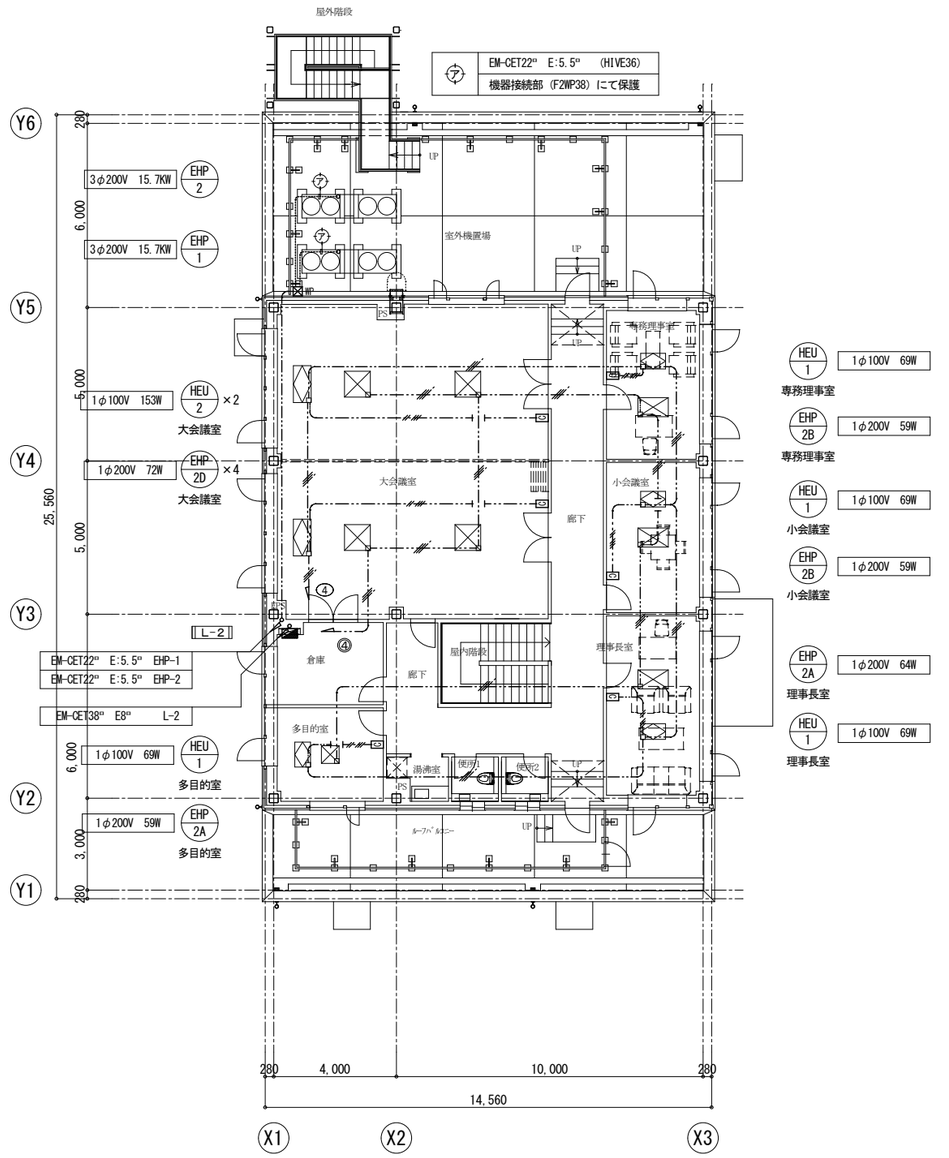
1） 主開閉器一次側端子は電線サイズに適合した端子を設ける事。
2） 漏電ブレーカの感度電流は分岐部は３０ｍＡ０．１秒
トリップとする。尚単相３線式電路に設けるものは中性線欠相保護機能付とする。
3） 分岐ブレーカは、協約形１Ｐサイズとする。

特記

物件名	第Ｒ6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事		
図面名	管理棟 分電盤結線図	縮尺	A1:N.S A3:N.S
図番	E-02		



１階平面図　S=1/100



２階平面図　S=1/100

電気設備凡例

記　号	名　　称	備　　考
⊠	動力分電盤	Ｐ－１　分電盤結線図参照
◪	電灯分電盤	Ｌ－１　分電盤結線図参照
◪	電灯分電盤	Ｌ－２　分電盤結線図参照
⏚	接　地　極	ＥＤ
▭	接地埋設標	黄銅製　刻印式
C	換気扇コントロール	機器支給品（機械設備）
		位置ボックス：樹脂製ＯＢ中四角Ｄ４４　Ｃ付
⊠ WP	プルボックス	ＳＵＳ製　３００×３００×２００　ＷＰ
⊠ EHP	空　調　機	機械設備工事
⊠ HEU	全熱交換機	機械設備工事

電気設備凡例

1）ケーブル線で壁内立上げ引下げ部は、電線管にて保護の事。		
–・・–／–・・–	EM－ＥＥＦ　1．6－２Ｃ	天井ころがし
–・・–／／–・・–	EM－ＥＥＦ　1．6－３Ｃ	〃
–・・–／／／–・・–	EM－ＥＥＦ　1．6－２Ｃ＋３Ｃ	〃
–・・–／／／／–・・–	EM－ＥＥＦ　2．0－３Ｃ（１Ｃ：Ｅ）	〃
2）位置ボックスは露出配管部以外、樹脂製とする。		
3）二重天井内照明器具位置ボックスは送り配線及び末端以外の配線接続必要個所に取付の事。		

特記

				物件名	第Ｒ6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事
				図面名	管理棟 幹線・動力設備　１・２階平面図
				縮尺	A1:1/100 A3:1/200
				図番	E-03

A１　ＬＥＤ直付型４０形



一般タイプ、５２００ｌｍタイプ
消費電力３１．９Ｗ、定格出力型、電圧１００～２４２Ｖ
本体：鋼板（白色粉体塗装）　昼白色（５０００Ｋ）、Ｒａ８３
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
公共型番：LSS9-4-48

A２　ＬＥＤ直付型４０形



一般タイプ、３２００ｌｍタイプ
消費電力２０．６Ｗ、定格出力型、電圧１００～２４２Ｖ
本体：鋼板（白色粉体塗装）　昼白色（５０００Ｋ）、Ｒａ８３
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
公共型番：LSS9-4-30

A３　ＬＥＤ直付型４０形



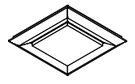
一般タイプ、２５００ｌｍタイプ
消費電力１６．３Ｗ、定格出力型、電圧１００～２４２Ｖ
本体：鋼板（白色粉体塗装）　昼白色（５０００Ｋ）、Ｒａ８３
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
公共型番：LSS9-4-23

A４　ＬＥＤ直付型２０形



一般タイプ、１６００ｌｍタイプ
消費電力１１．６Ｗ、定格出力型、電圧１００～２４２Ｖ
本体：鋼板（白色粉体塗装）　昼白色（５０００Ｋ）、Ｒａ８３、
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
公共型番：LSS9-2-15

B　ＬＥＤ直付型　下面開放型



スクエア光源タイプ、一般光源ユニット、４５００ｌｍタイプ
消費電力３１．９Ｗ、電圧１００～２４２Ｖ
調光タイプ（約１０～１００%）　昼白色（５０００Ｋ）、Ｒａ８３
本体：鋼板（高反射白色粉体塗装）、枠：鋼板（高反射白色粉体塗装）
点灯ユニット（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
公共型番：LSS15-4-41

C　ＬＥＤ直付型４０形

防湿型・防雨型　Ｗ１５０



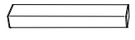
一般タイプ、２５００ｌｍタイプ
消費電力１６．３Ｗ、定格出力型、電圧１００～２４２Ｖ
本体：ステンレス（高反射白色粉体塗装）
防湿型・防雨型ライトバー：ポリカーボネート（乳白）＋
アクリルコーティング
ＩＰ２３防湿型、昼白色（５０００Ｋ）、Ｒａ８３
公共型番：LSS9MP/RP-4-22

D　ＬＥＤ直付型２０形



一般タイプ、１６００ｌｍタイプ
消費電力１１．６Ｗ、定格出力型、電圧１００～２４２Ｖ
本体：鋼板（白色粉体塗装）　昼白色（５０００Ｋ）、Ｒａ８３
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
公共型番：LSS1-2-15

E　ＬＥＤウォールライト　２０形



器具光束１４８０ｌｍ、消費電力１４．９Ｗ、電圧１００～２４２Ｖ
５０００Ｋ、Ｒａ８３　　防湿型・防雨型
本体：ステンレス、カバー：ポリカーボネート（乳白）
天井直付型・壁直付型
公共型番：LBF3MP/RP-2-13

F　ＬＥＤブラケット



昼白色（５０００Ｋ）、Ｒａ８３
器具光束５０００ｌｍ、消費電力３９．２Ｗ、電圧１００Ｖ
壁直付型、ツマミネジ方式、拡散タイプ
カバー：アクリル（乳白）　Ｗ＝１２６０　Ｈ＝１００　出しろ９３
参考型番：　LGB81773LE1

G１　ＬＥＤダウンライト　１００形



ＬＥＤ内蔵<ワンコア（ひと粒）タイプ>、電源ユニット内蔵、
５０００Ｋ、Ｒａ８５、拡散タイプ
器具光束：１０４５ｌｍ、消費電力：７Ｗ、電圧：１００－２４２Ｖ
枠：鋼板（ホワイトつや消し仕上）、埋込穴φ１５０
公共型番：LRS1-08

G２　ＬＥＤダウンライト　１５０形



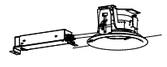
ＬＥＤ内蔵<ワンコア（ひと粒）タイプ>、電源ユニット内蔵、
５０００Ｋ、Ｒａ８５、拡散タイプ
器具光束：１６９５ｌｍ、消費電力：１１．６Ｗ、電圧：100—242V
枠：鋼板（ホワイトつや消し仕上）、埋込穴φ１５０
公共型番：LRS1-13

H　ＬＥＤダウンライト　６０形



ひと（熱線）センサ付、５０００Ｋ、Ｒａ８５、拡散タイプ
器具光束：６００ｌｍ、消費電力：４．３Ｗ、電圧：１００－２４２Ｖ
反射板（上部）：プラスチック（ホワイト）　埋込穴φ１５０
枠・反射板（下部）：アルミダイカスト（ホワイトつや消し仕上）
公共型番：LDS1-LRS1-05

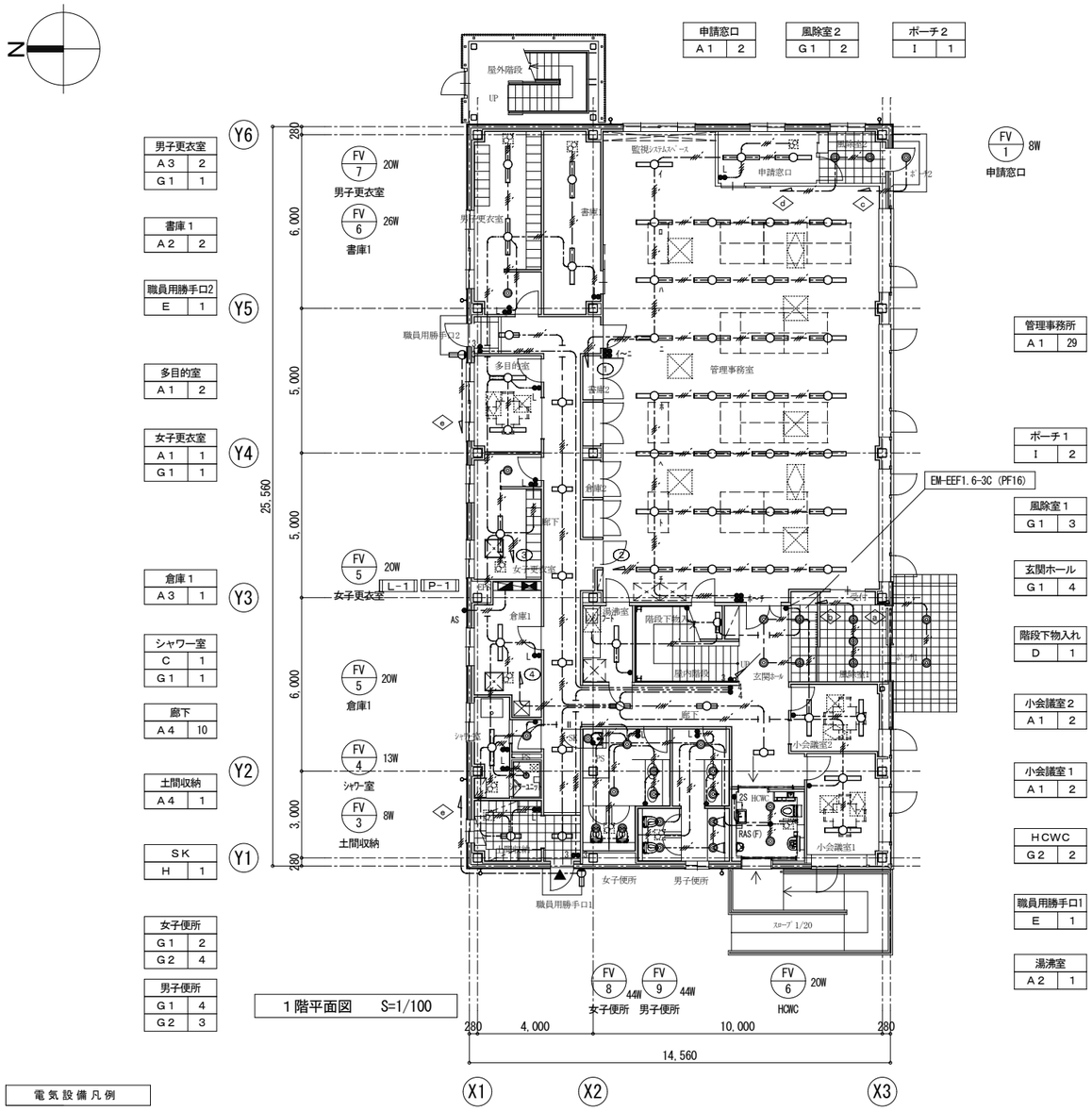
I　ＬＥＤダウンライト 100形　　軒下用

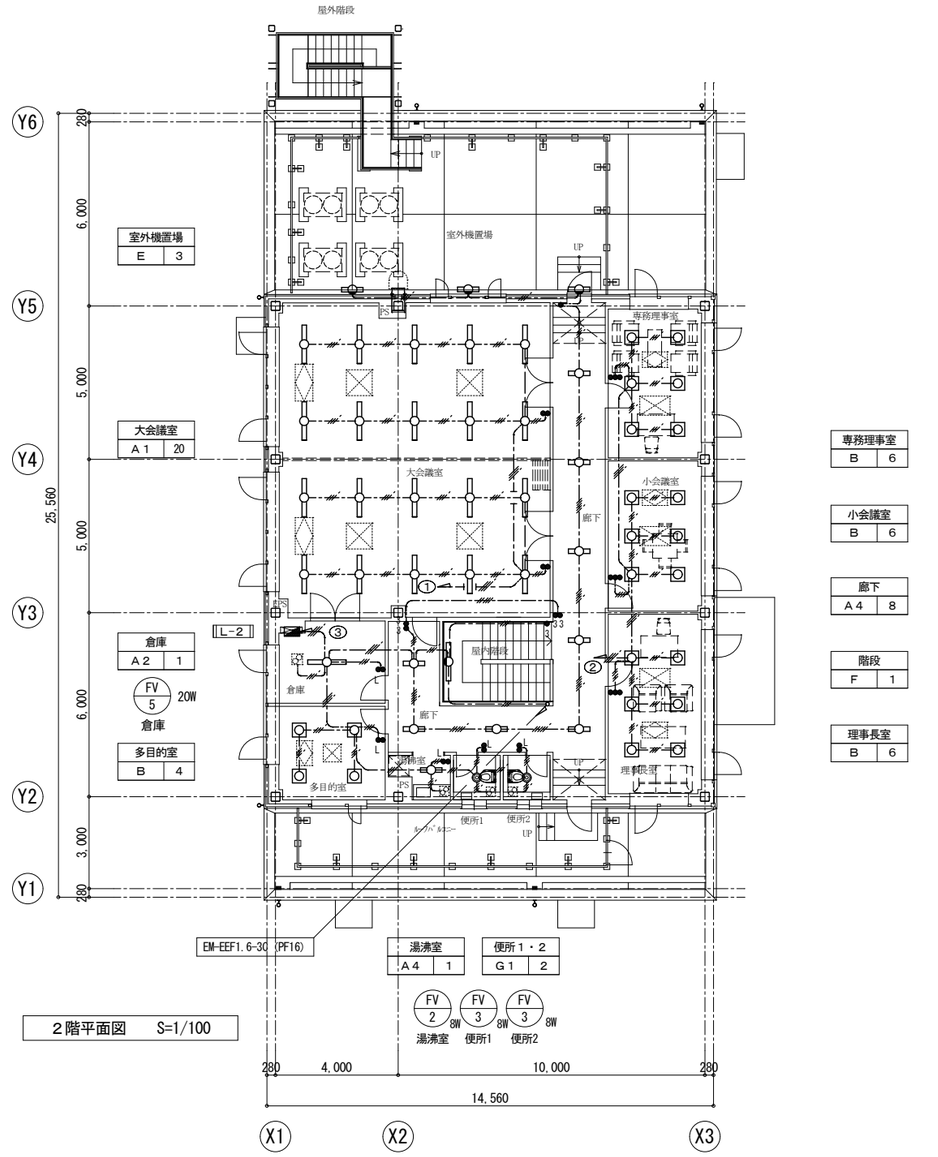


５０００Ｋ、Ｒａ８５、拡散タイプ、一般光色タイプ
器具光束：９７０ｌｍ、消費電力：７Ｗ、電圧：１００－２４２Ｖ
反射板（上部）：プラスチック（ホワイト）　軒下用（防雨型）
枠：鋼板（ホワイトつや消し仕上）
パネル：アクリル（透明）、埋込穴：φ１５０
公共型番：LRS1RP-08

特記

物件名	第Ｒ6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事		
図面名	管理棟 照明器具姿図	縮尺	A1:N.S A3:N.S
図番	E-04		





電気設備凡例

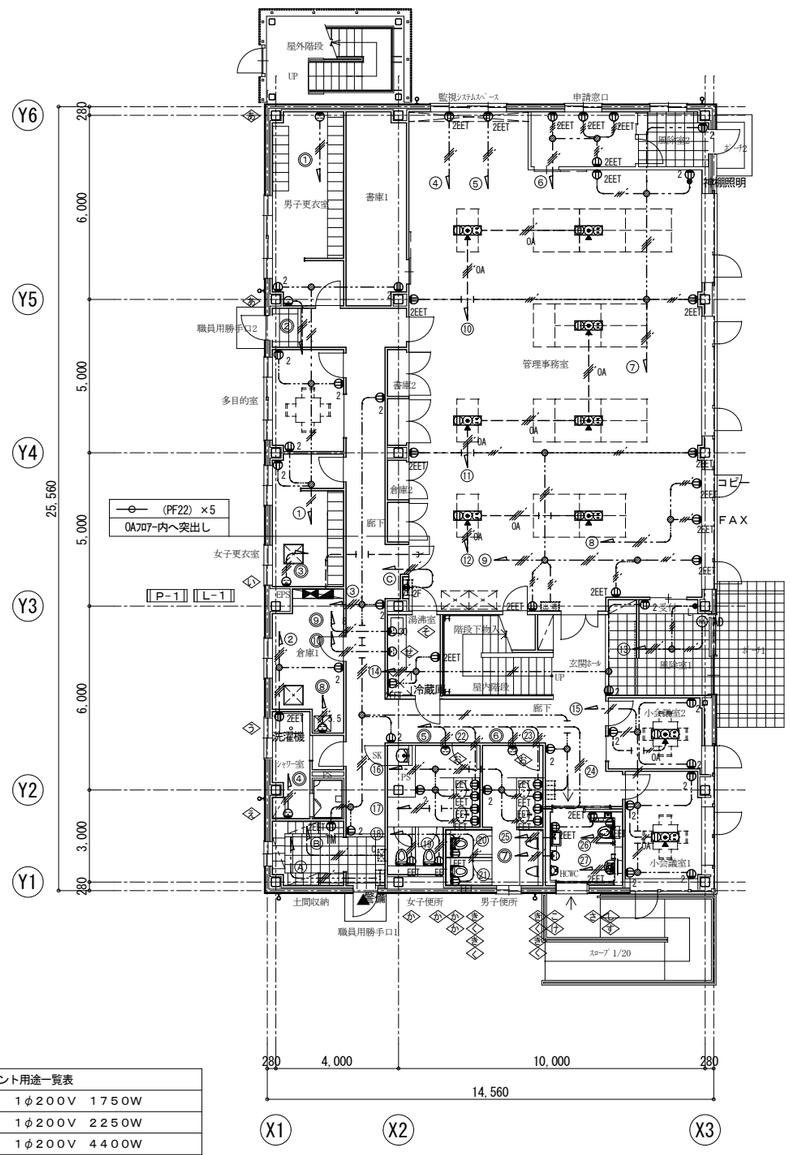
記号	名称	備考
◢	電灯分電盤	分電盤結線図参照
⊂○⊃	照明器具	照明器具姿図参照
□○□	〃	〃
◎	〃	〃
●	埋込スイッチ	１Ｐ１５Ａｘ１　金属製Ｐ共
●L	確認表示灯付スイッチ	１Ｐ４Ａ（０．５Ａ）　２線式　金属製Ｐ共
●3	埋込スイッチ	３Ｗ１５Ａｘ１　金属製Ｐ共
●4	埋込スイッチ	４Ｗ１５Ａｘ１　金属製Ｐ共
● AS	自動点滅器	ＡＣ１００Ｖ　３Ａ　点灯照度調整機能付
		位置ボックス：樹脂製ＯＢ中四角　Ｄ４４　Ｃ付
● RAS(F)	熱線ｾﾝｻ付自動ｽｲｯﾁ親器	ＡＣ１００Ｖ　照明１．２Ａ換気扇１Ａ
		（明るさセンサ付）天井取付形
		検知後連続動作時間約１０秒～３０分可変形
		位置ボックス：樹脂製ＯＢ大四角　Ｄ５４　Ｃ付
● 2S	操作ユニット	照明及び換気扇操作（連続・自動・切）
		位置ボックス：樹脂製ＯＢ中四角　Ｄ４４　Ｃ付
⊠	天井埋込形換気扇	機械設備工事

電灯設備注記

1）ケーブル線で壁内立上げ引下げ部は、電線管にて保護の事。		
−・・−−・・−	ＥＭ−ＥＥＦ　１．６−２Ｃ	天井ころがし
−・・−//−・・−	ＥＭ−ＥＥＦ　１．６−３Ｃ	〃
−・・−//−//−・・−	ＥＭ−ＥＥＦ　１．６−２Ｃｘ２	〃
−・・−//−//−・・−	ＥＭ−ＥＥＦ　１．６−２Ｃ＋３Ｃ	〃
−・・−//−・・−	ＥＭ−ＥＥＦ　１．６−３Ｃ（１Ｃ：Ｅ）	〃
−・・−//−//−・・−	ＥＭ−ＥＥＦ　１．６−２Ｃｘ２（１Ｃ：Ｅ）	〃
−・・−//−//−・・−	ＥＭ−ＥＥＦ　１．６−２Ｃ＋３Ｃ（１Ｃ：Ｅ）	〃
−・・−//−//−・・−	ＥＭ−ＥＥＦ　１．６−３Ｃｘ２　（１Ｃ：Ｅ）	〃
−・・−//−・・−	ＥＭ−ＥＥＦ　２．０−３Ｃ（１Ｃ：Ｅ）	〃
2）位置ボックスは露出配管部以外、樹脂製とする。		
3）二重天井内照明器具位置ボックスは送り配線及び末端以外の配線接続必要個所に取付の事。		
4）スイッチは全てネーム付とする。		

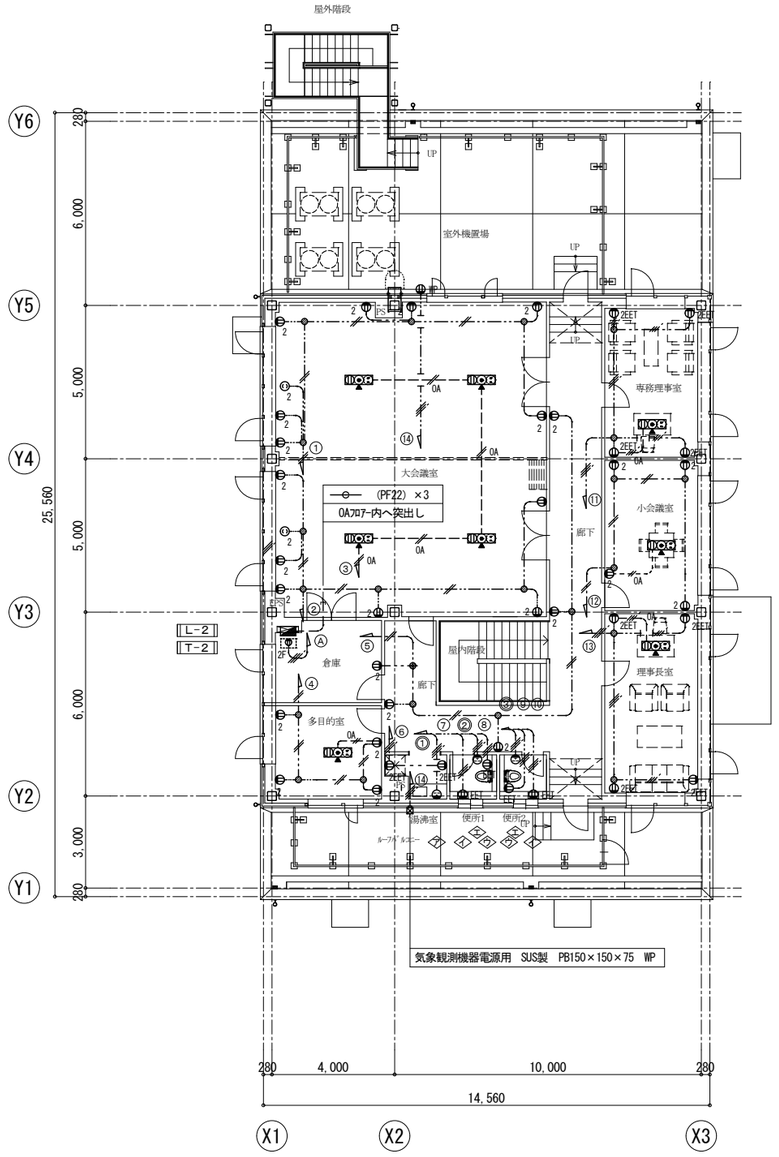
特記

				物件名	第Ｒ6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事
				図面名	管理棟 電灯設備　１・２階平面図
				縮尺	A1:1/100 A3:1/200
				図番	E-05



1階平面図　S=1/100

コンセント用途一覧表		
あ	パネルヒーター	1φ200V　1750W
い	パネルヒーター	1φ200V　2250W
う	電気温水器	1φ200V　4400W
え	パネルヒーター	1φ200V　1500W
お	パネルヒーター	1φ200V　2500W
か	洗浄便座	1φ100V　1261W
き	電気温水器	1φ100V　600W
く	自動水栓	1φ100V　0．6W
け	パネルヒーター	1φ200V　1500W
こ	電気温水器他	1φ100V　505．6W
さ	自動水栓	1φ100V　0．6W
し	洗浄便座	1φ100V　1260W
す	電気温水器他	1φ100V　630W
せ	電気温水器他	1φ200V　1500W
そ	IHヒーター	1φ200V　5500W



2階平面図　S=1/100

コンセント用途一覧表		
ア	電気温水器	1φ200V　1500W
イ	電気温水器	1φ100V　600W
ウ	洗浄便座	1φ100V　1261W
エ	パネルヒーター	1φ200V　500W

コンセント設備凡例

記号	名称	備考	
2	埋込コンセント＋スイッチ	2P15A×2	金属製P共
EET	〃	2P15A×1　接地極　接地端子付	金属製P共
2EET	〃	2P15A×2　接地極　接地端子付	金属製P共
	〃	2P20A接地極付（200V用）	金属製P共
30	〃	2P30A接地極付（200V用）	金属製P共
		2P15A×1　引掛型	金属製P共
2	埋込コンセント＋スイッチ	2P15A×2＋1P15A	金属製P共
WP	埋込防水コンセント	2P15A×1　接地極付	ロック式
2F	露出コンセント	2P15A×2　接地端子付	
TM 2EET		2P15A×2　接地極　接地端子付　タイムカード用	金属製P共
	OAフロアコンセント	電源＋弱電混合用	
		電話：MJ6極4芯　情報：8極8芯	
		2P15A×2　接地極付　インナーコンセント	
L●	埋込スイッチ	1P4A（0．5A）　2線式	金属製P共
C	電気錠制御機器	位置ボックス　樹脂製OB中四角D44　C付	
警備	警備保障制御盤	位置ボックス　樹脂製OB中四角D44　C付	
M AD	自動ドア	建築工事	

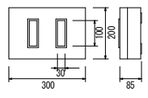
注記

1）ケーブル線で壁内立上げ引下げ部は、電線管にて保護の事。		
	EM−EEF　1．6−2C	天井ころがし
	EM−EEF　1．6−3C（1C：E）	〃
	EM−EEF　2．0−3C（1C：E）	〃
5.5	EM−CE　5．5^{sq}−3C（1C：E）	〃
OA	EM−EEF　1．6−2C	OAフロアー内ころがし
OA	EM−EEF　1．6−3C（1C：E）	〃
OA	EM−EEF　2．0−2C	〃
OA	EM−EEF　2．0−3C（1C：E）	〃
	EM−IE　2．0×3（PF16）	躯体内インペイ

特記

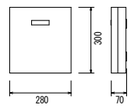
物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事	
図面名	管理棟 コンセント設備　1・2階平面図	縮尺　A1:1/100 A3:1/200
図番	E-06	

2窓壁掛型出退表示器



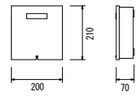
入力電源	AC100V 50／60Hz
入出力信号	2線式 信号消費電流500mA
ケース	鋼板製　クリーム色
表示素子	LED 3色4モード

中央制御盤



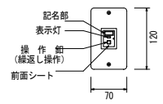
入力電源	AC100V　50／60Hz
入出力信号	2線式 信号出力50VA
ケース	鋼板製　クリーム色
接続機器台数	表示器・操作器の合計255台又は500mA以内
最大表示能力	人名・役職名または部屋名等254名

電源盤



入力電源	AC100V 50／60Hz
入出力信号	2線式
電源出力電流	DC24V 1A
ケース	鋼板製　クリーム色
接続機器台数	卓上型表示器・総合操作器 の合計10台又は1A以内

部屋操作器



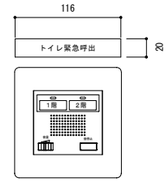
プレート	新金属
入出力信号	2線式 信号消費電流20mA
表示灯	LED 3色4モード
前面シート	差し込み式

廊下灯



プレート	新金属
入力信号	DC24V
表示灯	LED 3色4モード

トイレ呼出し装置



トイレ呼出表示詳細図

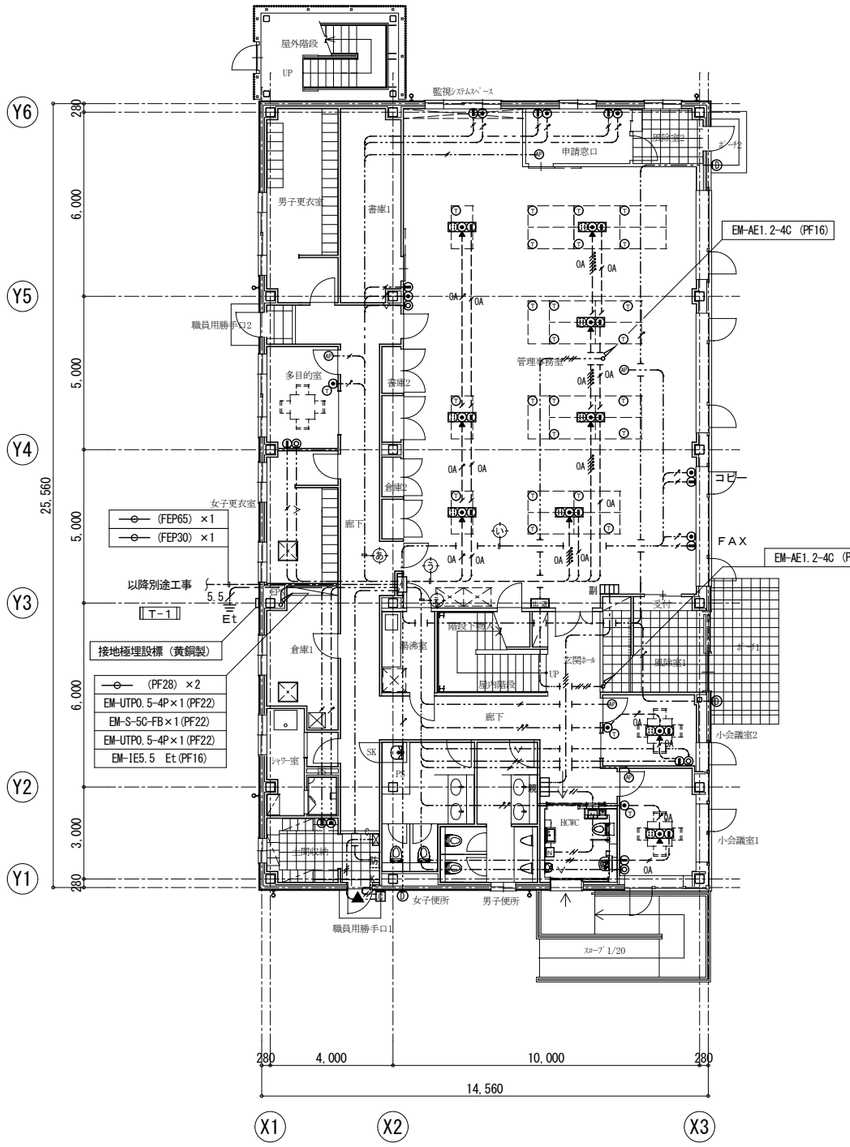
電気錠操作器(1回路)(露出型)

定格	電源電圧 AC100V 50/60Hz
消費電力	待機時：6W以下 最大負荷時：40W以下
使用周囲温度	0℃～＋40℃
使用周囲湿度	95%以下
警報保持時間	約5分　位置ボックス：1個用スイッチボックス

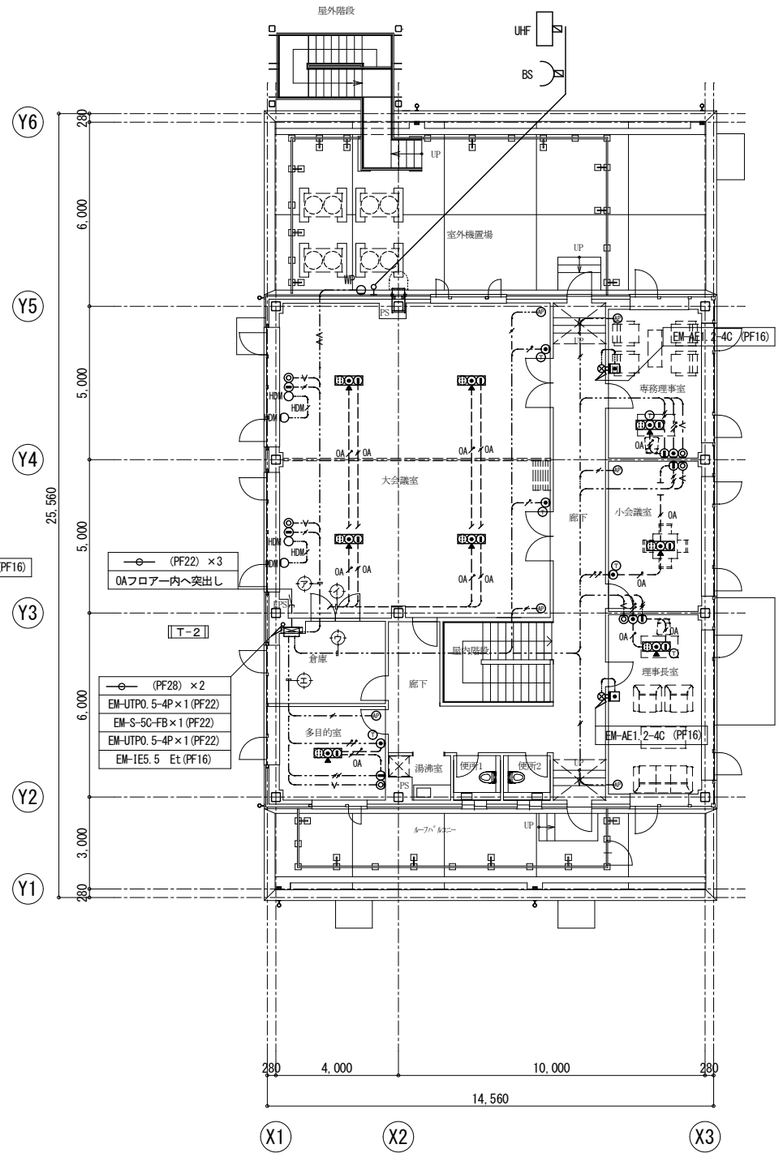
シークレットスイッチ(2線式)(埋込型)

電気錠制御方式	無極性2線式(電源搬送波重畳方式)
形状	埋込型

特記				物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事
				図面名	管理棟 弱電機器姿図
				縮尺	A1:N.S A3:N.S
				図番	E-07



１階平面図　S=1/100



２階平面図　S=1/100

凡　例

記　号	機　器　名　称	備　　考
	端　子　盤	Ｔ－１　鋼板製　埋込型　指定色　　端子盤詳細参照
	端　子　盤	Ｔ－２　鋼板製　埋込型　指定色　　端子盤詳細参照
	電　話　受　け　口	モジュラージャック　６極４芯　　金属製Ｐ付
	ド　ア　ホ　ン	別途
	多　機　能　電　話　機	別途
	情　報　受　け　口	モジュラージャック　８極８芯　　金属製Ｐ付
	テ　レ　ビ　端　子	端末ユニット
WP	防　雨　入　線　プ　レ　ー　ト	樹脂製
	ＯＡフロアー集合受口	２Ｐ１５Ａ×２接地極＋ＭＪ８極８芯＋ＭＪ６極４芯
	アクセスポイント	位置ボックス　樹脂製ＯＢ中四角　Ｃ付　金属製ノズルＰ　　機器別途
HDM	ＡＶコンセント	ＨＤＭＩ対応ストレート型　　壁付　天井付
UHF	ＵＨＦ平面アンテナ	２０素子相当
BS	ＢＳアンテナ	４５形ＢＳ・１１０度ＣＳ　　(2K・4K・8K対応)
	アンテナマスト	壁型　Ｌ≒６００　３８φ
親	呼　出　表　示　装　置	親機　２回路　ＡＣ１００Ｖ　５．５Ｗ
副	呼　出　表　示　装　置	副親機　２回路　ＤＣ１２Ｖ
	呼　出　ボ　タ　ン	壁取付型ひも付
	出　退　表　示　装　置	中央制御装置＋電源盤＋ＬＥＤ表示器　　機器姿図参照
	部　屋　操　作　器	埋込型　位置ボックス：樹脂製ＯＢ中四角Ｄ４４　Ｃ付き　　機器姿図参照
	廊　下　灯	埋込型　位置ボックス：樹脂製ＯＢ中四角Ｄ４４　Ｃ付き　　機器姿図参照
C	電　気　錠　制　御　装　置	機器姿図参照
K	シークレットスイッチ	機器姿図参照
K	電　気　錠	別途工事
監	警備保障制御機器	別途

配線特記

＊　図中特記無き配線は下記とする。

設備名	配　線　記　号	配　　線　　内　　容	
電　話		ＥＭ－ＵＴＰ０．５－４Ｐ×１	ころがし
		ＥＭ－ＵＴＰ０．５－４Ｐ×２	ころがし
	OA	ＥＭ－ＵＴＰ０．５－４Ｐ×１	ＯＡ内ころがし
情　報		ＥＭ－ＵＴＰ０．５－４Ｐ×１	ころがし
		ＥＭ－ＵＴＰ０．５－４Ｐ×２	ころがし
	OA	ＥＭ－ＵＴＰ０．５－４Ｐ×１	ＯＡ内ころがし
テ　レ　ビ		ＥＭ－Ｓ－５Ｃ－ＦＢ×１	ころがし
		ＥＭ－Ｓ－５Ｃ－ＦＢ×２	ころがし
呼出表示		ＥＭ－ＡＥ１．２－２Ｃ	ころがし
出退表示		ＥＭ－ＡＥ１．２－２Ｃ×２	ころがし
電気錠		ＥＭ－ＡＥ１．２－２Ｃ	ころがし

註　記

＊　配線損傷の恐れがある場合は、適合配管にて保護の上通線のこと。
＊　壁部立下・立上配線については、保護管にて保護のこと。
＊　位置ボックスは、指示無きものは樹脂製品とする。
＊　ＥＭ－ＵＴＰケーブルは、Ｃａｔ６対応とする。

あ	ＥＭ－Ｓ－５Ｃ－ＦＢ×１	ころがし	テレビ
	ＥＭ－ＵＴＰ０．５－４Ｐ×６	ころがし	情報
	ＥＭ－ＵＴＰ０．５－４Ｐ×５	ころがし	電話
い	ＥＭ－ＵＴＰ０．５－４Ｐ×３	ころがし	情報
	ＥＭ－ＵＴＰ０．５－４Ｐ×２	ころがし	電話
う	ＥＭ－ＵＴＰ０．５－４Ｐ×７	OA内ころがし	情報
	ＥＭ－ＵＴＰ０．５－４Ｐ×２４	OA内ころがし	電話
え	ＥＭ－Ｓ－５Ｃ－ＦＢ×２	ころがし	テレビ
	ＥＭ－ＵＴＰ０．５－４Ｐ×６	ころがし	情報
	ＥＭ－ＵＴＰ０．５－４Ｐ×４	ころがし	電話

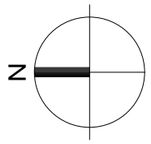
ア	ＥＭ－Ｓ－５Ｃ－ＦＢ×４	ころがし	テレビ
	ＥＭ－ＵＴＰ０．５－４Ｐ×２	ころがし	情報
イ	ＥＭ－ＵＴＰ０．５－４Ｐ×４	OA内ころがし	電話
	ＥＭ－ＵＴＰ０．５－４Ｐ×４	OA内ころがし	情報
ウ	ＥＭ－Ｓ－５Ｃ－ＦＢ×３	ころがし	テレビ
	ＥＭ－ＵＴＰ０．５－４Ｐ×１０	ころがし	電話
	ＥＭ－ＵＴＰ０．５－４Ｐ×１１	ころがし	情報
エ	ＥＭ－Ｓ－５Ｃ－ＦＢ×１	ころがし	テレビ
	ＥＭ－ＵＴＰ０．５－４Ｐ×３	ころがし	電話
	ＥＭ－ＵＴＰ０．５－４Ｐ×３	ころがし	情報

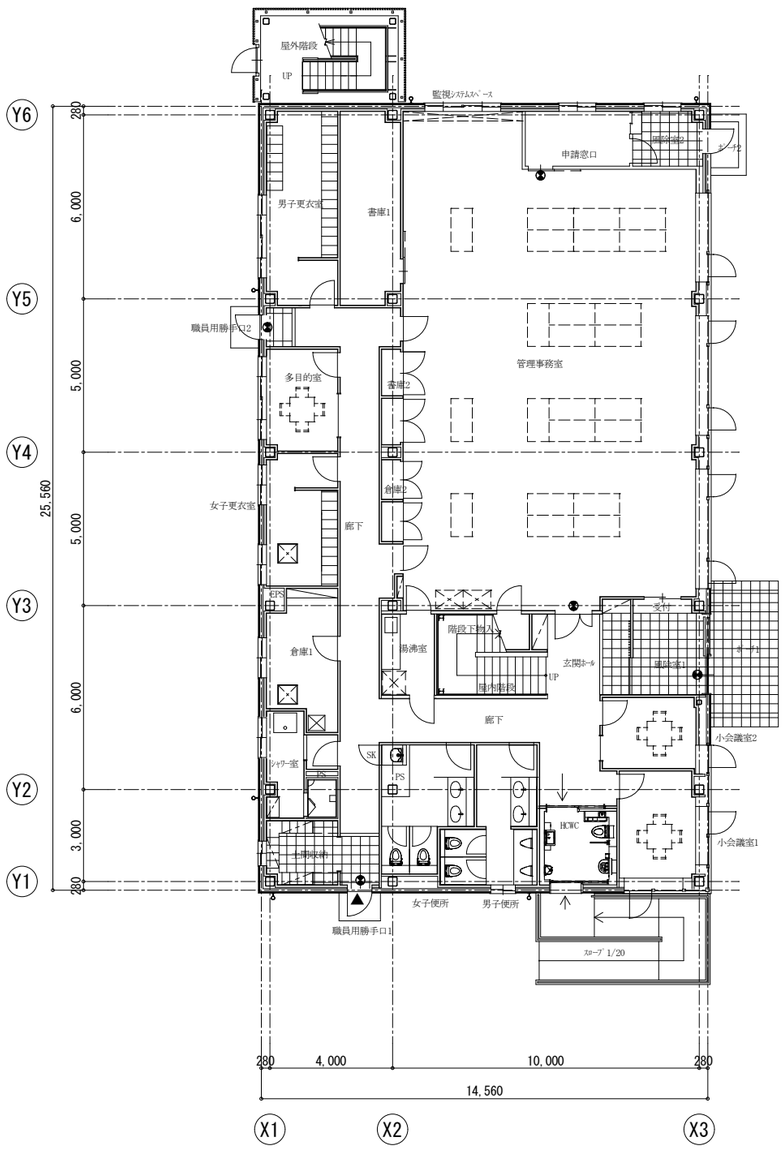
端子盤詳細

端子盤名	電　話　設　備	情報配線設備	テレビ共聴設備	盤　形　式
Ｔ－１	保安器収納スペース 5回線分） 端子台100Pスペース	スイッチングハブ POE 8ポート×1 16ポート×1	6分配器　　(2K・4K・8K対応)	鋼板製壁掛型指定色 木板取付 AC100Vｺﾝｾﾝﾄ×2
Ｔ－２	端子台50Pスペース	スイッチングハブ POE 8ポート×1 16ポート×1	2分岐器　　(2K・4K・8K対応) 8分配器　　(2K・4K・8K対応) 増幅器　CS/BS-1F・UHFﾌﾞｰｽﾀ (2K・4K・8K対応)	鋼板製壁掛型指定色 木板取付 AC100Vｺﾝｾﾝﾄx2

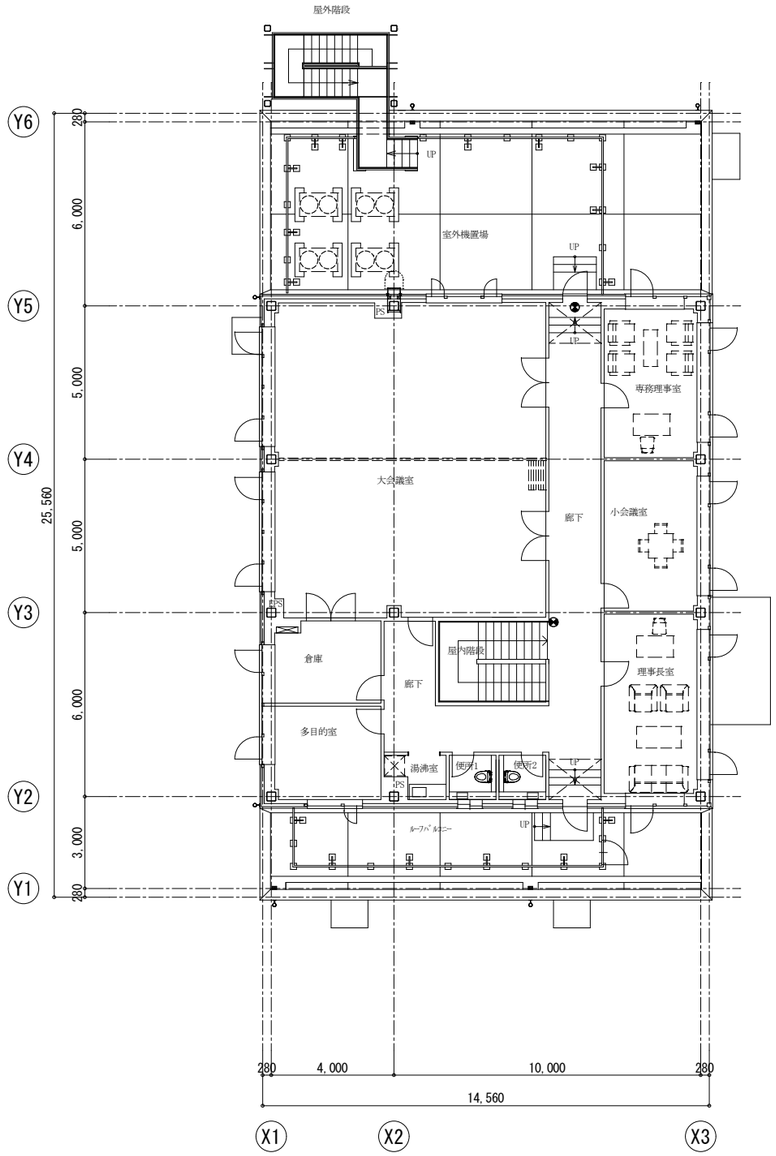
特記

物件名	第Ｒ6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事		
図面名	管理棟 弱電設備　１・２階平面図	縮尺	A1:1/100 A3:1/200
図番	E-08		





１階平面図　S=1/100



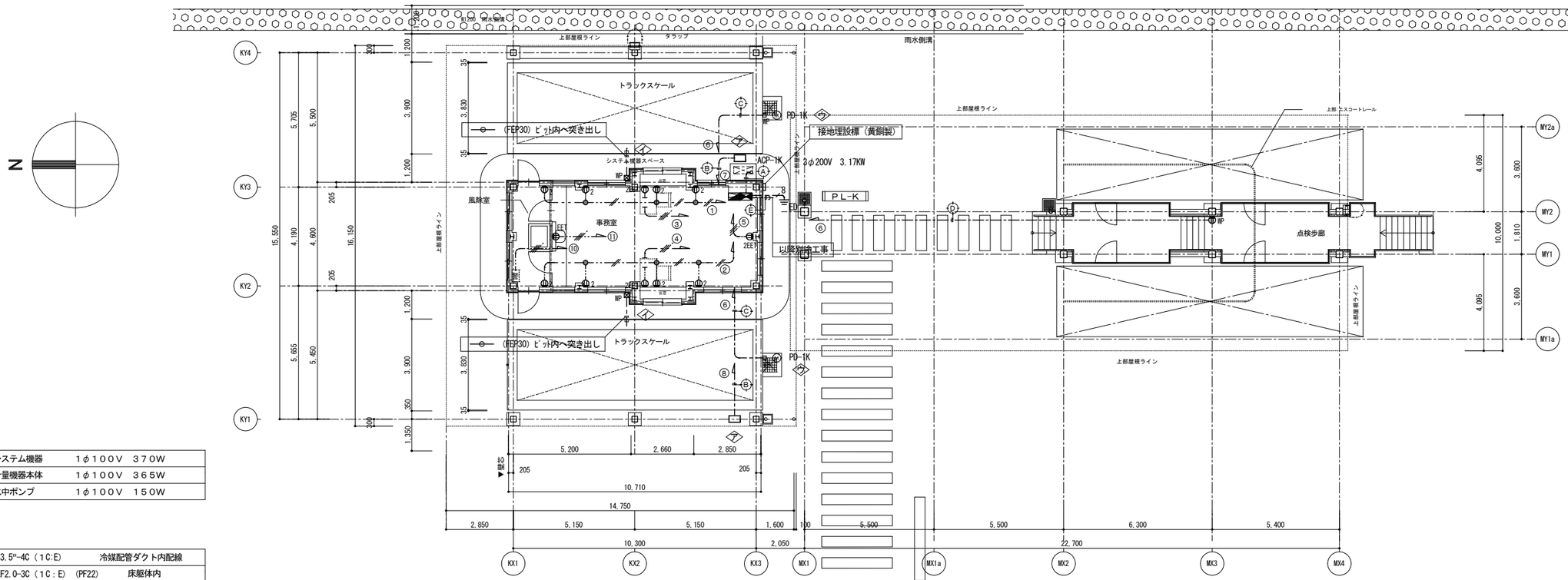
２階平面図　S=1/100

誘導標識



特記

物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事
図面名	管理棟 誘導標識設備　１・２階平面図
縮尺	A1:1/100 A3:1/200
図番	E-09



計量棟　平面図

目視監視施設　平面図

㋐	システム機器	1φ100V　370W
㋑	計量機器本体	1φ100V　365W
㋒	水中ポンプ	1φ100V　150W

Ⓐ	EM-CE3.5ˢᵠ-4C（1C:E）		冷媒配管ダクト内配線
Ⓑ	EM-EEF2.0-3C（1C：E）	(PF22)	床躯体内
Ⓒ	EM-EEF2.0-3C（1C：E）	(PF22)	床躯体内
Ⓓ	EM-EEF2.0-3C（1C：E）	(PF22)	床躯体内
Ⓔ	—o—	(FEP65) ×3	地中埋設

動力・電灯分電盤名称			PL−K		
キャビネット方式			W		
電気方式	種別	商用	電気方式	種別	商用
	相数	3相3線式		相数	単相3線式
	電圧	200V		電圧	100/200V
負荷容量		3.17KW	負荷容量		4,830VA
主幹容量	定格電流	50A	主幹容量	定格電流	50A

鋼板製指定色仕上

3Φ3W200V

EM−CE5.5ˢᵠ−3C　(暫定)

MCCB3P 50／50A

ELCB3P 50／30A　ELCB3P 50／30A

負荷記号	ACP−1K	スペース
負荷名称	空調機	
負荷容量	3.17KW	
備考		

1Φ3W200／100V

EM−CE8ˢᵠ−3C（暫定）

ELCB3P50/50A

備考	リモコンリレー等 T/U	Ry20A	電圧(V)	負荷容量(VA) コンセント	電灯	定格電流	配線用遮断器	供給室名	回路番号
			100		700	20A	MCCB2P	事務室	①
			100			20	MCCB2P	予備	③
			100	400		20	ELCB	事務室	①
			100	365		20	ELCB	計量機器本体	③
コピー FAX			100	300		20	ELCB	事務室	⑤
			100	370		20	ELCB	システム機器	⑦
T-K内機器			100	300		20	ELCB	通信機器	⑨
電気温水器			100	600		20	ELCB	事務室	⑪
			100			20	ELCB	予備	⑬
				2,335	700				
				3,035					

4，830

回路番号	供給室名	配線用遮断器	定格電流	負荷容量(VA) 電灯	コンセント	電圧(V)	リモコンリレー等 Ry20A	T/U	備考
②	目視監視施設	MCCB2P	20A	260		100			
④	予備	MCCB	20			100			
②	事務室	ELCB	20		400	100			
④	計量機器本体	ELCB	20		365	100			
⑥	水中ポンプ	ELCB	20		300	100			
⑧	システム機器	ELCB	20		370	100			
⑩	警備保障機器	ELCB	20		100	100			
⑫	予備	ELCB	20			100			
⑭	予備	ELCB	20			100			
				260	1,535				
				1,795					

電気設備凡例

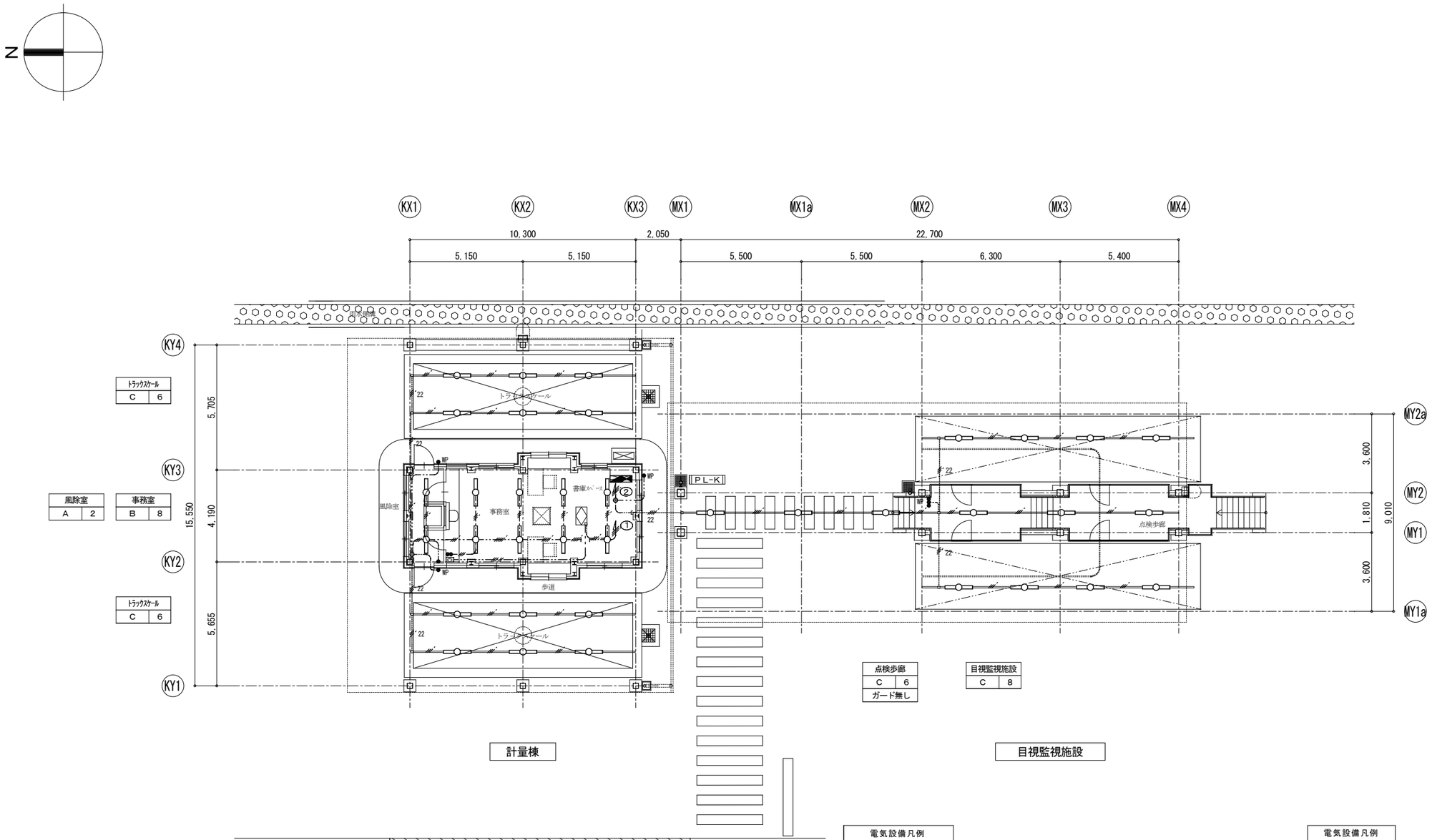
記号	名称	備考
	動力・電灯分電盤	分電盤結線図参照
	システム機器	別途
	警備保障制御機器	別途
2	埋込コンセント	2P15A×2　金属製P共
EET	〃	2P15A×1　接地極　接地端子付　金属製P共
2EET	〃	2P15A×2　接地極　接地端子付　金属製P共
WP	埋込防水コンセント	2P15A×2　接地極付
	空調機	機械設備　3φ200V　3．17KW
M	排水ポンプ	機械設備　1φ100V　150W
WP	ジャンクションボックス	SUS製　防水型　100×100×100
WP	プルボックス	SUS製　防水型　200×200×200

電気設備凡例

1）記入なき配線は下記による。但しケーブル線で壁内立上げ引下げ部は、電線管で保護の事。		
—···—···—	EM−EEF　1．6−2C	天井ころがし
—···—//—···—	EM−EEF　2．0−2C	〃
—···—//—···—	EM−EEF　2．0−3C（1C：E）	〃

特記

物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事
図面名	計量棟・目視監視施設　動力・コンセント設備　平面図
縮尺	A1:1/100　A3:1/200
図番	E-10



計量棟

目視監視施設

A	LED直付型40形	B	LED直付型40形	C	LED直付型40形
					防湿型・防雨型
					SUSガード付
	一般タイプ、3200lmタイプ		一般タイプ、4000lmタイプ		一般タイプ、5200lmタイプ
	消費電力20．6W、定格出力型、電圧100～242V		消費電力25．0W、定格出力型、電圧100～242V		消費電力32．5W、定格射出型、電圧100～242V
	本体：鋼板（白色粉体塗装）		本体：鋼板（白色粉体塗装）		本体：ステンレス（高反射白色粉体塗装）
	ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）		ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）		防湿型・防雨型ライトバー：ポリカーボネート（乳白）
	昼白色（5000K）、Ra83、電源装置はライトバー側に内蔵		昼白色（5000K）、Ra83　電源装置はライトバー側に内蔵		IP23防湿型、昼白色（5000K）、Ra83
	公共型番：LSS9－4－30		公共型番：LSS9－4－37		公共型番：LSS1MP/RP－4－46

電気設備凡例

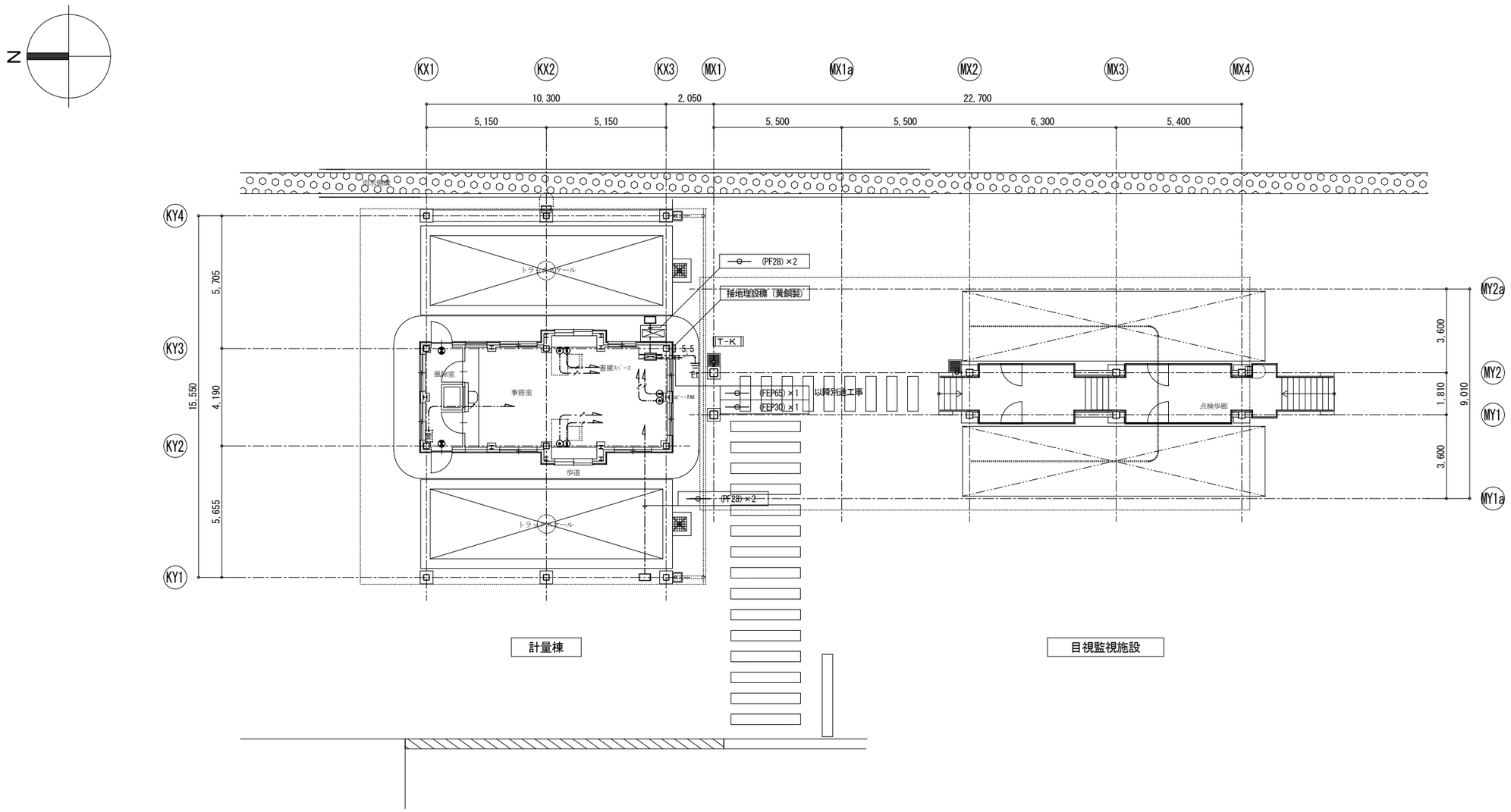
記号	名称	備考	
	電灯分電盤	分電盤結線図参照	
	動力分電盤	分電盤結線図参照	
	照明器具	照明器具姿図参照	
	埋込スイッチ	1P15Ax1	金属製P共
	〃	1P15Ax2	金属製P共
WP	防雨スイッチ	1P15Ax3	樹脂製P付
WP	〃	1P15Ax1	樹脂製P付
	換気扇スイッチ	全熱交換機用コントロール　（機械設備）	
	レースウエイ	高耐食性メッキ鋼板	
	全熱交換機	機械設備	

電気設備凡例

1）記入なき配線は下記による。但しケーブル線で壁内立上げ引下げ部は、電線管で保護の事。	
EM－EEF　1．6－2C	天井ころがし
EM－EEF　1．6－3C	〃
EM－EEF　1．6－3C（1C：E）	〃
EM－EEF　1．6－2Cx2	〃
EM－EEF　1．6－2Cx2（1C：E）	〃
EM－EEF　1．6－2C+3C	〃
EM－EEF　2．0－3C（1C：E）	〃
EM－EEF　1．6－3C（1C：E）（HIVE22）	天井・壁露出
EM－EEF　1．6－2Cx2（1C：E）（HIVE22）	〃
EM－EEF　1．6－3C　1C：E　（レースウェイ内）	
EM－EEF　1．6－2Cx2（1C：E）（レースウエイ内）	

特記

物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事
図面名	計量棟・目視監視施設 電灯設備　平面図
縮尺	A1:1/100 A3:1/200
図番	E-11



凡 例

記 号	機 器 名 称	備 考
▭	端 子 盤	T－K 鋼板製 埋込型 指定色
◉	電 話 受 け 口	モジュラージャック 6極4芯 金属製P付
◉	情 報 受 け 口	モジュラージャック 8極8芯 金属製P付
警	警備保障制御機器	別途
▭	シ ス テ ム 機 器	別途
◉	誘 導 標 識	避難口誘導標識

配 線 特 記

＊ 図中特記無き配線は下記とする。

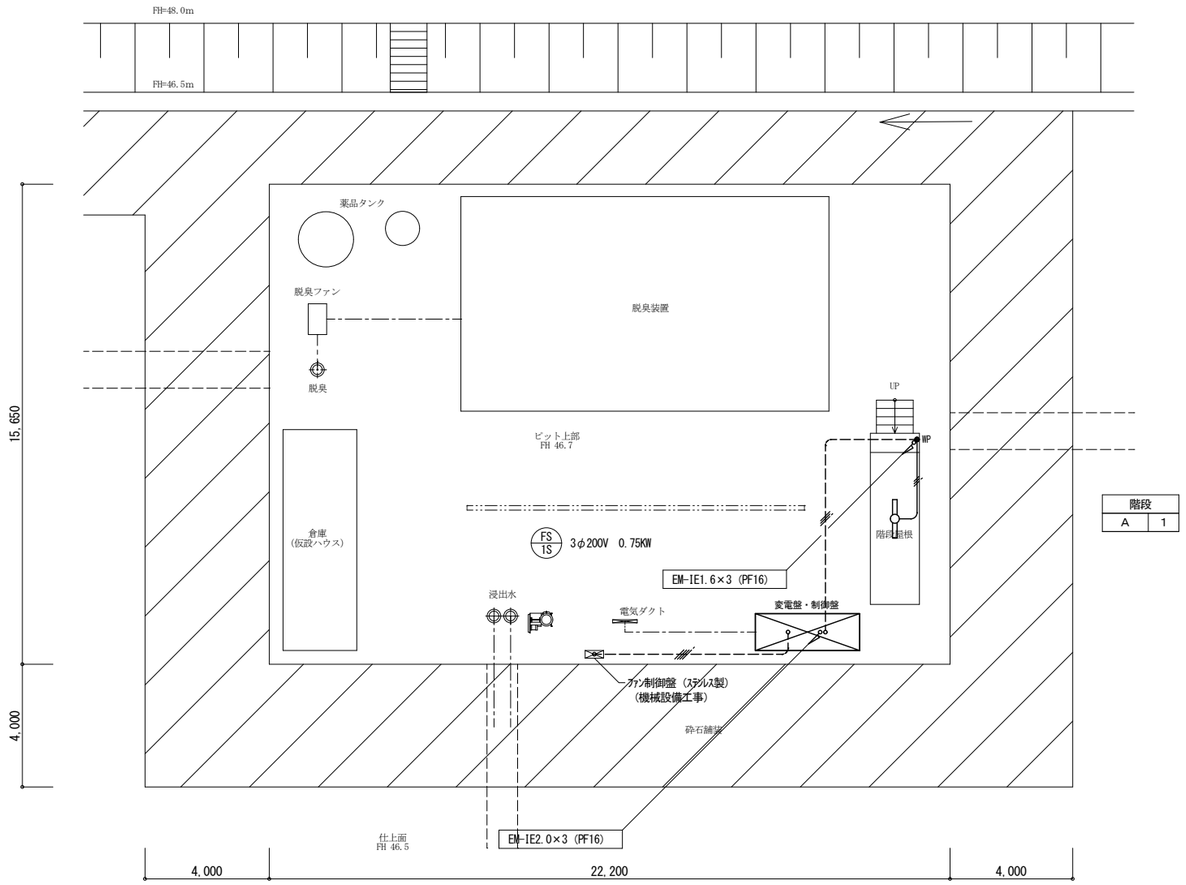
設備名	配 線 記 号	配 線 内 容	
電 話	----／----	EM－UTP0．5－4P×1	ころがし
情 報	----／----	EM－UTP0．5－4P×1	ころがし

註 記

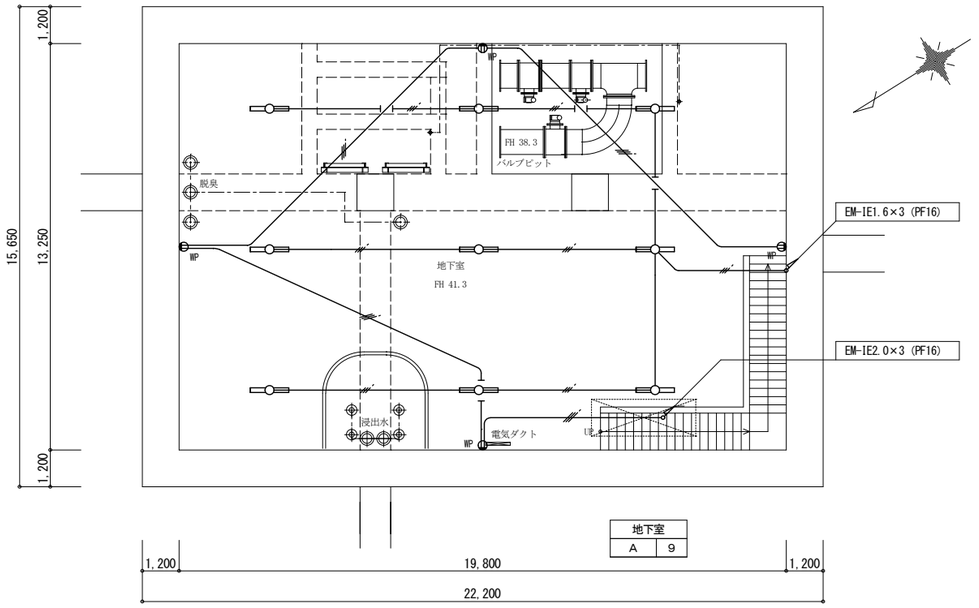
＊ 配線損傷の恐れがある場合は、適合配管にて保護の上通線のこと。
＊ 壁部立下・立上配線については、保護管にて保護のこと。
＊ 位置ボックスは、指示無きものは樹脂製品とする。
＊ EM－UTPケーブルは、Cat６対応とする。

特記

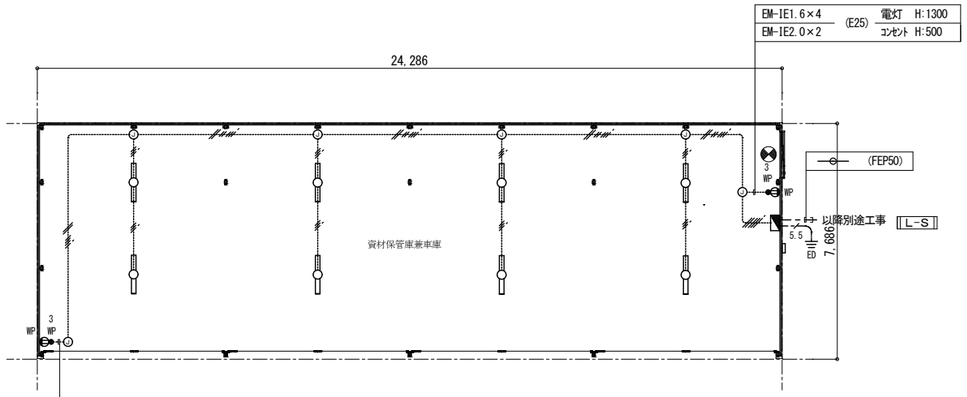
物件名	第R6-8号 新産業廃棄物最終処分場建設工事		
図面名	計量棟・目視監視施設 弱電設備 平面図	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図番 E-12



ピット上部平面図　S=1/100



地下室平面図　S=1/100



資材保管庫兼車庫　S=1/100

資材保管庫兼車庫	
A	8

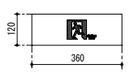
A	LED直付型40形

防湿型・防雨型



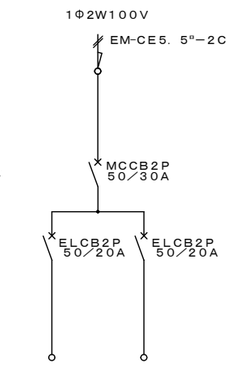
一般タイプ、5200lmタイプ
消費電力32．5W、定格出力型、電圧100～242V
本体：ステンレス（高反射白色粉体塗装）
防湿型・防雨型ライトバー：ポリカーボネート（乳白）
IP23防湿型、昼白色（5000K）、Ra83
公共型番：LSS1MP/RP-4-46

誘導標識



分電盤名称		L-S
キャビネット方式		W
電気方式	種別	商用
	相数	1相2線式
	電圧	100V
負荷容量		460VA
主幹容量	定格電流	30A

鋼板製指定色仕上



電灯	コンセント
260VA	200VA

電気設備凡例

記号	名称	備考
	電灯分電盤	L-S 分電盤結線図参照
	照明器具	照明器具姿図参照
WP	埋込スイッチ	1P15Ax1　樹脂製P付
3 WP	埋込スイッチ	3W15Ax1　樹脂製P付
WP	埋込防水コンセント	2P15Ax2　接地極付
	誘導標識	照明器具姿図参照
J	ジャンクションボックス	鋼製 露出 丸型（E25） 3方出・2方出

電気設備凡例

1）記入なき配線は下記による。		
	EM-IE1．6×3 （PF16）	躯体内インペイ
	EM-IE2．0×3 （PF16）	〃
	EM-IE2．0×4 （PF22）	躯体内床インペイ
	EM-IE2．0×3 （PF16）	〃
	EM-IE1．6×3 （E19）	露出
	EM-IE2．0×5 （E25）	〃
	EM-IE2．0×2+1．6×5 （E25）	〃
	EM-IE2．0×2+1．6×4 （E25）	〃

特記

物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事		
図面名	浸出水調整槽・資材保管庫兼車庫 動力・電灯設備　平面図	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図番 E-13

第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事　　設計図

仕様書

Ⅰ　工事概要

1．工事場所　宮城県黒川郡大和町鶴巣大平・幕柳（地内）

2．建物概要

建物名称	構 造	階 数	建築基準法による延面積	消防法施行令別表第一	耐震安全性の分類	備 考
管理棟	S造	2階	624.68 ㎡	(15)項		
計量棟	S造	1階	239.82 ㎡	(15)項		
目視監視施設	S造	1階	234.00 ㎡	(15)項		
資材保管庫兼車庫	S造	1階	186.66 ㎡	(16)項ロ		

3．工事種目（●印のついたものが対象工事）

建物別及び屋外 / 工事種目	工事種別 管理棟	計量棟	目視監視施設	資材保管庫兼車庫	浸出水調整槽	屋　外
● 空気調和設備	新設 一式	新設 一式				
● 換気設備	新設 一式	新設 一式			新設 一式	
○ 排煙設備						
● 計装設備	新設 一式	新設 一式				
● 衛生器具設備	新設 一式	新設 一式				
● 給水設備	新設 一式	新設 一式	新設 一式			
● 排水設備	新設 一式	新設 一式				
● 給湯設備	新設 一式					
● 消火設備	新設 一式	新設 一式	新設 一式	新設 一式		
○ 厨房設備						
○ ガス設備						
○ 仮設工事						
○ 撤去工事						
○ エア設備						
○ 浄化槽設備						

4．指定部分　　● 無　○ 有　（対象部分：　　）
指定部分工期：令和　　年　　月　　日

5．設備概要（●印の付いたものを適用する。）

方式及び種別	設　備　概　要
空調方式 主要熱源機器	● 電気ヒートポンプ方式 ○
自動制御方式	○ 電気式　○ 電子式　○ デジタル式
給水方式	○ 高置タンク方式　● ポンプ直送方式　○ 水道直結方式　○ 水道直結増圧方式
排水方式	建物内の汚水と雑排水（● 合流式　○ 分流式） ポンプ排水　● 有（○ 汚物　○ 雑排水　○ 湧水　● ピット排水）　○ 無 建物外放流先 （1）汚　水　○ 直放流下水管　○ 浄化槽　●マンホールポンプ槽 （2）雑排水　○ 直放流下水管　○ 浄化槽　●マンホールポンプ槽 （3）浄化槽処理水　○ 側溝
消火設備の種別	○ 屋内消火栓設備　○ スプリンクラー設備　○ 泡消火設備 ○ 連結散水設備　○ 連結送水管　○ 不活性ガス消火設備（○　　）

6．改修内容

Ⅱ　工事仕様

1．共通仕様

（1）図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の下記仕様書等のうち、●印の付いたものを適用する。
- ● 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和４年版）（以下「標準仕様書」という。）
- ○ 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和４年版）（以下「改修標準仕様書」という。）
- ● 公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（令和４年版）（以下「標準図」という。）

（2）電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。
なお、電気設備工事の特記仕様書は（　／　）図、建築工事の特記仕様書は（　／　）図による。

2．特記仕様

章、項目及び特記事項は、●印の付いたものを適用する。

章	項 目	特　記　事　項
● 一般共通事項	● 環境への配慮	（1）本工事において、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和4年2月閣議決定）」に定める特定調達品目の分野「公共工事」の品目を調達する場合は、判断の基準等を満たすものとする。 （2）建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
	● 材料・機材の品質等	（1）本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 （2）別表－1に機材等名が記載された製造業者等は、次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、製造業者等名が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。 ① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③ 安定的な供給が可能であること。 ④ 法令等で定めて許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。
	● 電気保安技術者	● 適用する　○ 適用しない

● 工事用仮設物	構内につくることが　● できる　○ できない
● 足場その他	● 別契約の関係受注者が定置したものは無償で使用できる。 （● 建築工事　○ 電気設備工事　で設置する。） ○ 本工事で設置する。 ○ 内部足場等　（○　種　○　種　○　種） ○ 外部足場等　（○　種　○　種　○　種　○　種） 「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置にあたっては、同ガイドラインの別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における２の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
● 建設発生土の処理	● 埋戻し後の建設発生土は、監督職員が指示する構内の場所に敷きならしとする。 ○ 現場説明書による。
● 埋戻し土・盛土	● 根切り土の中の良質土 以下の配管は、管の周囲に山砂の類を施す。 ○ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP-VD） ○
○ 運転操作説明板	系統図、機器等の取り扱い方及び重要な定期点検項目を記載したアクリル樹脂製の板を機械室に設ける。説明板の大きさは、約　㎡とする。
● 機材の承諾図	機械設備工事機材承諾図様式集（令和４年版）によるほか、監督職員の指示による。
● 総合試運転調整	● 本工事　○ 別途 調整項目（測定箇所等は監督職員の指示による。） ● 風量調整　● 水量調整　● 室内外空気の温湿度の測定 ○ 室内気流及びじんあいの測定　○ 騒音の測定 ○ 飲料水の水質の測定：費用（○ 本工事　○ 別途） ○ 雑用水の水質の測定：費用（○ 本工事　○ 別途）
● 電動機	換気扇、圧力扇及び標準仕様書に記載なく特記のないものの電動機の保護規格は、製造者規格による標準品としたい。
● 電源周波数	● 50Hz　○ 60Hz
● 容量等の表示	（1）機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。 （2）電動機出力、燃料消費量、圧力損失等は、原則として表示された数値以下とする
● 耐震措置	設備機器の固定は、下記（1）（2）による。 （1）設計用水平地震力は、機器の重量 [kN]（水槽類は満水時の液体重量を含む設備機総重量）に次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。 設計用標準水平震度 ・上層階とは地階を除く2~6階建の場合は最上階、7~9階建の場合は上層2階、10~12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。 ・中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの ・重要機器は次による。 ［名称：空冷ヒートポンプエアコン　、記号：ＥＨＰ　］ ［名称：　　、記号：　　］、［名称：　　、記号：　　］ ［名称：　　、記号：　　］、［名称：　　、記号：　　］ ［名称：　　、記号：　　］、［名称：　　、記号：　　］ ・水槽類にはオイルタンクを含む。 （2）設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の1/2とする。

設置場所	機器種別	○ 特定の施設 重要機器	○ 特定の施設 一般機器	● 一般の施設 重要機器	● 一般の施設 一般機器
上層階 屋上及び塔屋	機　器 防振支持の機器 水　槽　類	2.0 2.0 2.0	1.5 2.0 1.5	1.5 2.0 1.5	1.0 1.5 1.0
中間階	機　器 防振支持の機器 水　槽　類	1.5 1.5 1.5	1.0 1.5 1.0	1.0 1.5 1.0	0.6 1.0 0.6
地階・１階	機　器 防振支持の機器 水　槽　類	1.0 1.0 1.5	0.6 1.0 1.0	0.6 1.0 1.0	0.4 0.6 0.6

● 地中埋設標等	（1）地中埋設標　　● 要（図示による。）　　○ 不要 （2）埋設表示用テープ　● 要（排水管を除く。）　○ 不要
○ 配管	（1）ステンレス配管の接合は、下記による。 ○ 呼び径60su以下（ ○ SAS322満足した継手(拡管接合)　○　　） （2）溶接部の非破壊検査　○ 要 （抜取率：○ 標準仕様書(機械設備工事編)による ○　%）※検査費用は別途）
○ 絶縁継手	取り付け箇所及び仕様は図示による。
○ 保温	○ 屋外露出部の（○ 機器類　○ 配管類）には(○ 凍結防止ヒーター　○ 防凍保温)を行う。 なお、配管類には弁類を含むものとする。 (対象機器類：○　　○　　○　　○　　) (対象配管類：○ 給水管　○ 消火管　○ 膨張管　○ ドレン管) 凍結防止ヒーター：自己サーモ式とし、防凍保温を施すものとする。 防凍保温　　：標準仕様書第2編3.1.4及び3.1.5によるものとする。 但し、保温厚さは配管の呼び径25以下は50mm以上、呼び径32以上は40mm以上とする。 ○ 共同溝、トレンチの保温は（標準仕様書第2編の施工箇所　　）を適用する。 ○ 多湿箇所は下記の場所とする。(天井内共多湿箇所とする。) （○ 浴室(ユニットは除く）○ シャワー室（ユニットは除く）○ 脱衣室　○　　） ○ 屋内露出（○ 実験室　○　　）の保温外装は（○ アルミガラスクロス　○　　）とする。
○ 塗装及び仕上げ	露出機材の塗装仕上げは下記による。 ○ 屋外 ：○ ドレン管　（○ 指定色塗装　○　　） ○ 金属電線管(○ 溶融亜鉛メッキ仕上[付着量300g/㎡以上] ○ 指定色塗装) ○ 屋内 ：○　　（○ 指定色塗装　○　　）
● 電線類	電線及びケーブルの規格は標準仕様書第4編1.5.1表4.1.11による。
○ 天井仕上区分	（ ）書きの室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。
○ 吊り及び支持	（○ 槽内　○　　）の吊り金物・支持金物類はステンレス鋼製（SUS304）とする。
○ 施工調査	事前調査　○ 本工事 調査項目　○ 既存資料調査 調査範囲　○ 図示 調査方法　○ 図示 ○ はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、事前に走査式埋設物調査を行い、監督職員に報告を行うこと。 ○ 石綿含有分析調査（定性分析により石綿が含有されている場合は、定量分析を実施する。） ○ 石綿含有分析調査対象部位：○ダクトフランジ部　1カ所　　○配管エルボ部　　カ所
● 試験	（1）各種配管の試験は、新設配管に適用する。 （2）新設配管は、既設配管との接続前に試験を行う。
● 他工事又は他工種との取合い	工事区分表による。ただし、これにより難い場合は監督職員と協議する。

● 空気調和設備

● 設計温湿度

区分		外気（地区名：仙台） 温度(DB)	外気 湿度(RH)	屋内 一般・系統 温度(DB)	屋内 一般・系統 湿度(RH)	屋内 ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｰ室 温度(DB)	屋内 ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｰ室 湿度(RH)	屋内 系統 温度(DB)	屋内 系統 湿度(RH)
夏期	9時	31.1℃	64.4%	26℃	成行	℃	%	28℃(参考)	50%(参考)
	12時	32.9℃	59.0%						
	14時	32.9℃	57.4%						
	16時	31.9℃	61.4%						
冬期		-2.0℃	68.8%	22℃	成行	℃	%	19℃(参考)	40%(参考)

○ 鋼板製煙道	伸縮継手、掃除口及びばいじん量測定口の位置は図示による。
○ ダクト	○ 低圧ダクト　○ コーナーボルト工法（長辺の長さが1,500mm以下の部分） ○ アングルフランジ工法 ○ 高圧1ダクトの適用範囲は図示による。 ○ ステンレスダクト及び塩化ビニルダクトの仕様及び適用範囲は図示による。
○ 風量測定口	取り付け箇所は図示による。
○ チャンバー	（1）内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。 （2）空気調和機に取り付けるサプライチャンバー、レタンチャンバー及び風道系で消音内貼りしたチャンバーには点検口を設け、大きさは図示による。 （3）外壁ガラリに直接取り付けるチャンバー類は雨水の滞留のないように施工する。
○ ダンパー	（1）防煙ダンパー　　復帰方式（○ 遠隔　○　　） （2）ピストンダンパー　復帰方式（○ 遠隔　○　　）
○ 配管材料	（1）冷温水管　　○ （2）冷却水管　　○ （3）蒸気管　給気管　○ 還　管　○ （4）油管　　○ （5）冷媒管　　● 冷媒用被覆銅管 （6）膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管 ○ （7）ドレン管　　● 硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ） ○
○ 弁類	JIS又はJV（ ○ 5k　○ 10k（図示部分）） 65A以上の冷温水・冷却水用弁装置の仕切弁はバタフライ弁とする。 ○ 鋼管用伸縮管継手の種類は図示による。 ○ ステンレス配管を使用する場合の材質はステンレス製とする。
● 保温及び消音内貼り	○ 外気取入れダクト（OAダクト）（保温範囲は、○ 図示による　○　　） ○ 還りダクト（RAダクト）（保温範囲は、○ 図示による　○　　） ● 冷媒管の外装の種別は（● 図示による　○　　） ○ 膨張タンクよりボイラ等への補給水管の保温は、標準仕様書第2編3.1.4の温水管の項による。 ○ 建物内の空気抜き管の保温は、標準仕様書第2編3.1.4の温水管の項による。

● 換気設備

● ダクト	● 低圧ダクト　○ コーナーボルト工法（長辺の長さが1,500mm以下の部分） ○ アングルフランジ工法　● スパイラルダクト ○ 高圧1ダクトの適用範囲は図示による。 ○ ステンレスダクト及び塩化ビニルダクトの仕様及び適用範囲は図示による。 ○ 厨房系統の長方形排気ダクトの板厚は、標準仕様書より1番手厚いものを使用する。
○ 風量測定口	取り付け箇所は図示による。
○ ダンパー	空気調和設備の当該項目による。
○ 排気ダクトのシール	○ 浴室（シャワー室、脱衣室を含む。）系統　○（　　）系統
● チャンバー	空気調和設備の当該項目による。
● 保温	● 全熱交換ユニット用の外気取入れダクト （○ 保温範囲及び仕様は図示による　● 全て　　） ● 全熱交換ユニット用の排気用ダクト （○ 保温範囲及び仕様は図示による　● 全て　　） ○（○ 厨房　○ 湯沸室　　）用の隠ぺい部ダクト（仕様はｈ・(イ)・ⅠX）とし範囲は図示による。 ● 排気ダクト （● 外壁から１ｍ　○ 全て　　）
○ 換気扇	○ 有圧換気扇を新設する。

○ 排煙設備

○ ダクト	○ 亜鉛鉄板　○
○ 排煙口の形式	○ 図示による。
○ 排煙口手動開放装置（開放及び復帰方式）	○ ワイヤー式　○ 電気式（遠隔操作　○ 不要　○ 要）
○ 排煙風量測定	建築設備定期検査業務基準書（2016年版）（（一財）日本建築設備・昇降機センター）の排煙風量の検査方法に準ずる。

● 計装設備

○ システム構成その他	別図による。
● 電気計装用機材	使用する電線及びケーブルは、原則としてEM電線又はEMケーブルとする。 屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 天井内隠ぺいの配線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。

● 衛生器具設備

● 衛生器具付属水栓	水抜栓を使用する場合、水栓は固定こま式とする。
● 洗面器	手洗器は止水栓付とする。
● 衛生器具ユニット	● 器具表による
● 浴室・シャワーユニット	● 建築工事

● 給水設備

● 配管材料	（1）給水引込管（直結部分）は水道事業者の指定による（ ○　　） （2）地中埋設配管　　● 水道用耐衝撃性硬質塩ビ管（ＨＩＶＰ） （3）その他の一般配管　○ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP-VB） ● 一般配管用ステンレス鋼鋼管（拡管式接合）
○ 水栓	○ 台所流し用の水栓は泡沫式とする。 ○ 水抜栓を使用する場合、水栓は固定こま式とする。 （○ ただし、屋外に設ける水栓は耐寒水栓とする。）
○ 量水器	○ 親メーター（既存品）　：○ 現地表示式（直読式）　● 遠隔表示式（○ 電文式 ○　） ○ 子メーター（買い取り）：○ 現地表示式（直読式）　○ 遠隔表示式（○ 電文式 ○　）
○ 量水器桝	○ 水道事業者指定品（○ 貸与品　○ 買い取り（材質：樹脂製）　○ 標準図MC形
● 弁類	JIS又はJV　○ 水道直結部分（○ 10k　○　　） ● その他の部分（● 10k　○　　） ○ 逆止弁の衝撃吸収式はライニング不要とする。 ● ステンレス配管を使用する場合の材質はステンレス製とする。
● 管の地中埋設深さ	管の上端より原則として、一般敷地は（ 45 cm）構内道路は（ 60 cm）以上とする。

● 給水設備

○ 水栓柱	○ 合成樹脂製　○ 人造石とぎ出し製　○ 不凍水栓　○ ステンレス製　○ アルミ製
● 建物導入部配管	○ 標準図（建築物導入部の変位吸収配管要領）の ○（ａ） ○（ｂ） ●（ｃ）による。 ○ ポリエチレン配管の施工要領は図示による。
○ 引込納付金等	○ 要（○ 本工事　（○ 費用を含まない　○ 費用を含む）　○ 別途）　○ 不要
○ 保温	次のタンクの保温を行う。　○ 鋼板製タンク　　○ ステンレス製タンク

● 排水設備

● 配管材料	（1）屋　内　汚水管及び合流式の排水管 ● 硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ）　○ 耐火二層管 雑排水管　○ 硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ）　○ 耐火二層管 通気管　● 硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ）　○ 耐火二層管 ※　通気管が配管用炭素鋼鋼管（白）の場合、排水管接続部1mまでは、排水管と同種管とする。 ポンプアップ排水管　● 硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ） （2）屋　外　第一桝まで　● 硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ） ○ 桝間　● 硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＵ） ○
● 洗面器等の排水管	洗面器に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップとする。 台所流し等の床上露出部分の配管は、ビニル管（RF-VP）でもよい。 大便器、小便器、洗面器及び掃除流しとの接続管は、ビニル管（RF-VP）とする。
○ 満水試験継手	取り付け箇所は図示による。
○ 放流納付金等	○ 要（○ 本工事　（○ 費用を含まない　○ 費用を含む）　○ 別途）　○ 不要

● 給湯設備

○ 配管材料	● 一般配管用ステンレス鋼鋼管（拡管式接合） ○ 架橋ポリエチレン管（住戸内）
○ 弁類	○ ステンレス配管を使用する場合の材質は、ステンレス製とする。 JIS又はJV（ ○ 5k　○ 10k（図示部分））

● 消火設備

○ 配管材料	（1）屋内消火栓　一般配管 ○ 地中配管 ○ （2）連結送水管　一般配管 ○ 地中配管 ○
○ 建物導入部配管	標準図（建築物導入部の変位吸収配管要領）の ○（ａ）　○（ｂ）　○（ｃ）による。
○ 不活性ｶﾞｽ消火設備	別図による。
○ 泡消火設備	別図による。
● 消火器	ＡＢＣ１０型

○ ガス設備

○ ガス種別	○ 都市ガス（供給者名：　　発熱量　　MJ/㎥（Ｎ）） ○ 液化石油ガス
○ 配管材料	○ 都市ガス　ガス事業者の供給規定による。 ○ 液化石油ガス　（1）一般 （2）地中
○ 充てん容器	別途（ ○ 50kg　○　　）×　　本
○ 集合装置	標準図（液化石油ガス容器廻り配管要領）による　　本組。
○ 転倒防止等	標準図（液化石油ガス容器転倒防止施工要領）の（○（ａ）　○（ｂ））による。
○ メーター	○ 親メーター（貸与品）　（○ 実測式　○ パルス式（パルス発信器は ○ 買い取り）） ○ 子メーター（買い取り）（○ 実測式　○ パルス式）
○ ガス漏れ警報器	○ 本工事（図示による。）　○ 別途工事
○ 漏洩検知装置	○ 要　○ 不要
○ 電気防食	○ 要　○ 不要
○ 引込負担金等	○ 要（○ 本工事　（○ 費用を含まない　○ 費用を含む）　○ 別途）　○ 不要

別表－１

品　目	機材等名

特記

物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事		
図面名	機械設備　特記仕様書	縮尺 A1:N.S A3:N.S	図番 M-01

衛生設備　機器表

記号	名称	台数	仕様	電源・消費電力 φ	電源・消費電力 V	電源・消費電力 W・kW	設置場所 階	設置場所 室名	備考
ＷＨＥ－１	電気温水器	６	型　式　手洗用　貯湯式　壁掛型　先止式　適温出湯ﾀｲﾌﾟ	1	100	0.6 kW	1	男子便所、女子便所	
			貯湯量　３Ｌ				２	便所１、便所２	
			付属品　ｳｨｰｸﾘｰﾀｲﾏｰ、密閉式排水ﾎｯﾊﾞｰ、ｱﾝｸﾞﾙ形止水栓（壁給水）						
			連結管						
			配管保温仕様　● 裸管　○ 保温仕様２または３　○ 保温仕様１						
ＷＨＥ－２	電気温水器	２	型　式　雑湯用　貯湯式　据置型　先止式　温度調節ﾀｲﾌﾟ	1	200	1.5 kW	1	湯沸室	
			貯湯量　12 Ｌ				２	湯沸室	
			付属品　ｳｨｰｸﾘｰﾀｲﾏｰ、密閉式排水ﾎｯﾊﾞｰ、ｱﾝｸﾞﾙ形止水栓（壁給水）						
			耐震用脚、連結管						
			配管保温仕様　● 裸管　○ 保温仕様２または３　○ 保温仕様１						
ＷＨＥ－３	電気温水器	１	型　式　通電制御型　給湯専用　角形	1	200	4.4 kW	1	倉庫１	ﾘﾓｺﾝ取付及び配管配線は本工事
			貯湯量　370 Ｌ						
			付属品　ﾘﾓｺﾝ（ｹｰﾌﾞﾙ共）、絶縁ﾊﾟｲﾌﾟ（給水・給湯用）						
			脚固定金具（ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ共）、脚部ｶﾊﾞｰ						
			配管保温仕様　○ 裸管　● 保温仕様２または３　○ 保温仕様１						

【注記】　１．配管保温仕様は下記による。
　　保温仕様１　　管径 40㎜未満　　：保温材厚さ30㎜以上
　　管径 40㎜以上125㎜未満：保温材厚さ40㎜以上
　　管径125㎜以上　　：保温材厚さ50㎜以上
　　保温仕様２　　管径 50㎜未満　　：保温材厚さ20㎜以上
　　管径 50㎜以上125㎜未満：保温材厚さ25㎜以上
　　保温仕様３　　管径125㎜未満　　：保温材厚さ20㎜以上
　　管径125㎜以上　　：保温材厚さ25㎜以上
２．貯湯式電気温水器の加熱能力及び消費電力は、JIS C 9219の規定された値とする。
３．給湯設備の転倒防止の措置は、「建築設備の構造耐力上安全な構造方法を定める件（平成12年建設省告示第1388号）」による。

衛生設備　桝一覧表

記号	種類	品名	略号	主管	桝径	深さ（流入管底）㎜ GL基準	深さ（流入管底）㎜ 実管底	ふた仕様 塩ビ製	ふた仕様 鋳鉄製	ふた仕様 防護ふた	備考
(A1)	塩ビ製小口径汚水桝	90°曲り	90L	100A	150φ	1,000	1,000 H	○			
(A2)	〃	90°合流	90Y	〃	〃	1,040	1,040 H	○			
(A3)	〃	〃	〃	〃	〃	1,090	1,090 H	○			

【注記】　１．桝深さは、起点桝を基準レベルとした地盤面からの桝流入管底深さを示す。
２．ふたの仕様は下記による
　　塩ビ製：T-2、ワンタッチ開閉式（鎖付）
３．排水勾配は以下とする。
　　排水管内径 100：勾配 2.0/100 以上

特記

物件名	第Ｒ6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事		
図面名	管理棟 衛生設備　機器表・桝一覧表	縮尺 A1:N.S A3:N.S	図番 M-02

衛生設備　器具表

器具名	参考品番及び付属品		管理棟																	合計	備考
			1階								2階					屋外					
	参考品番	付属品	男子便所	女子便所	HCWC	SK	湯沸室	シャワー室			便所1	便所2	湯沸室			屋外					
腰掛便器（フラッシュタンク式）	CFS498B(L)CK	床置床排水、掃除口・ｻｲﾄﾞｶﾊﾞｰ付、洗浄便座（TCF5831AU、ｵｰﾄ便器洗浄ﾀｲﾌﾟ、ﾀｯﾁｽｲｯﾁ、擬音装置）	2	1							1	1								5	AC100V 1261W（洗浄便座）
		棚付二連紙巻器（YH702、SUS製ﾜﾝﾀｯﾁ式）、他標準付属品一式																			
腰掛便器（フラッシュタンク式）	CFS497BP(L)C	床置壁排水、掃除口・ｻｲﾄﾞｶﾊﾞｰ付、洗浄便座（TCF5831AU、ｵｰﾄ便器洗浄ﾀｲﾌﾟ、ﾀｯﾁｽｲｯﾁ、擬音装置）		1																1	AC100V 1261W（洗浄便座）
		棚付二連紙巻器（YH702、SUS製ﾜﾝﾀｯﾁ式）、他標準付属品一式																			
自動洗浄小便器（低リップ）	UFS900WR	自己発電、節水型	2																	2	
カウンター式洗面器	L501	自動水栓（TLE27SS1A、単水栓、壁給水）、排水金具（壁排水）、他標準付属品一式	2	2																4	AC100V 0.6W（自動水栓）
（アンダーカウンター式）																					
車いす対応洗面器（昇降式）	MVHJ	間口900mm、奥行580mm、専用水栓一体形電気温水器（ﾀｯﾁｽｲｯﾁ、節電機能付）、止水栓（壁給水）			1															1	AC100V 600W（電気温水器）
		排水金具（壁排水）、三方ｴﾌﾟﾛﾝ、他標準付属品一式																			
カウンター式手洗器	L724	自動水栓（TLE35SM1A、単水栓、壁給水）、排水金具（壁排水）、他標準付属品一式									1	1								2	AC100V 0.6W（自動水栓）
（ベッセル式）																					
バリアフリートイレパック	UADAZ02L2C1ANN2WA	床置大便器（ﾛｰﾀﾝｸ、ﾀｯﾁｽｲｯﾁ式、二連紙巻器）、洗浄便座（TCF5841AUP、瞬間式、便ふたなし）			1															1	AC100V 1260W（洗浄便座）
		側板あり、手洗器（自動水栓）、背もたれ（ｿﾌﾄﾀｲﾌﾟ）、手すり（はね上げﾀｲﾌﾟ、L型、樹脂被覆ﾀｲﾌﾟ）																			
		ﾗｲﾆﾝｸﾞ、他標準付属品一式																			
オストメイト対応マルチパック	XPSA72C71WW	汚物流し（ﾀｯﾁｽｲｯﾁ式）、電気温水器（節電機能付）、紙巻器、鏡ｷｬﾋﾞﾈｯﾄ、連結管			1															1	AC100V 600W（電気温水器）
		他標準付属品一式																			
ベビーチェア	YKA15S	平壁設置ﾀｲﾌﾟ、固定用取付金具			1															1	
掃除用流し	SK22A	横水栓（T23AE020、ﾚﾊﾞｰ式）、給水ﾎｰｽ（TN114）、排水金具（T37PGEP、壁排水）、鎖付ｺﾞﾑ栓				1														1	
		他標準付属品一式																			
大型鏡（耐食鏡）	MMA2	2方ﾌﾚｰﾑ仕様、900W×1000H			1															1	
洗濯機パン	PWSP64J2W	640W×640D、縦引排水ﾄﾗｯﾌﾟ共						1												1	
横水栓（洗濯機用）	TW21R	2ﾊﾞﾙﾌﾞ混合栓、緊急止水弁付						1												1	
散水栓（不凍給水栓）	D-EN3	伸縮式、13mm×0.6m、ﾎｰｽｱﾀﾞﾌﾟﾀｰ付、ﾎｰｽｱﾀﾞﾌﾟﾀｰｼﾞｮｲﾝﾄ（ﾎｰｽ用）														3				3	
	（竹村製作所）	ｽﾃﾝﾚｽ製ﾎﾞｯｸｽ（埋設型）																			
洗面器カウンター	（建築工事）		（1）	（1）							（1）	（1）								（4）	
化粧鏡	（建築工事）		（1）	（1）																（2）	
流し台	（建築工事）	ｼﾝｸﾞﾙﾚﾊﾞｰ混合水栓、排水ﾄﾗｯﾌﾟ、IHﾋｰﾀｰ、ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞ共					（1）													（1）	配管接続まで本工事
流し台	（建築工事）	2ﾊﾝﾄﾞﾙ混合水栓、排水ﾄﾗｯﾌﾟ共											（1）							（1）	配管接続まで本工事
シャワーユニット	（建築工事）	ｼｬﾜｰ水栓、排水ﾄﾗｯﾌﾟ、換気扇等一式						（1）												（1）	配管接続まで本工事

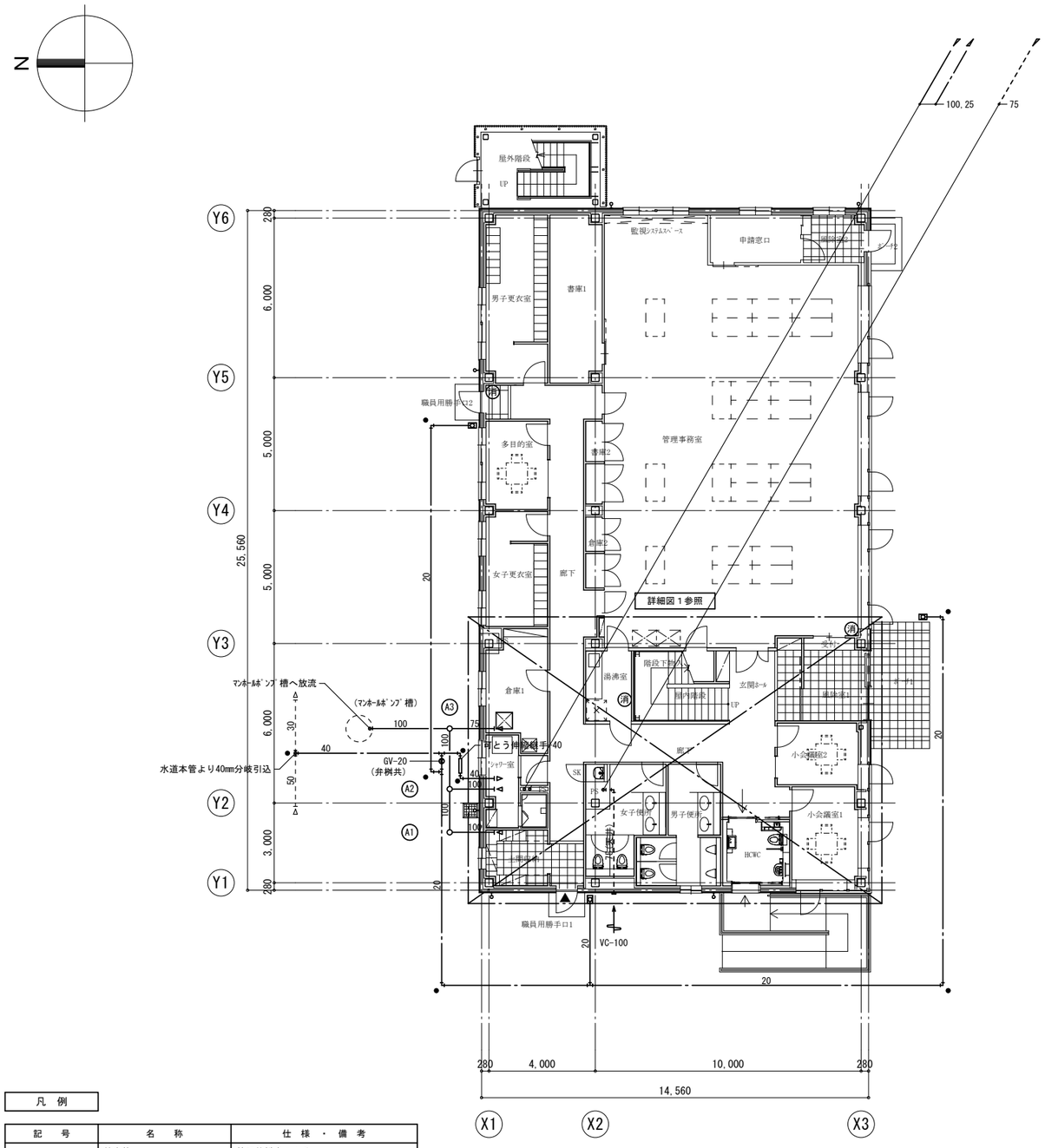
特記

物件名　第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事

図面名　管理棟　衛生設備　器具表

縮尺　A1:N.S　A3:N.S

図番　M-03



凡　例

記　号	名　称	仕　様　・　備　考
——・——	給水管	特記仕様書による
——	排水管	特記仕様書による
GV	埋設仕切弁	JIS 10k　弁栓共
水	散水栓	器具表参照
VC	通気金物	注記による
●	地中埋設標	鉄製
○ (00)	汚水桝	桝一覧表参照
消	消火器	粉末（ABC）10型

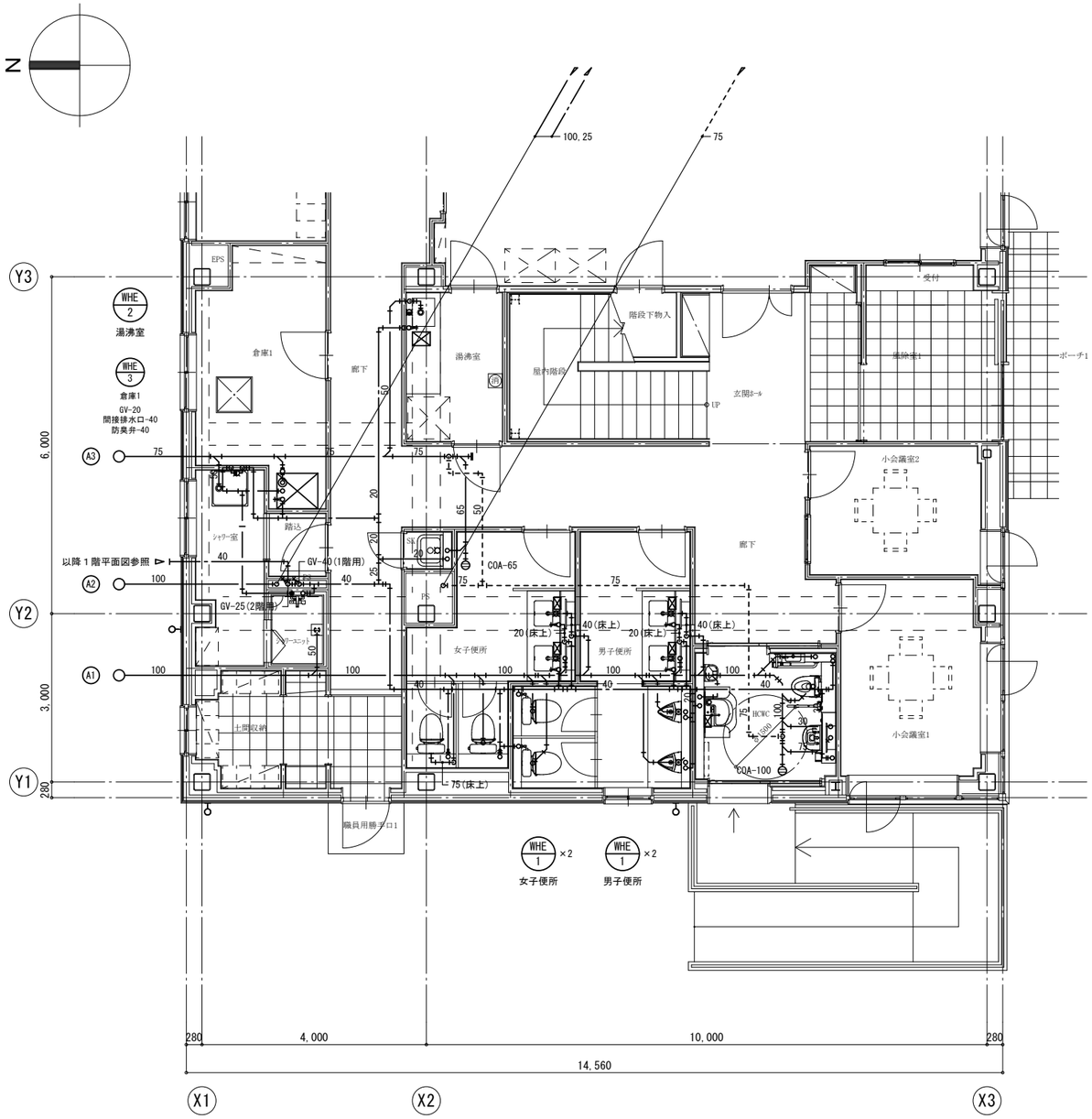
１階平面図　S=1/100

【注記】　１．特記なき給水管サイズは20Aとする。
２．通気金物の仕様は下記による。
深形スクエアフード（ワイド水切付）　ステンレス製、ガラリ付、指定色焼付塗装

２階平面図　S=1/100

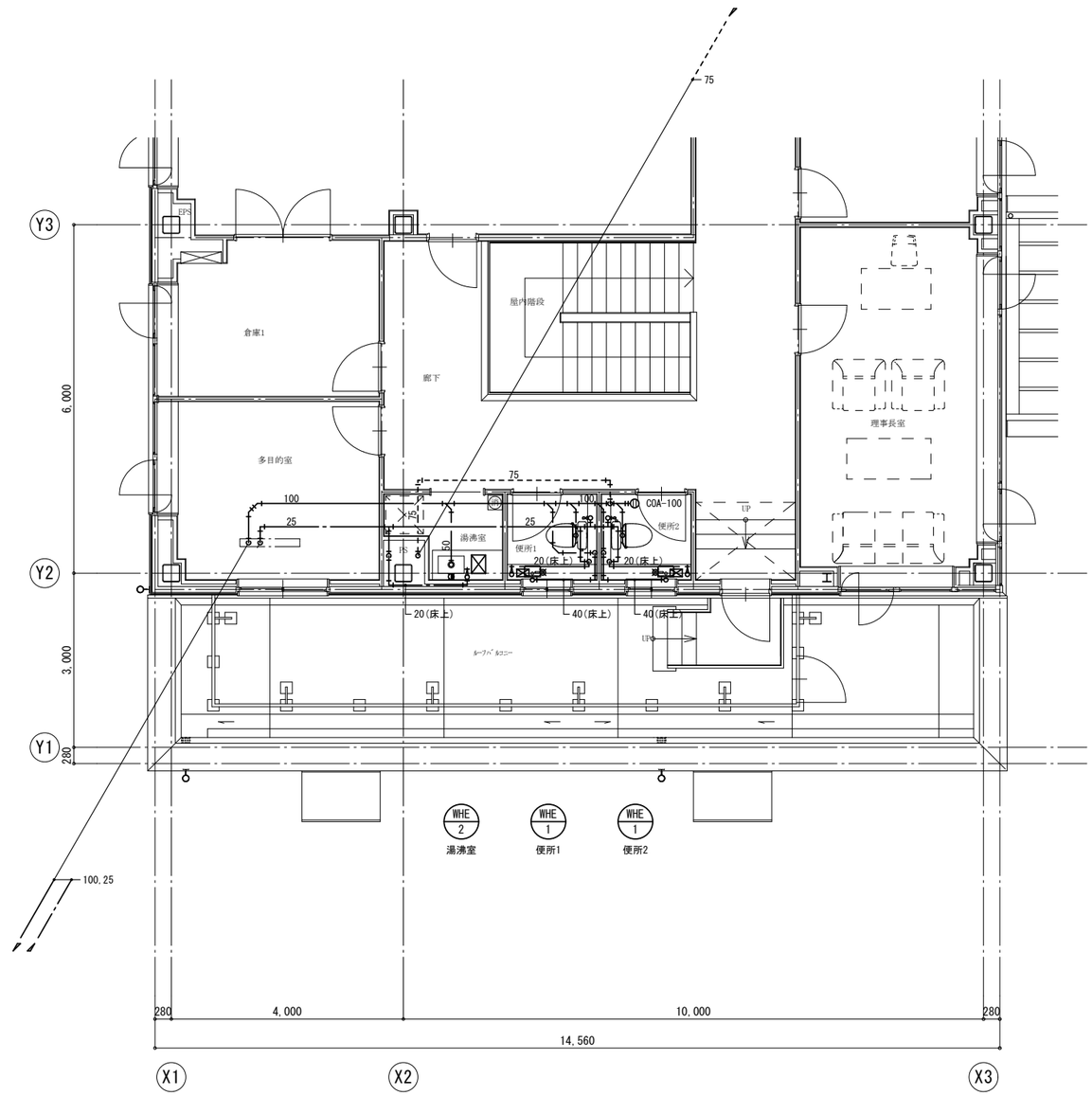
特記

物件名	第Ｒ6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事		
図面名	管理棟 衛生設備　１・２階平面図	縮尺	A1:1/100 A3:1/200
図番	M-04		



詳細図１　S=1/50

（１階トイレ廻り）



詳細図２　S=1/50

（２階トイレ廻り）

凡　例

記　号	名　称	仕　様　・　備　考
——-——	給水管	特記仕様書による
————————	排水管	特記仕様書による
- - - - - - - - -	通気管	特記仕様書による
——ｌ——	給湯管	特記仕様書による
GV	仕切弁	JIS 10k　ステンレス製
COA	床上掃除口	ステンレス製、非防水形
○　(DV)	汚水桝	桝一覧表参照

【注記】
１．特記なき配管サイズは下記による。
　給水管・給湯管：20A
２．特記なき器具排水管接続サイズは下記による。
　腰掛便器：75V　　小便器：50V　　洗面器：40V
３．給湯器リモコンの取付、配線及び配管は本工事とする。
　（位置は現場指示とする）

特記

物件名	第Ｒ6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事		
図面名	管理棟 衛生設備　詳細図	縮尺	A1:1/ 50 A3:1/100
図番	M-05		

空調設備　機器表

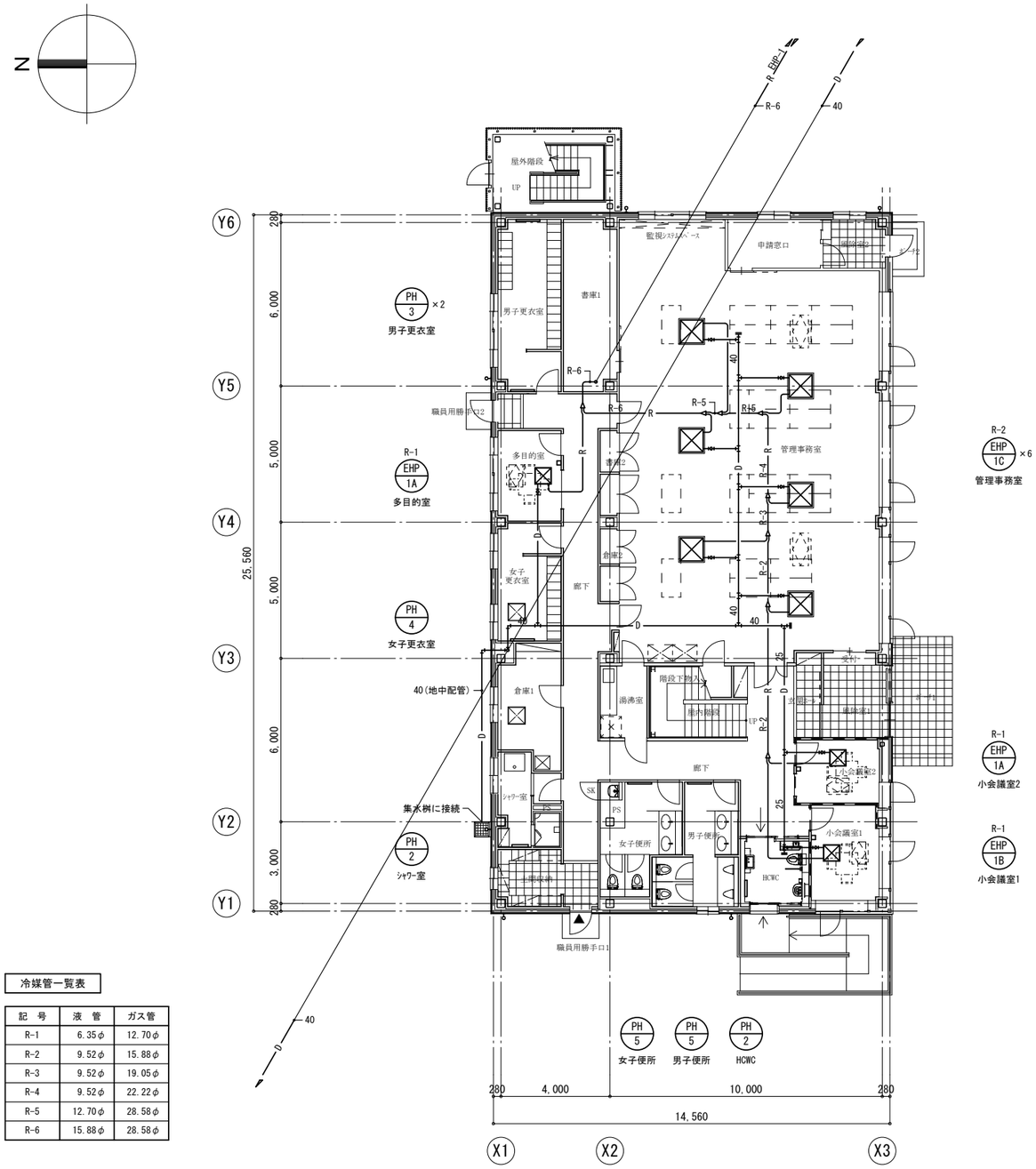
記号	名称	台数	仕様	電源・消費電力 φ	V	W・kW	設置場所 階	室名	備考
ＥＨＰ−１	空冷ヒートポンプエアコン	１	型式　ﾏﾙﾁ形　台数制御　ﾊｲｸﾞﾚｰﾄﾞ仕様　R32冷媒				２	室外機置場	ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎（建築工事）
	（１階系統室外機）		能力　56.0 kW（冷房）　63.0 kW（冷房）						ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎（建築工事）
			消費電力　14.2 kW（冷房）　15.7 kW（冷房）	3	200	15.7 kW			
			圧縮機　4.96＋8.69 kW						
			送風機　（0.27＋0.27 kW）×2						
			配管　φ15.88（液管）　φ28.58（ｶﾞｽ管）						
			付属品　分岐管、室外機連結配管ｷｯﾄ、ｱｸﾃｨﾌﾞﾌｨﾙﾀｰ（機内組込型）						
			防雪ﾌｰﾄﾞ（吹出口、ｽﾃﾝﾚｽ製）						
			架台　防振架台（ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ式、溶融亜鉛めっき製）						
ＥＨＰ−１Ａ	空冷ヒートポンプエアコン	２	型式　天井埋込ｶｾｯﾄ形（ｺﾝﾊﾟｸﾄﾏﾙﾁﾌﾛｰ）				１	小会議室2、多目的室	
	（室内機）		ｾﾝｼﾝｸﾞ機能、ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟ機能						
			能力　2.8 kW（冷房）　3.2 kW（暖房）						
			消費電力　0.043 kW（冷房）　0.036 kW（暖房）	1	200	0.043 kW			
			配管　φ6.35（液管）　φ12.70（ｶﾞｽ管）						
			付属品　化粧ﾊﾟﾈﾙ、ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ						
ＥＨＰ−１Ｂ	空冷ヒートポンプエアコン	１	型式　天井埋込ｶｾｯﾄ形（ｺﾝﾊﾟｸﾄﾏﾙﾁﾌﾛｰ）				１	小会議室1	
	（室内機）		ｾﾝｼﾝｸﾞ機能、ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟ機能						
			能力　3.6 kW（冷房）　4.0 kW（暖房）						
			消費電力　0.045 kW（冷房）　0.038 kW（暖房）	1	200	0.045 kW			
			配管　φ6.35（液管）　φ12.70（ｶﾞｽ管）						
			付属品　化粧ﾊﾟﾈﾙ、ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ						
ＥＨＰ−１Ｃ	空冷ヒートポンプエアコン	６	型式　天井埋込ｶｾｯﾄ形（ﾗｳﾝﾄﾞﾌﾛｰ）				１	管理事務室	
	（室内機）		ｾﾝｼﾝｸﾞ機能、ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟ機能						
			能力　7.1 kW（冷房）　8.0 kW（暖房）						
			消費電力　0.072 kW（冷房）　0.068 kW（暖房）	1	200	0.072 kW			
			配管　φ9.52（液管）　φ15.88（ｶﾞｽ管）						
			付属品　化粧ﾊﾟﾈﾙ、ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ						
ＥＨＰ−２	空冷ヒートポンプエアコン	１	型式　ﾏﾙﾁ形　台数制御　ﾊｲｸﾞﾚｰﾄﾞ仕様　R32冷媒				２	室外機置場	ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎（建築工事）
	（２階系統室外機）		能力　56.0 kW（冷房）　63.0 kW（冷房）						
			消費電力　14.2 kW（冷房）　15.7 kW（冷房）	3	200	15.7 kW			
			圧縮機　4.96＋8.69 kW						
			送風機　（0.27＋0.27 kW）×2						
			配管　φ15.88（液管）　φ28.58（ｶﾞｽ管）						
			付属品　分岐管、室外機連結配管ｷｯﾄ、ｱｸﾃｨﾌﾞﾌｨﾙﾀｰ（機内組込型）						
			防雪ﾌｰﾄﾞ（吹出口、ｽﾃﾝﾚｽ製）						
			架台　防振架台（ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ式、溶融亜鉛めっき製）						
ＥＨＰ−２Ａ	空冷ヒートポンプエアコン	１	型式　天井埋込ｶｾｯﾄ形（ｺﾝﾊﾟｸﾄﾏﾙﾁﾌﾛｰ）				２	多目的室	
	（室内機）		ｾﾝｼﾝｸﾞ機能、ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟ機能						
			能力　4.5 kW（冷房）　5.0 kW（暖房）						
			消費電力　0.059 kW（冷房）　0.053 kW（暖房）	1	200	0.059 kW			
			配管　φ6.35（液管）　φ12.70（ｶﾞｽ管）						
			付属品　化粧ﾊﾟﾈﾙ、ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ						
ＥＨＰ−２Ｂ	空冷ヒートポンプエアコン	２	型式　天井埋込ｶｾｯﾄ形（ﾀﾞﾌﾞﾙﾌﾛｰ）				２	専務理事室、小会議室	
	（室内機）		ｾﾝｼﾝｸﾞ機能、ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟ機能						
			能力　5.6 kW（冷房）　6.3 kW（暖房）						
			消費電力　0.059 kW（冷房）　0.056 kW（暖房）	1	200	0.059 kW			
			配管　φ6.35（液管）　φ12.70（ｶﾞｽ管）						
			付属品　化粧ﾊﾟﾈﾙ、ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ						

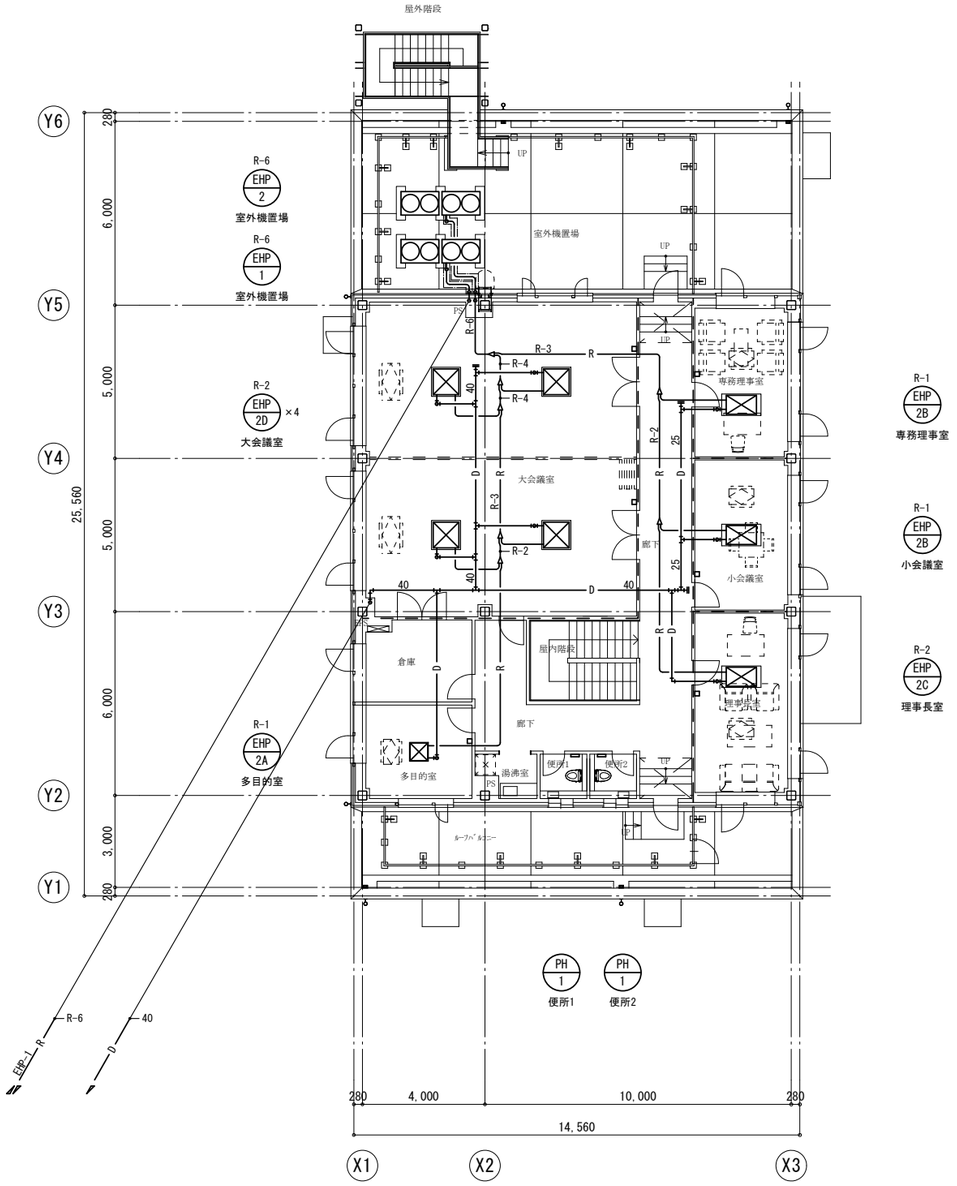
記号	名称	台数	仕様	電源・消費電力 φ	V	W・kW	設置場所 階	室名	備考
ＥＨＰ−２Ｃ	空冷ヒートポンプエアコン	１	型式　天井埋込ｶｾｯﾄ形（ﾀﾞﾌﾞﾙﾌﾛｰ）				２	理事長室	
	（室内機）		ｾﾝｼﾝｸﾞ機能、ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟ機能						
			能力　7.1 kW（冷房）　8.0 kW（暖房）						
			消費電力　0.063 kW（冷房）　0.064 kW（暖房）	1	200	0.064 kW			
			配管　φ9.52（液管）　φ15.88（ｶﾞｽ管）						
			付属品　化粧ﾊﾟﾈﾙ、ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ						
ＥＨＰ−２Ｄ	空冷ヒートポンプエアコン	４	型式　天井埋込ｶｾｯﾄ形（ﾗｳﾝﾄﾞﾌﾛｰ）				２	大会議室	
	（室内機）		ｾﾝｼﾝｸﾞ機能、ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟ機能						
			能力　7.1 kW（冷房）　8.0 kW（暖房）						
			消費電力　0.072 kW（冷房）　0.068 kW（暖房）	1	200	0.072 kW			
			配管　φ9.52（液管）　φ15.88（ｶﾞｽ管）						
			付属品　化粧ﾊﾟﾈﾙ、ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ						
ＰＨ−１	パネルヒーター	２	型式　自然対流式　ｽﾁｰﾙ製　壁掛縦型	1	200	0.5 kW	２	便所1、便所2	
			付属品　ｻｰﾓｽﾀｯﾄ内蔵、ﾌﾞﾗｹｯﾄ						
ＰＨ−２	パネルヒーター	２	型式　自然対流式　ｽﾁｰﾙ製　壁掛縦型	1	200	1.5 kW	１	HCWC、ｼｬﾜｰ室	
			付属品　ｻｰﾓｽﾀｯﾄ内蔵、ﾌﾞﾗｹｯﾄ						
ＰＨ−３	パネルヒーター	２	型式　自然対流式　ｽﾁｰﾙ製　壁掛横型	1	200	1.75 kW	１	男子更衣室	
			付属品　ｻｰﾓｽﾀｯﾄ内蔵、ﾌﾞﾗｹｯﾄ						
ＰＨ−４	パネルヒーター	１	型式　自然対流式　ｽﾁｰﾙ製　壁掛横型	1	200	2.25 kW	１	女子更衣室	
			付属品　ｻｰﾓｽﾀｯﾄ内蔵、ﾌﾞﾗｹｯﾄ						
ＰＨ−５	パネルヒーター	２	型式　自然対流式　ｽﾁｰﾙ製　壁掛横型	1	200	2.5 kW	１	男子便所、女子便所	
			付属品　ｻｰﾓｽﾀｯﾄ内蔵、ﾌﾞﾗｹｯﾄ						

【注記】　１．能力及び消費電力は、以下の規定による。
パッケージエアコン：JIS B 8616
２．消費電力及び冷媒配管サイズは参考値とする。
３．室内外機渡り配線は本工事とし、冷媒管共巻とする。
４．各室リモコンの取付、配線及び配管は本工事とする。

特記

物件名	第Ｒ6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事		
図面名	管理棟 空調設備　機器表	縮尺	A1:N.S A3:N.S
図番	M-06		





冷媒管一覧表

記　号	液　管	ガス管
R-1	6.35φ	12.70φ
R-2	9.52φ	15.88φ
R-3	9.52φ	19.05φ
R-4	9.52φ	22.22φ
R-5	12.70φ	28.58φ
R-6	15.88φ	28.58φ

凡　例

記　号	名　　称	仕　様　・　備　考
——R——	冷媒管	特記仕様書による
——D——	ドレン管	特記仕様書による
□:□	冷媒化粧カバー取付範囲	塩ビ製
― ― ― ―	遮音壁	

1階平面図　S=1/100

【注記】
1．冷媒管サイズは参考とする。
2．特記なきドレン管サイズは25Aとする。
3．屋外露出の冷媒管は、塩ビ製化粧カバー施工とする。
4．屋外に使用するボルト類は、ステンレス製とする。
5．遮音壁を貫通する配管は、遮音シート巻きとする。

2階平面図　S=1/100

特記

				物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事
				図面名	管理棟 空調設備　1・2階平面図
				縮尺	A1:1/100 A3:1/200
				図番	M-07

換気設備　機器表

記号	名称	台数	仕様	電源・消費電力 φ	V	W・kW	設置場所 階	室名	備考
ＨＥＵ−１	全熱交換器ユニット	7	型　式　天井ｶｾｯﾄ形	1	100	69 W	1	小会議室1、小会議室2	ｼｯｸﾊｳｽ対応（24h運転）
			仕　様　ﾀﾞｸﾄ径φ100×120CMH×80Pa					多目的室	
			付属品　ｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ、天井ﾊﾟﾈﾙ、防振吊金具				2	理事長室、専務理事室	
			ﾍﾞﾝﾄｷｬｯﾌﾟ（φ100×2、1階多目的室はφ200×2）					小会議室、多目的室	
			（2階多目的室はφ150×2）						
ＨＥＵ−２	全熱交換器ユニット	4	型　式　天井ｶｾｯﾄ形	1	100	153 W	1	管理事務室	ｼｯｸﾊｳｽ対応（24h運転）
			仕　様　ﾀﾞｸﾄ径φ150×300CMH×90Pa				2	大会議室	
			付属品　ｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ、天井ﾊﾟﾈﾙ、防振吊金具						
			ﾍﾞﾝﾄｷｬｯﾌﾟ（φ200×2）						
ＦＶ−１	天井埋込形換気扇	1	型　式　低騒音形（鋼板製、樹脂ﾊﾟﾈﾙ）	1	100	8 W	1	申請窓口	
			仕　様　ﾀﾞｸﾄ径φ100×30CMH×10Pa						
			付属品　ﾍﾞﾝﾄｷｬｯﾌﾟ（φ200）						
ＦＶ−２	天井埋込形換気扇	1	型　式　低騒音形（鋼板製、樹脂ﾊﾟﾈﾙ）	1	100	8 W	2	湯沸室	
			仕　様　ﾀﾞｸﾄ径φ100×40CMH×10Pa						
			付属品　ﾍﾞﾝﾄｷｬｯﾌﾟ（φ100）						
ＦＶ−３	天井埋込形換気扇	3	型　式　低騒音形（鋼板製、樹脂ﾊﾟﾈﾙ）	1	100	8 W	1	土間収納	
			仕　様　ﾀﾞｸﾄ径φ100×70CMH×20Pa				2	便所1、便所2	
			付属品　ﾍﾞﾝﾄｷｬｯﾌﾟ（φ100、土間収納はφ150）						
ＦＶ−４	天井埋込形換気扇	1	型　式　低騒音形（鋼板製、樹脂ﾊﾟﾈﾙ）	1	100	13 W	1	ｼｬﾜｰ室	
			仕　様　ﾀﾞｸﾄ径φ100×80CMH×20Pa						
			付属品　ﾍﾞﾝﾄｷｬｯﾌﾟ（φ150）						
ＦＶ−５	天井埋込形換気扇	3	型　式　低騒音形（鋼板製、樹脂ﾊﾟﾈﾙ）	1	100	20 W	1	女子更衣室、倉庫1	
			仕　様　ﾀﾞｸﾄ径φ100×140CMH×40Pa				2	倉庫	
			付属品　ﾍﾞﾝﾄｷｬｯﾌﾟ（φ150、女子更衣室はφ200）						
ＦＶ−６	天井埋込形換気扇	2	型　式　低騒音形（鋼板製、樹脂ﾊﾟﾈﾙ）	1	100	20 W	1	HCWC、書庫1	
			仕　様　ﾀﾞｸﾄ径φ100×170CMH×30Pa						
			付属品　ﾍﾞﾝﾄｷｬｯﾌﾟ（φ150）						
ＦＶ−７	天井埋込形換気扇	1	型　式　低騒音形（鋼板製、樹脂ﾊﾟﾈﾙ）	1	100	26 W	1	男子更衣室	
			仕　様　ﾀﾞｸﾄ径φ150×200CMH×20Pa						
			付属品　ﾍﾞﾝﾄｷｬｯﾌﾟ（φ150）						
ＦＶ−８	天井埋込形換気扇	1	型　式　低騒音形（鋼板製、樹脂ﾊﾟﾈﾙ）	1	100	44 W	1	女子便所	
			仕　様　ﾀﾞｸﾄ径φ150×260CMH×50Pa						
			付属品　ﾍﾞﾝﾄｷｬｯﾌﾟ（φ150）						
ＦＶ−９	天井埋込形換気扇	1	型　式　低騒音形（鋼板製、樹脂ﾊﾟﾈﾙ）	1	100	44 W	1	男子便所	
			仕　様　ﾀﾞｸﾄ径φ150×300CMH×70Pa						
			付属品　ﾍﾞﾝﾄｷｬｯﾌﾟ（φ150）						

【注記】　1．消費電力は参考値とする。
2．ベントキャップの仕様は下記による。
深形スクエアフード（ワイド水切付）　ステンレス製、指定色焼付塗装
排気用：ガラリ付、給気用：ガラリ・防鳥網付
3．ＨＥＵ用コントロールスイッチの仕様は下記による。
樹脂製ワイドスイッチ（運転表示ランプ付）
（コントロールスイッチは電気設備工事へ支給とする。）
4．全熱交換器の全熱交換効率は、JIS B 8628の規定による。
5．送風機の消費電力は、JIS C 9603の規定による。

換気設備　制気口一覧表

階	室名	系統	制気口 種類	フィルター	寸法(mm) W	寸法(mm) D	個数	風量（1個当り） OA CMH	EA CMH	パス CMH	合計風量 CMH	制気口ボックス 接続ﾀﾞｸﾄ	寸法(mm) W	寸法(mm) D	寸法(mm) H	内貼 GW25t	備考
1	廊下	ＦＶ−１	ＧＶＳ		200	200	1			30	30	φ100	350	350	300		
	管理事務室		ＶＨＳ		200	200	1			30	30	φ100	350	350	300		
	書庫１	ＦＶ−６	ＶＨＳ	○	200	200	1	170			170	φ200	350	350	350	○	結露防止型
	廊下	自然給気	ＶＨＳ	○	200	200	2	320			640	φ200	350	350	350	○	結露防止型
																	※1風量
2	廊下	自然給気	ＶＨＳ	○	200	200	2	320			640	φ200	350	350	350	○	結露防止型
																	※1風量
1・2	廊下	自然給気															
	1階　申請窓口	ＦＶ−１							30		2,140						
	土間収納	ＦＶ−３							70		× 60%						
	ｼｬﾜｰ室	ＦＶ−４							80		1,280	÷ 4 ≒	320	※1			
	女子更衣室	ＦＶ−５							140								
	倉庫１	ＦＶ−５							140								
	ＨＣＷＣ	ＦＶ−６							170								
	男子更衣室	ＦＶ−７							200								
	女子便所	ＦＶ−８							260								
	男子便所	ＦＶ−９							300								
	ｼｬﾜｰﾕﾆｯﾄ	（建築工事）							30								
	ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞ	（建築工事）							400								
	2階　湯沸室	ＦＶ−２							40								
	便所１	ＦＶ−３							70								
	便所２	ＦＶ−３							70								
	倉庫	ＦＶ−５							140								

換気設備　計算書（居室毎の機械換気設備）

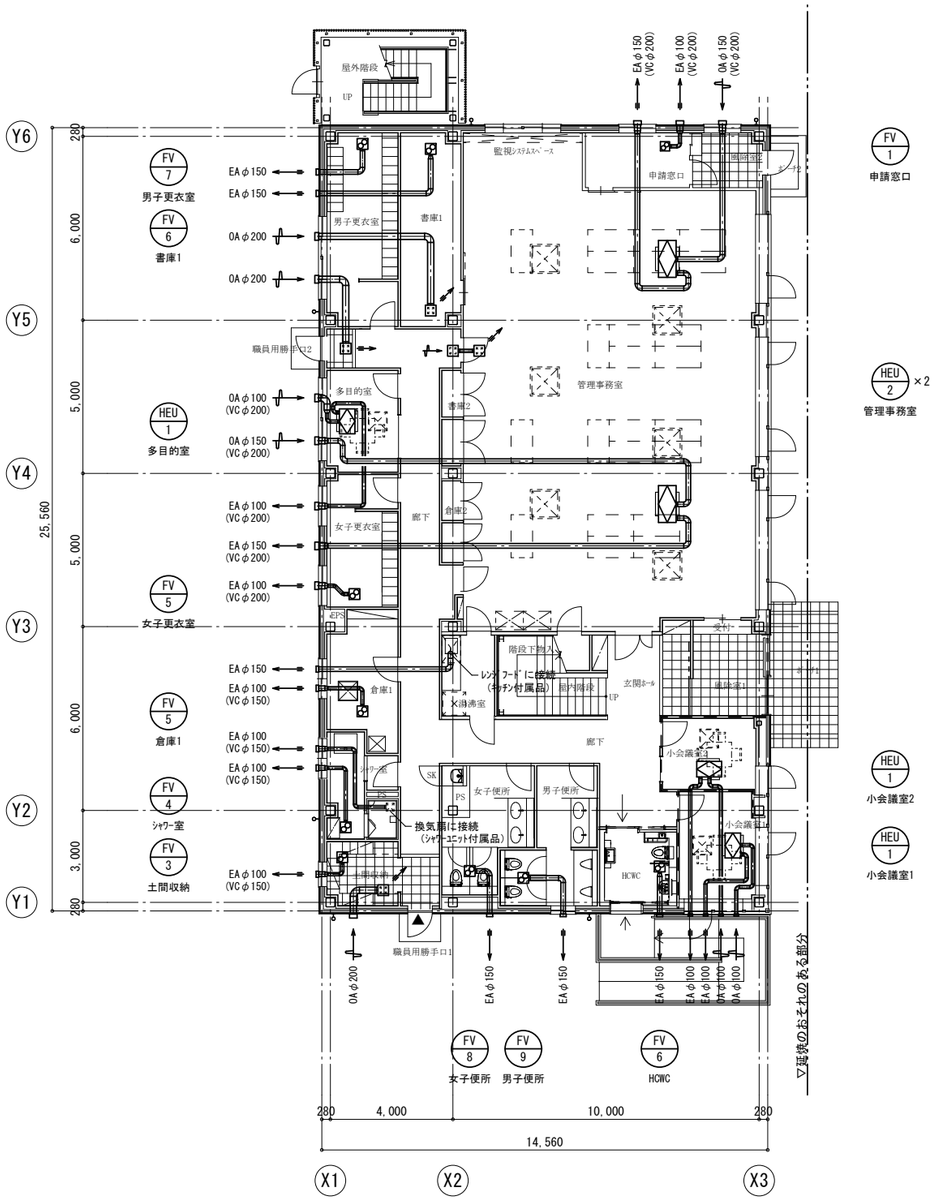
階	室名	床面積 m2	平均天井高 m	気積 m3	換気種別	給気機による給気量（A） m3／h	排気機による排気量（B） m3／h	換気回数 n	判定	系統
1	管理事務室	150.99	2.40	362.38	給気機及び排気機（第１種換気）					
	申請窓口	7.01	2.40	16.82						
			計	379.20		300	300	0.79	＞ 0.3　∴ O.K	HEU-2
	小会議室1	11.39	2.40	27.34		120	120	4.39	＞ 0.3　∴ O.K	HEU-1
	小会議室2	8.35	2.40	20.04		120	120	5.99	＞ 0.3　∴ O.K	HEU-1
	多目的室	8.60	2.40	20.64		120	120	5.81	＞ 0.3　∴ O.K	HEU-1
2	理事長室	21.85	2.40	52.44	給気機及び排気機（第１種換気）	120	120	2.29	＞ 0.3　∴ O.K	HEU-1
	専務理事室	18.37	2.40	44.09		120	120	2.72	＞ 0.3　∴ O.K	HEU-1
	小会議室	17.40	2.40	41.76		120	120	2.87	＞ 0.3　∴ O.K	HEU-1
	大会議室	96.51	2.40	231.62		300	300	1.30	＞ 0.3　∴ O.K	HEU-2
	多目的室	12.86	2.40	30.86		120	120	3.89	＞ 0.3　∴ O.K	HEU-1

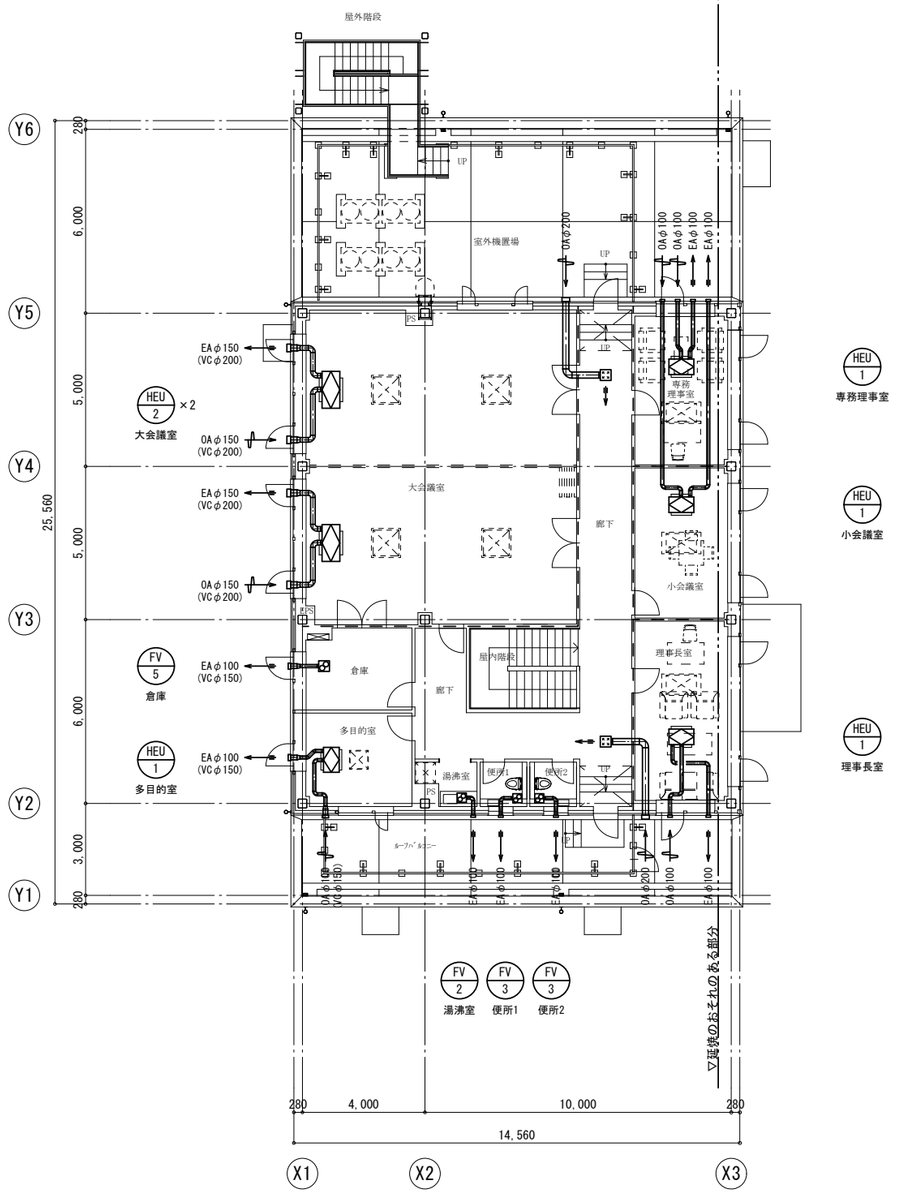
【注記】　天井裏等に使用する建材は全てＦ☆☆☆以上とするため、天井裏等の機械換気設備は不要である。

特記

物件名　第Ｒ6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事
図面名　管理棟　換気設備　機器表・計算書
縮尺　A1:N.S　A3:N.S
図番　M-08

N





凡 例

記 号	名 称	仕 様 ・ 備 考
—— OA ——	外気ダクト	低圧ダクト
—— EA ——	排気ダクト	低圧ダクト
⊡	制気口	制気口一覧表参照
— — — —	遮音壁	

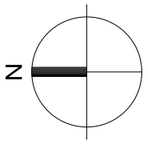
1階平面図　S=1/100

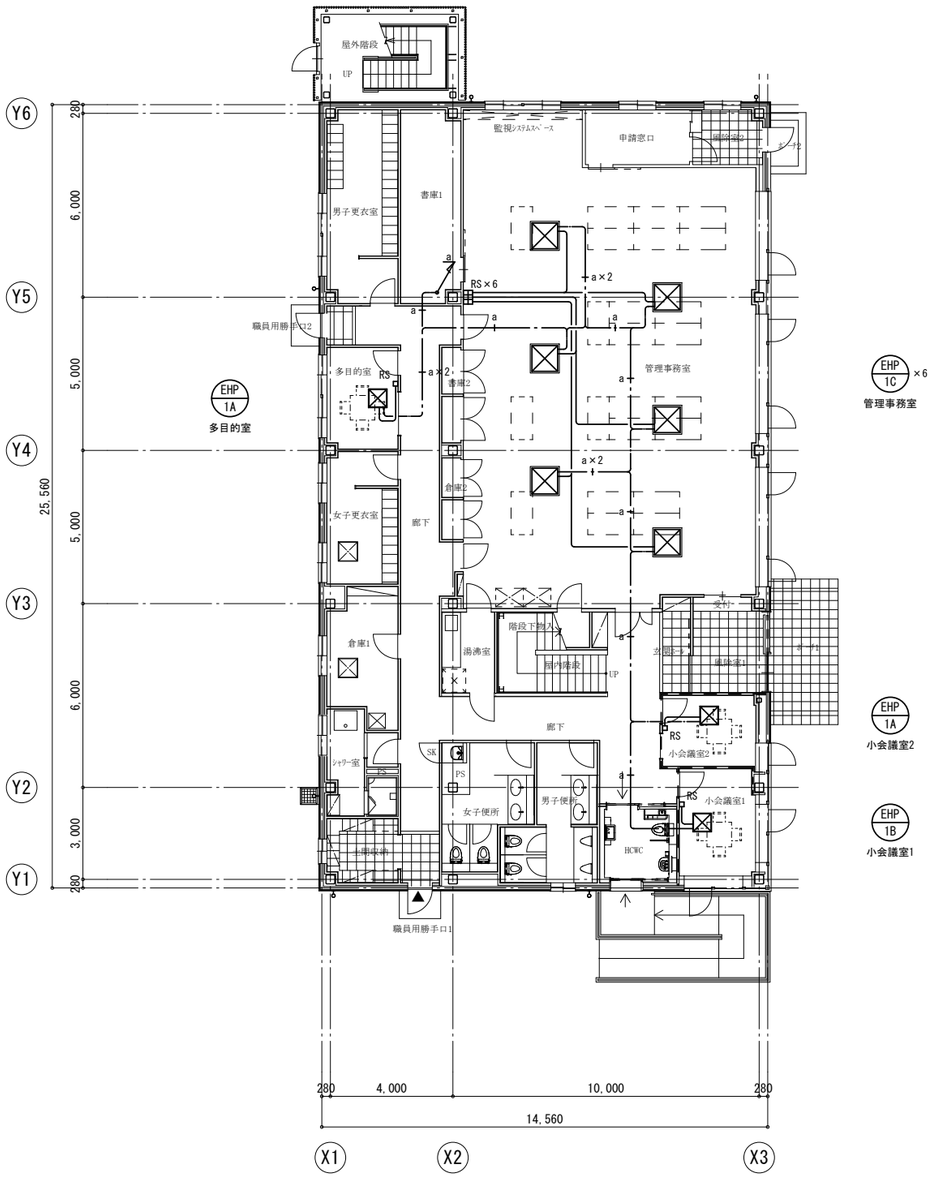
【注記】　1．遮音壁を貫通するダクトは、遮音シート巻きとする。

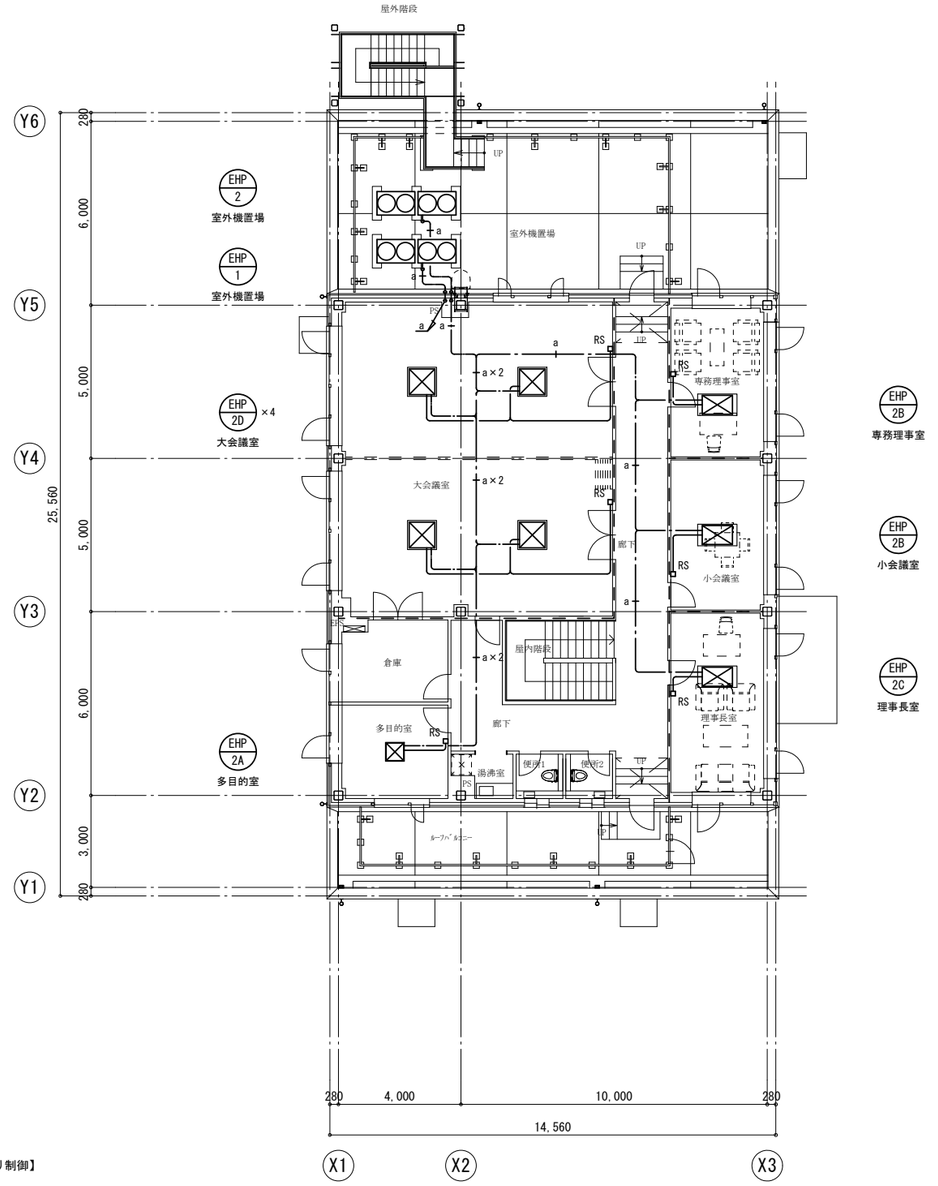
1階平面図　S=1/100

特記

物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事		
図面名	管理棟 換気設備　1・2階平面図	縮尺	A1:1/100 A3:1/200
図番	M-09		







【注記】

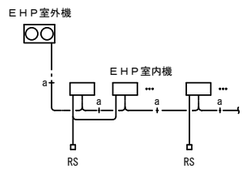
1．特記なき配管配線、シンボルは下記による。

□ RS ――――― ：EHPﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ（機器付属品） ：EM-CEE 1.25mm2-2C（ころがし、PF16）

a ――・―― ：EHP室内外機渡り配線 ：EM-CEE 1.25mm2-2C（冷媒管共巻）

１階平面図　S=1/100

【ＥＨＰ廻り制御】



２階平面図　S=1/100

特記				物件名	第Ｒ6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事
				図面名	管理棟 計装設備　１・２階平面図
				縮尺	A1:1/100 A3:1/200
				図番	M-10

衛生設備　機器表

記号	名称	台数	仕様	電源・消費電力 φ	電源・消費電力 V	電源・消費電力 W・kW	設置場所 階	設置場所 室名	備考
ＰＤ−１Ｋ	排水ポンプ	２	型　式　樹脂製水中ﾎﾟﾝﾌﾟ　自動運転型	1	100	150 W	ー	計量棟　屋外	40DWSA5.15SA
			仕　様　40φ×30 L/min×2m						
			付属品　水中ｹｰﾌﾞﾙ、他標準付属品一式						
ＷＨＥ−１Ｋ	電気温水器	1	型　式　手洗用　貯湯式　壁掛型　先止式　適温出湯ﾀｲﾌﾟ	1	100	0.6 kW	1	計量棟　事務室	
			貯湯量　3 L						
			付属品　ｳｨｰｸﾘｰﾀｲﾏｰ、密閉式排水ｷｯﾊﾞｰ、ｱﾝｸﾞﾙ形止水栓（壁給水）						
			連結管						
			配管保温仕様　● 裸管　○ 保温仕様２または３　○ 保温仕様１						

衛生設備　器具表

器具名	参考品番及び付属品 参考品番	参考品番及び付属品 付属品	計量棟 1階 事務室	計量棟 1階 風除室	計量棟 1階	計量棟 屋外 屋外	計量棟 屋外	目視監視施設 屋外	目視監視施設 屋外	目視監視施設	合計	備考
壁掛洗面器	L250CM	自動水栓（TLE28SS1A）、止水栓（壁給水）、排水金具（壁排水）	1								1	AC100V 0.6W（自動水栓）
		水石けん入れ（TS126AR）、他標準付属品一式										
水栓柱		ｱﾙﾐ製、13mm×1.2m		1							1	
横水栓	T200SNR13	吐水口回転式		1							1	
散水栓（不凍給水栓）	D-EN3	伸縮式、13mm×0.6m、ﾎｰｽｱﾀﾞﾌﾟﾀｰ付、ﾎｰｽｱﾀﾞﾌﾟﾌﾟﾚｰｼﾞｮｲﾝﾄ（ﾎｰｽ用）				2		2			4	
	（竹村製作所）	ｽﾃﾝﾚｽ製ﾎﾞｯｸｽ（埋設型）										

衛生設備　桝一覧表

記号	種類	品名	略号	主管	桝径	深さ（流入管底）mm GL基準	深さ（流入管底）mm 実管底	ふた仕様 塩ビ製	ふた仕様 鋳鉄製	ふた仕様 防護ふた	備考
(B1)	塩ビ製小口径汚水桝	90° 曲り	90L	100A	150φ	600	600 H	○			
(B2)	〃	90° 合流	90Y	〃	〃	610	610 H	○			

【注記】　１．桝深さは、起点桝を基準レベルとした地盤面からの桝流入管底深さを示す。
２．ふたの仕様は下記による
塩ビ製・鋳鉄製ふた：T-2、ワンタッチ開閉式（鎖付）

空調設備　機器表

記号	名称	台数	仕様	電源・消費電力 φ	電源・消費電力 V	電源・消費電力 W・kW	設置場所 階	設置場所 室名	備考
ＡＣＰ−１Ｋ	空冷ヒートポンプエアコン	1	型　式　天井埋込ｶｾｯﾄ形（ﾗｳﾝﾄﾞﾌﾛｰ）　寒冷地仕様				1	計量棟　事務室	
			ｾﾝｼﾝｸﾞ機能、ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟ機能						
			能　力　12.5 kW（冷房）　14.0 kW（暖房）						
			消費電力　3.07 kW（冷房）　3.17 kW（暖房）	3	200	3.17 kW			
			圧縮機　2.51 kW			（室外電源）			
			送風機　106 W（室内）　292 W×2（室外）						
			配　管　φ9.52（液管）　φ15.88（ｶﾞｽ管）						
			付属品　化粧ﾊﾟﾈﾙ、ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ、転倒防止金具						

【注記】　１．能力表示はＪＩＳ条件による。
２．消費電力及び冷媒配管サイズは参考値とする。
３．室内外機渡り配線は本工事とし、冷媒管共巻とする。
４．各室リモコンの取付、配線及び配管は本工事とする。

換気設備　機器表

記号	名称	台数	仕様	電源・消費電力 φ	電源・消費電力 V	電源・消費電力 W・kW	設置場所 階	設置場所 室名	備考
ＨＥＵ−１Ｋ	全熱交換器ユニット	1	型　式　天井ｶｾｯﾄ形	1	100	69 W	1	計量棟　事務室	ｼｯｸﾊｳｽ対応（24h運転）
			仕　様　ﾀﾞｸﾄ径φ100×120CMH×80Pa						
			付属品　ｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ、天井ﾊﾟﾈﾙ、防振吊金具						
			ﾍﾞﾝﾄｷｬｯﾌﾟ（φ100×2）						

【注記】　１．消費電力は参考値とする。
２．ベントキャップの仕様は下記による。
深形スクエアフード（ワイド水切付）　ステンレス製、指定色焼付塗装
排気用：ガラリ付、給気用：ガラリ・防鳥網付
３．ＨＥＵ用コントロールスイッチの仕様は下記による。
樹脂製ワイドスイッチ（運転表示ランプ付）
（コントロールスイッチは電気設備工事へ支給とする。）

換気設備　計算書（居室毎の機械換気設備）

階	室名	床面積 m2	平均天井高 m	気積 m3	換気種別	給気機による給気量（A） m3／h	排気機による排気量（B） m3／h	換気回数 n	判定	系統
1	事務室	40.99	2.50	102.48	給気機及び排気機（第１種換気）	120	120	1.17	＞ 0.3　∴ O.K	HEU-1K

【注記】　天井裏等に使用する建材は全てＦ☆☆☆以上とするため、天井裏等の機械換気設備は不要である。

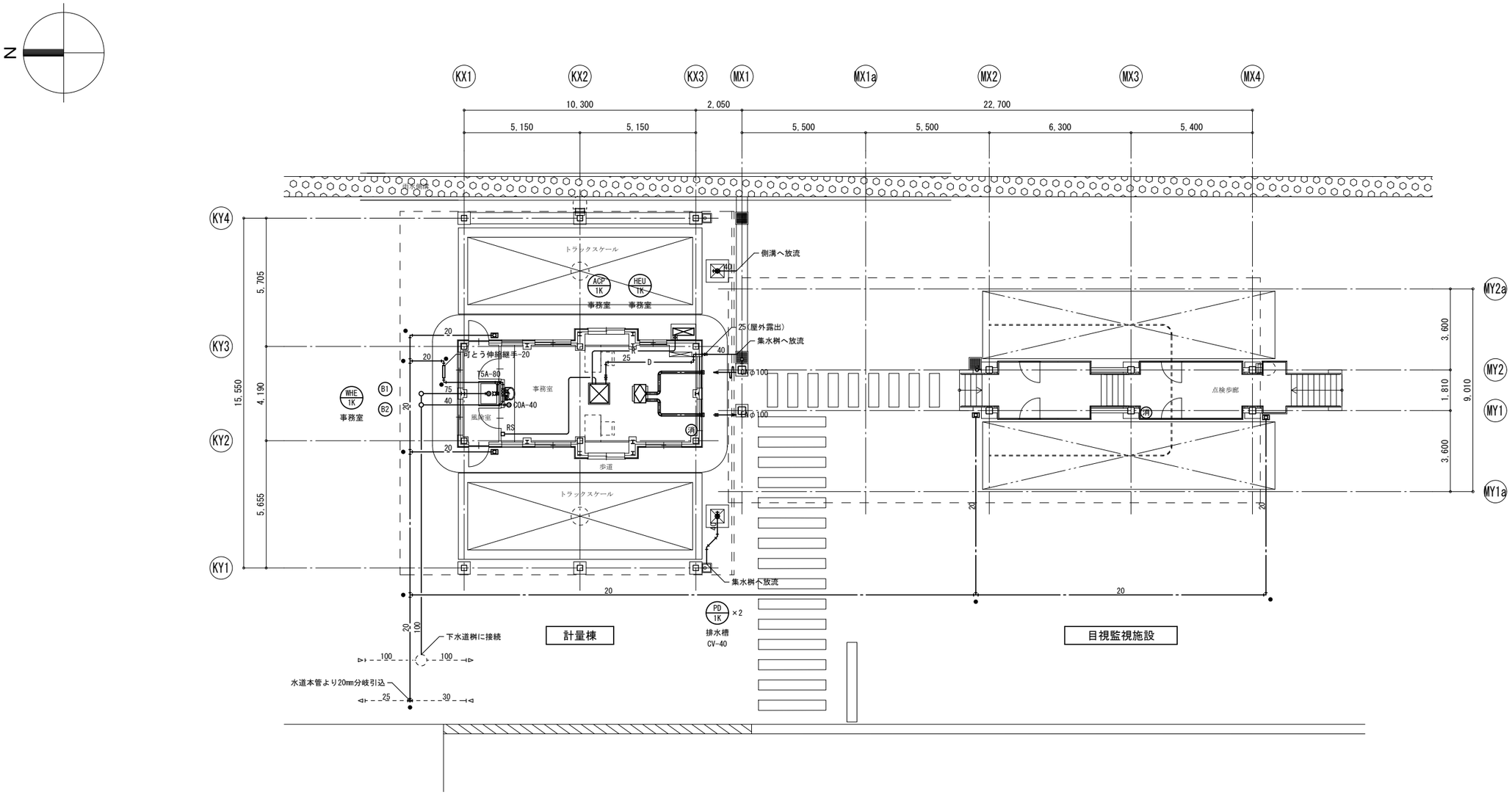
特記

物件名　第Ｒ6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事

図面名　計量棟・目視監視施設　衛生・空調・換気設備　機器表

縮尺　A1:N.S　A3:N.S

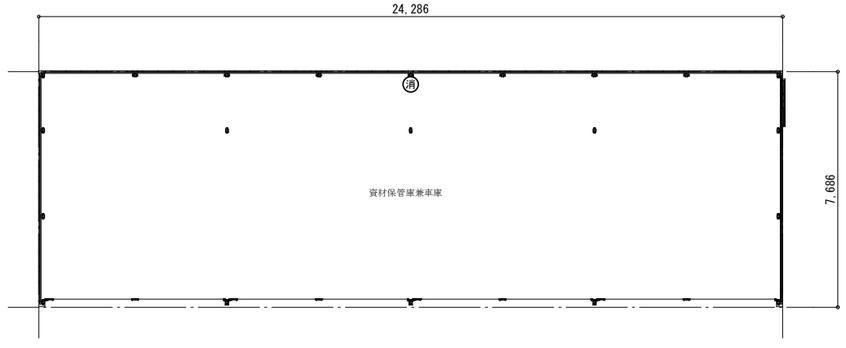
図番　M-11



凡 例

記 号	名 称	仕 様 ・ 備 考
——-——	給水管	特記仕様書による
————	排水管	特記仕様書による
⊠	散水栓	器具表参照
●	地中埋設標	鉄製
ⓒ COA	床上掃除口	ステンレス製、非防水形
○ ⑩	汚水桝	桝一覧表参照
消	消火器	粉末（ABC）10型
——R——	冷媒管	特記仕様書による
——D——	ドレン管	特記仕様書による
⊏:⊐	冷媒化粧カバー取付範囲	塩ビ製
RS ◘	リモコンスイッチ	機器付属品
——OA——	外気ダクト	低圧ダクト
——EA——	排気ダクト	低圧ダクト

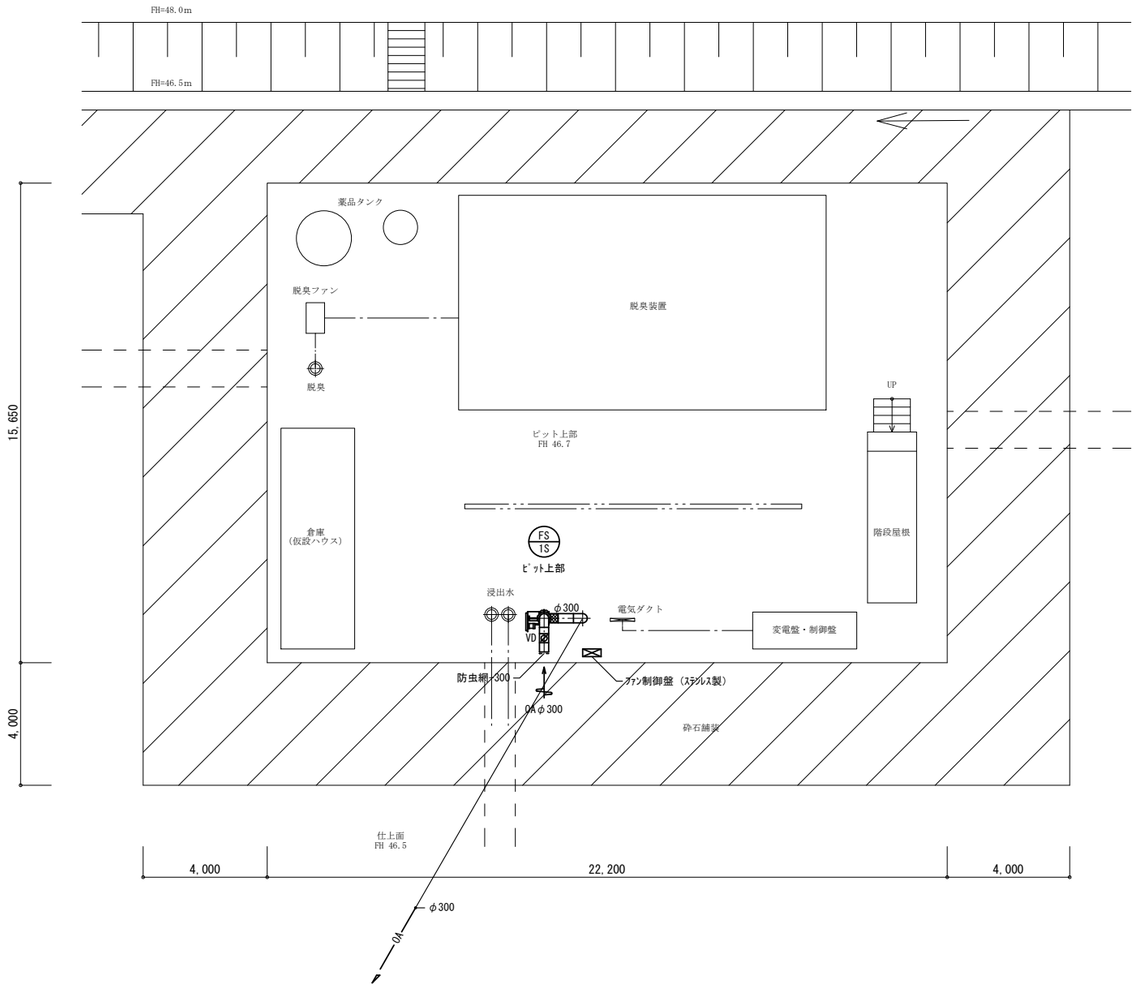
【注記】
1．冷媒管サイズは下記による。
9.52（液管）+15.88（ガス管）
2．EHP配線は下記による。
室内外渡り配線：EM-CEE 1.25mm2-3C（冷媒管共巻）
ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ配線：EM-CEE 1.25mm2-2C（ころがし、PF16）
3．屋外露出の冷媒管は、塩ビ製化粧カバー施工とする。
4．屋外露出のドレン管は、カラーパイプ（VP）とする。
5．屋外に使用するボルト類は、ステンレス製とする。



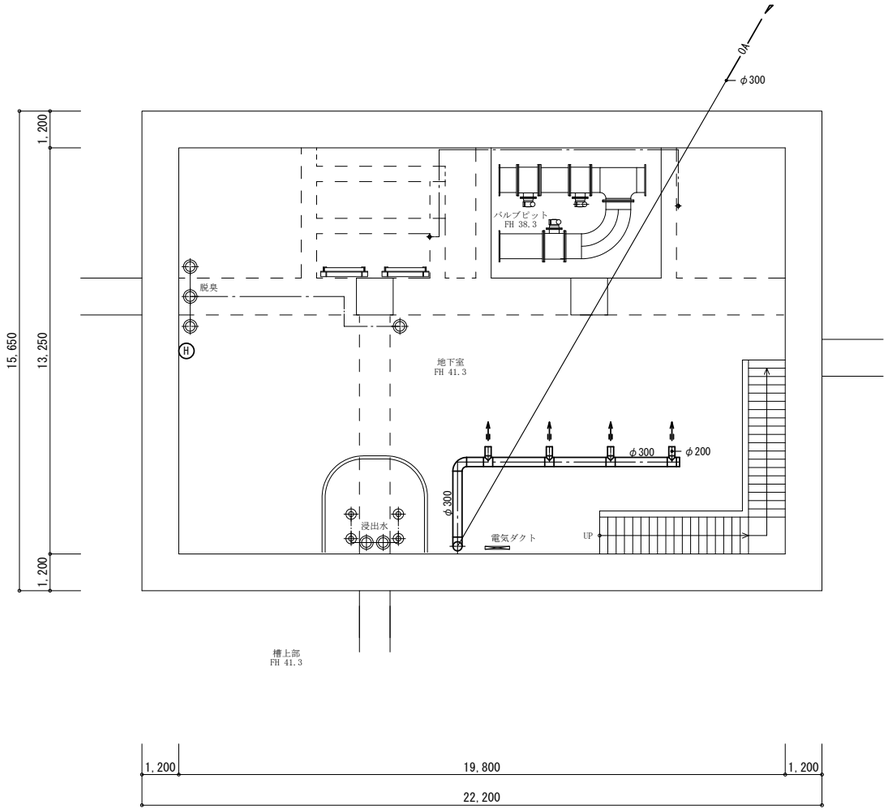
資材保管庫兼車庫 S=1/100

特記

物件名	第R6-8号 新産業廃棄物最終処分場建設工事		
図面名	計量棟・目視監視施設・資材保管庫兼車庫 衛生・空調・換気設備 平面図	縮尺	A1:1/100 A3:1/200
図番	M-12		



ピット上部平面図　S=1/100



地下室平面図　S=1/100

凡　例

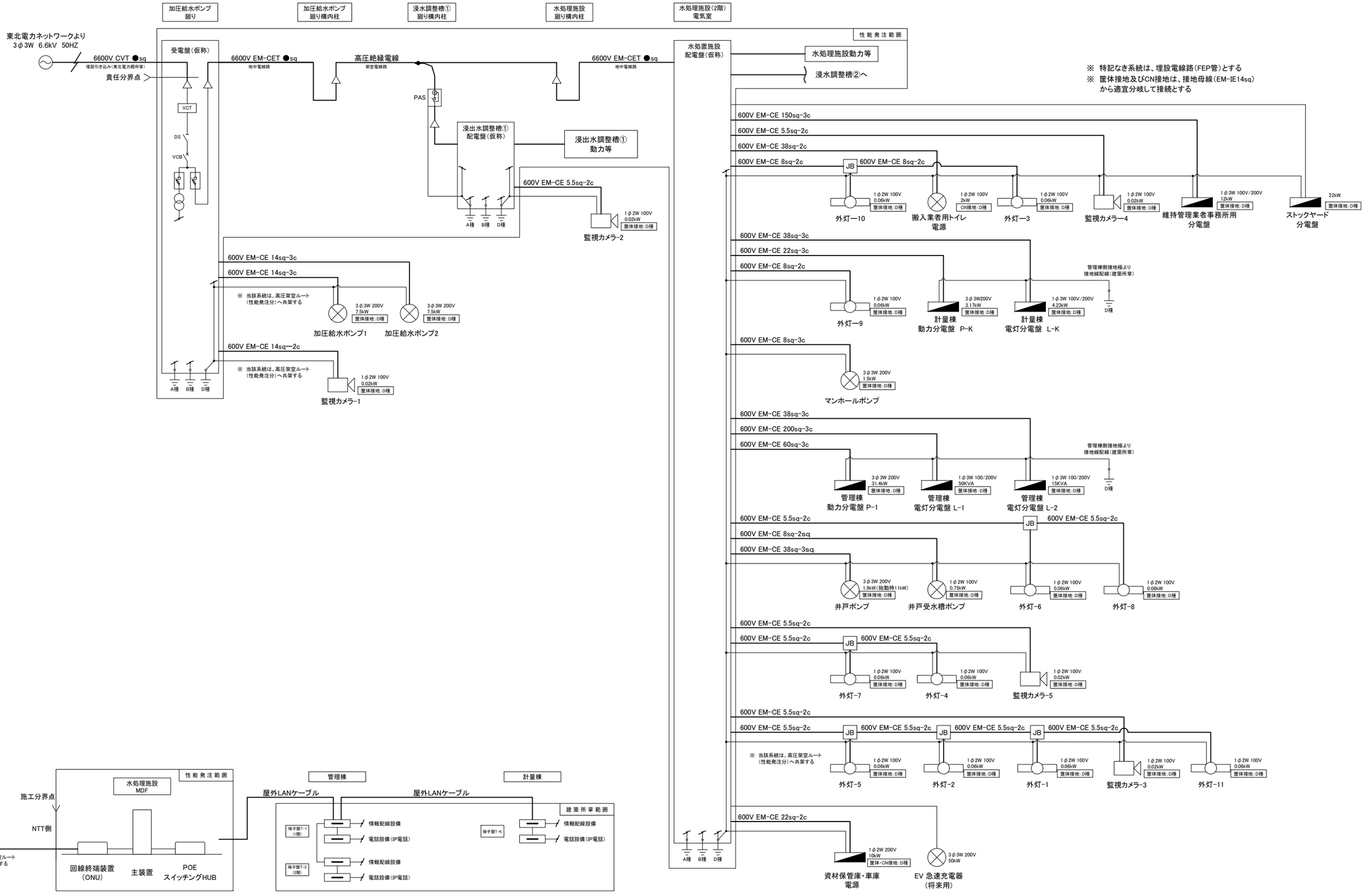
記　号	名　　称	仕　様　・　備　考
―― OA ――	外気ダクト	硬質ポリ塩化ビニル管（VP）
Ⓗ	湿度センサー	配管配線共
VD	風量調整ダンパー	塩ビ製

換気設備　機器表

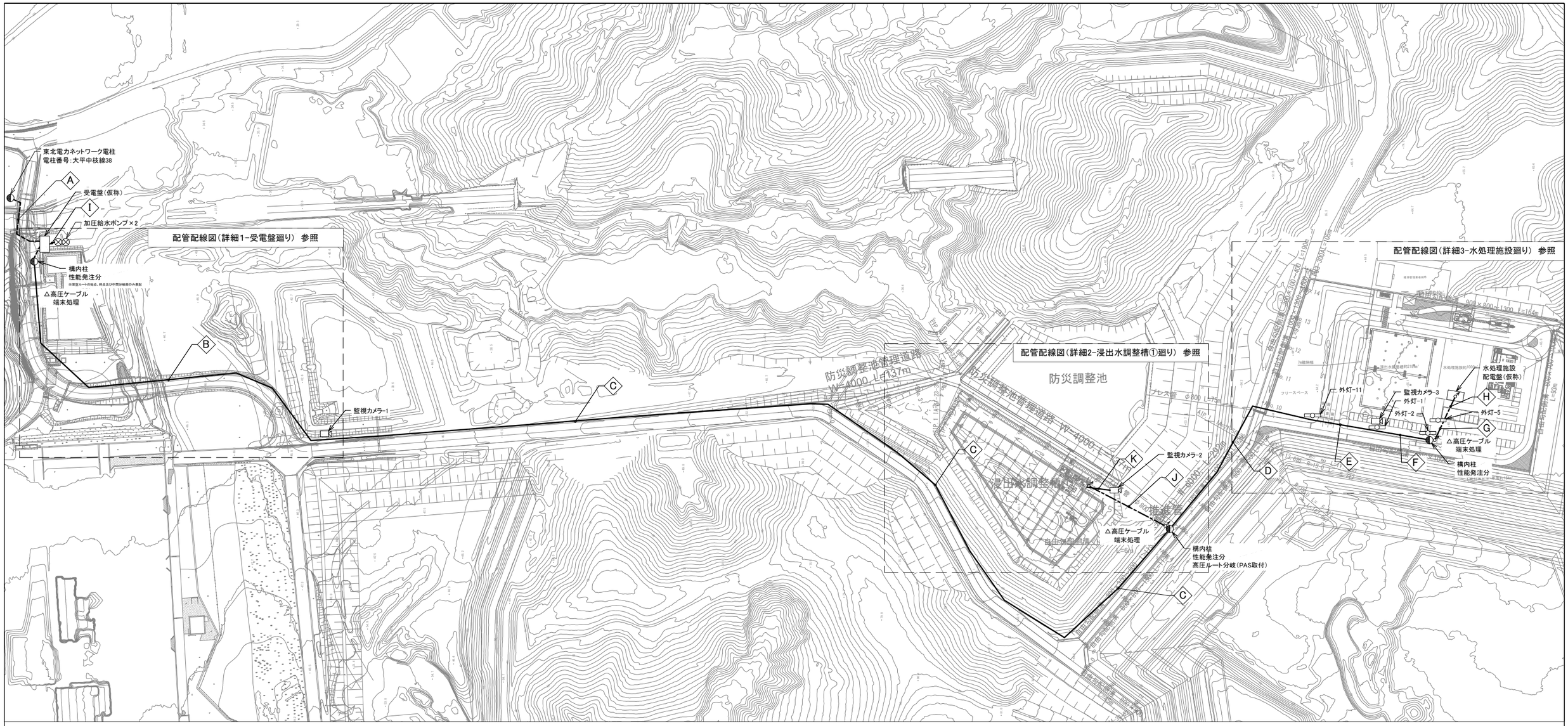
記　号	名　　称	台数	仕　　様	電源・消費電力			設置場所		備　　考
				φ	V	W・kW	階	室　名	
ＦＳ－１Ｓ	送風機（給気用）	1	型　式　樹脂製ｼﾛｯｺﾌｧﾝ（床置形）　屋外仕様	3	200	0.75 kW	1	浸出水調整槽　ﾋﾟｯﾄ上部	湿度ｾﾝｻｰによる自動運転
			仕　様　No.1･1/2×2,500CMH×150Pa						

特記

物件名	第Ｒ6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事		
図面名	浸出水調整槽 換気設備　機器表・平面図	縮尺	A1:1/100 A3:1/200
図番	M-13		



			物件名	第R6-8号 新産業廃棄物最終処分場建設工事	
			図面名	配線系統図	縮尺 A1:— NS / A3:— NS
					図番 0E-01

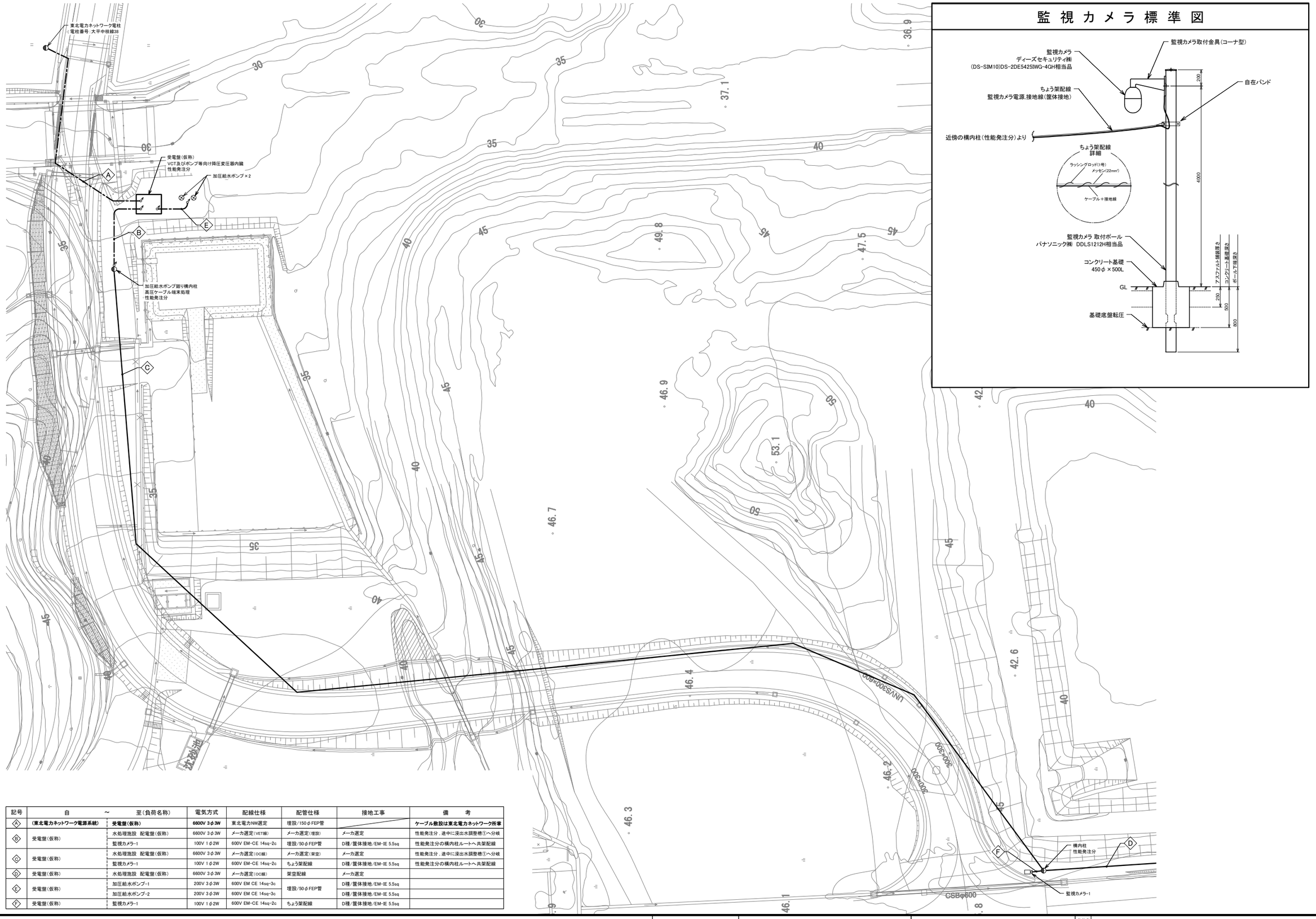


【配管配線一覧】

記号	自	～ 至（負荷名称）	電気方式	配線仕様	配管仕様	接地工事	備　考
A	**（東北電力ネットワーク電源系統）**	**受電盤（仮称）**	**6600V 3φ3W**	東北電力NW選定	埋設/150φFEP管		**ケーブル敷設は東北電力ネットワーク所掌**
B	受電盤（仮称）	水処理施設　配電盤（仮称）	6600V 3φ3W	メーカ選定（OC線）	埋設及び架空配線	メーカ選定	性能発注分，途中に浸出水調整槽へ分岐
		監視カメラ-1	100V 1φ2W	600V EM-CE 14sq-2c	埋設及びちょう架配線	D種/筐体接地/EM-IE 5.5sq	性能発注分の構内柱ルートへ共架配線
C	受電盤（仮称）	水処理施設　配電盤（仮称）	6600V 3φ3W	メーカ選定（OC線）	架空配線	メーカ選定	性能発注分，途中に浸出水調整槽へ分岐
D	受電盤（仮称）	水処理施設　配電盤（仮称）	6600V 3φ3W	メーカ選定（OC線）	架空配線	メーカ選定	性能発注分
	水処理施設　配電盤（仮称）	浸出水調整槽①（計測・制御他）		メーカ選定	ちょう架配線	メーカ選定	性能発注分
E	受電盤（仮称）	水処理施設　配電盤（仮称）	6600V 3φ3W	メーカ選定（OC線）	架空配線	メーカ選定	性能発注分
	外灯-1	外灯-11	100V 1φ2W	600V EM-CE 5.5sq-2c	ちょう架配線1	D種/筐体接地/EM-IE 5.5sq	性能発注分の構内柱ルートへ共架配線
	水処理施設　配電盤（仮称）	浸出水調整槽①（計測・制御他）		メーカ選定	ちょう架配線2	メーカ選定	性能発注分
F	受電盤（仮称）	水処理施設　配電盤（仮称）	6600V 3φ3W	メーカ選定（OC線）	架空配線	メーカ選定	性能発注分
	水処理施設　配電盤（仮称）	監視カメラ-3	100V 1φ2W	600V EM-CE 5.5sq-2c	ちょう架配線1	D種/筐体接地/EM-IE 5.5sq	性能発注分の構内柱ルートへ共架配線
	外灯-2	外灯-1	100V 1φ2W	600V EM-CE 5.5sq-2c	ちょう架配線1	D種/筐体接地/EM-IE 5.5sq	性能発注分の構内柱ルートへ共架配線
	水処理施設　配電盤（仮称）	浸出水調整槽①（計測・制御他）		メーカ選定	ちょう架配線2	メーカ選定	性能発注分

記号	自	～ 至（負荷名称）	電気方式	配線仕様	配管仕様	接地工事	備　考
G	受電盤（仮称）	水処理施設　配電盤（仮称）	6600V 3φ3W	メーカ選定（CET線）	メーカ選定（埋設）	メーカ選定	性能発注分
	水処理施設　配電盤（仮称）	監視カメラ-3	100V 1φ2W	600V EM-CE 5.5sq-2c	埋設/50φFEP管	D種/筐体接地/EM-IE 5.5sq	
	外灯-5	外灯-2	100V 1φ2W	600V EM-CE 5.5sq-2c		D種/筐体接地/EM-IE 5.5sq	
	水処理施設　配電盤（仮称）	浸出水調整槽①（計測・制御他）		メーカ選定	メーカ選定（埋設）	メーカ選定	性能発注分
H	受電盤（仮称）	水処理施設　配電盤（仮称）	6600V 3φ3W	メーカ選定（CET線）	メーカ選定（埋設）	メーカ選定	性能発注分
	水処理施設　配電盤（仮称）	監視カメラ-3	100V 1φ2W	600V EM-CE 5.5sq-2c	埋設/50φFEP管	D種/筐体接地/EM-IE 5.5sq	
		外灯-5	100V 1φ2W	600V EM-CE 5.5sq-2c		D種/筐体接地/EM-IE 5.5sq	
		浸出水調整槽①（計測・制御他）		メーカ選定	メーカ選定（埋設）	メーカ選定	性能発注分
I	受電盤（仮称）	加圧給水ポンプ-1	200V 3φ3W	600V EM-CE 14sq-3c	埋設/50φFEP管	D種/筐体接地/EM-IE 5.5sq	
		加圧給水ポンプ-2	200V 3φ3W	600V EM-CE 14sq-3c		D種/筐体接地/EM-IE 5.5sq	
J	水処理施設　配電盤（仮称）	浸出水調整槽①（計測・制御他）		メーカ選定	メーカ選定（埋設）	メーカ選定	性能発注分
	受電盤（仮称）	浸出水調整槽①　配電盤（仮称）	6600V 3φ3W	メーカ選定（CET線）	メーカ選定（埋設）	メーカ選定	性能発注分
K	浸出水調整槽①　配電盤（仮称）	監視カメラ-2	100V 1φ2W	600V EM CV5.5sq-2c	架空/ちょう架配線	D種/筐体接地/EM-IE 5.5sq	

				物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事
				図面名	配線配管図（全体図）
				縮尺	A1:– NS A3:– NS
				図番	0E-02



監視カメラ標準図

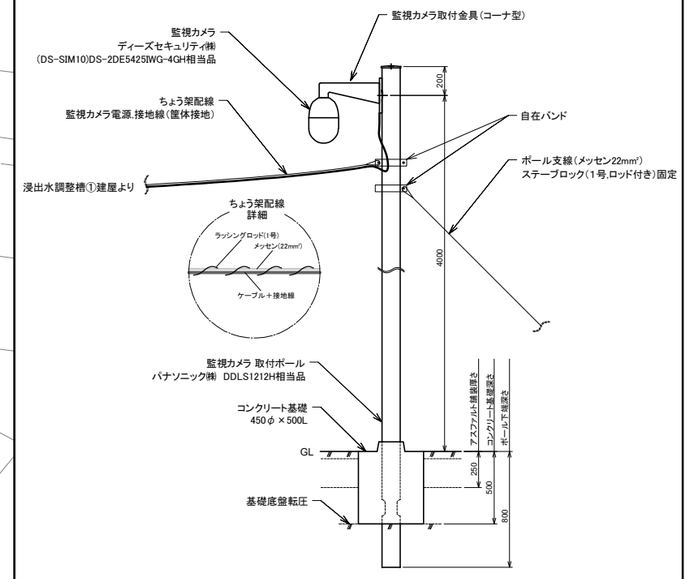
記号	自 ～ 至（負荷名称）		電気方式	配線仕様	配管仕様	接地工事	備　考
Ⓐ	（東北電力ネットワーク電源系統）	受電盤（仮称）	6600V 3φ3W	東北電力NW選定	埋設/150φFEP管		ケーブル敷設は東北電力ネットワーク所掌
Ⓑ	受電盤（仮称）	水処理施設　配電盤（仮称）	6600V 3φ3W	メーカ選定（VET線）	メーカ選定（埋設）	メーカ選定	性能発注分，途中に浸出水調整槽①へ分岐
		監視カメラ-1	100V 1φ2W	600V EM-CE 14sq-2c	埋設/50φFEP管	D種/筐体接地/EM-IE 5.5sq	性能発注分の構内柱ルートへ共架配線
Ⓒ	受電盤（仮称）	水処理施設　配電盤（仮称）	6600V 3φ3W	メーカ選定（OC線）	メーカ選定（架空）	メーカ選定	性能発注分，途中に浸出水調整槽①へ分岐
		監視カメラ-1	100V 1φ2W	600V EM-CE 14sq-2c	ちょう架配線	D種/筐体接地/EM-IE 5.5sq	性能発注分の構内柱ルートへ共架配線
Ⓓ	受電盤（仮称）	水処理施設　配電盤（仮称）	6600V 3φ3W	メーカ選定（OC線）	架空配線	メーカ選定	
Ⓔ	受電盤（仮称）	加圧給水ポンプ-1	200V 3φ3W	600V EM CE 14sq-3c	埋設/50φFEP管	D種/筐体接地/EM-IE 5.5sq	
		加圧給水ポンプ-2	200V 3φ3W	600V EM CE 14sq-3c		D種/筐体接地/EM-IE 5.5sq	
Ⓕ	受電盤（仮称）	監視カメラ-1	100V 1φ2W	600V EM-CE 14sq-2c	ちょう架配線	D種/筐体接地/EM-IE 5.5sq	

物件名	第R6-8号　新産業廃棄物最終処分場建設工事		
図面名	配線配管図　詳細1	縮尺	A1:- NS A3:- NS
図番	0E-03		

防災調整池



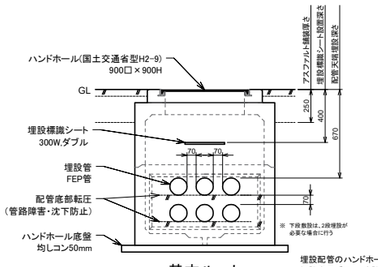
監視カメラ標準図



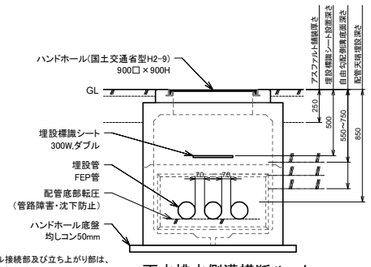
記号	自	～ 至(負荷名称)	電気方式	配線仕様	配管仕様	接地工事	備考
Ⓐ	水処理施設 配電盤(仮称)	浸出水調整槽①(計測・制御他)		メーカ選定	メーカ選定(埋設)	メーカ選定	性能発注分
	受電盤(仮称)	浸出水調整槽① 配電盤(仮称)	6600V 3φ3W	メーカ選定(CET線)	メーカ選定(埋設)	メーカ選定	性能発注分
Ⓑ	浸出水調整槽① 配電盤(仮称)	監視カメラ-2	100V 1φ2W	600V EM CV5.5sq-2c	ちょう架配線	D種/筐体接地/EM-IE 5.5sq	
Ⓒ	浸出水調整槽① 配電盤(仮称)	監視カメラ-2	100V 1φ2W	600V EM CV5.5sq-2c	金属可とう電線管	D種/筐体接地/EM-IE 5.5sq	

				物件名	第R6-8号 新産業廃棄物最終処分場建設工事
				図面名	配線配管図 詳細2
				縮尺	A1:- NS A3:- NS
				図番	OE-04

埋設配管及びハンドホール標準図



基本ルート

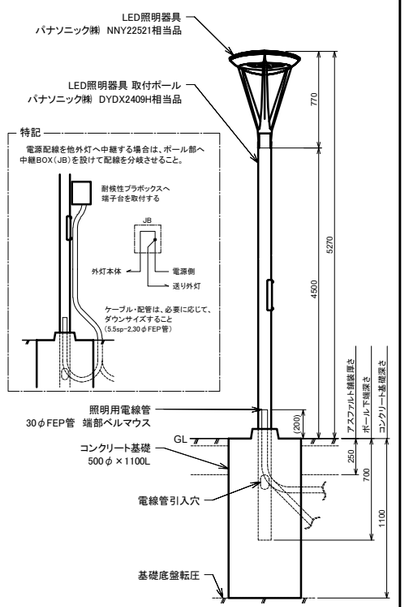


雨水排水側溝横断ルート

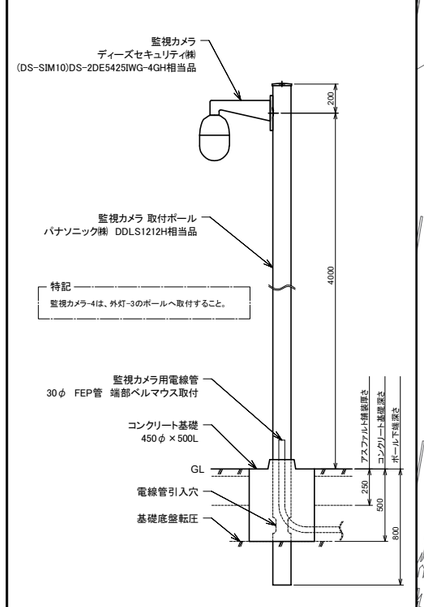
埋設配管のハンドホール接続部及び立ち上がり部は、
埋設表示ブロックを設置すること。

対象ルート：Ⓓ Ⓛ Ⓟ（但し、水処理施設側部及び防火水槽下部を除く）

外灯標準図



監視カメラ標準図



				物件名	第R6-8号 新産業廃棄物最終処分場建設工事	
				図面名	配線配管図 詳細3	縮尺 A1:- NS / A3:- NS / 図番 0E-05